

# 熊本県ヤングケアラーの実態に関する調査結果 報告書

熊本県健康福祉部子ども・障がい福祉局  
子ども家庭福祉課



# 目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	2
2 調査の実施要領	2
3 調査結果利用上の注意	2
第2章 小学校におけるヤングケアラー対応に関するアンケート調査結果	3
1 調査の概要	4
2 小学校調査結果	5
第3章 小学生調査結果（単純集計）	49
第4章 小学生調査結果（クロス集計）	79
4-1 家族の世話の有無別分析	80
4-2 性別×世話の状況の違い	87
4-3 家族構成による世話の状況の違い	102
4-4 平日1日あたりの世話に費やす時間による生活状況等	114
4-5 休日1日あたりの世話に費やす時間による生活状況等【県独自設問】	121
4-6 世話を必要としている家族による世話の状況等	127
4-7 世話をすることに感じているきつさによる世話の状況の違い	139
4-8 世話に関しての相談の状況	148
第5章 大学生の生活実態に関するアンケート調査結果	149
第6章 大学生アンケート調査の結果（クロス集計）※参考値	199
6-1 家族の世話の有無別分析	200
6-2 性別×大学種別による状況の違い	237
6-3 家族構成による世話の状況の違い	253
6-4 平日1日あたりの世話に費やす時間による生活状況等	268
6-5 世話を必要としている家族による世話の状況等	281
6-6 世話をすることに感じているきつさによる世話の状況の違い	295
6-7 ヤングケアラーの自己認識による生活状況、世話の状況の違い	308
6-8 世話に関しての相談の状況	326
6-9 大学の学科による状況の違い	328
6-10 「世話をしている／していた」人のうちヤングケアラーの自己認識別 世話の状況	346
第7章 調査結果総括	359
1 小学校調査	360
2 小学生調査	361
3 大学生調査	363

第8章 調査票 .....	365
1 小学校調査 調査票 .....	366
2 小学6年生調査 調査票 .....	386
3 大学3年生調査 調査票 .....	398

# 第1章 調査の概要

## 1 調査の目的

本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、学校に行けなかったり、友達と遊ぶ時間がないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる、いわゆるヤングケアラーについて、国においては、令和2年度に全国の実態調査を行うとともに、プロジェクトチームを立ち上げ、ヤングケアラーへの支援策を取りまとめるなど、ヤングケアラーへの支援が開始された。

本県においても、令和3年度に、県内小学校の一部、県内全ての中学校、高等学校及び県内全ての中学2年生、高等学校2年生を対象に実態把握調査を実施した。

本調査は、国の実態調査を踏まえ、令和3年度実態把握が行われていない小学生や大学生を対象とした調査を行い、それら年代の家族ケアの状況、ヤングケアラーの実態を明らかにすることを目的とする。

## 2 調査の実施要領

調査時期	令和4年9月30日～令和4年11月18日
調査対象者	熊本県内全ての小学校、小学6年生、大学3年生
調査方法	配布方法：依頼文郵送（小学校、小学6年生） メール、チラシ（大学3年生） 回収方法：WEB
配布数	①小学校 336校 ②小学6年生 16,461人 ③大学3年生 5,756人
有効回収数・有効回答率	白紙回答を除く有効回答数（有効回答率） ①小学校 263校（78.3%） ②小学6年生 5,407人（32.8%） ③大学3年生 255人（4.4%）

## 3 調査結果利用上の注意

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- グラフ中の回答割合について、グラフが繁雑になる場合は省略している場合があります。

## 第2章 小学校におけるヤングケアラー対応に関するアンケート調査結果

# 1 調査の概要

## (1) 調査対象

### ①小学校

県内全ての小学校

## (2) 実施時期、調査方法、回収状況

< 調査実施時期 > 令和4年9月30日～令和4年11月18日

< 調査方法 > W e b 回答

< 回収状況 >

調査対象	対象数	回収数	回収率
小学校	336校	263校	78.3%

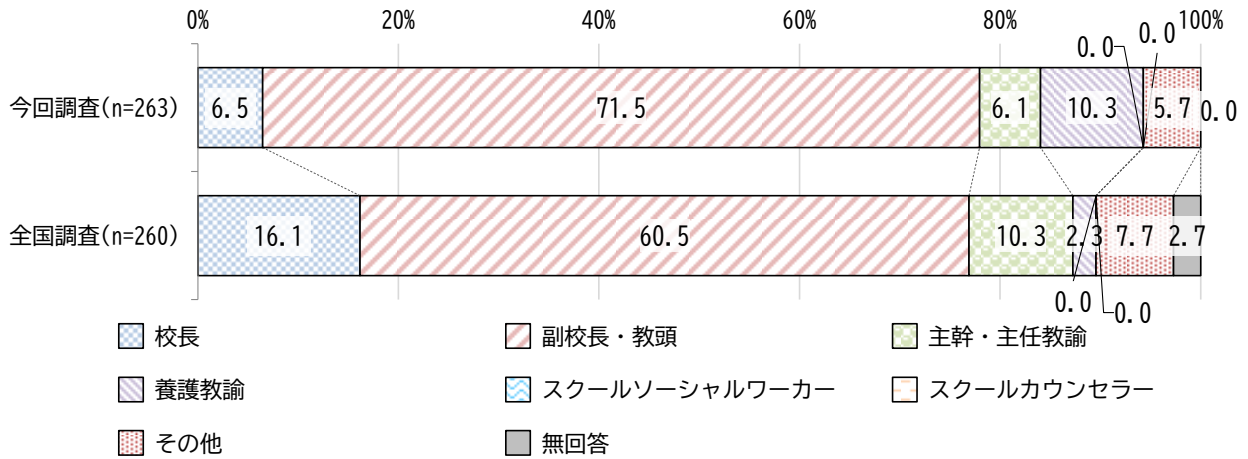


## 2 小学校調査結果

### (1) 基本情報

#### 1 回答者の役職

◇回答者の役職は「副校長・教頭」が最も多く71.5%となっている。



#### 2 学校の所在地

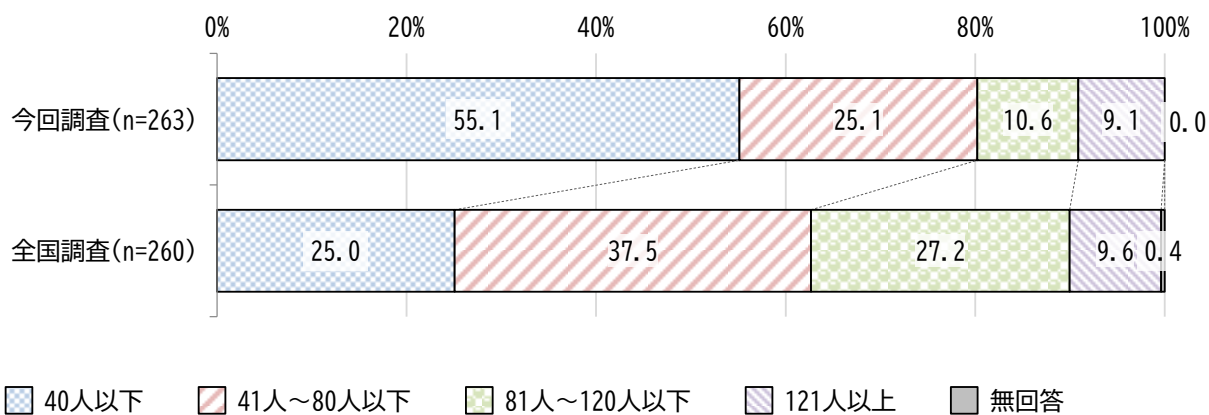
◇学校の所在地については以下のとおりである。

(上段：人 下段：%)

	標本数 (人)	熊本市	宇城地域	上益城地域	菊池地域	玉名地域	鹿本地域
全体 (単純集計)	263	62	21	20	27	25	10
		23.6%	8.0%	7.6%	10.3%	9.5%	3.8%
		阿蘇地域	八代地域	芦北地域	球磨地域	天草地域	無回答
		12	25	12	23	25	1
		4.6%	9.5%	4.6%	8.7%	9.5%	0.4%

### 3 6年生の在籍者数

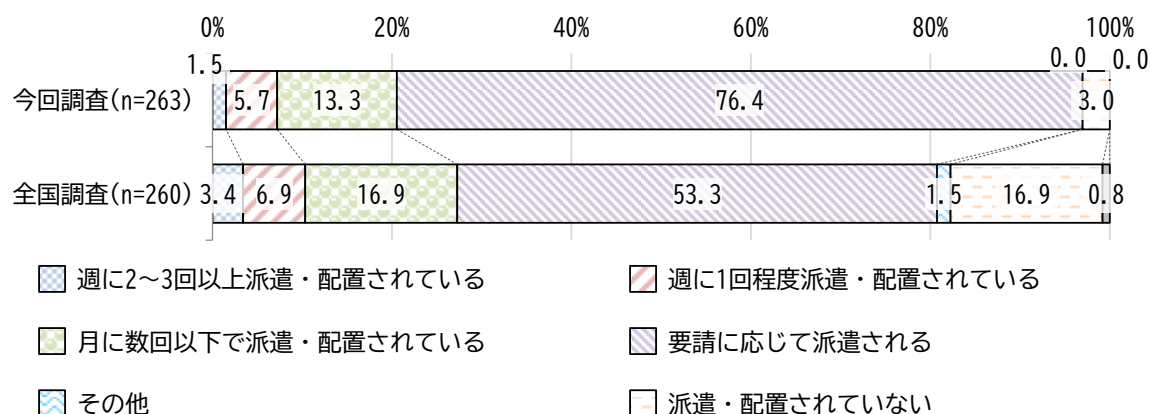
◇ 6年生の在籍者数については、「40人以下」が最も高く55.1%、次いで「41人～80人以下」が25.1%、「81人～120人以下」が10.6%となっている。



## (2) 支援が必要だと思われる子どもへの対応

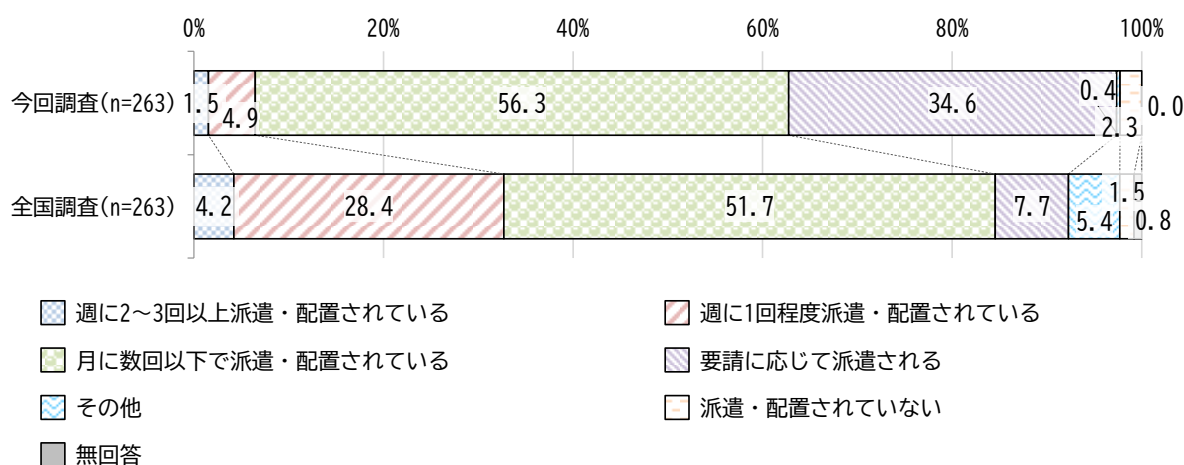
### 1 SSWの派遣・配置状況

◇SSWの派遣・配置状況については、「要請に応じて派遣される」が最も高く76.4%となっており、(国：53.3%)より23.1ポイント高くなっている。また、「派遣・配置されていない」は3.0%となっており、(国：16.9%)より13.9ポイント低くなっている。



### 2 SCの派遣・配置状況

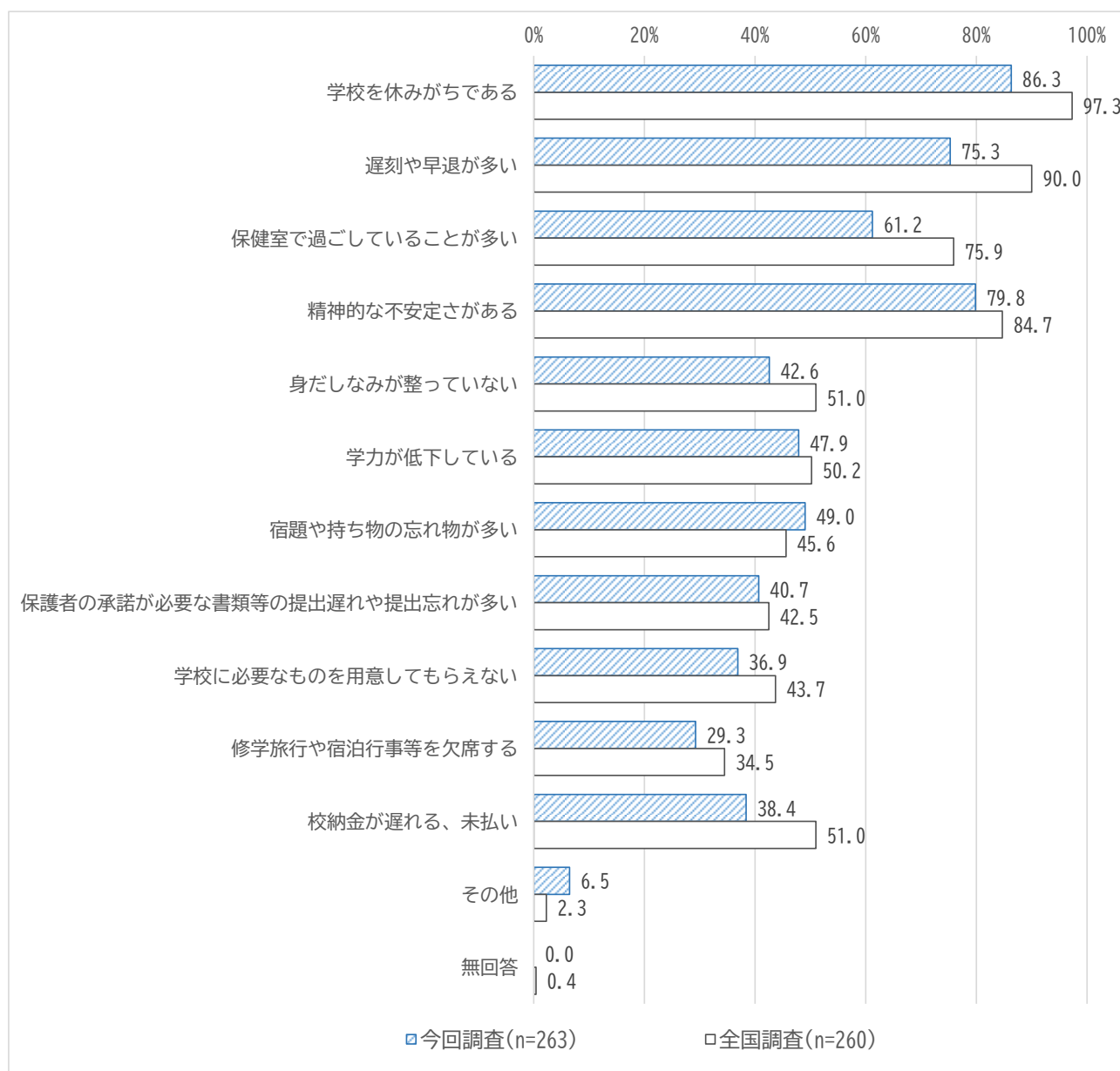
◇SCの派遣・配置状況については、「月に数回以下で派遣・配置されている」が最も高く56.3%となっている。



### 3 校内で共有している子どものケース

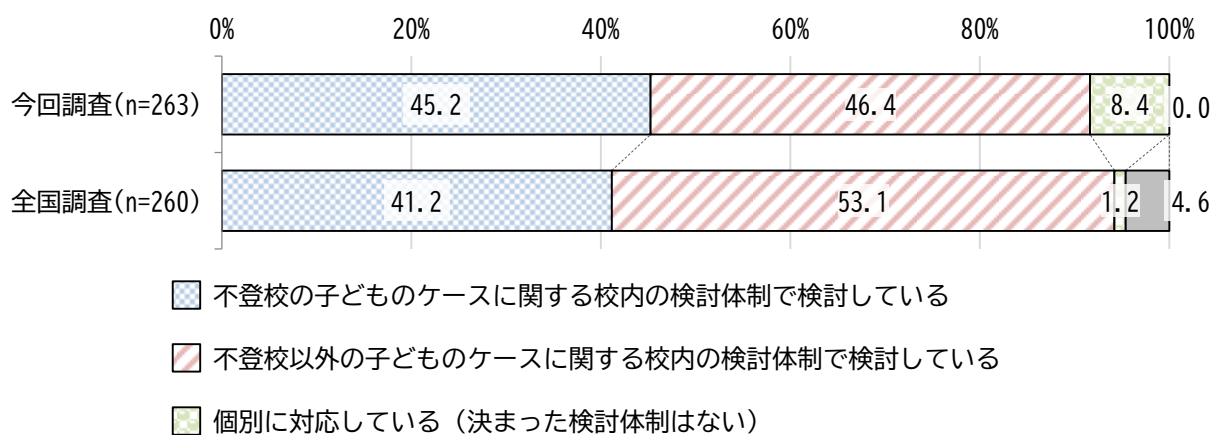
◇校内で共有している子どものケースについて聞いたところ、「学校を休みがちである」が最も高く(86.3%)、次いで「精神的な不安定さがある」(79.8%)、「遅刻や早退が多い」(75.3%)、「保健室で過ごしていることが多い」(61.2%)が高い割合となっている。

◇全国調査と同様の結果となっているが、「学校を休みがちである」、「遅刻や早退が多い」、「保健室で過ごしていることが多い」、「校納金が遅れる、未払い」が全国調査より10ポイント以上低くなっている。



## 4 情報共有・対応の検討体制

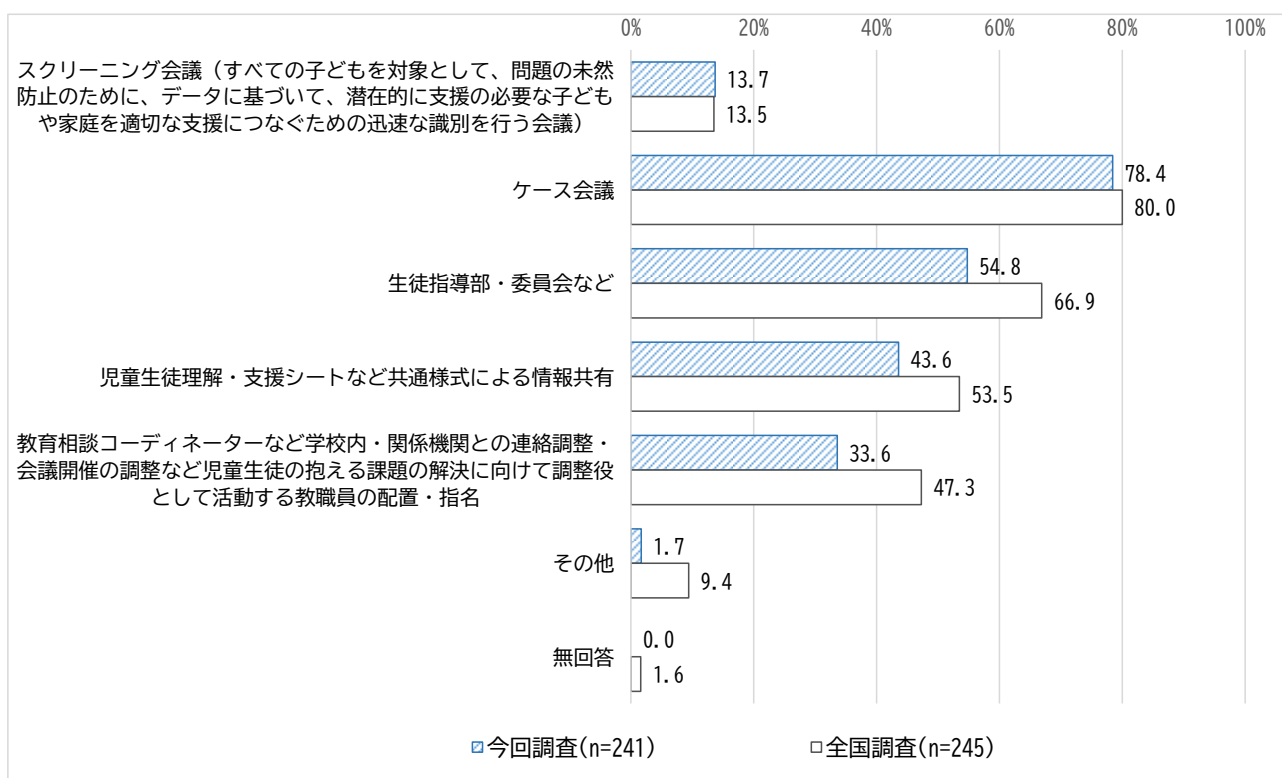
◇校内で共有している子どものケースについての情報共有・対応の検討体制について、「不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」が46.4%「不登校の子どもに関する校内の検討体制で検討している」が45.2%となっており、全国調査と同様の結果となっている。



## 5 校内での情報共有・対応の検討体制

前問で「不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」、「不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」と回答した学校に、校内の情報共有・対応の検討体制について聞いた結果は以下のとおりである。

◇情報共有・対応の検討方法としては、「ケース会議」が78.4%と最も高く、次いで「生活指導部・委員会など」が54.8%となっており、全国調査と同様の結果となっているが、全体的に「スクリーニング会議（すべての子どもを対象として、問題の未然防止のために、データに基づいて、潜在的に支援の必要な子どもや家庭を適切な支援につなぐための迅速な識別を行う会議）」以外は全国調査の割合が高くなっている。



## 6 会議に参加している教職員、会議の頻度

情報共有・対応の検討方法として「スクリーニング会議」、「ケース会議」、「生活指導部・委員会など」、「その他」と回答した学校に、それぞれの会議の参加者および頻度を聞いたところ、結果は以下のとおりである。

◇会議の参加者について全国調査と比べると、すべての会議において「学年主任」の参加率が低く、「ケース会議」では「生活指導教諭」の参加率は低いが、「SSW」の参加率が高い。

### ■会議の参加者

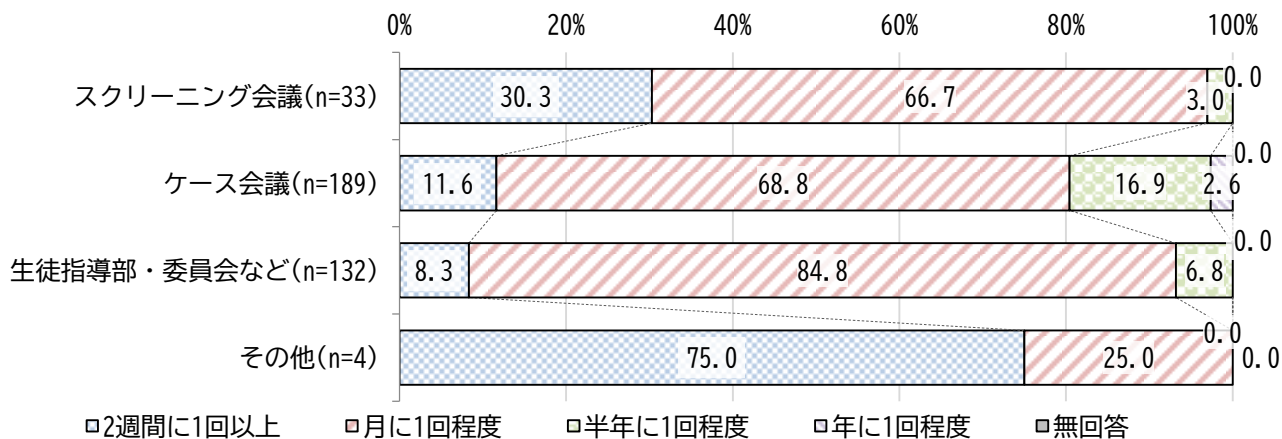
(%)

		校長	副校長・教頭	学年主任	担任教諭	生徒指導教諭	養護教諭	SSW	SC	外部の関係機関	その他	無回答
今回調査	スクリーニング会議 参加者(n=33)	93.9	90.9	30.3	84.8	63.6	93.9	21.2	9.1	6.1	18.2	0.0
	ケース会議 参加者(n=189)	89.4	95.8	35.4	94.7	43.9	91.0	43.4	25.4	27.5	20.6	0.0
	生活指導部・委員会など 参加者(n=132)	90.9	95.5	31.8	79.5	89.4	85.6	0.8	0.8	0.0	17.4	0.0
	その他 参加者(n=4)	100.0	100.0	50.0	100.0	75.0	100.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
全国調査	スクリーニング会議 参加者(n=33)	87.9	87.9	60.6	81.8	81.8	78.8	12.1	18.2	3.0	15.2	3.0
	ケース会議 参加者(n=196)	91.8	96.4	61.2	92.3	66.3	75.5	24.0	26.0	20.9	23.5	1.5
	生活指導部・委員会など 参加者(n=164)	70.1	73.2	53.7	71.3	83.5	75.0	7.3	17.7	1.8	18.9	6.1
	その他 参加者(n=23)	78.3	82.6	60.9	60.9	56.5	60.9	-	26.1	-	34.8	4.3

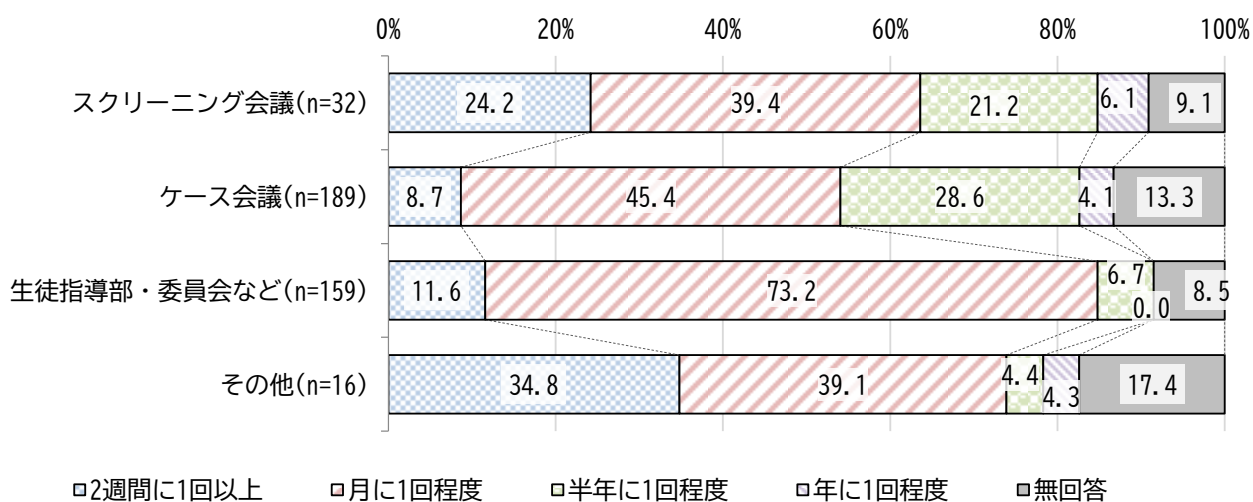
◇会議の頻度について全国調査と比べると、県も国もいずれの会議の頻度も「月に1回程度」の割合が最も高くなっているが、国では「スクリーニング会議」、「ケース会議」が「月に1回程度」の割合が4割前後なのに対し、県では6割を超えて高くなっており、会議の頻度が高いことがうかがえる。

■会議の頻度

今回調査



全国調査





## 7 個別対応の場合の情報共有・対応の検討方法など

個別対応の場合の情報共有・対応の検討方法については、以下のような回答があった。

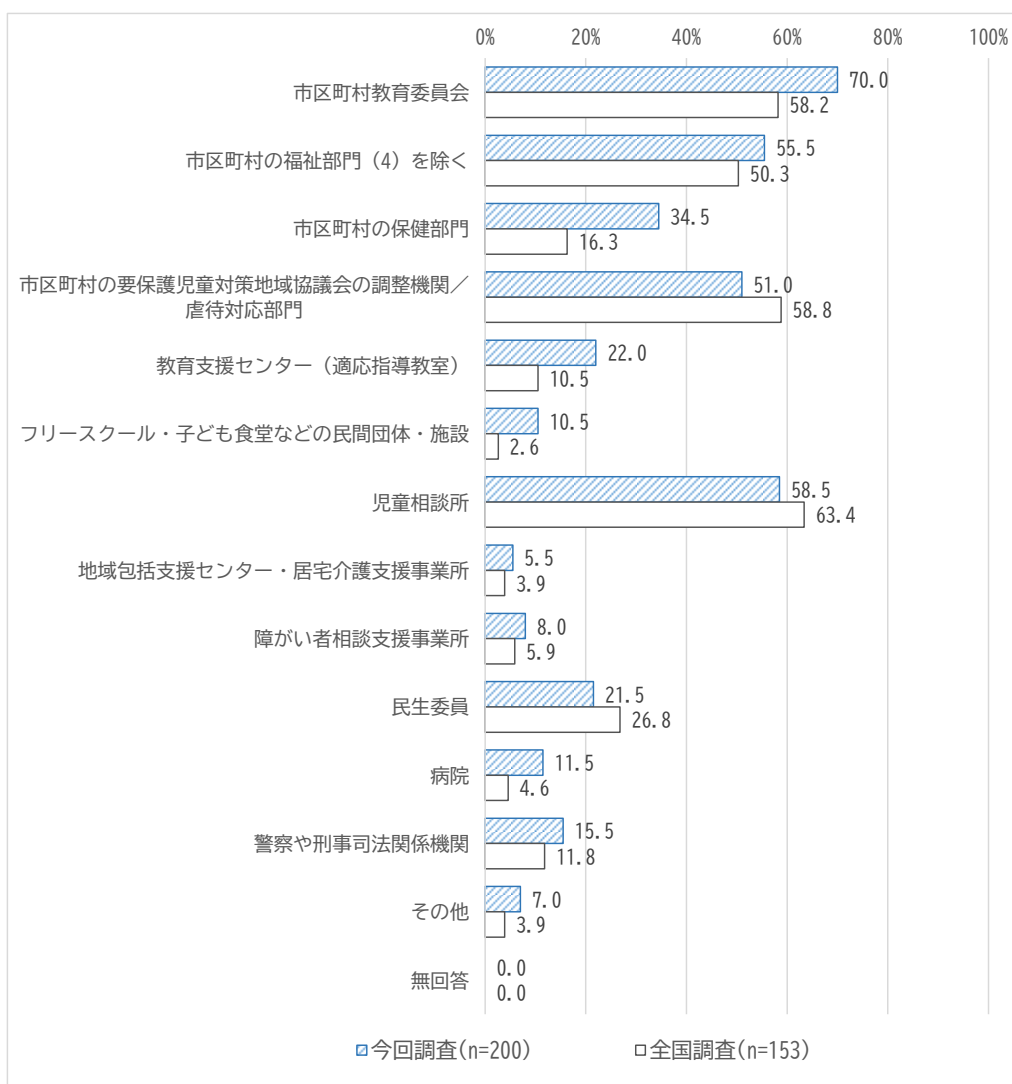
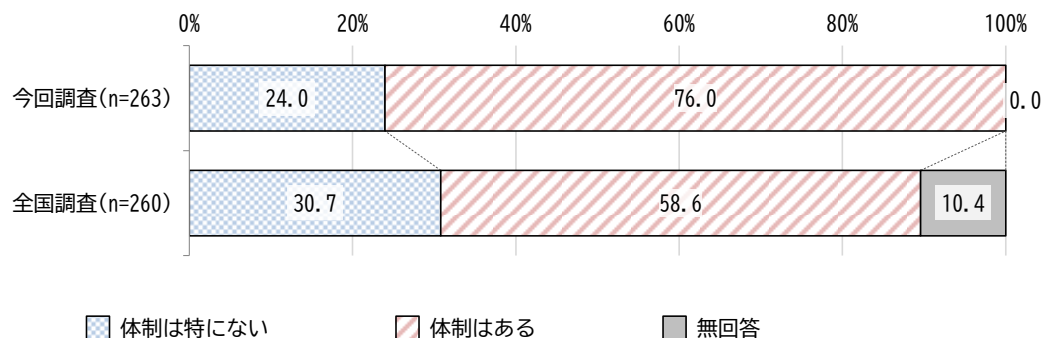
- 
- ◇必要に応じて、不定期でいじめ不登校対策委員会を開催している。関わる教職員は、校長、教頭、生徒指導担当、養護教諭、教務。毎週金曜日の子どもを見つめる会が出た気になる児童について検討する。
  - ◇現在、事案はないが発生した場合は、情報集約担当を中心として情報共有を行うことにしている。関わる教職員は、校長、教頭、情報集約担当、養護教諭、担任及び関係職員とし必要に応じてSSW・SCとの連携を図っていく。
  - ◇校長・教頭・事務職員・養護教諭・教務主任・生徒指導主事・当該担任等で空き時間等を活用し関係職員で情報共有を行っている。日頃から職員室では、全校児童の様子等に関する積極的な情報交換が行われており、どの職員も児童の情報はほぼ共有している。もれがないように不在者には後で口頭またはマル秘メモで知らせている。
  - ◇担任やその他の職員からの気づきや悩み等をその都度、管理職及び養護教諭で共有・検討し、必要に応じて関係職員で集まったり校内支援委員会を開いたりして対応している。

## 8 要保護児童対策地域協議会の登録のケース

校内で共有している子どものケースについて学校以外の関係機関と連携する体制の有無、また体制がある場合、連携する関係機関について聞いた結果は以下のとおりである。

◇「体制は特にない」が24.0%、「体制はある」が76.0%となっており、「体制はある」は全国調査（国：58.6%）より17.4ポイント高くなっている。

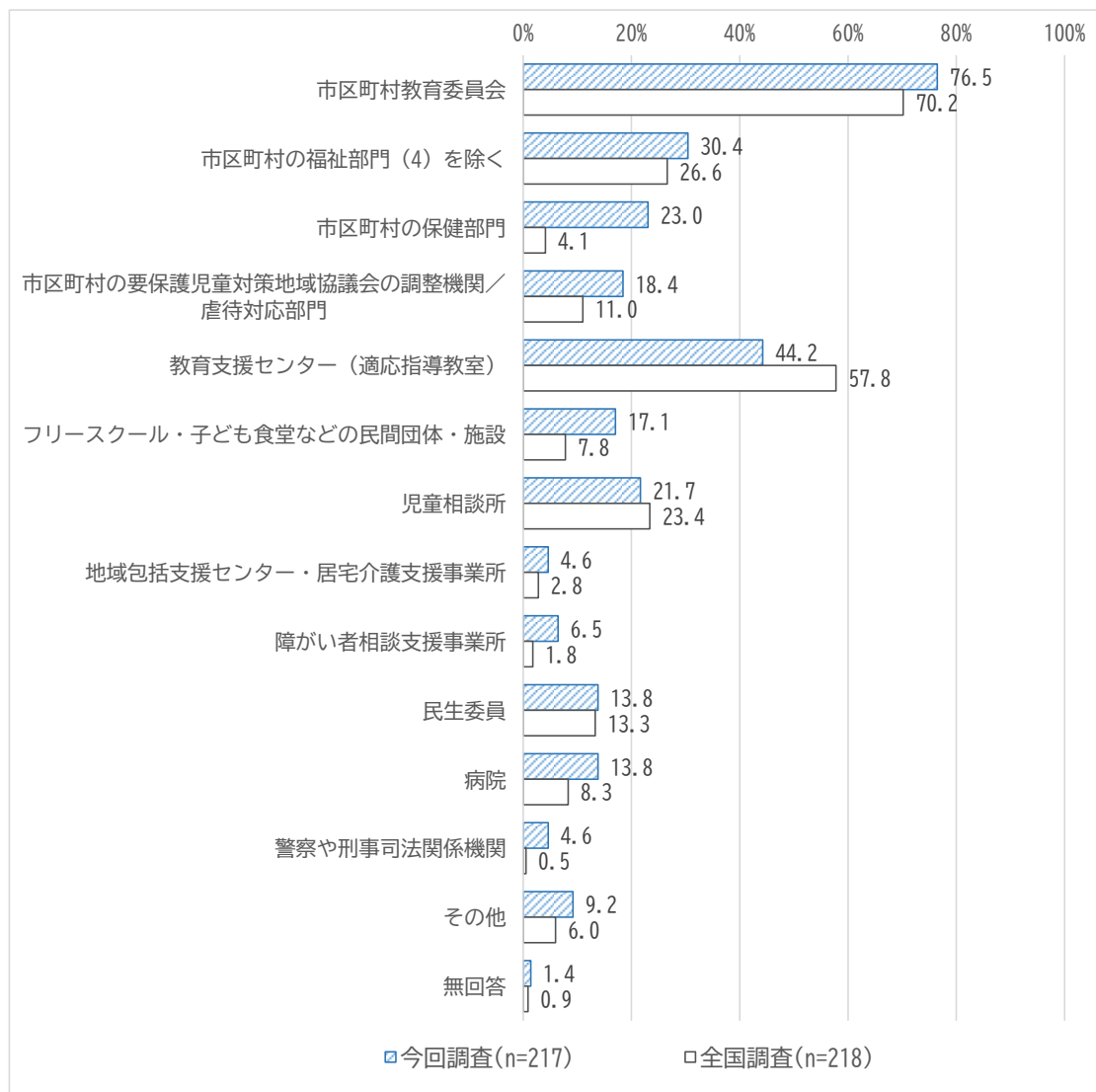
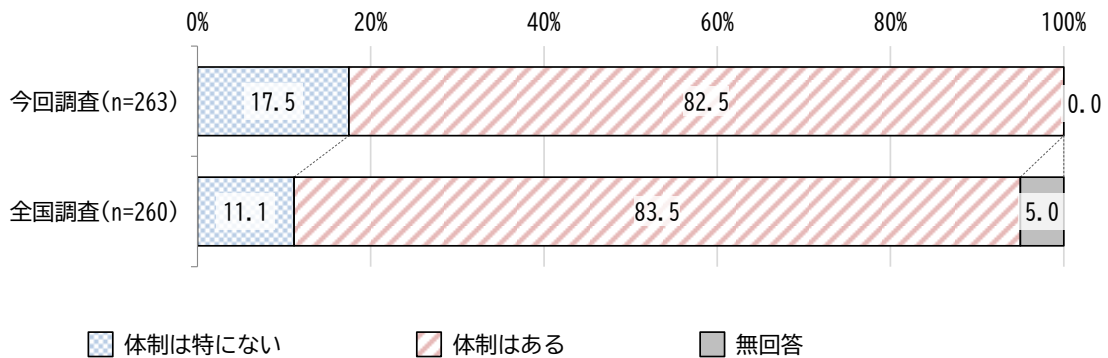
◇連携する関係機関については、「市区町村教育委員会」が70.0%と最も高くなっているが、全国調査では「児童相談所」が63.4%と最も高くなっている。



## 8-2 不登校のケース

◇「体制は特にはない」が17.5%、「体制はある」が82.5%となっており、全国調査と同様の結果となっている。

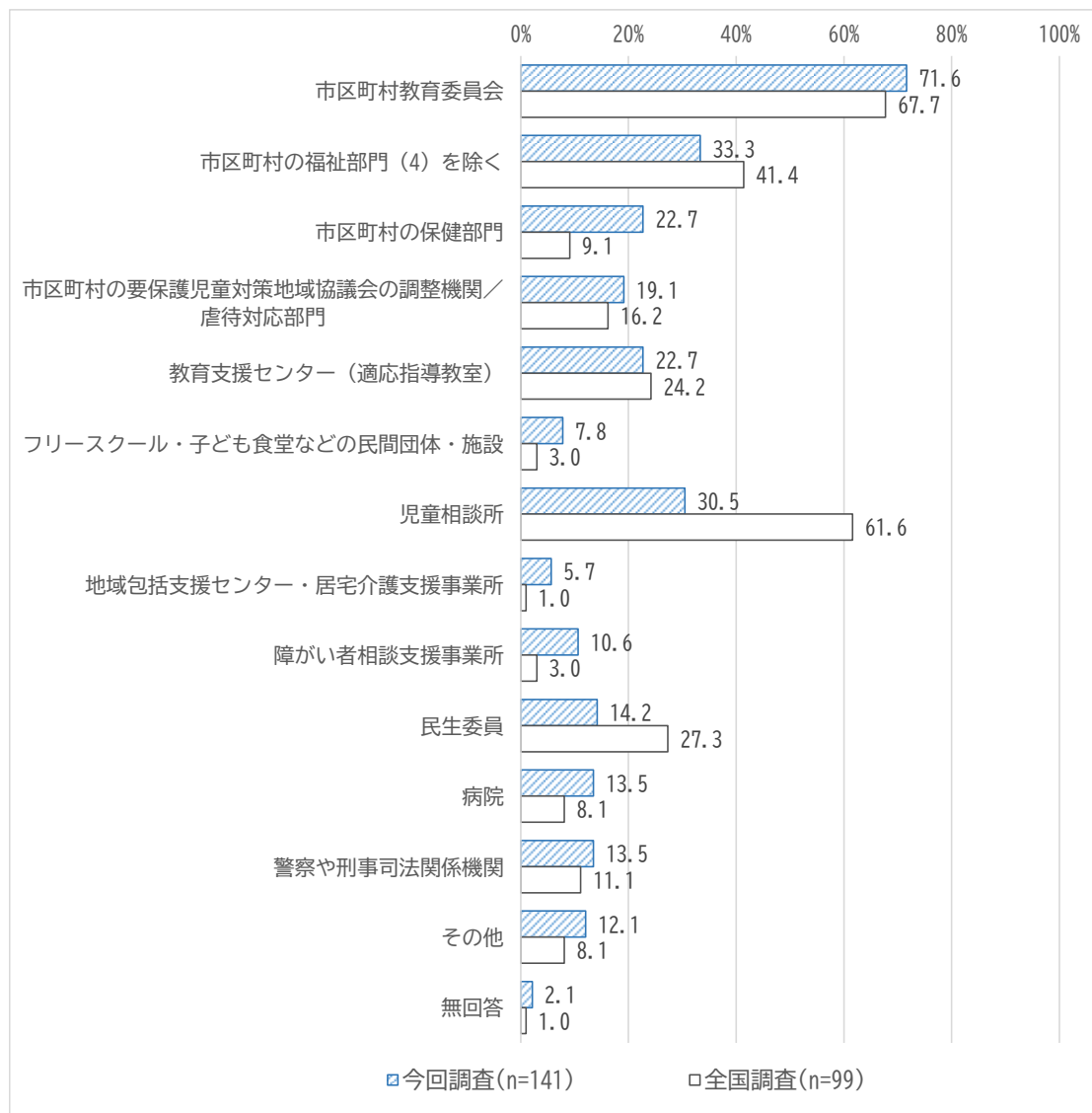
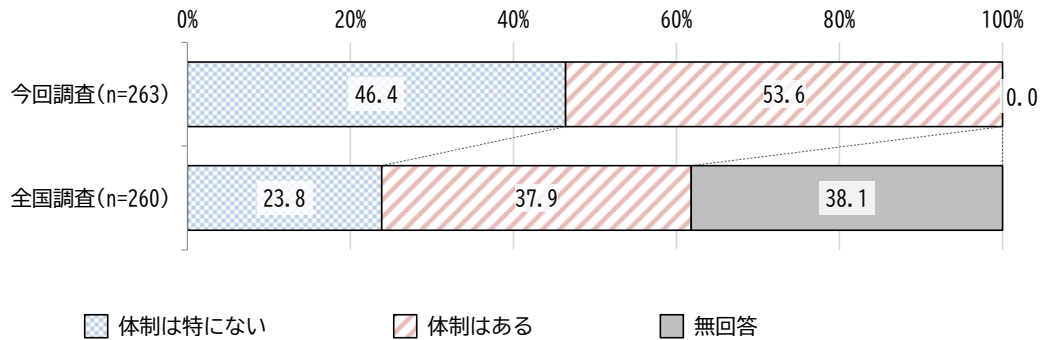
◇連携する関係機関について、「市区町村教育委員会」が76.5%と最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。



### 8-3 その他（「8-1」「8-2」以外）

◇「体制は特にない」が46.4%、「体制はある」が53.6%となっており、全国調査よりどちらも15ポイント以上高くなっている。

◇連携する関係機関について、「市区町村教育委員会」が71.6%と最も高く、全国調査と同様の結果となっているが、「児童相談所」が30.5%なのに対し、全国調査では61.6%と31.1ポイント差が大きく開いている。

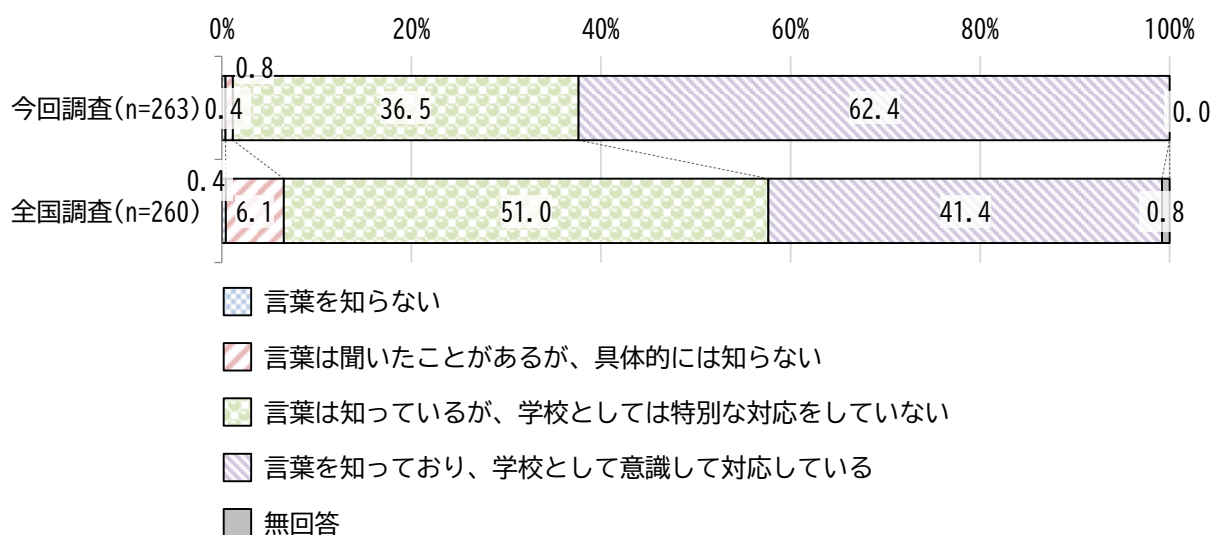


### (3) ヤングケアラーについて

#### 1 「ヤングケアラー」概念の認識

◇「ヤングケアラー」の概念の認識について聞いたところ、「言葉は知っているが、学校としては特別な対応はしていない」が36.5%、「言葉を知っており、学校として意識して対応している」が62.4%となっている。全体のほとんどが「ヤングケアラー」という言葉を知っていることが確認された。

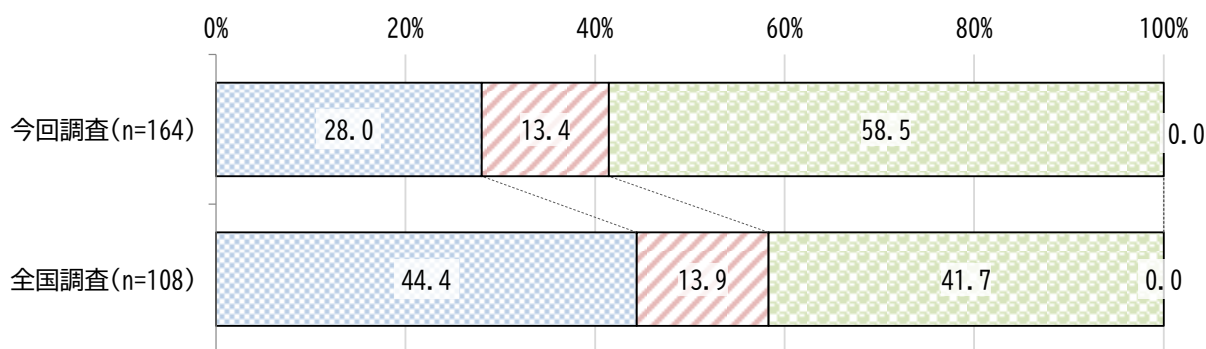
◇全国調査と比べると、「言葉は知っているが、学校としては特別な対応はしていない」の割合が低く、「言葉を知っており、学校として意識して対応している」が高くなっており、学校としての意識の高さがうかがえる。



## 2 「ヤングケアラー」の実態把握の状況

◇「ヤングケアラー」の概念について「言葉を知っており、学校として意識して対応している」と回答した学校に、子どもの実態把握の状況について聞いたところ、「把握している」は28.0%、「『ヤングケアラー』と思われる子どもはいるが、その実態は把握していない」は13.4%となっている。

◇全国調査と比べると、「把握している」の割合が低く、「該当する子どもはいない（これまでもいなかった）」が高くなっている。



■ 把握している

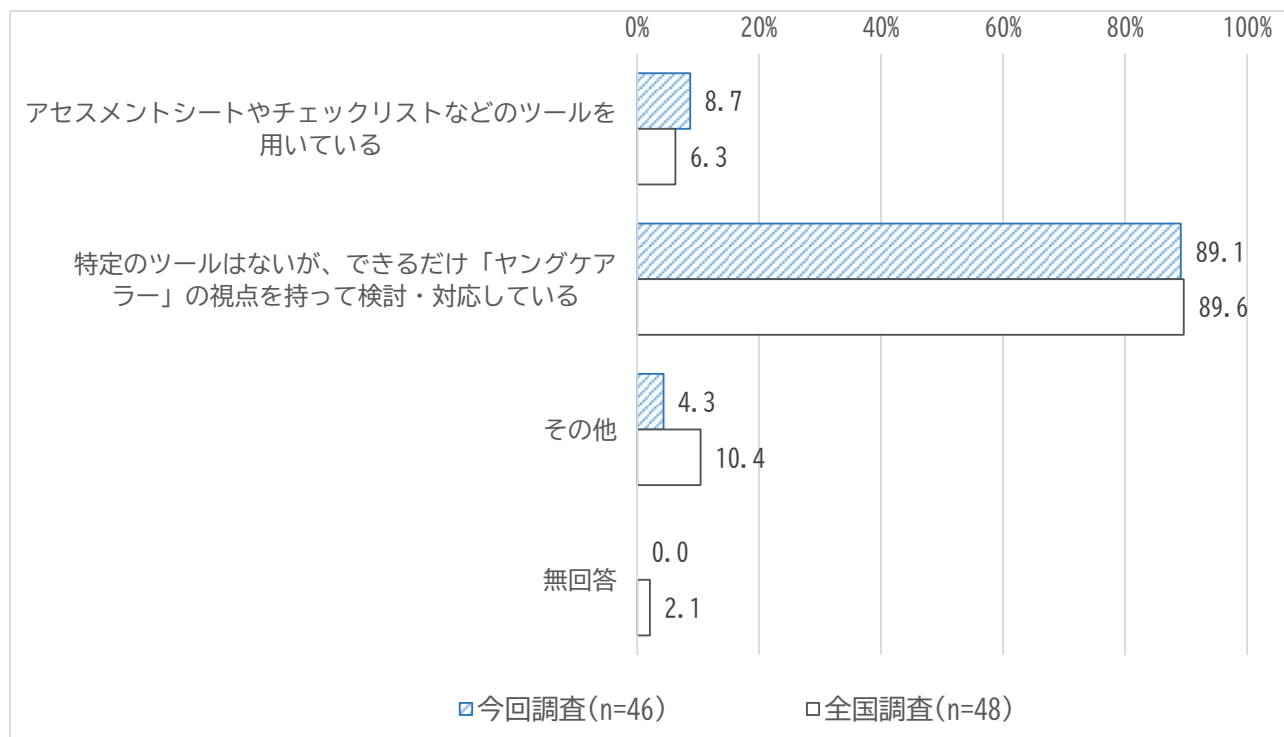
■ 「ヤングケアラー」と思われる子どもはいるが、その実態は把握していない

■ 該当する子どもはいない（これまでもいなかった）」

■ 無回答

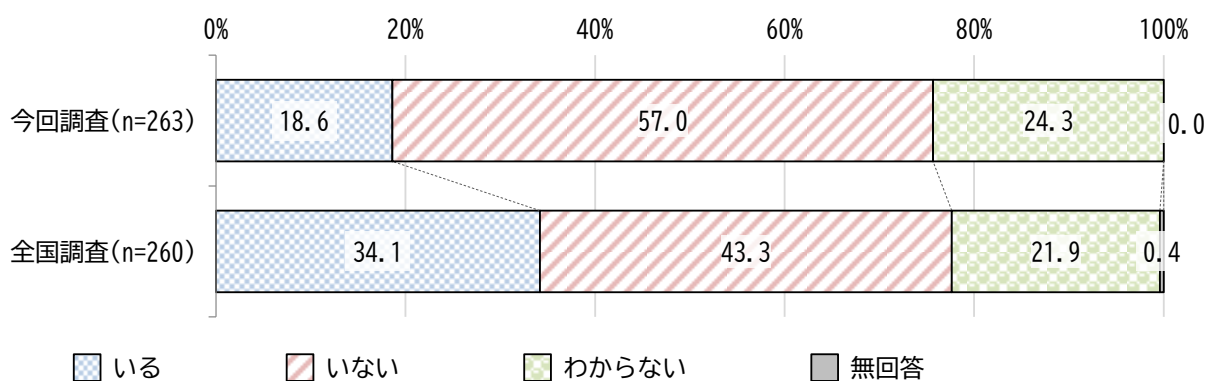
### 3 「ヤングケアラー」の把握方法

◇「ヤングケアラー」を「把握している」と回答した学校に、把握方法について聞いたところ、「特定のツールはないが、できるだけ『ヤングケアラー』の視点を持って検討・対応している」が最も高く 89.1%となっており、全国調査と同様の結果となっている。



### 4 「ヤングケアラー」の定義に該当すると思われる子どもの有無

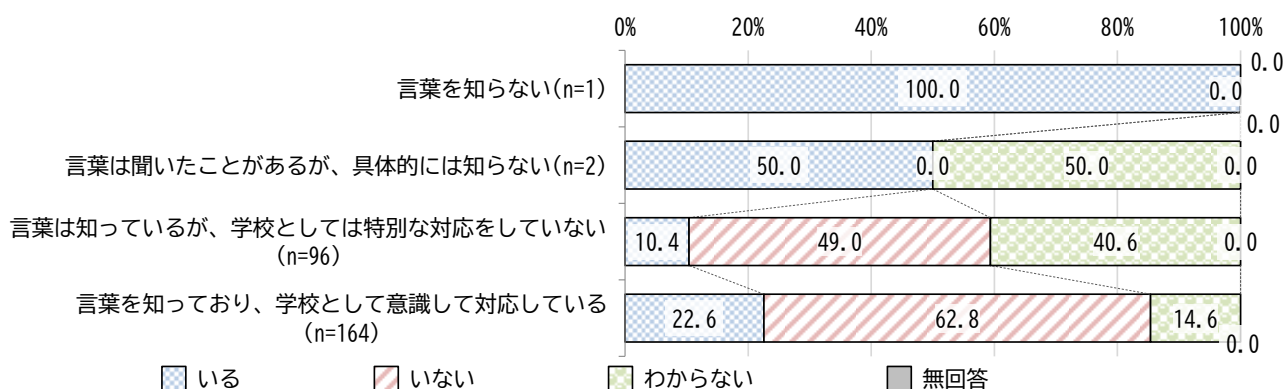
◇「ヤングケアラー」の定義と状態像を示したうえで、該当すると思われる子どもの有無について聞いたところ、「いる」が 18.6%となっており、全国調査（国：34.1%）と比べると 15.5ポイント低くなっている。



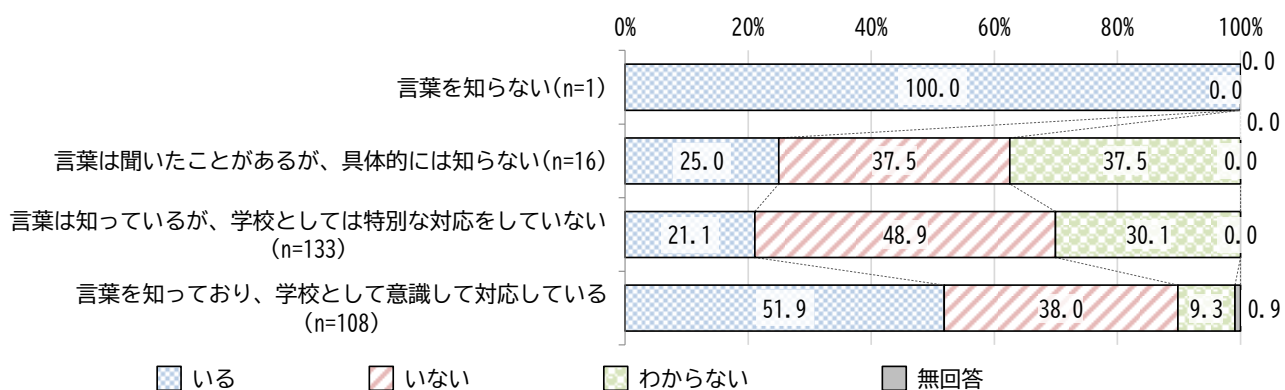
## (参考)「ヤングケアラー」の概念の認識×ヤングケアラーの有無

◇「ヤングケアラー」の概念についての認識別にヤングケアラーと思われる子どもの有無を確認すると、「言葉を知っており、学校として意識して対応している」と回答した学校のうち、22.6%が「ヤングケアラーが『いる』』との回答しているのに対し、全国調査では51.9%と5割を超えている。また、「言葉は知っているが、学校としては特別な対応をしていない」と回答した学校においても、1割程度「いる」との回答がみられ、全国調査と同様の結果となっている。

### 今回調査



### 全国調査

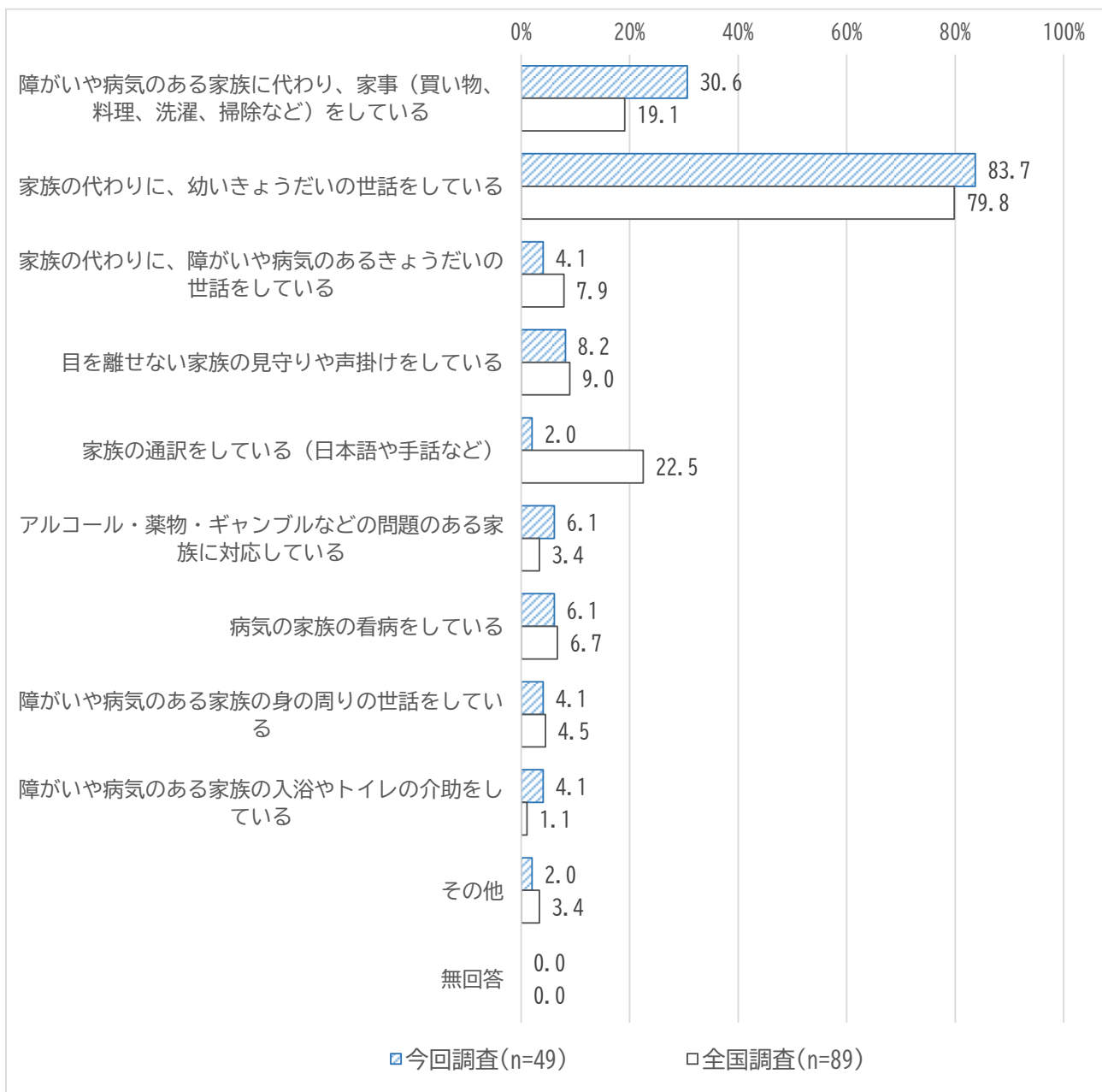




## 5 「ヤングケアラー」の状況について

ヤングケアラーの定義に該当すると思われる子どもが「いる」と回答した学校に、ヤングケアラーと思われる子どもの状況について聞いたところ、結果は以下のとおりである。

◇ヤングケアラーと思われる子どもの状況について聞いたところ、「家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている」が最も高く 83.7%となっており、全国調査と同様の結果となっている。また、一方で「家族の通訳をしている（日本語や手話など）」については県では 2.0%であり、全国調査では 22.5%と 20 ポイント以上低くなっている。



(参考)「ヤングケアラー」の概念の認識×ヤングケアラーと思われる子どもの状況

◇「ヤングケアラー」の概念の認識別に、ヤングケアラーと思われる子どもの状況を見ると、「家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている」が最も多い傾向は変わらないものの、「言葉を知っており、学校として意識して対応している」と回答した学校の方が、より多様な子どもの状況を把握している傾向にあると考えられる。全国調査でも同様の結果となっているが、全国調査では「言葉は知っているが、学校としては特別な対応をしていない」と回答した学校も状況を把握していることがうかがえる。

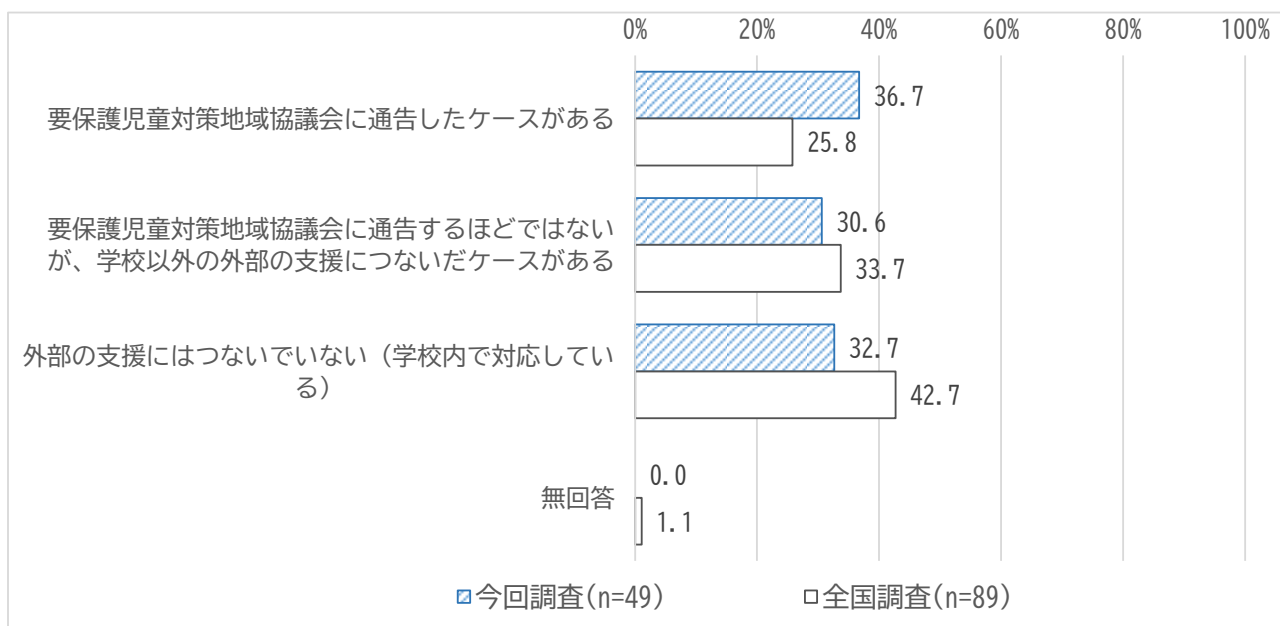
(%)

		濯り、掃除など)	障がいや病気の物、料理、洗濯	い家族の世話をしている、幼いきょうだ	いるあるきょうだいの世話をしている	家族の代わりに、障がいや病て	掛けをしない家族の見守りや声	目を離せない家族の見守りや声	や家族の通訳をしている(日本語	てなどの問題のある家族に対応し	アルコール・薬物・ギャンブル	病気の家族の看病をしている	周りがいや病気の家族の身の	障がいや病気の介助をしている	や障がいや病気の家族の入浴	その他
今 回 調 査	言葉知らない(n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	言葉は聞いたことがあるが、具体的には知らない(n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	言葉は知っているが、学校としては特別な対応をしていない(n=10)	20.0	100.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	言葉を知っており、学校として意識して対応している(n=37)	35.1	78.4	5.4	10.8	0.0	8.1	5.4	5.4	2.7	2.7					
	無回答(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全 国 調 査	言葉知らない(n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	言葉は聞いたことがあるが、具体的には知らない(n=4)	50.0	75.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	言葉は知っているが、学校としては特別な対応をしていない(n=28)	18.5	85.2	3.7	3.7	33.3	7.4	11.1	3.7	0.0	0.0					
	言葉を知っており、学校として意識して対応している(n=56)	17.9	76.8	8.9	12.5	12.5	1.8	5.4	5.4	1.8	5.4					
	無回答(n=1)	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※「言葉を知らない」、「言葉は聞いたことがあるが、具体的に知らない」、「無回答」は回答数が少ないため参考値。

## 6 具体的に学校以外の外部の支援につないだケースがあるか

- ◇ヤングケアラーと思われる子どもについて、学校以外の外部の支援につないだケースがあるか聞いたところ、「要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある」が 36.7%と最も高くなっており、全国調査（国：25.8%）より 10.9 ポイント高くなっている。次いで、「外部の支援にはつないでいない（学校内で対応している）」が 32.7%、「要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある」が 30.6%となっている。
- ◇全国調査では「外部の支援にはつないでいない（学校内で対応している）」の割合が 42.7%と最も高く、（県：32.7%）より 10 ポイント高くなっている。



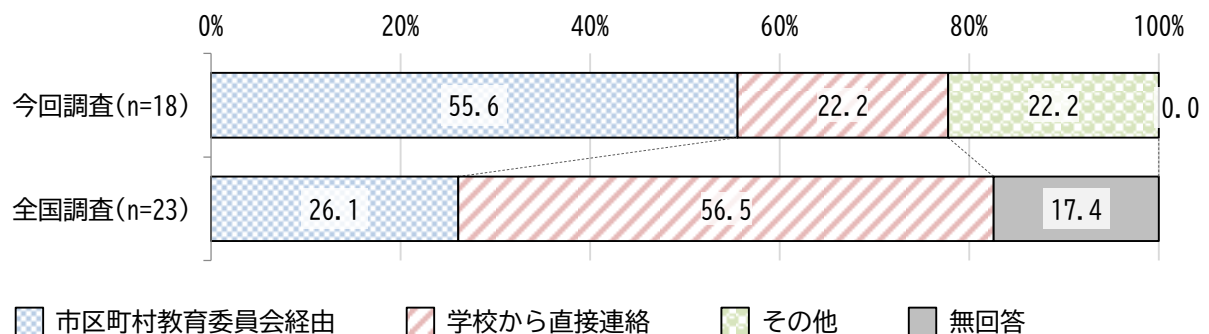
## 7 要保護児童対策地域協議会に通告した直近のケース（個別事例）

### ■ヤングケアラーと気づいた理由・きっかけ

- ◇服装。
- ◇家庭訪問。
- ◇市区町村の要保護児童対策地域協議会の調整機関からの連絡。
- ◇欠席日数が多い。
- ◇本人との会話や町の保健師からの情報から。
- ◇欠席が多い。身なりが整っていない。保護者との連絡がとれない。
- ◇朝食をとれていない。服装に変化がない。
- ◇SSW などとの連携から。

### ■要保護児童対策地域協議会への通告ルート

- ◇「市区町村教育委員会経由」が 55.6%、「学校から直接連絡」が 22.2%、「その他」が 22.2% となっている。全国調査では「学校から直接連絡」の割合が高くなっている。



### ■学校で行った支援（要対協との連携も含めて）

- ◇SSW による家庭訪問、担任による定期的な家庭訪問。
- ◇本人に対するカウンセリングの実施、ケース会議による情報共有。
- ◇衣服や食事の確認。持ち物の確認。担任や子育て支援課からの児童への定期的な面談。
- ◇教職員による支援体制の構築。
- ◇S C の定期的な利用。
- ◇定期的なスクールカウンセラーの活用、個別の教育相談。
- ◇登校支援。学力保障。標準服、体育服の支援。SSW との関係づくり。
- ◇見守り。給食を多くする。関係機関との連携。

## ■支援した結果、子どもへの変化

- ◇生活環境の改善。
- ◇欠席が少なくなってきた。
- ◇カウンセリング等で家庭のことを話せるようになってきた。
- ◇ストレスの言語化でやや気持ちが整理でき落ち着いた。
- ◇話すことで心の安定につながっている。
- ◇状況にあまり変化はない。
- ◇様々な手立てを工夫し、登校後は安心して過ごすことができている。
- ◇体調が良くなることもある。

## 8 要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだ直近のケース（個別事例）

### ■ヤングケアラーと気づいた理由・きっかけ

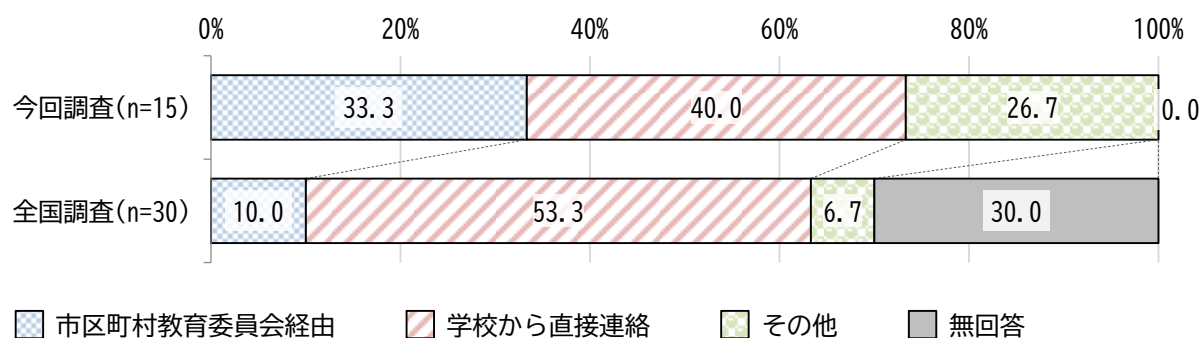
- ◇sswからの情報提供。
- ◇欠席がちで連絡しても保護者が外出していて携帯電話に出ない。学校で寝たがる。
- ◇本人の訴え、外部機関からの情報提供。
- ◇祖母からの情報提供。
- ◇2年生から4年生まで不登校になってしまったこと。低学年の時から、弟の世話をするために学校を2年間ほど休んでいたという話を聞いた。

### ■つないだ機関

- ◇要保護児童対策地域協議会
- ◇福祉事務所
- ◇病院、適応教室
- ◇児童相談所

### ■外部機関へのつなぎ方

「市区町村教育委員会経由」が33.3%、「学校から直接連絡」が40.0%、「その他」が26.7%となっている。全国調査と比べると「市区町村教育委員会経由」の割合が23.3ポイント高くなっている。



## ■学校で行った支援（つなぎ先との連携も含めて）

- ◇教育相談やケース会議を開催し、本人の困り感を聞き取り、教育委員会へつないだ。
- ◇保護者の相談体制を設定。
- ◇本児の話をよく聞くこと。頑張っていることを認めて誉めること。SCにもつなぎ、心のケアをしていただいた。
- ◇子どもの様子を全職員に周知し、標準服や体操服等の洗濯、SCへのカウンセリングの依頼、定期的にケース会議を開き、情報共有を行っている。
- ◇家庭状況の聞き取りのために、SCに情報提供したうえで話をしてもらった。管理職や担任など教員に共有し、方策を考えた。
- ◇SSWやSC等の面談を数多くいれ、児童相談所からの聞き取りを行った。
- ◇学校が終わってもなかなか帰りたがらずに学校に残ることがあったので、自分から帰るまで見守っていた。

## ■支援した結果、子どもへの変化

- ◇登校する時間が早くなった。提出物をきちんと提出できるようになってきた。
- ◇遅刻等が減った。自分の考えを家族等に言えるようになった。
- ◇表情が明るくなった。欠席が減った。学習等教育活動に意欲的になった。
- ◇登校が増えてきた。
- ◇自分から相談できるようになった。
- ◇大きな変化、改善は見られない。
- ◇欠席や遅刻が減り、身だしなみも少しずつ整いはじめている。
- ◇話ができる場所はたくさんあることを知り、話してみようという気持ちになった。
- ◇学校生活を楽しく送りつつある。
- ◇話す機会が増え、安心して学校生活を送れるようになった。
- ◇周りへ対する言動が改善されてきた。

## 9 外部の支援につながらなかった理由

---

■外部の支援につながらなかったケースについて、つながらなかった理由の自由回答は以下のとおりである。

- ◇学校生活に支障をきたしていないため。
- ◇実態の把握がまだ不十分で、ヤングケアラーであるという断定ができないため。
- ◇保護者とつながり、対応している。
- ◇実態を正確に把握していないから。
- ◇親戚のサポートがあるため。
- ◇児童にとって、過度な負担とはなっていないと判断しているため。
- ◇現在状況を把握し、機関とつなぐことを検討中のため。
- ◇家庭と連携を図りながら、少しずつ良好な方向に向かっているため。

## 10 外部の支援につながらなかったケースの対応方法

---

■外部の支援につながらなかったケースについて、対応方法の自由回答は以下のとおりである。

- ◇児童の言動に注意し気になることがあれば職員で共有している。学校への様々な提出物等について個別に保護者対応を行う。
- ◇保護者とつながり、対応している。
- ◇こまめな健康観察と、児童からの聞き取り、家庭への連絡をしながら様子を見ている。
- ◇担任、管理職、民生児童委員と情報を共有している。
- ◇本人の状況について定期的に聞き取り、担任や関係職員と情報を共有している。また対応が必要な場合には親戚の方を含めて対応をお願いしている。
- ◇保健室来室時に家庭での様子など聞いたりしている。
- ◇子どもたちや母親と話を積み重ねる。
- ◇担任が学校での状況を見取り、適宜家庭と連絡をとったり、必要に応じて校内で対応を考えたりしている。



## 11 ヤングケアラーの把握や支援にあたって工夫していること

■ヤングケアラーの把握や支援にあたって工夫していることについては、以下のような回答があった。

- ◇家庭訪問や保護者面談において家庭の様子を把握すること、児童の様子を注意深く観察する。
- ◇様々な機関と連携して、当該児童や家族から聞き取った情報を共有して対策を考えていること。
- ◇子どもの様子を職員で共有する・保護者の様子も共有する・関係機関と情報を共有する。
- ◇困ったことがあった時の相談相手や連絡方法の確認。
- ◇実態把握。
- ◇関係機関と密に連携し情報を集めることと、児童の置かれた状況で精一杯頑張っている姿を見守り支えること。
- ◇本人の話を聞いたりして状況を把握し、該当児童本人が安心して家庭生活や学校生活を送ることができるようにすること。
- ◇民生児童委員（地区担当）との情報共有により実態把握に努めている。
- ◇iPad で学習支援を行う。
- ◇保護者との良好な関係づくり。
- ◇子どもの問題ではないということ。包括的な支援をすること。
- ◇相談しやすい関係づくり。子どもの頑張りを認め、頑張りすぎていないかを注意して様子を見守っている。様々な支援に対して、対象児童が気にしすぎないように配慮している。
- ◇見逃すことがないように、組織で対応している。
- ◇生活面など。学校でできることは行う。心に寄り添う。
- ◇他の児童や保護者に気づかれないように支援している。
- ◇SSW・児童家庭支援センター・児童相談所・市議に入ってもらい、いろいろな方向からアプローチをしてもらっている。

## 12 ヤングケアラーの把握や支援にあたって難しいと感じること

■ヤングケアラーの把握や支援にあたって難しいと感じることについては、以下のような回答があった。

- ◇どこまでの状態で支援が必要なのかの線引きが難しい。
- ◇家庭内のことで見えづらく、把握が難しい。必要な支援を提供することが難しい（支援を拒むケース）。
- ◇連携。
- ◇ヤングケアラーの可能性のある児童に関して、特に家事やきょうだいの世話などはお手伝いとして認識している場合もあり、本人の困り感を聞き出すのが難しい場合があること。
- ◇家庭への働きかけ。
- ◇家庭の状況が保護者と本人で食い違いがある事。
- ◇肝心なことを子どもが答えない。言わないように言わされている可能性がある場合。
- ◇ヤングケアラーか否かの状況判断。
- ◇保護者にも本人にもヤングケアラーの自覚がないが、子どもは苦しい状況にあること。
- ◇家庭のことなので、踏み込みにくい場合がある。
- ◇急激に良い方向へ進むわけではないため、継続的に様々な機関と連携していくこと。
- ◇児童自身がヤングケアラーであることをわかっていないこと、またその家庭における児童の役割が児童自身のアイデンティティに深く関わっているため取り除くことができないこと。
- ◇学校は日常的に子どもと接しており、変化に気づきやすいが、負い目を感じたり、警戒心を持たれたりする保護者も多く、内面的なことを聞きにくい。
- ◇保護者の意識のずれ、他者から見ればお手伝いレベルでないこともお手伝いと考えている。
- ◇児童相談所に通告したため、保護者が学校を嫌っている。学校を拒否するため連携がとりにくい。

### 13 ヤングケアラーと思われる子どもを把握するためのチェック項目について

■ヤングケアラーと思われる子どもを把握するためのチェック項目に対する意見や変更・追加項目案については以下のとおりである。

#### <問6の選択肢>

<input type="checkbox"/> 学校を休みがちである。 <input type="checkbox"/> 遅刻や早退が多い。 <input type="checkbox"/> 保健室で過ごしていることが多い。 <input type="checkbox"/> 精神的な不安定さがある。 <input type="checkbox"/> 身だしなみが整っていない。 <input type="checkbox"/> 学力が低下している。 <input type="checkbox"/> 宿題や持ち物の忘れ物が多い。	<input type="checkbox"/> 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い。 <input type="checkbox"/> 学校に必要なものを用意してもらえない。 <input type="checkbox"/> 修学旅行や宿泊行事等を欠席する。 <input type="checkbox"/> 校納金が遅れる、未払い。
--	--

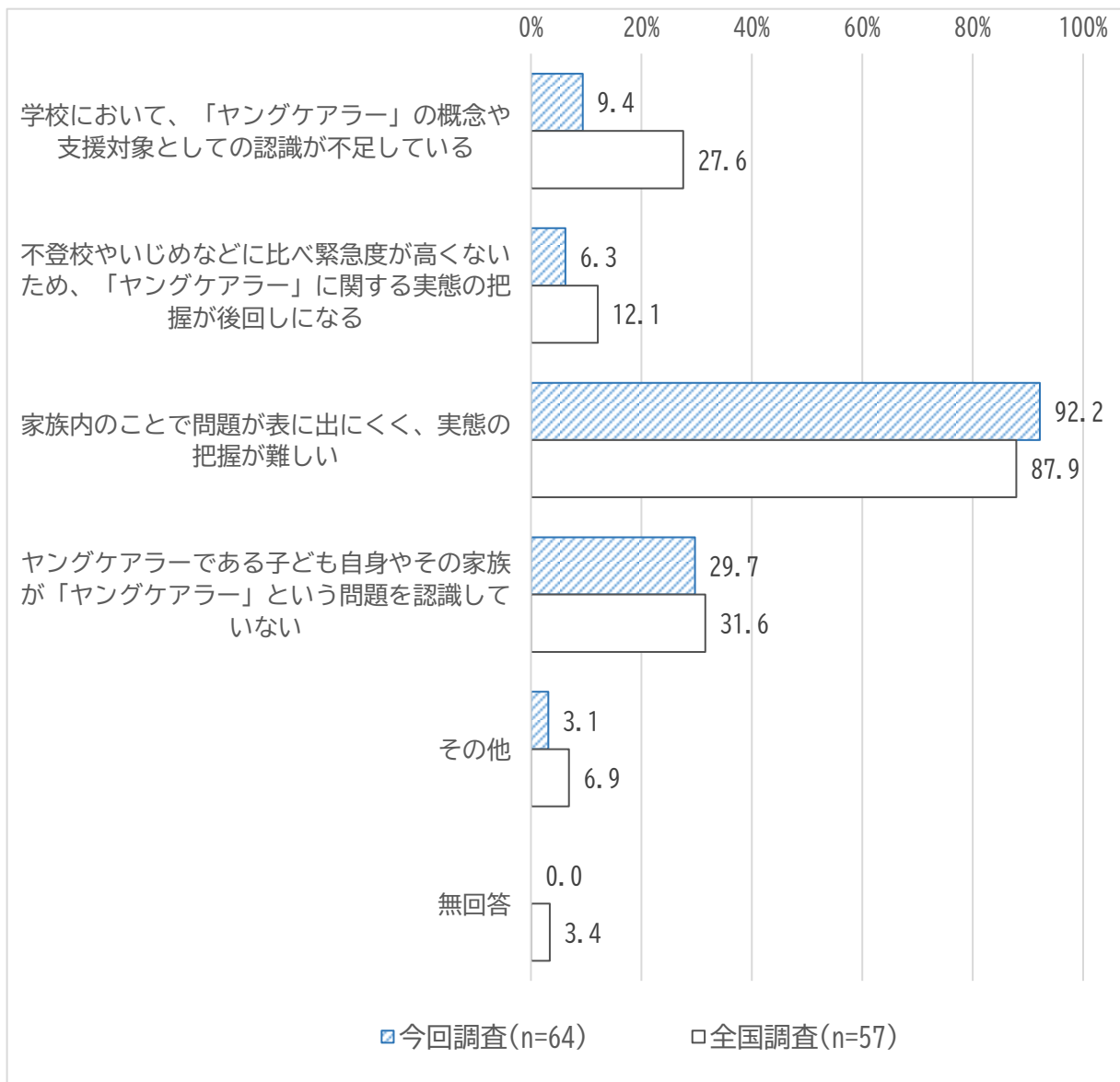
#### ■主な追加項目案

- ◇保護者と連絡がつかないことが多い。
- ◇睡眠がとれているか。食事がとれているか。急激な体重の増減がないか。
- ◇家庭でやらなければならない役割がある。
- ◇家庭内のことをすすんで話そうとしない。
- ◇虐待を受けている子。

## 1.4 ヤングケアラーがいるか分からない理由

◇ヤングケアラーの定義に該当すると思われる子どもがいるか「わからない」と回答した学校に、その理由を聞いたところ、「家族内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい」という回答が92.2%と最も高くなっている。次いで、「『ヤングケアラー』である子ども自身やその家族が『ヤングケアラー』という問題を認識していない」(29.7%)、「学校において、『ヤングケアラー』の概念や支援対象としての認識が不足している」(9.4%)となっており、全国調査と同様の結果となっている。

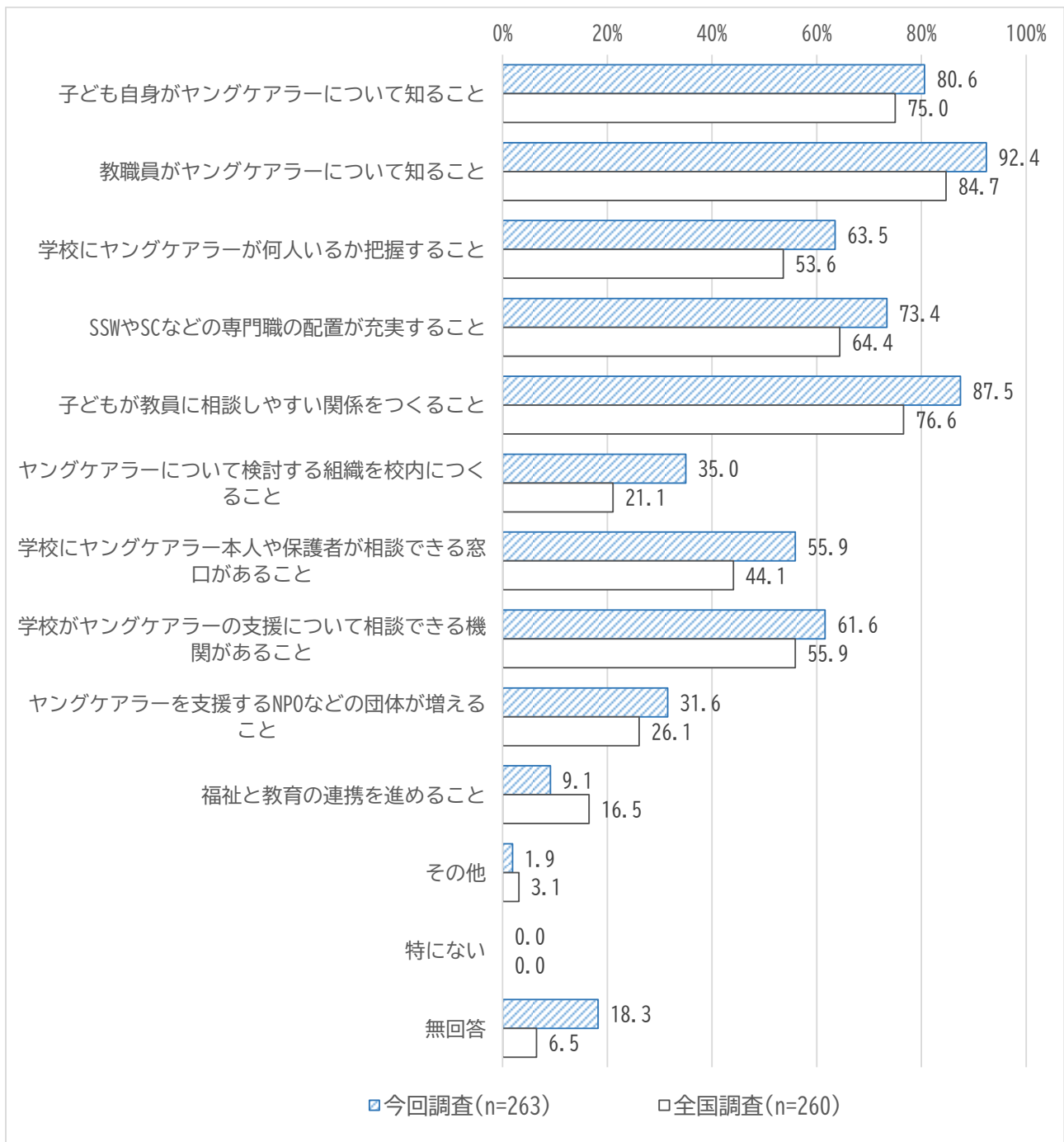
◇全国調査と比べると、「学校において、『ヤングケアラー』の概念や支援対象としての認識が不足している」の割合が9.4%（国：27.6%）となっており、県では18.2ポイント低くなっている。



## 15 ヤングケアラーを支援するために必要だと思うこと

◇ヤングケアラーを支援するために必要だと思うことを聞いたところ、「教職員がヤングケアラーについて知ること」が92.4%と最も高く、次いで、「子どもが教員に相談しやすい関係をつくること」(87.5%)、「子ども自身がヤングケアラーについて知ること」(80.6%)となっており、全国調査と同様の結果となっている。

◇全国調査と比べると、「子どもが教員に相談しやすい関係をつくること」、「ヤングケアラーについて検討する組織を校内につくること」、「学校にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口があること」の割合が全国調査より10ポイント以上高くなっている。



## 16 ヤングケアラーに関する自由意見

- ◇職員がアンテナを広げ、子供の様子や家庭、地域からの情報をもとに、子供の実態把握に努めることが第一だと思います。ヤングケアラーの概念を職員でしっかり共有し、子供の実態把握に努めたいと思います。
- ◇学校では見えにくい、把握しづらい問題であるため、地域の方々や専門機関、行政との連携を密にして取り組みを進めたい。
- ◇閉鎖された家庭の環境の中だけの判断では、気づくことも難しいと考える。学校ができることは自分自身がヤングケアラーであるかどうかを判断できる知識を持たせることと、子どもたちの助けの声を受け取ることができる環境をつくっていくことであると考えます。また、関係機関との連携のシステムをあらかじめ明確にしておくことも大切であると考えます。
- ◇小学校の場合、家庭支援に担当が関わる比重がとても多くなっている。専門機関やサポート支援の充実が必要だと思う。
- ◇ヤングケアラーについては、内容を把握していない保護者が多い。他の家庭と比較できる状況も少なく、自身の経験で子供にもそうさせている状況がある。これを説明できるまたは指導できる機関が必要だと思います。
- ◇学校現場が対応してケアして…みたいなことを求められると、本当に業務が多すぎて対応が難しい。気づくことはできるかもしれないので、その後の対応をしてくれる機関に繋ぐことはできると思う。
- ◇自身がヤングケアラーだという自覚を持つことは難しい。家族のためにできることをするのが当たり前という感覚かもしれない。だからこそ、知ることが大切である。自覚したら、それを相談できる場所が必要である。学校が知った場合、それを相談する機関があるとありがたい。
- ◇家庭（教育）への踏み込みは学校では限界があるので、福祉部局の危機意識と積極的な介入がなければ解決につながらない。今後ヤングケアラーは増えると思われる。人的配置や専門性の向上など、対応に耐えうる体制を広い視野で整えていく必要があるのではないか。
- ◇行政機関に相談しやすい窓口の体制づくり、支援体制を整える必要があるように思う。
- ◇子どもが子どもらしく生活できる社会になるように社会全体で関わっていく必要がある。
- ◇現在、本校でヤングケアラーの可能性のある児童は確認できていませんが、今後、教職員や児童が「ヤングケアラー」について知っておくことは重要になってくると認識しています。
- ◇民生児童委員と幼保小中学校との連携が必要と思われる。
- ◇子どもが、本来背負うべきでない家庭のことをしなくていいように、福祉行政が家庭や子ども自身への支援を充実させていく必要がある。
- ◇家庭内の問題であり、保護者がその責任を果たせず、子どもが家庭を支えなければならない状況を、外部の誰がどのように判断し、そして、どのように対応するのかが、明確になっていない。とても扱いづらい問題であり、保護者の責任能力の欠如が原因は明らかと考えるが、その問題は、これから増えていくことであろうことや、県や市町村が対応していかなければならないことだと思う。

- ◇ヤングケアラーについては、把握するのが難しい。相談しやすい体制を整えることで対応できるかもしれない。一人でも多くの子供を救いたい。
- ◇実態把握をしなければならない。
- ◇『ヤングケアラー』である子どもたちは、自分の権利が搾取されることよりも家族の一員として役に立つことを大切に考えている。そのため家庭の理解や援助を受けられずにこれまで問題が放っておかれていたのだと思う。子どもの自立を目指すならばその家族のケアを担ってくれる福祉的社会資源をもっと増やし、そこにつなげていく人材を確保・育成することが大切だと思う。子どもの背負わされているものは大きい。
- ◇ヤングケアラーは児童虐待よりもさらに周りに見えにくいので、どうやって発見していくかが課題だと思う。
- ◇疑わしい状況があっても学校から確認するのはとても困難だと思われる。プライバシーに関わる内容で、学校の一方的な見方で判断できないし、家庭に踏み込んで確認することもできない。疑わしいと感じても、学校側の主観的な判断ではないと言い切れない。発見については、大変ハードルが高いと感じている。
- ◇社会的にヤングケアラーについての認識を深める必要性を感じる。また、教職員が、児童生徒の言動から、ヤングケアラーを察知できるようにならないと考える。今後、ヤングケアラーに関する職員研修等を推進していきたい。
- ◇家庭の問題に対応できる専門のスタッフを配置したり、職員の人数を増やしたりできれば、細やかな対応ができるが、現状では難しい。
- ◇ヤングケアラーの問題は、その背景に家庭の問題や不登校などと重なっていることが多いと考えられるため、不登校や要保護児童の対応を丁寧に行っていかなければならないと思います。ただ、学校の支援には限界があるので、各機関との連携が今まで以上に重要だと感じています。
- ◇今後、ヤングケアラーが増加してくることが予想される。と同時に、「誰一人、取り残さない」という視点で、学力保障も重要になってくる。学校だけでは、対応ができない面が出てくると思われる。そこで、市教委、市の福祉関係、関係機関等と連携し、どんな支援をしていけばいいのか、一人一人に応じた計画が必要になってくる。そのために、学校全体で研修を行うことも考えていかななくてはならないと考えている。
- ◇テレビなどで情報が出るようになり、世の中に認知され始めたが、実際には把握は難しい。周りが早期に気づき、支援できる体制を整えてほしい。

## (4) 個別事例

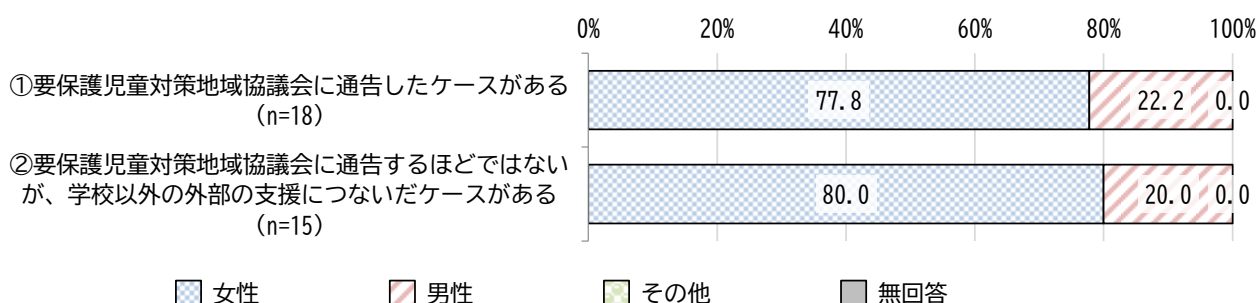
①要保護児童対策地域協議会に通告したケース、②要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースについて、直近のケースを1件ずつ聞いた。結果は以下のとおりである。

### (ア) 性別

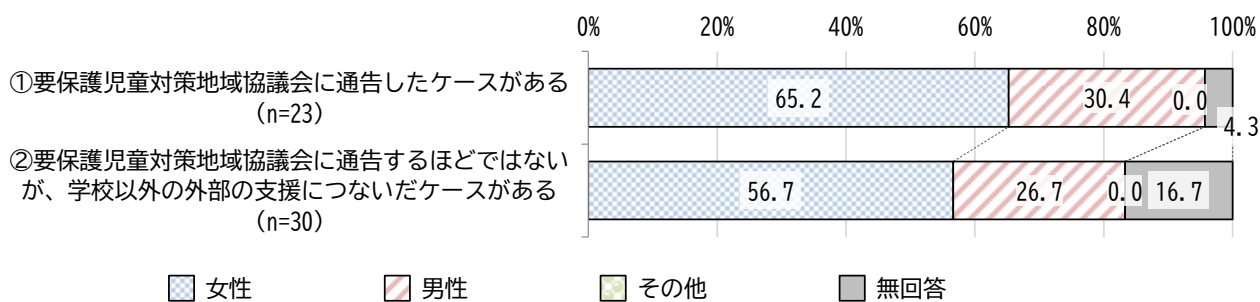
◇①のケースでは、女性の割合が男性よりも高くなっており、全国調査と比べると12.6ポイント高い。

◇②のケースでも、女性の割合が男性よりも高くなっており、全国調査と比べると23.3ポイント高い。

### 今回調査



### 全国調査



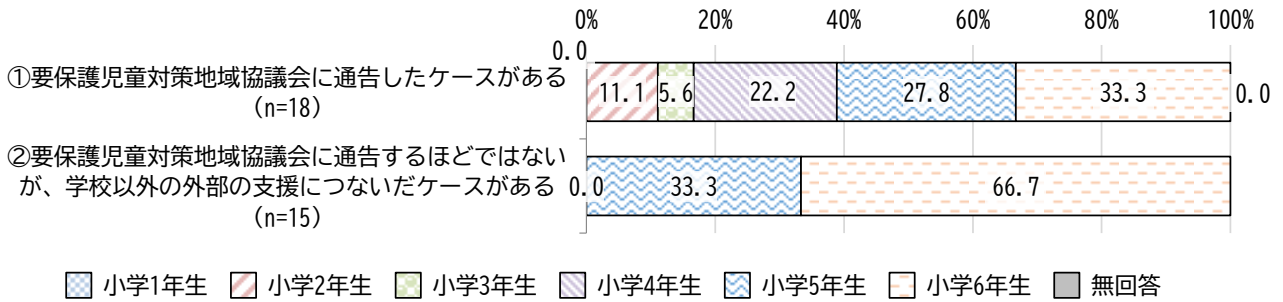


## (イ) 学年

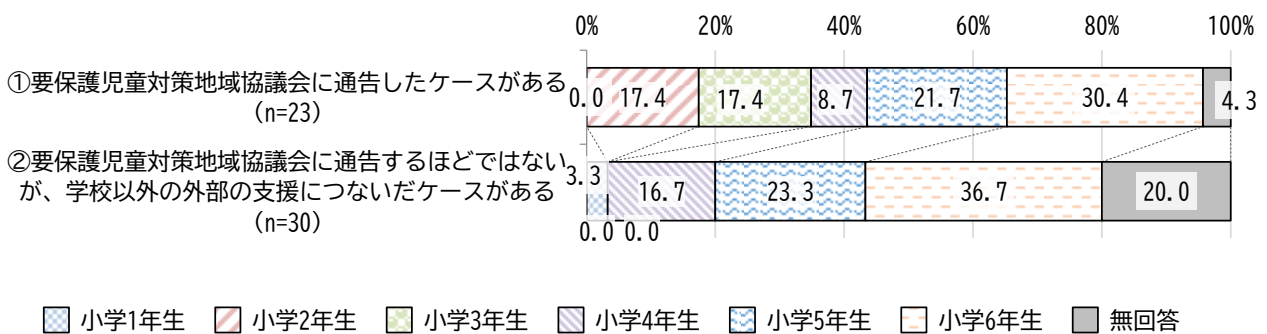
◇①のケースでは、5年生、6年生の割合が他の学年と比べて高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。全国調査と比べると、4年生の割合が高く、2年生、3年生の割合が低い。

◇②のケースでも、5年生、6年生の割合が他の学年と比べて高くなっており、全国調査と比べると、6年生の割合が30ポイントも高い。

### 今回調査



### 全国調査



## (ウ) 学校生活の状況

◇①のケースでは、「精神的な不安定さがある」、「学校を休みがちである」、「身だしなみが整っていない」の割合が高く、特に「精神的な不安定さがある」の割合は全国調査と比べ 35 ポイント高くなっている。

◇②のケースでは、「精神的な不安定さがある」、「遅刻や早退が多い」、「学校を休みがちである」の割合が高く、特に「精神的な不安定さがある」の割合は全国調査と比べ 26.7 ポイント高くなっている。

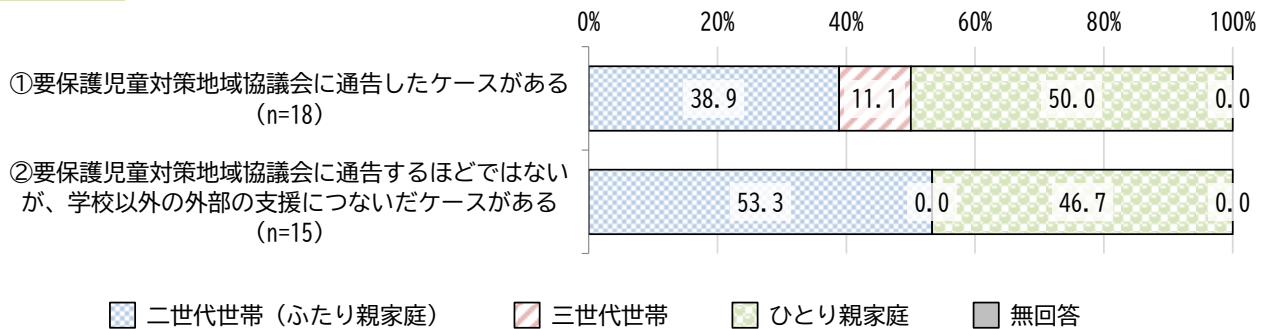
		学校を休みがちである	遅刻や早退が多い	保健室で過ごしていることが多い	精神的な不安定さがある	身だしなみが整っていない	学力が低下している	宿題や持ち物の忘れ物が多い	書類等の提出遅れが多い	保護者の承諾が必要ない学校に必要なものを用意してない	修学旅行や宿泊行事等を欠席する	校納金が遅れる、未払い	その他	無回答
今回調査	①要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある(n=18)	44.4	27.8	11.1	61.1	44.4	16.7	38.9	33.3	27.8	11.1	27.8	16.7	0.0
	②要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある(n=0)	46.7	53.3	26.7	60.0	33.3	13.3	20.0	26.7	6.7	0.0	20.0	0.0	0.0
全国調査	①要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある(n=23)	60.9	47.8	4.3	26.1	30.4	34.8	26.1	30.4	26.1	17.4	17.4	8.7	8.7
	②要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある(n=30)	53.3	56.7	6.7	33.3	26.7	30.0	23.3	16.7	13.3	3.3	6.7	0.0	16.7

## (エ) 家族構成

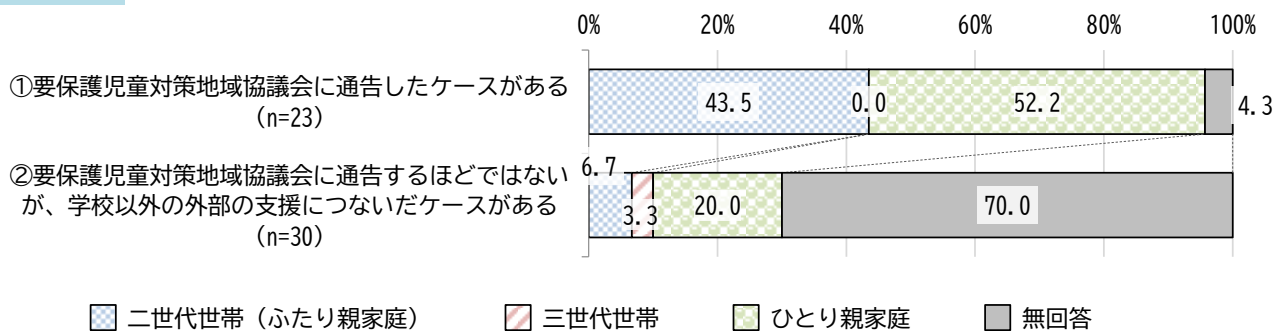
◇①のケースでは、「ひとり親家庭」が50.0%と最も高く、次いで「二世帯世帯（ふたり親家庭）」（38.9%）となっている。「三世帯世帯」が全国調査では0%なのに対し、今回調査では11.1%と高くなっている。

◇②のケースでは、「二世帯世帯（ふたり親家庭）」が53.3%と半数を超えており、「ひとり親世帯」（46.7%）より多くなっている。また、全国調査は「ひとり親家庭」が20.0%と最も高い。

### 今回調査



### 全国調査



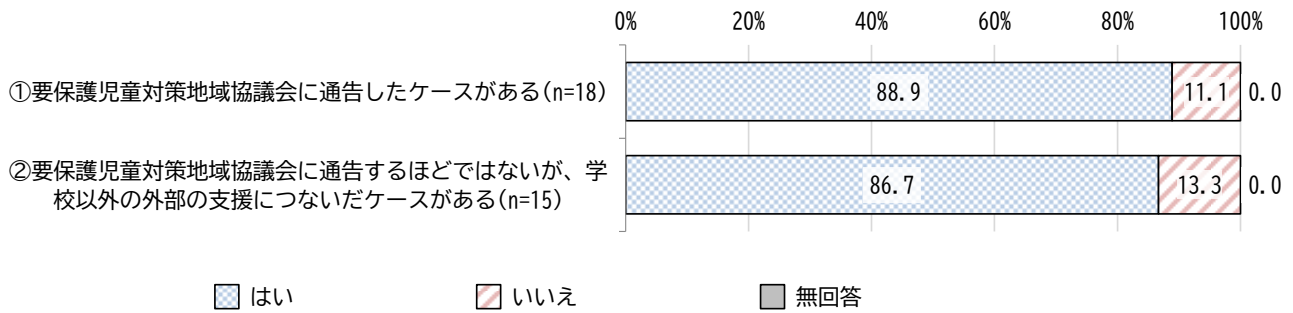
## (オ) 家庭でのケアの状況

### i. ケアの状況の把握

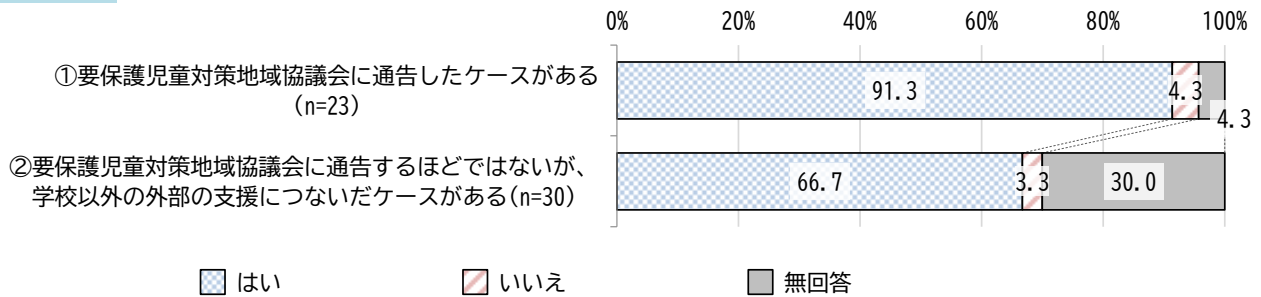
◇①のケースでは、ほとんどがケアの状況を把握しており、全国調査と同様の結果となっている。

◇②のケースでは、ほとんどがケアの状況を把握しており、全国調査と比べ、ケアの状況を把握しているとの回答が20ポイント高くなっている。

### 今回調査



### 全国調査



## ii. ケアを必要としている人

ケアの状況を把握していると回答した学校に、ケアを必要としている人、ケアを必要としている人の状況、ケアの内容を聞いた結果は以下のとおりである。

◇①のケースでは、「きょうだい」の割合が最も高く、次いで「母親」となっており、全国調査と同様の結果となっている。

◇②のケースでは、「母親」の割合が最も高く、全国調査と比べると 31.9 ポイント高くなっている。

		(%)						
		母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他	無回答
今回調査	①要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある(n=16)	56.3	12.5	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0
	②要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある(n=0)	76.9	7.7	0.0	0.0	53.8	0.0	0.0
全国調査	①要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある(n=21)	47.6	4.8	4.8	0.0	61.9	4.8	0.0
	②要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある(n=20)	45.0	0.0	0.0	0.0	55.0	5.0	0.0

### iii. ケアを必要としている人の状況

◇①のケースでは、「若い」が最も高く、全国調査と同様の結果となっている。

◇②のケースでは、「精神疾患」が最も高く、全国調査と比べると 35.9 ポイント高くなっている。

(%)

		高齢 (65歳以上)	若い	要介護 状態 (介護が必要な)	認知症	身体障 がい	知的障 がい	精神疾 患(疑い含む)	依存症 (疑い含む)	精神疾患、 依存症以外 の病 気	日本 語を第 一言語と し ない	その 他	わ か ら な い	無 回 答
今回調査	①要保護児童対策地域協議会に通告した ケースがある(n=16)	6.3	68.8	6.3	0.0	0.0	6.3	18.8	12.5	12.5	-	0.0	12.5	0.0
	②要保護児童対策地域協議会に通告するほ どではないが、学校以外の外部の支援につ ないだケースがある(n=0)	0.0	30.8	0.0	0.0	0.0	7.7	69.2	0.0	7.7	-	0.0	7.7	0.0
全国調査	①要保護児童対策地域協議会に通告した ケースがある(n=21)	4.8	61.9	0.0	4.8	0.0	14.3	33.3	4.8	9.5	0.0	4.8	0.0	0.0
	②要保護児童対策地域協議会に通告するほ どではないが、学校以外の外部の支援につ ないだケースがある(n=20)	0.0	50.0	10.0	0.0	15.0	15.0	25.0	5.0	0.0	5.0	5.0	0.0	5.0

#### iv. ケアの内容

◇①のケースでは、「きょうだいの世話や保育所への送迎など」が最も高く、全国調査と比べると41.4ポイント高くなっている。

◇②のケースでは、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」が最も高く、全国調査と比べると44.2ポイント高くなっている。

(%)

		家事（食 除、洗濯）	きょうだいの 保育所への 送迎など	身体的な介 トイレのお 世話など	外出の付き 物、散歩な ど	通院の付き 添い	感情面のサ ポーター（愚 痴を聞く、 話し相手に なるなど）	見守り	通訳（日本 語や手話な ど）	金銭管理	薬の管理	その他	わからない	無回答
今回調査	①要保護児童対策地域協議会に通告した ケースがある(n=16)	56.3	93.8	12.5	0.0	0.0	18.8	31.3	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	②要保護児童対策地域協議会に通告するほ どではないが、学校以外の外部の支援につ ないだケースがある(n=0)	84.6	53.8	0.0	0.0	0.0	30.8	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
全国調査	①要保護児童対策地域協議会に通告した ケースがある(n=21)	52.4	52.4	0.0	9.5	4.8	23.8	38.1	0.0	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0
	②要保護児童対策地域協議会に通告するほ どではないが、学校以外の外部の支援につ ないだケースがある(n=20)	45.0	45.0	10.0	5.0	5.0	20.0	30.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0

v. (クロス分析) ケアを必要としている人×ケアを必要としている人の状況

※n数が少ないため、割合(%)ではなく実数で記す。

①要対協通告ケース

◇n数が少ないことに留意が必要だが、世話を必要としている人が「母親または父親または両親」の場合、「依存症」の回答が多くなっており、「きょうだい」を世話している場合には全ケース「若い」という回答となっている。

◇全国調査では、世話を必要としている人が「母親または父親または両親」の場合、「精神疾患」の回答が多くなっている。

		調査数 (n=)	高齢 (65歳以上)	若い	要介護 (介護が必要な状態)	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患 (疑い含む)	依存症 (疑い含む)	精神疾患、依存症以外の病気	日本語を第一言語としない	その他	わからない
今回調査	母親または父親または両親	4	1	0	1	0	0	0	0	2	1	0	0	1
	きょうだい	6	0	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	母親または父親または両親・きょうだい	6	0	5	0	0	0	0	3	0	1	0	0	1
	祖父母・きょうだい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全国調査	母親または父親または両親	8	1	0	0	0	0	2	6	1	1	0	0	0
	きょうだい	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	母親または父親または両親・きょうだい	3	0	3	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0
	祖父母・きょうだい	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0



②学校以外の外部の支援につないだケース

- ◇n数が少ないことに留意が必要だが、世話を必要としている人が「母親」の場合、「精神疾患」との回答が多くなっており、「きょうだい」を世話している場合には「幼い」という回答が多くなっている。
- ◇全国調査では、世話を必要としている人が「母親」の場合、「精神疾患」、「要介護」との回答が複数ある。

		調査数 (n=)	高齢 (65歳以上)	幼い	要介護 (介護が必要な状態)	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患 (疑い含む)	依存症 (疑い含む)	精神疾患、依存症以外の病	日本語を第一言語としない	その他	わからない
今回調査	母親	5	0	0	0	0	0	0	5	0	1	0	0	0
	きょうだい	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	母親・きょうだい	4	0	1	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0
	その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
全国調査	母親	8	0	0	2	0	1	1	3	1	0	1	1	0
	きょうだい	10	0	8	0	0	2	2	1	0	0	0	0	0
	母親・きょうだい	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	その他	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## vi. (クロス分析) ケアを必要としている人×ケアの内容

※ n 数が少ないため、割合 (%) ではなく実数で記す。

### ①要対協通告ケース

◇ n 数が少ないことに留意が必要だが、世話を必要としている人が「母親または父親または両親」の場合、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「きょうだいの世話や保育所等への送迎など」、「感情面のサポート（愚痴を聞く、話合いになるなど）」との回答が多い傾向にある。「きょうだい」を世話している場合には「きょうだいの世話や保育所等への送迎など」という回答割合が高くなっている。

◇ 全国調査では、世話を必要としている人が「母親または父親または両親」の場合、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「感情面のサポート（愚痴を聞く、話合いになるなど）」、「見守り」との回答が多い傾向にある。

		調査数 (n=)	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）	外出の付き添い（買い物、散歩など）	通院の付き添い	感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	その他	わからない
今回調査	母親または父親または両親	4	2	3	1	0	0	2	1	0	1	0	0	0
	きょうだい	6	3	6	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0
	母親または父親または両親・きょうだい	6	4	6	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	祖父母・きょうだい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全国調査	母親または父親または両親	8	5	1	0	1	1	5	4	0	1	1	0	0
	きょうだい	9	3	7	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	母親または父親または両親・きょうだい	3	2	3	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0
	祖父母・きょうだい	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

②学校以外の外部の支援につないだケース

◇n数が少ないことに留意が必要だが、世話を必要としている人が「母親」の場合、「家事」との回答が多くなっており、「きょうだい」を世話している場合には「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「きょうだいの世話や保育所等への送迎など」、「見守り」という回答が多い傾向にある。

◇全国調査では、世話を必要としている人が「母親」の場合、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「感情面のサポート（愚痴を聞く、話し合いになるなど）」との回答が多い傾向にある。「きょうだい」を世話している場合には「きょうだいの世話や保育所等への送迎など」という回答が多くなっている。

		調査数（n＝）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）	外出の付き添い（買い物、散歩など）	通院の付き添い	感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	その他	わからない
今回調査	母親	5	5	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	きょうだい	3	2	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	母親・きょうだい	4	3	3	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
	その他	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
全国調査	母親	8	4	0	1	0	1	4	2	1	0	0	0	0
	きょうだい	10	4	8	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0
	母親・きょうだい	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

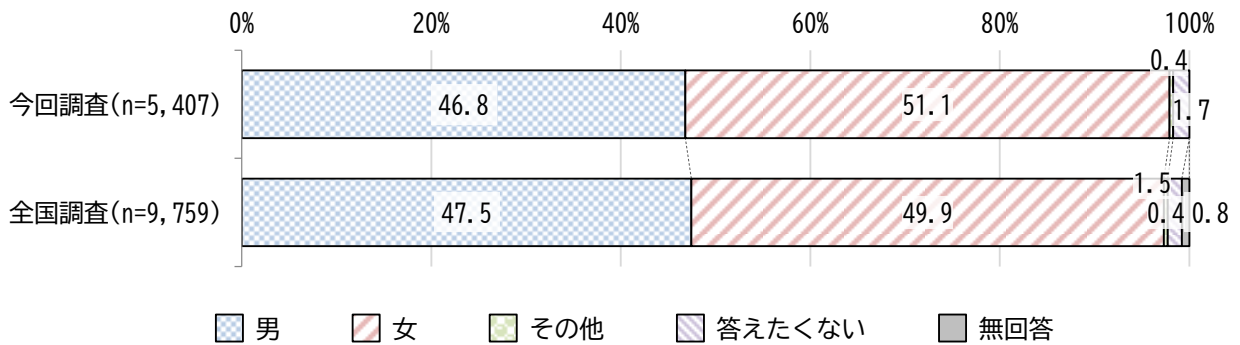


## 第3章 小学生の生活についてのアンケート 調査結果

## (I) 基本情報

### 1 性別

◇「男性」が46.8%、「女性」が51.1%、「その他」が0.4%、「答えたくない」が1.7%となっている。



### 2 住んでいる地域

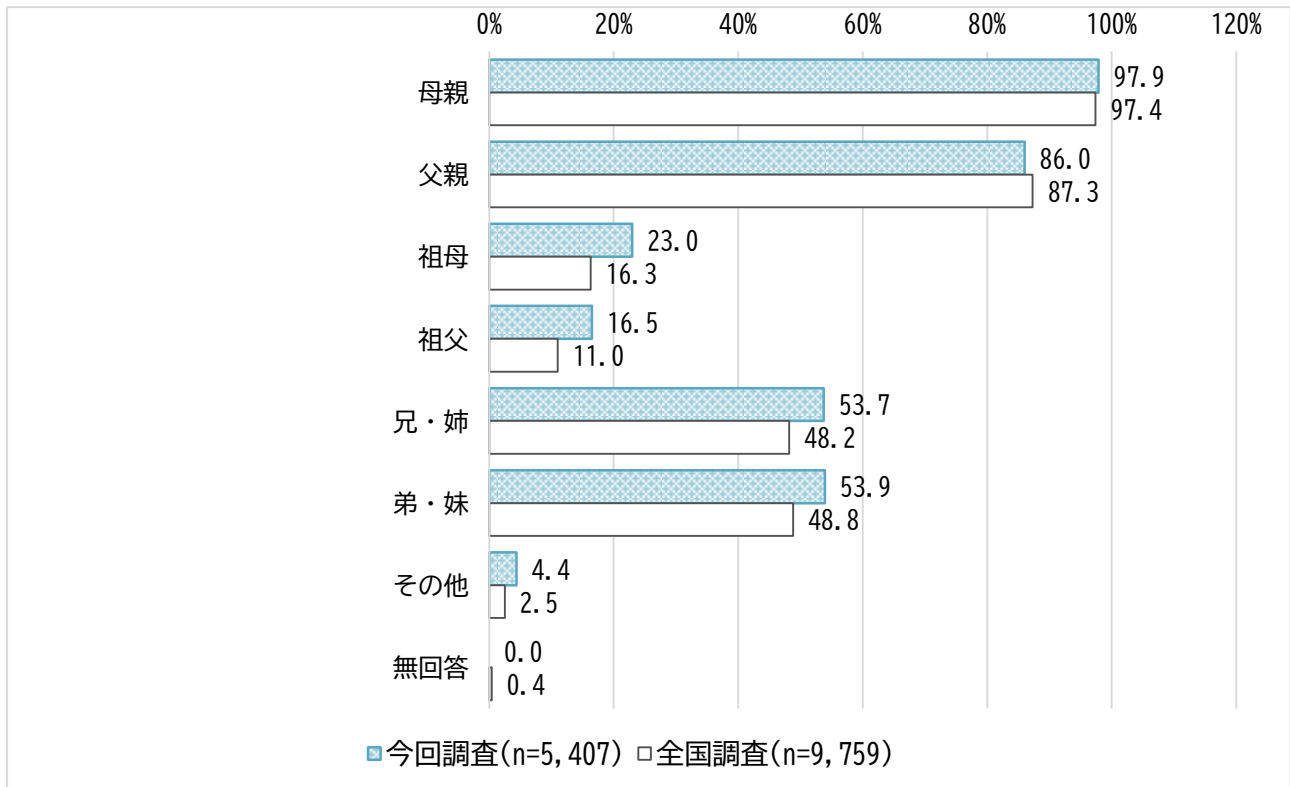
◇住んでいる地域については以下のとおりである。

(上段：人 下段：%)

	標本数(人)	熊本市	宇城地域	上益城地域	菊池地域	玉名地域	鹿本地域	阿蘇地域
全体(単純集計)	5,407	1,184	44	383	826	739	331	201
		21.9%	0.8%	7.1%	15.3%	13.7%	6.1%	3.7%
		八代地域	芦北地域	球磨地域	天草地域	その他	無回答	
		482	223	527	362	3	102	
		8.9%	4.1%	9.7%	6.7%	0.1%	1.9%	

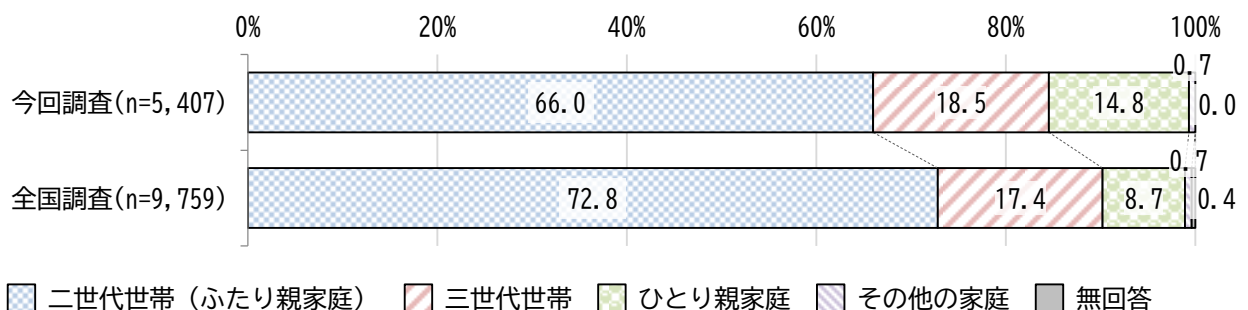
### 3 同居家族

◇同居家族については、「母親」が97.9%と最も高く、次いで「父親」86.0%、「弟・妹」53.9%となっている。



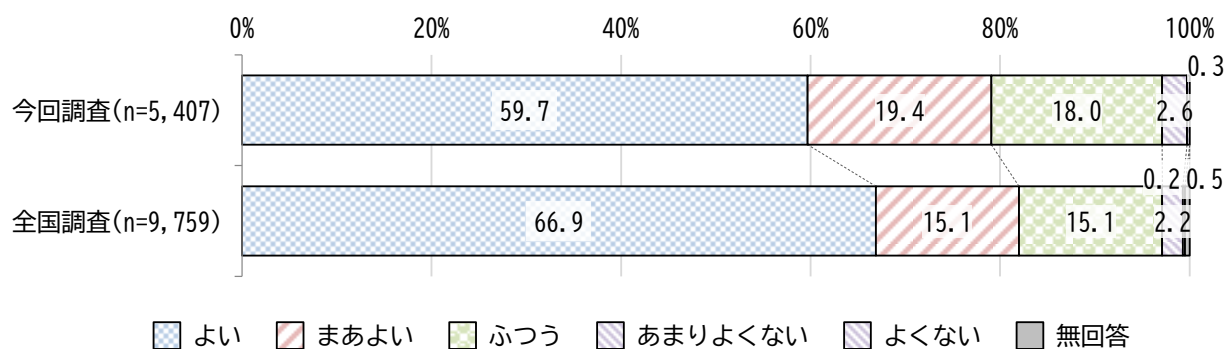
### 4 家族構成

◇家族構成については、「二世帯世帯（ふたり親家庭）」が66.0%と最も高く、次いで「三世帯世帯」18.5%、「ひとり親家庭」14.8%となっている。



## 5 健康状態

◇健康状態については、「よい」が 59.7%と最も高く、次いで「まあよい」19.4%、「ふつう」18.0%となっている。

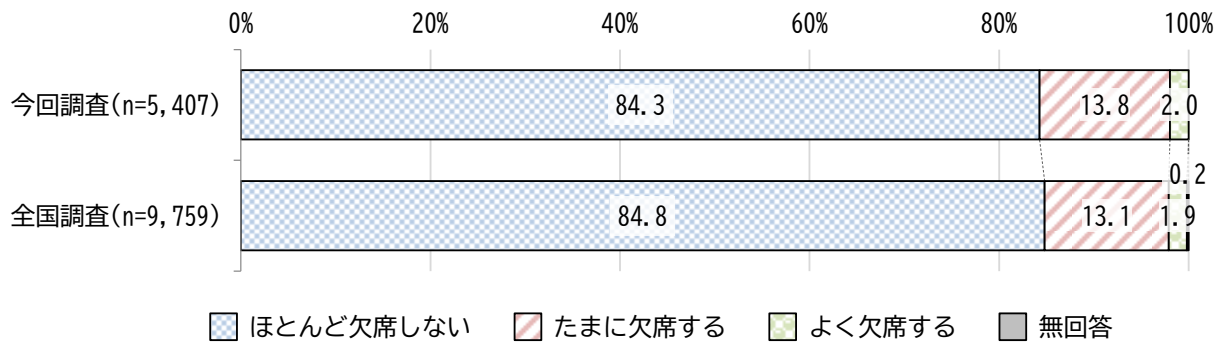




## (2) ふだんの生活について

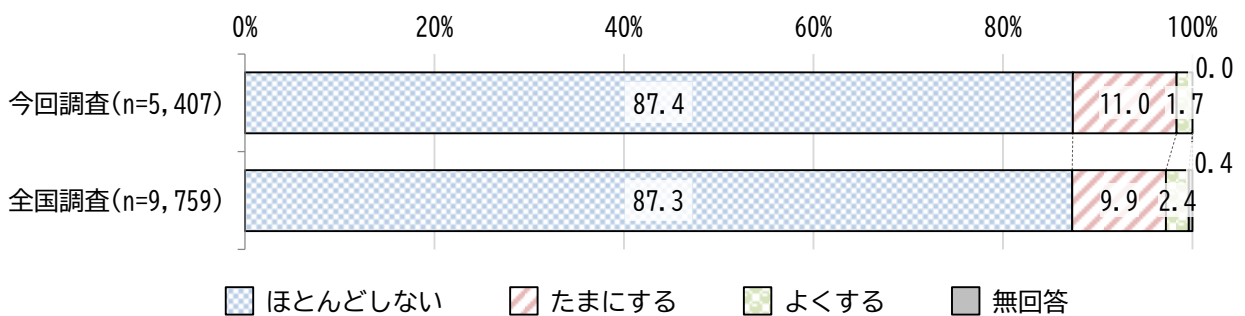
### 1 学校への通学状況：出欠状況

◇学校の出欠状況について聞いたところ、「ほとんど欠席しない」が 84.3%と最も高く、次いで「たまに欠席する」13.8%、「よく欠席する」2.0%となっており、全国調査と同様の結果となっている。



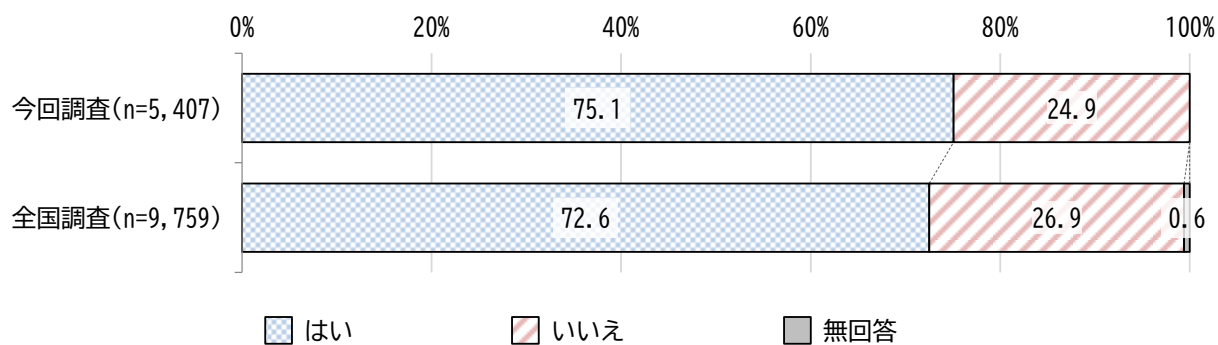
### 2 学校への通学状況：遅刻や早退の状況

◇学校の遅刻や早退の状況について聞いたところ、「ほとんどしない」が 87.4%と最も高く、次いで「たまにする」11.0%、「よくする」1.7%となっており、全国調査と同様の結果となっている。



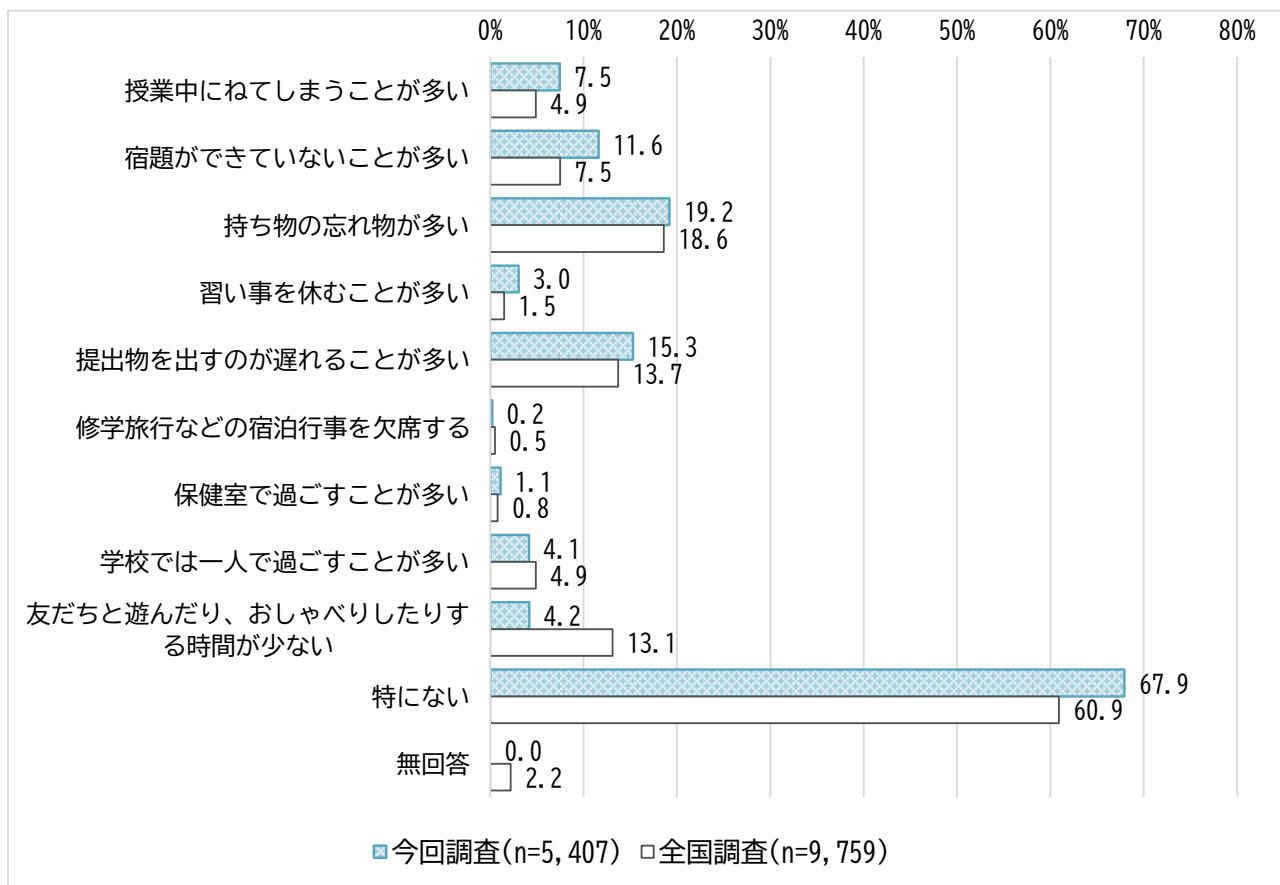
### 3 放課後の習い事などへの参加状況

◇放課後の習い事などへの参加状況については、「はい」が75.1%、「いいえ」が24.9%となっており、全国調査と同様の結果となっている。



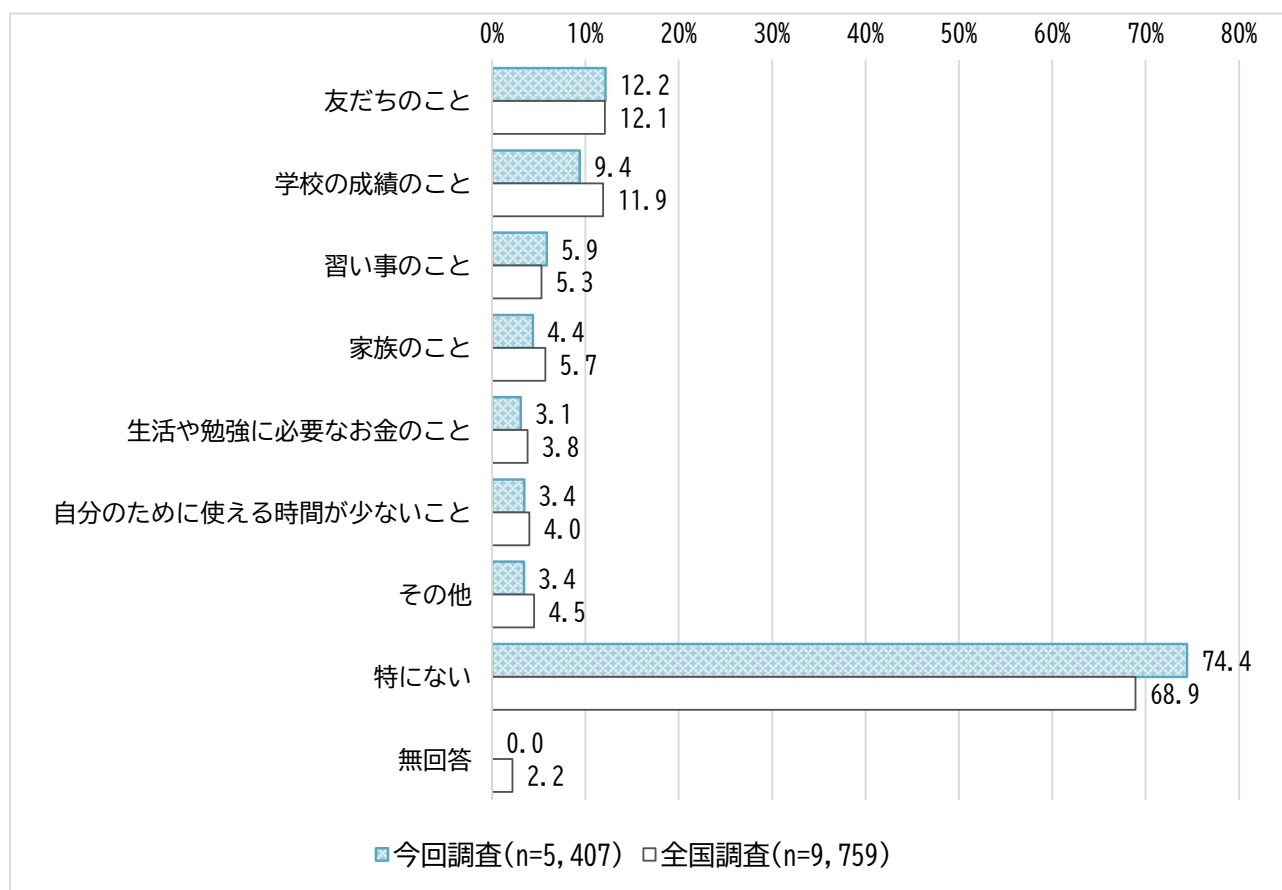
#### 4 ふだんの学校生活などであてはまること

◇ふだんの学校生活などであてはまることについては、「特にない」が67.9%と最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。それ以外では、「持ち物の忘れ物が多い」が19.2%と最も高く、次いで「提出物を出すのが遅れることが多い」15.3%、「宿題ができていないことが多い」11.6%となっている。



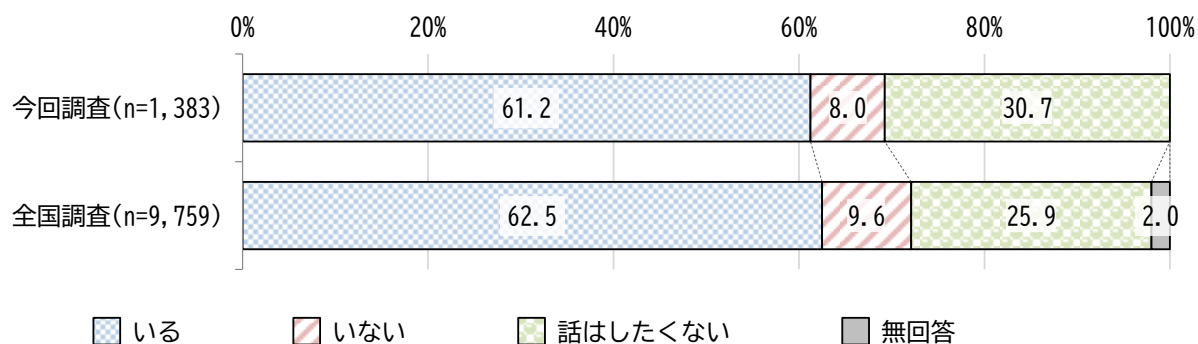
## 5 現在の悩みごと

◇現在の悩みごとについては、「特にない」が74.4%と最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。それ以外では、「友だちのこと」が12.2%と最も高く、次いで、「学校の成績のこと」9.4%、「習い事のこと」5.9%となっている。



## 6 悩みごとについて話を聞いてくれる人の有無(何らかの悩みごとがあると回答した人のみ)

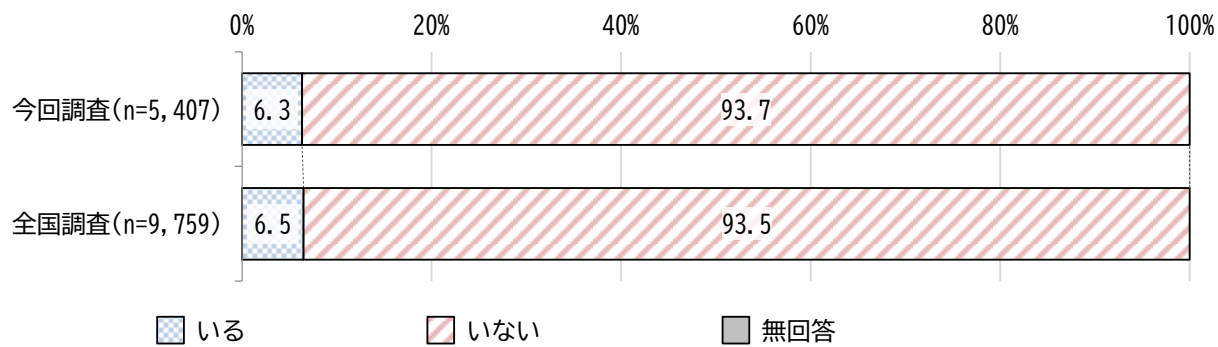
◇「悩み」が「ある」と回答した子どもに、悩みごとについて話を聞いてくれる人がいるか聞いたところ、「いる」が61.2%と最も高く、次いで「話はしたくない」30.7%、「いない」8.0%となっており、全国調査と同様の結果となっている。



### (3) 家庭や家族のことについて

#### 1 世話をしている家族の有無

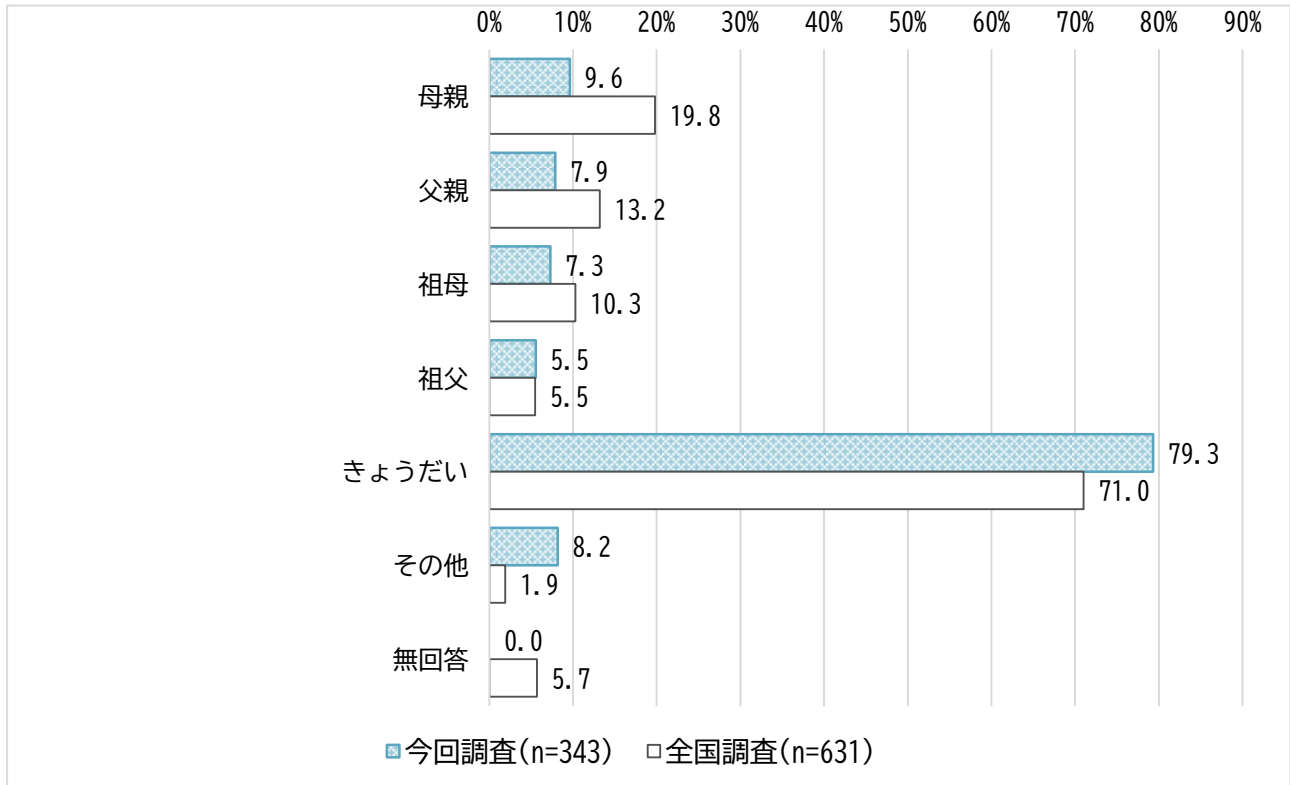
◇世話をしている家族がいるか聞いたところ、「いる」が6.3%、「いない」が93.7%となっており、全国調査と同様の結果となっている。



## ここからは1で「世話をしている家族」が「いる」と回答した子どもの回答

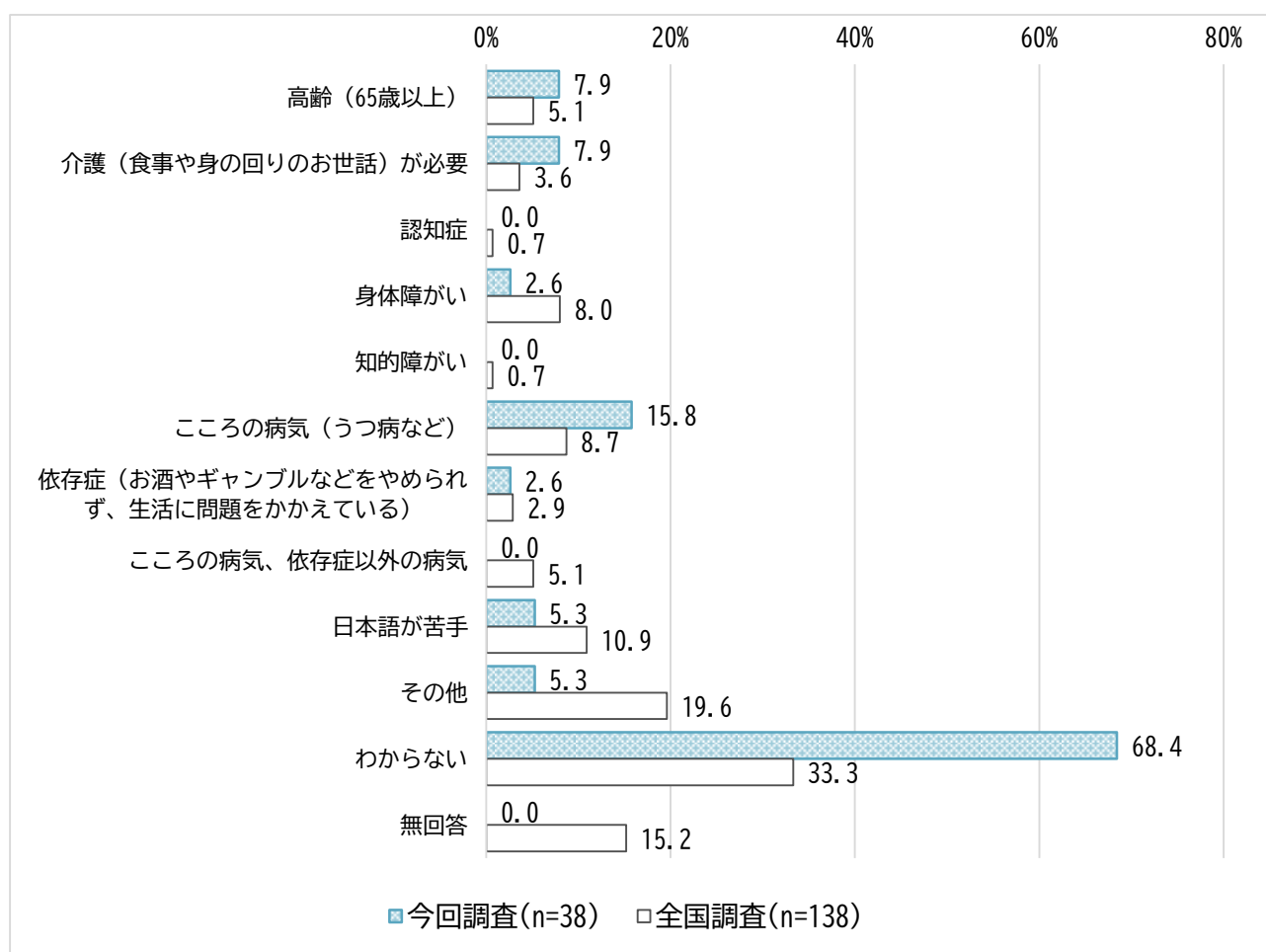
### 2 世話を必要としている家族

◇世話を必要としている家族について聞いたところ、「きょうだい」が79.3%と最も高く、次いで「母親」9.6%となっており、全国調査と同様の結果となっている。



### 3-a 世話を必要としている父母の状況

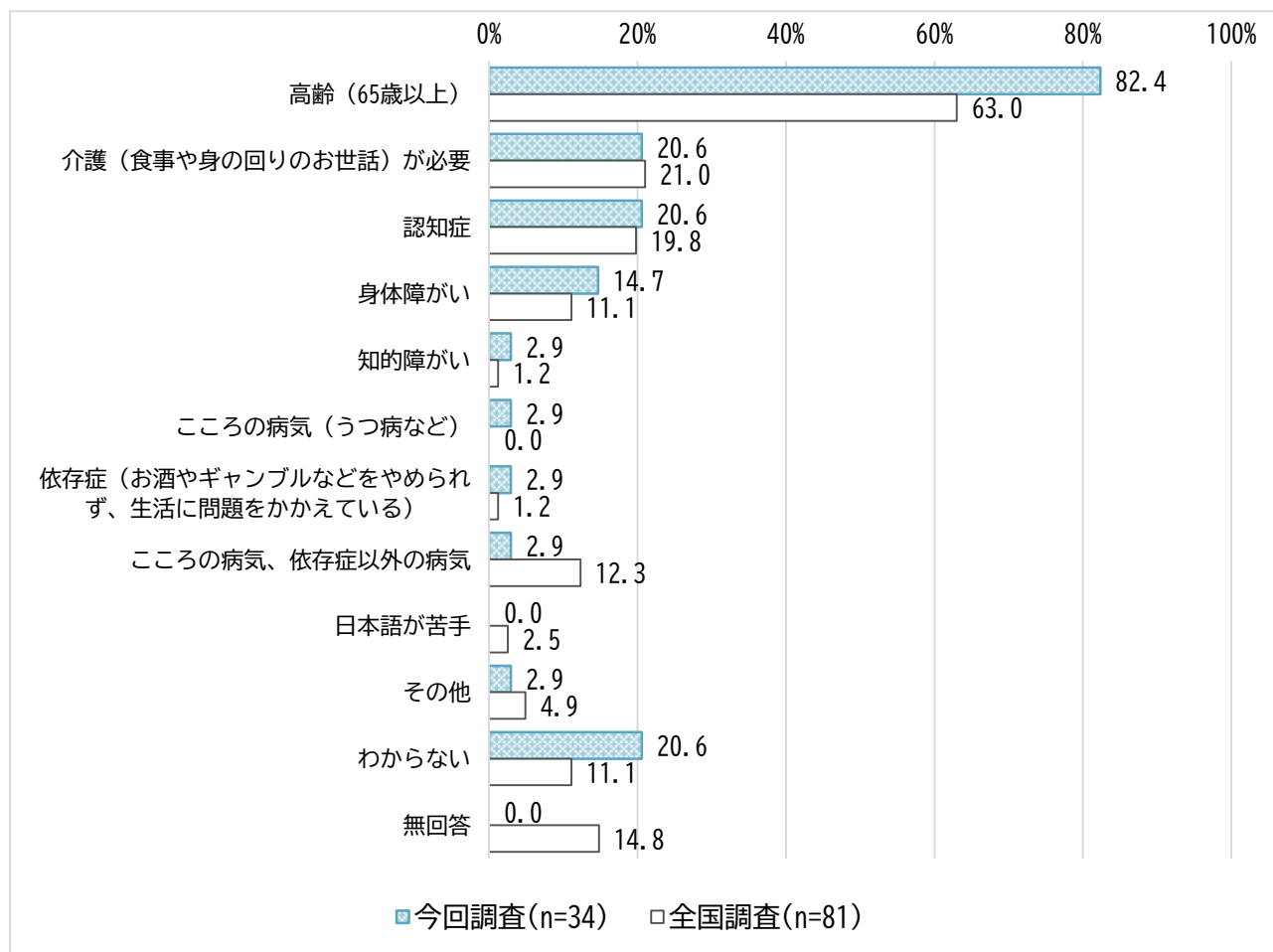
◇「世話を必要としている家族」が「父母」と回答した子どもに、世話をしている理由について聞いたところ、「わからない」が68.4%と最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。次いで高い割合が「こころの病気（うつ病など）」15.8%、「高齢（65歳以上）」、「介護（食事や回りのお世話）が必要」がともに7.9%となっている。





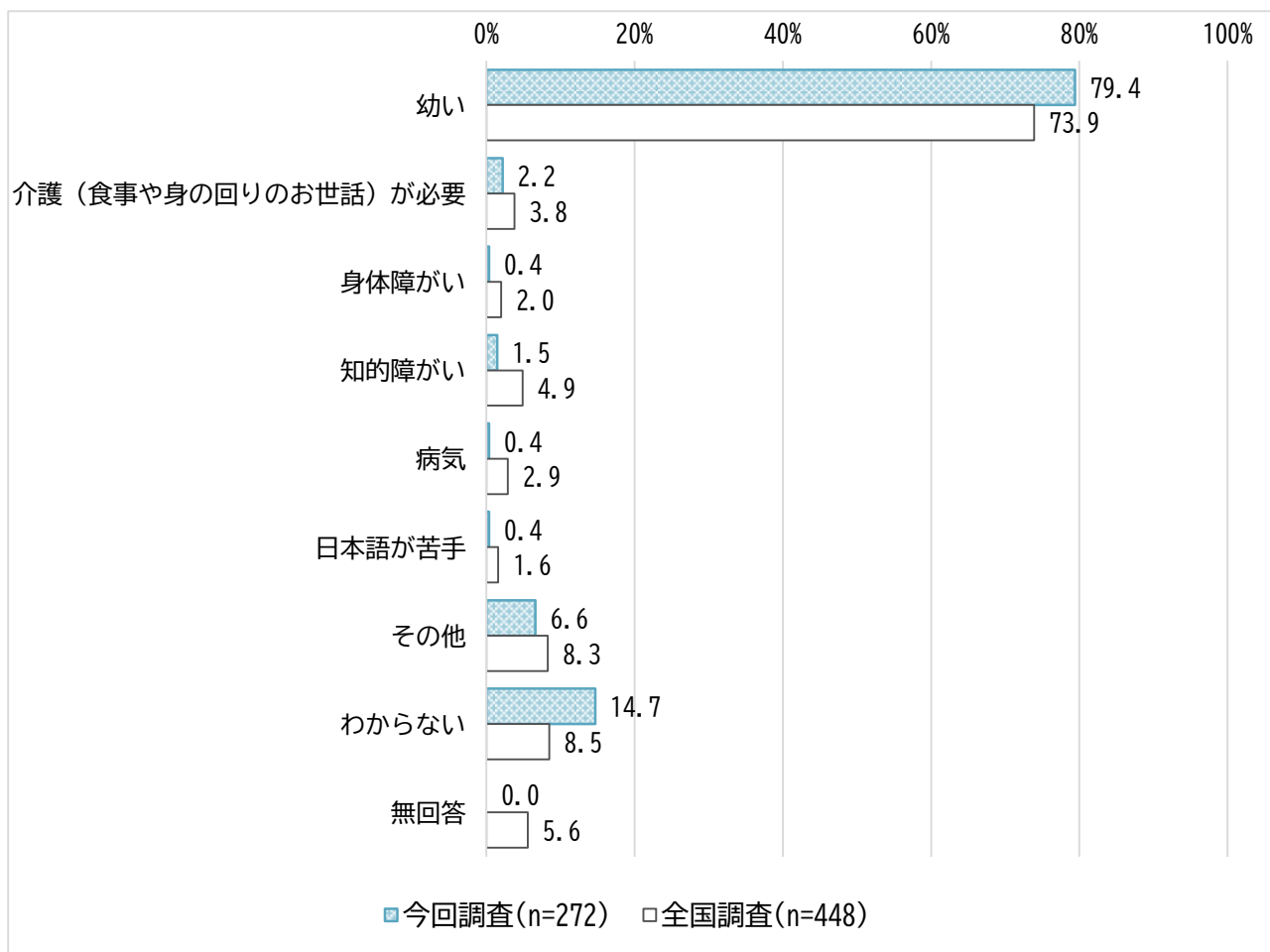
### 3-b 世話を必要としている祖父母の状況

◇「世話を必要としている家族」が「祖父母」と回答した子どもに、世話をしている理由について聞いたところ、「高齢（65歳以上）」が82.4%と最も高く、次いで「介護（食事や身の回りのお世話）が必要」、「認知症」、「わからない」が20.6%となっている。全国調査と比べると、「高齢（65歳以上）」が19.4ポイント高くなっている。



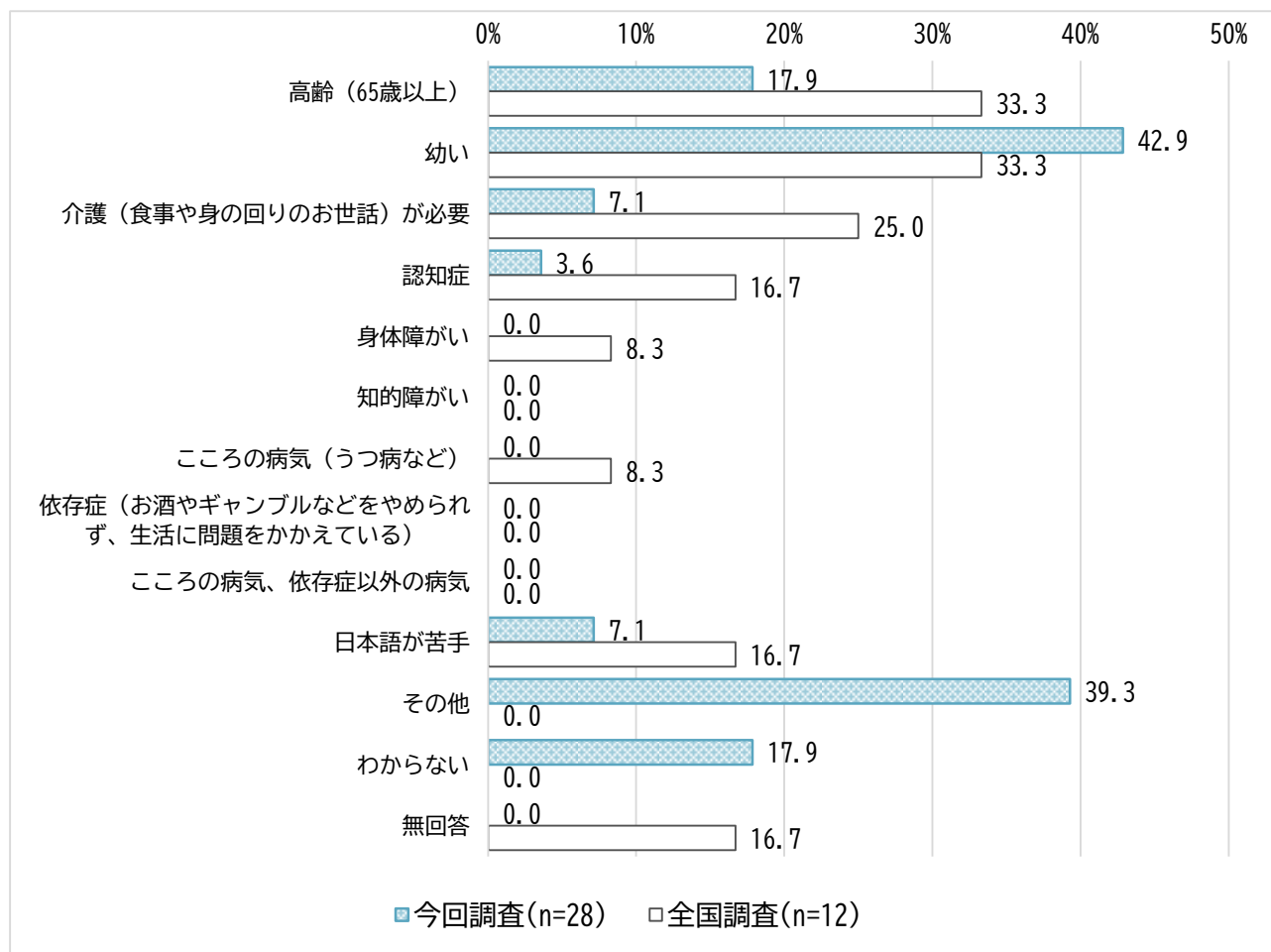
### 3-c 世話を必要としているきょうだいの状況

◇「世話を必要としている家族」が「きょうだい」と回答した子どもに、世話をしている理由について聞いたところ、「若い」が79.4%と最も高く、次いで「わからない」14.7%、「その他」6.6%となっており、全国調査と同様の結果となっている。



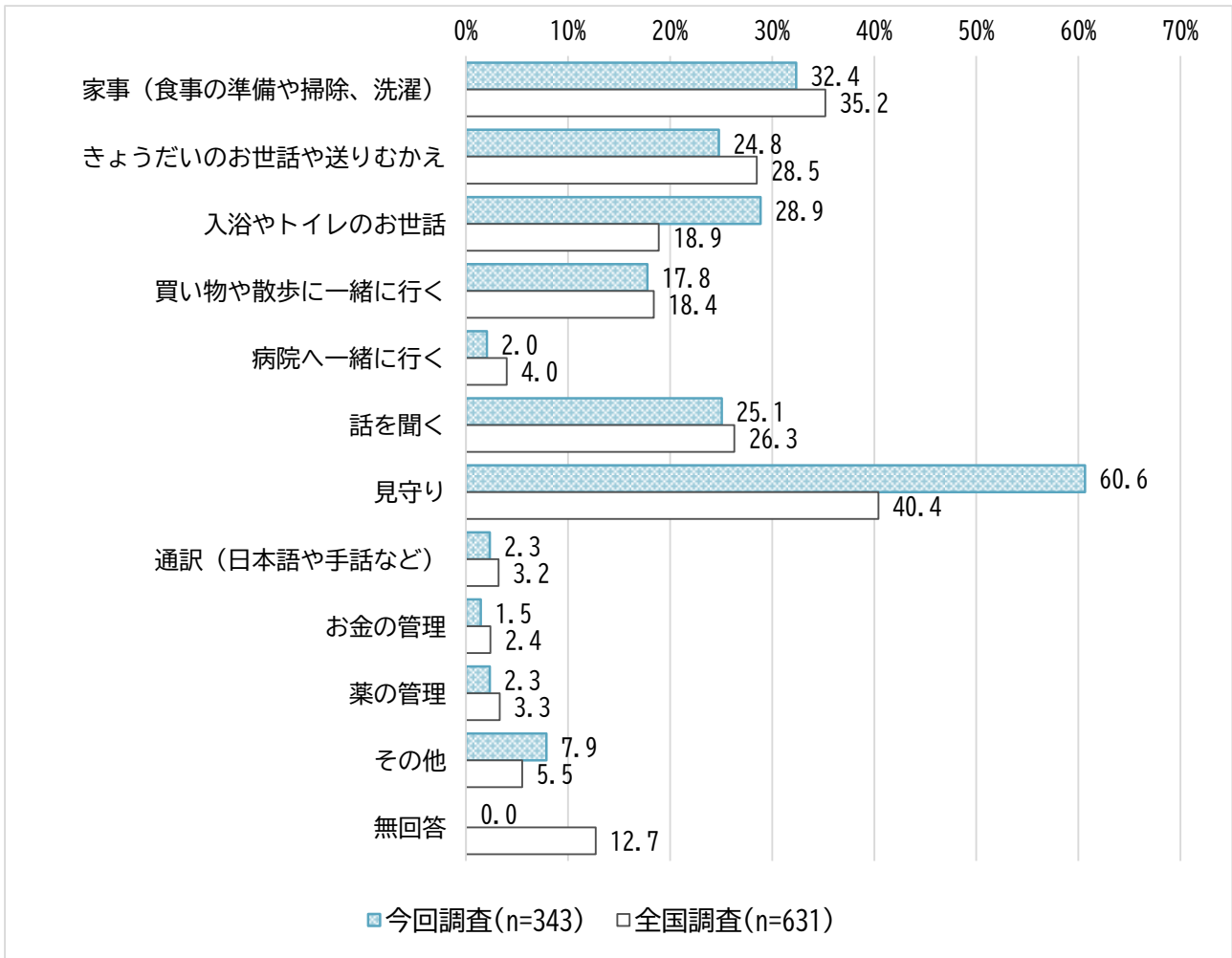
### 3-d 世話を必要としているその他の家族の状況

◇「世話を必要としている家族」が「その他」と回答した子どもに、世話をしている理由について聞いたところ、「若い」が42.9%と最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。次いで高い割合が「その他」39.3%、「高齢（65歳以上）」、「わからない」がともに17.9%となっている。



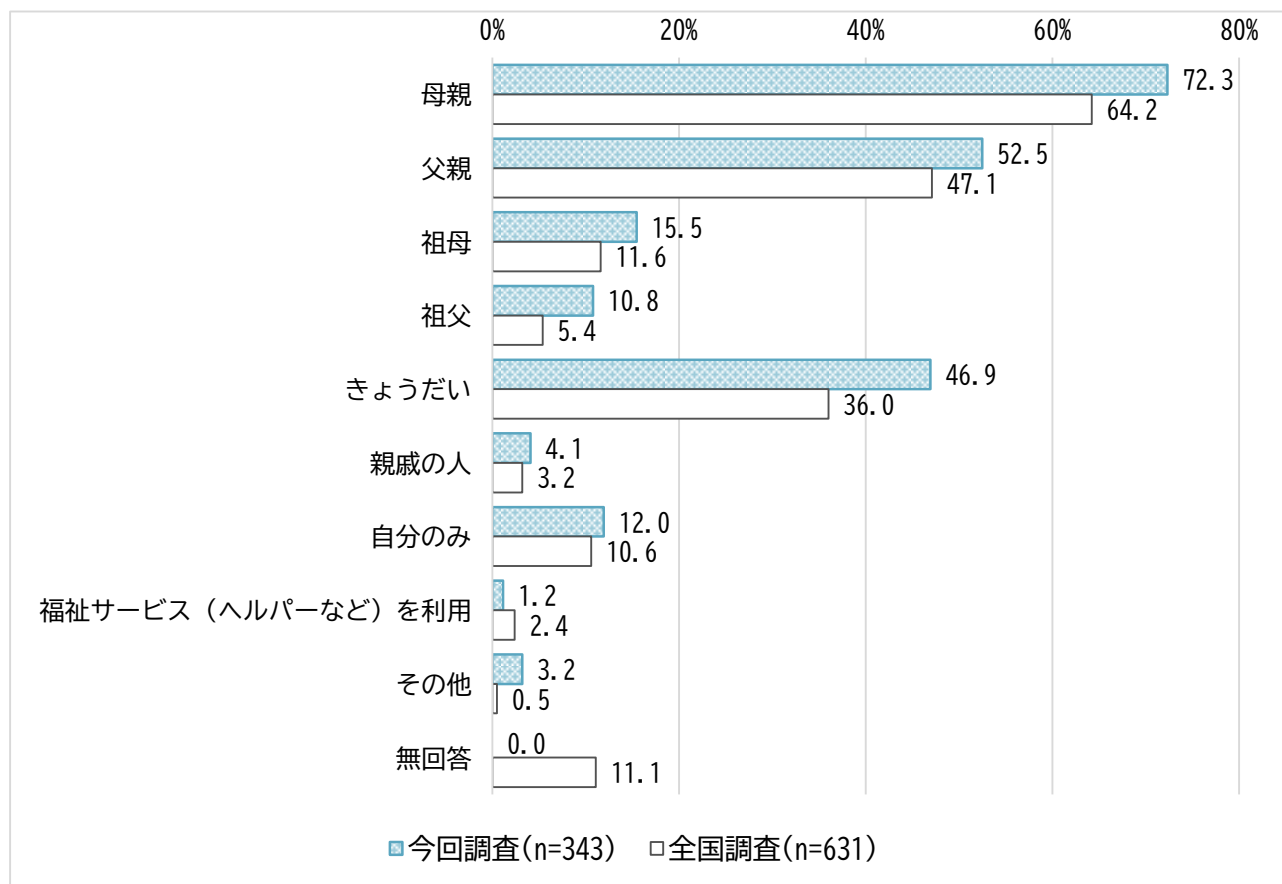
## 4 世話の内容

◇世話の内容については、「見守り」が60.6%と最も高く、全国調査と同様の結果となっており、全国調査より20.2ポイント高くなっている。次いで高い割合が「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」32.4%、「入浴やトイレのお世話」28.9%となっている。



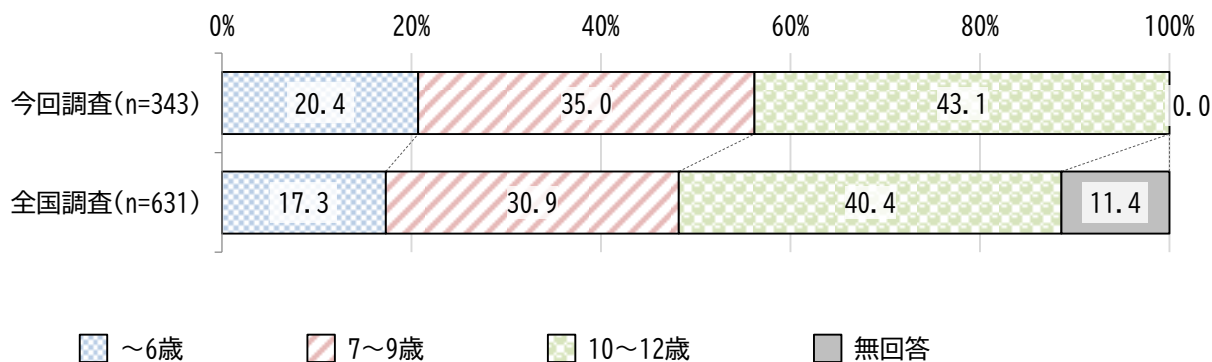
## 5 世話を一緒にしている人

◇世話を一緒にしている人については、「母親」が72.3%と最も高く、次いで「父親」52.5%、「きょうだい」46.9%となっており、全国調査と同様の結果となっている。



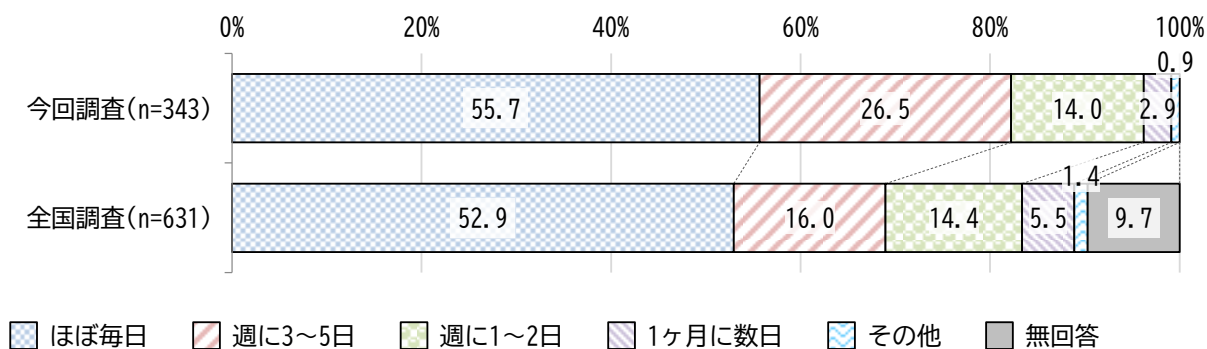
## 6 世話を始めた年齢

◇世話を始めた年齢については、「10～12歳」が43.1%と最も高く、次いで「7～9歳」35.0%、「～6歳」20.4%となっており、全国調査と同様の結果となっている。



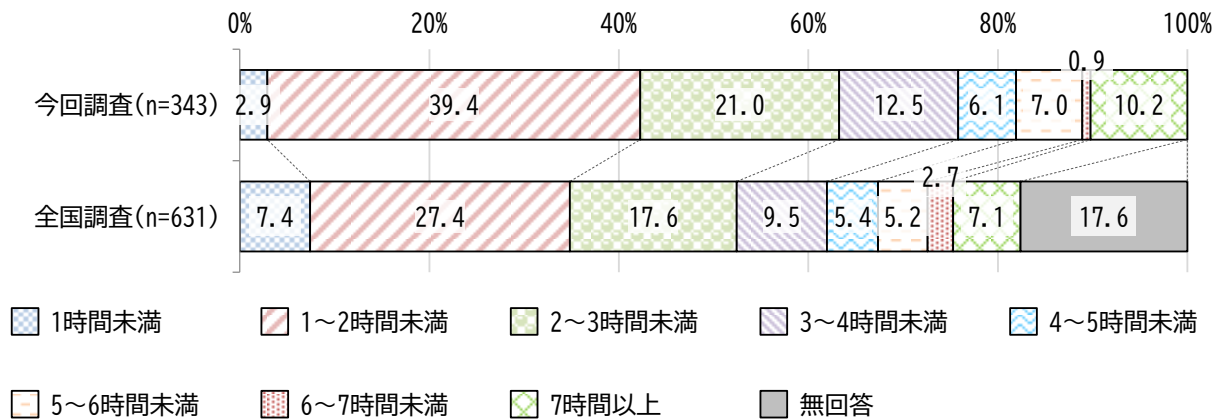
## 7 世話をしている頻度

◇世話をしている頻度については、「ほぼ毎日」が55.7%と最も高く、次いで「週に3～5日」26.5%、「週に1～2日」14.0%となっており、全国調査と同様の結果となっている。



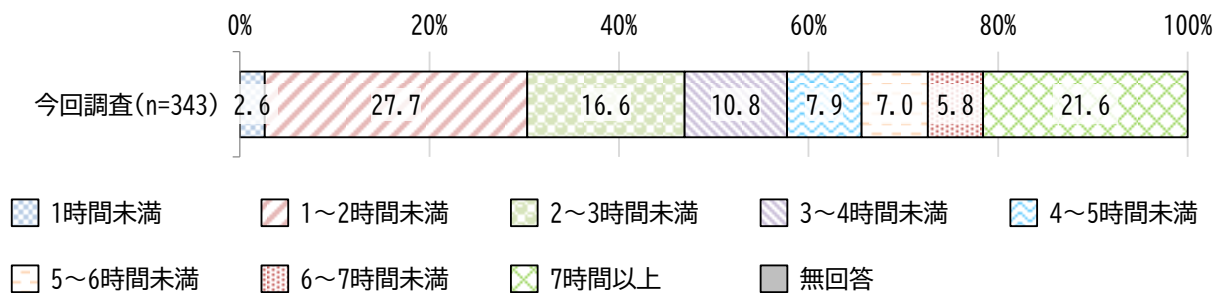
## 8 平日1日あたりの世화에費やす時間

◇平日1日あたりの世화에費やす時間については、「1～2時間未満」が39.4%と最も高く、次いで「2～3時間未満」21.0%、「3～4時間未満」12.5%となっており、全国調査と同様の結果となっている。



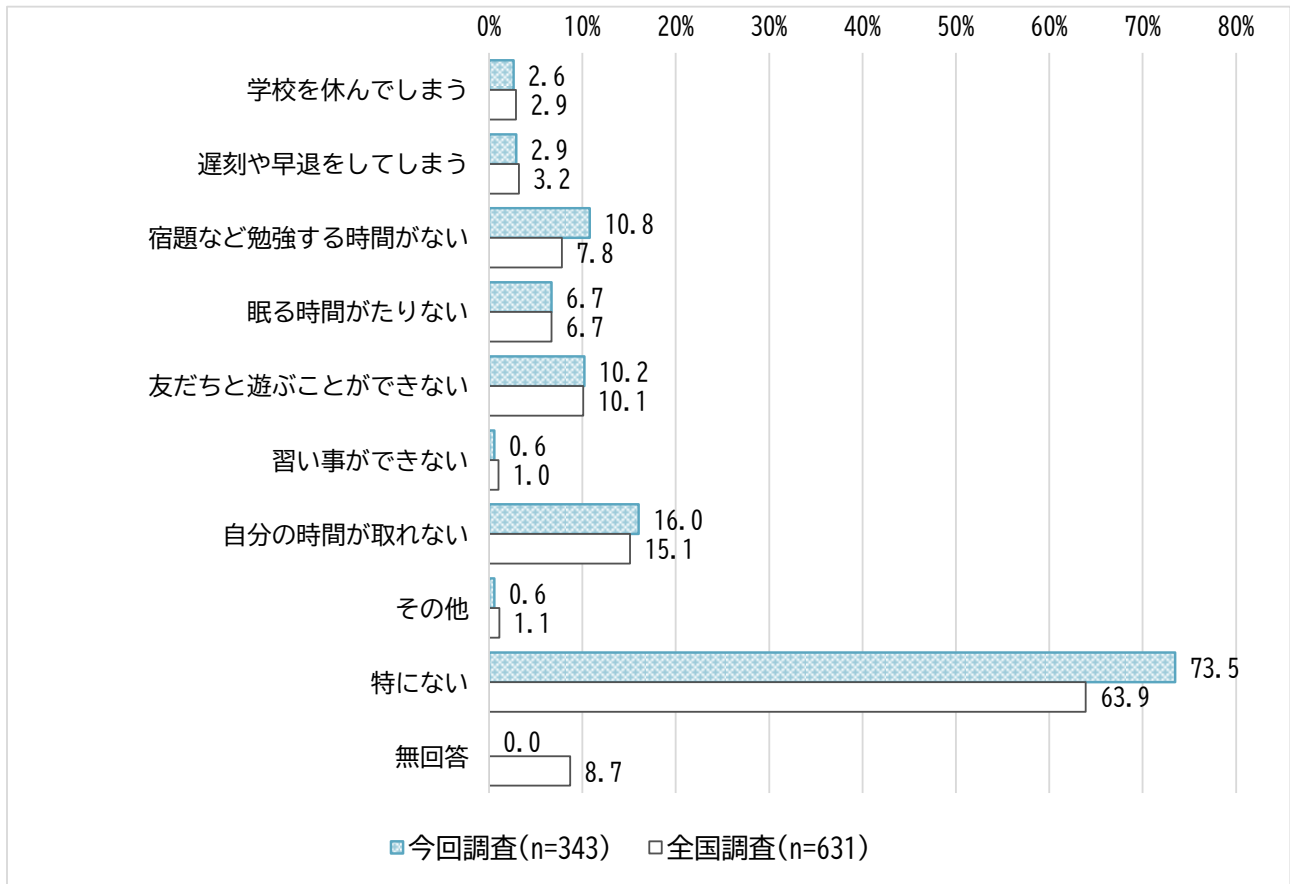
## 9 休日1日あたりの世화에費やす時間【県独自設問】

◇休日1日あたりの世화에費やす時間については、「1～2時間未満」が27.7%と最も高く、次いで、「7時間以上」21.6%、「2～3時間未満」16.6%となっている。



## 10 世話をしているためにやりたいけれどできないこと

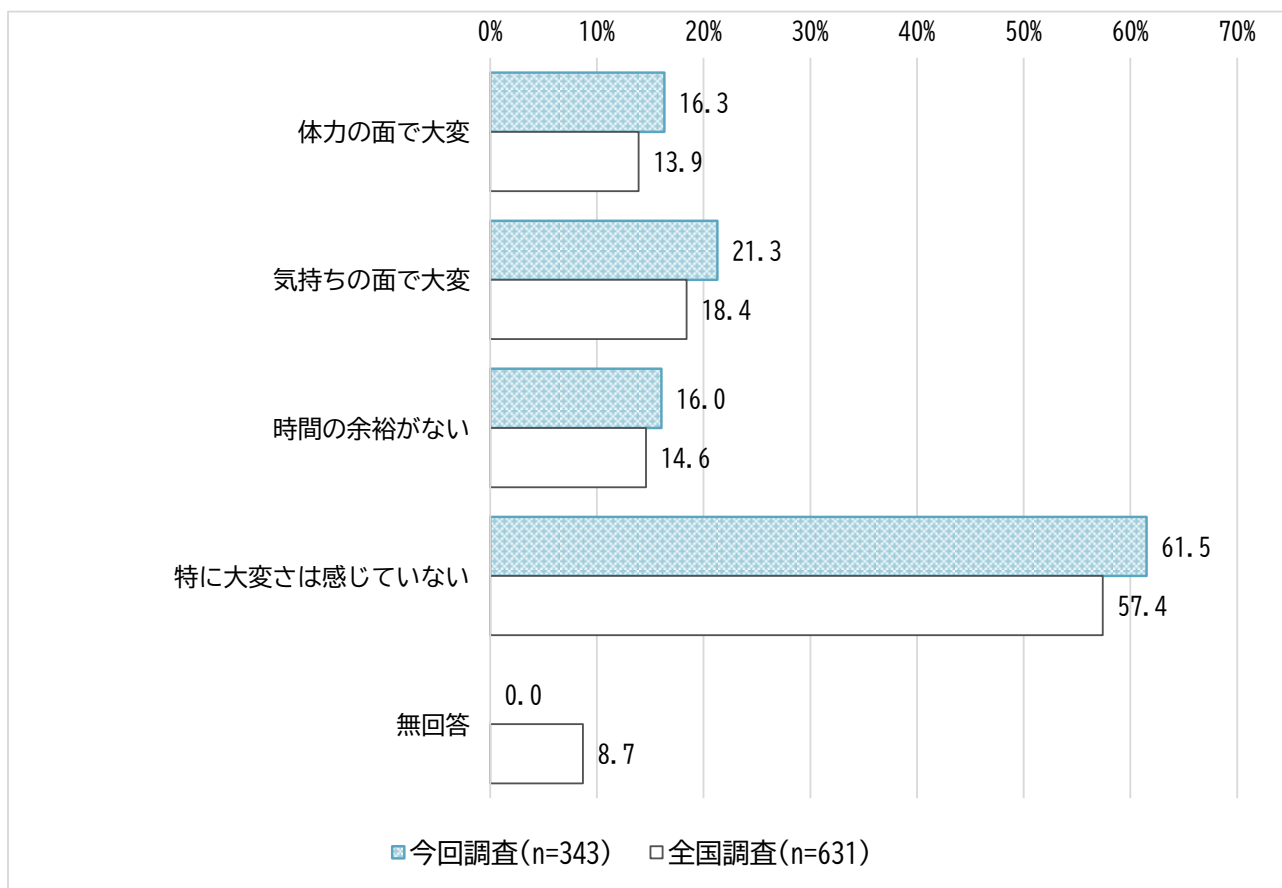
◇世話をしているためにやりたいけれどできないことについて聞いたところ、「特にない」が73.5%と最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。それ以外では、「自分の時間が取れない」が16.0%と最も高く、次いで「宿題など勉強する時間がない」10.8%、「友だちと遊ぶことができない」10.2%となっている。





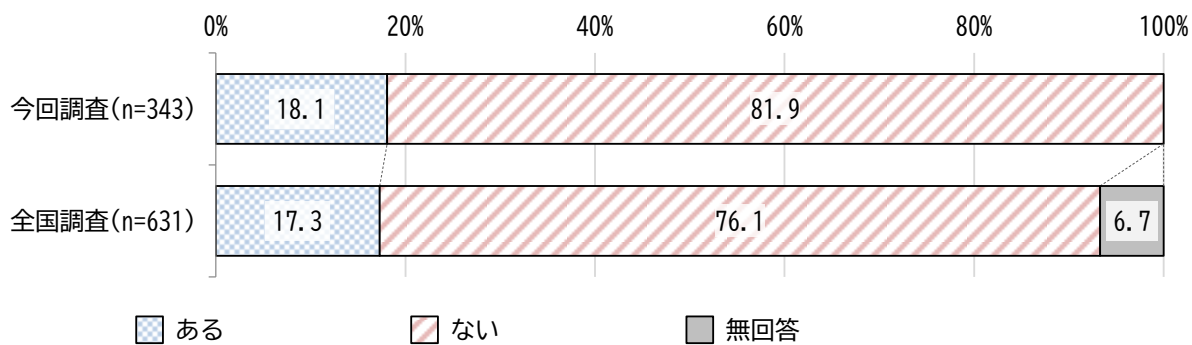
## 11 世話の大変さ

◇世話の大変さについては、「特に大変さは感じていない」が61.5%と最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。次いで高い割合が「気持ちの面で大変」21.3%、「体力の面で大変」16.3%となっている。



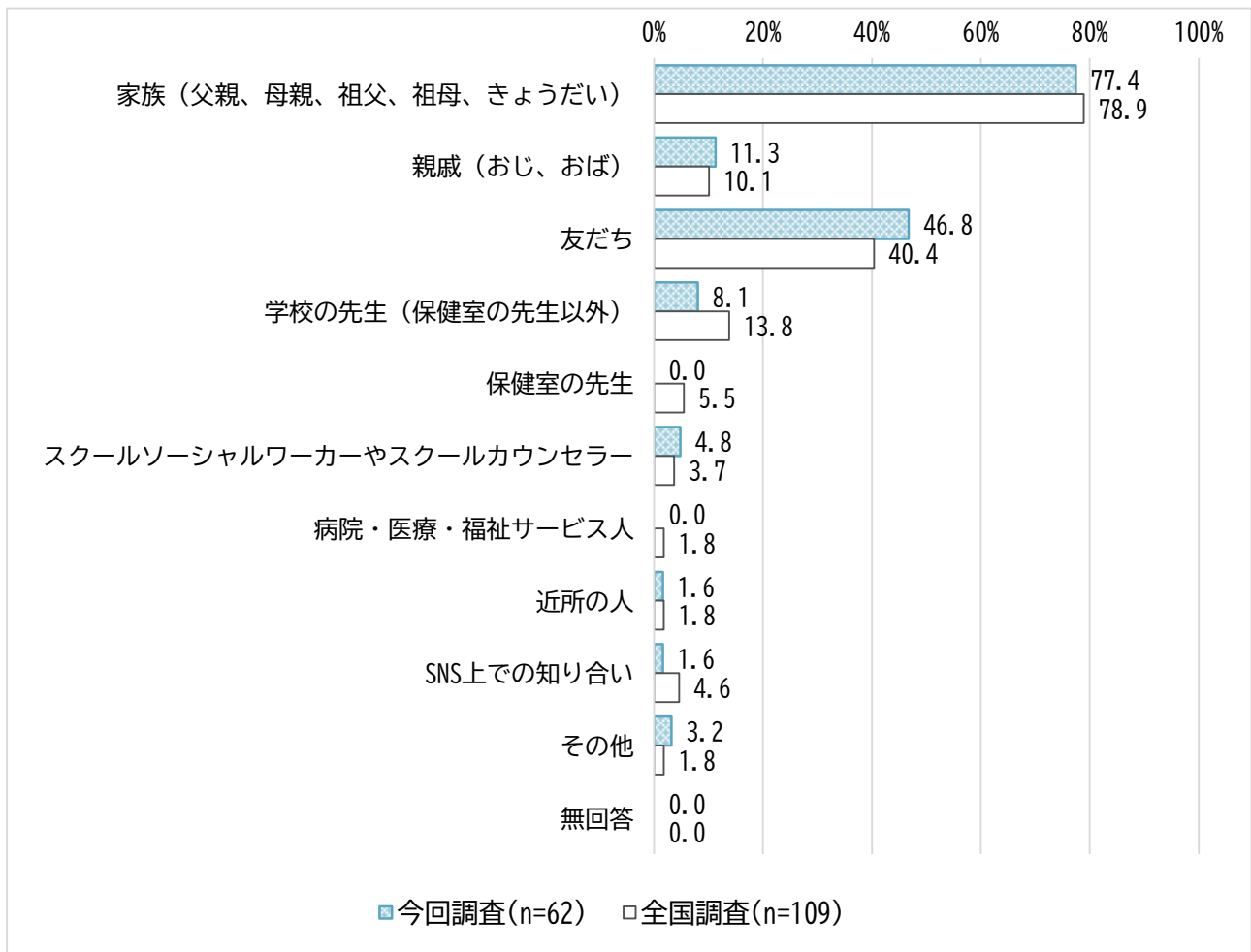
## 1 2 世話について相談した経験

◇世話について誰かに相談した経験があるかを聞いたところ、「ある」が 18.1%、「ない」が 81.9%となっており、全国調査と同様の結果となっている。



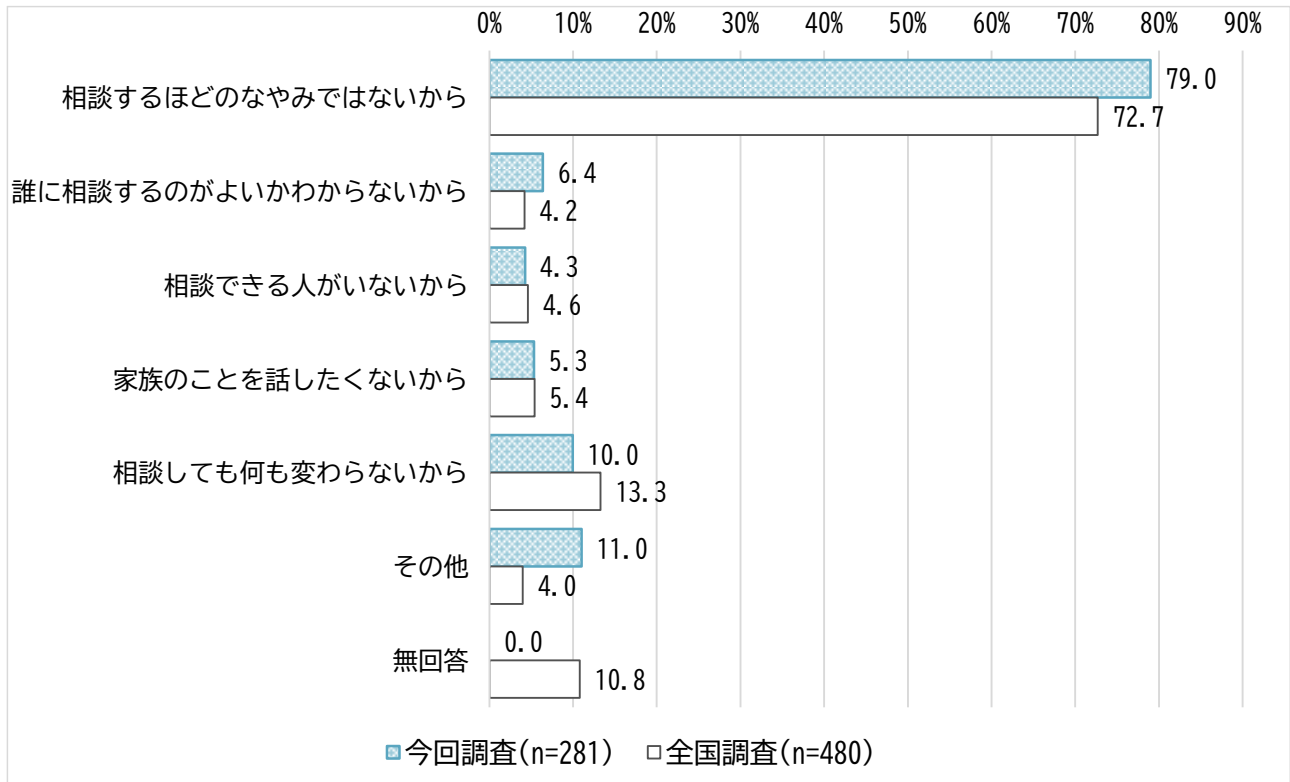
### 1.3 世話についての相談相手（世話について相談した経験が「ある」と回答した人のみ）

◇「世話について相談した経験」が「ある」と回答した子どもに、相談相手について聞いたところ、「家族（父親、母親、祖父、祖母、きょうだい）」が77.4%と最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。次いで高い割合が「友だち」46.8%、「親戚（おじ、おば）」11.3%となっている。



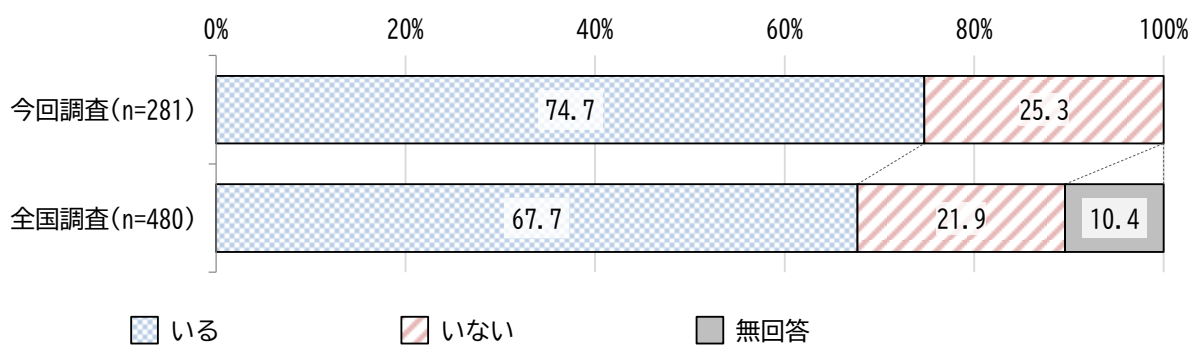
## 1.4 世話について相談したことがない理由（世話について相談した経験が「ない」と回答した人のみ）

◇「世話について相談した経験」が「ない」と回答した子どもに、相談したことがない理由について聞いたところ、「相談するほどの悩みではないから」が79.0%と最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。次いで高い割合が「相談しても何も変わらないから」、  
「その他」10.0%、「誰に相談するのがよいかわからないから」6.4%となっている。



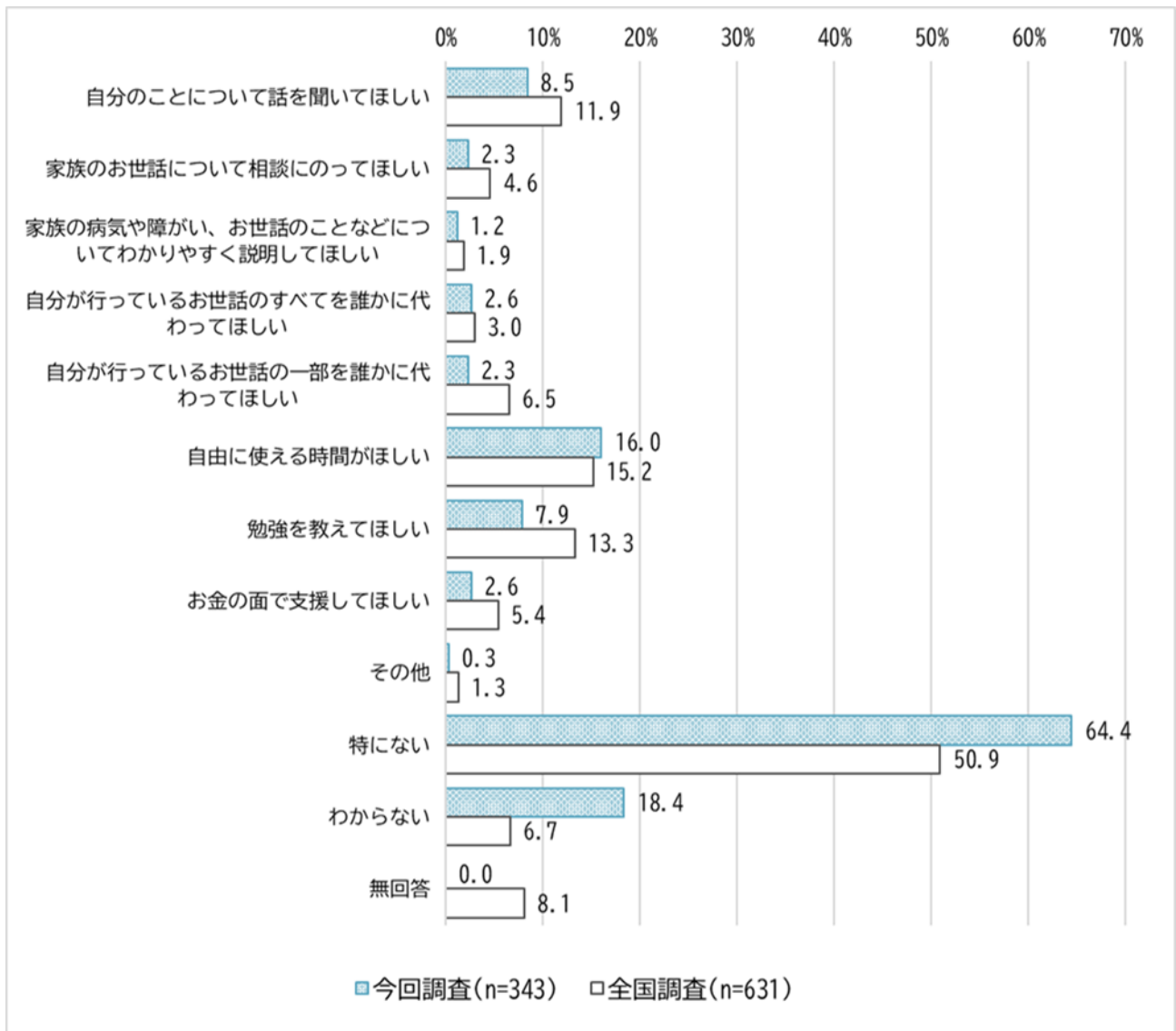
## 15 世話について話を聞いてくれる人の有無（世話について相談した経験が「ない」と回答した人のみ）

◇「世話について相談した経験」が「ない」と回答した子どもに、世話について話を聞いてくれる人がいるか聞いたところ、「いる」が74.7%、「いない」が25.3%となっており、全国調査と同様の結果となっている。



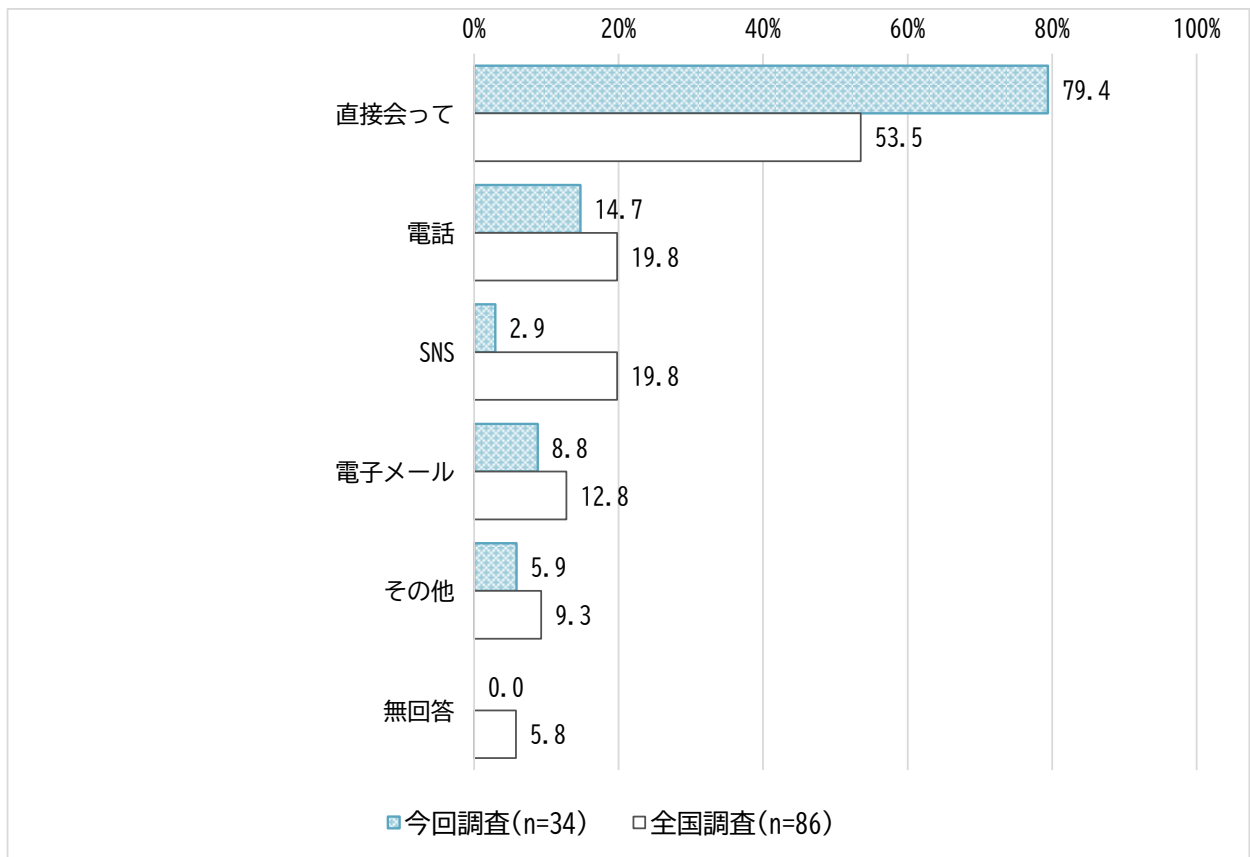
## 16 学校や大人にしてもらいたいこと

◇学校や大人にしてもらいたいことについては、「特にない」が64.4%と最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。それ以外では、「わからない」が18.4%と最も高く、次いで「自由に使える時間がほしい」16.0%、「自分のことについて話を聞いてほしい」8.5%となっている。



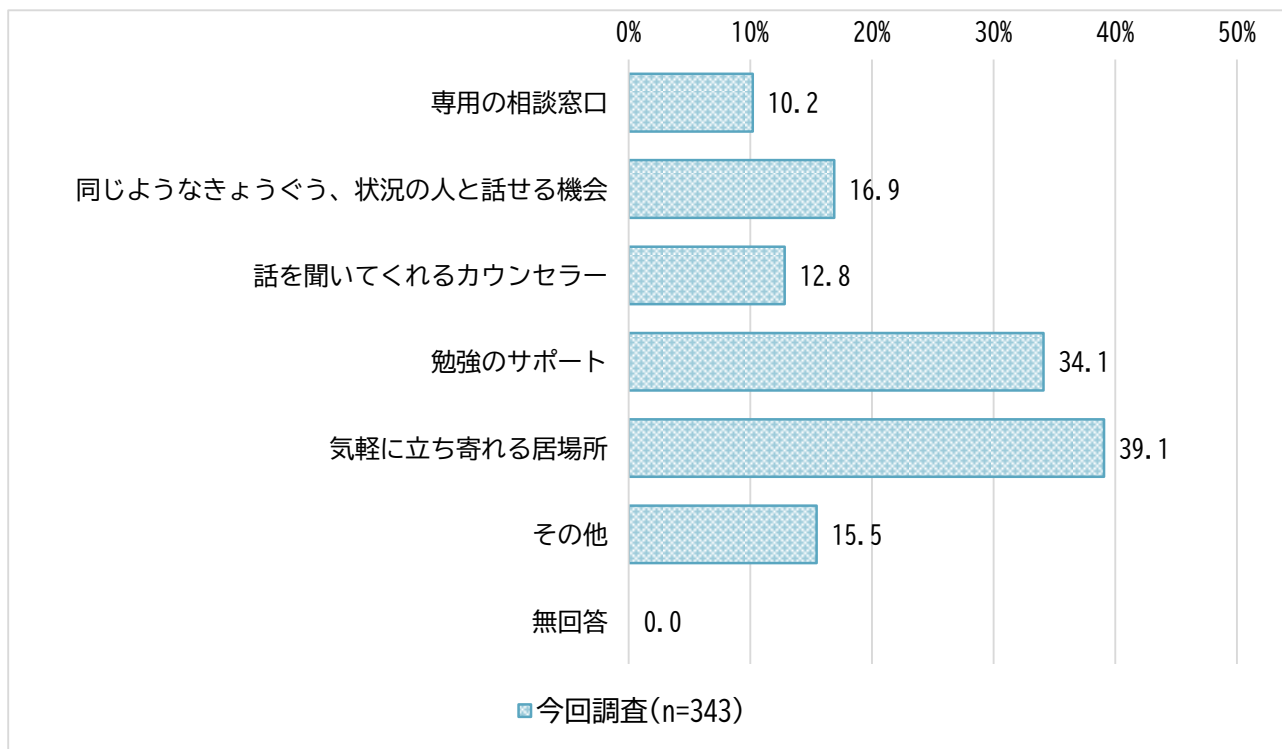
17 希望する相談方法（前問で「自分のこと（いまの状況）について話を聞いてほしい」、  
「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した人のみ）

◇「自分のことについて話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した子どもに、希望する相談方法について聞いたところ、「直接会って」が79.4%と最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。次いで高い割合が「電話」14.7%、「電子メール」8.8%となっている。また、「SNS」の割合が県では2.9%なのに対し、全国調査では19.8%となっており、国より16.9ポイント低くなっている。



## 18 どのようなサービスがあったらいいと思うか【県独自設問】

◇どのようなサービスがあったらいいと思うか聞いたところ、「気軽に立ち寄れる居場所」が39.1%と最も高く、次いで「勉強のサポート」34.1%、「同じような境遇、状況の人と話せる機会」16.9%となっている。





自由記述欄（ヤングケアラーへの支援を広げていくために必要だと思うことや、要望等なんでも）

- ◇私は家族のお世話などで負担を抱えた周りの人には気軽に声をかけて少しでもその人の力  
のなることができるといいなと思いました。
- ◇手伝って欲しい。
- ◇自分の話を聞いてもらうこと。
- ◇自由な時間をとってほしい。
- ◇いつでも一人になりたいときに一人になれる空間。
- ◇私たちが楽になれるようにしてほしい。
- ◇助けてほしい、代わってほしい。
- ◇親が、子どもの話を聞いてあげたり、話しやすい環境を作ってもらいたい。
- ◇自分の体調を気にしながら、いとこのお世話をするのが大変です。
- ◇家族のお世話をしている人にたいしては、同じような経験をしている人と話した方がいいと  
思う。私は親が障害者と友達に言っていないので、周りが受け入れることが大切だと思う。
- ◇全部長女だからって任せないでほしい。（少しだけ思う）
- ◇お金があまりかからない塾みたいなのがほしいです。
- ◇勉強とか大変だから、休みの日以外は親がしてほしい。
- ◇気軽に寄れる居場所。
- ◇不安なことがあったらなるべく早く信頼できる人に相談することが必要だと思う。
- ◇親は子供と一緒にいる時間を増やす。



## 第4章 小学生調査の結果（クロス集計）

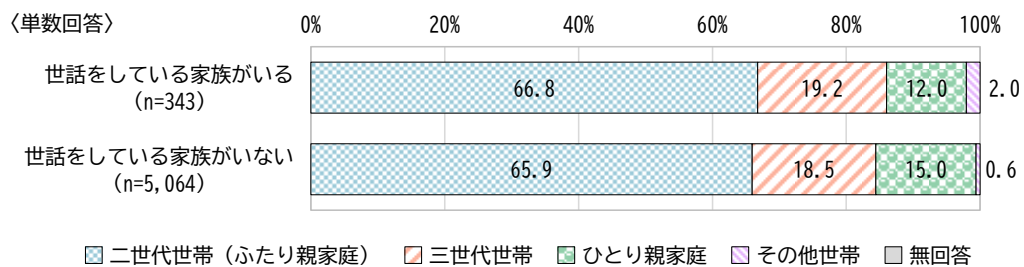
## 4-1 家族の世話の有無別分析

### (1) 家族の世話の有無による学校生活などの状況

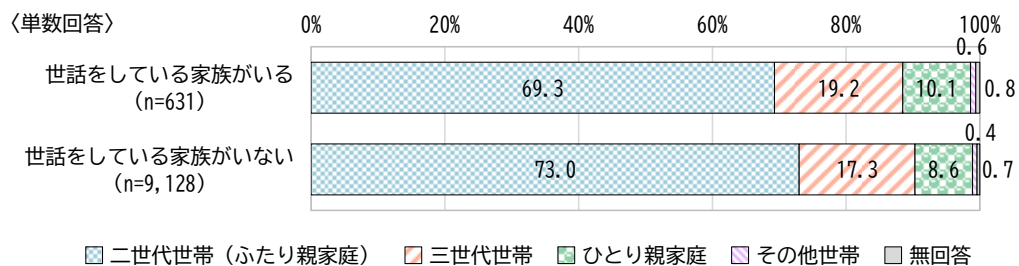
#### ① 家族の世話の有無 × 家族構成

◇ 家族構成について、「世話をしている家族」が「いる」場合と「いない」場合の比較ではあまり大きな差はみられなかった。全国調査と同様の結果となっている。

#### 今回調査



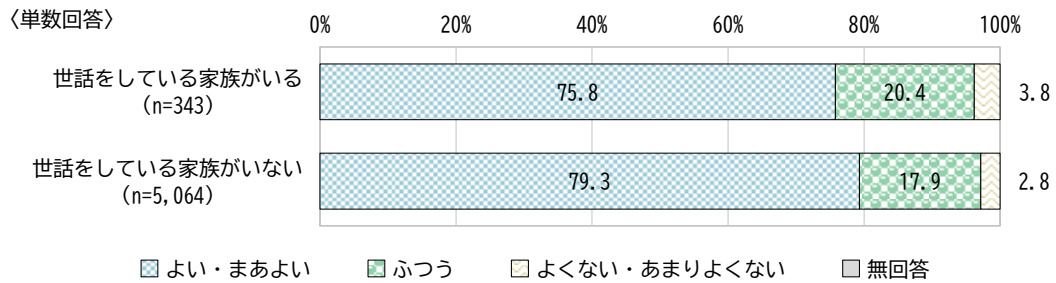
#### 全国調査



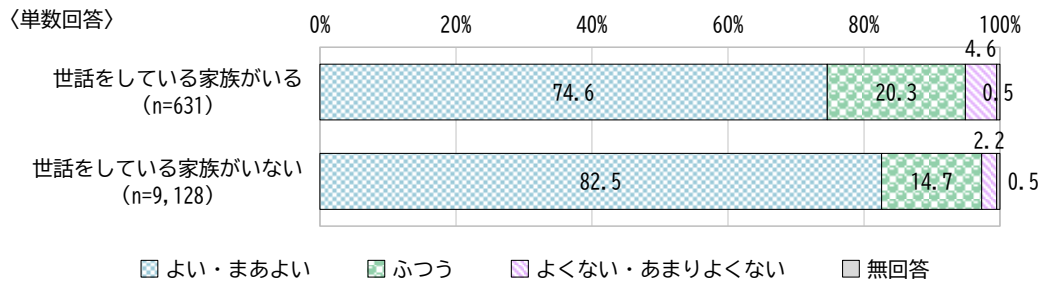
## ②家族の世話の有無 × 健康状態

◇健康状態について、「世話をしている家族」が「いる」場合と「いない」場合の比較では、あまり大きな差はみられなかった。全国調査と同様の結果となっている。

### 今回調査



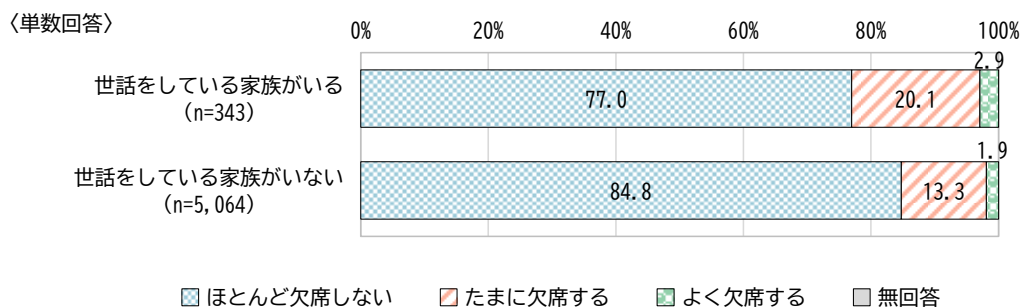
### 全国調査



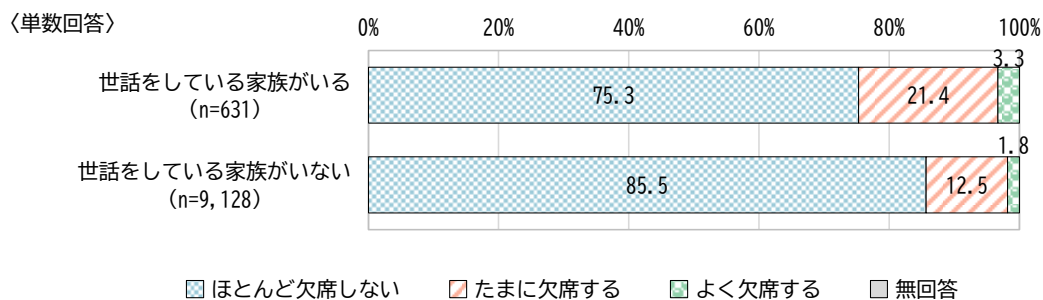
### ③家族の世話の有無 × 出席状況

◇出席状況については、「世話をしている家族」が「いる」場合、「いない」場合に比べて「たまに欠席する」の割合が高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。

#### 今回調査



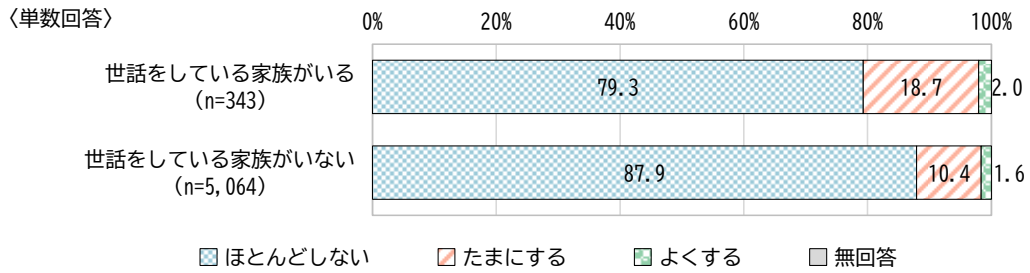
#### 全国調査



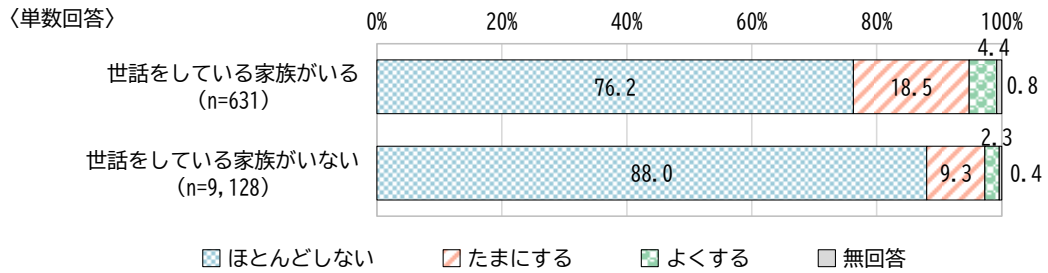
#### ④家族の世話の有無×遅刻や早退の状況

◇遅刻や早退の状況については、「世話をしている家族」が「いる」場合、「いない」場合に比べて「たまにする」の割合が高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。

##### 今回調査



##### 全国調査



### ⑤家族の世話の有無×学校生活等であてはまること

◇学校生活であてはまることについては、「世話をしている家族」が「いる」場合、「いない」場合に比べて全体的に回答割合が高い傾向にあり、全国調査と同様の結果となっている。特に、「持ち物の忘れ物が多い」、「提出物を出すのが遅れることが多い」が「いない」場合より6ポイント以上高くなっている。

(%)

		調査数 (n=)	授業中に ねてしまうこと が多い	宿題が できていないこと が多い	持ち物の 忘れ物が多い	習い事 を休むこと が多い	提出物 を出すのが 遅れること が多い	修学旅行 などの宿泊 行事を欠席 する	い保健室 で過ごすこと が多い	学校では 一人で過ごす ことが多い	友だち遊 んだり、お しゃべりし たりする時 間が少ない	特にな い	無回 答
熊本県	世話をしている 家族がいる	343	10.8	14.3	25.4	4.1	21.3	0.0	2.0	5.8	5.0	59.5	0.0
	世話をしている 家族はいない	5,064	7.2	11.4	18.8	3.0	14.9	0.2	1.0	4.0	4.1	68.5	0.0
全国	世話をしている 家族がいる	631	11.4	15.2	32.3	2.7	24.7	1.6	1.6	9.4	19.3	39.9	1.1
	世話をしている 家族はいない	9,128	4.5	7.0	17.7	1.4	13.0	0.4	0.8	4.6	12.7	62.4	2.2



## ⑥家族の世話の有無×現在の悩みごと

◇現在の悩みごとについては、「世話をしている家族」が「いる」場合、「いない」場合に比べて全体的に回答割合が高い傾向にあり、全国調査と同様の結果となっている。特に、「友達のこと」、「学校の成績のこと」、「家族のこと」が「いない」場合より7ポイント以上高くなっている。

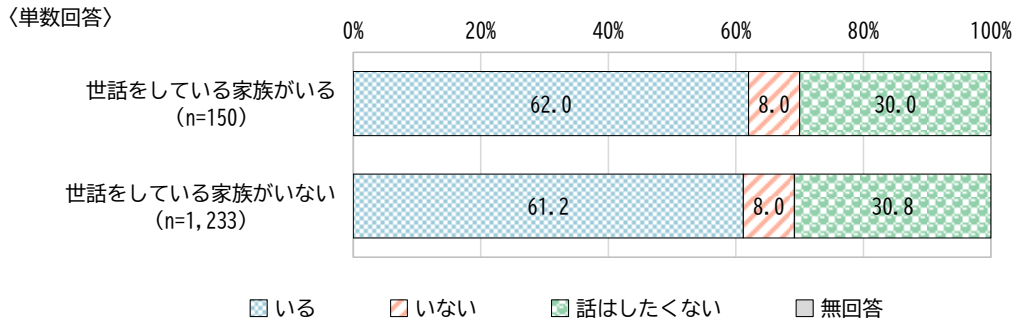
(%)

		調査数 (n=)	友だちのこと	学校の成績のこと	習い事のこと	家族のこと	生活や勉強に必要なお金のこと	自分のために使える時間が少ないこと	その他	特にない	無回答
熊本県	世話をしている家族がいる	343	20.1	16.3	8.7	11.1	7.3	7.6	6.4	56.3	0.0
	世話をしている家族はいない	5,064	11.6	8.9	5.7	3.9	2.8	3.2	3.2	75.7	0.0
全国	世話をしている家族がいる	631	17.7	23.6	9.4	15.4	12.2	10.5	5.5	48.3	1.6
	世話をしている家族はいない	9,128	11.7	11.1	5.0	5.0	3.2	3.6	4.4	70.3	2.2

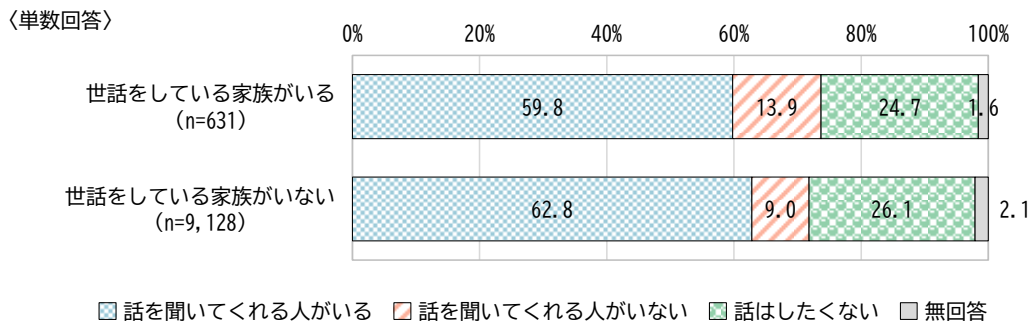
## ⑦家族の世話の有無×相談相手の有無

◇相談相手の有無については、「世話をしている家族」が「いる」場合と「いない」場合の比較ではあまり大きな差はみられなかった。全国調査と同様の結果となっている。

### 今回調査



### 全国調査



## 4-2 性別×世話の状況の違い

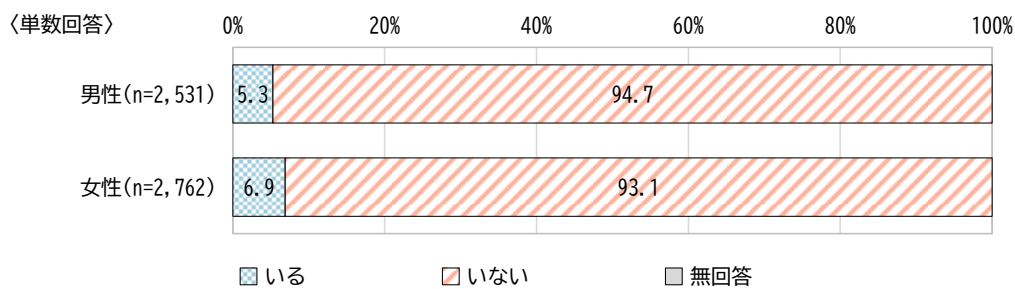
### (1) 性別による世話の状況の違い

※性別について「その他」、「答えたくない」という回答はサンプル数が少ないためクロス集計では対象外とする。

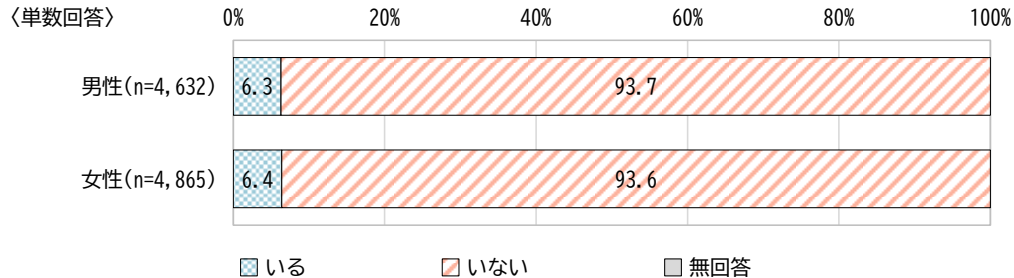
◇家族の世話の有無については、性別による大きな差はみられなかった。全国調査と同様の結果となっている。

#### ①性別×家族の世話の有無

##### 今回調査



##### 全国調査



## ②性別×世話を必要としている家族

◇「男性」の場合、「女性」と比べて、世話を必要としている家族については、「母親」、「父親」の割合が高くなっている。逆に「女性」の場合、「きょうだい」の割合が高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。

(%)

		調査数 (n)	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他	無回答
熊本県	男性	134	17.9	14.9	6.7	5.2	73.9	9.7	0.0
	女性	191	3.7	3.1	7.3	5.8	83.2	6.8	0.0
全国	男性	290	25.2	18.6	11.0	5.9	68.6	1.4	5.9
	女性	311	14.5	8.7	8.7	5.1	76.2	2.3	5.1

### ③性別×世話の内容

◇「男性」の方が、世話の内容については、「買い物や散歩に一緒に行く」、「病院へ一緒に行く」、「通訳（日本語や手話など）」、「お金の管理」、「薬の管理」の割合はやや高いものの、それ以外の項目については「女性」の回答割合が高くなっており、全国調査とほぼ同様の結果となっている。特に「きょうだいのお世話や送りむかえ」、「入浴やトイレのお世話」、「話を聞く」の割合が5ポイント以上高くなっている。

(%)

		調査数 (n=)	家事（食事の準備や送り、せんたく）	きょうだいのお世話や送りむかえ	入浴やトイレのお世話	＜買い物や散歩に一緒に行く	病院へ一緒に行く	話を聞く	見守り	通訳（日本語や手話など）	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
熊本県	男性	134	30.6	19.4	25.4	17.9	3.7	20.9	57.5	3.0	1.5	3.0	7.5	0.0
	女性	191	32.5	28.8	30.9	15.7	0.5	26.2	60.7	2.1	1.0	1.0	8.9	0.0
全国	男性	290	37.2	25.9	16.2	16.9	3.8	22.4	38.3	1.4	2.4	3.8	3.8	16.2
	女性	311	35.0	31.5	20.9	18.3	4.2	28.6	42.8	4.5	2.3	2.6	6.8	10.0

#### ④性別×世話を一緒にしている人

◇世話を一緒にしている人が「男性」の場合、一緒に世話をしている人がいる割合が、「福祉サービス（ヘルパーなど）を利用」以外、「女性」より回答割合が高くなっているが、全国調査では「自分のみ」以外は、世話を一緒にしている人が「女性」の割合が高い。

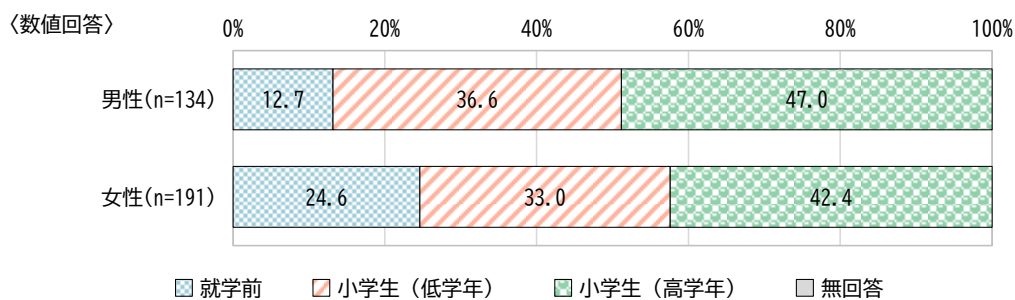
(%)

		調査数 (n=)	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	親戚の人	自分のみ	福祉サービス (ヘルパー など)を利用	その他	無回答
熊本県	男性	134	73.9	55.2	15.7	11.9	49.3	5.2	11.2	0.7	3.0	0.0
	女性	191	71.7	51.8	14.1	9.4	46.6	3.1	11.0	1.6	2.6	0.0
全国	男性	290	57.6	45.5	9.3	4.8	33.8	2.8	11.0	1.7	0.0	14.8
	女性	311	72.0	49.5	13.2	5.8	38.3	3.5	9.6	3.2	0.6	7.7

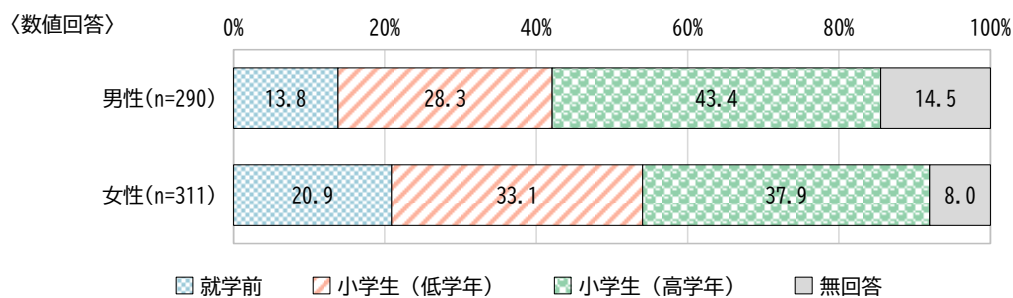
## ⑤性別×世話を始めた年齢

◇世話を始めた年齢については、男女ともに「小学生（高学年）」の割合が4割を超えて最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。また、「女性」の方が「就学前」の割合が「男性」より10ポイント以上高くなっている。

### 今回調査



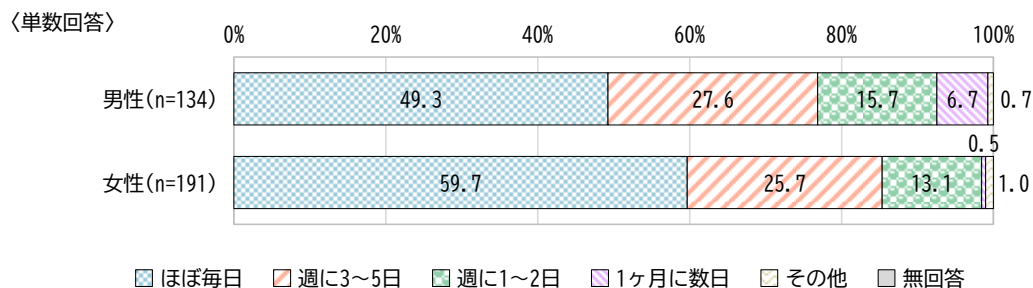
### 全国調査



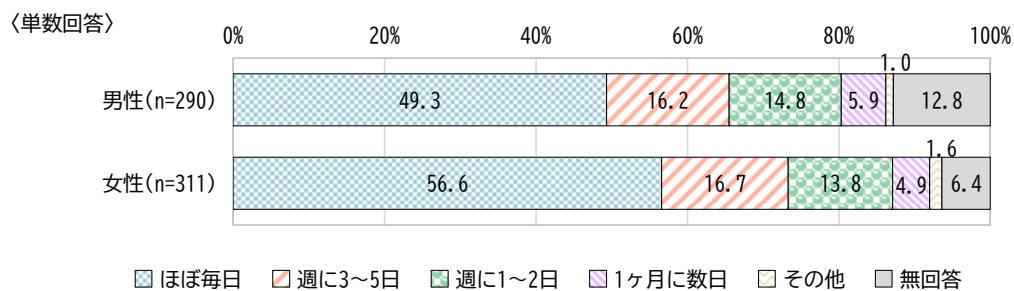
## ⑥性別×世話の頻度

◇世話の頻度については、男女ともに「ほぼ毎日」の割合が5割前後と最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。特に「女性」の場合、「ほぼ毎日」の割合が59.7%と約6割を占めており、「男性」より10ポイント以上高くなっている。

### 今回調査



### 全国調査

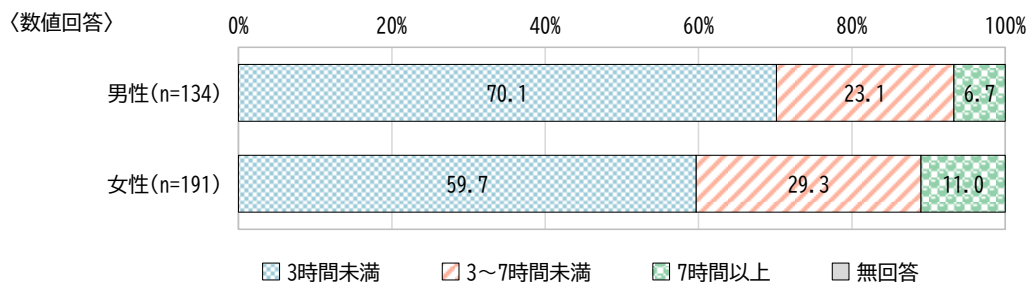




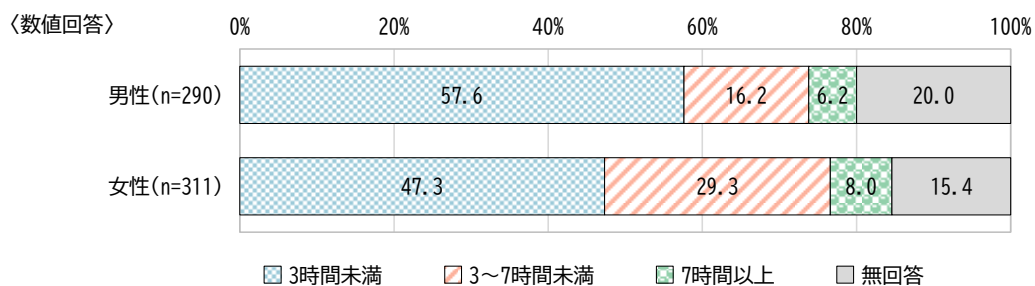
## ⑦性別×世話に費やす時間

◇世話に費やす時間については、男女ともに「3時間未満」の割合が最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。また、「女性」は「男性」に比べ、「3～7時間未満」、「7時間以上」の割合が高くなっている。

### 今回調査



### 全国調査



## ⑧性別×世話による制約

◇世話による制約については、男女ともに「特にない」の割合が7割を超えて最も高く、全国調査でも6割を超えており、全国調査と同様の結果となっている。特に「女性」の場合、「宿題など勉強する時間がない」、「自分の時間が取れない」の割合が「男性」より5ポイント以上高くなっている。

(%)

		調査数 (n=)	学校を休んでしまう	遅刻や早退をしてしまう	宿題など勉強する時間がない	眠る時間がたりない	友だちと遊ぶことができない	習い事ができない	自分の時間が取れない	その他	特にない	無回答
熊本県	男性	134	3.0	3.0	6.0	3.7	10.4	0.0	9.7	0.0	78.4	0.0
	女性	191	1.6	2.1	11.5	6.8	7.9	0.5	18.3	1.0	72.3	0.0
全国	男性	290	1.4	2.1	4.5	4.8	9.0	0.3	11.4	0.3	65.5	12.1
	女性	311	4.2	3.9	10.6	8.4	10.9	1.6	18.3	1.3	64.0	4.8

## ⑨性別×世話の大変さ

◇世話の大変さについては、「女性」の方が「男性」に比べて、大変さを感じる割合が全体的に高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。特に「気持ちの面で大変」の割合が「男性」より8ポイント以上高くなっている。

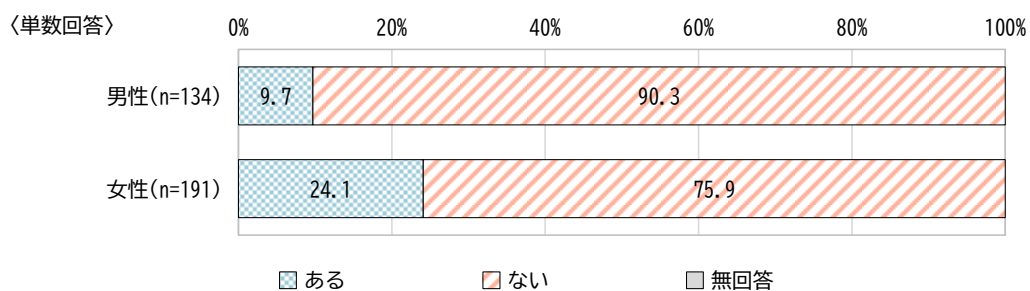
(%)

		調査数 (n=)	体力の 面で 大変	気持ち の面 で 大変	時間 の 余 裕 が な い	特に 大 変 さ は 感 じ て い な い	無 回 答
熊本県	男性	134	14.9	14.9	14.2	67.2	0.0
	女性	191	16.2	23.6	15.7	59.7	0.0
全国	男性	290	11.4	14.8	12.4	56.9	12.1
	女性	311	16.7	21.5	16.4	58.8	4.8

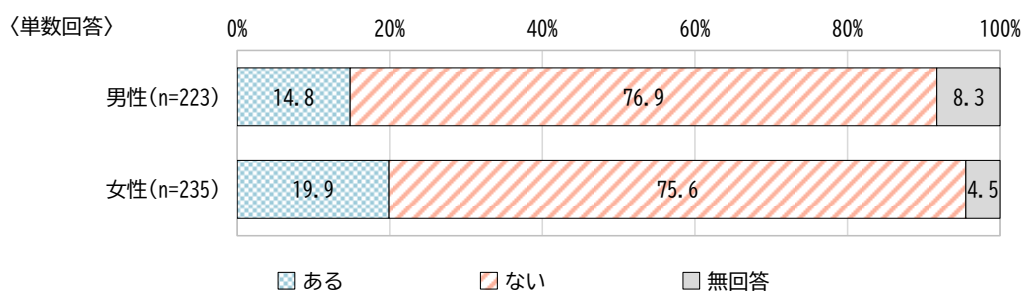
## ⑩性別×世話について相談した経験

◇世話について相談した経験については、「女性」の方が「男性」に比べて「ある」の割合が10ポイント以上高くなっており、全国調査と比べて「男性」では「ない」の割合が13.4ポイント高くなっている。

### 今回調査



### 全国調査



## ⑪性別×世話についての相談相手

◇世話についての相談相手については、男女ともに「家族（父親、母親、祖父、祖母、きょうだい）」の割合が最も高く、「男性」では「女性」より8ポイント以上高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。また、「女性」の方が「男性」に比べて「親戚（おじ、おば）」、「友だち」、「スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー」の割合が高くなっており、家族以外にも相談している割合が高い。

(%)

		調査数 (n)	家族（父親、母親、祖父、祖母、きょうだい）	親戚（おじ、おば）	友だち	学校の先生（保健室の先生以外）	保健室の先生	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー	病院・医療・福祉サービス人	近所の人	SNS上での知り合い	その他	無回答
熊本県	男性	13	84.6	0.0	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0
	女性	46	76.1	15.2	56.5	6.5	0.0	6.5	0.0	0.0	2.2	2.2	0.0
全国	男性	43	86.0	4.7	32.6	14.0	0.0	2.3	2.3	0.0	2.3	2.3	0.0
	女性	62	77.4	14.5	45.2	12.9	9.7	3.2	1.6	3.2	4.8	1.6	0.0

## ⑫性別×世話について相談したことがない理由

◇世話について相談したことがない理由では、男女ともに「相談するほどのなやみではないから」の割合が8割前後と最も高くなっており、全国調査とほぼ同様の結果となっている。また、「女性」の方が「男性」に比べて「誰に相談するのがよいかから」「家族のことを話したくないから」の割合が5ポイント以上高くなっている。

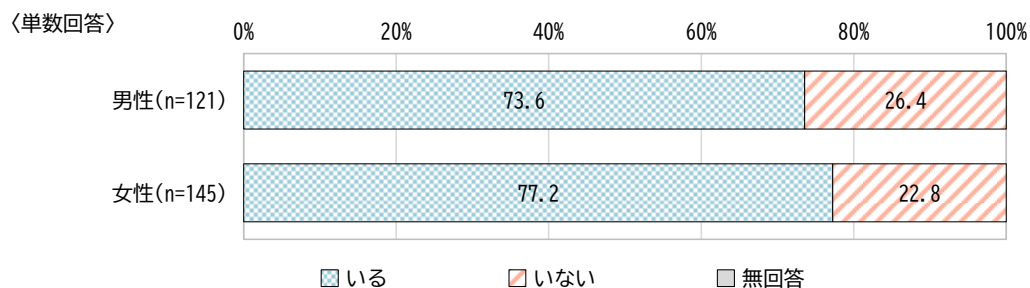
(%)

		調査数 (n=)	は相談するほどのなやみではないから	誰に相談するのがよいかから	相談できる人がいないから	家族のことを話したくないから	相談しても何も変わらないから	その他	無回答
熊本県	男性	121	78.5	1.7	4.1	0.8	7.4	12.4	0.0
	女性	145	80.0	8.3	2.1	6.2	9.0	10.3	0.0
全国	男性	223	75.8	1.3	1.8	2.2	9.4	2.7	10.8
	女性	235	70.6	6.0	6.8	8.9	14.9	4.7	11.9

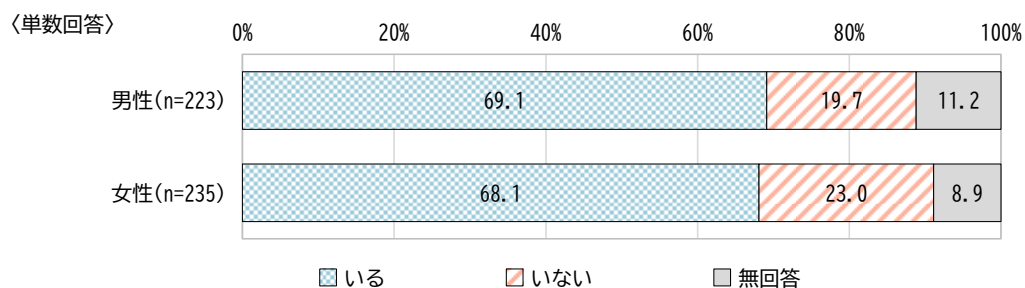
### ⑬性別×世話について話を聞いてくれる人の有無

◇世話について話を聞いてくれる人の有無では、全国調査と同様に性別による大きな差はみられなかった。

#### 今回調査



#### 全国調査



## ⑭性別×学校や大人にしてもらいたいこと

◇学校や大人にしてもらいたいことでは、男女ともに「特にない」の割合が最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。また、「女性」の方が「男性」に比べて「自由に使える時間がほしい」の割合が5ポイント以上高くなっている。

(%)

		調査数 (n)	自分のことについて話を聞いてほしい	家族のお世話について相談	家族の病気や障がい、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい	自分が行っているお世話のすべてを誰かに代わってほしい	一部を誰かに代わってお世話してほしい	自由に使える時間がほしい	勉強を教えてほしい	お金の面で支援してほしい	その他	特にない	わからない	無回答
熊本県	男性	134	8.2	1.5	1.5	2.2	0.0	10.4	9.0	2.2	0.0	73.9	17.2	0.0
	女性	191	7.9	2.6	1.0	2.6	2.6	17.8	7.3	2.6	0.5	59.2	18.3	0.0
全国	男性	290	5.5	2.8	1.7	1.7	3.4	13.8	10.3	5.9	1.0	55.5	6.2	9.3
	女性	311	16.7	5.8	1.9	4.2	9.0	16.4	16.1	4.5	1.3	48.2	6.4	6.1



### ⑮性別×希望する相談方法

◇前問で「自分のことについて話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した子どもに希望する相談方法を聞いたところ、男女ともに「直接会って」の割合が最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。また、「男性」では「電話」の割合が、「女性」では「電子メール」、「その他」の割合がそれぞれと比べて高くなっている。

(%)

		調査数 (n)	直接会って	電話	S N S	電子メール	その他	無回答
熊本県	男性	12	91.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性	19	78.9	5.3	0.0	10.5	5.3	0.0
全国	男性	21	61.9	14.3	4.8	9.5	0.0	14.3
	女性	58	50.0	24.1	19.0	15.5	12.1	3.4

## 4-3 家族構成による世話の状況の違い

### (1) 家族構成による世話の状況の違い

※「その他の世帯」についてはn数が少ないためクロス集計の対象外としている。

#### ①家族構成×世話を必要としている家族

◇世話を必要としている家族については、いずれの家族構成も「きょうだい」が最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。特に「二世帯世帯（ふたり親家庭）」では8割を超えており、「三世帯世帯」、「ひとり親家庭」より15ポイント以上高くなっている。また、「三世帯世帯」では「祖父」の割合が他の家族構成と比べて高くなっている。

(%)

		調査数 (n=)	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他	無回答
熊本県	二世帯世帯 (ふたり親家庭)	229	10.0	8.3	3.1	3.5	86.0	6.1	0.0
	三世帯世帯	66	6.1	6.1	16.7	13.6	69.7	9.1	0.0
	ひとり親家庭	41	14.6	9.8	17.1	4.9	58.5	14.6	0.0
全国	二世帯世帯 (ふたり親家庭)	437	20.1	14.0	9.4	5.9	73.9	1.4	5.0
	三世帯世帯	121	22.3	13.2	9.9	5.0	61.2	3.3	7.4
	ひとり親家庭	64	12.5	7.8	15.6	3.1	71.9	1.6	7.8

## ②家族構成×世話の内容

◇世話の内容については、いずれの家族構成も「見守り」が最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。また「ひとり親家庭」では「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」の割合が他の家族構成と比べて10ポイント以上高くなっている。

◇「二世世代世帯（ふたり親家庭）」では「入浴やトイレのお世話」の割合が32.3%となっており、全国調査（国：19.9%）より12.4ポイント高くなっている。

(%)

		調査数 (n=)	家事 (食事の準備や掃除、洗濯)	さ よ う だ い の お 世 話 や 送 り む か え	入 浴 や ト イ レ の お 世 話	< 買 い 物 や 散 歩 に 一 緒 に 行 く	病 院 へ 一 緒 に 行 く	話 を 聞 く	見 守 り	通 訳 (日 本 語 や 手 話 な ど)	お 金 の 管 理	薬 の 管 理	そ の 他	無 回 答
熊本県	二世世代世帯 (ふたり親家庭)	229	31.4	26.2	32.3	17.5	1.3	25.3	65.5	2.2	1.3	1.3	8.3	0.0
	三世世代世帯	66	30.3	22.7	22.7	13.6	3.0	22.7	57.6	3.0	0.0	0.0	9.1	0.0
	ひとり親家庭	41	41.5	17.1	24.4	24.4	4.9	29.3	41.5	2.4	4.9	9.8	2.4	0.0
全国	二世世代世帯 (ふたり親家庭)	437	36.2	31.4	19.9	17.6	3.7	27.0	41.2	3.4	2.1	2.5	6.2	11.7
	三世世代世帯	121	29.8	21.5	14.9	18.2	5.0	25.6	37.2	3.3	1.7	6.6	5.8	16.5
	ひとり親家庭	64	39.1	25.0	21.9	23.4	4.7	25.0	43.8	1.6	6.3	3.1	1.6	10.9

### ③家族構成×世話を一緒にする人

◇世話を一緒にしている人については、いずれの家族構成も「母親」が最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。また「三世代世帯」では「祖母」の割合が他の家族構成と比べて10ポイント以上高くなっている。

◇「二世代世帯（ふたり親家庭）」、「三世代世帯」では「父親」が6割を超えており、特に「三世代世帯」では全国調査（国：38.8%）より21.8ポイント高くなっている。

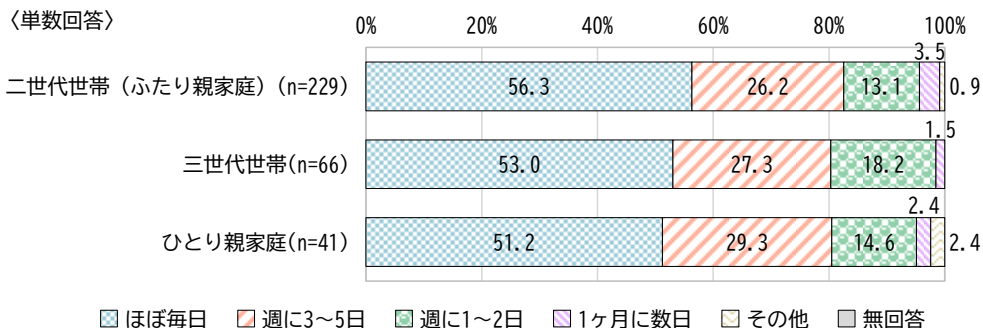
(%)

		調査数 (n)	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	親戚の人	自分のみ	福祉サービス (ヘルパー など)を利用	その他	無回答
熊本県	二世代世帯 (ふたり親家庭)	229	74.7	60.3	11.4	9.6	50.7	4.4	9.6	0.9	1.7	0.0
	三世代世帯	66	77.3	60.6	28.8	13.6	39.4	6.1	15.2	3.0	3.0	0.0
	ひとり親家庭	41	61.0	4.9	14.6	12.2	41.5	0.0	17.1	0.0	7.3	0.0
全国	二世代世帯 (ふたり親家庭)	437	65.7	50.8	11.4	5.9	36.4	3.0	10.1	1.8	0.7	10.1
	三世代世帯	121	60.3	38.8	13.2	3.3	37.2	2.5	12.4	5.0	0.0	11.6
	ひとり親家庭	64	64.1	37.5	7.8	3.1	32.8	4.7	9.4	1.6	0.0	15.6

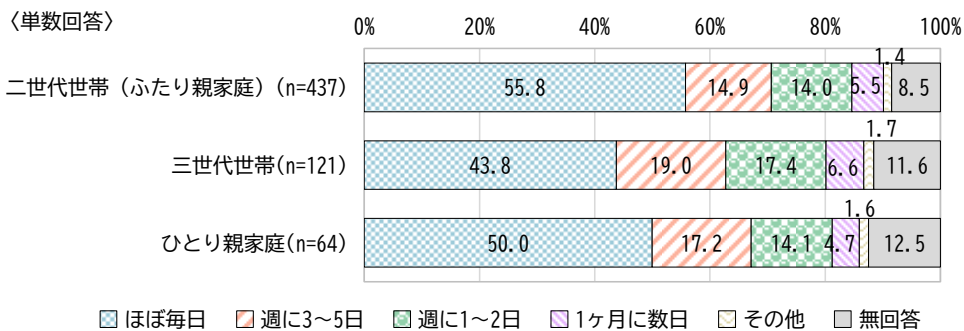
#### ④家族構成×世話の頻度

◇世話の頻度の比較では、全国調査と同様に家族構成による大きな差はみられなかった。

##### 今回調査



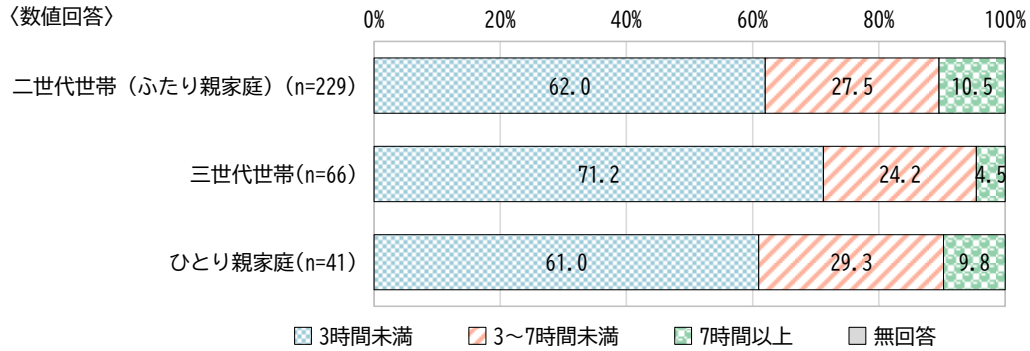
##### 全国調査



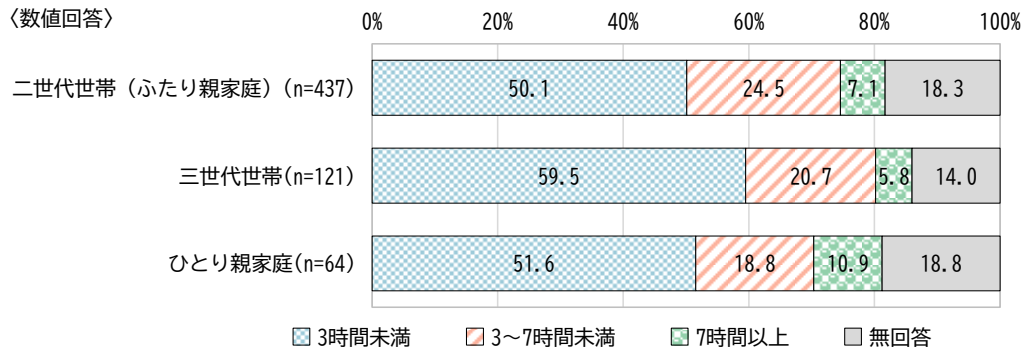
## ⑤ 家族構成 × 世話に費やす時間

◇世話に費やす時間については、「三世代世帯」では「3時間未満」の割合が他の家族構成より10ポイント近く高くなっており、全国調査と比べても11.7ポイント高くなっている。

### 今回調査



### 全国調査



## ⑥家族構成×世話による制約

◇世話による制約については、いずれの家族構成も「特にない」の割合が最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。「ひとり親家庭」では全体的に回答割合が高い傾向にあり、特に「学校を休んでしまう」、「眠る時間がたりない」、「自分の時間が取れない」の割合が他の家族構成より8ポイント以上高くなっており、「自分の時間が取れない」については全国調査（国：10.9%）と比べても15.9ポイント高くなってている。

(%)

		調査数 (n=)	学校を休んでしまう	遅刻や早退をしてしまう	宿題など勉強する時間がたりない	眠る時間がたりない	友だちと遊ぶことができない	習い事ができない	自分の時間が取れない	その他	特にない	無回答
熊本県	二世代会世帯 (ふたり親家庭)	229	1.7	2.2	7.9	5.2	9.2	0.4	14.4	0.9	77.3	0.0
	三世代会世帯	66	0.0	1.5	13.6	4.5	12.1	0.0	15.2	0.0	74.2	0.0
	ひとり親家庭	41	9.8	7.3	17.1	14.6	9.8	2.4	26.8	0.0	58.5	0.0
全国	二世代会世帯 (ふたり親家庭)	437	2.7	3.2	8.0	6.4	10.3	0.9	15.8	1.1	63.6	8.2
	三世代会世帯	121	2.5	4.1	7.4	9.1	12.4	1.7	15.7	0.8	62.8	8.3
	ひとり親家庭	64	4.7	1.6	7.8	4.7	6.3	0.0	10.9	1.6	65.6	10.9

## ⑦家族構成×世話の大変さ

◇世話の大変さについては、いずれの家族構成も「特に大変さは感じていない」の割合が最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。「ひとり親家庭」では「時間の余裕がない」の割合が他の家族構成より10ポイント以上高くなっており、全国調査（国：14.1%）と比べても15.2ポイント高くなっている。

(%)

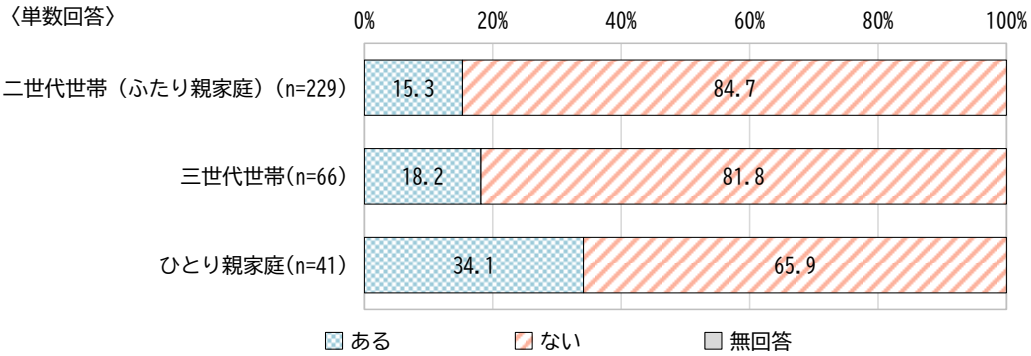
		調査数 (n)	体力の面で大変	気持ちの面で大変	時間の余裕がない	特に大変さは感じていない	無回答
熊本県	二世世代世帯 (ふたり親家庭)	229	17.5	18.3	13.5	63.3	0.0
	三世世代世帯	66	9.1	25.8	15.2	57.6	0.0
	ひとり親家庭	41	22.0	24.4	29.3	61.0	0.0
全国	二世世代世帯 (ふたり親家庭)	437	15.3	16.7	16.9	55.8	8.5
	三世世代世帯	121	11.6	24.8	7.4	57.9	9.9
	ひとり親家庭	64	10.9	20.3	14.1	64.1	6.3



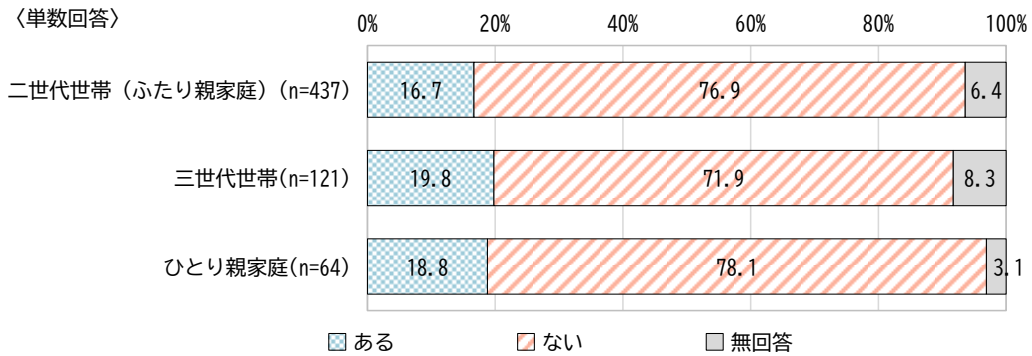
## ⑧ 家族構成 × 世話について相談した経験

◇ 世話について相談した経験の有無では、「ひとり親家庭」では「ある」の割合が 34.1% と 3 割を超えており、他の家族構成及び全国調査より 15 ポイント以上高くなっている。

### 今回調査



### 全国調査



## ⑨家族構成×世話についての相談相手

◇世話について相談相手については、「家族（父親、母親、祖父、祖母、きょうだい）」の割合が最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。また、「二世帯世帯」では「親戚（おじ、おば）」、「スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー」の割合が他の家族構成より8ポイント以上高くなっている。加えて、「二世帯世帯」、「三世帯世帯」では「友だち」の割合が5割前後と高くなっているのに対し、「ひとり親家庭」では35.7%と3割台となっている。

(%)

		調査数 (n)	家族（父親、 母親、祖父、 祖母、きょうだい）	親戚（おじ、 おば）	友だち	学校の先生（ 保健室の先 生以外）	保健室の先生	スクール ソーシャル ワーカー やスクール カウンセ ラー	病院・医療・ 福祉サービ ス人	近所の人	SNS上での 知り合い	その他	無回答
熊本県	二世帯世帯 (ふたり親家庭)	35	82.9	17.1	48.6	11.4	0.0	8.6	0.0	0.0	2.9	2.9	0.0
	三世帯世帯	12	66.7	8.3	58.3	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0
	ひとり親家庭	14	71.4	0.0	35.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0
全国	二世帯世帯 (ふたり親家庭)	73	82.2	11.0	37.0	13.7	4.1	4.1	2.7	1.4	4.1	2.7	0.0
	三世帯世帯	24	66.7	8.3	41.7	16.7	4.2	4.2	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0
	ひとり親家庭	12	83.3	8.3	58.3	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0

## ⑩家族構成×世話について相談したことがない理由

◇世話について相談相手したことがない理由では、「相談するほどのなやみではないから」の割合が最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。「ひとり親家庭」では全体的に回答割合が高い傾向にあり、特に「相談できる人がいないから」、「家族のことを話したくないから」の割合が他の家族構成より 10 ポイント以上高くなっており、全国調査と比べても全体的に回答割合が高い。

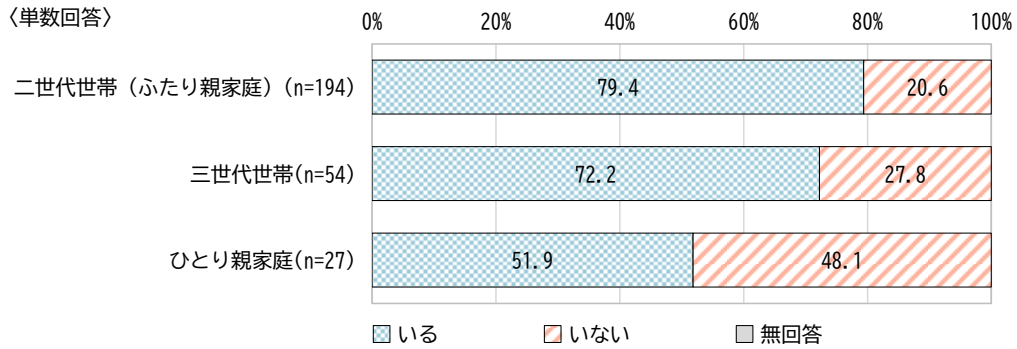
(%)

		調査数 (n)	は相談するほどのなやみではないから	わ誰から相談するのがよいか	ら相談できる人がいないか	い家族のことを話したくないから	い相談しても何も変わらないから	その他	無回答
熊本県	二世世代世帯 (ふたり親家庭)	194	81.4	5.2	3.1	3.6	7.7	11.9	0.0
	三世世代世帯	54	79.6	5.6	1.9	3.7	11.1	9.3	0.0
	ひとり親家庭	27	66.7	14.8	14.8	18.5	18.5	11.1	0.0
全国	二世世代世帯 (ふたり親家庭)	336	70.8	4.8	4.8	5.7	14.6	3.6	11.3
	三世世代世帯	87	72.4	3.4	6.9	6.9	9.2	6.9	11.5
	ひとり親家庭	50	82.0	2.0	0.0	2.0	12.0	2.0	8.0

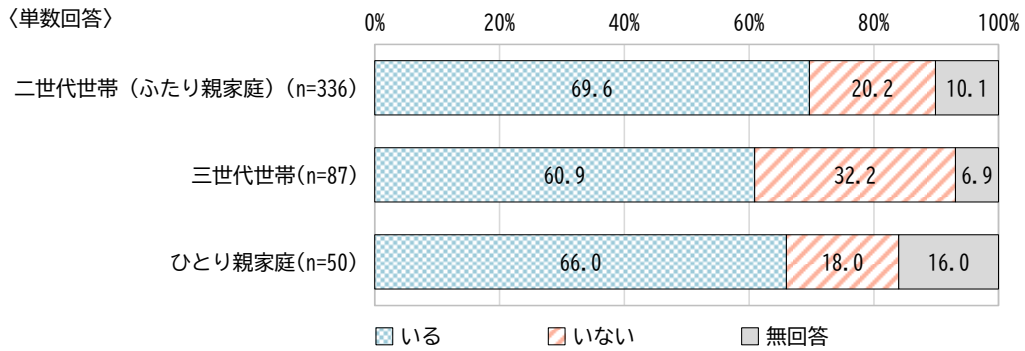
## ⑪ 家族構成 × 世話について話を聞いてくれる人の有無

◇ 世話についての話を聞いてくれる人の有無では、「ひとり親家庭」では「いない」の割合が他の家族構成と比べて 20 ポイント以上高くなっており、全国調査（国：18.0%）と比べても 30.1 ポイント高くなっている。

### 今回調査



### 全国調査



## ⑫家族構成×学校や大人にしてもらいたいこと

◇学校や大人にしてもらいたいことでは、いずれの家族構成も「特にない」の割合が最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。「ひとり親家庭」では全体的に回答割合が高い傾向にあり、特に「勉強を教えてほしい」の割合が他の家族構成と比べて10ポイント以上高くなっている。

(%)

		調査数 (n)	自分のことについて話を聞いてほしい	家族のお世話について相談	家族の病気や障がい、お世話のことも説明してほしい	自分が誰かに代わってほしい	一部が誰かに代わってほしい	自由に使える時間がほしい	勉強を教えてほしい	お金の面で支援してほしい	その他	特にない	わからない	無回答
熊本県	二世世代世帯 (ふたり親家庭)	229	7.4	1.3	1.3	1.7	2.2	13.5	5.2	2.2	0.4	67.2	19.2	0.0
	三世世代世帯	66	9.1	3.0	0.0	3.0	1.5	21.2	9.1	4.5	0.0	65.2	10.6	0.0
	ひとり親家庭	41	12.2	7.3	2.4	7.3	4.9	24.4	19.5	2.4	0.0	53.7	19.5	0.0
全国	二世世代世帯 (ふたり親家庭)	437	11.7	4.8	1.8	3.4	6.2	14.4	15.1	4.6	0.7	51.7	5.3	8.0
	三世世代世帯	121	14.0	5.8	2.5	2.5	8.3	18.2	10.7	8.3	3.3	47.1	9.1	8.3
	ひとり親家庭	64	10.9	1.6	1.6	0.0	6.3	17.2	4.7	6.3	1.6	54.7	12.5	4.7

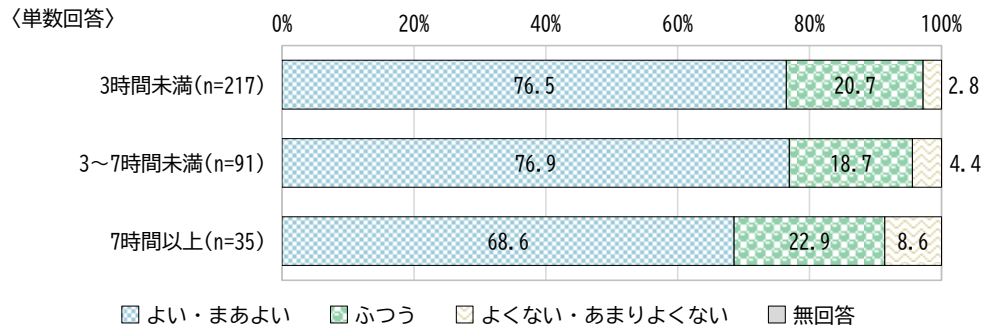
#### 4-4 平日1日あたりの世화에費やす時間による生活状況等

##### (1) 平日1日あたりの世화에費やす時間による生活状況等

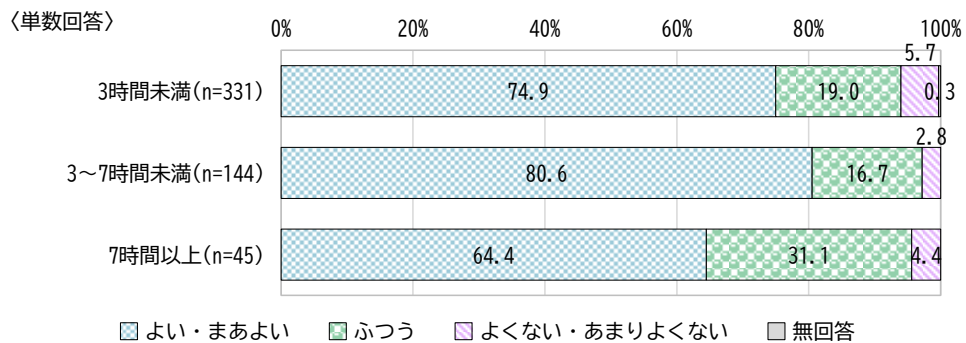
###### ① 平日1日あたりの世화에費やす時間 × 健康状態

◇健康状態の比較では、全国調査と同様にあまり大きな差はみられなかった。

#### 今回調査



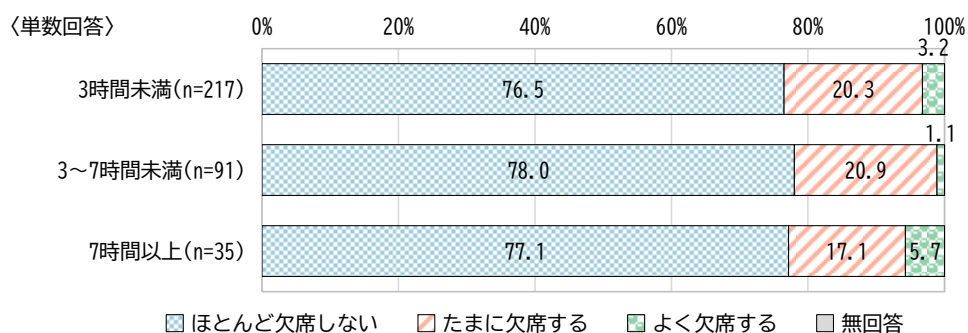
#### 全国調査



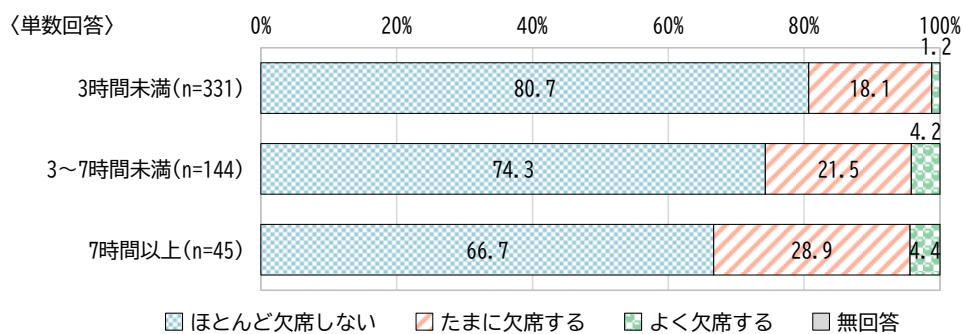
## ②平日 1日あたりの世화에費やす時間×欠席の状況

◇欠席の状況の比較では、あまり大きな差はみられなかったが、全国調査と比べて「7時間以上」では「ほとんど欠席しない」の割合が高く、「たまに欠席する」の割合が低くなっている。

### 今回調査



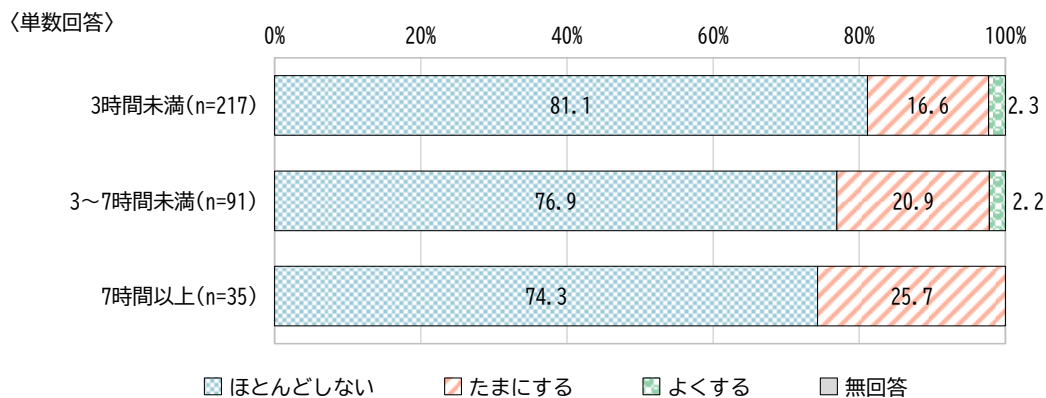
### 全国調査



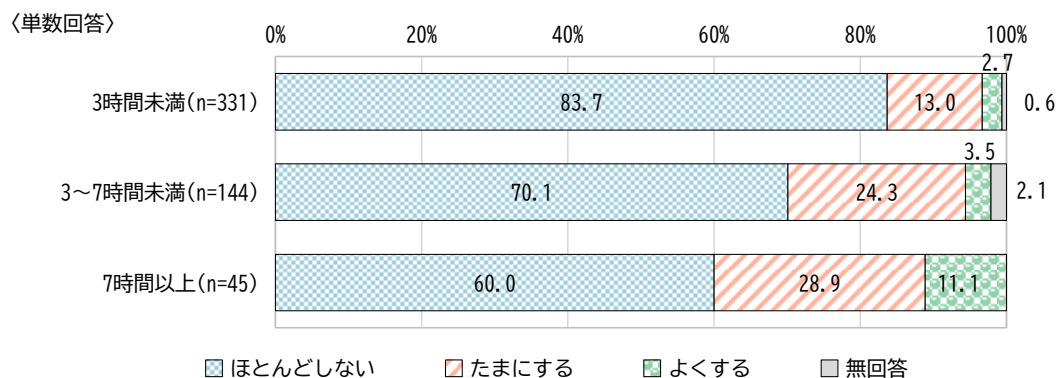
### ③平日 1日あたりの世話に費やす時間×遅刻や早退の状況

◇遅刻や早退の状況については、世話に費やす時間が長くなるにつれて、「たまにする」の割合が高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。

#### 今回調査



#### 全国調査





#### ④平日 1日あたりの世話に費やす時間×学校生活等であてはまること

◇学校生活であてはまることについては、「特にない」の割合が最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。また、「持ち物の忘れ物が多い」、「提出物を出すのが遅れることが多い」以外は、世話に費やす時間が長くなるにつれて回答割合が高くなる傾向にある。

(%)

		調査数 (n=)	授業中に ねてしまうこと が多い	宿題が できていないこと が多い	持ち物の 忘れ物が多い	習い事を 休むことが多い	提出物を出 すのが遅れる ことが多い	修学旅行な どの宿泊行 事を欠席す る	保健室で 過ごすこと が多い	学校で一人 で過ごすこ とが多い	友だち遊 んだり、お しゃべりす る時間が少 ない	特にな い	無回 答
熊本県	3時間未満	217	9.2	13.4	25.8	3.7	22.6	0.0	1.4	5.5	4.1	59.9	0.0
	3～7時間未満	91	13.2	14.3	25.3	3.3	18.7	0.0	2.2	3.3	4.4	59.3	0.0
	7時間以上	35	14.3	20.0	22.9	8.6	20.0	0.0	5.7	14.3	11.4	57.1	0.0
全国	3時間未満	331	11.5	12.4	32.6	2.7	24.5	0.6	1.2	8.2	19.3	41.7	0.9
	3～7時間未満	144	8.3	16.7	33.3	3.5	22.9	0.7	0.7	8.3	16.7	42.4	0.7
	7時間以上	45	22.2	20.0	33.3	2.2	28.9	6.7	4.4	17.8	26.7	24.4	0.0

#### ⑤平日 1日あたりの世話に費やす時間×現在の悩みごと

◇学校生活であてはまることについては、「特にない」の割合が最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。また、世話に費やす時間が長くなるにつれて、「友だちのこと」、「学校の成績のこと」、「習い事のこと」、「家族のこと」の割合が高くなる傾向にある。

(%)

		調査数 (n=)	友だちの こと	学校の成 績のこと	習い事 のこと	家族の こと	生活や勉 強に必要 なお金 のこと	自分のた めに使 える時 間 が少ない こと	その他	特にな い	無回 答
熊本県	3時間未満	217	16.6	16.1	7.4	8.8	6.0	7.8	6.5	59.4	0.0
	3～7時間未満	91	24.2	16.5	11.0	13.2	11.0	6.6	6.6	50.5	0.0
	7時間以上	35	31.4	17.1	11.4	20.0	5.7	8.6	5.7	51.4	0.0
全国	3時間未満	331	14.5	21.8	8.5	12.1	10.0	8.8	5.4	52.9	1.2
	3～7時間未満	144	25.7	20.1	10.4	20.1	14.6	9.7	4.2	47.2	1.4
	7時間以上	45	22.2	31.1	17.8	17.8	22.2	20.0	11.1	35.6	2.2

## ⑥平日 1日あたりの世話に費やす時間×世話をすることを感じるきつさ

◇世話をすることを感じるきつさについては、「特に大変さは感じていない」の割合が最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。また、世話に費やす時間が長くなるにつれて、「気持ちの面で大変」の割合が高くなる傾向にある。加えて、「3～7時間未満」では「体力の面で大変」の割合が他と比べ9ポイント以上高くなっている。

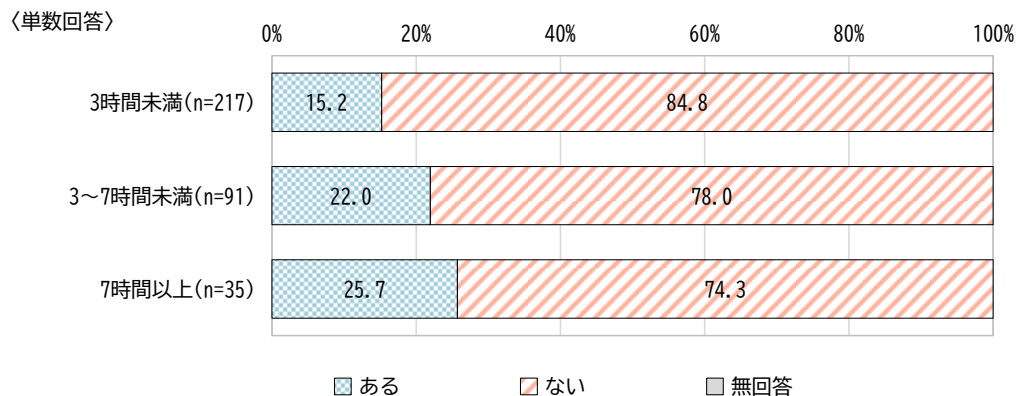
(%)

		調査数 (n=)	体力の 面で 大変	気持ち の面 で 大変	時間 の 余 裕 が な い	特に 大 変 さ は 感 じ て い な い	無 回 答
熊本県	3時間未満	217	12.0	17.1	12.0	66.4	0.0
	3～7時間未満	91	26.4	25.3	24.2	50.5	0.0
	7時間以上	35	17.1	37.1	20.0	60.0	0.0
全国	3時間未満	331	11.2	15.7	11.2	67.4	1.5
	3～7時間未満	144	17.4	22.2	20.8	58.3	0.7
	7時間以上	45	37.8	40.0	31.1	35.6	2.2

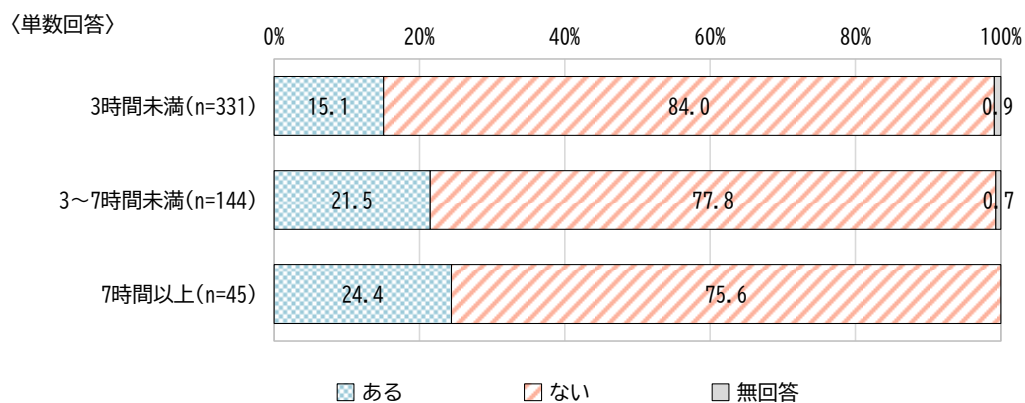
## ⑦平日1日あたりの世話に費やす時間×世話に関する相談の経験

◇世話に関する相談の経験については、全国調査と同様に世話に費やす時間が長くなるにつれて、「ある」の割合が高くなる傾向にある。

### 今回調査



### 全国調査



## ⑧平日 1日あたりの世話に費やす時間×世話に関する相談相手

◇世話に関する相談相手については、n数が少ないことに留意が必要ではあるが、「家族(父親、母親、祖父、祖母、きょうだい)の割合が最も高く、次いで「友だち」となっている。全国調査と同様に世話に費やす時間による大きな差はみられなかった。

(%)

		調査数 (n=)	家族(父親、 母親、祖父、 祖母、きょうだい)	親戚(おじ、 おば)	友だち	学校の先生(保 健室の先生 以外)	保健室の先生	スクールソ シヤルワ ンセー	病院・医療 ・福祉サー ビ	近所の人	SNS上での 知り合い	その他	無回 答
熊本県	3時間未満	33	78.8	9.1	42.4	12.1	0.0	6.1	0.0	3.0	0.0	3.0	0.0
	3~7時間未満	20	75.0	15.0	55.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	5.0	5.0	0.0
	7時間以上	9	77.8	11.1	44.4	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全国	3時間未満	50	78.0	6.0	30.0	10.0	2.0	4.0	2.0	0.0	4.0	4.0	0.0
	3~7時間未満	31	71.0	19.4	51.6	16.1	9.7	0.0	0.0	3.2	3.2	0.0	0.0
	7時間以上	11	90.9	9.1	63.6	9.1	0.0	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0

## ⑨平日 1日あたりの世話に費やす時間×世話に関する相談したことがない理由

◇世話に関する相談をしたことがない理由については、どの時間も「相談するほどのなやみではないから」の割合が最も高いが、それ以外の項目については、「その他」以外は世話に費やす時間が長くなるにつれて高くなる傾向にあり、特に「相談できる人がいないから」、「家族のことを話したくないから」の割合が10ポイント以上高くなっている。

(%)

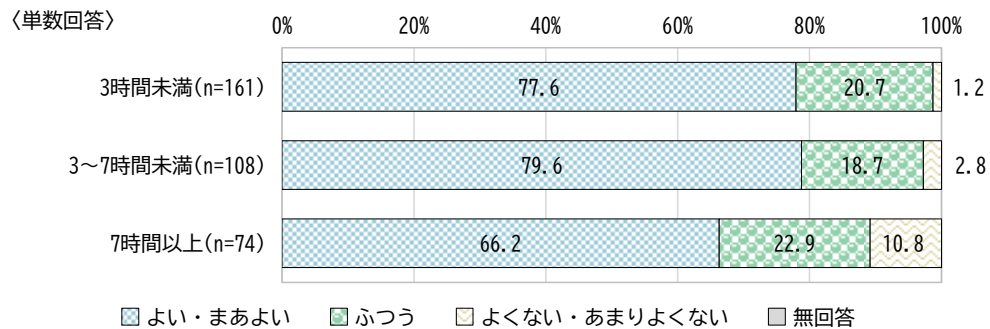
		調査数 (n=)	は相談する ほどのなや みで	誰に相談 するのがよ いか	相談でき る人がいな いから	家族のこ とを話した くないから	相談して も何も変 わらな	その他	無回 答
熊本県	3時間未満	184	81.0	5.4	2.2	4.9	8.2	11.4	0.0
	3~7時間未満	71	76.1	7.0	5.6	2.8	11.3	12.7	0.0
	7時間以上	26	73.1	11.5	15.4	15.4	19.2	3.8	0.0
全国	3時間未満	278	77.3	2.2	2.5	2.5	9.0	3.6	9.7
	3~7時間未満	112	68.8	5.4	7.1	8.0	19.6	3.6	11.6
	7時間以上	34	64.7	8.8	5.9	14.7	26.5	5.9	8.8

#### 4-5 休日1日あたりの世화에費やす時間による生活状況等【県独自設問】

##### (1) 休日1日あたりの世화에費やす時間による生活状況等

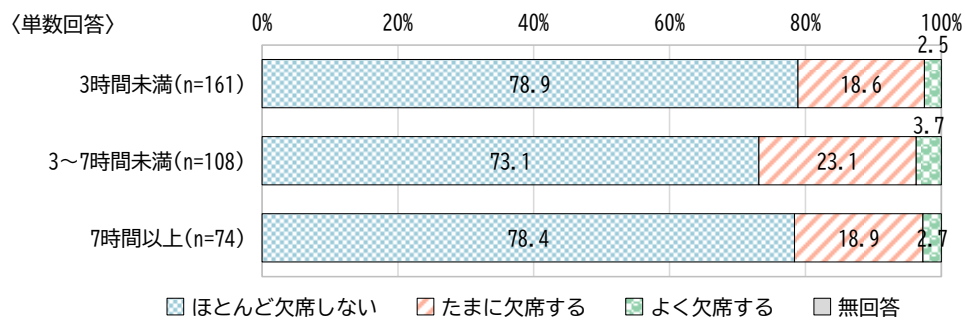
###### ① 休日1日あたりの世화에費やす時間×健康状態

◇健康状態の比較では、「よい・まあよい」が最も高くなっているが、世화에費やす時間が長くなるほど「よくない・あまりよくない」の割合が増加している。



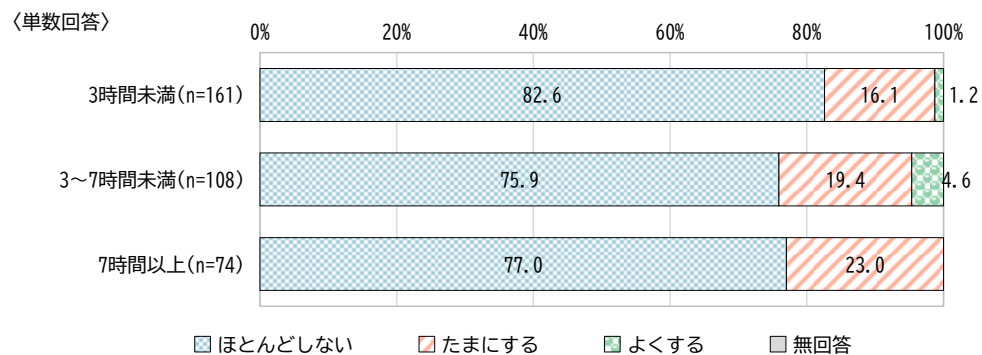
###### ② 休日1日あたりの世화에費やす時間×欠席の状況

◇欠席の状況の比較では、あまり大きな差はみられなかった。



### ③休日 1日あたりの世話に費やす時間×遅刻や早退の状況

◇遅刻や早退の状況については、世話に費やす時間が長くなるにつれて、「たまにする」の割合が高くなっている。



#### ④休日 1日あたりの世話に費やす時間×学校生活等であてはまること

◇学校生活であてはまることについては、全体的に「特にない」の割合が最も高くなっており、「持ち物の忘れ物が多い」、「提出物を出すのが遅れることが多い」の割合も高くなっている。

(%)

		調査数 (n=)	授業中にねてしまうことが多い	宿題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	習い事を休むことが多い	提出物を出すのが遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では一人で過ごすことが多い	友だち遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	特にない	無回答
熊本県	3時間未満	161	10.6	15.5	27.3	3.1	22.4	0.0	0.6	5.6	5.0	61.5	0.0
	3~7時間未満	108	10.2	12.0	22.2	3.7	21.3	0.0	2.8	4.6	2.8	57.4	0.0
	7時間以上	74	12.2	14.9	25.7	6.8	18.9	0.0	4.1	8.1	8.1	58.1	0.0

#### ⑤休日 1日あたりの世話に費やす時間×現在の悩みごと

◇学校生活であてはまることについては、「特にない」の割合が最も高くなっているが、世話に費やす時間が長くなるにつれて「特にない」の割合が低くなり、他の項目の割合が高くなっている。

(%)

		調査数 (n=)	友だちのこと	学校の成績のこと	習い事のこと	家族のこと	生活や勉強に必要なお金のこと	自分のために使える時間が少ないこと	その他	特にない	無回答
熊本県	3時間未満	161	14.9	13.0	6.8	8.1	3.7	7.5	6.2	62.7	0.0
	3~7時間未満	108	21.3	16.7	8.3	13.0	10.2	5.6	4.6	52.8	0.0
	7時間以上	74	29.7	23.0	13.5	14.9	10.8	10.8	9.5	47.3	0.0

## ⑥休日 1日あたりの世話に費やす時間×世話をすることに感じるきつさ

◇世話をすることに感じるきつさについては、「特に大変さは感じていない」の割合が最も高くなっているが、世話に費やす時間が長くなるにつれて「特に大変さは感じていない」の割合が低くなり、他の項目の割合が高くなっている。

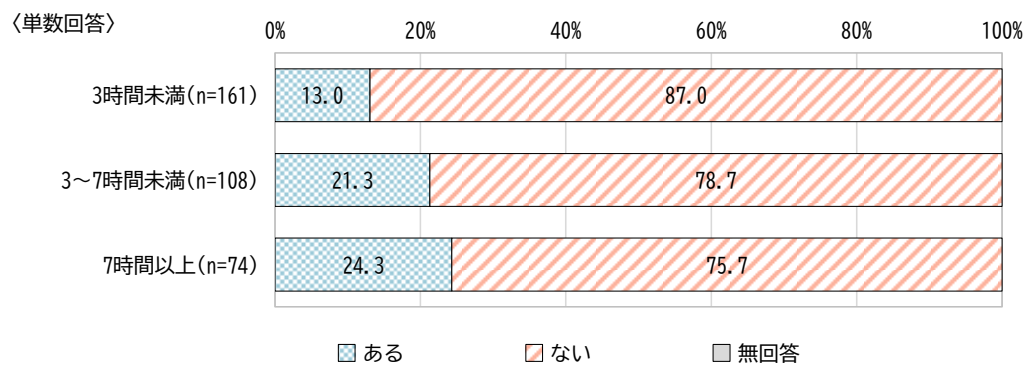
(%)

		調査数 (n)	体力の面で 大変	気持ちの面で 大変	時間の余裕が ない	特に大変さは 感じていな い	無回答
熊本県	3時間未満	161	10.6	17.4	9.9	68.9	0.0
	3～7時間未満	108	19.4	17.6	16.7	55.6	0.0
	7時間以上	74	24.3	35.1	28.4	54.1	0.0



## ⑦休日 1日あたりの世話に費やす時間×世話に関する相談の経験

◇世話に関する相談の経験については、世話に費やす時間が長くなるにつれて、「ある」の割合が高くなっている。



### ⑧休日1日あたりの世話に費やす時間×世話に関する相談相手

◇世話に関する相談相手については、n数が少ないことに留意が必要ではあるが、「家族(父親、母親、祖父、祖母、きょうだい)の割合が最も高く、次いで「友だち」となっている。

(%)

		調査数 (n=)	家族(父親、母親、祖父、祖母、きょうだい)	しんせき(おじ、おば)	友だち	学校の先生(保健室の先生以外)	保健室の先生	スクールソーシャルワーカー	病院・医療・福祉サービス人	近所の人	SNS上での知り合い	その他	無回答
熊本県	3時間未満	21	90.5	4.8	28.6	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0
	3~7時間未満	23	73.9	8.7	56.5	8.7	0.0	13.0	0.0	4.3	4.3	4.3	0.0
	7時間以上	18	66.7	22.2	55.6	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

### ⑨休日1日あたりの世話に費やす時間×世話に関する相談したことがない理由

◇世話に関する相談をしたことがない理由については、どの時間も「相談するほどのなやみではないから」の割合が最も高くなっており、「7時間以上」では、「誰に相談するのがよいかわからないから」、「相談できる人がいないから」、「相談しても何も変わらない」の割合も他と比べ高くなってきている。

(%)

		調査数 (n=)	は相談するほどのなやみではないから	誰に相談するのがよいかわからないから	相談できる人がいないから	家族のことを話したくないから	相談しても何も変わらないから	その他	無回答
熊本県	3時間未満	140	80.0	6.4	2.1	4.3	9.3	11.4	0.0
	3~7時間未満	85	78.8	2.4	2.4	4.7	5.9	14.1	0.0
	7時間以上	56	76.8	12.5	12.5	8.9	17.9	5.4	0.0

## 4-6 世話を必要としている家族による世話の状況等

### (1) 世話を必要としている家族による世話の状況等

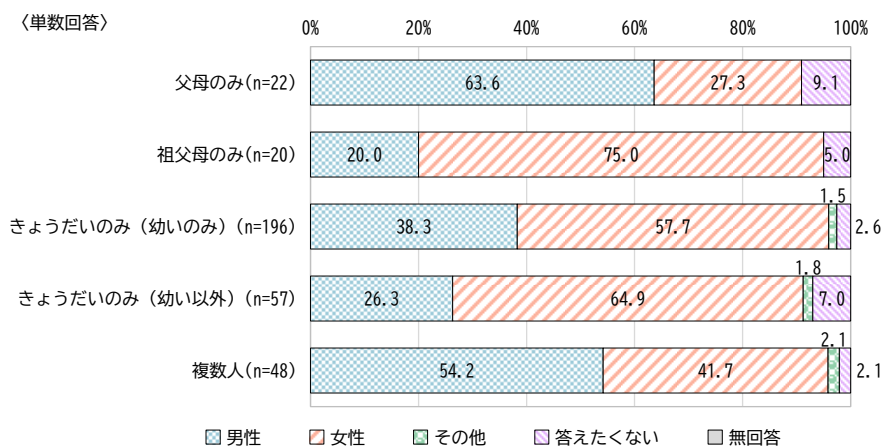
本クロス集計においては、世話を必要としている人ごとの特性を明らかにするため、「父母のみ」を世話する人、「祖父母のみ」を世話する人、「きょうだいのみ」を世話する人、そして以上3つの分類に「その他」を加えた4つの分類のうち複数の分類に属する人を世話する人（「複数人」）を対象を分類している。

さらに、「きょうだいのみ」を世話する人については、世話を必要とする人の状態像が「若い」のみの場合と、「それ以外」（「若い」以外の病気や障がい等の項目に回答があるもの。複数回答のため「若い」も選択している場合を含む）の場合に分けて分析している。なお、「その他」をお世話する人についてはn数がないためクロス集計の対象外としている。

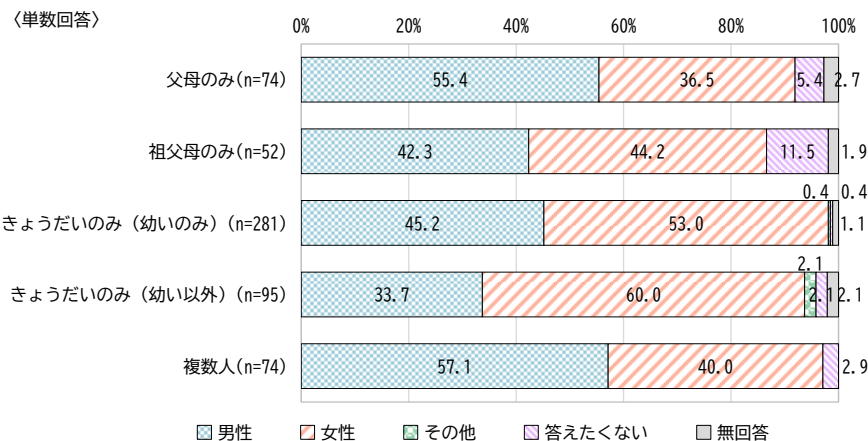
#### ①世話を必要としている家族×（回答者の）性別

◇「世話を必要としている家族」が「父母のみ」、「複数人」の場合、全国調査と同様に「男性」の割合が高く、「世話を必要としている家族」が「祖父母のみ」、「きょうだいのみ」の場合、「女性」の割合が高くなっている。

#### 今回調査



#### 全国調査



## ②世話を必要としている家族×世話の内容

◇世話の内容については、「世話を必要としている家族」が「父母のみ」の場合、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」の割合が最も高く、それ以外では「見守り」の割合が最も高くなっている。全国調査でもほぼ同様の結果だが、「父母のみ」に加えて「複数人」の場合も「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」の割合が最も高くなっている。

(%)

		調査数 (n=)	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいのお世話や送りむかえ	入浴やトイレのお世話	買い物や散歩と一緒に行く	病院へ一緒に行く	話を聞く	見守り	通訳（日本語や手話など）	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
熊本県	父母のみ	22	54.5	13.6	9.1	31.8	9.1	27.3	13.6	4.5	4.5	13.6	0.0	0.0
	祖父母のみ	20	30.0	0.0	20.0	20.0	5.0	35.0	40.0	5.0	5.0	5.0	5.0	0.0
	きょうだいのみ（幼いのみ）	196	28.6	27.0	37.8	13.8	0.0	23.0	71.9	1.0	1.0	0.5	4.6	0.0
	きょうだいのみ（上記以外）	57	33.3	36.8	19.3	21.1	1.8	31.6	57.9	3.5	0.0	1.8	10.5	0.0
	複数人	48	37.5	16.7	16.7	22.9	6.3	20.8	47.9	4.2	2.1	4.2	22.9	0.0
全国	父母のみ	74	50.0	6.8	8.1	18.9	13.5	17.6	8.1	6.8	8.1	6.8	2.7	18.9
	祖父母のみ	52	36.5	0.0	5.8	30.8	3.8	48.1	44.2	1.9	1.9	13.5	3.8	9.6
	きょうだいのみ（幼いのみ）	281	27.0	42.0	26.7	12.8	0.4	20.6	53.0	0.4	0.0	0.0	5.3	7.8
	きょうだいのみ（上記以外）	95	30.5	36.8	23.2	17.9	3.2	32.6	49.5	3.2	4.2	2.1	10.5	6.3
	複数人	70	60.0	22.9	10.0	28.6	10.0	31.4	20.0	11.4	4.3	7.1	2.9	17.1

### ③世話を必要としている家族×一緒に世話をする人

◇一緒に世話をする人については、「世話を必要としている家族」が「祖父母のみ」の場合、全国調査と同様に「福祉サービス（ヘルパーなど）を利用」の割合が他と比べて高くなっている。また、「複数人」の場合、「祖母」、「祖父」、「自分のみ」の割合が全国調査と比べて高くなっている。

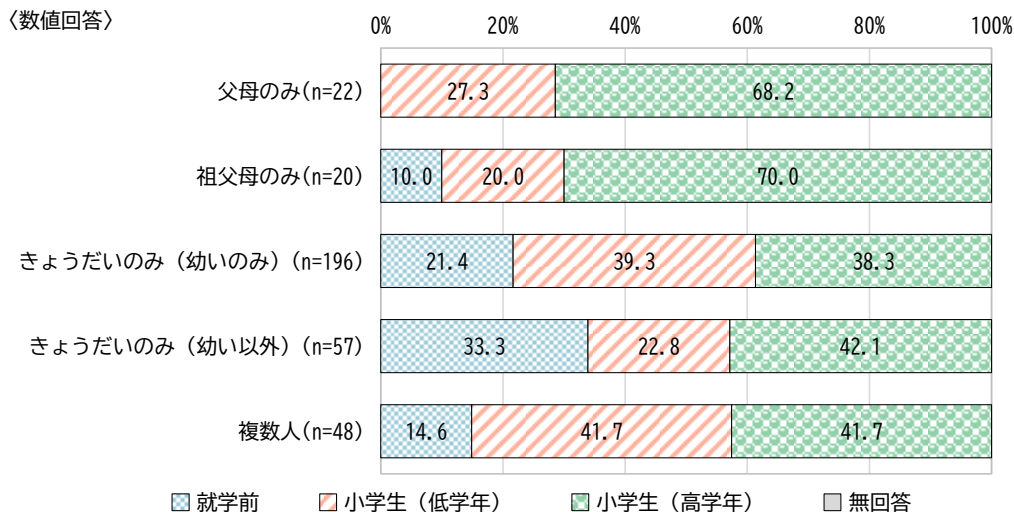
(%)

		調査数 (n)	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	親戚の人	自分のみ	福祉サービス (ヘルパー など)を利用	その他	無回答
熊本県	父母のみ	22	45.5	31.8	4.5	9.1	36.4	0.0	13.6	0.0	4.5	0.0
	祖父母のみ	20	60.0	30.0	10.0	5.0	40.0	10.0	20.0	10.0	5.0	0.0
	きょうだいのみ (幼いのみ)	196	79.1	60.2	14.8	9.2	53.1	5.1	6.6	0.0	0.5	0.0
	きょうだいのみ (上記以外)	57	68.4	50.9	17.5	10.5	33.3	1.8	15.8	1.8	7.0	0.0
	複数人	48	66.7	41.7	22.9	20.8	45.8	2.1	25.0	2.1	8.3	0.0
全国	父母のみ	74	29.7	27.0	4.1	1.4	35.1	2.7	16.2	1.4	1.4	21.6
	祖父母のみ	52	69.2	34.6	21.2	7.7	32.7	15.4	9.6	19.2	0.0	3.8
	きょうだいのみ (幼いのみ)	281	78.3	64.8	10.3	6.0	45.9	1.8	7.5	0.0	0.0	4.6
	きょうだいのみ (上記以外)	95	74.7	46.3	18.9	7.4	30.5	2.1	11.6	3.2	0.0	4.2
	複数人	70	47.1	34.3	10.0	4.3	25.7	1.4	11.4	0.0	0.0	21.4

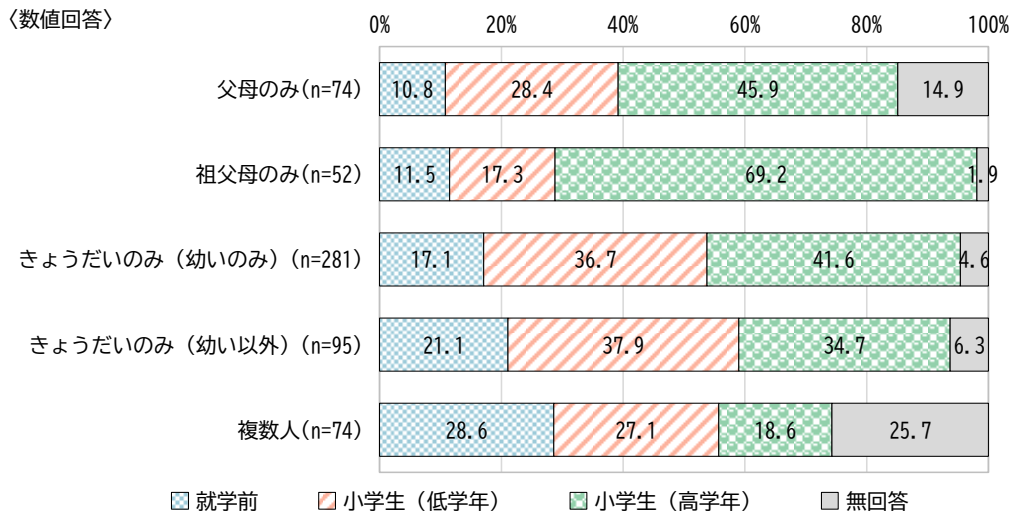
#### ④世話を必要としている家族×世話を始めた年齢

◇世話を始めた年齢については、全国調査と同様に「世話を必要としている家族」が「父母のみ」、「祖父母のみ」、「きょうだいのみ（幼い以外）」の場合、「小学生（高学年）」の割合が最も高くなっている。また、「世話を必要としている家族」が「きょうだいのみ」では「就学前」の割合が他と比べて高くなっている。

#### 今回調査



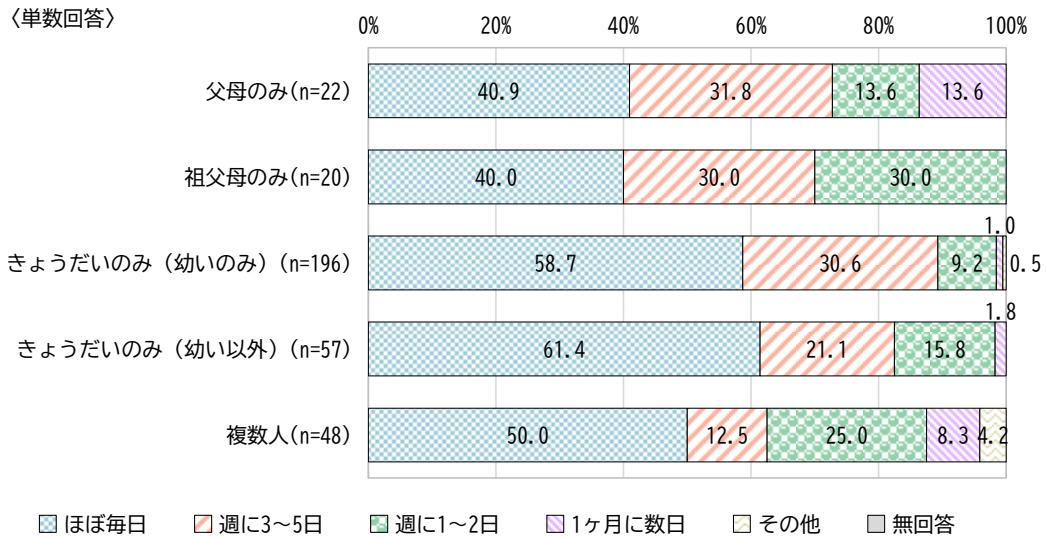
#### 全国調査



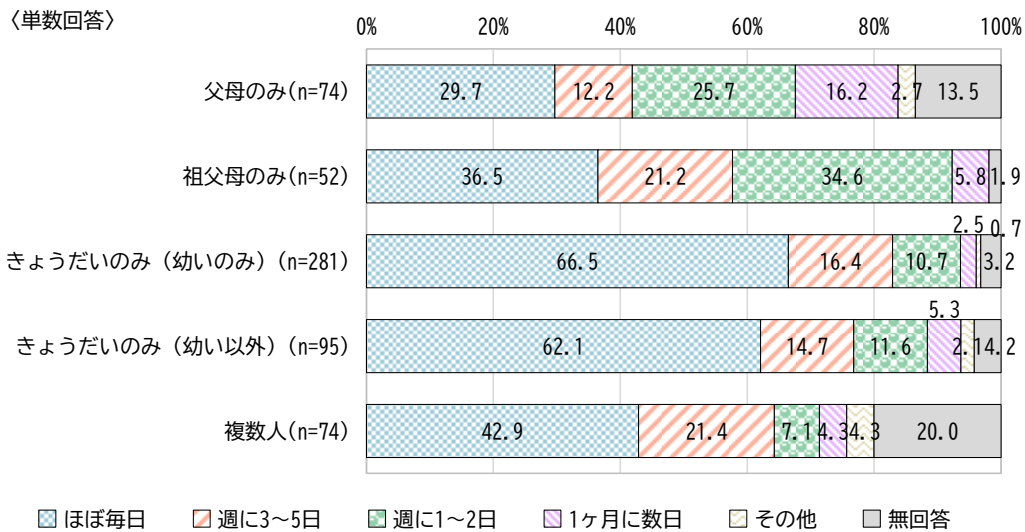
## ⑤世話を必要としている家族×世話の頻度

◇世話の頻度については、全国調査と同様に「世話を必要としている家族」が「きょうだいのみ」の場合、「毎日」の割合が6割前後と他と比べて高くなっている。

### 今回調査



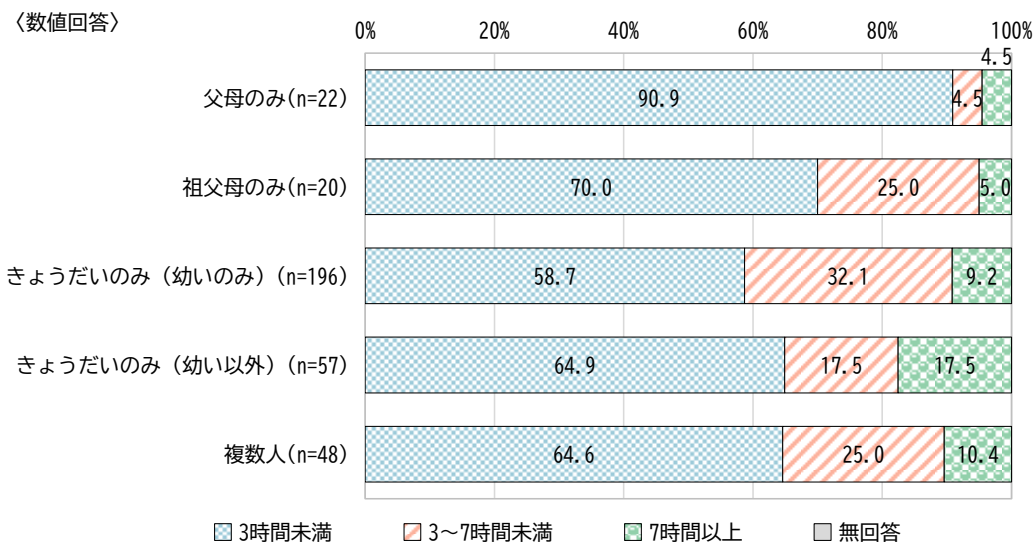
### 全国調査



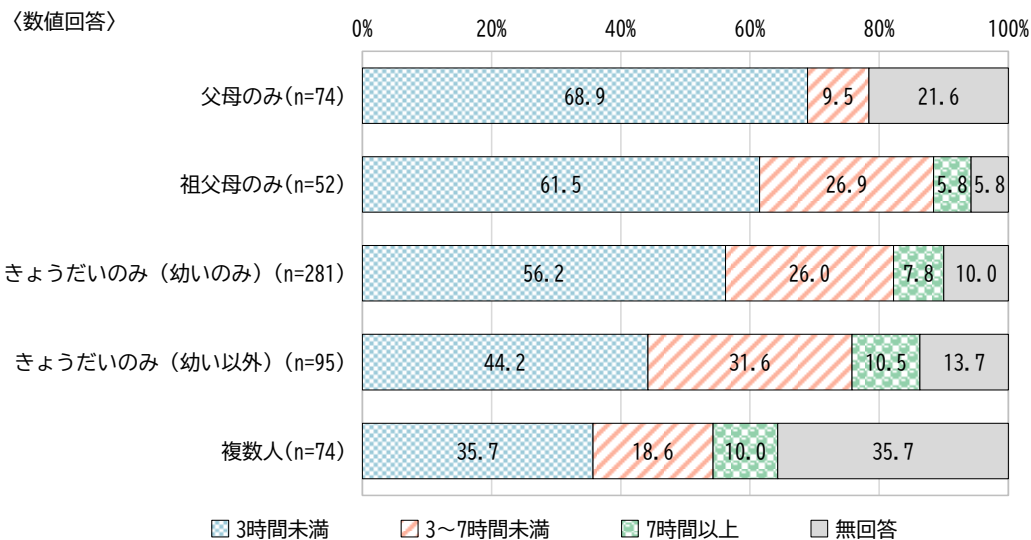
## ⑥世話を必要としている家族×世事に費やす時間

◇世事に費やす時間については、全国調査と同様にいずれも「3時間未満」の割合が最も高くなっているが、「世話を必要としている家族」が「きょうだいのみ（幼いのみ）」の場合では「3～7時間未満」の割合が、「きょうだいのみ（幼い以外）」の場合では「7時間以上」の割合がと他と比べて高くなっている。

### 今回調査



### 全国調査





## ⑦世話を必要としている家族×世話による制約

◇世話による制約については、全国調査と同様にいずれも「特にない」の割合が最も高くなっているが、「世話を必要としている家族」が「きょうだいのみ」の場合、「友だちと遊ぶことができない」、「自分の時間が取れない」の割合がと他と比べて高くなっている。

		(%)										
		調査数 (n=)	学校を休んでしまう	遅刻や早退をしてしまう	宿題など勉強する時間がない	眠る時間がたりない	友だちと遊ぶことができない	習い事ができない	自分の時間が取れない	その他	特にない	無回答
熊本県	父母のみ	22	18.2	0.0	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	0.0	81.8	0.0
	祖父母のみ	20	0.0	0.0	15.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	85.0	0.0
	きょうだいのみ (幼いのみ)	196	1.0	1.0	10.7	6.6	11.7	0.5	19.9	1.0	73.5	0.0
	きょうだいのみ (上記以外)	57	3.5	8.8	14.0	10.5	12.3	0.0	17.5	0.0	63.2	0.0
	複数人	48	2.1	6.3	8.3	6.3	6.3	0.0	10.4	0.0	77.1	0.0
全国	父母のみ	74	4.1	5.4	8.1	8.1	8.1	2.7	12.2	0.0	64.9	13.5
	祖父母のみ	52	0.0	1.9	13.5	7.7	11.5	0.0	17.3	0.0	69.2	1.9
	きょうだいのみ (幼いのみ)	281	1.4	1.1	4.6	5.0	8.9	0.4	13.2	0.4	72.2	4.3
	きょうだいのみ (上記以外)	95	5.3	4.2	10.5	9.5	13.7	1.1	23.2	6.3	53.7	3.2
	複数人	70	4.3	7.1	12.9	10.0	17.1	1.4	14.3	0.0	45.7	20.0

## ⑧世話を必要としている家族×世話の大変さ

◇世話の大変さについては、全国調査と同様にいずれも「特に大変さは感じていない」の割合が最も高くなっている。「世話を必要としている家族」が「父母のみ」の場合では「体力の面で大変」の割合が、それ以外では「気持ちの面で大変」の割合が高くなっており、また「きょうだいのみ」の場合では「時間の余裕がない」の割合が他と比べて10ポイント以上高くなっている。

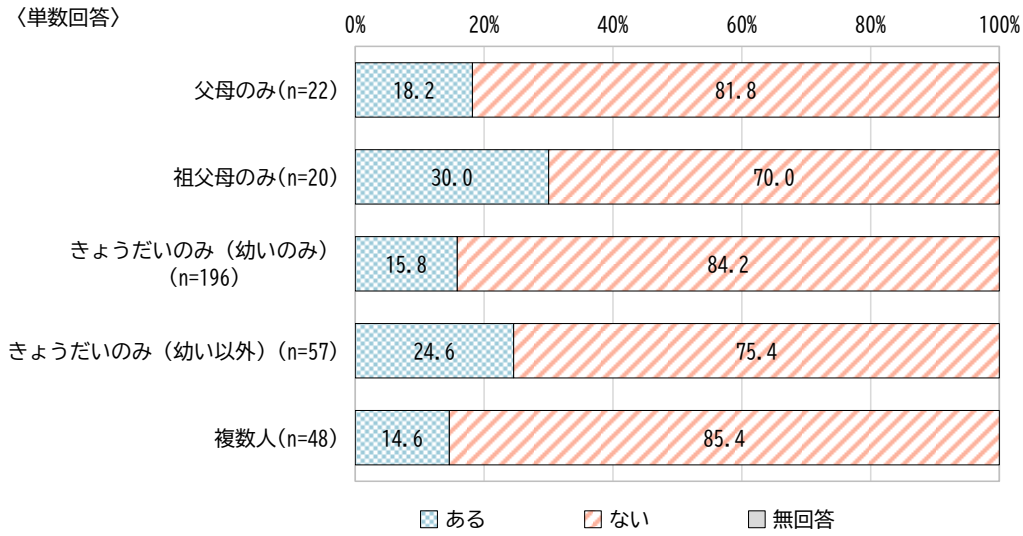
(%)

		調査数 (n=)	体力の 面で大 変	気持 ちの面 で大 変	時間 の余 裕が ない	特に 大 変 さ は 感 じ て い な い	無 回 答
熊本県	父母のみ	22	36.4	9.1	4.5	63.6	0.0
	祖父母のみ	20	5.0	20.0	5.0	70.0	0.0
	きょうだいのみ (幼いのみ)	196	19.4	20.4	19.9	58.2	0.0
	きょうだいのみ (上記以外)	57	8.8	35.1	19.3	52.6	0.0
	複数人	48	8.3	14.6	6.3	81.3	0.0
全国	父母のみ	74	18.9	17.6	17.6	45.9	12.2
	祖父母のみ	52	1.9	32.7	15.4	53.8	5.8
	きょうだいのみ (幼いのみ)	281	14.2	15.7	13.2	64.8	3.9
	きょうだいのみ (上記以外)	95	16.8	22.1	21.1	57.9	4.2
	複数人	70	11.4	17.1	15.7	50.0	18.6

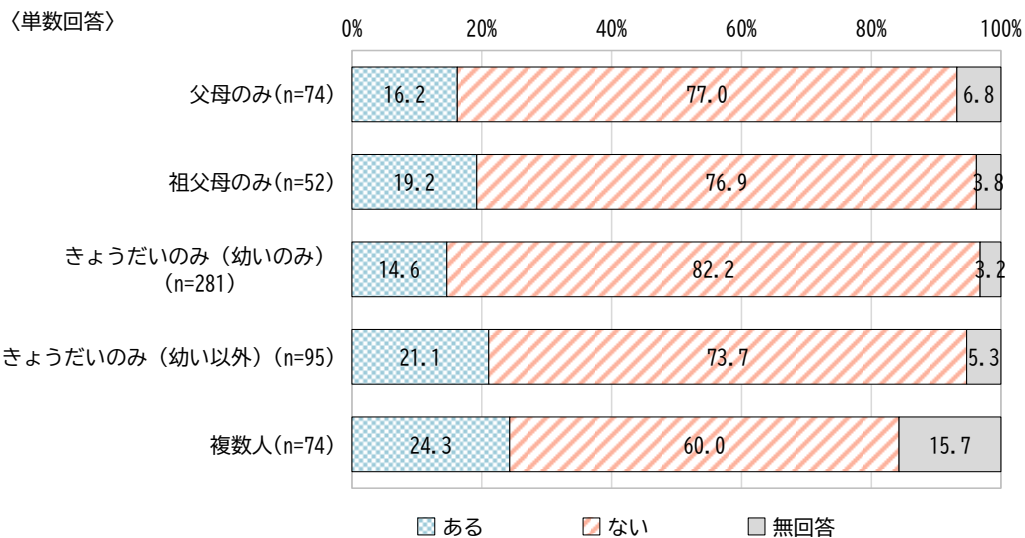
## ⑨世話を必要としている家族×世話について相談した経験

◇世話について相談した経験については、いずれも「ない」の割合が7割を超えて最も高くなっており、全国調査とほぼ同様の結果となっている。「世話を必要としている家族」が「祖父母のみ」、「きょうだいのみ（幼い以外）」の場合、「ある」の割合が他と比べて高くなっている。

### 今回調査



### 全国調査



## ⑩世話を必要としている家族×相談したことがない理由

◇世話について相談したことがない理由については、全国調査と同様にいずれも「相談するほどのなやみではないから」の割合が最も高くなっているが、「世話を必要としている家族」が「父母のみ」、「きょうだいのみ（上記以外）」の場合、「家族のことを話したくないから」の割合が他と比べて高くなっている。

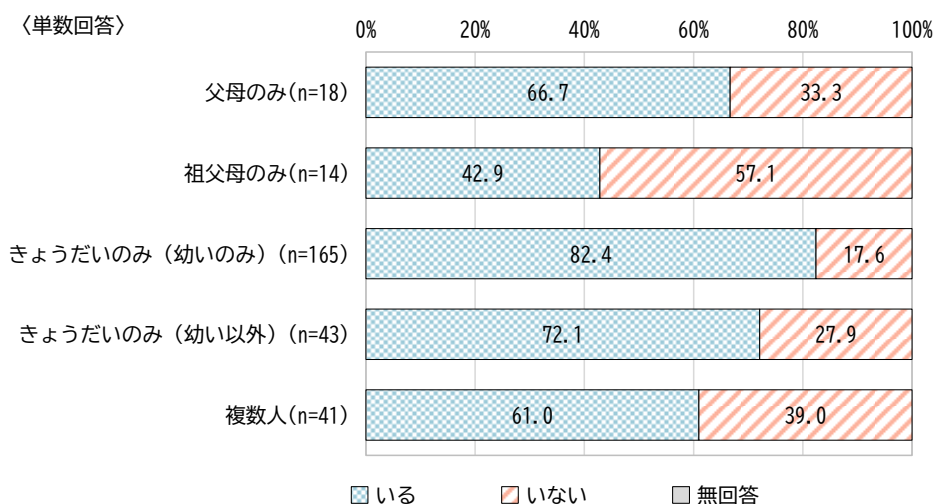
(%)

		調査数 (n=)	は相談するほどのなやみではないから	わ誰に相談するのがよいかから相談するから	ら相談できる人がいないか	い家族のことを話したくないから	い相談しても何も変わらないから	その他	無回答
熊本県	父母のみ	18	77.8	11.1	5.6	16.7	11.1	11.1	0.0
	祖父母のみ	14	71.4	7.1	0.0	7.1	7.1	21.4	0.0
	きょうだいのみ (幼いのみ)	165	84.2	5.5	2.4	2.4	7.9	9.7	0.0
	きょうだいのみ (上記以外)	43	79.1	4.7	7.0	14.0	16.3	4.7	0.0
	複数人	41	61.0	9.8	9.8	2.4	12.2	19.5	0.0
全国	父母のみ	57	68.4	10.5	5.3	8.8	17.5	3.5	8.8
	祖父母のみ	40	70.0	2.5	7.5	2.5	12.5	2.5	5.0
	きょうだいのみ (幼いのみ)	231	77.1	2.6	3.5	1.3	10.4	3.5	11.7
	きょうだいのみ (上記以外)	70	60.0	5.7	7.1	12.9	22.9	5.7	14.3
	複数人	42	78.6	7.1	2.4	11.9	4.8	4.8	9.5

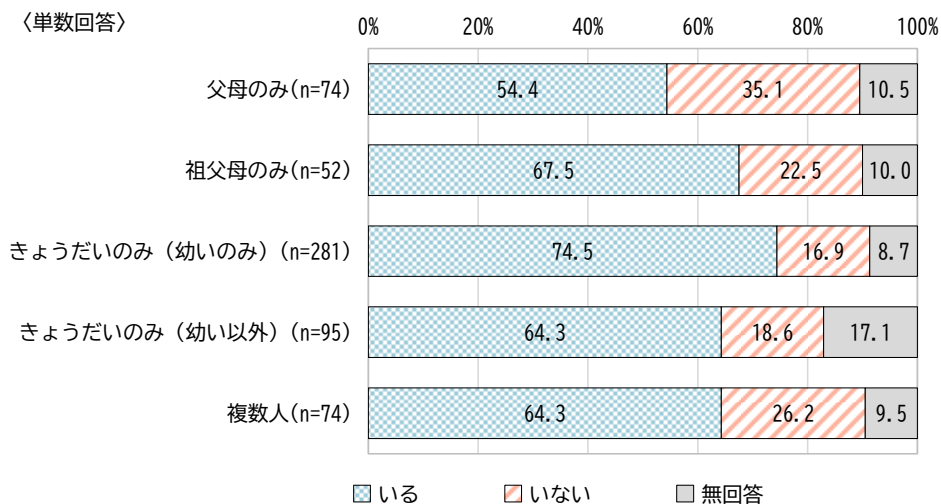
## ⑪世話を必要としている家族×世話について話を聞いてくれる人の有無

◇世話について話を聞いてくれる人の有無については、全国調査では「いる」の割合が「いない」を上回っているが、「世話を必要としている家族」が「父母のみ」、「きょうだいのみ」、「複数人」の場合、「いる」の割合が「いない」を上回り、特に「きょうだいのみ」では7割を超えて高くなっている。一方、「祖父母のみ」の場合、「いない」の割合の方が高くなっている。

### 今回調査



### 全国調査



## ⑫世話を必要としている家族×学校や大人にしてもらいたいこと

◇学校や大人にしてもらいたいことについては、全国調査と同様にいずれも「特にない」の割合が最も高くなっているが、「世話を必要としている家族」が「父母のみ」の場合、「自分が行っているお世話のすべてを誰かに代ってほしい」の割合が他と比べて 10 ポイント以上高くなっている。

(%)

		調査数 (n=)	自分 の こと に つ い て 話 を 聞 い て ほ し い	家 族 の お 世 話 に つ い て 相 談 に ほ し い	家 族 の 病 気 や 障 が い 、 お 世 話 の こ と な ど に つ い て ほ し い	自 分 が 行 つ て い る お 世 話 の す べ て を 誰 か に 代 わ つ て ほ し い	自 分 が 行 つ て い る お 世 話 の 一 部 を 誰 か に 代 わ つ て ほ し い	自 分 が 行 つ て い る お 世 話 の 一 部 を 誰 か に 代 わ つ て ほ し い	自 由 に 使 え る 時 間 が ほ し い	勉 強 を 教 え て ほ し い	お 金 の 面 で 支 援 し て ほ し い	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
熊本県	父母のみ	22	13.6	4.5	4.5	13.6	4.5	13.6	0.0	4.5	0.0	0.0	54.5	18.2	0.0
	祖父母のみ	20	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	20.0	0.0
	きょうだいのみ (幼いのみ)	196	8.2	2.0	1.0	2.0	1.5	17.3	7.1	3.6	0.5	0.0	67.3	12.8	0.0
	きょうだいのみ (上記以外)	57	8.8	1.8	1.8	1.8	1.8	15.8	8.8	0.0	0.0	0.0	59.6	28.1	0.0
	複数人	48	10.4	4.2	0.0	2.1	4.2	18.8	16.7	2.1	0.0	0.0	58.3	29.2	0.0
全国	父母のみ	74	13.5	5.4	2.7	1.4	4.1	16.2	12.2	2.7	1.4	1.4	36.5	20.3	8.1
	祖父母のみ	52	9.6	7.7	0.0	5.8	5.8	15.4	5.8	7.7	0.0	0.0	51.9	5.8	7.7
	きょうだいのみ (幼いのみ)	281	9.6	2.5	0.7	1.4	6.0	11.7	11.7	3.6	0.7	0.7	59.1	5.3	5.0
	きょうだいのみ (上記以外)	95	12.6	7.4	3.2	6.3	7.4	21.1	15.8	7.4	2.1	2.1	50.5	2.1	9.5
	複数人	70	22.9	7.1	1.4	7.1	10.0	22.9	22.9	11.4	4.3	4.3	34.3	4.3	14.3

## 4-7 世話をすることを感じているきつさによる世話の状況の違い

### (1) 世話をすることを感じている大変さによる世話の状況の違い

#### ①世話をすることを感じているきつさ×世話対象の状況（父母の状況、祖父母の状況、きょうだいの状況）

##### ■父母の状況

◇世話をしている理由については、「世話を必要としている家族」が「父母」の場合、n数が少ないことに留意が必要ではあるものの、全国調査と同様に「わからない」が最も高くなっている。それ以外の理由では、いずれも「こころの病気（うつ病など）」の割合が最も高くなっている。

		(%)												
		調査数 (n=)	高齢 (65歳以上)	介護 が必要 (食事や身の回りの世話)	認知症	身体障がい	知的障がい	こころの病気 (うつ病など)	依存症 (お酒やギャンブルなどをやめられず、生活に問題をかかえている)	こころの病気、 依存症以外の病気	日本語が苦手	その他	わからない	無回答
熊本県	体力の面で大変	10	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	30.0	10.0	0.0	0.0	10.0	50.0	0.0
	気持ちの面で大変	6	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0
	時間の余裕がない	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
	特に大変さは感じていない	24	4.2	0.0	0.0	4.2	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	4.2	75.0	0.0
全国	体力の面で大変	21	14.3	14.3	0.0	19.0	9.5	14.3	9.5	9.5	9.5	14.3	47.6	-
	気持ちの面で大変	25	12.0	12.0	8.0	4.0	4.0	12.0	8.0	12.0	16.0	24.0	44.0	-
	時間の余裕がない	23	8.7	13.0	4.3	0.0	4.3	4.3	8.7	4.3	13.0	21.7	39.1	-
	特に大変さは感じていない	65	10.8	4.6	3.1	12.3	1.5	7.7	4.6	4.6	12.3	21.5	40.0	-

## ■祖父母の状況

◇世話をしている理由については、「世話を必要としている家族」が「祖父母」の場合、n数が少ないことに留意が必要ではあるものの、「体力の面で大変」なのは、「祖父母」の状況が「高齢（65歳以上）」、「介護（食事や身の回りのお世話）が必要」という回答の割合が高い。全国調査では、「こころの病気、依存症以外の病気」の割合も高くなっている。

(%)

		調査数 (n=)	高齢 (65歳以上)	介護 (食事や身の回りのお世話) が必要	認知症	身体障がい	知的障がい	こころの病気 (うつ病など)	こころの病気、依存症 (お酒やギャンブルなどをやめられず、生活に問題をかかえている)	こころの病気、依存症以外の病気	日本語が苦手	その他	わからない	無回答
熊本県	体力の面で大変	3	66.7	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	気持ちの面で大変	8	87.5	37.5	50.0	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0
	時間の余裕がない	2	100.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	特に大変さは感じていない	23	82.6	8.7	13.0	13.0	0.0	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0	21.7	0.0
全国	体力の面で大変	4	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	-
	気持ちの面で大変	21	66.7	0.0	38.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
	時間の余裕がない	13	76.9	0.0	53.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
	特に大変さは感じていない	41	75.6	0.0	12.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-



## ■きょうだいの状況

◇世話をしている理由については、「世話を必要としている家族」が「きょうだい」の場合、全国調査と同様にいずれも「若い」の割合が最も高く、7割を超えている。

(%)

		調査数 (nII)	若い	介護(食事や身の回りの お世話)が必要	身体障がい	知的障がい	病気	日本語が苦手	その他	わからない	無回答
熊本県	体力の面で大変	46	87.0	2.2	0.0	2.2	0.0	0.0	2.2	10.9	0.0
	気持ちの面で大変	64	76.6	4.7	0.0	1.6	0.0	1.6	9.4	18.8	0.0
	時間の余裕がない	52	76.9	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	9.6	15.4	0.0
	特に大変さは感じていない	157	79.6	1.9	0.6	1.3	0.6	0.0	7.0	13.4	0.0
全国	体力の面で大変	64	79.7	6.3	0.0	3.1	1.6	1.6	17.2	1.6	-
	気持ちの面で大変	78	78.2	6.4	1.3	2.6	5.1	0.0	14.1	2.6	-
	時間の余裕がない	67	79.1	10.4	0.0	3.0	4.5	0.0	11.9	7.5	-
	特に大変さは感じていない	273	75.1	2.6	2.9	6.2	2.2	2.2	7.3	9.9	-

## ②世話をすることを感じているきつさ×世話の内容

◇世話の内容については、いずれも「見守り」の割合が最も高くなっており、全国調査と比べても高くなっている。次いで高い割合が、「体力の面で大変」では「きょうだいのお世話や送り迎え」、「気持ちの面で大変」、「時間の余裕がない」では「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」、「特に大変さは感じていない」では「入浴やトイレのお世話」となっている。

(%)

		調査数 (nII)	除家事(洗濯)の準備や送りむかえ	きょうだいのお世話や送りむかえ	入浴やトイレのお世話	<買い物や散歩に一緒に行	病院へ一緒に行く	話を聞く	見守り	通訳(日本語や手話など)	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
熊本県	体力の面で大変	56	35.7	42.9	28.6	21.4	1.8	28.6	60.7	3.6	3.6	5.4	1.8	0.0
	気持ちの面で大変	73	39.7	34.2	32.9	23.3	2.7	30.1	67.1	5.5	4.1	4.1	2.7	0.0
	時間の余裕がない	55	45.5	40.0	32.7	16.4	3.6	23.6	70.9	3.6	3.6	3.6	3.6	0.0
	特に大変さは感じていない	211	27.5	19.4	30.3	17.1	1.9	25.6	59.2	1.9	0.9	1.9	10.9	0.0
全国	体力の面で大変	88	43.2	34.1	28.4	25.0	6.8	30.7	51.1	6.8	3.4	3.4	3.4	9.1
	気持ちの面で大変	116	47.4	32.8	25.9	23.3	6.9	38.8	46.6	4.3	2.6	9.5	3.4	4.3
	時間の余裕がない	92	58.7	40.2	32.6	25.0	5.4	34.8	46.7	4.3	1.1	6.5	4.3	8.7
	特に大変さは感じていない	362	32.0	27.9	17.7	17.7	3.0	26.2	42.5	2.8	2.5	1.7	6.6	8.0

### ③世話をすることを感じているきつさ×世話による制約

◇世話による制約については、全国調査と同様に「時間の余裕がない」では「自分の時間が取れない」の割合が最も高くなっているが、それ以外はいずれも「特にない」の割合が最も高くなっている。また、「時間の余裕がない」では「宿題など勉強する時間がない」、「眠る時間がたりない」の割合が他と比べて10ポイント以上高くなっている。

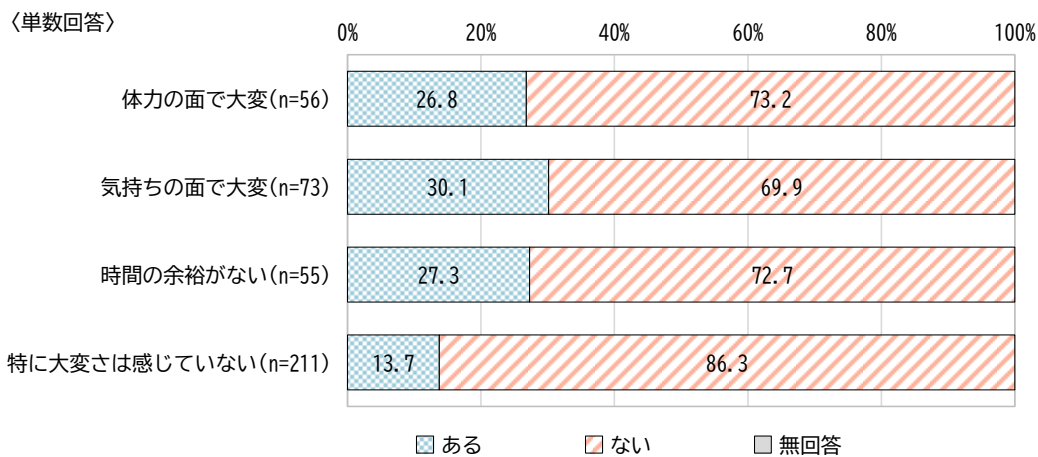
(%)

		調査数 (n=)	学校を休んでしまう	遅刻や早退をしてしまう	宿題など勉強する時間がない	眠る時間がたりない	友だちと遊ぶことができない	習い事ができない	自分の時間が取れない	その他	特にない	無回答
熊本県	体力の面で大変	56	7.1	7.1	25.0	14.3	25.0	3.6	35.7	3.6	50.0	0.0
	気持ちの面で大変	73	4.1	8.2	24.7	16.4	21.9	1.4	30.1	2.7	54.8	0.0
	時間の余裕がない	55	3.6	7.3	40.0	27.3	27.3	3.6	54.5	1.8	38.2	0.0
	特に大変さは感じていない	211	1.9	1.9	2.4	2.4	4.7	0.0	8.1	0.0	83.4	0.0
全国	体力の面で大変	88	6.8	9.1	18.2	19.3	21.6	1.1	29.5	2.3	52.3	2.3
	気持ちの面で大変	116	8.6	10.3	19.8	20.7	21.6	3.4	35.3	4.3	43.1	1.7
	時間の余裕がない	92	7.6	6.5	28.3	25.0	26.1	2.2	50.0	3.3	28.3	2.2
	特に大変さは感じていない	362	1.1	1.7	3.3	1.7	6.4	0.3	6.6	0.3	81.2	2.2

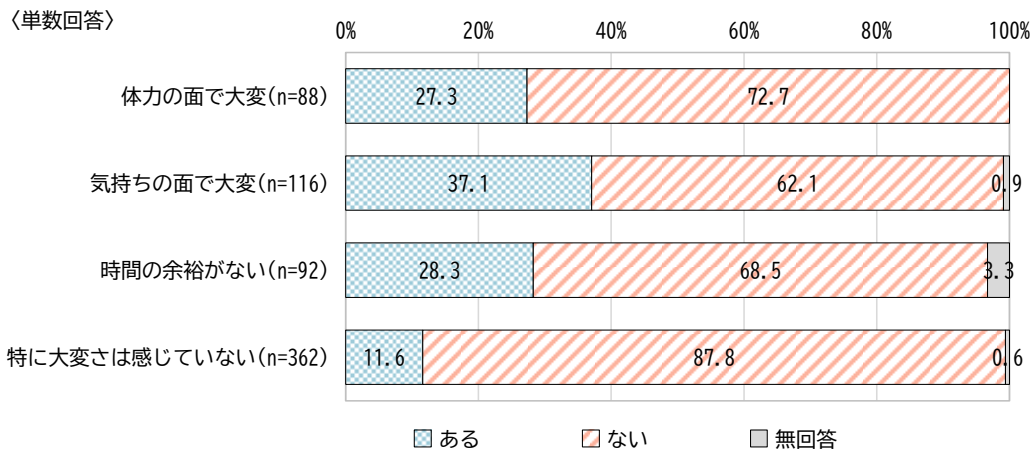
#### ④世話をすることを感じているきつさ×世話について相談した経験

◇世話について相談した経験では、全国調査と同様にいずれも「ない」の割合が「ある」を大きく上回っているが、「特に大変さは感じていない」では「ある」の割合が13.7%と1割台だったのに対し、それ以外では相談した経験の割合が3割前後となっている。

#### 今回調査



#### 全国調査



## ⑤世話をすることに感じているきつさ×世話について相談したことがない理由

◇世話について相談したことがない理由では、全国調査と同様にいずれも「相談するほどのなやみではないから」の割合が最も高くなっている。また、「時間の余裕がない」では「誰に相談するのがよいかわからないから」の割合が他と比べて7ポイントほど高くなっている。

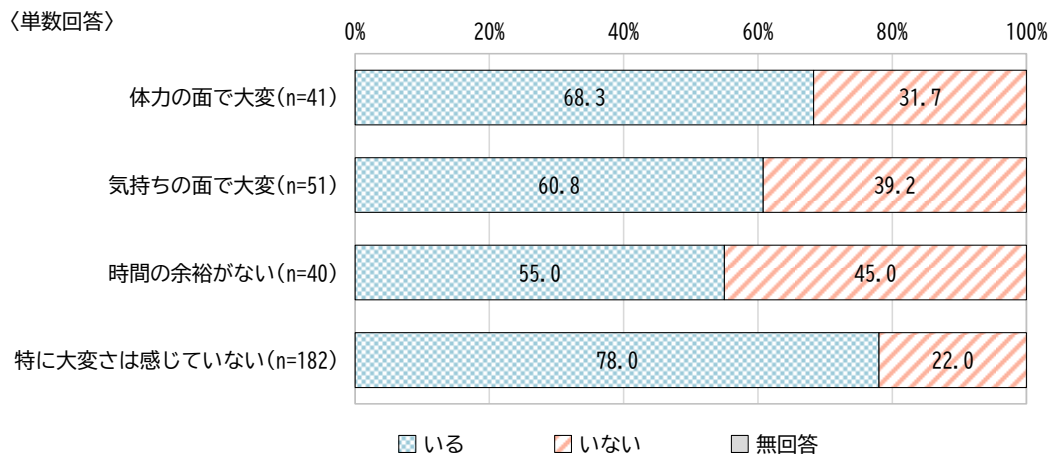
(%)

		調査数 (n)	は相談するほどのなやみではないから	誰に相談するのがよいかわからないから	相談できる人がいないから	家族のことを話したくないから	相談しても何も変わらないから	その他	無回答
熊本県	体力の面で大変	41	70.7	17.1	12.2	14.6	22.0	7.3	0.0
	気持ちの面で大変	51	66.7	17.6	15.7	15.7	23.5	7.8	0.0
	時間の余裕がない	40	62.5	25.0	15.0	20.0	27.5	7.5	0.0
	特に大変さは感じていない	182	81.3	2.7	1.6	1.6	5.5	13.7	0.0
全国	体力の面で大変	64	65.6	15.6	14.1	9.4	28.1	3.1	4.7
	気持ちの面で大変	72	52.8	16.7	16.7	18.1	38.9	8.3	1.4
	時間の余裕がない	63	60.3	11.1	15.9	12.7	38.1	6.3	1.6
	特に大変さは感じていない	318	76.7	0.6	1.6	2.2	6.9	3.8	14.5

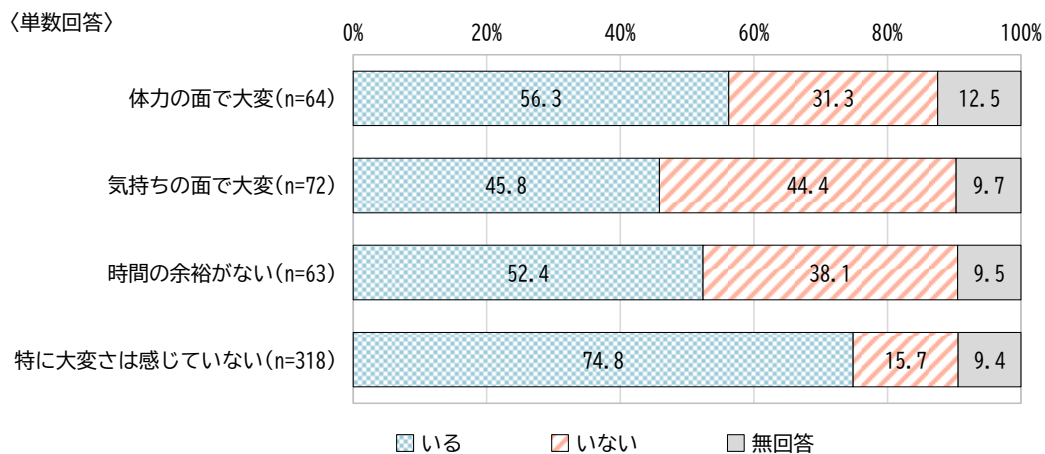
## ⑥世話をすることを感じているきつさ×世話について話を聞いてくれる人の有無

◇世話について話を聞いてくれる人の有無では、全国調査と同様にいずれも「いる」の割合が「いない」を上回っているが、「時間の余裕がない」では「いない」の割合が他と比べて高くなっている。

### 今回調査



### 全国調査



## ⑦世話をすることを感じているきつさ×学校や大人にしてもらいたいこと

◇学校や大人にしてもらいたいことでは、いずれも「特にない」の割合が最も高く、全国調査と比べても高くなっている。次いで「自分に使える時間がほしい」となっている。その次に高いものとして、「体力の面で大変」、「時間の余裕がない」では「勉強を教えてほしい」、「気持ちの面で大変」では「自分のことについて話を聞いてほしい」となっている。

(%)

		調査数 (n=)	自分 のこ とに つ い て 話 を 聞 い て ほ し い	家 族 の お 世 話 に つ い て 相 談 し て ほ し い	家 族 の こ と な ど に つ い て お 世 話 を ほ し い	病 気 や 障 が い わ か り や す く 説 明 し て ほ し い	自 分 が 行 っ て い る お 世 話 を 誰 か に 代 わ つ て ほ し い	自 分 が 行 っ て い る お 世 話 の 一 部 を 誰 か に 代 わ つ て ほ し い	自 分 に 使 え る 時 間 が ほ し い	勉 強 を 教 え て ほ し い	お 金 の 面 で 支 援 し て ほ し い	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
熊本県	体力の面で大変	56	14.3	8.9	3.6	7.1	8.9	28.6	17.9	3.6	0.0	0.0	44.6	19.6	0.0
	気持ちの面で大変	73	15.1	6.8	1.4	6.8	5.5	30.1	12.3	8.2	0.0	0.0	39.7	31.5	0.0
	時間の余裕がない	55	10.9	5.5	1.8	9.1	9.1	38.2	14.5	3.6	0.0	0.0	36.4	30.9	0.0
	特に大変さは感じていない	211	6.2	0.9	0.9	1.4	0.5	10.9	5.7	1.4	0.5	0.5	75.4	13.3	0.0
全国	体力の面で大変	88	21.6	11.4	6.8	6.8	21.6	30.7	19.3	8.0	2.3	2.3	30.7	9.1	4.5
	気持ちの面で大変	116	30.2	12.1	2.6	12.1	19.8	37.1	18.1	11.2	3.4	3.4	23.3	12.9	4.3
	時間の余裕がない	92	21.7	12.0	3.3	10.9	21.7	43.5	18.5	6.5	3.3	3.3	29.3	7.6	3.3
	特に大変さは感じていない	362	8.0	2.2	1.4	1.1	1.7	7.7	12.2	3.6	0.3	0.3	66.3	5.2	3.0

## ⑧世話をすることを感じているきつさ×希望する相談方法

◇「自分のことについて話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した子どもに、希望する相談方法について聞いたところ、n数が少ないことに留意が必要ではあるものの、全国調査と同様に、いずれも「直接会って」が最も高く、7割を超えている。

(%)

		調査数 (n)	直接会って	電話	S N S	電子メール	その他	無回答
熊本県	体力の面で大変	10	80.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0
	気持ちの面で大変	14	85.7	7.1	7.1	7.1	7.1	0.0
	時間の余裕がない	7	71.4	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0
	特に大変さは感じていない	15	86.7	20.0	0.0	6.7	0.0	0.0
全国	体力の面で大変	22	59.1	22.7	18.2	22.7	4.5	4.5
	気持ちの面で大変	40	57.5	20.0	22.5	15.0	7.5	2.5
	時間の余裕がない	23	52.2	13.0	30.4	17.4	17.4	8.7
	特に大変さは感じていない	33	54.5	18.2	18.2	12.1	9.1	6.1

## 4-8 世話に関する相談の状況

### (1) 世話に関する相談の状況

#### ①世話について相談した経験×世話による制約

◇世話による制約について、全国調査と同様にいずれも「特にない」の割合が最も高くなっているが、「世話に関する相談をした」ことが「ある」と回答した場合、「ない」と回答した場合に比べ全体的に回答割合が高くなっているが、その中でも「宿題など勉強する時間がない」、「自分の時間が取れない」の割合が10ポイント以上高くなっている。

		(%)										
		調査数 (n=)	学校を休んでしまう	遅刻や早退をしてしまう	宿題など勉強する時間がない	眠る時間がたりない	友達と遊ぶことができない	習い事ができない	自分の時間が取れない	その他	特にない	無回答
熊本県	世話に関して相談したことがある	62	4.8	4.8	21.0	11.3	11.3	0.0	27.4	1.6	61.3	0.0
	世話に関して相談したことがない	281	2.1	2.5	8.5	5.7	10.0	0.7	13.5	0.4	76.2	0.0
全国	世話に関して相談したことがある	109	3.7	4.6	11.9	11.0	15.6	1.8	22.9	2.8	54.1	3.7
	世話に関して相談したことがない	480	2.9	3.1	7.3	5.8	9.8	0.8	14.4	0.8	70.6	3.5

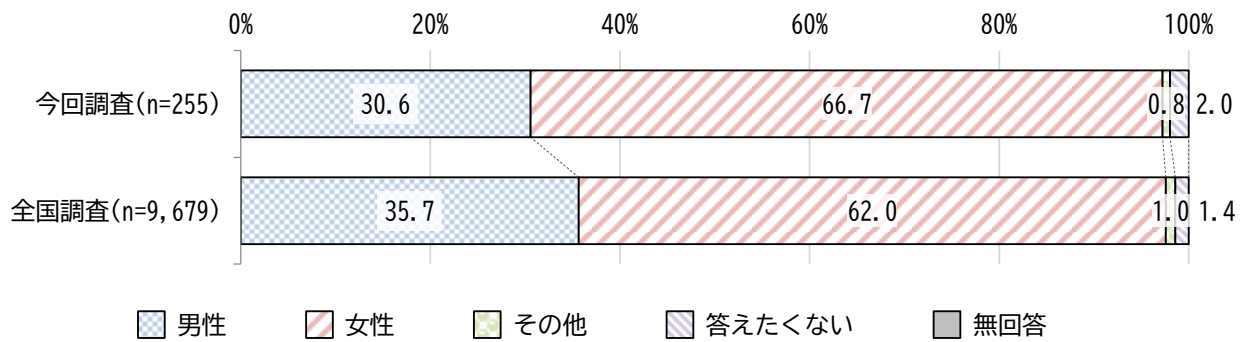


## 第5章 大学生の生活実態に関するアンケート 調査結果

## (1) 基本情報

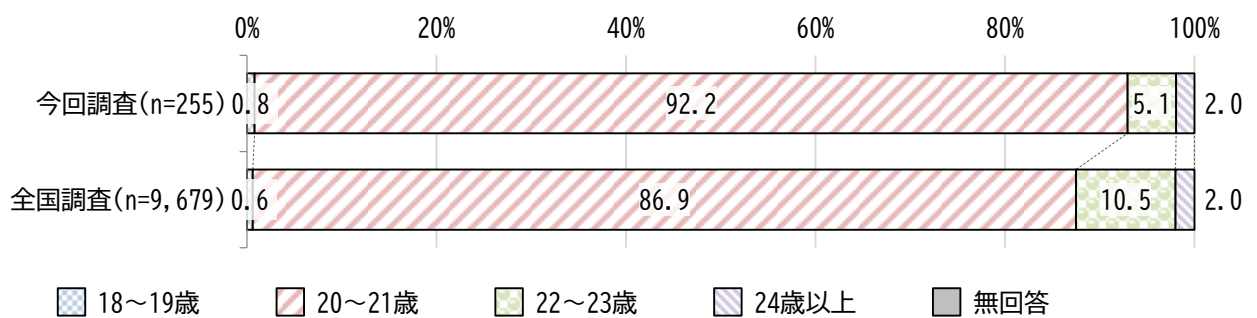
### 1 性別

◇「男性」が30.6%、「女性」が66.7%、「その他」が0.8%、「答えたくない」が2.0%となっている。



### 2 年齢

◇年齢では、「20～21歳」が92.2%と最も高く、次いで「22～23歳」5.1%、「24歳以上」2.0%となっている。



### 3 住んでいる地域

◇住んでいる地域については以下のとおりである。

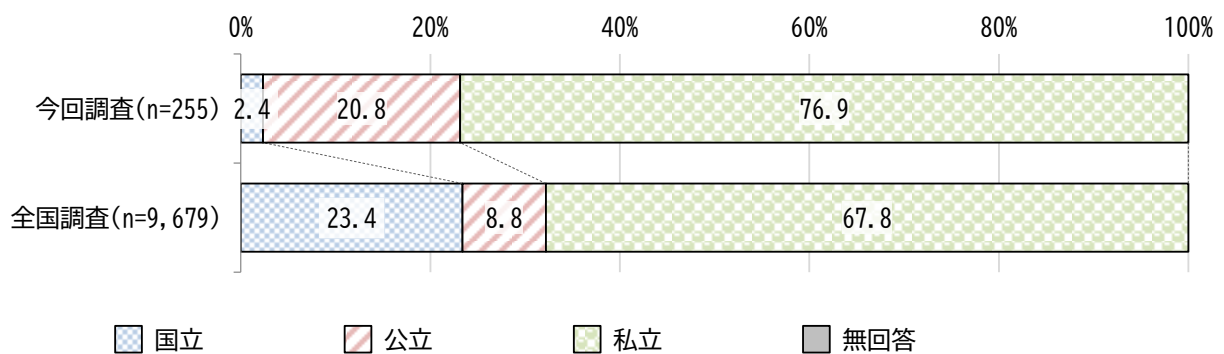
(上段：人 下段：%)

	標本数 (人)	熊本市	宇城地域	上益城地域	菊池地域	玉名地域	鹿本地区	阿蘇地域
全体 (単純集計)	255	61	52	44	16	13	9	0
		23.9%	20.4%	17.3%	6.3%	5.1%	3.5%	0.0%
		八代地域	芦北地域	球磨地域	天草地域	その他	無回答	
		1	0	6	0	0	0	
		0.4%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	

### 4 大学の種別

◇大学の種別については、「私立」が76.9%と最も高く、次いで「公立」20.8%、「国立」2.4%となっている。

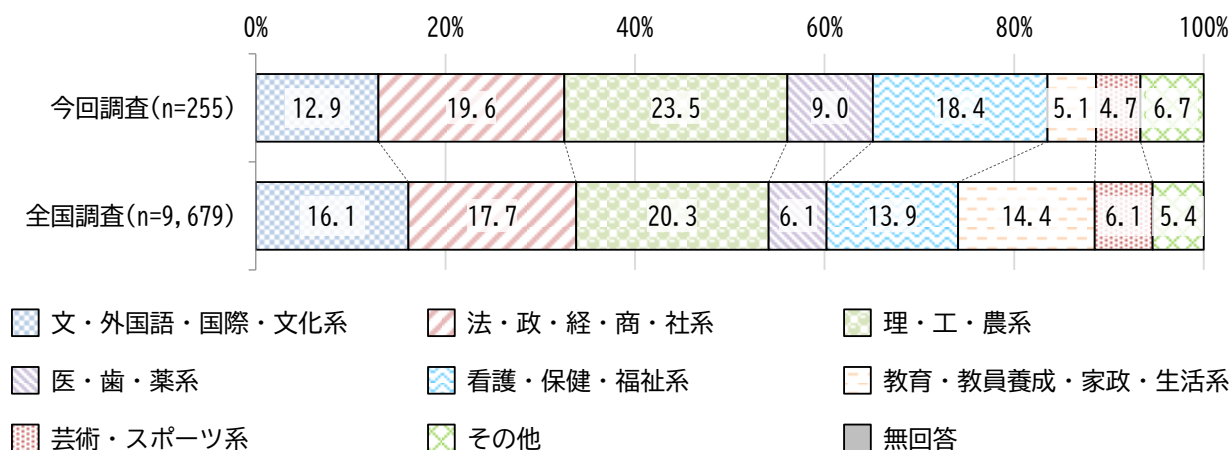
◇全国調査と比べると、「公立」の割合が12ポイント高く、「国立」が21ポイント低くなっている。



## 5 大学の学科（専攻）

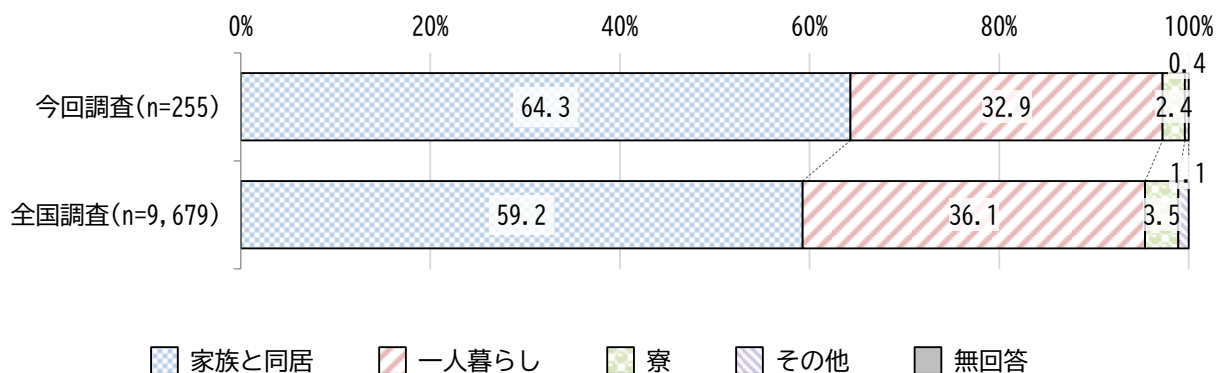
◇大学の学科（専攻）については、「理・工・農系」が23.5%と最も高く、次いで「法・政・経・商・社系」19.6%、「看護・保健・福祉系」18.4%となっている。

◇全国調査と比べると、「看護・保健・福祉系」の割合が高く、「教育・教員養成・家政・生活系」が低くなっている。



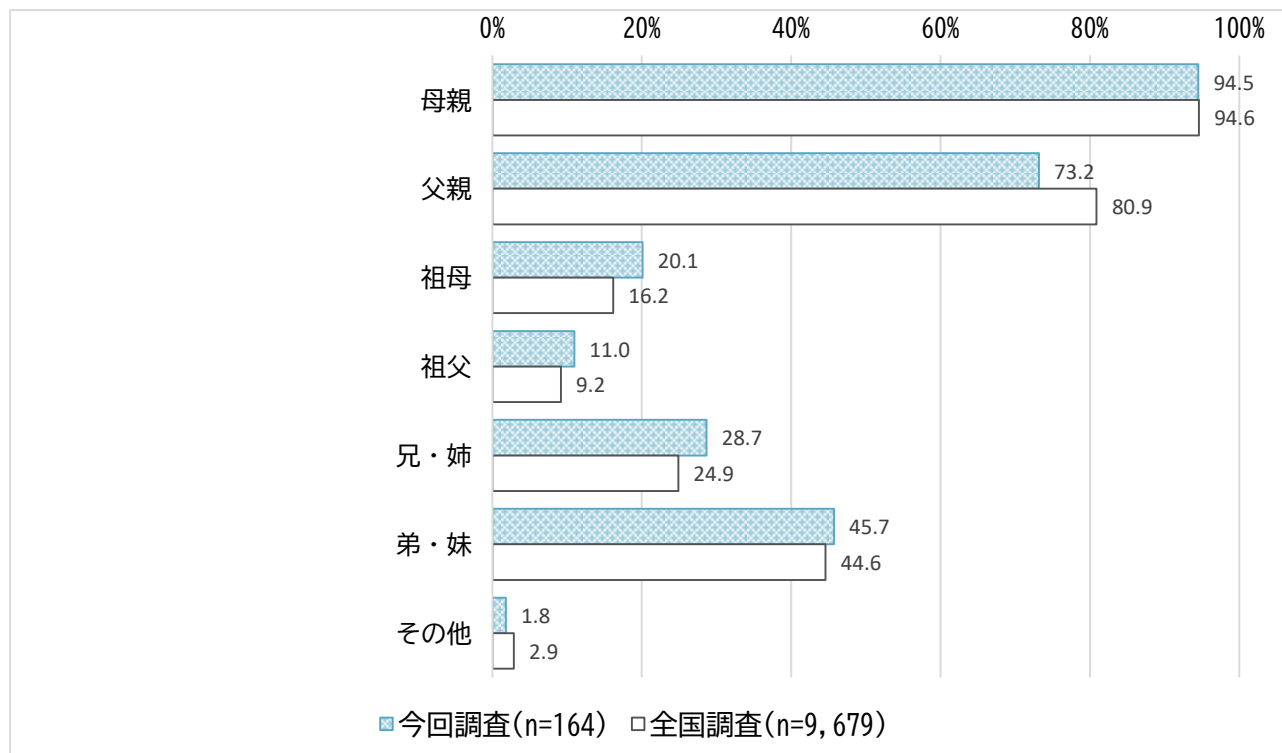
## 6 現在の居住形態

◇現在の居住形態については、全国調査と同様に「家族と同居」が64.3%と最も高く、次いで、「一人暮らし」32.9%、「寮」2.4%となっている。



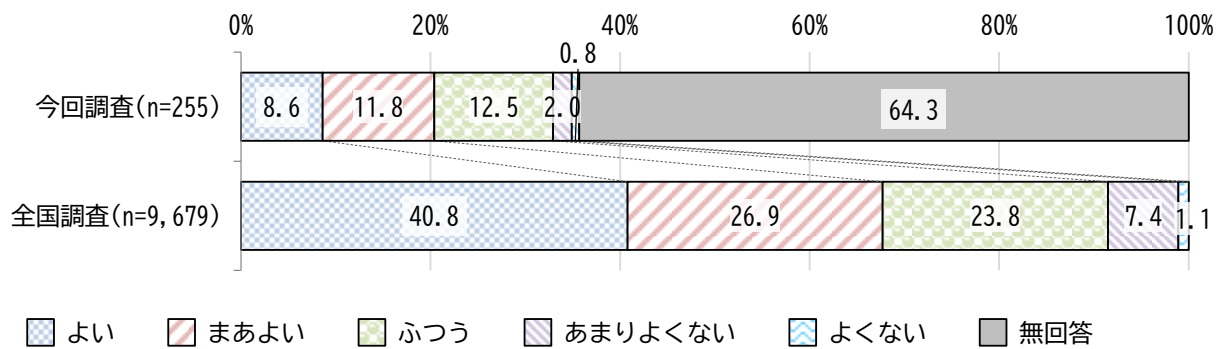
## 7 家族構成

◇家族構成については、全国調査と同様に「母親」が94.5%と最も高く、次いで、「父親」73.2%、「弟・妹」45.7%となっている。



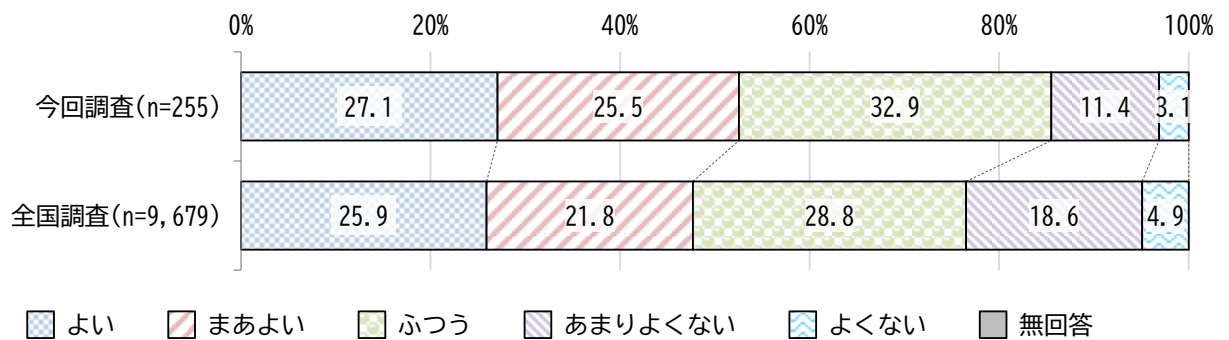
## 8 身体面の健康状態

◇身体面の健康状態については、「ふつう」が12.5%と最も高く、次いで「まあよい」11.8%、「よい」8.6%となっている。全国調査と比べると、全体的に回答の割合が低くなっている。



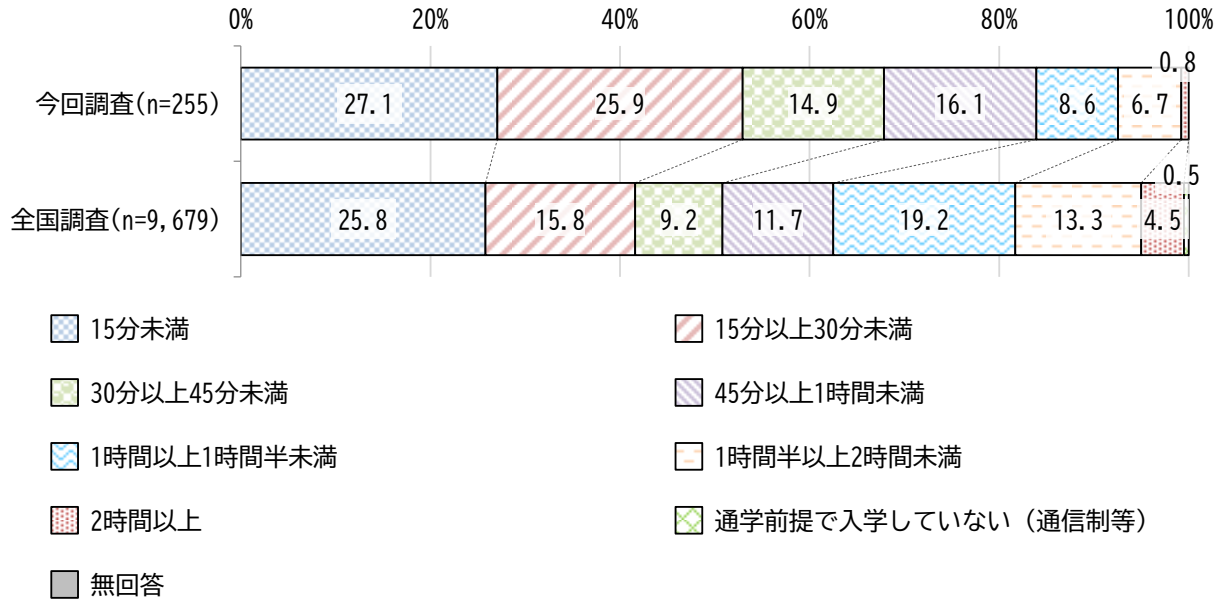
## 9 精神面の健康状態

◇健康状態については、全国調査と同様に「ふつう」が32.9%と最も高く、次いで「よい」27.1%、「まあよい」25.5%となっている。



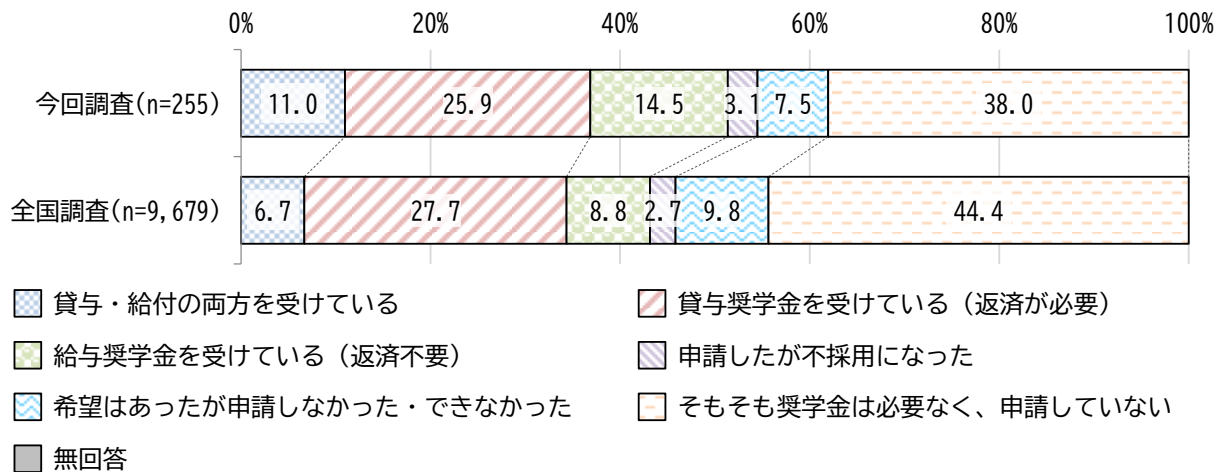
## 10 大学までの片道の通学時間

◇大学までの片道の通学時間については、「15分未満」が27.1%と最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。次いで「15分以上30分未満」25.9%、「45分以上1時間未満」16.1%となっている。



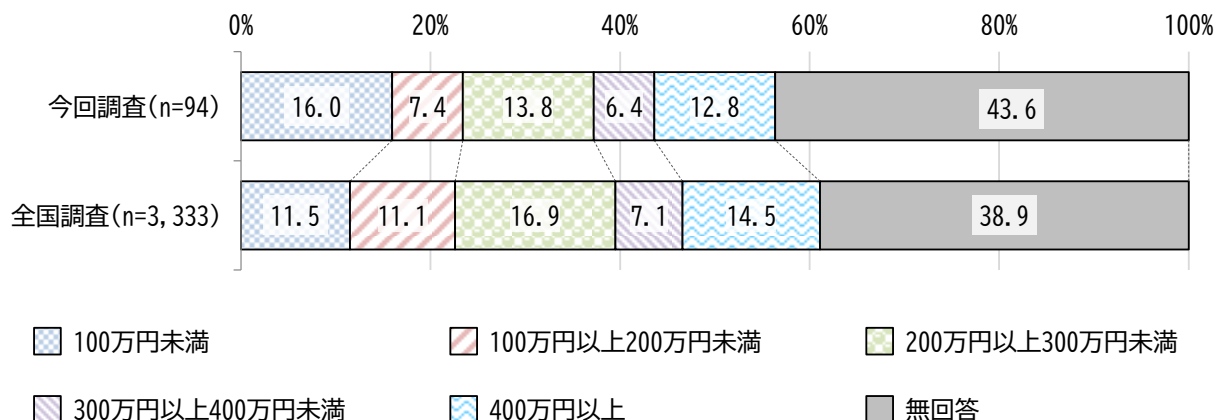
## 1 1 奨学金の受給状況

◇奨学金の受給状況については、「そもそも奨学金は必要なく、申請していない」が 38.0%と最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。次いで「貸与奨学金を受けている（返済が必要）」25.9%、「給与奨学金を受けている（返済不要）」14.5%となっている。



## 1 2 奨学金の大学卒業時の予定貸与金額

◇奨学金の大学卒業時の予定貸与金額については、「100 万円未満」が 16.0%と最も高く、次いで「200 万円以上 300 万円未満」13.8%、「400 万円以上」12.8%となっているが、全国調査では「200 万円以上 300 万円未満」が 16.9%と最も高くなっている。

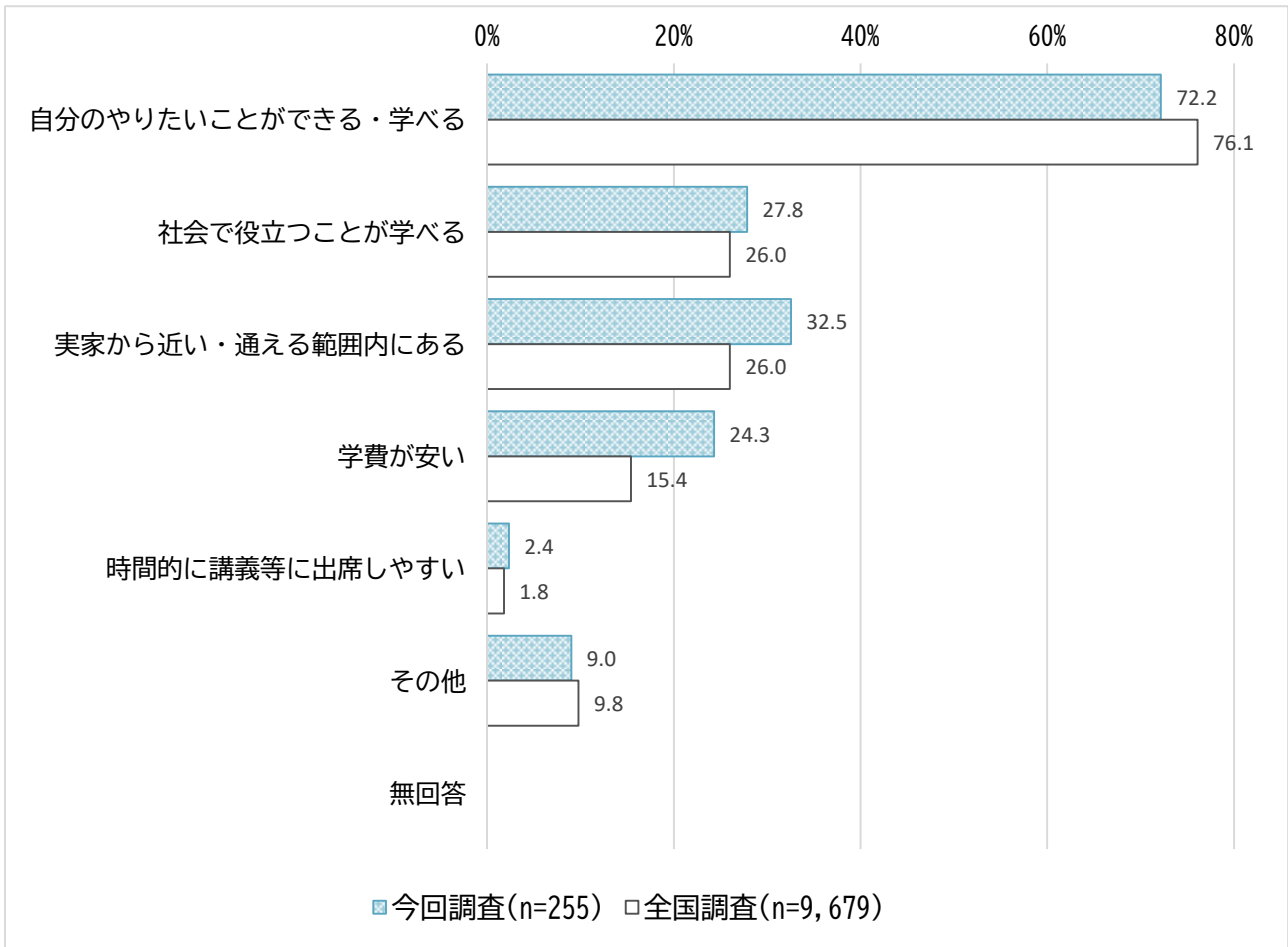




## (2) 普段の生活について

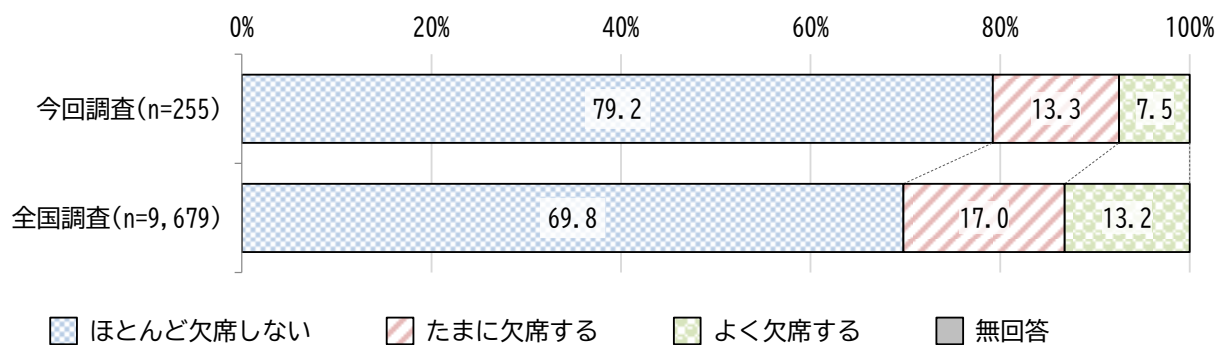
### 1 現在通う大学を選択した理由

◇現在通う大学を選択した理由については、全国調査と同様に「自分のやりたいことができる・学べる」が72.2%と最も高く、次いで、「実家から近い・通える範囲内にある」32.5%、「社会で役立つことが学べる」27.8%となっている。



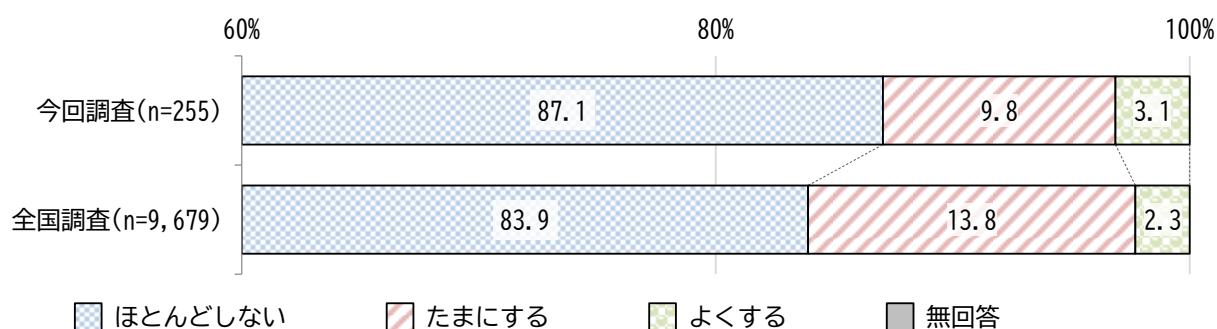
## 2 大学の授業（履修している講義）への出席状況

◇大学の授業（履修している講義）への出席状況については、全国調査と同様に「ほとんど欠席しない」が79.2%と最も高く、次いで、「たまに欠席する」13.3%、「よく欠席する」7.5%となっている。



## 3 大学の授業（履修している講義）への遅刻や早退の状況

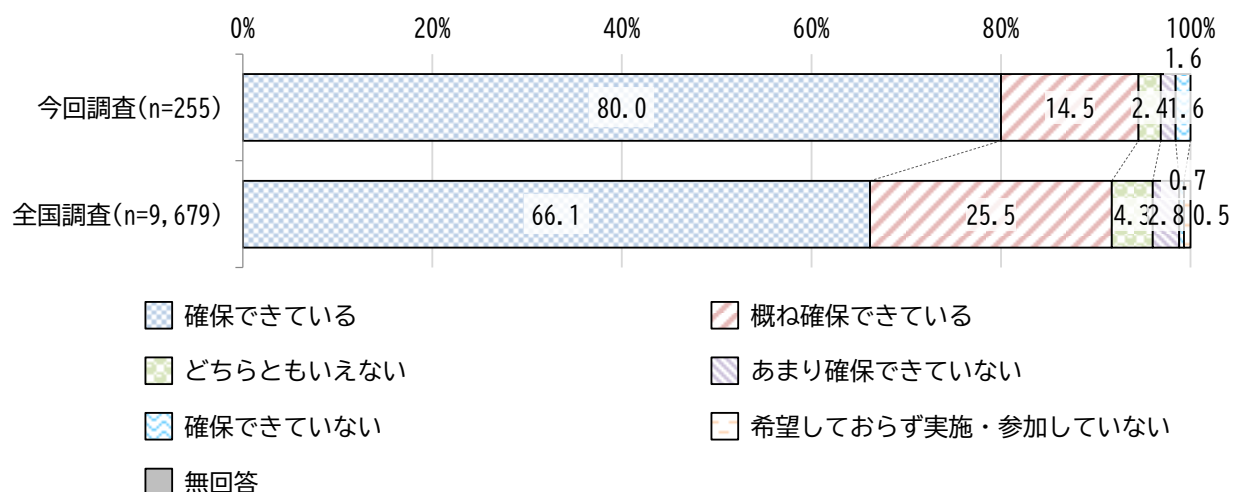
◇大学の授業（履修している講義）への遅刻や早退の状況については、全国調査と同様に「ほとんどしない」が87.1%と最も高く、次いで、「たまにする」9.8%、「よくする」3.1%となっている。



## 4 各取組に関する日々の時間確保状況

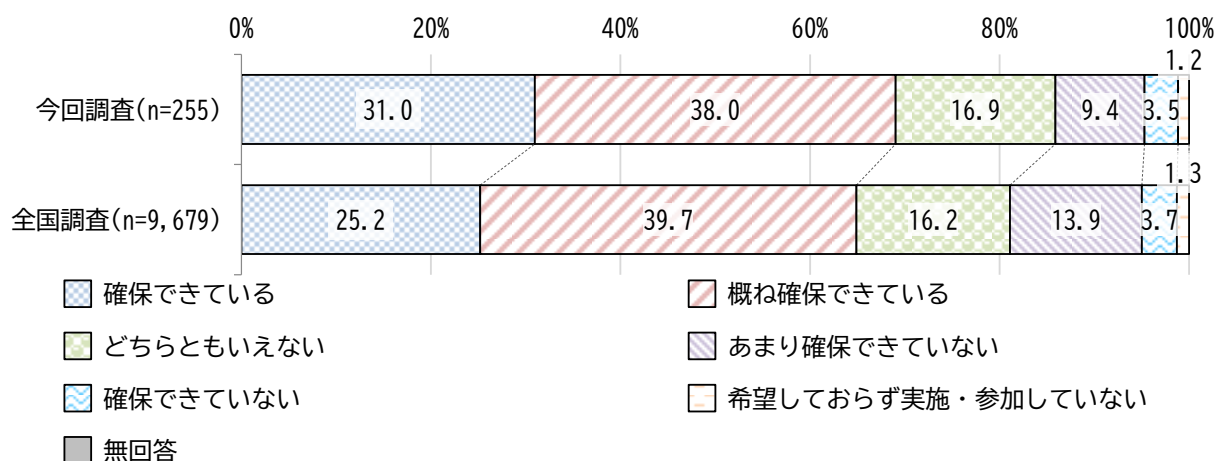
### (1) 大学授業の受講（ゼミ含む）

◇大学授業の受講（ゼミ含む）の時間の確保状況については、全国調査と同様に「確保できている」が80.0%と最も高く、全国調査（国：66.1%）より13.9ポイント高くなっている。次いで高い割合が「概ね確保できている」14.5%、「どちらともいえない」2.4%となっている。



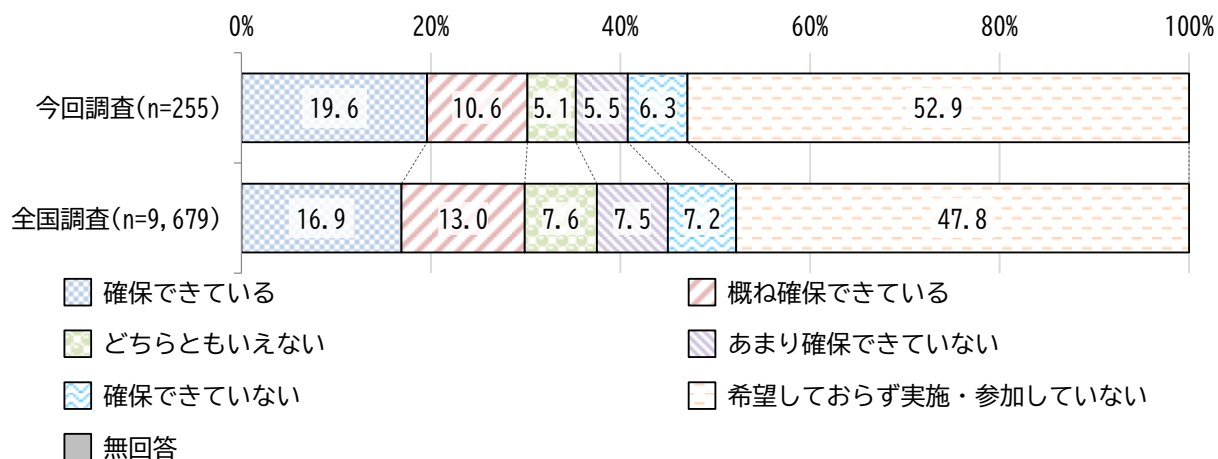
### (2) 大学の授業の予習復習、課題に取り組む時間

◇大学授業の予習復習、課題に取り組む時間の確保状況については、全国調査と同様に「概ね確保できている」が38.0%と最も高く、次いで、「確保できている」31.0%、「どちらともいえない」16.9%となっている。



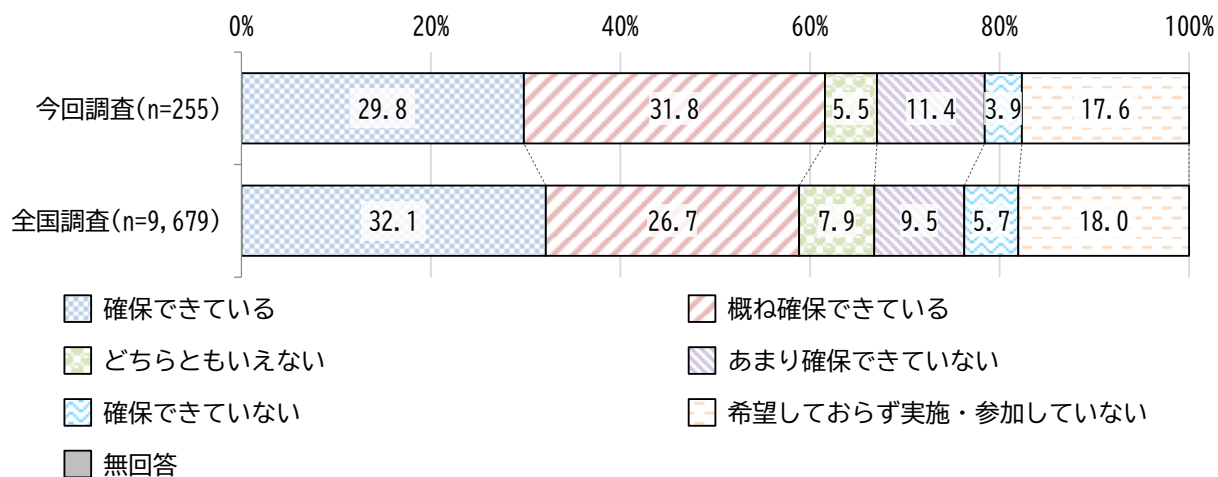
### (3) 部活・サークル

◇部活・サークルの時間確保状況については、「希望しておらず実施・参加していない」が52.9%と最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。次いで高い割合が「確保できている」19.6%、「どちらともいえない」10.6%、「確保できていない」6.3%となっている。



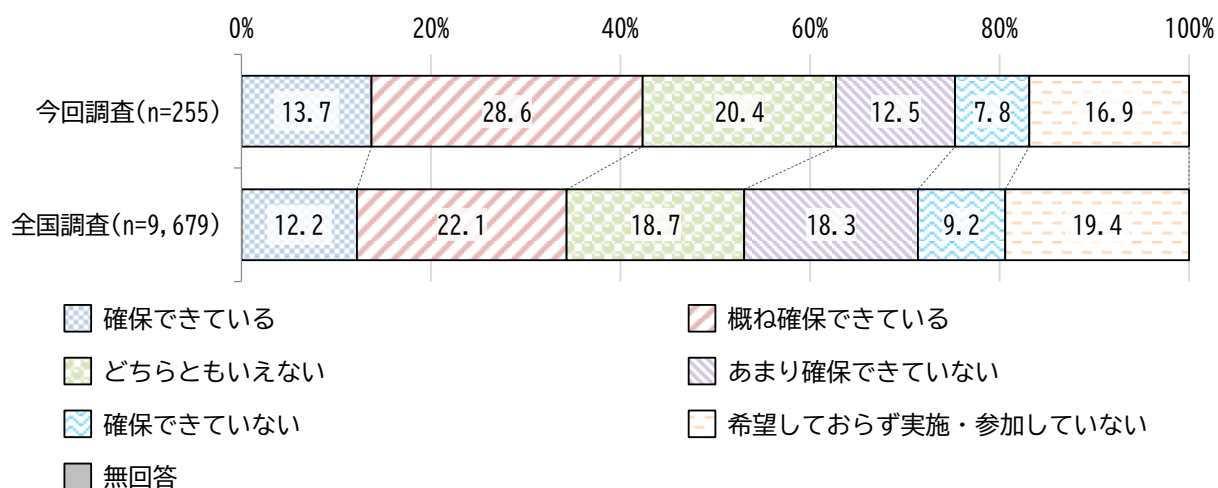
### (4) アルバイト・仕事

◇アルバイト・仕事の時間確保状況については、「概ね確保できている」が31.8%と最も高く、次いで、「確保できている」29.8%、「希望しておらず実施・参加していない」17.6%となっているが、全国調査では「確保できている」が32.1%と最も高くなっている。



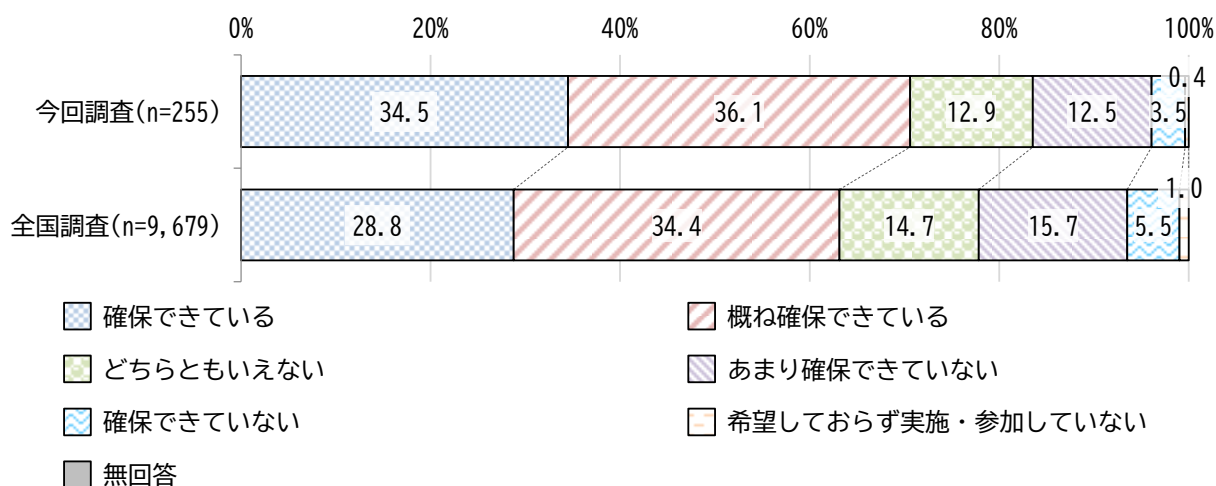
(5) 就職活動（説明会、インターンへの応募・参加も含む）

◇就職活動（説明会、インターンへの応募・参加も含む）の時間確保状況については、「概ね確保できている」が28.6%と最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。次いで高い割合が「どちらともいえない」20.4%、「希望しておらず実施・参加していない」16.9%となっている。



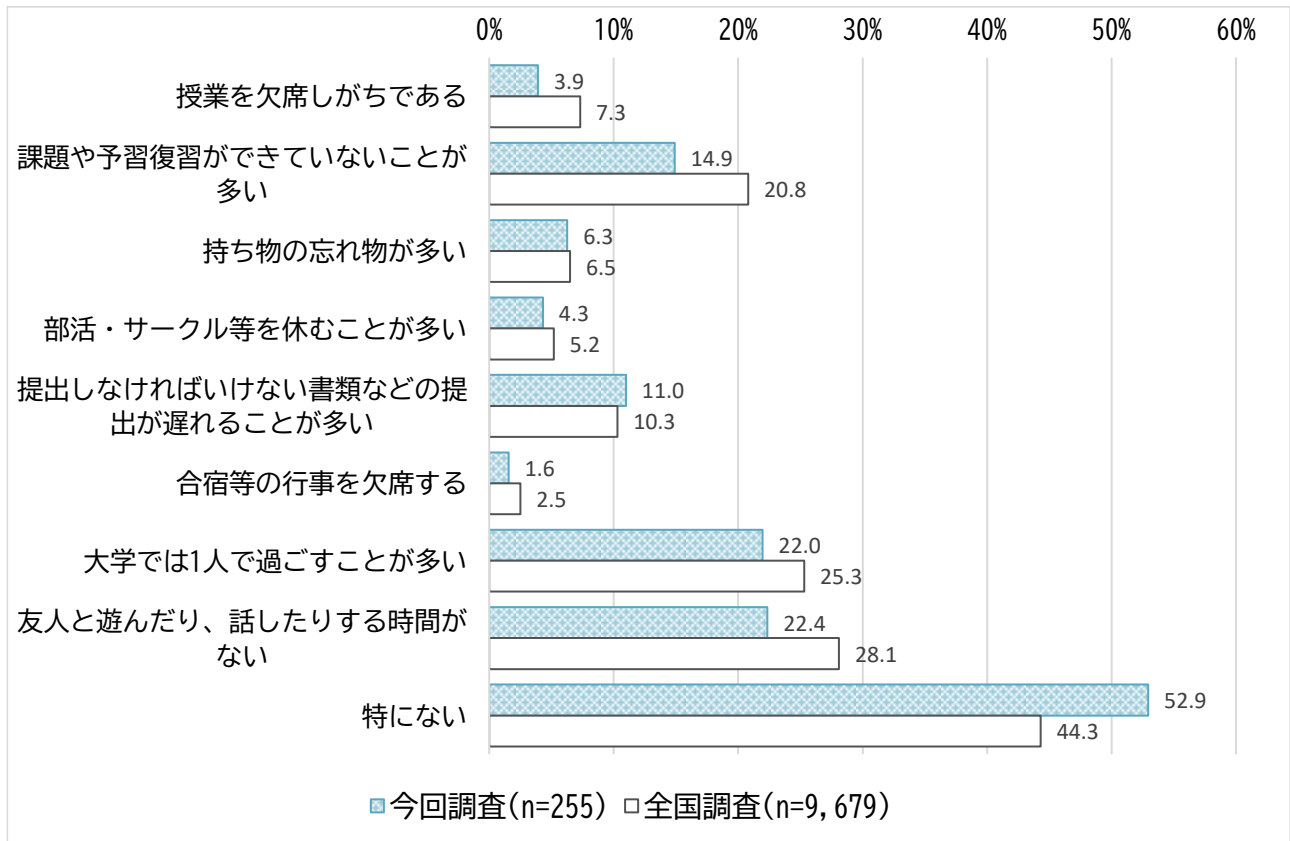
(6) 趣味・娯楽・交友

◇趣味・娯楽・交友の時間確保状況については、「概ね確保できている」が36.1%と最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。次いで高い割合が「確保できている」34.5%、「どちらともいえない」12.9%となっている。



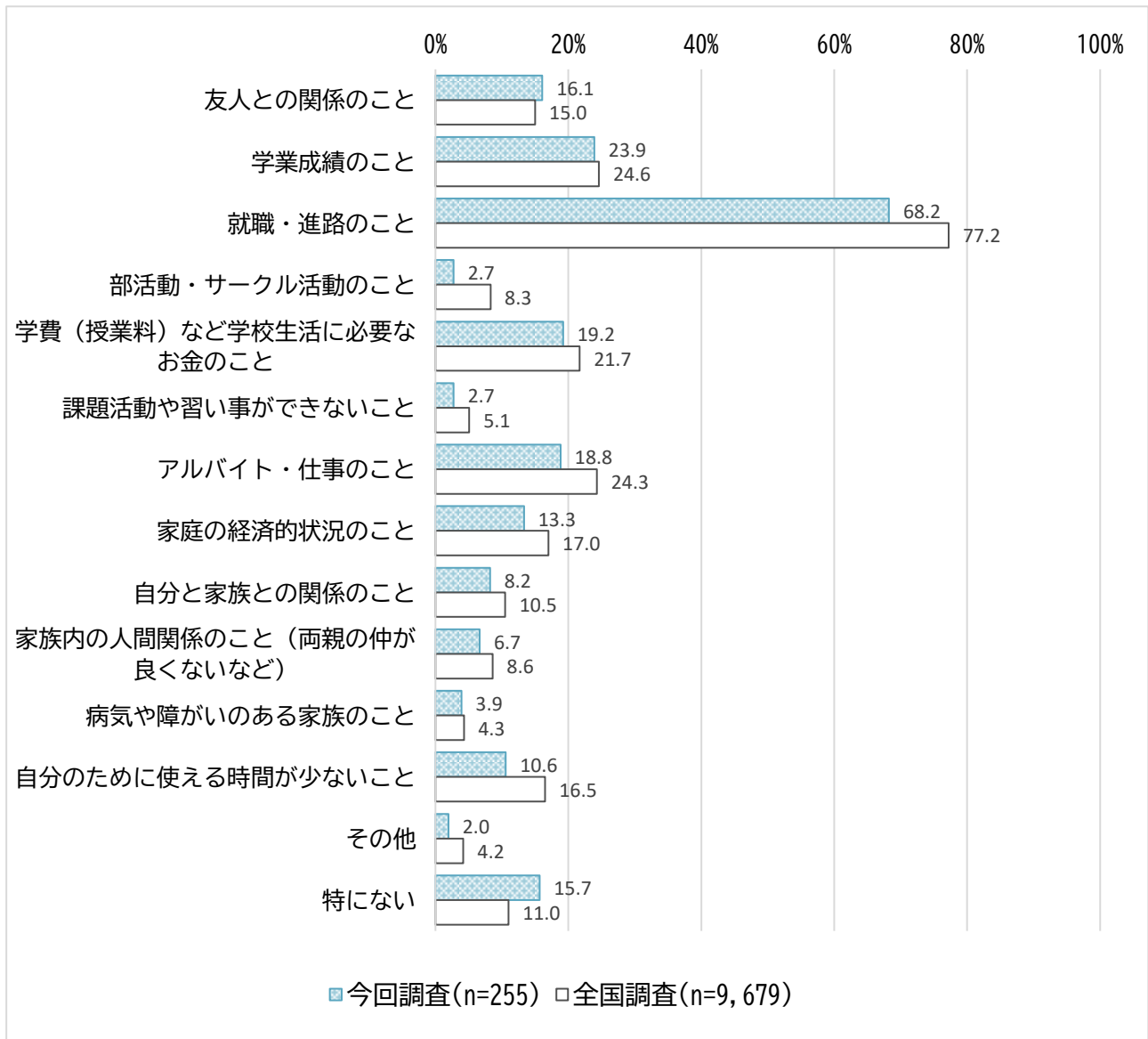
## 5 普段の大学生活等においてあてはまるもの

◇普段の大学生活等であてはまることについては、全国調査と同様に「特にない」が52.9%と最も高くなっている。それ以外では、「友人と遊んだり、話したりする時間がない」が22.4%と最も高く、次いで「大学では1人で過ごすことが多い」22.0%、「課題や予習復習ができていないことが多い」14.9%となっている。



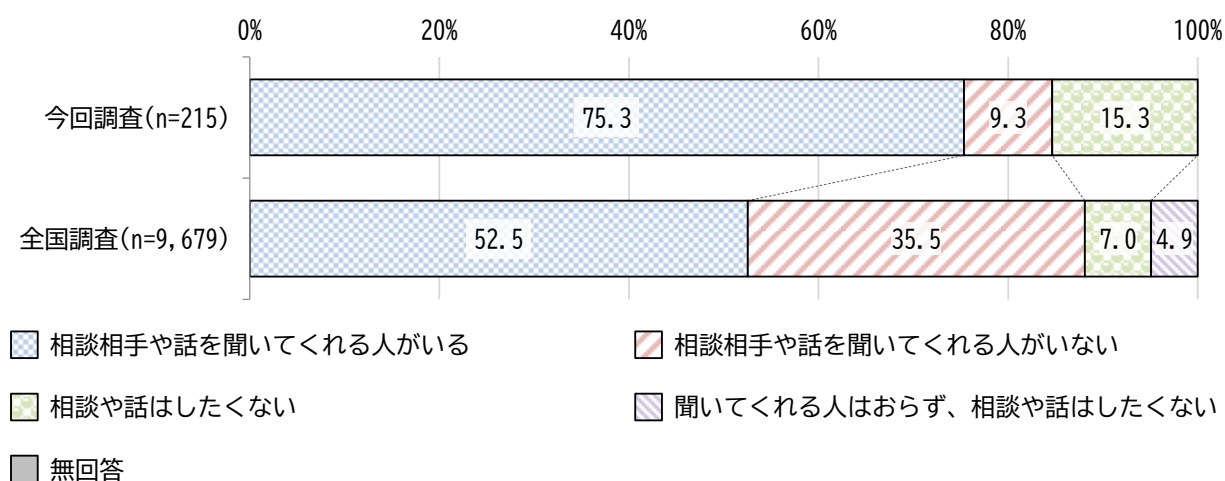
## 6 現在の悩みごとや困りごと

◇現在の悩みごとについては、全国調査と同様に「就職・進路のこと」が68.2%と最も高く、次いで、「学業成績のこと」23.9%、「学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと」19.2%となっている。



## 7 悩みや困りごとについて話を聞いてくれる人の有無（何らかの悩みごとがあると回答した人のみ）

◇「悩み」が「ある」と回答した大学生に、悩みごとについて話を聞いてくれる人がいるか聞いたところ、「いる」が75.3%と最も高く、全国調査（国：52.5%）より22.8ポイント高くなっている。次いで高い割合が「相談や話はしたくない」15.3%、「相談相手や話を聞いてくれる人がいない」9.3%となっており、「相談相手や話を聞いてくれる人がいない」については全国調査（国：35.5%）より26.2ポイント低くなっている。

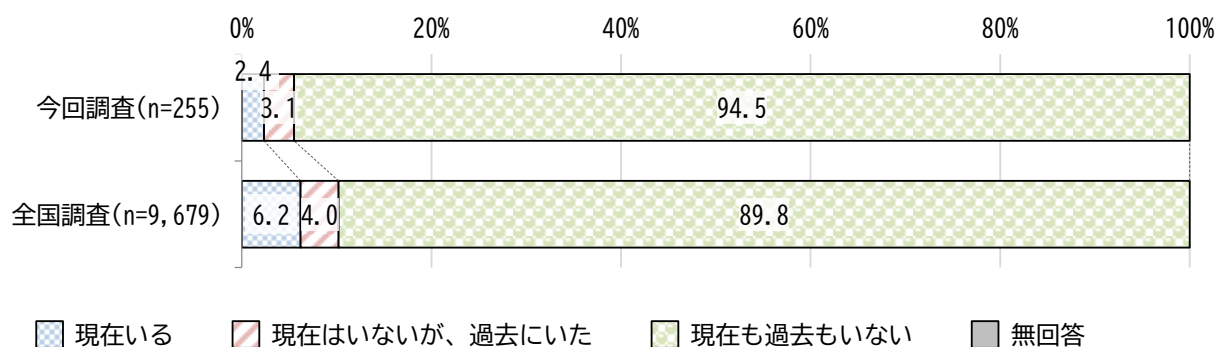




### (3) 家庭や家族のことについて

#### 1 世話をしている家族の有無

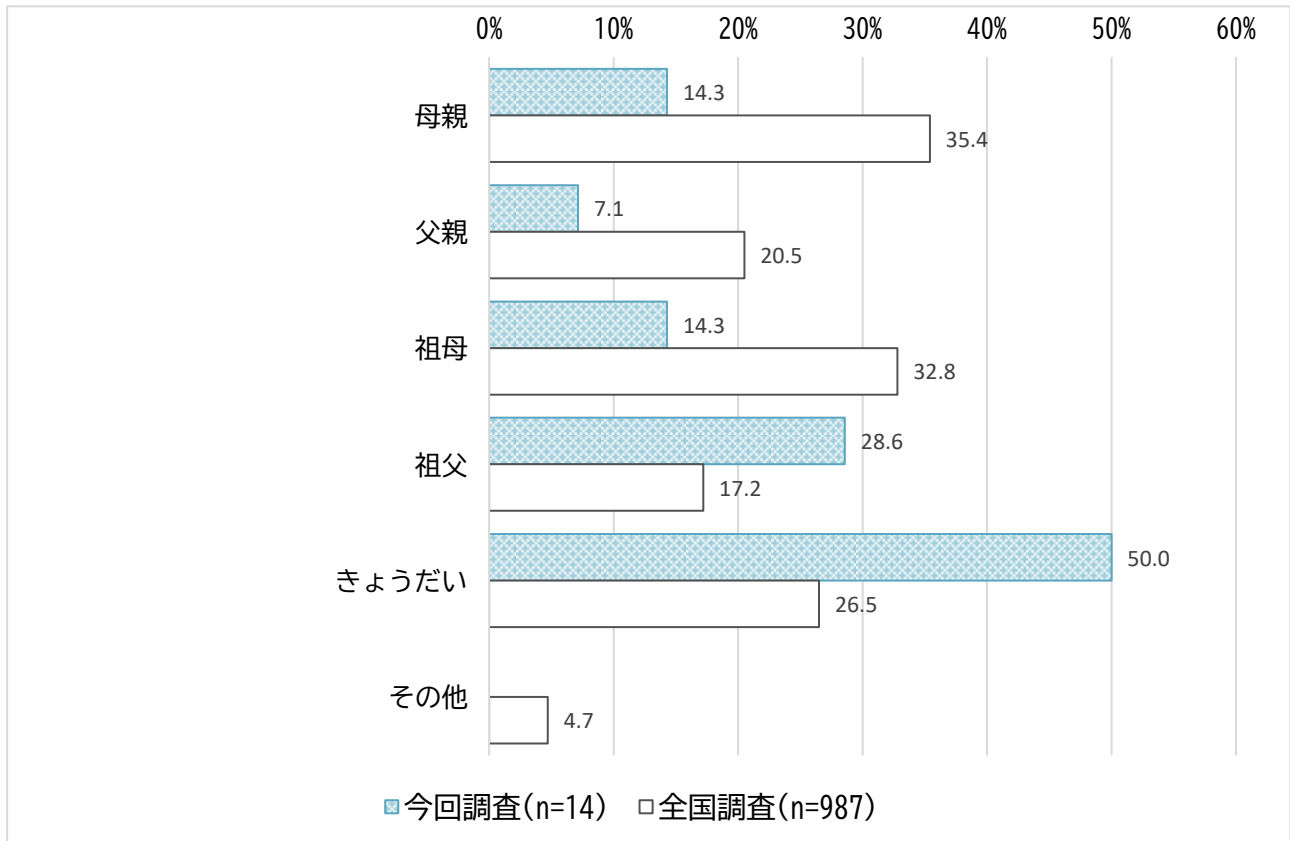
◇世話をしている家族がいるか聞いたところ、「現在も過去もない」が 94.5%と最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。次いで高い割合が「現在はいないが、過去にいた」3.1%、「現在いる」2.4%となっている。



ここからは1で「世話をしている家族」が「いる」「いた」と回答した大学生の回答

2 (1) 世話を必要としている家族

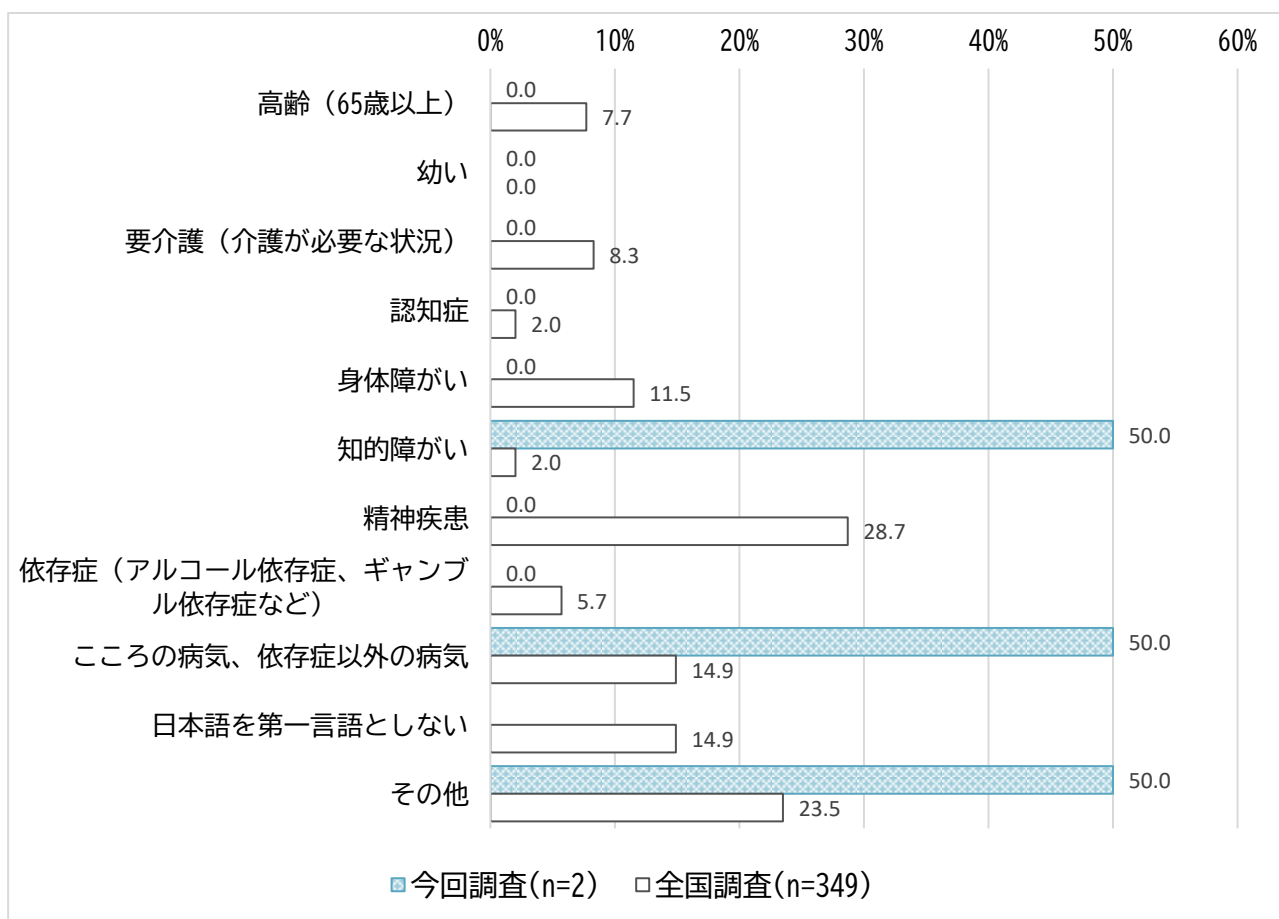
◇世話を必要としている家族について聞いたところ、「きょうだい」が 50.0%と最も高く、次いで「祖父」28.6%、「母親」、「祖母」ともに 14.3%となっているが、全国調査では「母親」35.4%が最も高くなっている。



### 3-a 世話を必要としている（していた）方の状況

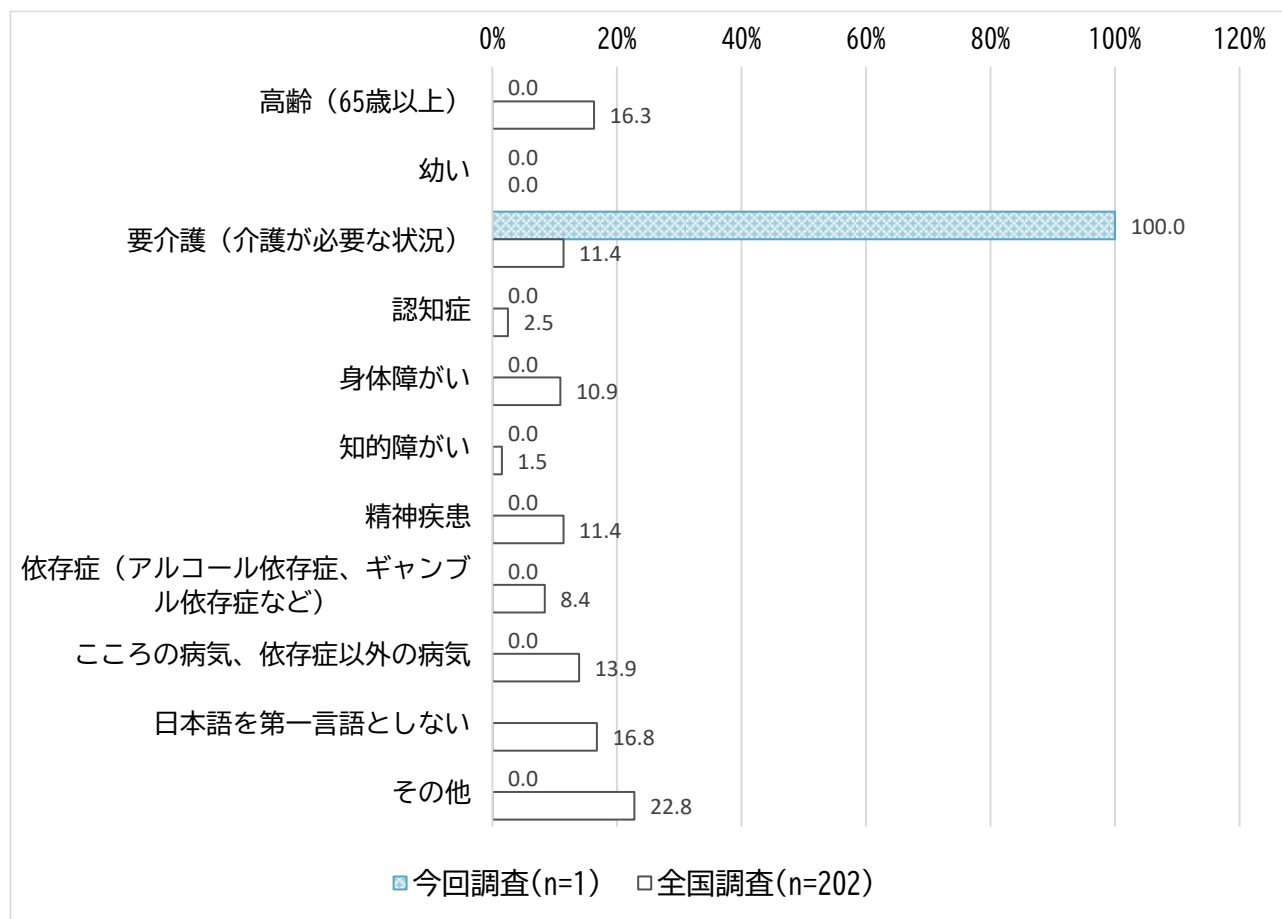
#### ■母親

◇「世話を必要としている（していた）家族」が「母親」と回答した大学生に、世話をしている理由について聞いたところ、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。



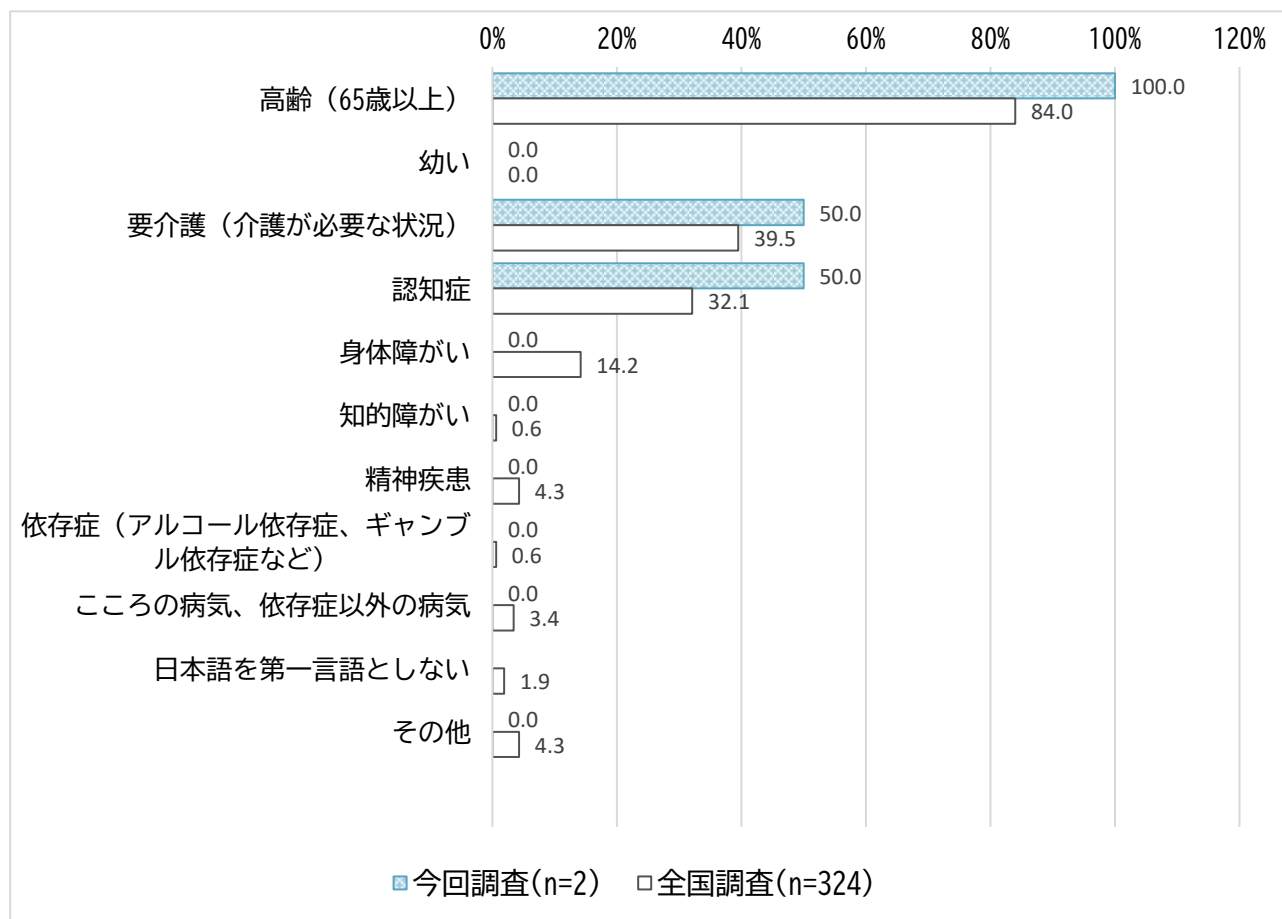
## ■父親

◇「世話を必要としている家族」が「父親」と回答した大学生に、世話をしている理由について聞いたところ、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。



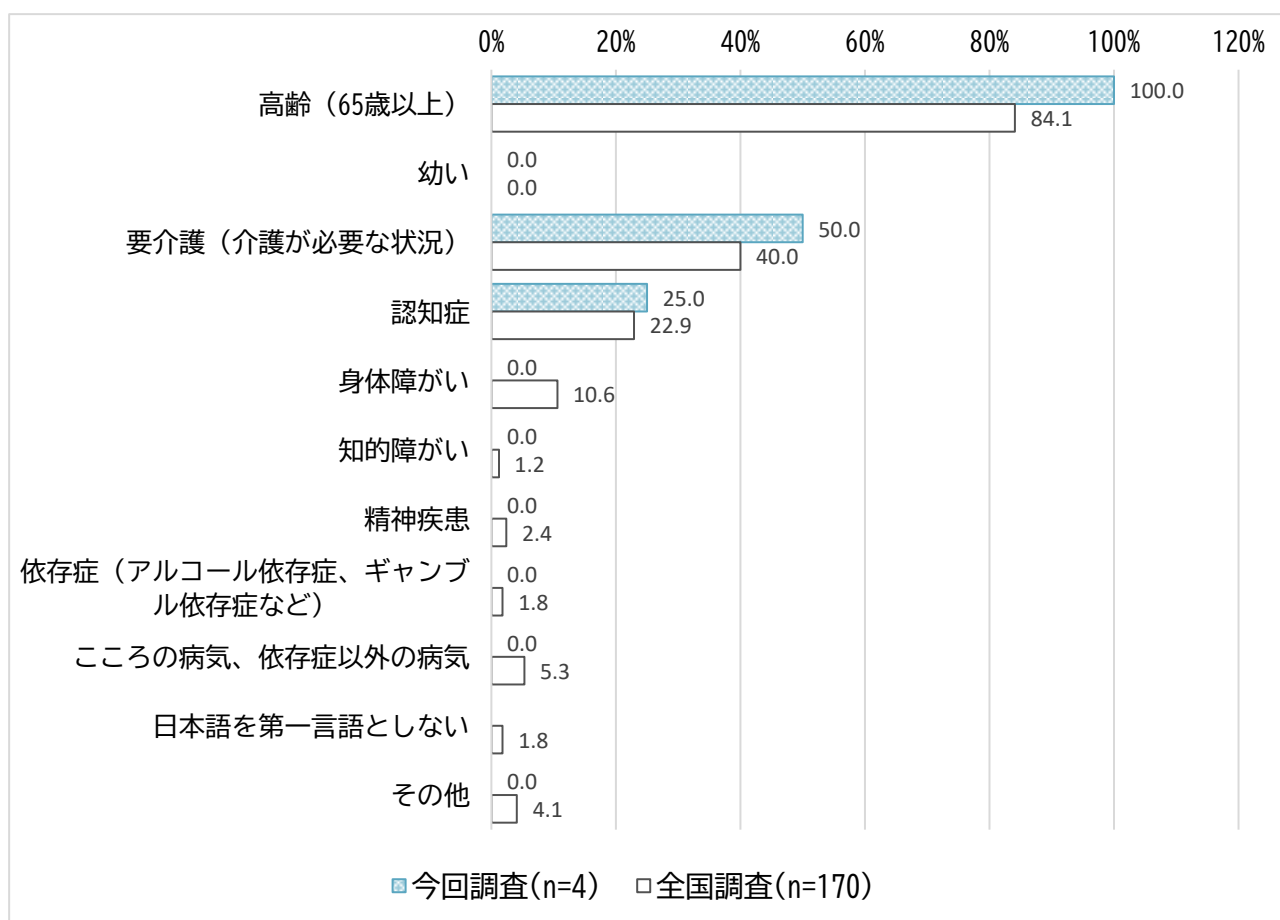
## ■祖母

◇「世話を必要としている家族」が「祖母」と回答した大学生に、世話をしている理由について聞いたところ、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。



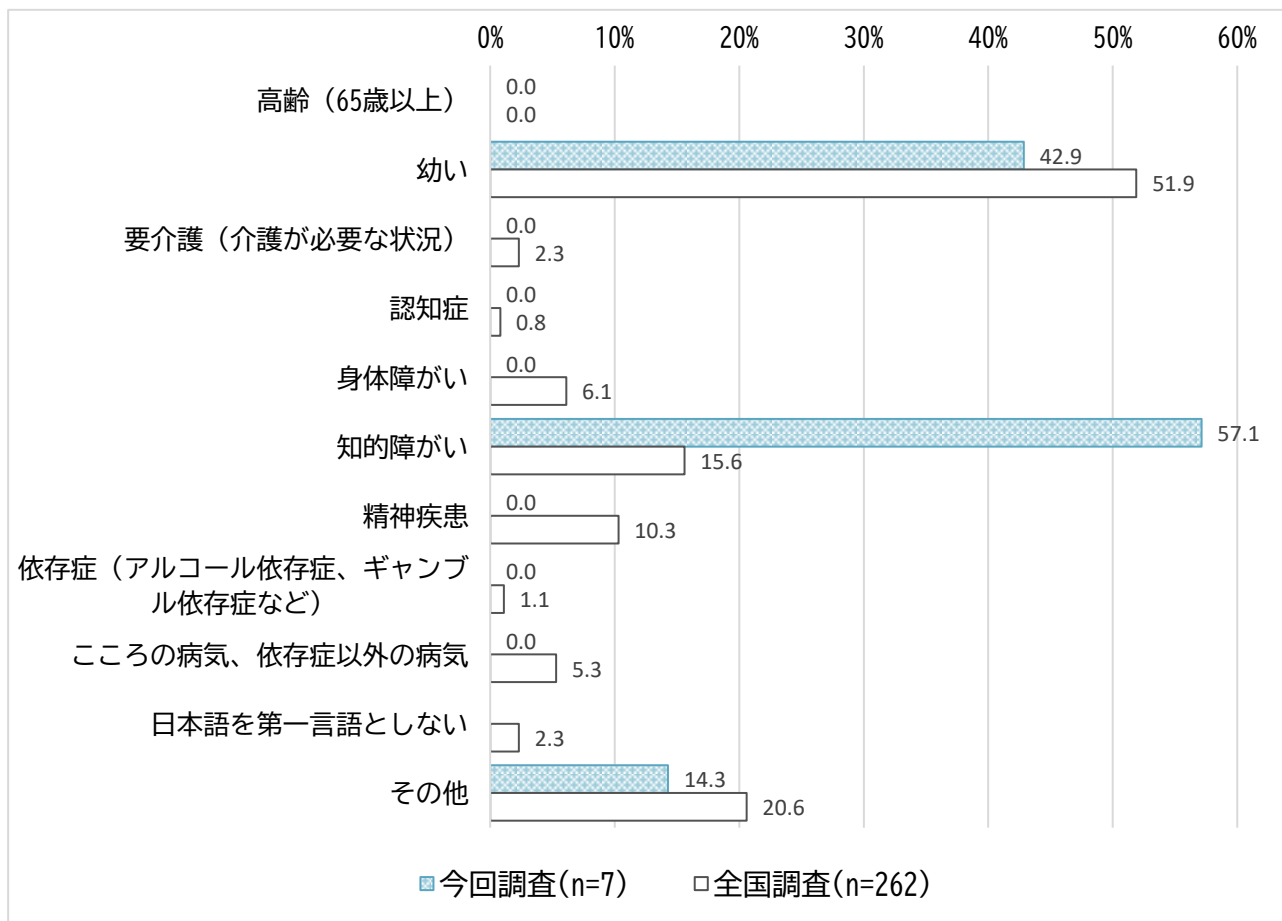
## ■祖父

◇「世話を必要としている家族」が「祖父」と回答した大学生に、世話をしている理由について聞いたところ、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。



## ■きょうだい

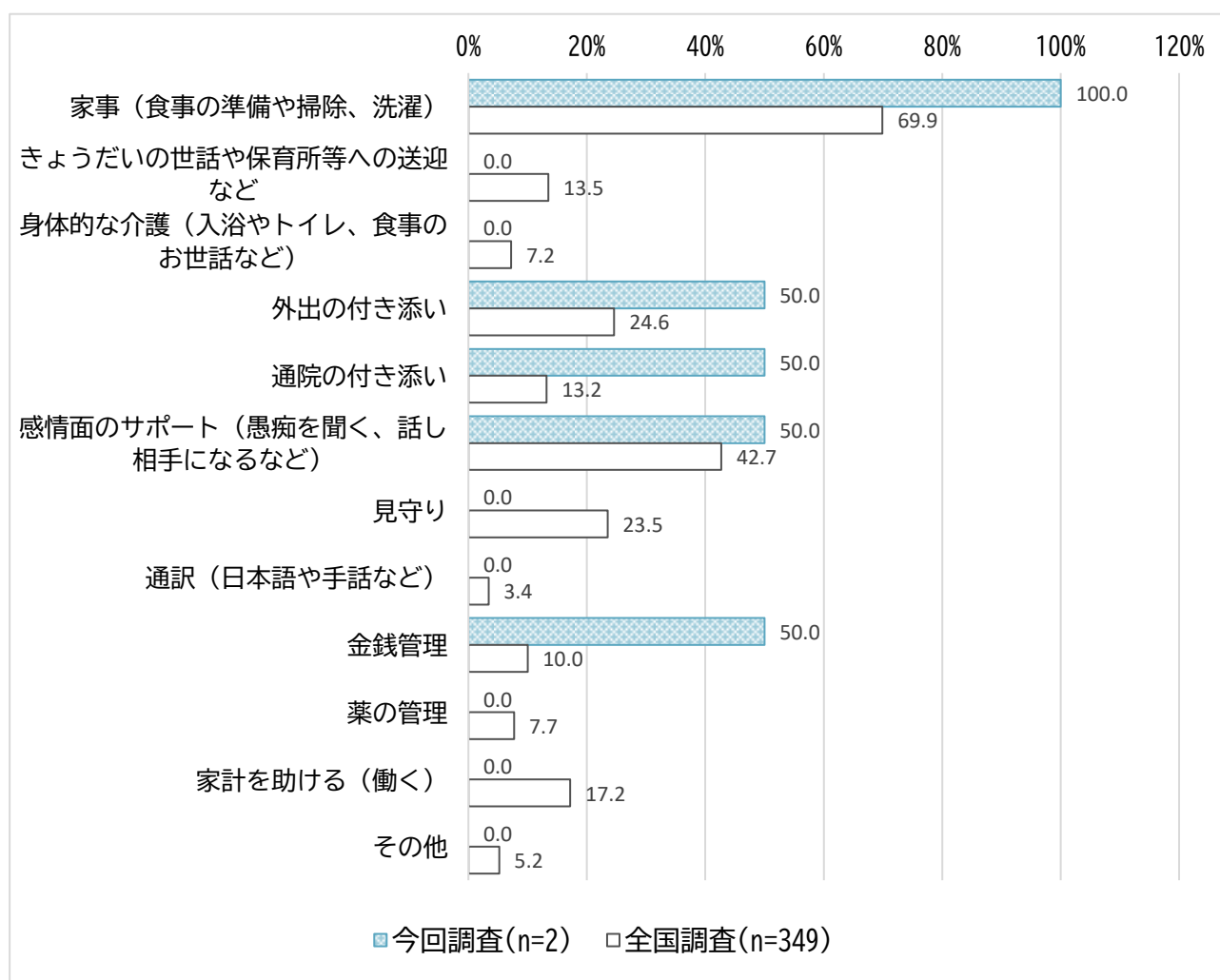
◇「世話を必要としている家族」が「きょうだい」と回答した大学生に、世話をしている理由について聞いたところ、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。



### 3-b 世話の内容

#### ■母親

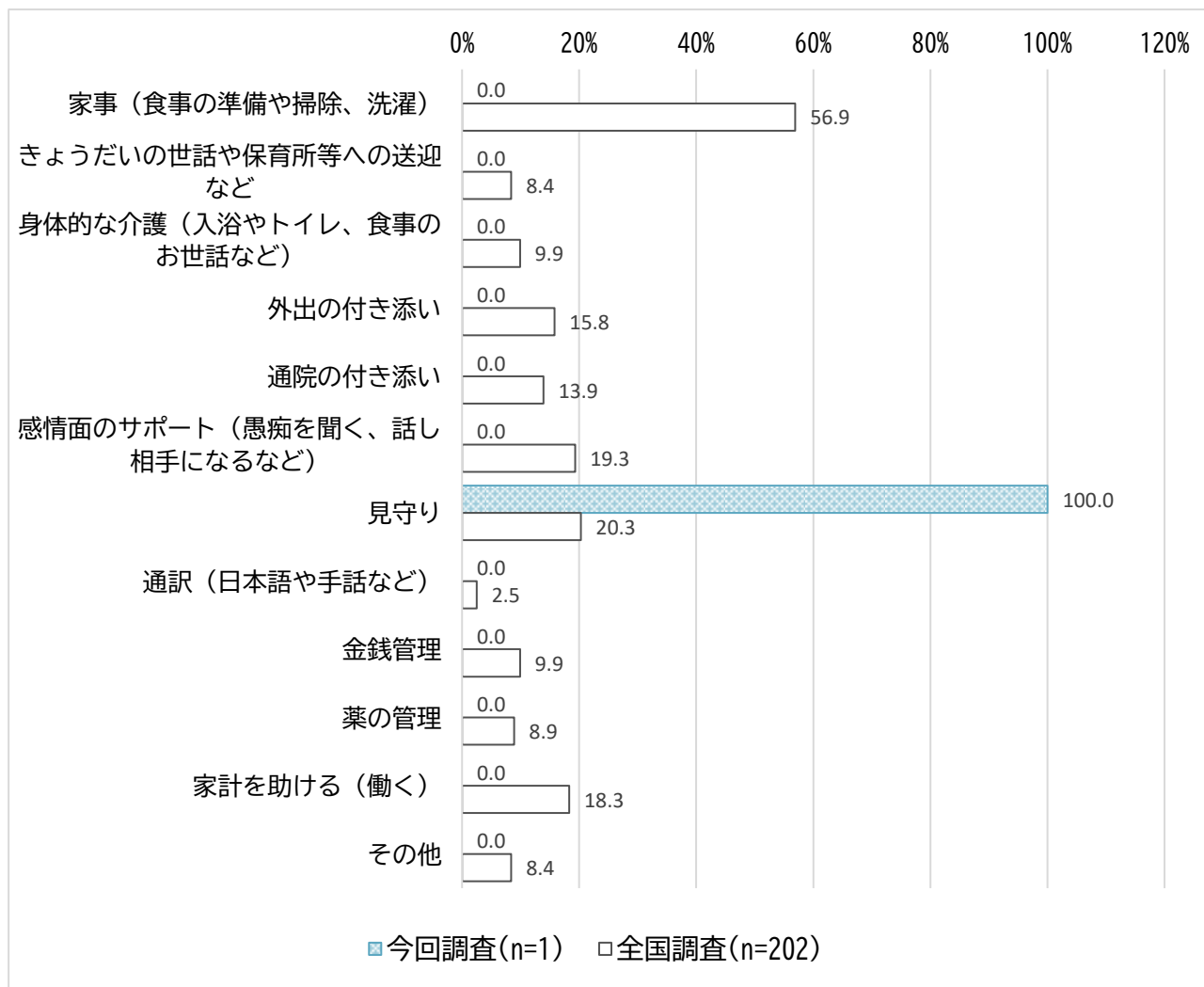
◇「世話を必要としている（していた）家族」が「母親」と回答した大学生に、世話をしている内容について聞いたところ、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。





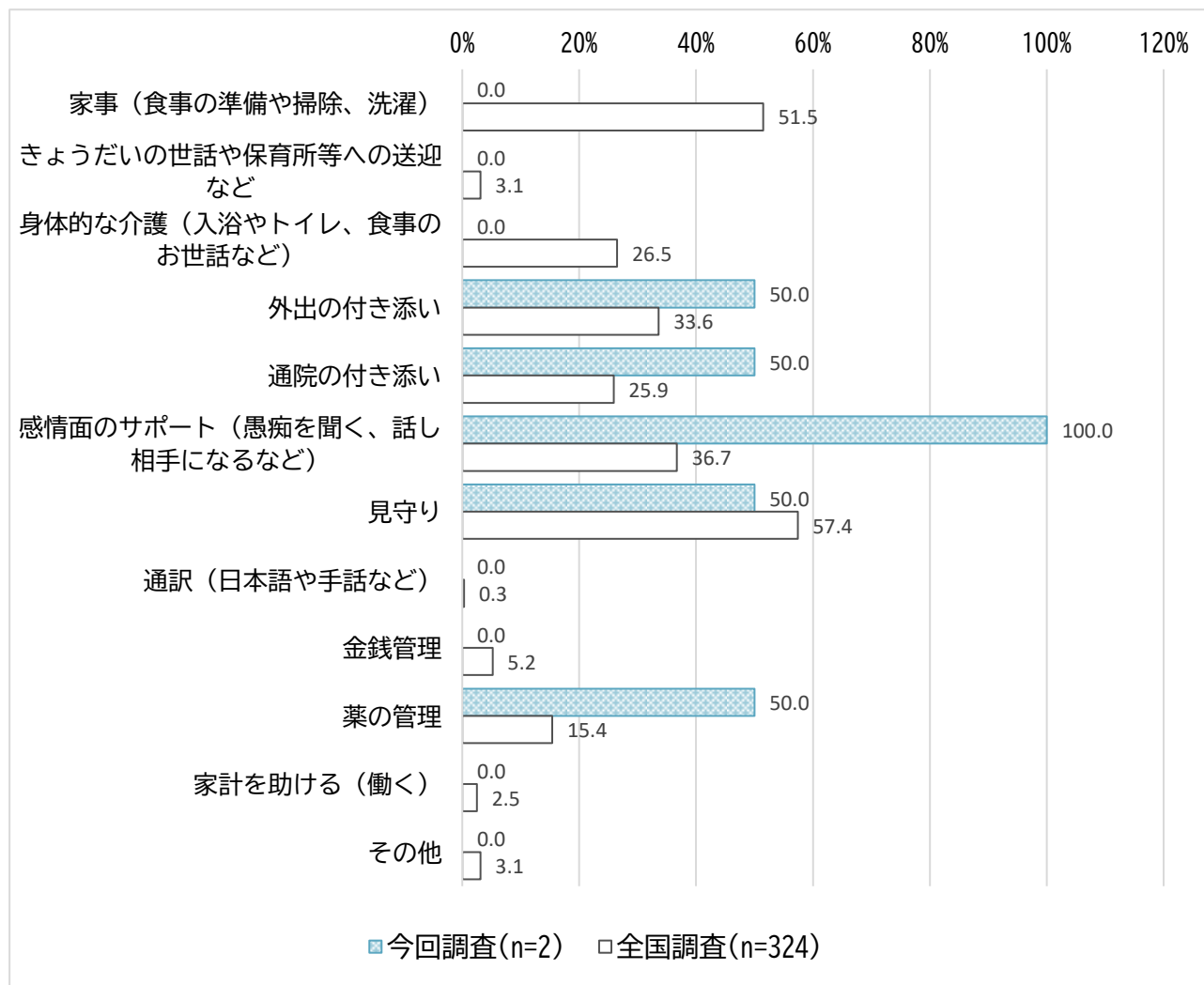
## ■父親

◇「世話を必要としている（していた）家族」が「父親」と回答した大学生に、世話をしている内容について聞いたところ、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。



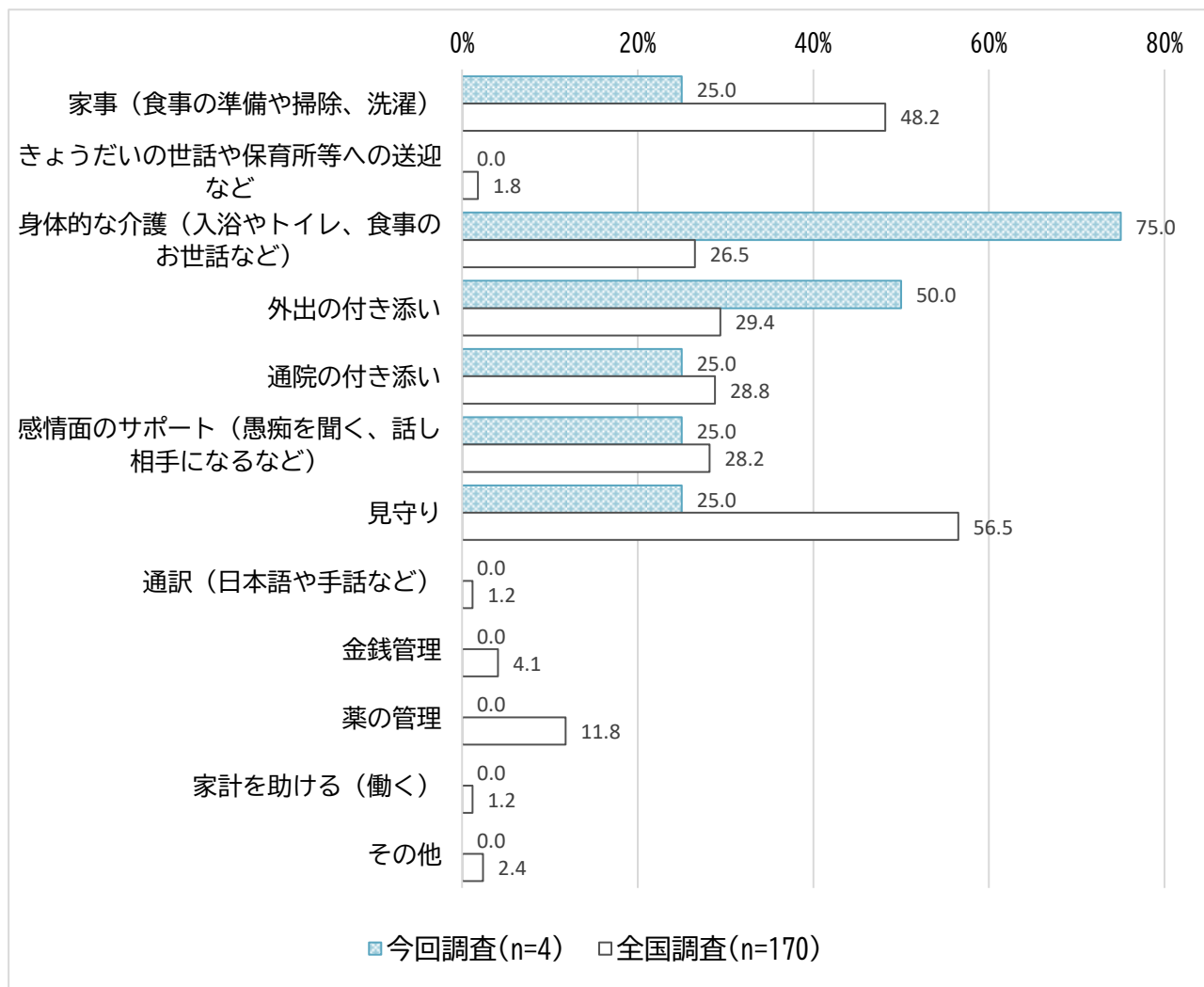
## ■祖母

◇「世話を必要としている（していた）家族」が「祖母」と回答した大学生に、世話をしている内容について聞いたところ、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。



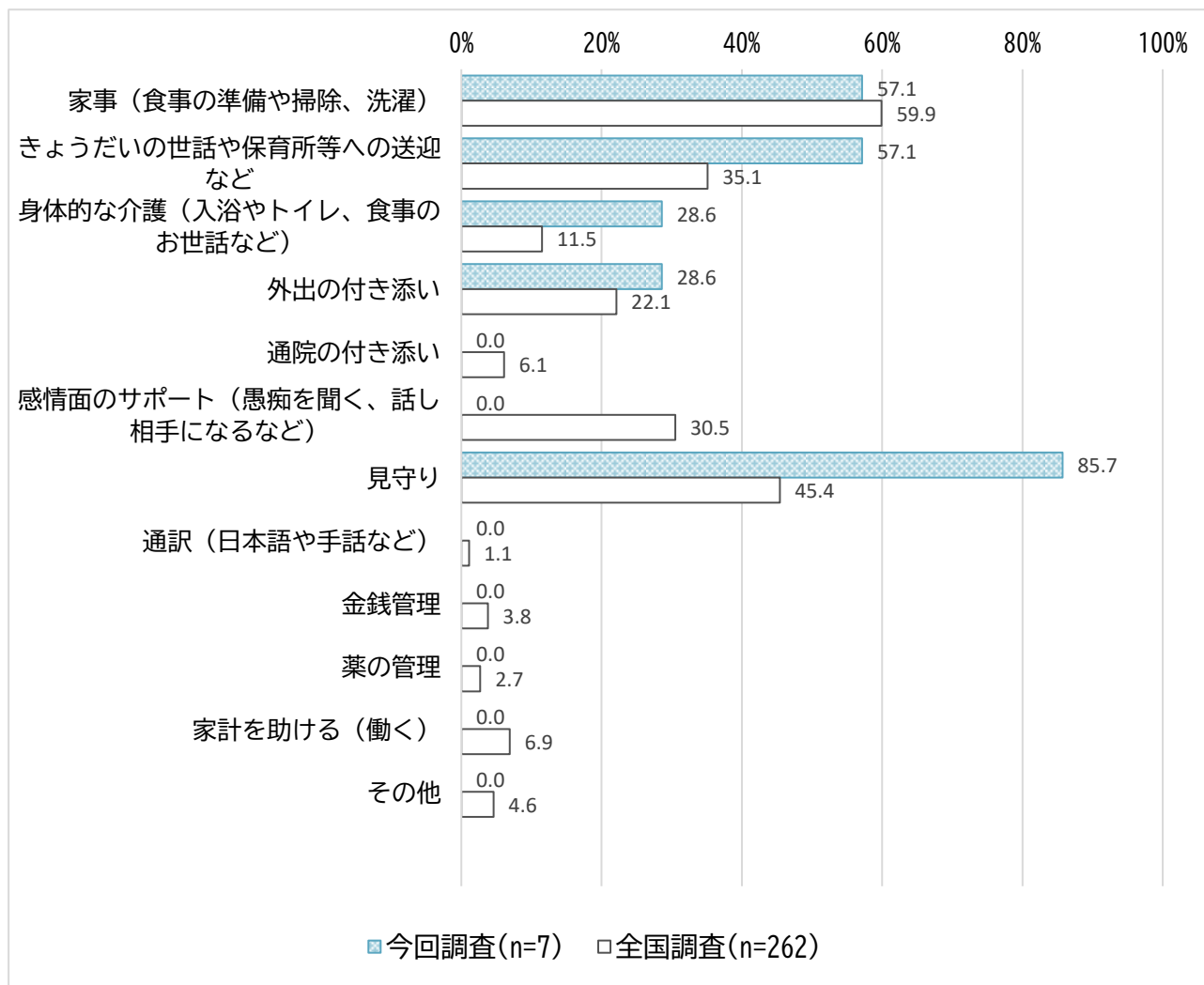
## ■祖父

◇「世話を必要としている（していた）家族」が「祖父」と回答した大学生に、世話をしている内容について聞いたところ、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。



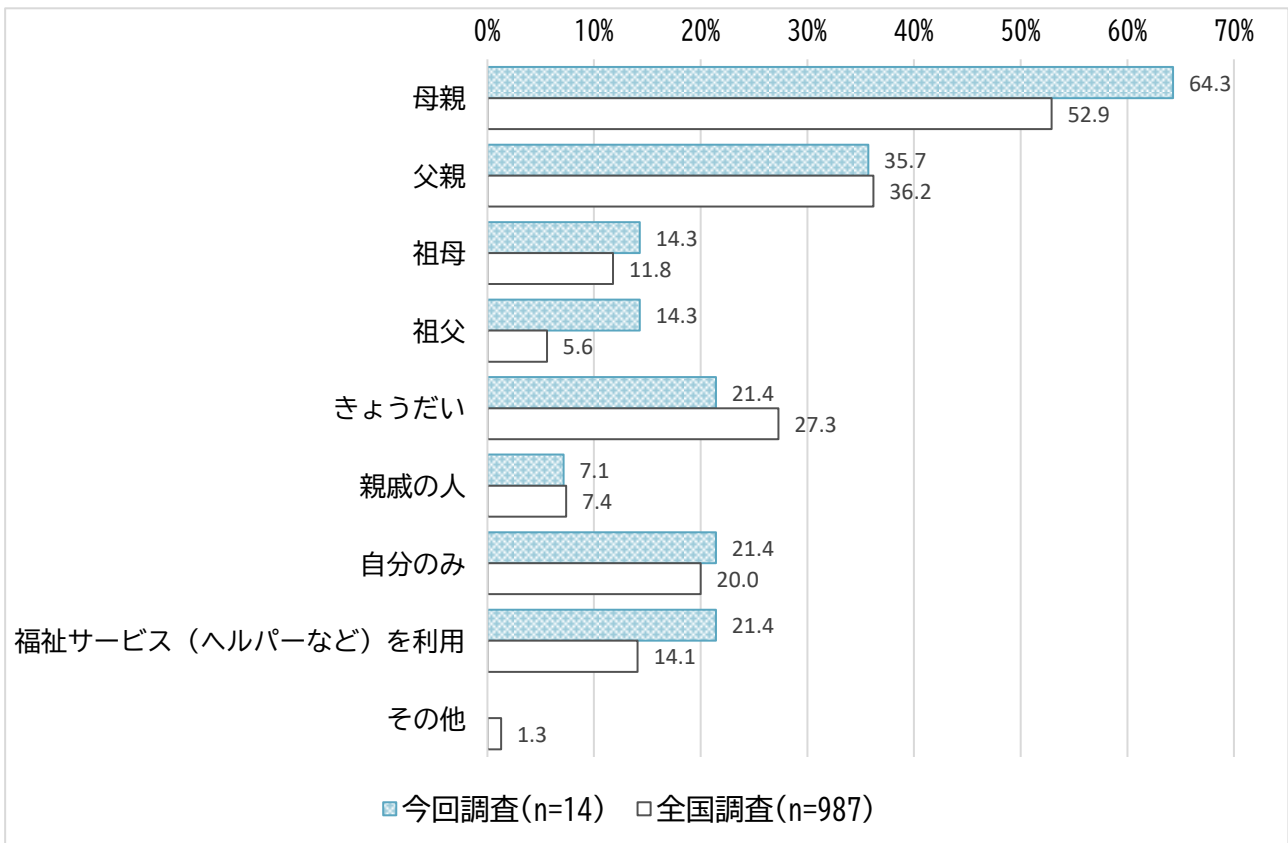
## ■きょうだい

◇「世話を必要としている（していた）家族」が「きょうだい」と回答した大学生に、世話をしている内容について聞いたところ、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。



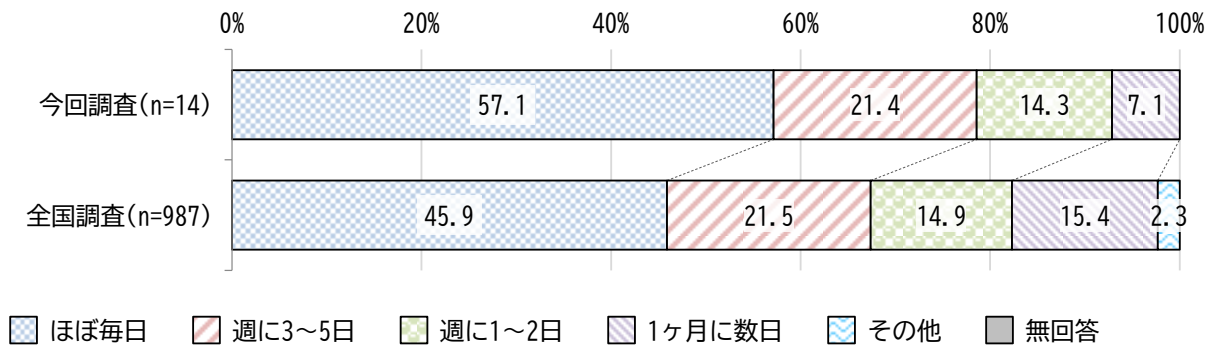
## 4 一緒に世話をしている人

◇世話を一緒にしている人については、「母親」が64.3%と最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。次いで高い割合が「父親」35.7%、「きょうだい」、「自分のみ」、「福祉サービス（ヘルパーなど）を利用」がともに21.4%となっている。



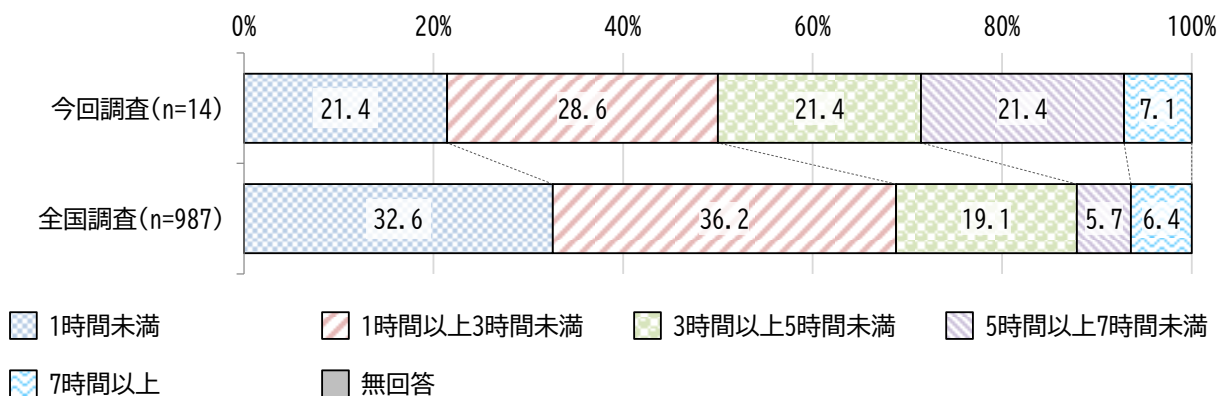
## 5 世話をしている（していた）頻度

◇世話をしている（していた）頻度については、「ほぼ毎日」が57.1%と最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。次いで高い割合が「週に3～5日」21.4%、「週に1～2日」14.3%となっている。



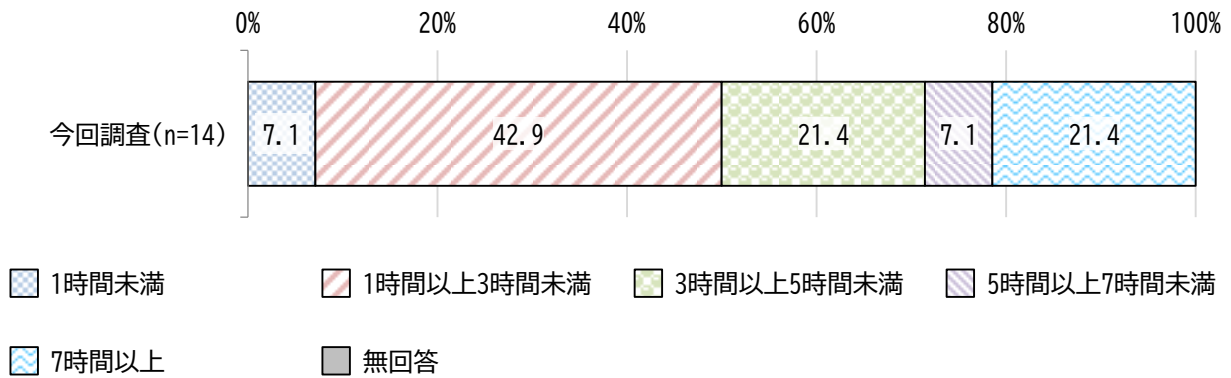
## 6 平日1日あたりの世화에費やす時間

◇平日1日あたりの世화에費やす時間については、「1時間以上3時間未満」が28.6%と最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。次いで高い割合が「1時間未満」、「3時間以上5時間未満」、「5時間以上7時間未満」がともに21.4%、「7時間以上」7.1%となっている。



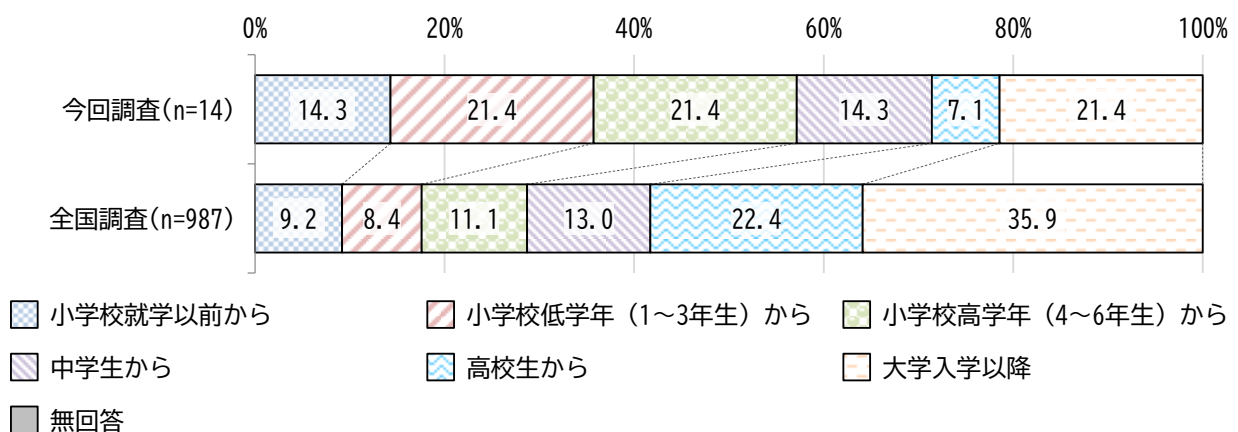
## 7 休日1日あたりの世話に費やす時間【県独自設問】

◇休日1日あたりの世話に費やす時間については、「1時間以上3時間未満」が42.9%と最も高くなっている。次いで高い割合が「3時間以上5時間未満」、「7時間以上」がともに21.4%、「1時間未満」、「5時間以上7時間未満」がともに7.1%となっている。



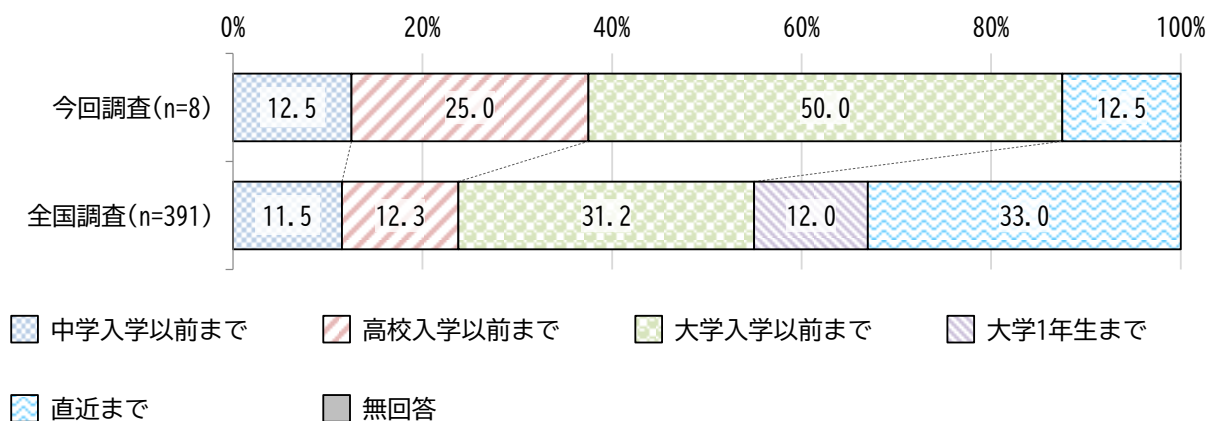
## 8 世話を始めた時期

◇世話を始めた年齢については、「小学校低学年（1～3年生）から」、「小学校高学年（4～6年生）から」、「大学入学以降」がともに21.4%と最も高く、次いで「小学校就学以前から」、「中学生から」がともに14.3%、「高校生から」7.1%となっている。全国調査では「大学入学以降」35.9%が最も高くなっている。



## 9 世話をしていた時期

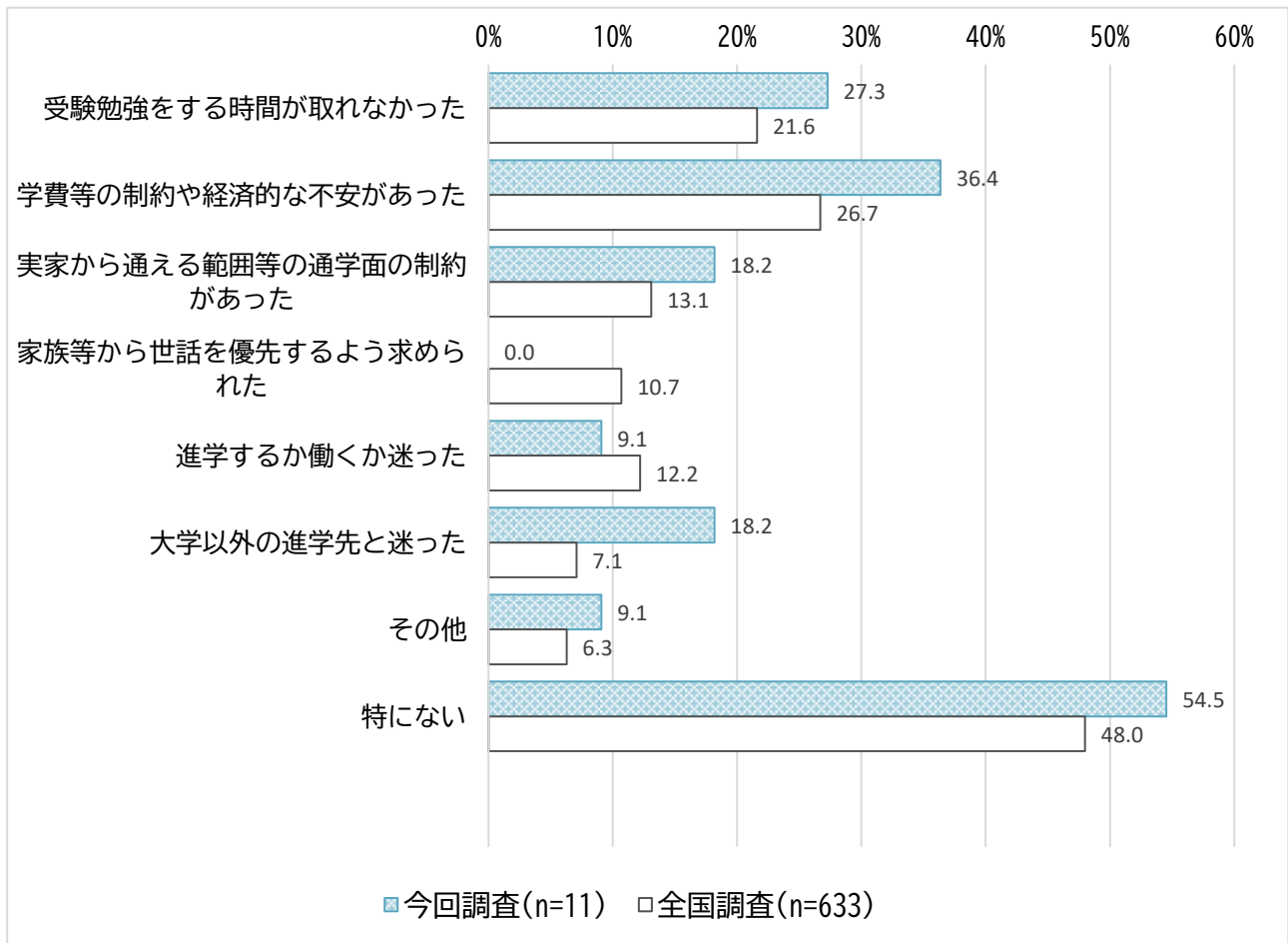
◇世話をしていた時期については、「大学入学以前まで」が50.0%と最も高く、次いで「高校入学以前まで」25.0%、「中学入学以前まで」、「直近まで」12.5%となっている。全国調査では「直近まで」33.0%が最も高くなっている。





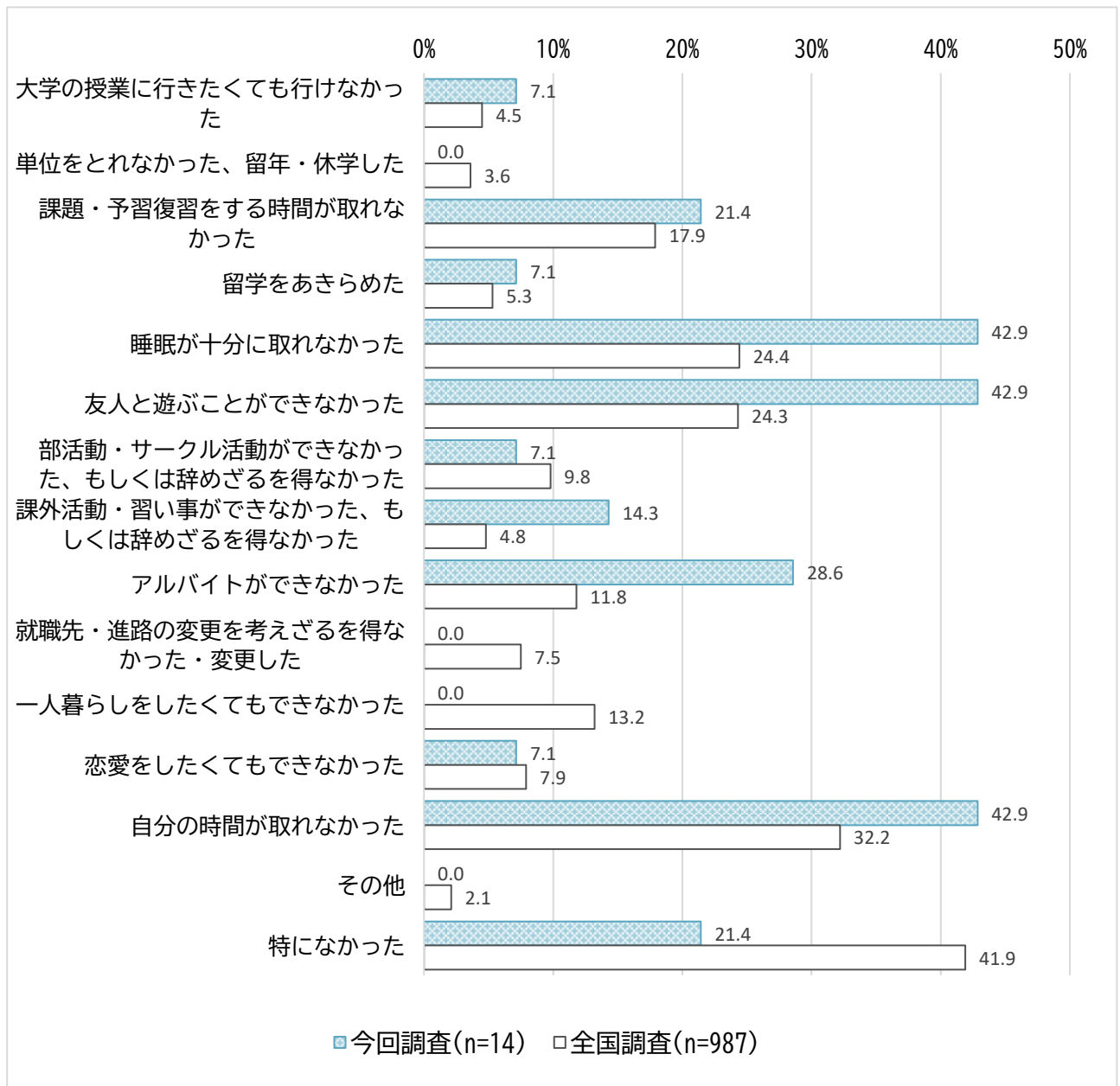
## 10 世話をしていることで、大学進学の際に苦労したこと・影響

◇世話をしていることで、大学進学の際に苦労したこと・影響について聞いたところ、全国調査と同様に「特にない」が54.5%と最も高く、次いで「学費等の制約や経済的な不安があった」が36.4%、「受験勉強をする時間が取れなかった」27.3%となっている。



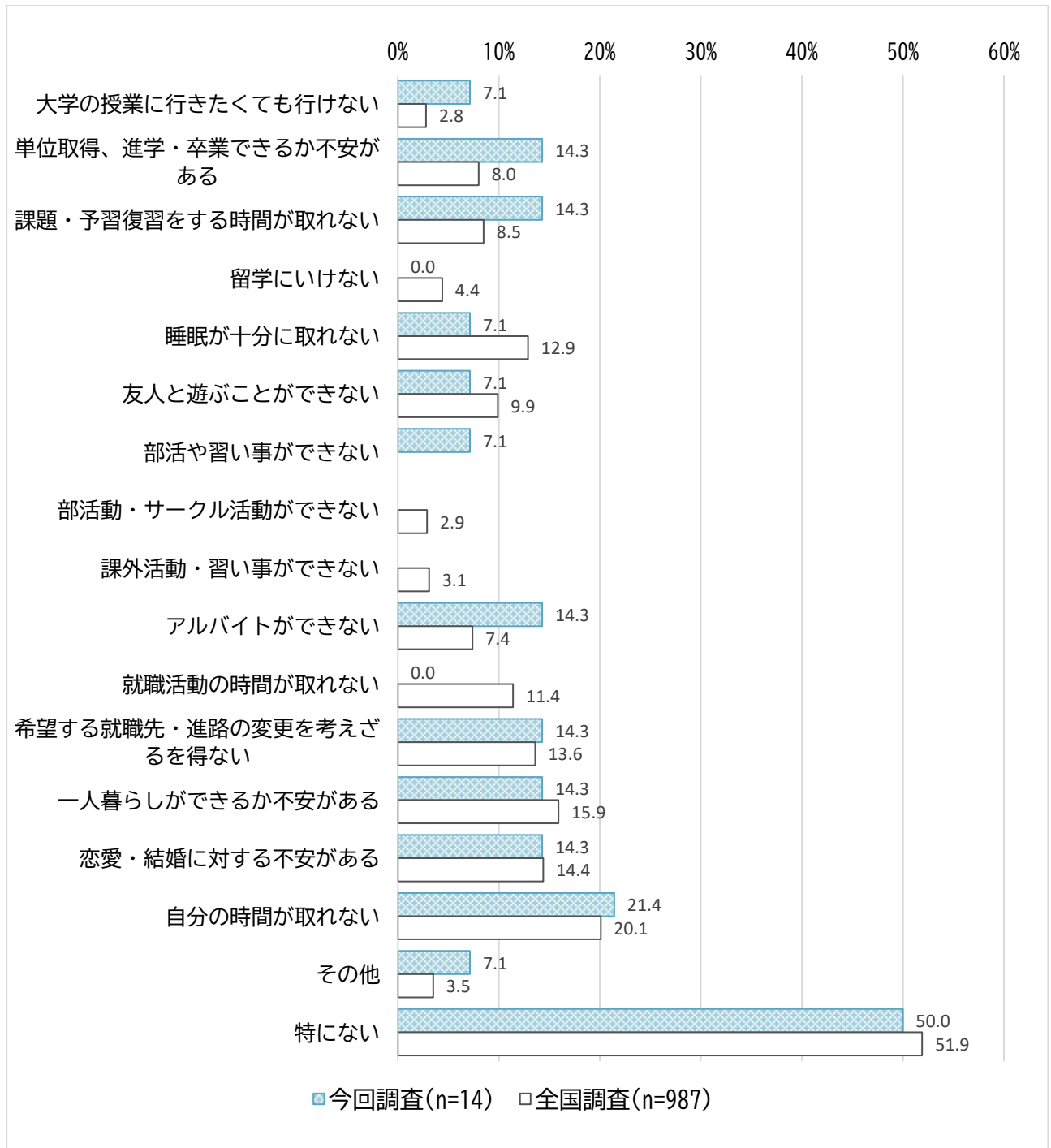
## 11 世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたこと

◇世話をしていることで、やりたいけれどできないこと、あきらめたことについて聞いたところ、「睡眠が十分に取れなかった」、「友人と遊ぶことができなかった」、「自分の時間が取れなかった」がともに42.9%と最も高く、次いで「アルバイトができなかった」28.6%、「課題・予習復習をする時間が取れなかった」、「特になかった」がともに21.4%となっている。全国調査では「特になかった」が41.9%と最も高くなっている。



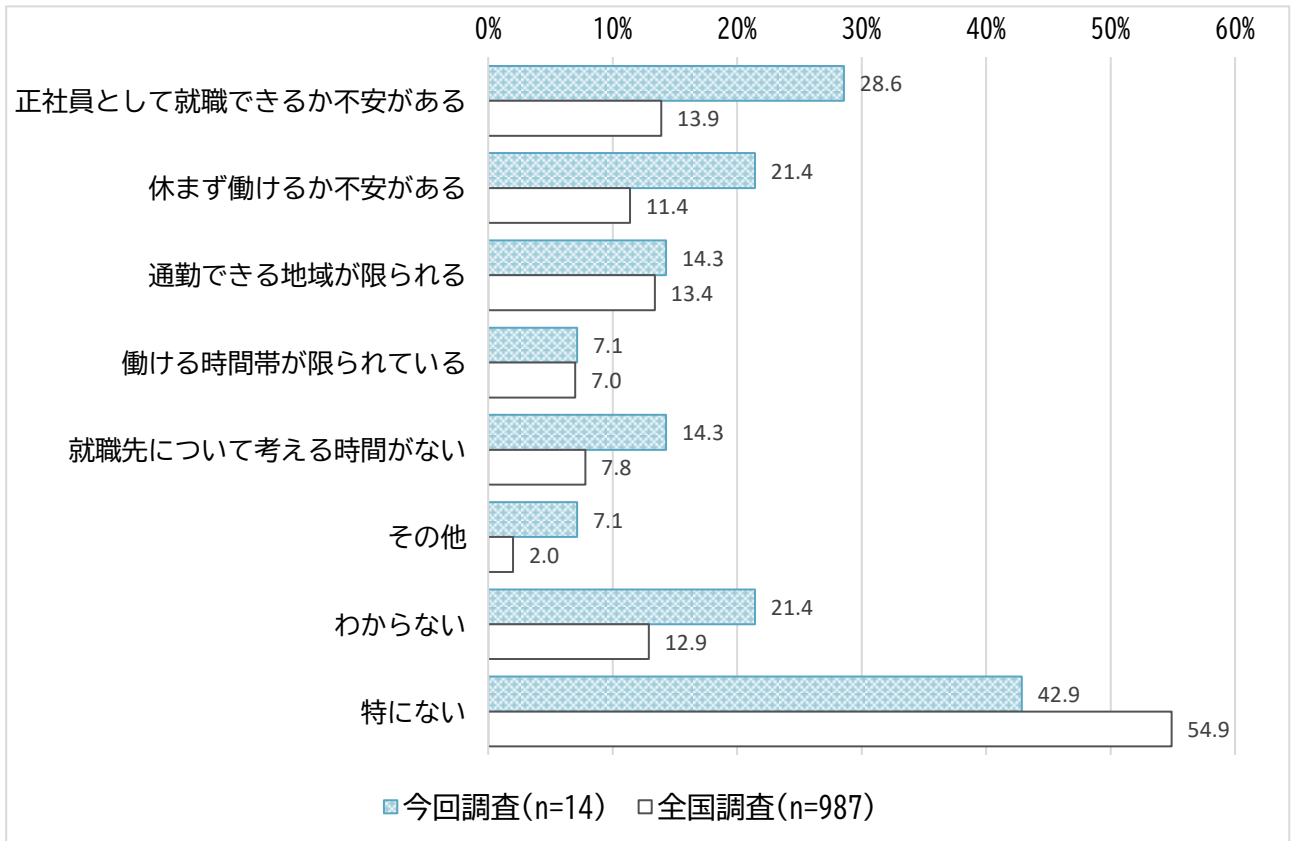
## 12 世話をしている（していた）ことで今後不安なこと、やりたいけどできなさそうなこと

◇世話をしている(していた)ことで今後不安なこと、やりたいけれどできなさそうなことについて聞いたところ、全国調査と同様に「特にない」が50.0%と最も高く、次いで「自分の時間が取れない」が21.4%となっている。



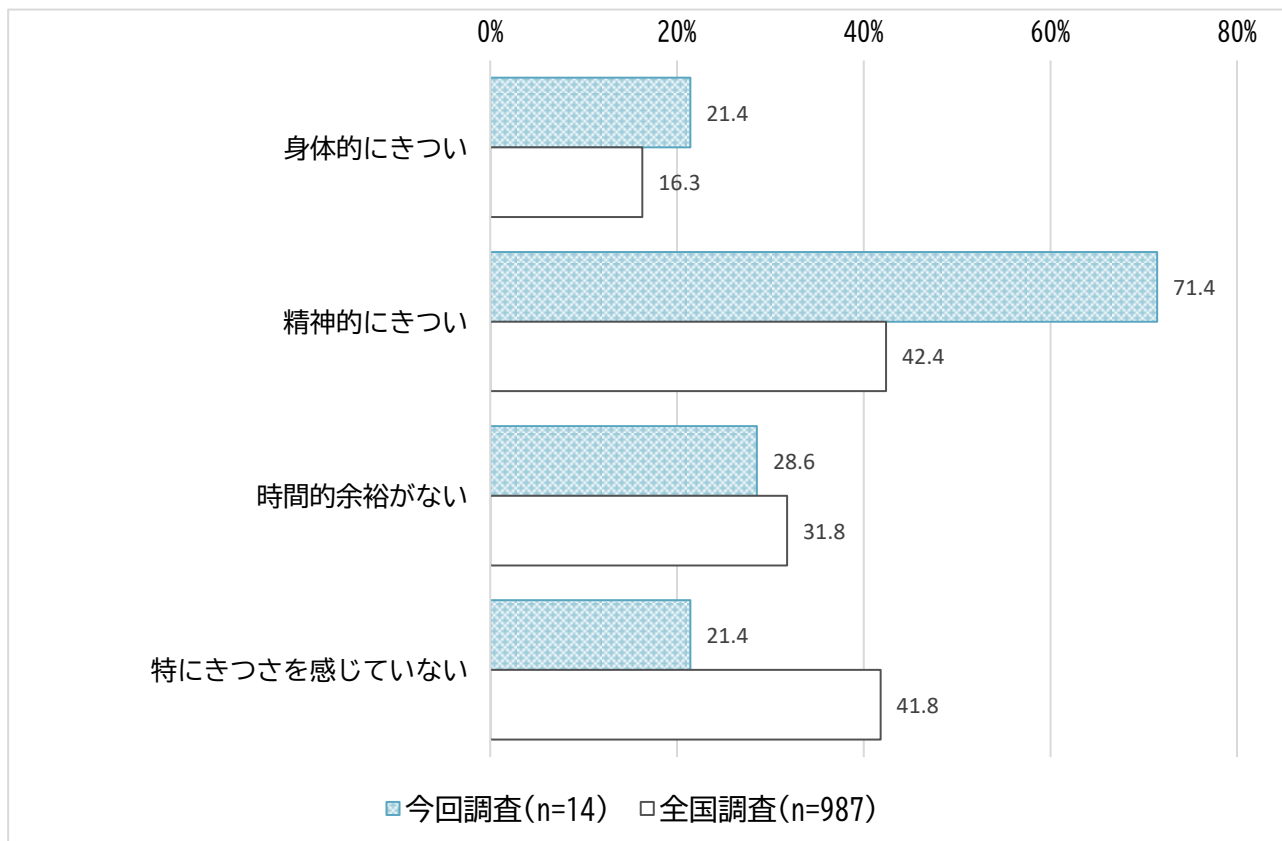
### 1.3 世話をしていることで生ずる就職に関する不安

◇世話をしていることで生ずる就職に関する不安について聞いたところ、「特にない」が42.9%と最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。次いで高い割合が「正社員として就職できるか不安がある」が28.6%、「休まず働けるか不安がある」、「わからない」がともに21.4%となっている。



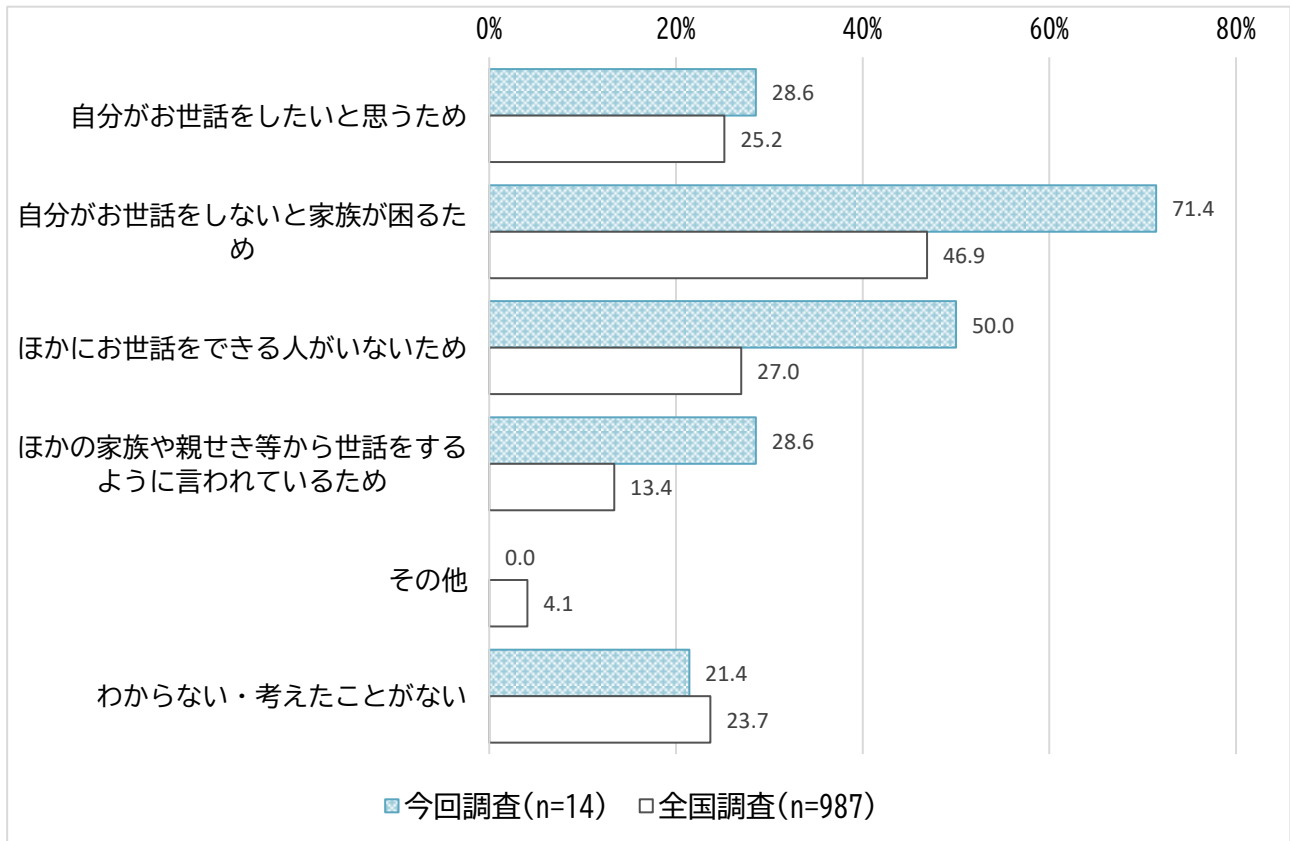
## 1.4 世話をすることで感じるきつさ

◇世話の大変さについては、「精神的にきつい」が71.4%と最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。次いで高い割合が「時間的余裕がない」28.6%、「身体的にきつい」、「特にきつさを感じていない」がともに21.4%となっている。



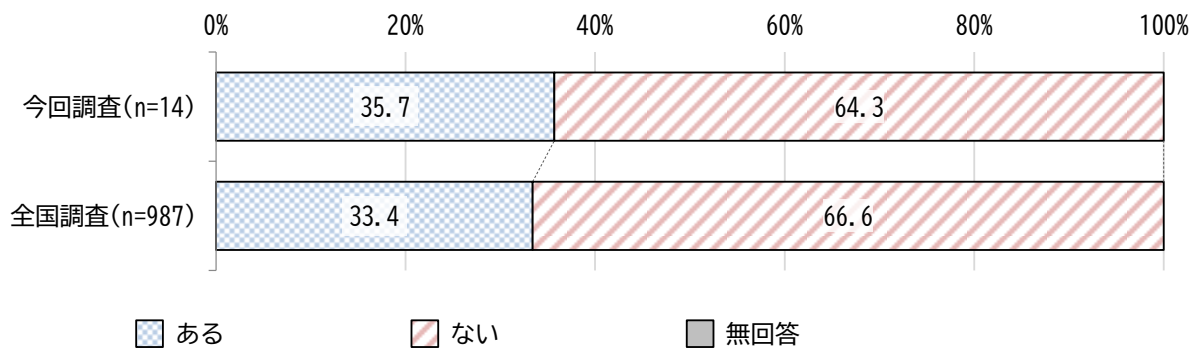
## 15 ご自身が世話をする理由

◇世話をする理由については、「自分がお世話をしないと家族が困るため」が71.4%と最も高くなっており、全国調査と同様の結果となっている。次いで高い割合が「ほかにお世話をできる人がいないため」50.0%、「自分がお世話をしたいと思うため」、「ほかの家族や親せき等から世話をするように言われているため」がともに28.6%となっている。



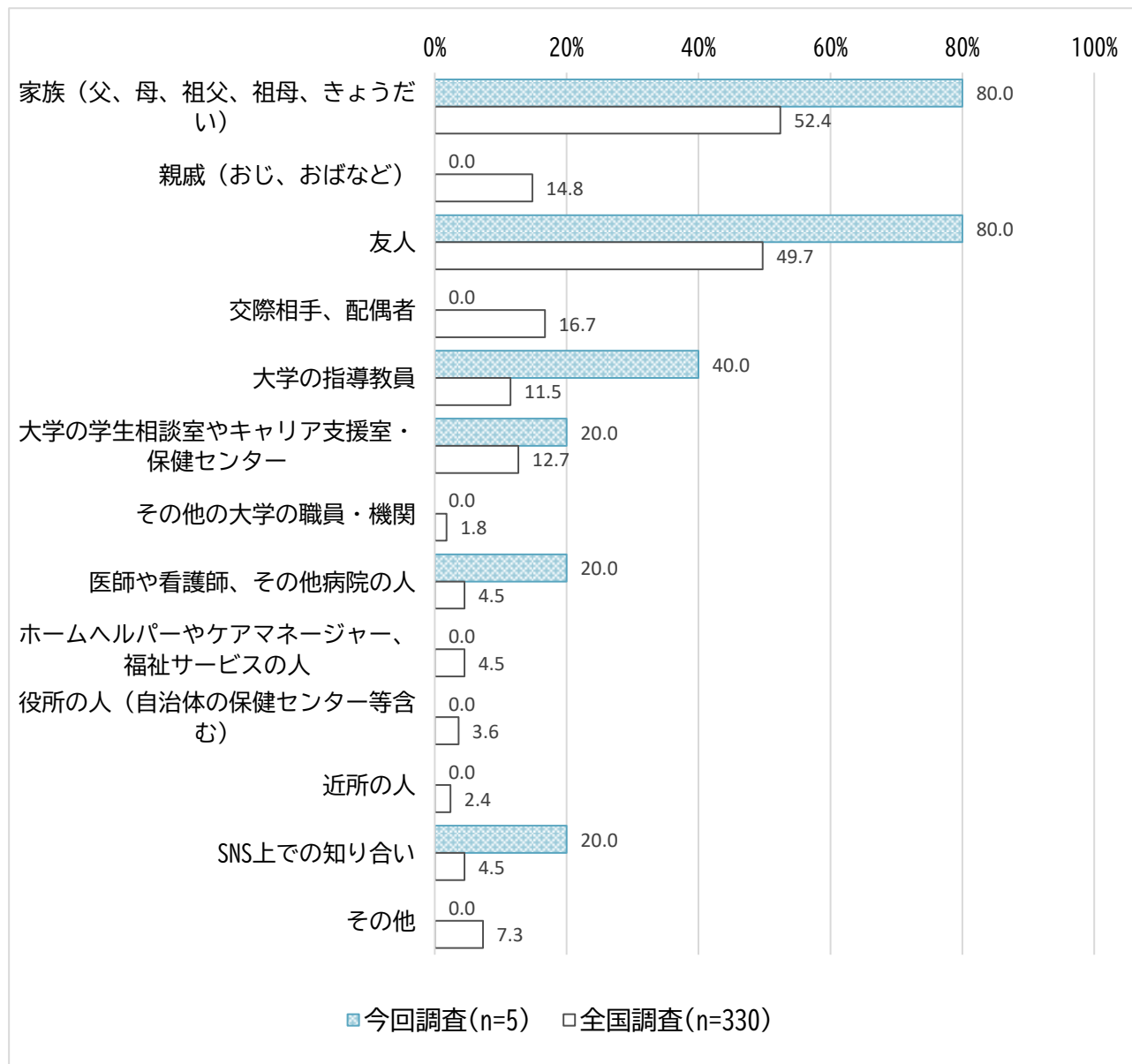
## 16 世話について相談した経験の有無

◇世話について誰かに相談した経験があるかを聞いたところ、「ある」が 35.7%、「ない」が 64.3%となっており、全国調査と同様の結果となっている。



## 17 世話についての相談相手（世話について相談した経験が「ある」と回答した人のみ）

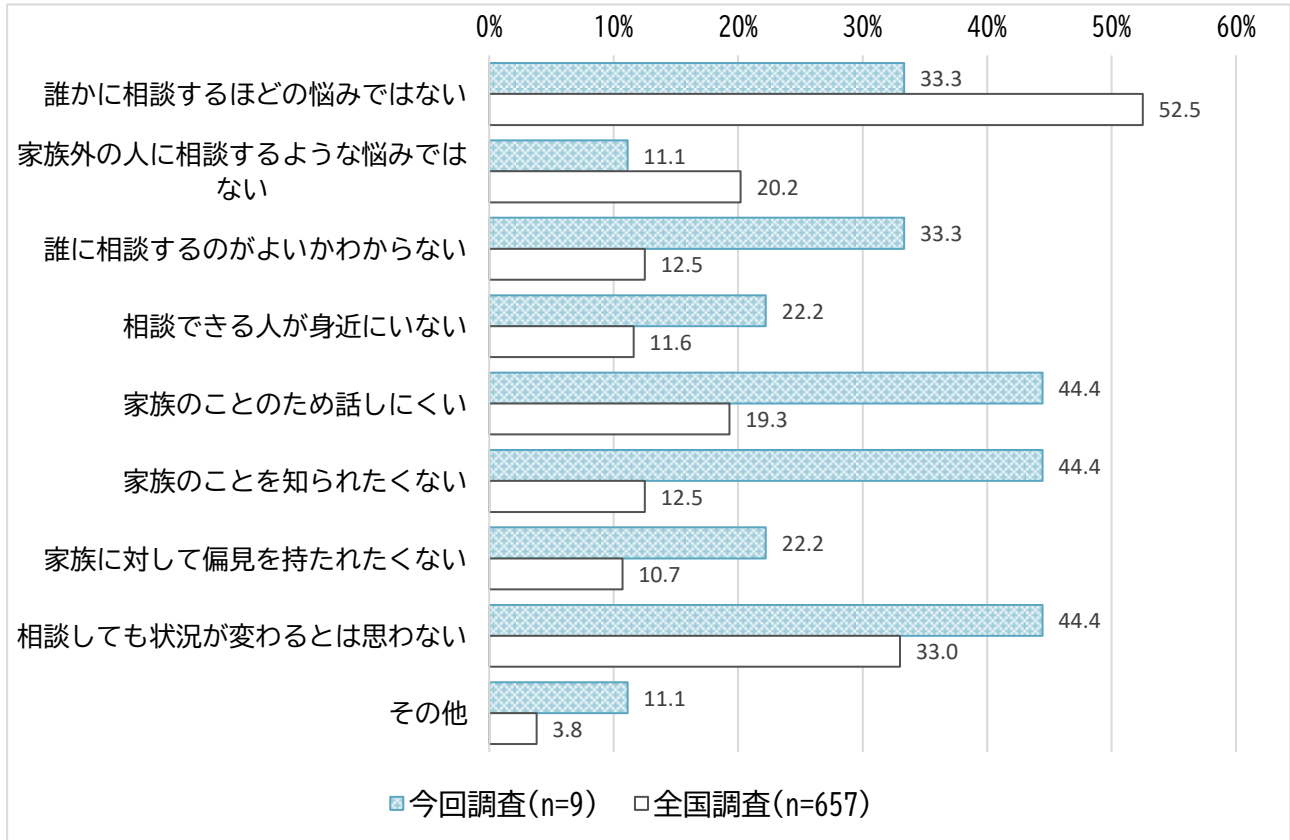
◇「世話について相談した経験」が「ある」と回答した大学生に、相談相手について聞いたところ、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。





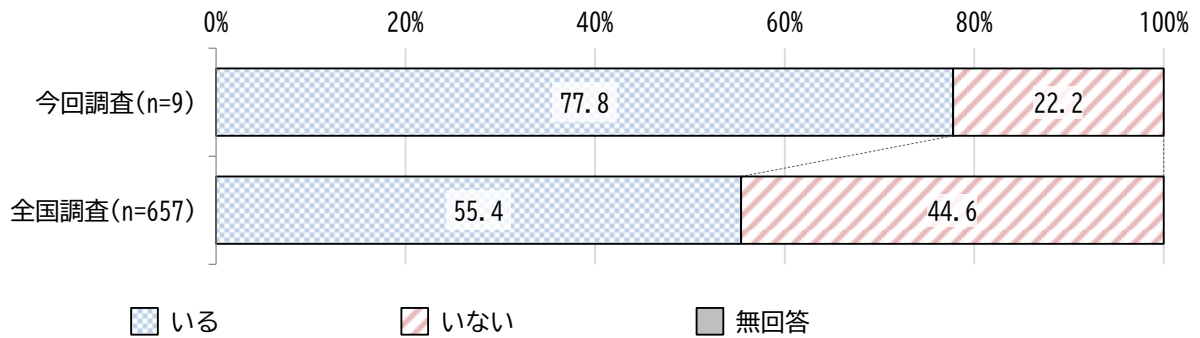
## 18 悩みを相談していない理由(世話について相談した経験が「ない」と回答した人のみ)

◇「世話について相談した経験」が「ない」と回答した大学生に、相談したことがない理由について聞いたところ、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。



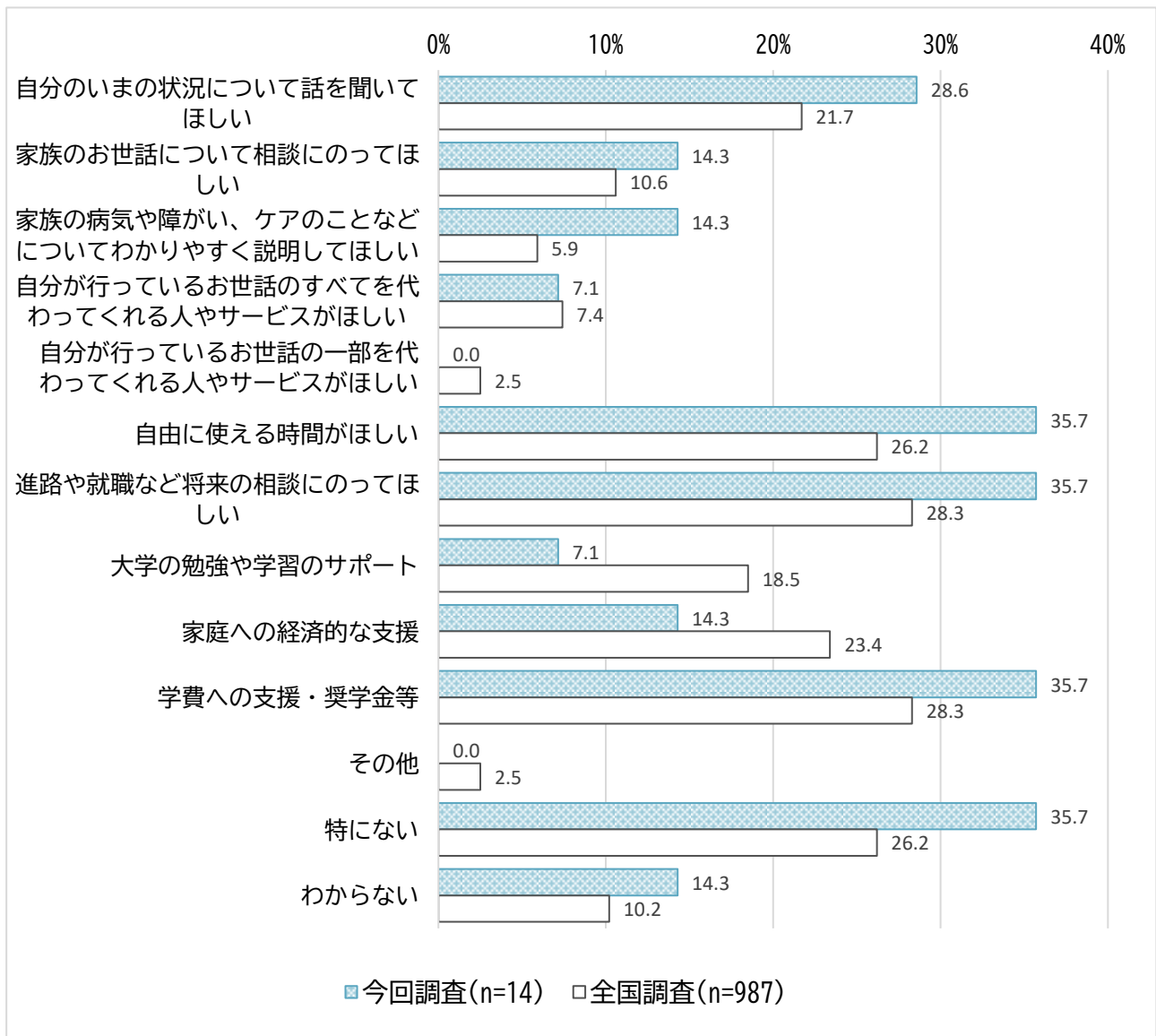
## 19 世話について話を聞いてくれる人の有無（世話について相談した経験が「ない」と回答した人のみ）

◇「世話について相談した経験」が「ない」と回答した大学生に、世話について話を聞いてくれる人がいるか聞いたところ、n数が少ないことに留意が必要ではあるが、「いる」が77.8%、「いない」が22.2%となっている。全国調査と比べ「いる」が22.4ポイント高くなっている。



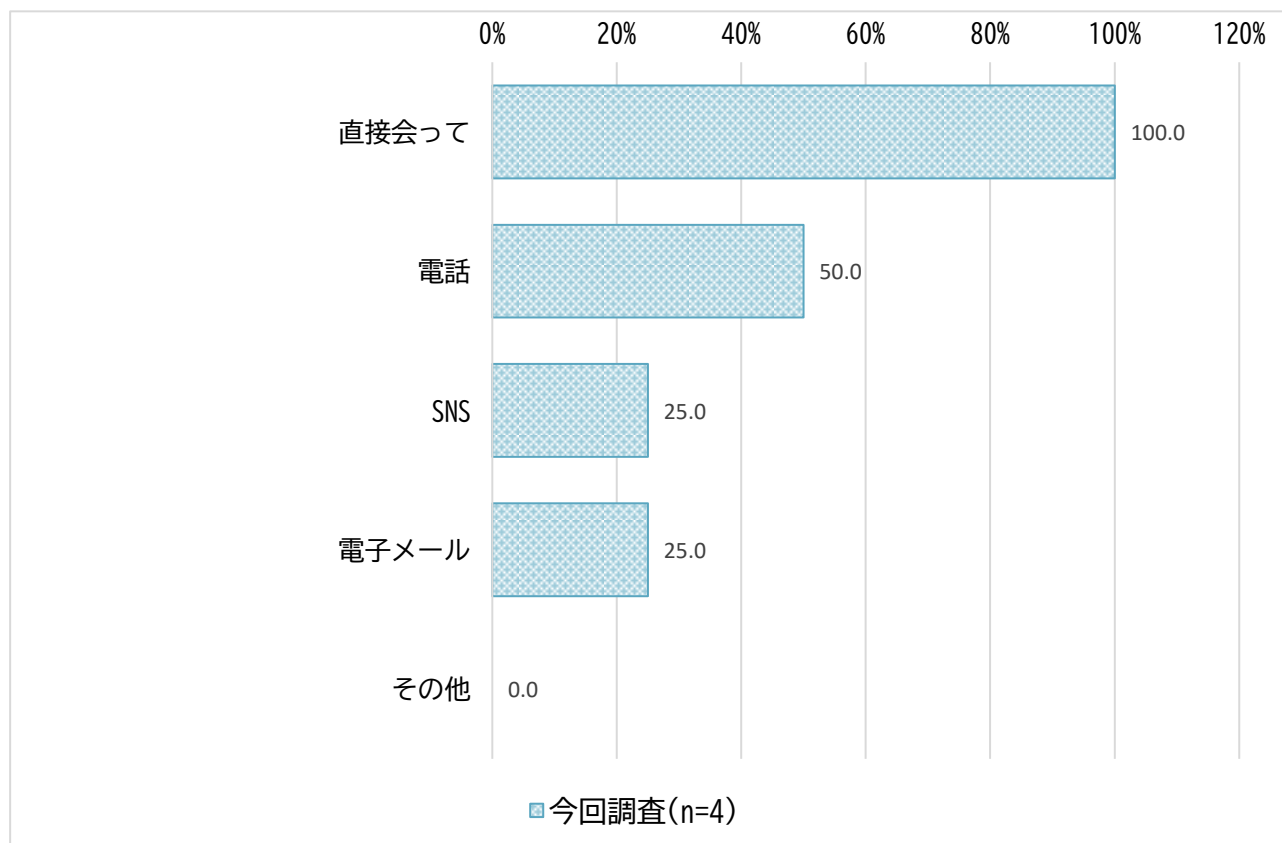
## 20 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援

◇学校や大人に助けてほしいことや必要としている支援については、「自由に使える時間がほしい」、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」、「学費への支援・奨学金等」、「特にない」がともに 35.7%と最も高く、次いで「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」28.6%となっている。全国調査では「進路や就職など将来の相談にのってほしい」、「学費への支援・奨学金等」の割合が 28.3%と最も高くなっている。



## 2.1 希望する相談方法（前問で「自分のこと（いまの状況）について話を聞いてほしい」、 「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した人のみ）【県独自設問】

◇「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した大学生に、希望する相談方法について聞いたところ、n数が少ないことに留意が必要ではあるが、「直接会って」が100.0%と最も高く、次いで「電話」50.0%、「SNS」、「電子メール」がともに25.0%となっている。

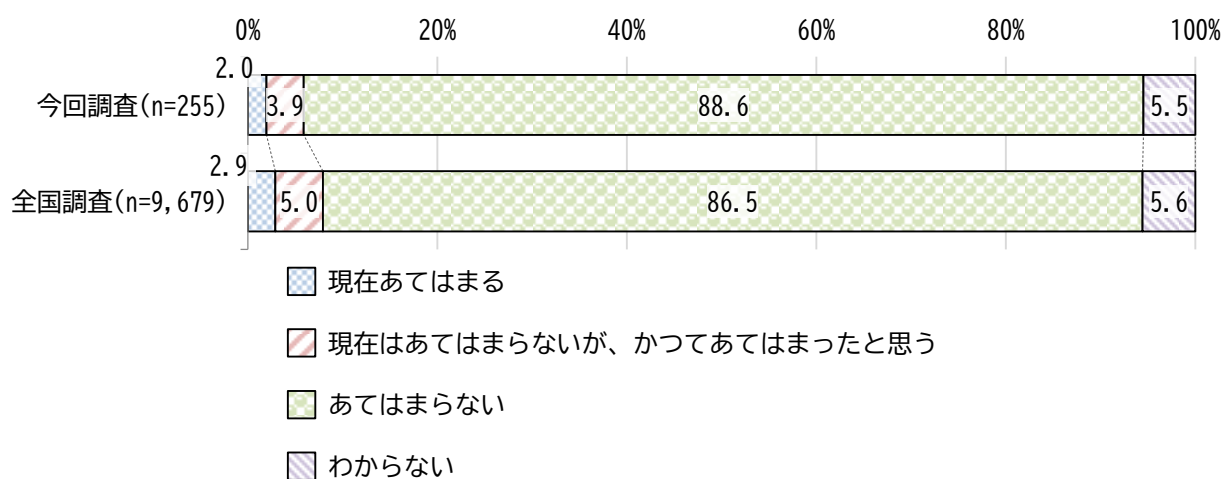


## (4) ヤングケアラーについて

### ここからはすべての大学生の回答

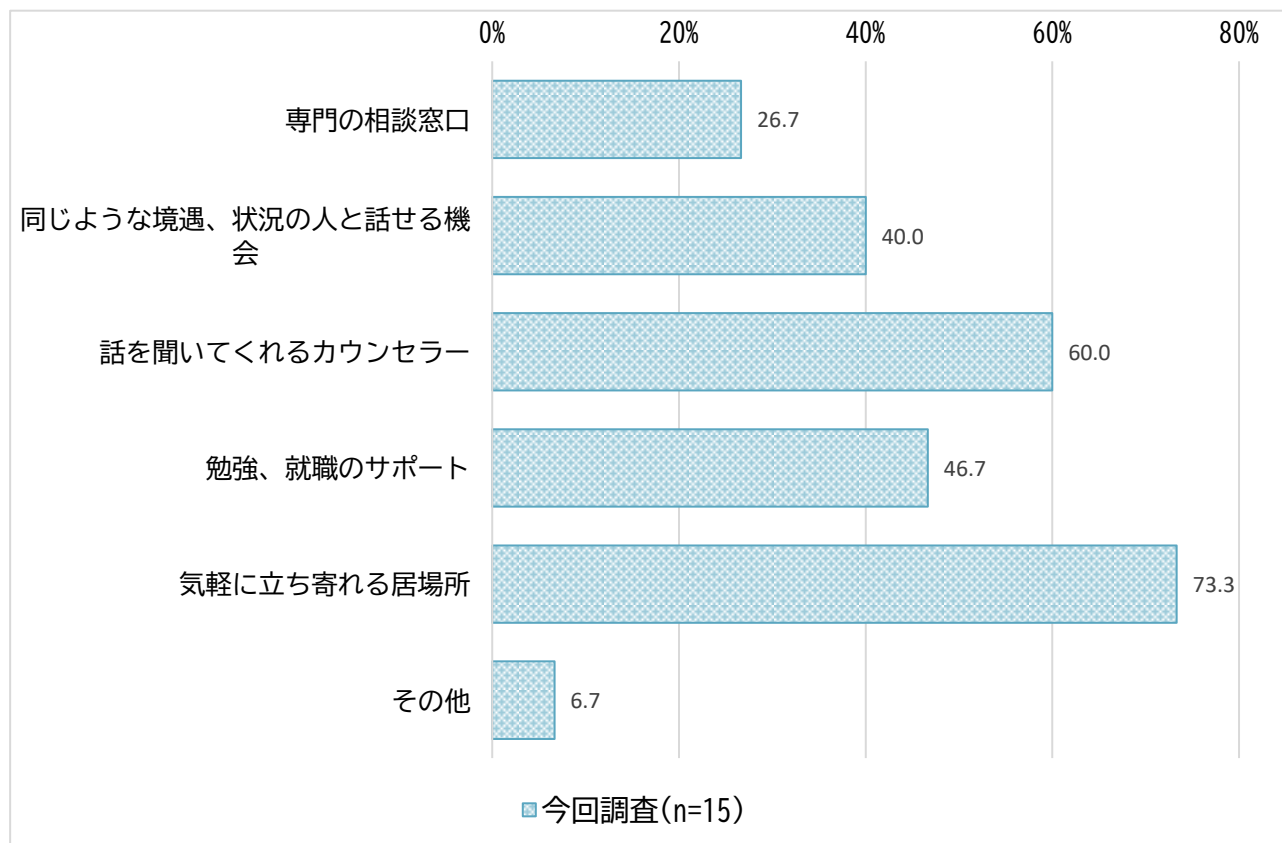
#### 1 ヤングケアラー（または若者ケアラー）の自覚

◇自分がヤングケアラーにあてはまると思うかについて聞いたところ、「あてはまらない」が88.6%と最も高く、次いで、「現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う」3.9%、「現在あてはまる」2.0%となっている。全国調査も同様の結果となっている。



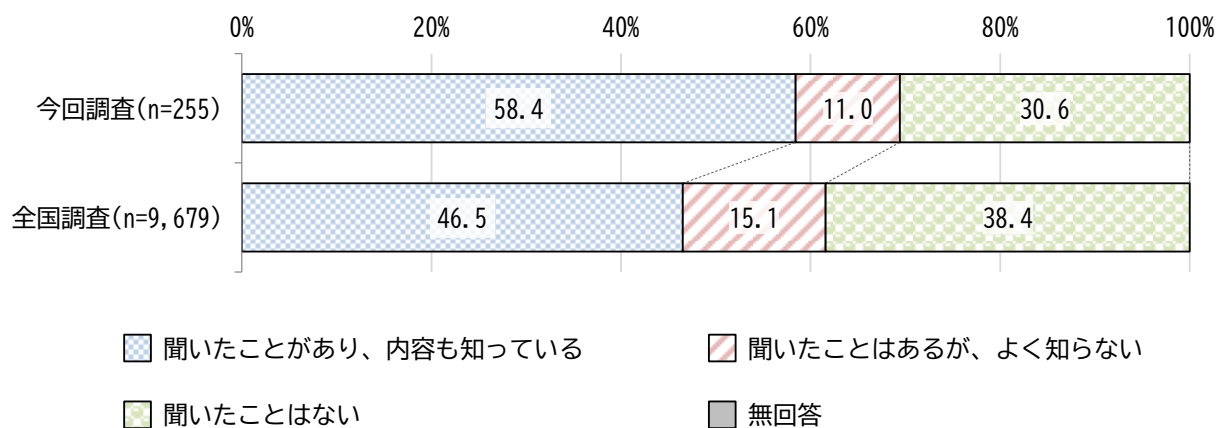
## 2 ヤングケアラーについて、どのようなサービスがあったらいいと思うか【県独自設問】

◇ヤングケアラーに「現在あてはまる」、「現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う」と回答した大学生に、求めるサービスについて聞いたところ、「気軽に立ち寄れる居場所」が73.3%と最も高く、次いで「話を聞いてくれるカウンセラー」60.0%、「勉強、就職のサポート」46.7%となっている。



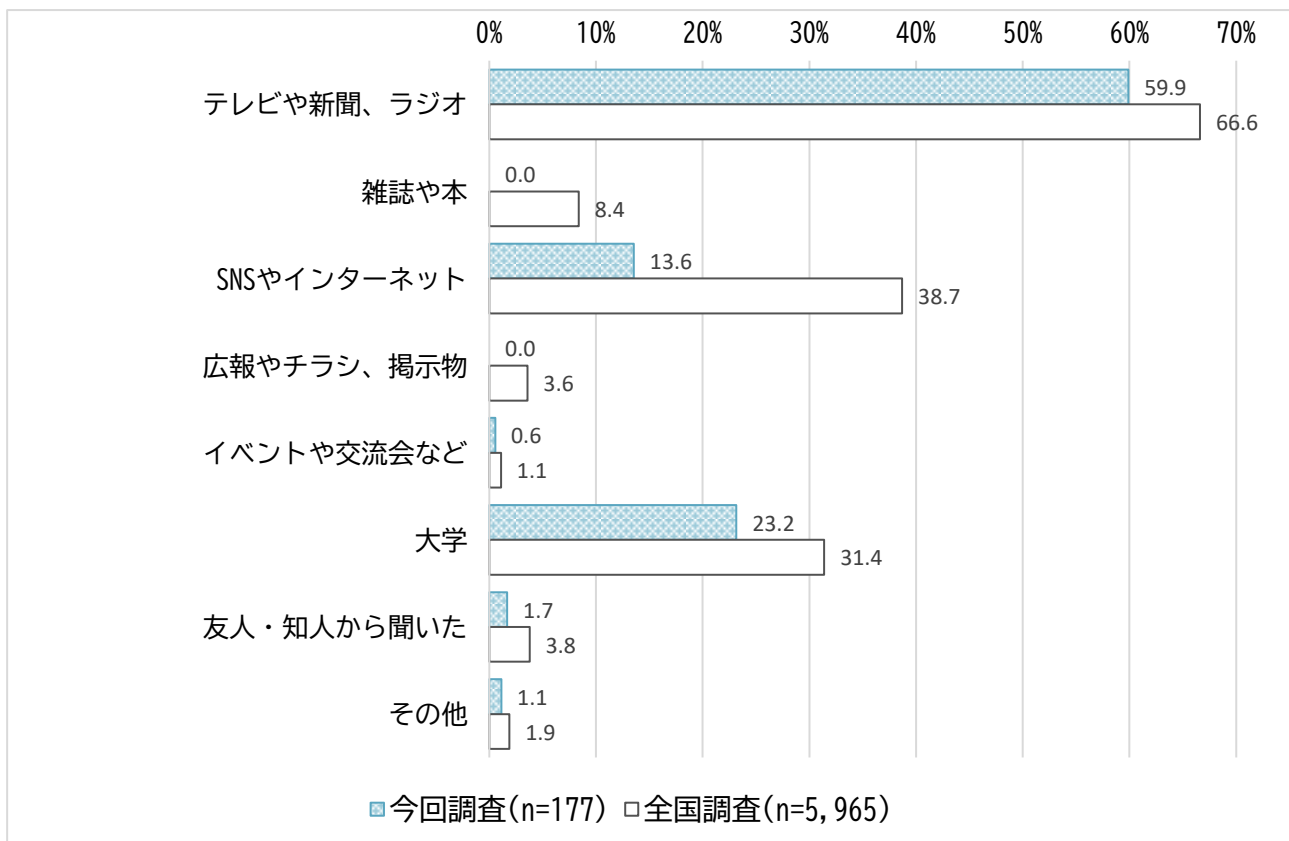
### 3 「ヤングケアラー（または若者ケアラー）」という言葉の認知度

◇「ヤングケアラー（または若者ケアラー）」という言葉の認知度については、「聞いたことがあり、内容も知っている」が58.4%と最も高く、次いで、「聞いたことはない」30.6%、「聞いたことはあるが、よく知らない」11.0%となっている。全国調査も同様の傾向であるが、「聞いたことがあり、内容も知っている」の割合は、今回調査の方が11.9ポイント高くなっている。



4 「ヤングケアラー」という言葉を知ったきっかけ（ヤングケアラーについて「聞いたことがあり、内容も知っている」、「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した人のみ）

◇ヤングケアラーについて「聞いたことがあり、内容も知っている」、「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した大学生に、どこで知ったか聞いたところ、「テレビや新聞、ラジオ」が59.9%と最も高く、次いで「大学」23.2%、「SNS やインターネット」13.6%となっている。全国調査と比べると、「SNS やインターネット」の割合が25.1ポイント低くなっている。





## 自由記述欄（ヤングケアラーへの支援を広げていくために必要だと思うことや、要望等なんでも）

- ◇学校等で聞き取り調査やヤングケアラーについての周知を行うこと。
- ◇鬱と認知症を併発している祖母を見て将来への悲観が強まっています。
- ◇支援制度の周知。
- ◇小・中学校や高校で、ヤングケアラーに関する講演会や勉強会を行うことが必要だと思います。
- ◇家族や親戚だからこそ、ケアするのは当たり前という考えが、自分にとってどうか考える機会があるといいのでは。
- ◇ヤングケアラーで苦しむ子がいる事を周囲の人が知る事や学校現場の先生方にできる支援を学ぶ機会を設ける。
- ◇金銭面の支援は必要だと思う。
- ◇周りにいた時助けられるよう、話題にして友人と話してみる事。
- ◇ヤングケアラーの保護者(特に母親)への支援や、子どもが自由になれる場所の提供が必要だと思う。
- ◇介護系の人や週に数回きて世話を覚えてもらう。ヤングケアラーの人に向けての相談所や支援金を確保する。
- ◇老人ホームなどの増設。
- ◇本人が相談できる窓口に行くことは時間的にも交通手段の面でも難しい為 LINE などで相談できる窓口を設立。
- ◇近所での声掛けや地域の担当者の方の見回りを行い状態の把握。
- ◇相談しやすい学校の雰囲気づくりや規則に縛られすぎない学校側の柔軟な対応が必要。
- ◇ヤングケアラーだと認識していない子供とかもいると思うのでヤングケアラーを大々的に取り上げる必要あり。
- ◇オンライン等で話せる場所を設けて欲しい。それを周知して欲しい。50文字では、無理があります。
- ◇国や自治体などの行政がケアについてももう少し深く関わるようにして欲しい。
- ◇ヤングケアラーは自覚がないと思うので、このようなアンケートを定期的に行うと良いと思います。
- ◇奨学金の減免。
- ◇電車内の広告はよく見るので、認知度は上がると思います。
- ◇自分自身はじめてその言葉を聞いたので、ヤングケアラーという言葉の普及がまず必要だと考える。
- ◇講演会以外にも、チラシやネットの広告などで多くの人の目に止まるような広報活動が求められると思います。
- ◇家庭へのある程度の介入ができる制度（役所か学校などによる）。
- ◇「学校に行かせないといけないけど、面倒を見てくれると助かる」という保護者を減らさなければならぬ。

- ◇学校に行きたくても行けない人のための学費援助、相談機関の設置、相談機関の周知が必要だと思う。
- ◇ポスター等で目にする機会を増やす。
- ◇ヤングケアラーの対象である若年層に広める為に SNS 等を用いて発信することが重要だと思う。
- ◇義務教育の間でヤングケアラーについての学習や理解をすることが必要だと思う。
- ◇言葉だけは知っていても、どれくらいの割合がいて、どんな問題があるのかまでを知っている人は少ないと思う。
- ◇交流会を開き、お互いの悩みを共有する場を作ること。話を聞いてくれる人がいるだけで心強いと思う。
- ◇相談しやすい環境を整える、認知度の向上、支援体制の構築。
- ◇周りの理解、機関からの支援。
- ◇ヤングケアラーへの支援があること自体あまり知られていないので大学にポスターを貼ればいいと思う。
- ◇経済的支援と、物理的な支援を丁度いいバランスで行って欲しい。(例) 学童の経費補助など。
- ◇ヤングケアラーの存在をもっと世の中に広めること。
- ◇言葉は知っていても自分には当てはまらないと思っていたが先生から言われて当事者であることに気づいたから。
- ◇どのようなものがヤングケアラーに当てはまるのかが目につきやすい記事やポスターなど。
- ◇まずはヤングケアラーについて少しでも多くの人に知ってもらうことが大事だと考えます。
- ◇児童生徒はもちろん、家庭で学べるような場を幼児期から提供する。
- ◇学校や病院に相談所の案内を掲示する。
- ◇親の教育。
- ◇ヤングケアラー関連制度の存在を高校などで周知させる。
- ◇学校での早期発見が大事だと思う。
- ◇ヤングケアラーについてのチラシを配る。
- ◇小・中・高・大それぞれの教育機関への普及活動。
- ◇保育・介護環境の整備。
- ◇大学に通えるよう大学や県、市が支援することや大学でこの言葉を知ってもらうために講演を開く。
- ◇祖父母と暮らしている人や、親と2人暮らししている人がなることが多いと思っている。
- ◇国や都道府県が助ける、ヤングケアラーの人が気軽に相談できる環境づくり。

## 第6章 大学生アンケート調査の結果 (クロス集計) ※参考値

※ 第6章については、n数が少ないため、以下、参考値とする。

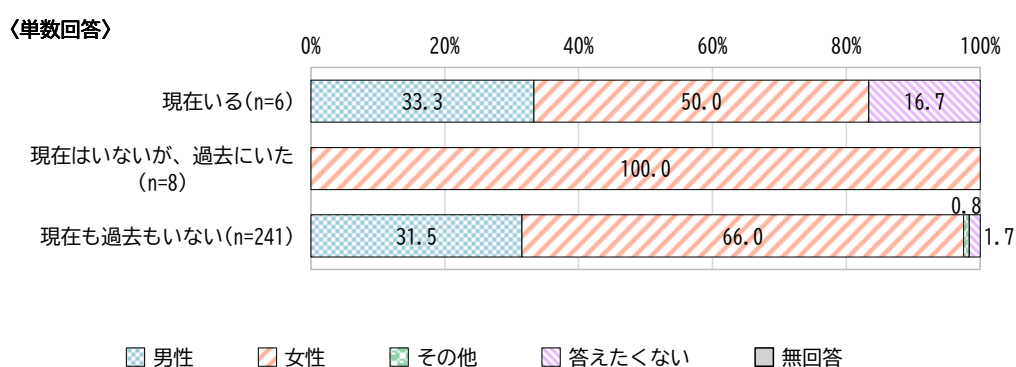
## 6-1 家族の世話の有無別分析

### (1) 家族の世話の有無による学校生活等の状況

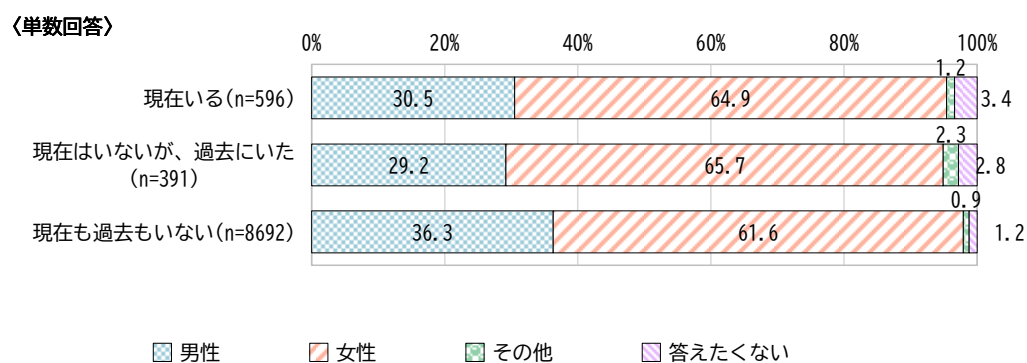
#### ① 家族の世話の有無 × 性別

◇性別については、世話をしている家族が「現在いる（過去にいた）」のn数が少ないことに留意が必要だが、いずれも「女性」の割合が高くなっている。全国調査と同様の傾向となっている。

#### 今回調査



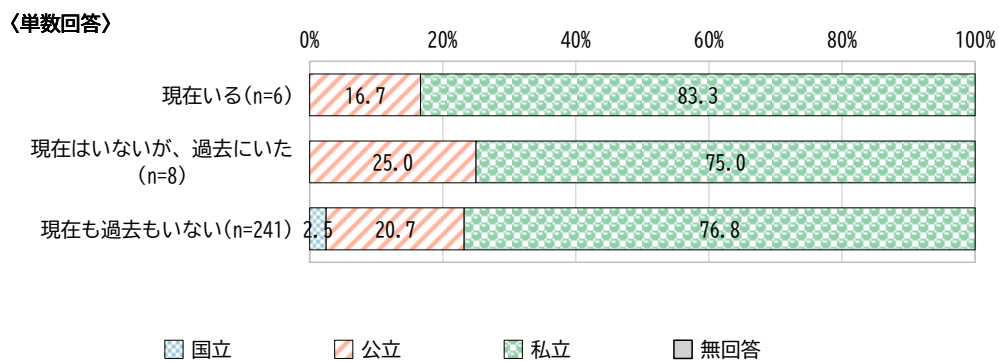
#### 全国調査



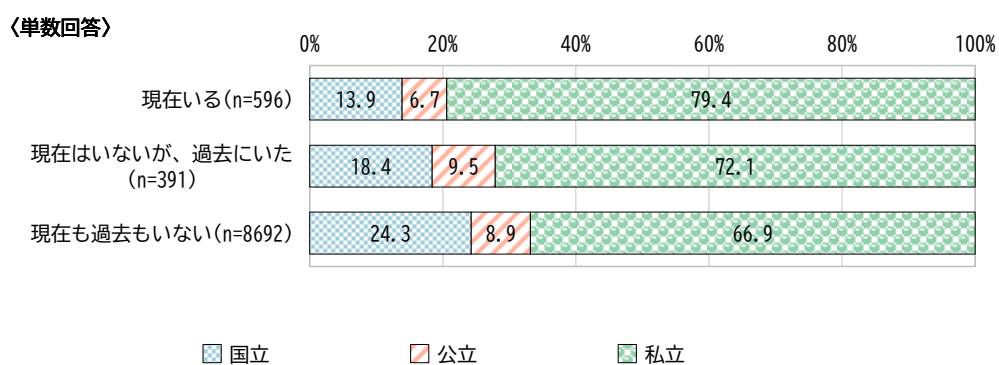
## ②家族の世話の有無×大学種別

◇大学種別については、世話をしている家族が「現在いる（過去にいた）」の n 数が少ないことに留意が必要だが、いずれも「私立」の割合が高くなっている。全国調査と比べると、「国立」が低く、「公立」が高くなっている。

### 今回調査



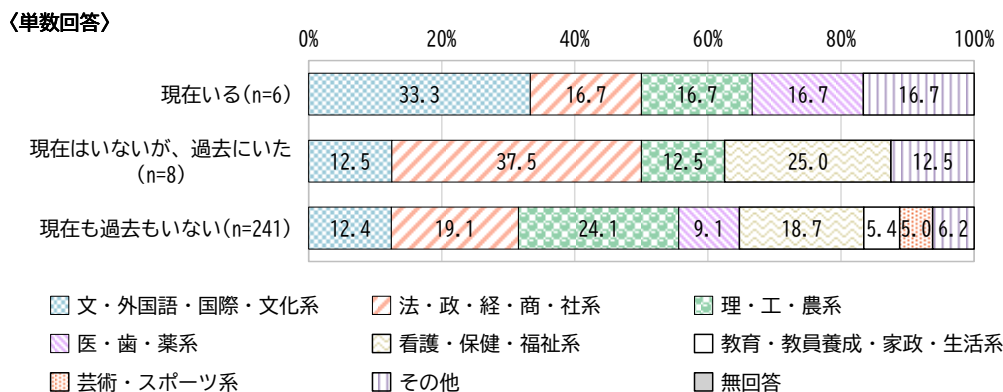
### 全国調査



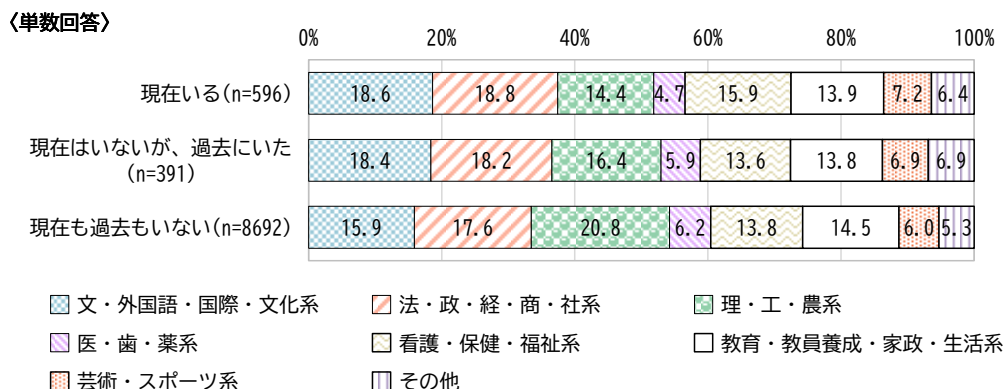
### ③家族の世話の有無×学科

◇学科については、世話をしている家族が「現在いる（過去にいた）」の n 数が少ないことに留意が必要だが、世話をしている家族が「現在いる」場合、「現在はいないが、過去にいた」、「いない」場合に比べて「文・外国語・国際・文化系」、「医・歯・薬系」の割合が高く、「理・工・農系」、「看護・保健・福祉系」の割合が低くなっている。全国調査と比べると、「現在いる」では、「文・外国語・国際・文化系」が高く、「現在いないが、過去にいた」では「法・政・経・商・社系」が高くなっている。

#### 今回調査



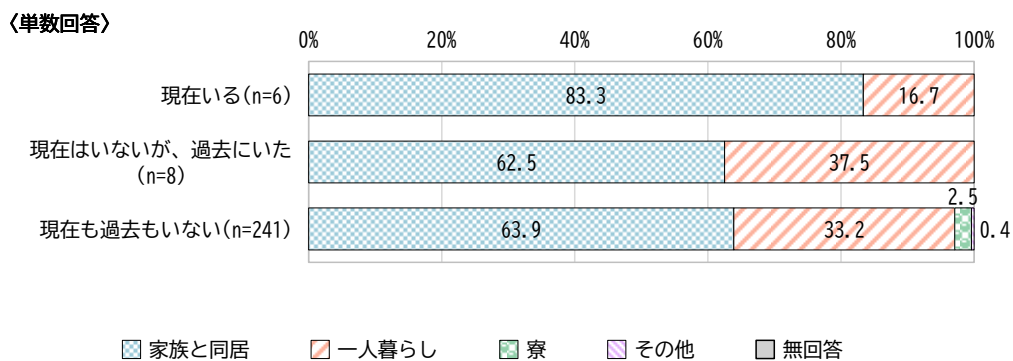
#### 全国調査



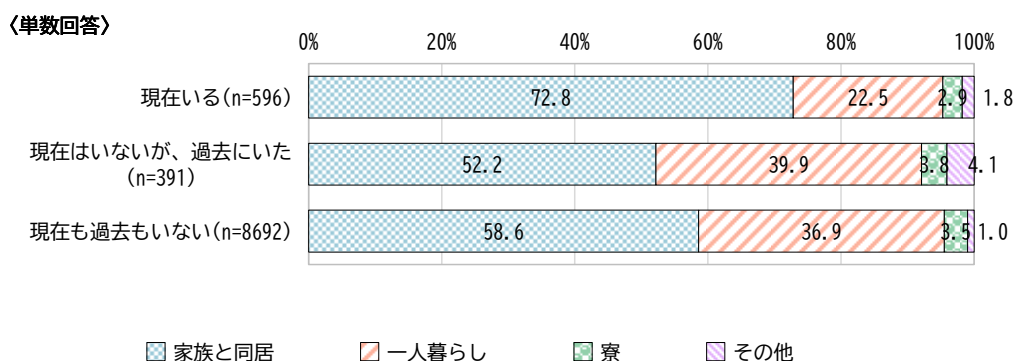
#### ④家族の世話の有無×居住形態

◇居住形態については、世話をしている家族が「現在いる（過去にいた）」の n 数が少ないことに留意が必要だが、世話をしている家族が「現在いる」場合、「現在はいないが、過去にいた」、「いない」場合に比べて「家族と同居」の割合が高く、「一人暮らし」の割合が低くなっている。全国調査と同様の傾向となっている。

#### 今回調査



#### 全国調査



## ⑤家族の世話の有無×家族構成

◇家族構成については、世話をしている家族が「現在いる（過去にいた）」の n 数が少ないことに留意が必要だが、「世話をしている家族」が「いる」場合、「現在はいないが、過去にいた」、「いない」場合に比べて「祖父」、「弟・妹」がいる割合が高くなっている。全国調査と比べると「現在はいないが、過去にいた」では「母親」、「父親」の割合が低くなっている。

(%)

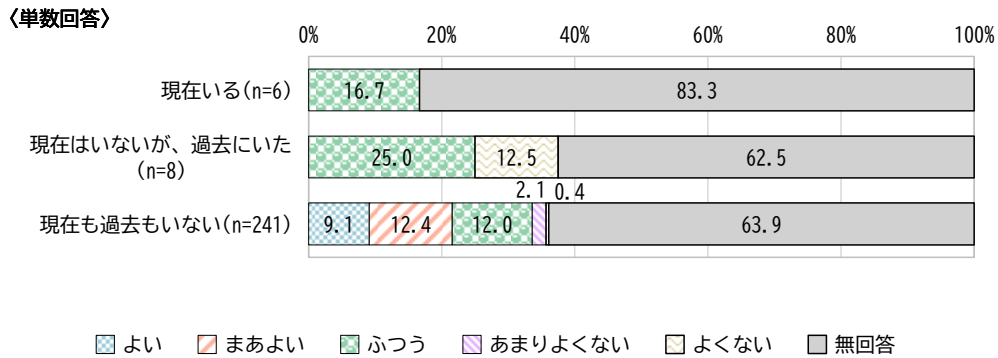
		調査数 (n)	母親	父親	祖母	祖父	兄・姉	弟・妹	その他
熊本県	現在いる	5	100.0	60.0	20.0	20.0	20.0	60.0	0.0
	現在はいないが、過去にいた	5	60.0	40.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0
	現在も過去もない	154	95.5	74.7	20.1	11.0	29.2	46.1	1.9
全国	現在いる	434	89.9	71.7	28.3	13.8	24.9	44.9	4.6
	現在はいないが、過去にいた	204	87.7	76.0	15.2	7.4	24.5	37.3	5.9
	現在も過去もない	5,096	95.3	81.9	15.2	8.9	24.9	44.9	2.7



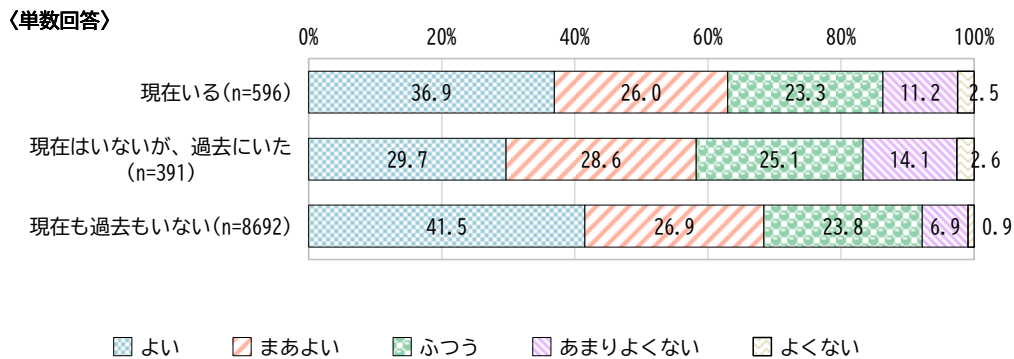
## ⑥家族の世話の有無×身体面の健康状態

◇身体面の健康状態については、世話をしている家族が「現在いる（過去にいた）」の n 数が少ないことに留意が必要だが、世話をしている家族が「現在いる」、「現在はいないが、過去にいた」場合、「いない」場合に比べて「よい」、「まあよい」の割合が低くなっている。全国調査と比べると「よい」、「まあよい」の割合が低くなっている。

### 今回調査



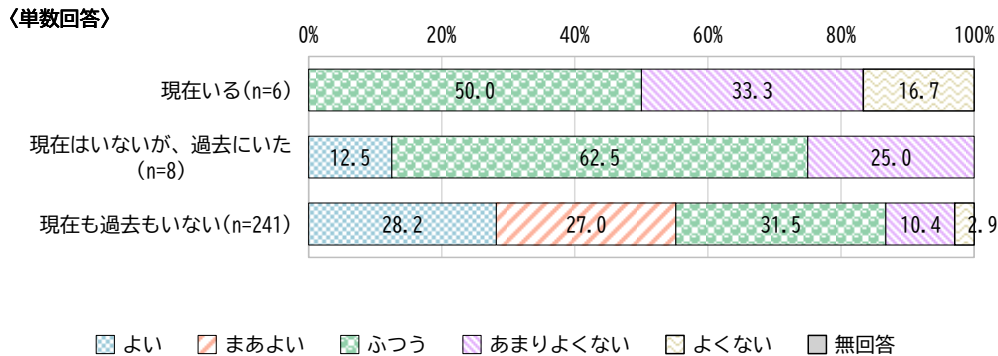
### 全国調査



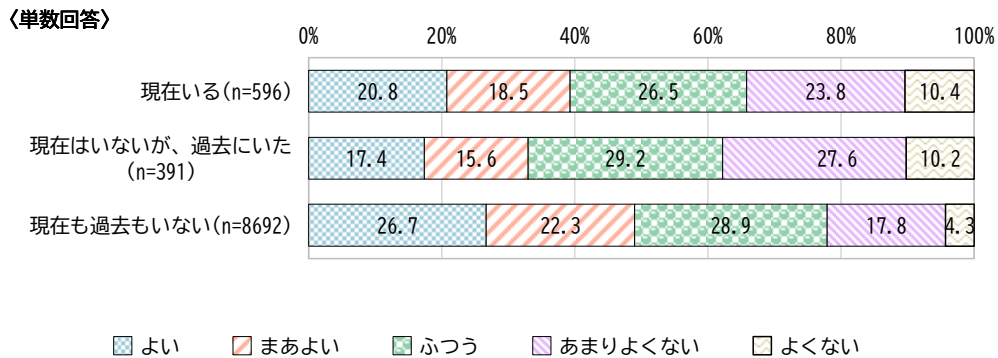
## ⑦家族の世話の有無×精神面の健康状態

◇精神面の健康状態については、世話をしている家族が「現在いる（過去にいた）」の n 数が少ないことに留意が必要だが、世話をしている家族が「現在いる」、「現在はいないが、過去にいた」場合、「いない」場合に比べて「あまりよくない」の割合が高く、「よい」、「まあよい」の割合が低くなっている。全国調査と比べると「現在いる」、「現在はいないが、過去にいた」では「よい」、「まあよい」の割合が低くなっている。

### 今回調査



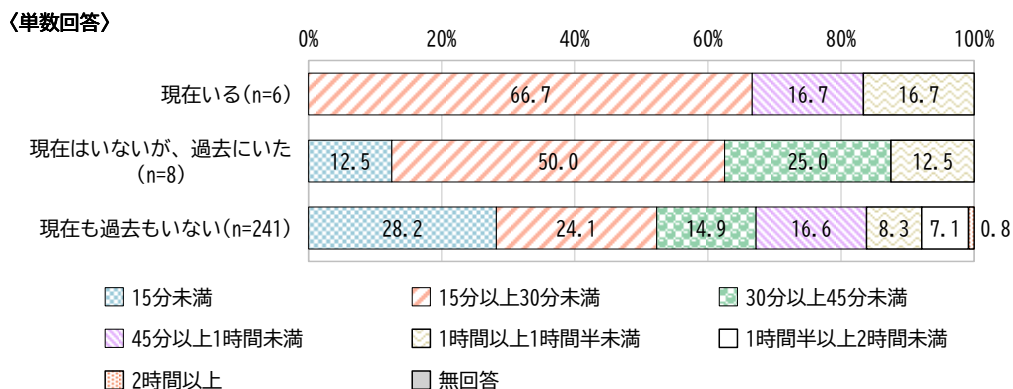
### 全国調査



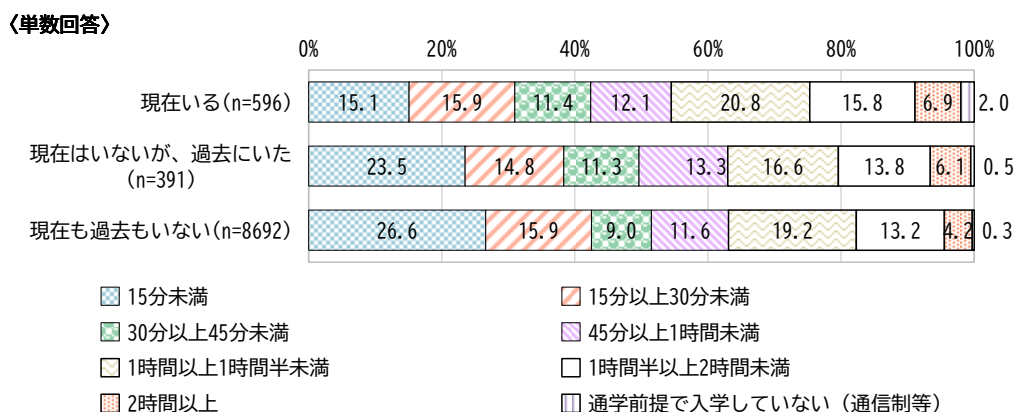
## ⑧家族の世話の有無×大学までの片道の通学時間

◇大学までの片道の通学時間については、世話をしている家族が「現在いる（過去にいた）」のn数が少ないことに留意が必要だが、世話をしている家族が「現在いる」、「現在はいるが、過去にいた」場合、「いない」場合に比べて「15分以上30分未満」の割合が高くなっている。全国調査と比べると「現在いる」、「現在はいるが、過去にいた」では「15分以上30分未満」の割合が高くなっている。

### 今回調査



### 全国調査

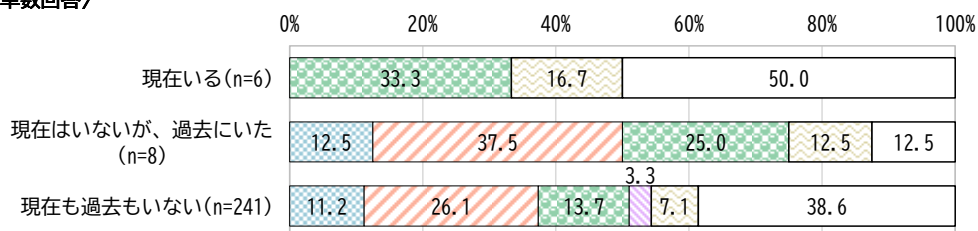


## ⑨家族の世話の有無 × 奨学金の受給状況

◇奨学金の受給状況については、世話をしている家族が「現在いる（過去にいた）」の n 数が少ないことに留意が必要だが、世話をしている家族が「現在いる」場合、「現在はいないが、過去にいた」、「いない」場合に比べて「給与奨学金を受けている（返済不要）」、「そもそも奨学金は必要なく、申請していない」の割合が高くなっている。「現在はいないが、過去にいた」、「いない」場合では、「いる」場合に比べて「貸与・給付の両方を受けている」、「貸与奨学金を受けている（返済が必要）」の割合が高くなっている。全国調査と比べると「現在いる」では「貸与・給付の両方を受けている」、「貸与奨学金を受けている（返済が必要）」の割合が低くなっている。

### 今回調査

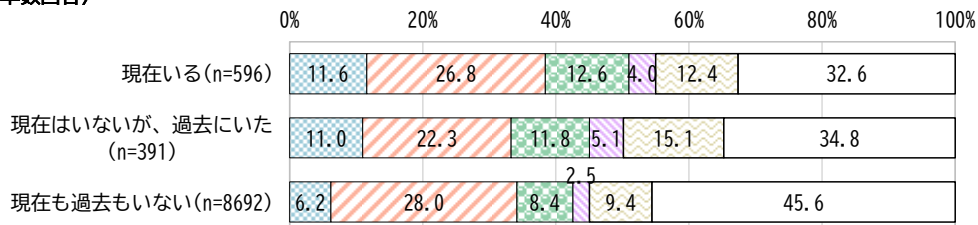
〈単数回答〉



- 貸与・給付の両方を受けている
- 貸与奨学金を受けている (返済が必要)
- 給与奨学金を受けている (返済不要)
- 申請したが不採用になった
- 希望はあったが申請しなかった・できなかった
- そもそも奨学金は必要なく、申請していない
- 無回答

### 全国調査

〈単数回答〉



- 貸与・給付の両方を受けている
- 貸与奨学金を受けている (返済が必要)
- 給与奨学金を受けている (返済不要)
- 申請したが不採用になった
- 希望はあったが申請しなかった・できなかった
- そもそも奨学金は必要なく、申請していない

## ⑩家族の世話の有無×現在通う大学を選択した理由

◇大学を選択した理由については、世話をしている家族が「現在いる（過去にいた）」の n 数が少ないことに留意が必要だが、「世話をしている家族」が「現在いる」場合、「現在はいないが、過去にいた」、「いない」場合に比べて「実家から近い・通える範囲内にある」、「学費が安い」の割合が高くなっている。全国調査と比べると「現在いる」では「自分のやりたいことができる・学べる」の割合が低く、「実家から近い・通える範囲内にある」の割合が高くなっている。

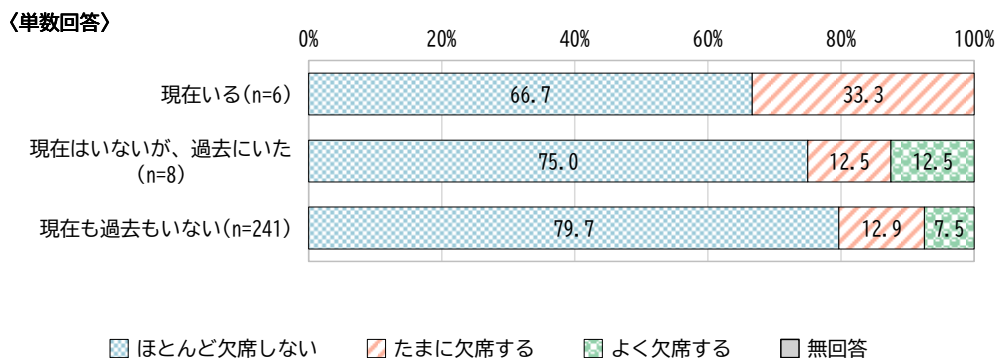
(%)

		調査数 (n II)	自分のやりたい ことができる・学 べること	社会で役立つ ことができる	実家から近い・ 通える範囲内 にある	学費が安い	時間的に講義 等に出やすい	その他
熊本県	現在いる	6	50.0	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0
	現在はいない が、過去にいた	8	75.0	25.0	12.5	12.5	0.0	12.5
	現在も過去も いない	241	72.6	28.2	32.8	24.5	2.5	9.1
全国	現在いる	596	72.8	28.7	27.3	13.6	2.0	10.4
	現在はいない が、過去にいた	391	71.4	28.4	22.5	13.6	2.3	16.6
	現在も過去も いない	8,692	76.5	25.7	26.1	15.7	1.7	9.4

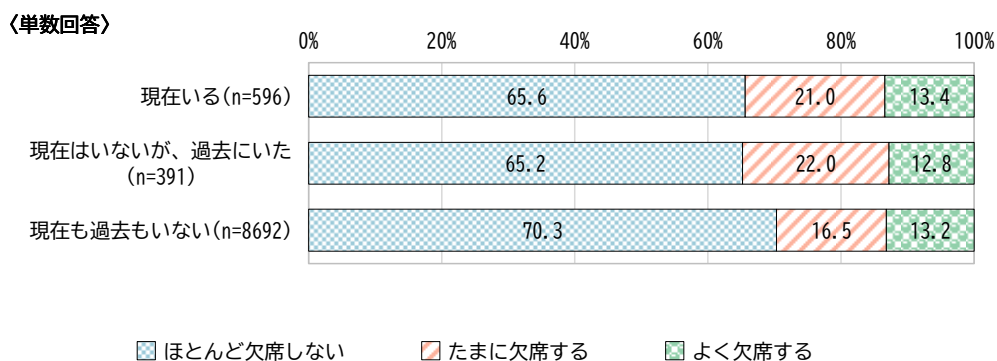
## ⑪家族の世話の有無×大学の授業（履修している講義）への出席状況

◇大学の授業（履修している講義）への出席状況については、世話をしている家族が「現在いる（過去にいた）」の n 数が少ないことに留意が必要だが、世話をしている家族が「現在いる」場合、「現在はいないが、過去にいた」、「いない」場合に比べて「ほとんど欠席しない」の割合が低く、「たまに欠席する」の割合が高くなっている。全国調査と比べると「現在いる」では「たまに欠席する」の割合が高くなっている。

### 今回調査



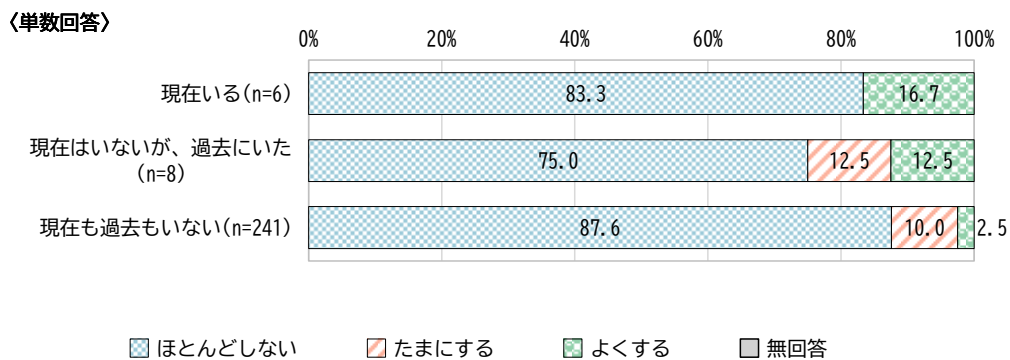
### 全国調査



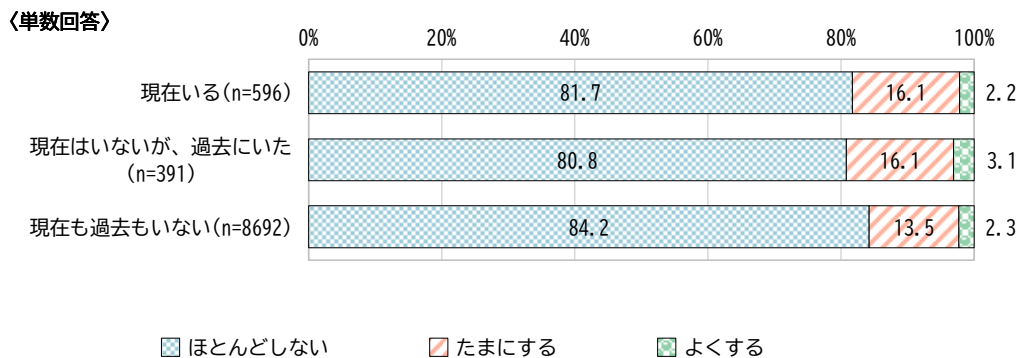
## ⑫家族の世話の有無×大学の授業（履修している講義）への遅刻や早退の状況

◇大学の授業（履修している講義）への遅刻や早退の状況については、世話をしている家族が「現在いる（過去にいた）」の n 数が少ないことに留意が必要だが、世話をしている家族が「現在いる」場合、「現在はいないが、過去にいた」、「いない」場合に比べて「よくする」の割合が高くなっている。全国調査と比べると「現在いる」では「たまにする」の割合が低く、「よくする」の割合が高くなっている。

### 今回調査



### 全国調査

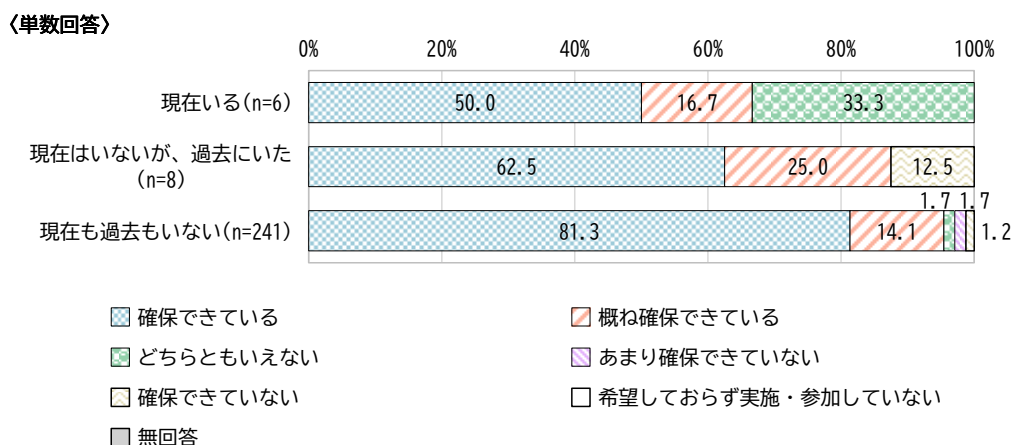


### ⑬家族の世話の有無×各取組に関する日々の時間確保状況

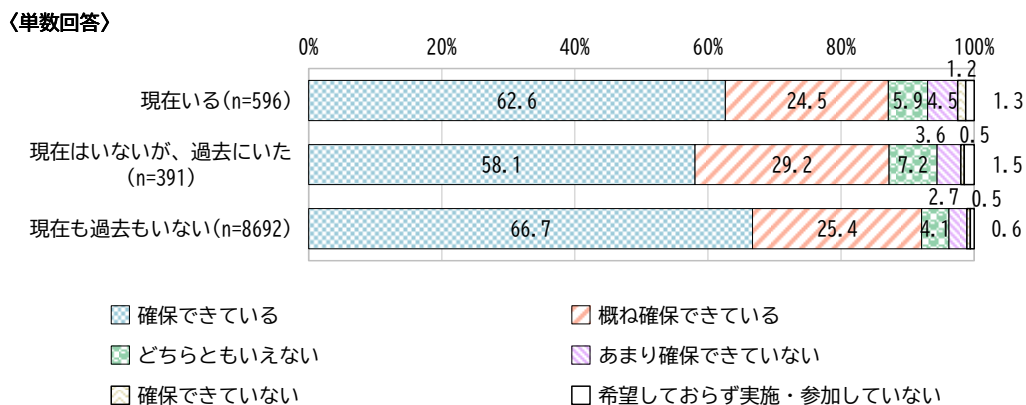
◇大学の授業の受講については、世話をしている家族が「現在いる（過去にいた）」の n 数が少ないことに留意が必要だが、世話をしている家族が「現在いる」場合、「現在はいないが、過去にいた」、「いない」場合に比べて「確保できている」の割合が低く、「どちらともいえない」の割合が高くなっている。全国調査と比べると「現在いる」では「どちらともいえない」の割合が高くなっている。

#### ■大学の授業の受講（ゼミ含む）

##### 今回調査



##### 全国調査



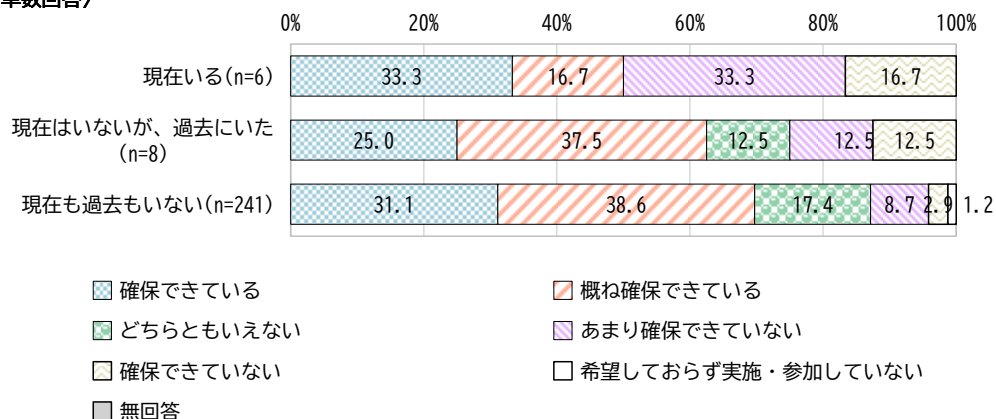


## ■大学の授業の予習復習、課題に取り組む時間

◇大学の授業の予習復習、課題に取り組む時間については、世話をしている家族が「現在いる（過去にいた）」の n 数が少ないことに留意が必要だが、世話をしている家族が「現在いる」場合、「現在はいないが、過去にいた」、「いない」場合に比べて「あまり確保できていない」、「確保できていない」の割合が高くなっている。全国調査と比べると「現在いる」では「あまり確保できていない」の割合が高くなっている。

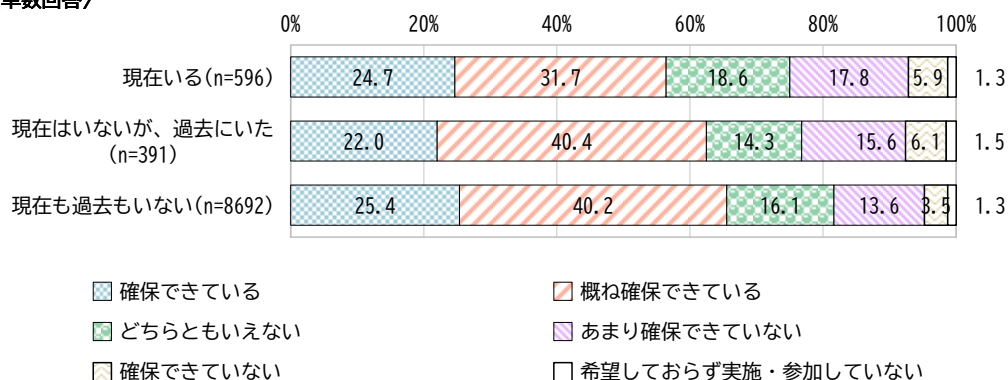
### 今回調査

〈単数回答〉



### 全国調査

〈単数回答〉

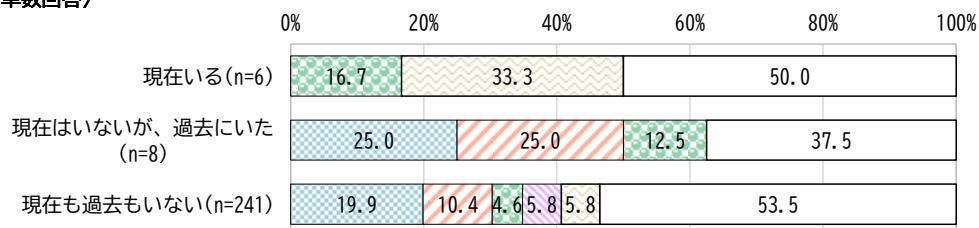


## ■部活・サークル

◇部活・サークルに取り組む時間については、世話をしている家族が「現在いる（過去にいた）」の n 数が少ないことに留意が必要だが、世話をしている家族が「現在いる」場合、「現在はいないが、過去にいた」、「いない」場合に比べて「どちらともいえない」、「確保できていない」の割合が高くなっている。全国調査と比べると「現在いる」では「確保出来ていない」の割合が高くなっている。

### 今回調査

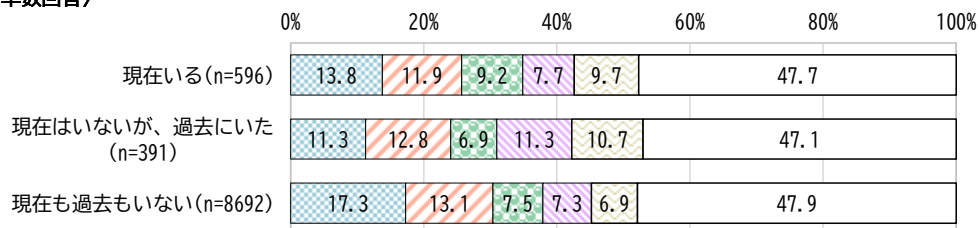
〈単数回答〉



- 確保できている
- 概ね確保できている
- どちらともいえない
- あまり確保できていない
- 確保できていない
- 希望しておらず実施・参加していない
- 無回答

### 全国調査

〈単数回答〉



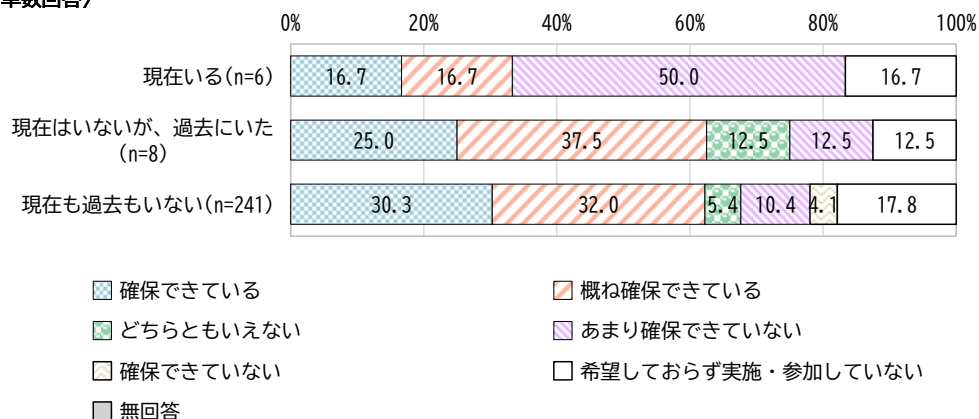
- 確保できている
- 概ね確保できている
- どちらともいえない
- あまり確保できていない
- 確保できていない
- 希望しておらず実施・参加していない

## ■アルバイト・仕事

◇アルバイト・仕事に取り組む時間については、世話をしている家族が「現在いる（過去にいた）」のn数が少ないことに留意が必要だが、世話をしている家族が「現在いる」場合、「現在はいないが、過去にいた」、「いない」場合に比べて「確保できている」、「概ね確保できている」の割合が低く、「あまり確保できていない」の割合が高くなっている。全国調査と比べると「現在いる」では「あまり確保できていない」の割合が高くなっている。

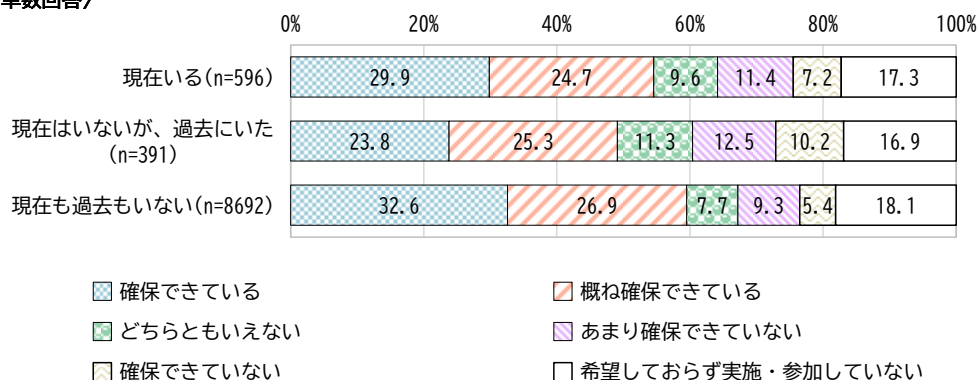
### 今回調査

〈単数回答〉



### 全国調査

〈単数回答〉

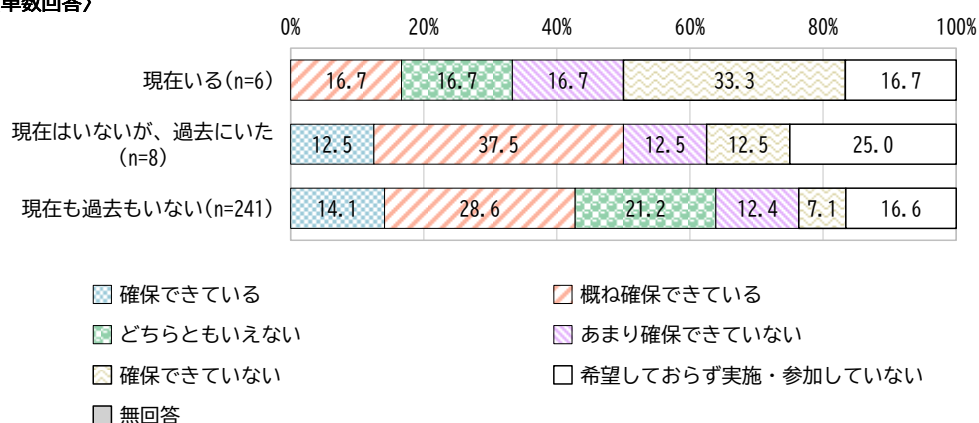


## ■就職活動（説明会、インターンへの応募・参加も含む）

◇就職活動（説明会、インターンへの応募・参加も含む）に取り組む時間については、世話をしている家族が「現在いる（過去にいた）」の n 数が少ないことに留意が必要だが、世話をしている家族が「現在いる」場合、「現在はいないが、過去にいた」、「いない」場合に比べて「確保できていない」の割合が高くなっている。全国調査と比べると「現在いる」では「確保できていない」、「現在はいないが、過去にいた」では「概ね確保できている」の割合が高くなっている。

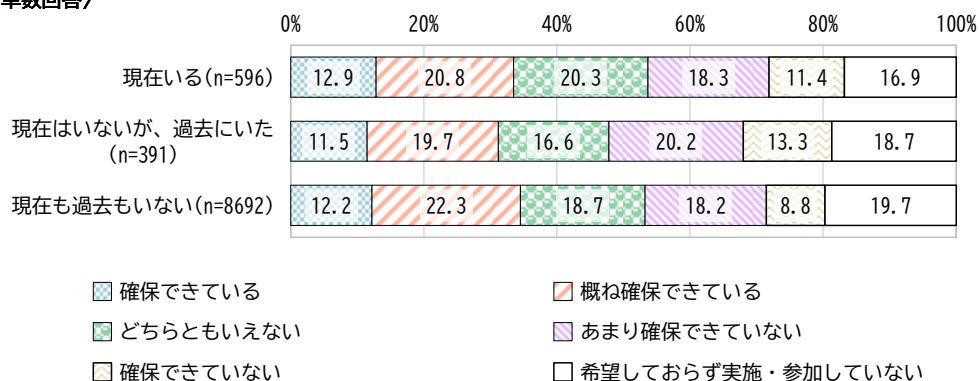
### 今回調査

〈単数回答〉



### 全国調査

〈単数回答〉

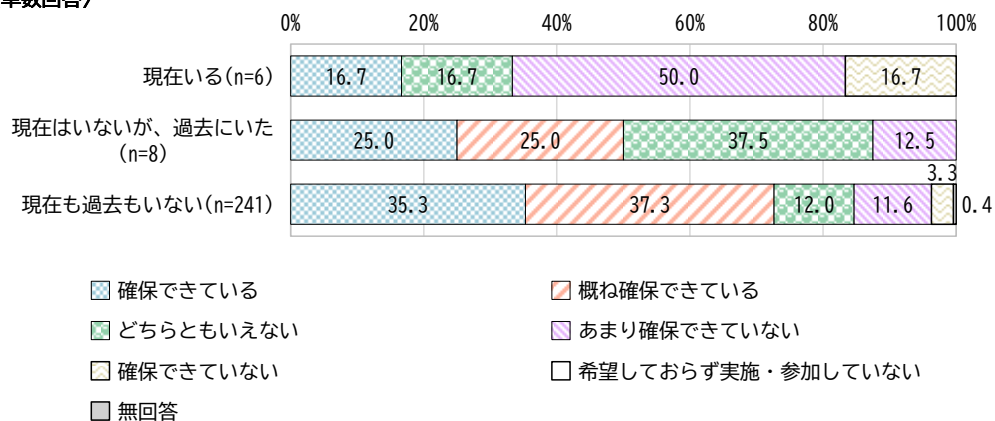


## ■趣味・娯楽・交友

◇趣味・娯楽・交友に取り組む時間については、世話をしている家族が「現在いる（過去にいた）」のn数が少ないことに留意が必要だが、世話をしている家族が「現在いる」場合、「現在はいないが、過去にいた」、「いない」場合に比べて「あまり確保できていない」、「確保できていない」の割合が高くなっている。全国調査と比べると「現在いる」では「あまり確保できていない」の割合が高くなっている。

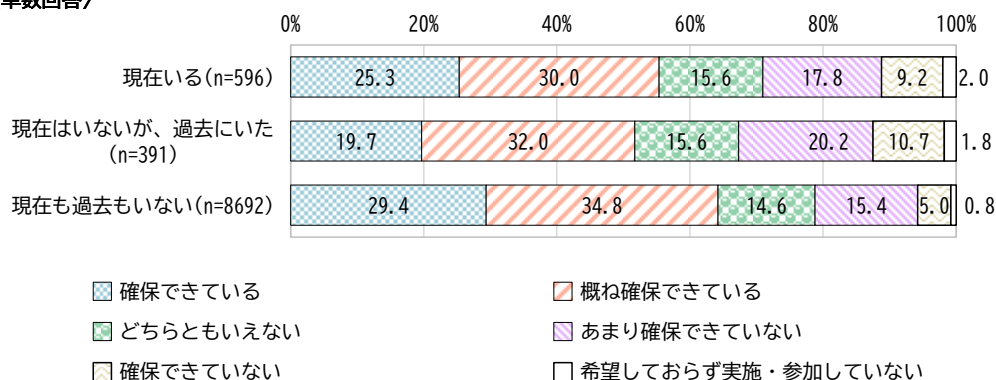
### 今回調査

〈単数回答〉



### 全国調査

〈単数回答〉



### ⑭家族の世話の有無×普段の大学生活等においてあてはまること

◇普段の大学生活等においてあてはまることについては、世話をしている家族が「現在いる（過去にいた）」のn数が少ないことに留意が必要だが、「世話をしている家族」が「いる」場合、「いない」場合に比べて「課題や予習復習ができていないことが多い」、「合宿等の行事を欠席する」、「大学では1人で過ごすことが多い」、「友人と遊んだり、話したりする時間がない」の割合が高くなっている。全国調査と比べると「現在いる」では「特にない」の割合が低くなっている。

(%)

		調査数 (n)	ある授業を欠席しがち	課題や予習復習ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活・サークル等を休むことが多い	提出書類などの提出が遅れることが多い	合宿等の行事を欠席する	大学では1人で過ごすことが多い	友人と遊んだりする時間がない	特にない
熊本県	現在いる	6	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	33.3	16.7
	現在はいないが、過去にいた	8	25.0	12.5	12.5	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5	62.5
	現在も過去もいない	241	3.3	14.5	6.2	4.6	11.2	0.8	22.0	22.4	53.5
全国	現在いる	596	8.4	24.5	9.4	6.7	14.4	3.5	29.4	29.2	36.1
	現在はいないが、過去にいた	391	11.8	25.1	10.5	7.2	15.9	4.6	31.2	37.9	29.7
	現在も過去もいない	8,692	7.0	20.4	6.1	5.1	9.8	2.4	24.7	27.6	45.5

## ⑮家族の世話の有無×現在の悩みや困りごと

◇現在の悩みや困りごとについては、世話をしている家族が「現在いる（過去にいた）」のn数が少ないことに留意が必要だが、「世話をしている家族」が「いる」場合、「いない」場合に比べて、「学業成績のこと」、「学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと」、「家庭の経済的状況のこと」、「自分と家族との関係のこと」、「家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）」、「病気や障がいのある家族のこと」の割合が高くなっている。全国調査と比べると「現在いる」では「学業成績のこと」、「家庭の経済的状況のこと」、「家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）」の割合が高くなっている。

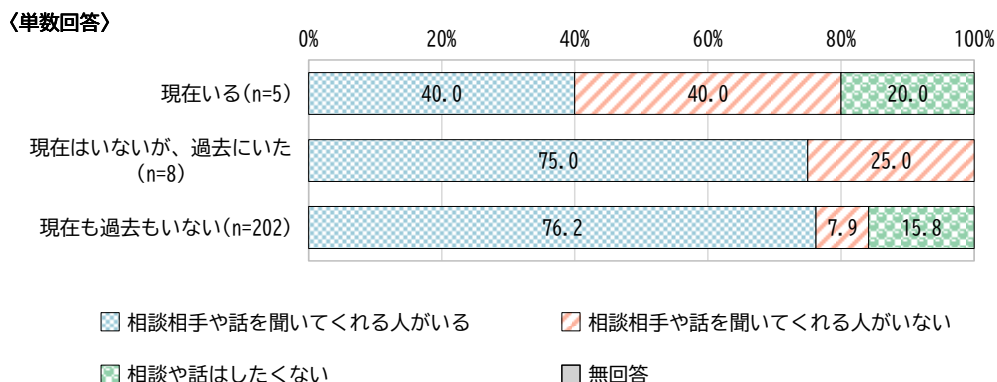
(%)

		調査数（n）	友人との関係のこと	学業成績のこと	就職・進路のこと	部活動・サークル活動のこと	金のこと	学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと	課題活動や習い事ができないこと	アルバイト・仕事のこと	家庭の経済的状況のこと	自分と家族との関係のこと	家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）	家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）	病気や障がいのある家族のこと	時間が少ないこと	自分のために使える時間	その他	特になし
熊本県	現在いる	6	0.0	50.0	66.7	0.0	33.3	16.7	16.7	50.0	33.3	50.0	33.3	33.3	33.3	0.0	16.7		
	現在はいないが、過去にいた	8	25.0	37.5	100.0	12.5	12.5	12.5	25.0	25.0	0.0	25.0	12.5	25.0	0.0	0.0			
	現在も過去もいない	241	16.2	22.8	67.2	2.5	19.1	2.1	18.7	12.0	7.9	5.0	2.9	9.5	2.1	16.2			
全国	現在いる	596	18.1	32.6	76.8	8.7	35.9	7.0	31.9	33.1	24.5	21.3	21.0	26.0	4.4	4.5			
	現在はいないが、過去にいた	391	20.7	29.4	79.3	9.5	34.8	10.2	33.2	29.4	23.0	18.4	12.3	21.7	6.1	5.4			
	現在も過去もいない	8,692	14.5	23.8	77.1	8.3	20.2	4.7	23.3	15.4	8.9	7.3	2.8	15.7	4.1	11.7			

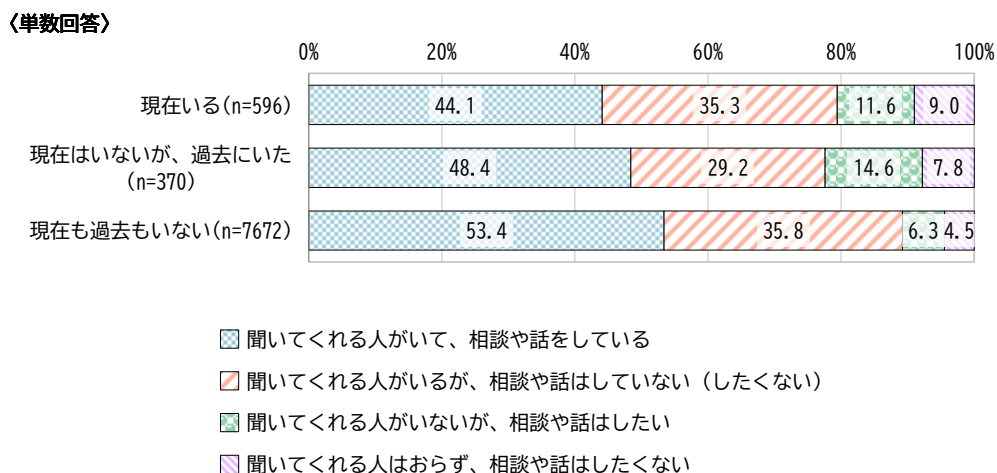
## ⑯家族の世話の有無×悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無

◇悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無については、世話をしている家族が「現在いる（過去にいた）」の n 数が少ないことに留意が必要だが、世話をしている家族が「現在いる」場合、「現在はいないが、過去にいた」、「いない」場合に比べて「聞いてくれる人がいて、相談や話をしている」の割合が低く、「相談相手や話を聞いてくれる人がいない」、「相談や話はしたくない」の割合が高くなっている。

### 今回調査



### 全国調査





## (2) 家族の世話の有無による世話の状況の違い

※性別について「その他」、「答えたくない」という回答はサンプル数が少ないためクロス集計では対象外とする。

### ①家族の世話の有無×世話を必要としている（していた）家族

◇世話を必要としている（していた）家族については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

		(%)						
		調査数 (n=)	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他
熊本県	現在いる	6	16.7	0.0	16.7	33.3	66.7	0.0
	現在はいないが、過去にいた	8	12.5	12.5	12.5	25.0	37.5	0.0
全国	現在いる	596	39.8	24.3	33.7	16.4	26.5	4.2
	現在はいないが、過去にいた	391	28.6	14.6	31.5	18.4	26.6	5.4

### ②家族の世話の有無×世話を必要としている（していた）家族の状況

#### ■母親

◇「母親」の状況については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

		(%)										
		調査数 (n=)	高齢 (65歳以上)	若い	要介護 (介護が必要な状況)	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患	依存症、 ギャンブル アルコール 依存症など	このころの 病気、 依存症以外	その他
熊本県	現在いる	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	現在はいないが、過去にいた	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
全国	現在いる	237	8.4	0.0	9.3	3.0	11.8	2.5	25.7	5.1	11.4	29.1
	現在はいないが、過去にいた	112	6.3	0.0	6.3	0.0	10.7	0.9	34.8	7.1	22.3	11.6

## ■父親

◇「父親」の状況については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n=)	高齢 (65歳以上)	若い	要介護 (介護が必要な状 況)	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患	依存症(アルコール依 存症など)	このころの病気、 依存症以外の 病気	その他
熊本県	現在いる	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	現在はいない が、過去にいた	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全国	現在いる	145	18.6	0.0	10.3	2.8	11.7	1.4	12.4	8.3	11.0	24.8
	現在はいない が、過去にいた	57	10.5	0.0	14.0	1.8	8.8	1.8	8.8	8.8	21.1	17.5

## ■祖母

◇「祖母」の状況については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n=)	高齢 (65歳以上)	若い	要介護 (介護が必要な状 況)	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患	依存症(アルコール依 存症など)	このころの病気、 依存症以外の 病気	その他
熊本県	現在いる	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	現在はいない が、過去にいた	1	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全国	現在いる	201	88.1	0.0	28.9	23.4	14.9	0.5	5.5	0.0	1.5	6.0
	現在はいない が、過去にいた	123	77.2	0.0	56.9	46.3	13.0	0.8	2.4	1.6	6.5	1.6

## ■祖父

◇「祖父」の状況については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n=)	高齢 (65歳以上)	若い	要介護 (介護が必要な状 況)	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患	依存症(アルコール依 存症など)	このころの病気、依 存症以外の病気	その他
熊本県	現在いる	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	現在はいないが、過去にいた	2	100.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全国	現在いる	98	90.8	0.0	25.5	21.4	7.1	1.0	2.0	1.0	3.1	4.1
	現在はいないが、過去にいた	72	75.0	0.0	59.7	25.0	15.3	1.4	2.8	2.8	8.3	4.2

## ■きょうだい

◇「きょうだい」の状況については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n=)	高齢 (65歳以上)	若い	要介護 (介護が必要な状 況)	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患	依存症(アルコール依 存症など)	このころの病気、依 存症以外の病気	その他
熊本県	現在いる	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	現在はいないが、過去にいた	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全国	現在いる	158	0.0	44.3	2.5	0.6	8.9	16.5	11.4	1.9	4.4	28.5
	現在はいないが、過去にいた	104	0.0	63.5	1.9	1.0	1.9	14.4	8.7	0.0	6.7	8.7

### ③家族の世話の有無×行っている（行っていた）世話の内容

#### ■母親

◇「母親」に行っている（行っていた）世話の内容については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

		調査数（n）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	保育所等への送迎やきょうだいの世話など	身体的な介護（入浴やトイレ、食事のお世話など）	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	家計を助ける（働く）	その他
熊本県	現在いる	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	現在はいないが、過去にいた	1	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
全国	現在いる	237	66.7	11.8	5.9	24.9	11.4	37.6	20.7	3.8	9.3	8.4	20.7	5.9
	現在はいないが、過去にいた	112	76.8	17.0	9.8	24.1	17.0	53.6	29.5	2.7	11.6	6.3	9.8	3.6

#### ■父親

◇「父親」に行っている（行っていた）世話の内容については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

		調査数（n）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	保育所等への送迎やきょうだいの世話など	身体的な介護（入浴やトイレ、食事のお世話など）	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	家計を助ける（働く）	その他
熊本県	現在いる	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	現在はいないが、過去にいた	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全国	現在いる	145	57.9	7.6	7.6	17.2	11.7	19.3	16.6	1.4	8.3	7.6	20.0	9.0
	現在はいないが、過去にいた	57	54.4	10.5	15.8	12.3	19.3	19.3	29.8	5.3	14.0	12.3	14.0	7.0

## ■祖母

◇「祖母」に行っている（行っていた）世話の内容については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数（n）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	保育所等への送迎やきょうだいの世話など	身体的な介護（入浴やトイレ、食事のお世話など）	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	家計を助ける（働く）	その他
熊本県	現在いる	1	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	現在はいないが、過去にいた	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
全国	現在いる	201	50.2	3.5	19.4	35.8	24.4	36.3	52.7	0.0	6.5	14.9	3.0	4.0
	現在はいないが、過去にいた	123	53.7	2.4	38.2	30.1	28.5	37.4	65.0	0.8	3.3	16.3	1.6	1.6

## ■祖父

◇「祖父」に行っている（行っていた）世話の内容については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数（n）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	保育所等への送迎やきょうだいの世話など	身体的な介護（入浴やトイレ、食事のお世話など）	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	家計を助ける（働く）	その他
熊本県	現在いる	2	0.0	0.0	50.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	現在はいないが、過去にいた	2	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全国	現在いる	98	50.0	3.1	16.3	27.6	23.5	23.5	58.2	0.0	7.1	10.2	2.0	2.0
	現在はいないが、過去にいた	72	45.8	0.0	40.3	31.9	36.1	34.7	54.2	2.8	0.0	13.9	0.0	2.8

## ■きょうだい

◇「きょうだい」に行っている（行っていた）世話の内容については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数（n）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	身体的な介護（入浴やトイレ、食事のお世話など）	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	家計を助ける（働く）	その他
熊本県	現在いる	4	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	現在はいないが、過去にいた	3	100.0	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全国	現在いる	158	63.9	34.2	11.4	21.5	7.0	33.5	40.5	1.9	5.1	2.5	10.1	5.7
	現在はいないが、過去にいた	104	53.8	36.5	11.5	23.1	4.8	26.0	52.9	0.0	1.9	2.9	1.9	2.9

## ④家族の世話の有無×一緒に世話をしている（行っていた）人

◇一緒に世話をしている（行っていた）人については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

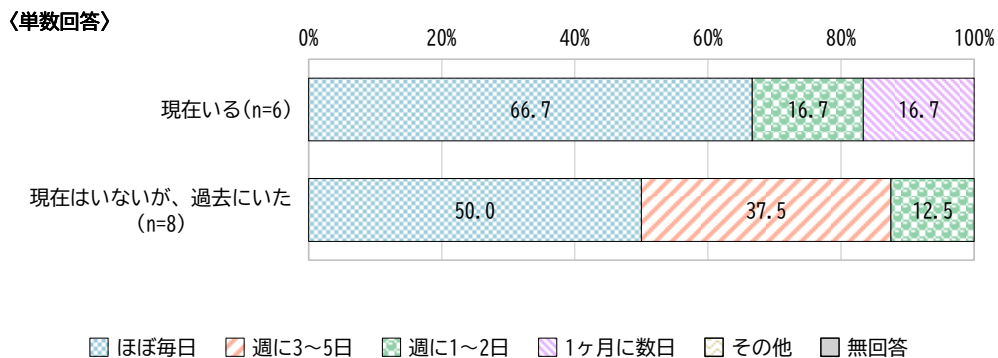
(%)

		調査数（n）	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	親戚の人	自分のみ	福祉サービス（ヘルパーなど）を利用	その他
熊本県	現在いる	6	50.0	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0
	現在はいないが、過去にいた	8	75.0	25.0	25.0	25.0	25.0	12.5	0.0	37.5	0.0
全国	現在いる	596	51.0	31.5	10.4	5.2	26.3	5.9	23.3	13.4	1.8
	現在はいないが、過去にいた	391	55.8	43.2	13.8	6.1	28.6	9.7	14.8	15.1	0.5

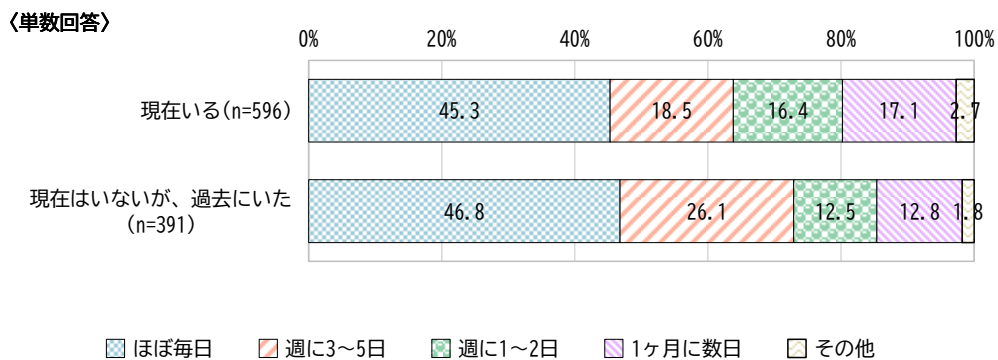
## ⑤家族の世話の有無×世話をしている（世話をしていた）頻度

◇世話をしている（していた）頻度については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

### 今回調査



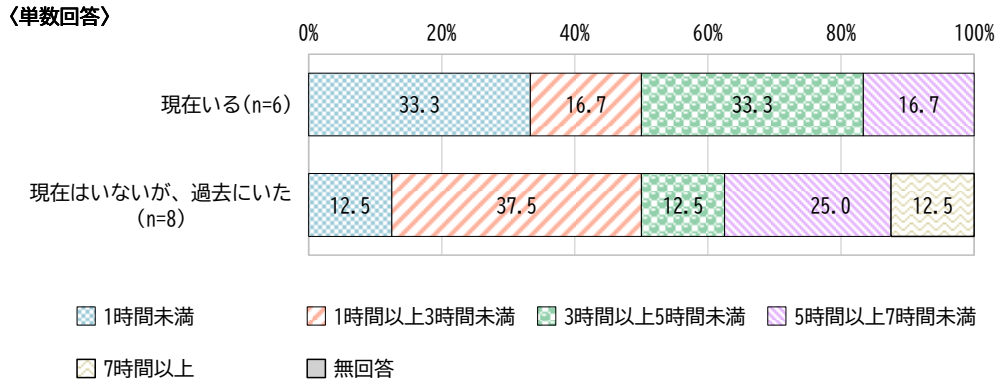
### 全国調査



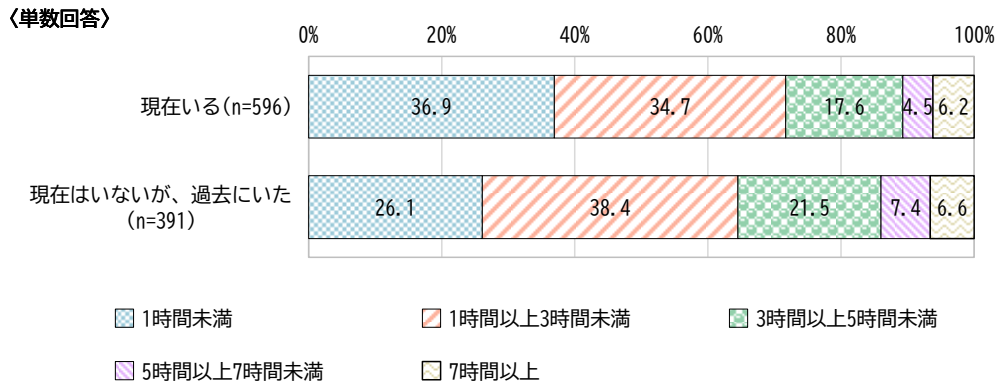
## ⑥家族の世話の有無×平日の世話時間

◇平日の世話時間については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

### 今回調査



### 全国調査



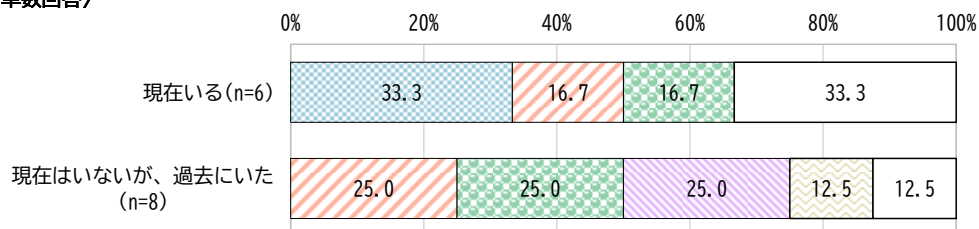


## ⑦家族の世話の有無×世話を始めた時期

◇世話を始めた時期については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

### 今回調査

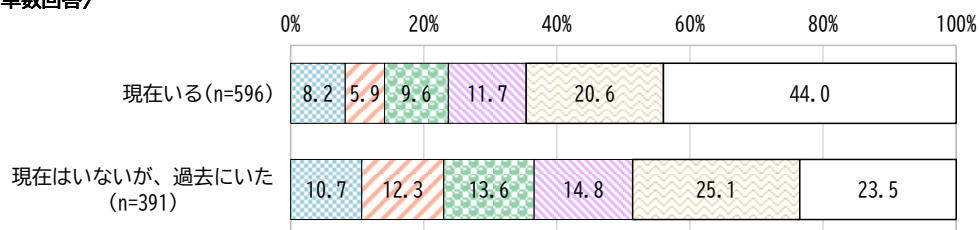
〈単数回答〉



- 小学校就学以前から
- 小学校低学年(1~3年生)から
- 小学校高学年(4~6年生)から
- 中学生から
- 高校生から
- 大学入学以降
- 無回答

### 全国調査

〈単数回答〉



- 小学校就学以前から
- 小学校低学年(1~3年生)から
- 小学校高学年(4~6年生)から
- 中学生から
- 高校生から
- 大学入学以降

## ⑧家族の世話の有無×世話をしていることで、大学進学の際に苦労したこと・影響

◇世話を始めた時期が大学入学以前と答えた人に対し、大学進学の際に苦労したことについて聞いたところ、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n)	が受験勉強を 取れなかつた 時間	学的不安が 制約つた 経済	あつた 等通学の 制限が 範囲	実家から 通える 範囲	た 先ずよう 求む 優	迷つた 進学 か働 か	迷つた 大学 以外の 進学 先と	その他	特 に ない
熊本県	現在いる	4	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	
	現在は いないが、 過去に いた	7	28.6	42.9	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	57.1	
全国	現在いる	334	22.5	28.1	17.7	12.0	12.6	6.9	5.7	43.7	
	現在は いないが、 過去に いた	299	20.7	25.1	8.0	9.4	11.7	7.4	7.0	52.8	

### ⑨家族の世話の有無×世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたこと

◇世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたことについては、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n II)	大学の授業に行きたくても行けなかった	単位をとれなかった、留年・休学した	課題・予習復習をする時間が取れなかった	留学をあきらめた	睡眠が十分に取れなかった	友人と遊ぶことができなかった	ざるを得なかった	部活動・サークル活動ができなかった、もしくは辞めざるを得なかった	課外活動・習い事ができなかった、もしくは辞めざるを得なかった	アルバイトができなかった	就職先・進路の変更を考えた	一人暮らしをしたくてもできなかった	恋愛をしたくてもできなかった	自分の時間が取れなかった	その他	特になかった
熊本県	現在いる	6	0.0	0.0	50.0	16.7	66.7	33.3	0.0	16.7	50.0	0.0	0.0	16.7	66.7	0.0	0.0	
	現在はいないが、過去にいた	8	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	37.5	
全国	現在いる	596	6.0	4.0	19.8	5.2	23.3	22.5	9.2	4.5	12.6	8.4	15.6	8.6	31.2	1.5	42.8	
	現在はいないが、過去にいた	391	2.0	3.1	15.1	5.4	26.1	27.1	10.7	5.1	10.5	6.1	9.5	6.9	33.8	3.1	40.7	

### ⑩家族の世話の有無×世話をしていることで生ずる就職に関する不安

◇世話をしていることで生ずる就職に関する不安については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n II)	正社員として就職できず不安がある	休まず働けるか不安がある	通勤できる地域が限られる	働ける時間帯が限られている	就職先について考える時間がない	その他	わからない	特にない
熊本県	現在いる	6	66.7	33.3	16.7	16.7	33.3	0.0	33.3	16.7
	現在はいないが、過去にいた	8	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	12.5	12.5	62.5
全国	現在いる	596	16.4	12.6	16.8	8.4	8.2	2.3	13.4	50.5
	現在はいないが、過去にいた	391	10.0	9.7	8.2	4.9	7.2	1.5	12.0	61.6

### ⑪家族の世話の有無×世話をすることで感じるきつさ

◇世話をすることで感じるきつさについては、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

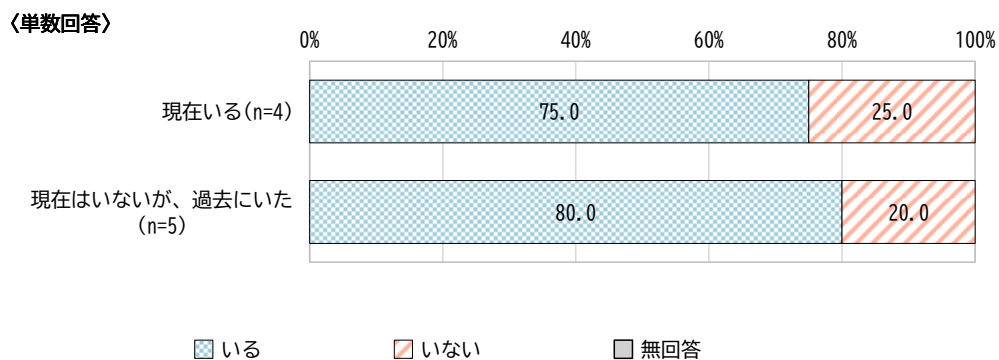
(%)

		調査数 (n)	身体的 にきつい	精神的 にきつい	時間的 余裕がない	特に きつさを 感じて いない
熊本県	現在いる	6	0.0	66.7	33.3	33.3
	現在は いないが、 過去にいた	8	37.5	75.0	25.0	12.5
全国	現在いる	596	14.3	37.1	30.0	47.7
	現在は いないが、 過去にいた	391	19.4	50.4	34.5	33.0

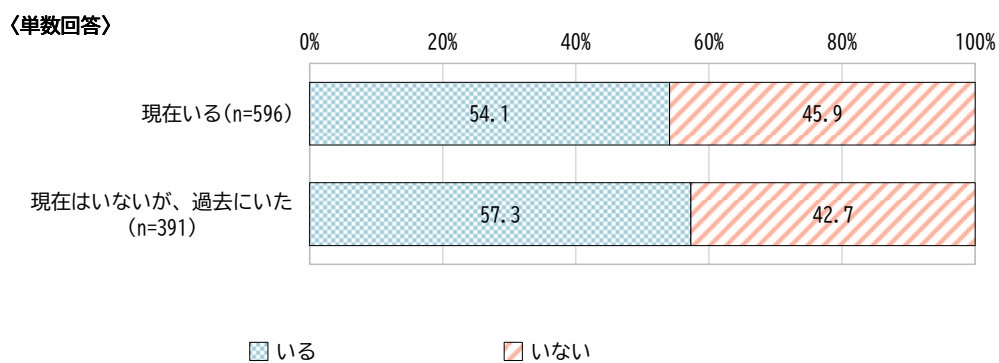
## ⑫家族の世話の有無×世話について話を聞いてくれる人の有無

◇世話について話を聞いてくれる人の有無については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

### 今回調査



### 全国調査



### ⑬家族の世話の有無×大学や周りの大人に助けとほしいことや、必要としている支援

◇大学や周りの大人に助けてほしいことや必要な支援については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n=)	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談	家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	家族の病気がいい、ケアやサービスがほしい	すべてを代わってくれる人やサービスがほしい	自分が行っているお世話のサビがほしい	一部を代わっているお世話のサビがほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	大学の勉強や学習のサポート	家庭への経済的な支援	学費への支援・奨学金等	その他	特にな	わからない
熊本県	現在いる	6	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	50.0	33.3	0.0	16.7	33.3	0.0	16.7	16.7		
	現在はいないが、過去にいた	8	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	25.0	37.5	12.5	12.5	37.5	0.0	50.0	12.5		
全国	現在いる	596	23.2	12.4	6.5	8.4	3.2	27.0	29.0	18.0	23.0	27.7	2.2	26.8	9.2		
	現在はいないが、過去にいた	391	19.4	7.9	4.9	5.9	1.5	25.1	27.1	19.4	24.0	29.2	3.1	25.3	11.8		

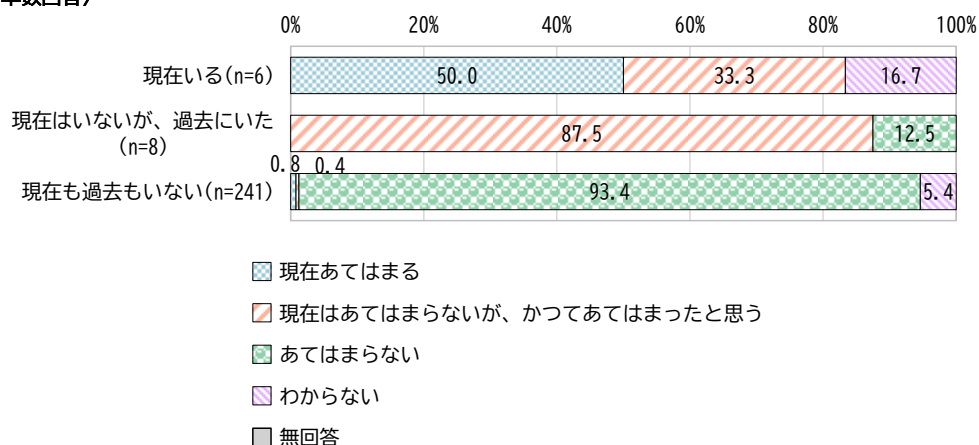
### (3) 家族の世話の有無によるヤングケアラーについて

#### ⑭ 家族の世話の有無 × 「ヤングケアラー（または若者ケアラー）」の自覚

◇ヤングケアラーの自覚については、世話をしている家族が「現在いる（過去にいた）」のn数が少ないことに留意が必要だが、世話をしている家族が「現在いる」場合、「現在はいないが、過去にいた」、「いない」場合に比べて「現在あてはまる」、「わからない」の割合が高くなっている。全国調査と比べると、「現在いる」、「現在いないが、過去にいた」では「あてはまらない」の割合が低くなっている。

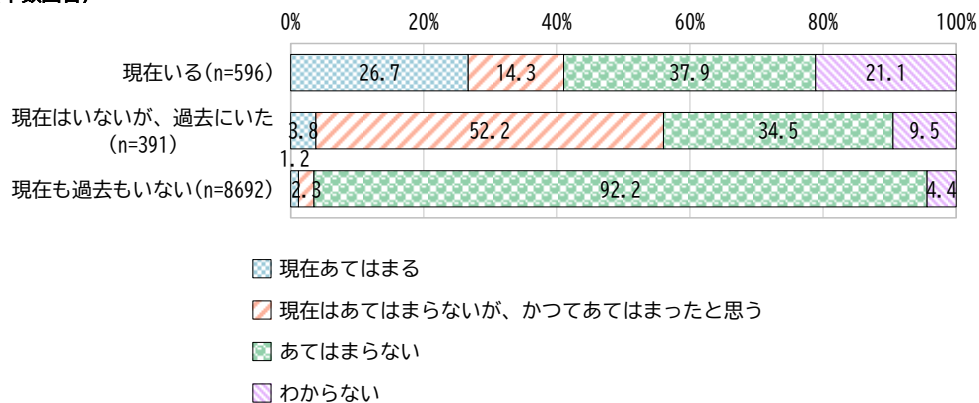
#### 今回調査

〈単数回答〉



#### 全国調査

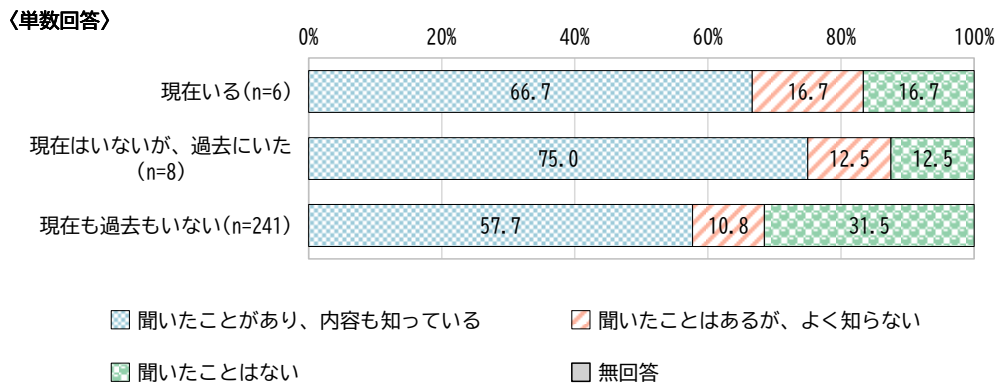
〈単数回答〉



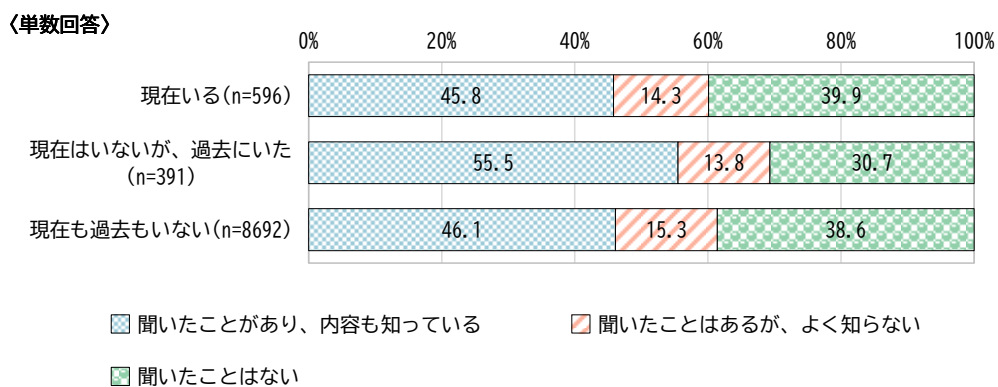
## ⑮家族の世話の有無×「ヤングケアラー（または若者ケアラー）」という言葉の認知度

◇ヤングケアラーという言葉の認知度については、世話をしている家族が「現在いる（過去にいた）」のn数が少ないことに留意が必要だが、世話をしている家族が「過去も現在もない」場合、「現在いる」、「現在はいるが、過去にいた」場合に比べて「聞いたことはない」の割合が高くなっている。全国調査と比べると、「現在いる」、「現在はいるが、過去にいた」では「聞いたことはない」の割合が低くなっている。

### 今回調査



### 全国調査





## 6-2 性別×大学種別による状況の違い

性別（男性、女性）×大学種別（国立、公立、私立）のクロス分析結果を記載する。

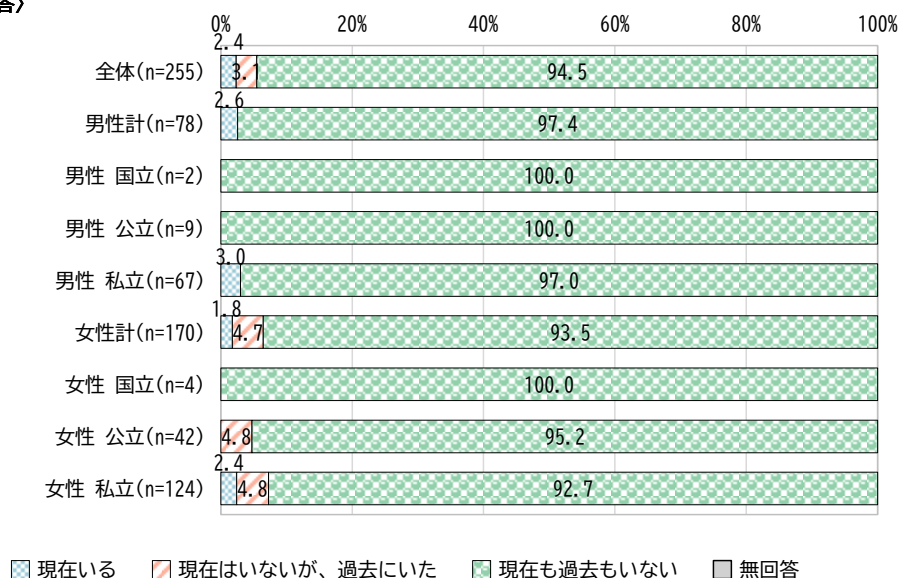
### （1）家庭や家族のことについて

#### ①性別×大学種別×家族の世話の有無

◇家族の世話の有無については、性別及び大学種別ではあまり大きな差はみられなかった。全国調査と同様の傾向となっている。

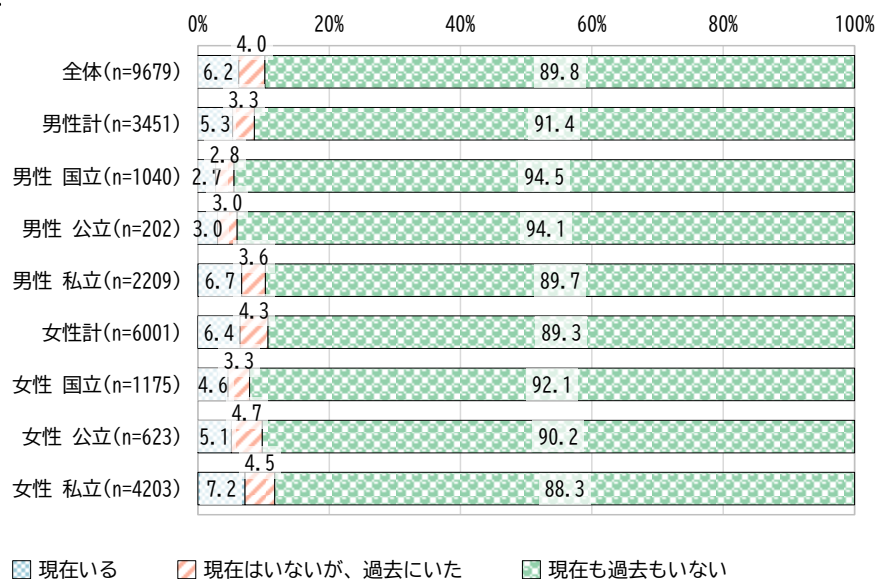
#### 今回調査

〈単数回答〉



#### 全国調査

〈単数回答〉



※性別の設問については、「その他」、「答えたくない」の回答はサンプル数が少ないためクロス集計では掲載していない。以降同様。

## ②性別×大学種別×行っている（行っていた）世話の内容

### ■母親

◇母親に対し行っている（行っていた）世話の内容については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

		(%)												
		調査数 (n)	家事(食事の準備や掃除、洗濯)	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	身体的な介護(入浴やトイレ、食事のお世話など)	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)	見守り	通訳(日本語や手話など)	金銭管理	薬の管理	家計を助ける(働く)	その他
熊本県	男性	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性 国立	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 公立	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 私立	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性	1	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性 国立	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性 公立	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性 私立	1	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
全国	男性	109	65.1	12.8	7.3	19.3	7.3	25.7	19.3	0.0	11.9	5.5	13.8	7.3
	男性 国立	22	77.3	18.2	9.1	18.2	9.1	40.9	31.8	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0
	男性 公立	4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性 私立	83	65.1	12.0	7.2	19.3	7.2	18.1	14.5	0.0	13.3	4.8	15.7	9.6
	女性	224	72.8	14.3	7.6	27.7	16.1	49.6	25.9	4.9	9.4	9.4	19.6	4.5
	女性 国立	28	82.1	14.3	10.7	28.6	32.1	57.1	25.0	7.1	10.7	7.1	7.1	3.6
	女性 公立	16	87.5	18.8	12.5	37.5	25.0	68.8	12.5	0.0	0.0	25.0	31.3	0.0
	女性 私立	180	70.0	13.9	6.7	26.7	12.8	46.7	27.2	5.0	10.0	8.3	20.6	5.0

## ■父親

◇父親に対し行っている（行っていた）世話の内容については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n=)	家事(食事の準備や掃除、洗濯)	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	身体的な介護(入浴やトイレ、食事のお世話など)	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)	見守り	通訳(日本語や手話など)	金銭管理	薬の管理	家計を助ける(働く)	その他
熊本県	男性	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 国立	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 公立	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 私立	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 国立	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性 公立	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性 私立	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
全国	男性	84	45.2	9.5	8.3	16.7	10.7	11.9	16.7	2.4	13.1	7.1	22.6	14.3
	男性 国立	11	54.5	18.2	9.1	18.2	0.0	18.2	27.3	9.1	18.2	0.0	9.1	0.0
	男性 公立	4	25.0	0.0	25.0	50.0	50.0	0.0	75.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0
	男性 私立	69	44.9	8.7	7.2	14.5	10.1	11.6	11.6	0.0	11.6	5.8	26.1	17.4
	女性	107	64.5	7.5	11.2	15.0	15.9	23.4	23.4	2.8	7.5	9.3	16.8	4.7
	女性 国立	16	68.8	0.0	18.8	25.0	31.3	31.3	25.0	6.3	0.0	25.0	12.5	6.3
	女性 公立	5	80.0	0.0	20.0	20.0	0.0	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0
	女性 私立	86	62.8	9.3	9.3	12.8	14.0	19.8	23.3	2.3	8.1	7.0	16.3	4.7

## ■祖母

◇祖母に対し行っている（行っていた）世話の内容については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

		調査数（n）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	身体的な介護（入浴やトイレ、食事のお世話など）	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	家計を助ける（働く）	その他
熊本県	男性	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 国立	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 公立	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 私立	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	女性 国立	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性 公立	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性 私立	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
全国	男性	112	41.1	3.6	17.9	28.6	25.9	28.6	55.4	0.0	4.5	8.9	2.7	2.7
	男性 国立	18	22.2	0.0	27.8	22.2	16.7	44.4	66.7	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0
	男性 公立	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性 私立	92	45.7	4.3	16.3	29.3	28.3	23.9	53.3	0.0	5.4	9.8	3.3	3.3
	女性	199	56.3	2.5	31.7	36.7	26.6	42.2	60.3	0.5	5.5	19.1	2.0	3.0
	女性 国立	24	62.5	8.3	33.3	37.5	29.2	33.3	75.0	0.0	12.5	16.7	0.0	8.3
	女性 公立	19	52.6	5.3	47.4	36.8	10.5	63.2	73.7	5.3	0.0	15.8	0.0	5.3
	女性 私立	156	55.8	1.3	29.5	36.5	28.2	41.0	56.4	0.0	5.1	19.9	2.6	1.9

## ■祖父

◇祖父に対し行っている（行っていた）世話の内容については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n=)	家事(食事の準備や掃除、洗濯)	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	身体的な介護(入浴やトイレ、食事のお世話など)	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)	見守り	通訳(日本語や手話など)	金銭管理	薬の管理	家計を助ける(働く)	その他
熊本県	男性	1	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性 国立	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 公立	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 私立	1	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性	3	33.3	0.0	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 国立	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性 公立	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性 私立	3	33.3	0.0	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
全国	男性	61	42.6	1.6	26.2	26.2	21.3	19.7	49.2	1.6	1.6	1.6	1.6	3.3
	男性 国立	12	50.0	0.0	41.7	25.0	8.3	41.7	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性 公立	3	66.7	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性 私立	46	39.1	2.2	21.7	26.1	23.9	13.0	47.8	0.0	2.2	2.2	2.2	4.3
	女性	101	50.5	2.0	25.7	32.7	33.7	33.7	62.4	1.0	5.0	17.8	0.0	1.0
	女性 国立	22	50.0	4.5	22.7	18.2	27.3	36.4	68.2	4.5	4.5	22.7	0.0	0.0
	女性 公立	5	100.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	女性 私立	74	47.3	1.4	27.0	37.8	37.8	33.8	62.2	0.0	5.4	16.2	0.0	1.4

## ■きょうだい

◇きょうだいに対し行っている（行っていた）世話の内容については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

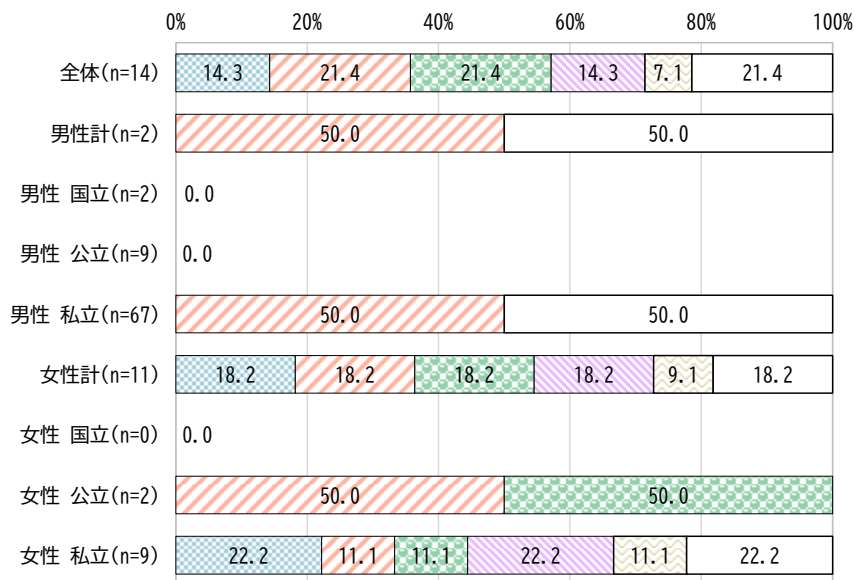
		調査数 (n=)	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	身体的な介護（入浴やトイレ、食事のお世話など）	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	家計を助ける（働く）	その他
熊本県	男性	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性 国立	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 公立	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 私立	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性	5	60.0	60.0	40.0	40.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 国立	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性 公立	2	100.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 私立	3	33.3	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全国	男性	56	57.1	32.1	14.3	26.8	10.7	17.9	39.3	3.6	5.4	5.4	8.9	7.1
	男性 国立	13	69.2	46.2	30.8	30.8	7.7	30.8	23.1	7.7	7.7	7.7	7.7	0.0
	男性 公立	3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	男性 私立	4	55.0	30.0	7.5	25.0	12.5	15.0	42.5	2.5	5.0	5.0	7.5	10.0
	女性	198	59.6	34.8	10.6	20.7	4.5	34.3	47.5	0.5	3.0	2.0	5.6	4.0
	女性 国立	27	51.9	33.3	3.7	11.1	0.0	33.3	51.9	0.0	0.0	3.7	7.4	3.7
	女性 公立	21	57.1	52.4	14.3	14.3	0.0	38.1	47.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 私立	150	61.3	32.7	11.3	23.3	6.0	34.0	46.7	0.7	4.0	2.0	6.0	4.7

### ③性別×大学種別×世話を始めた時期

◇世話を始めた時期については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

#### 今回調査

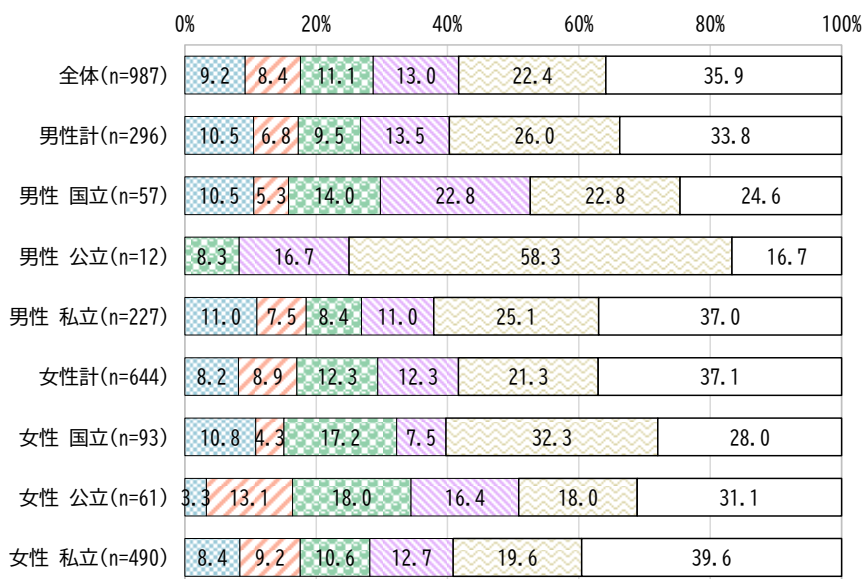
〈単数回答〉



- 小学校就学以前から
- 小学校低学年(1~3年生)から
- 小学校高学年(4~6年生)から
- 中学生から
- 高校生から
- 大学入学以降
- 無回答

#### 全国調査

〈単数回答〉



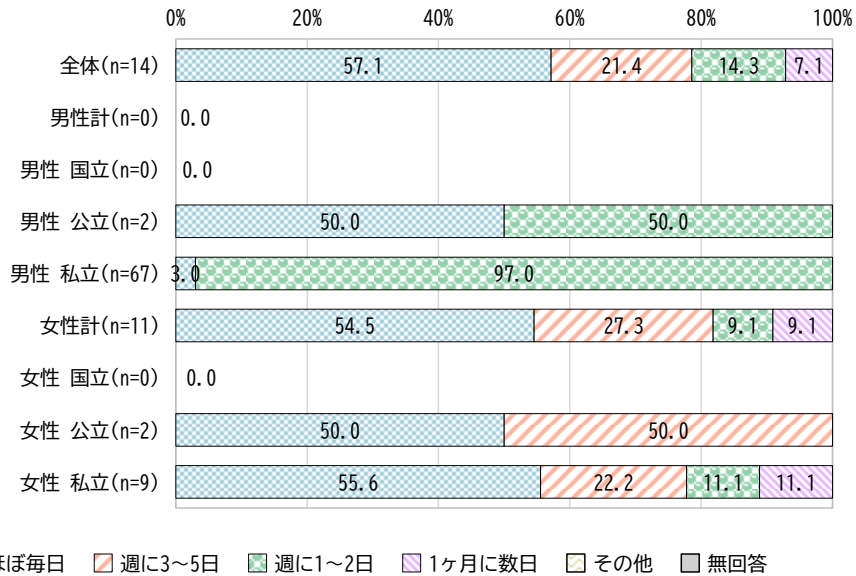
- 小学校就学以前から
- 小学校低学年(1~3年生)から
- 小学校高学年(4~6年生)から
- 中学生から
- 高校生から
- 大学入学以降

#### ④性別×大学種別×世話をしている（していた）頻度

◇世話をしている（していた）頻度については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

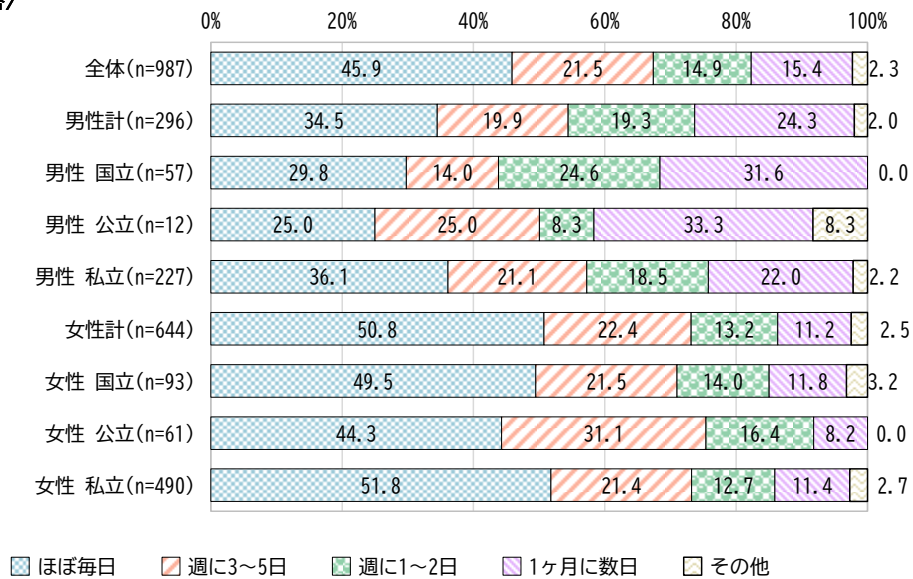
#### 今回調査

〈単数回答〉



#### 全国調査

〈単数回答〉



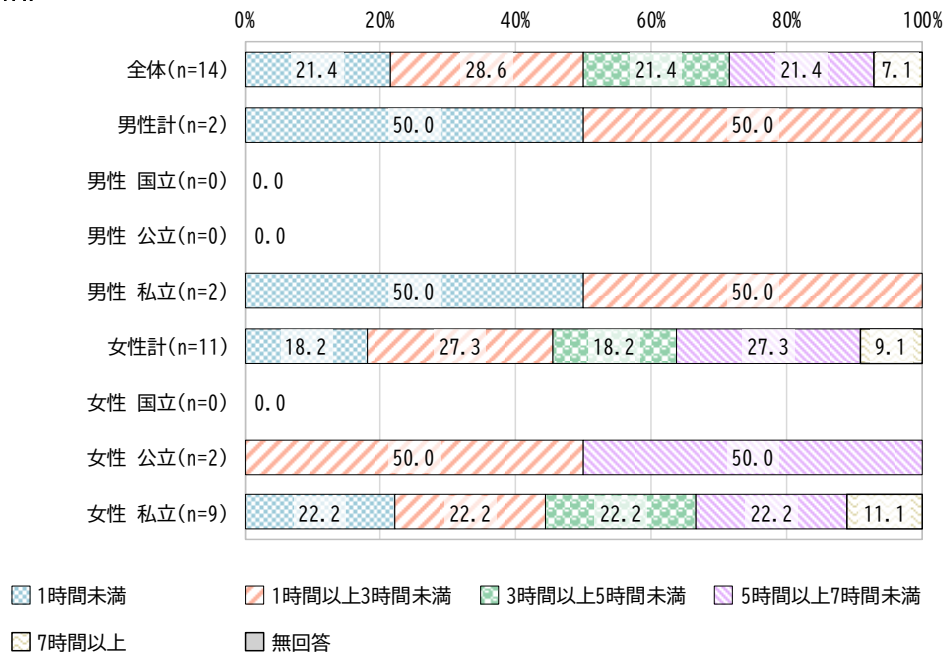


### ⑤性別×大学種別×平日1日あたりに世話を費やす時間

◇平日1日あたりに世事に費やす時間については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

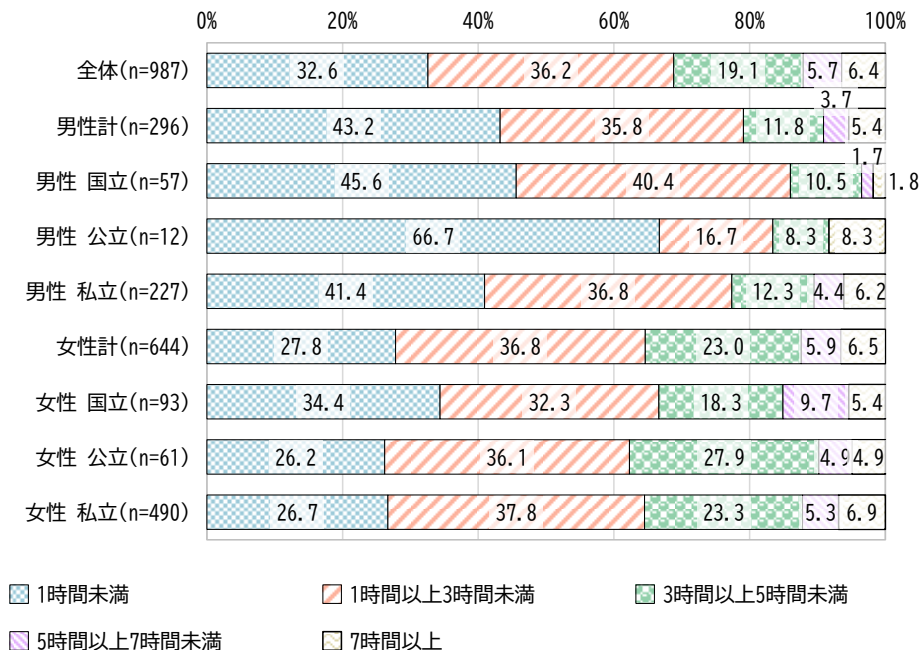
#### 今回調査

〈単数回答〉



#### 全国調査

〈単数回答〉



## ⑥性別×大学種別×世話をしていることで、大学進学の際に苦勞したこと・影響

◇世話を始めた時期が大学入学以前と答えた人に対し、世話をしていることで大学進学の際に苦勞したこと・影響を聞いたところ、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (nⅡ)	が受験勉強を 取れなかつた	学的費不安が 制約つた	あつた 等の通学面の 制約が	実家から通 える範囲	た先ずるよう に求められ	家族等から 世話を受け	迷つた 進学するか 働くか	迷つた 大学以外の 進学先と	その他	特 に ない
熊本県	全体	11	27.3	36.4	18.2	0.0	9.1	18.2	9.1	54.5		
	男性	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
	男性 国立	0	-	-	-	-	-	-	-	-		
	男性 公立	0	-	-	-	-	-	-	-	-		
	男性 私立	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
	女性	9	22.2	33.3	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	66.7		
	女性 国立	0	-	-	-	-	-	-	-	-		
	女性 公立	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0		
	女性 私立	7	14.3	28.6	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	71.4		
全国	全体	633	21.6	26.7	13.1	10.7	12.2	7.1	6.3	48.0		
	男性	196	17.3	18.4	9.7	8.7	12.8	7.1	3.6	56.1		
	男性 国立	43	14.0	14.0	20.9	11.6	14.0	7.0	2.3	53.5		
	男性 公立	10	30.0	20.0	10.0	10.0	20.0	0.0	0.0	50.0		
	男性 私立	143	17.5	19.6	6.3	7.7	11.9	7.7	4.2	57.3		
	女性	405	23.0	29.9	15.3	11.6	12.1	7.4	6.7	45.4		
	女性 国立	67	31.3	29.9	16.4	10.4	11.9	4.5	9.0	44.8		
	女性 公立	42	21.4	33.3	16.7	4.8	16.7	11.9	2.4	47.6		
	女性 私立	296	21.3	29.4	14.9	12.8	11.5	7.4	6.8	45.3		

## ⑦性別×大学種別×世話をしていることで生ずる就職に関する不安

◇世話をしていることで生ずる就職に関する不安については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n)	正社員として就職できず不安がある	休まず働けるか不安がある	通勤できる地域が限られる	働ける時間帯が限られる	就職先について考える時間がない	その他	わからない	特にない
熊本県	全体	14	28.6	21.4	14.3	7.1	14.3	7.1	21.4	42.9
	男性	2	100.0	50.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	男性 国立	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 公立	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 私立	2	100.0	50.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	女性	11	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1	27.3	54.5
	女性 国立	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性 公立	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	女性 私立	9	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	33.3	55.6
全国	全体	987	13.9	11.4	13.4	7.0	7.8	2.0	12.9	54.9
	男性	296	13.9	10.5	10.1	7.1	7.1	2.0	11.1	60.8
	男性 国立	57	10.5	14.0	14.0	7.0	5.3	7.0	8.8	61.4
	男性 公立	12	0.0	8.3	25.0	8.3	8.3	0.0	33.3	41.7
	男性 私立	227	15.4	9.7	8.4	7.0	7.5	0.9	10.6	61.7
	女性	644	12.9	10.7	15.1	7.1	7.3	1.7	13.4	53.7
	女性 国立	93	6.5	8.6	12.9	1.1	4.3	0.0	15.1	58.1
	女性 公立	61	11.5	8.2	14.8	8.2	3.3	1.6	11.5	62.3
	女性 私立	490	14.3	11.4	15.5	8.2	8.4	2.0	13.3	51.8

### ⑧性別×大学種別×世話をすることで感じるきつさ

◇世話をしていることで感じるきつさについては、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

		(%)				
		調査数 (n)	身体的 にきつい	精神的 にきつい	時間的 余裕がない	特 に き つ さ を 感 じ て い な い
熊本県	全体	14	21.4	71.4	28.6	21.4
	男性	2	0.0	100.0	50.0	0.0
	男性 国立	0	-	-	-	-
	男性 公立	0	-	-	-	-
	男性 私立	2	0.0	100.0	50.0	0.0
	女性	11	27.3	63.6	18.2	27.3
	女性 国立	0	-	-	-	-
	女性 公立	2	50.0	100.0	50.0	0.0
	女性 私立	9	22.2	55.6	11.1	33.3
全国	全体	987	16.3	42.4	31.8	41.8
	男性	296	13.5	26.4	25.0	54.7
	男性 国立	57	14.0	26.3	22.8	54.4
	男性 公立	12	8.3	41.7	25.0	50.0
	男性 私立	227	13.7	25.6	25.6	55.1
	女性	644	16.8	47.7	34.0	37.3
	女性 国立	93	11.8	50.5	24.7	39.8
	女性 公立	61	8.2	37.7	32.8	47.5
	女性 私立	490	18.8	48.4	35.9	35.5

### ⑨性別×大学種別×ご自身が世話をする理由

◇ご自身が世話をする理由については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

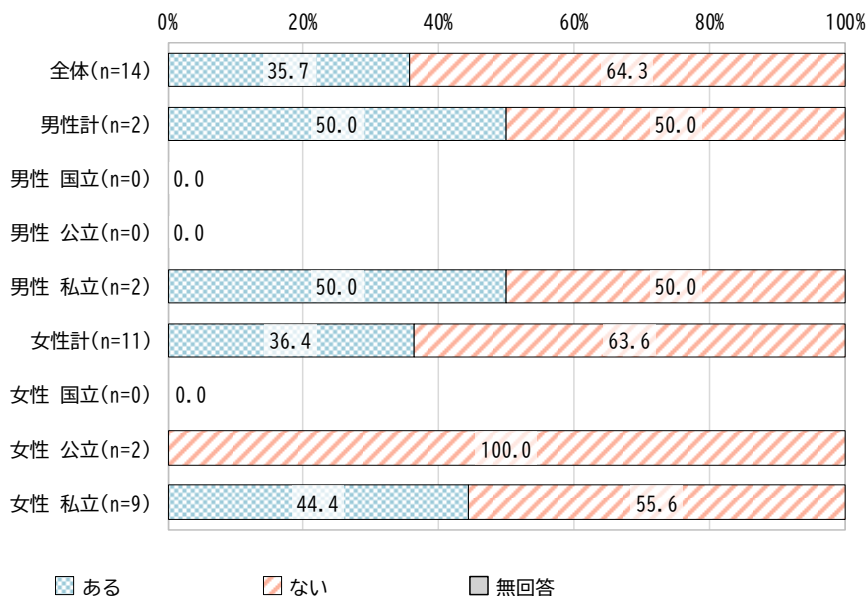
		(%)						
		調査数 (n=)	自分がお世話をしたい	自分がお世話をするため	ほかにお世話をするため	ほかの家族や親せき等に 言われてお世話をするため	その他	わからない・考えたこと
熊本県	全体	14	28.6	71.4	50.0	28.6	0.0	21.4
	男性	2	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	男性 国立	0	-	-	-	-	-	-
	男性 公立	0	-	-	-	-	-	-
	男性 私立	2	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	女性	11	36.4	63.6	45.5	27.3	0.0	27.3
	女性 国立	0	-	-	-	-	-	-
	女性 公立	2	50.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	女性 私立	9	33.3	55.6	44.4	22.2	0.0	33.3
全国	全体	987	25.2	46.9	27.0	13.4	4.1	23.7
	男性	296	22.3	36.1	18.9	10.1	3.7	35.8
	男性 国立	57	19.3	40.4	26.3	15.8	1.8	35.1
	男性 公立	12	33.3	41.7	8.3	0.0	0.0	33.3
	男性 私立	227	22.5	34.8	17.6	9.3	4.4	36.1
	女性	644	27.5	51.7	30.4	14.1	3.9	18.2
	女性 国立	93	24.7	64.5	33.3	15.1	5.4	17.2
	女性 公立	61	32.8	55.7	27.9	18.0	3.3	13.1
	女性 私立	490	27.3	48.8	30.2	13.5	3.7	19.0

## ⑩性別×大学種別×世話について相談した経験の有無

◇世話について相談した経験の有無については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

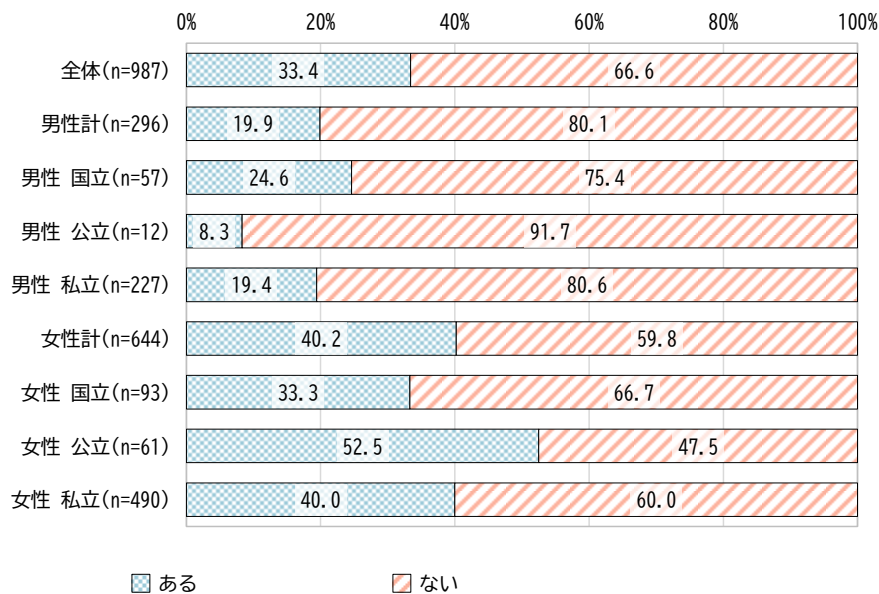
### 今回調査

〈単数回答〉



### 全国調査

〈単数回答〉



## ⑪性別×大学種別×世話についての相談相手

◇世話についての相談相手については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n)	い 父、 祖 母、 き ょう だ	家 族 (父、 母、 祖 ど)	親 戚 (お じ、 お ば な)	友 人	交 際 相 手、 配 偶 者	大 学 の 指 導 教 員	大 学 の 学 生 相 談 室 や キ ャ リ ア 支 援 室 ・ 保 健 セ ン タ ー	そ の 他 の 大 学 の 職 員 ・ 機 関	医 師 や 看 護 師、 そ の 他 病 院 の 人	ア マ ネ ー ジ ャ ー、 福 祉 サ ー ビ ス の 人	ホ ー ム ヘル パー や ケ ア サ ー ビ ス の 人	役 所 の 人 (自 治 体 の 保 健 セ ン タ ー 等 含 む)	近 所 の 人	い い 知 り 合	そ の 他
熊本県	全体	5	80.0	0.0	80.0	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	男性	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性 国立	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 公立	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 私立	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性	4	100.0	0.0	75.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	女性 国立	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性 公立	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性 私立	4	100.0	0.0	75.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
全国	全体	330	52.4	14.8	49.7	16.7	11.5	12.7	1.8	4.5	4.5	3.6	2.4	4.5	7.3		
	男性	59	67.8	13.6	39.0	10.2	5.1	8.5	1.7	3.4	3.4	6.8	5.1	3.4	1.7		
	男性 国立	14	78.6	21.4	14.3	21.4	14.3	21.4	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0		
	男性 公立	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	男性 私立	44	63.6	9.1	47.7	6.8	2.3	4.5	0.0	2.3	0.0	6.8	6.8	4.5	2.3		
	女性	259	49.8	15.1	51.4	18.1	12.7	13.5	1.9	4.2	5.0	2.7	1.9	4.2	8.5		
	女性 国立	31	41.9	16.1	61.3	16.1	9.7	6.5	0.0	6.5	9.7	3.2	3.2	0.0	19.4		
	女性 公立	32	50.0	28.1	43.8	21.9	12.5	18.8	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0		
	女性 私立	196	51.0	12.8	51.0	17.9	13.3	13.8	2.0	4.6	5.1	3.1	2.0	5.1	8.2		

## ⑫性別×大学種別×大学や周りの大人に助けてほしいこと、必要としている支援

◇大学や周りの大人に助けてほしいこと、必要としている支援については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n)	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、ケアのことも説明してほしい	家族の病気がほしくない	すべてを代わってくれる人	自分が行っているお世話のサービスがほしい	自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	大学の勉強や学習のサポート	家庭への経済的な支援	学費への支援・奨学金等	その他	特にない	わからない
熊本県	全体	14	28.6	14.3	14.3	7.1	0.0	35.7	35.7	7.1	14.3	35.7	0.0	35.7	14.3		
	男性	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0		
	男性 国立	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	男性 公立	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	男性 私立	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0		
	女性	11	27.3	9.1	18.2	9.1	0.0	27.3	36.4	9.1	9.1	27.3	0.0	45.5	9.1		
	女性 国立	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	女性 公立	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0		
	女性 私立	9	33.3	11.1	22.2	11.1	0.0	22.2	33.3	0.0	11.1	22.2	0.0	44.4	11.1		
全国	全体	987	21.7	10.6	5.9	7.4	2.5	26.2	28.3	18.5	23.4	28.3	2.5	26.2	10.2		
	男性	296	17.6	6.4	4.1	6.1	0.3	20.6	22.3	14.5	15.9	23.6	1.7	33.4	11.5		
	男性 国立	57	17.5	3.5	3.5	8.8	1.8	24.6	28.1	14.0	19.3	17.5	3.5	42.1	7.0		
	男性 公立	12	8.3	8.3	8.3	8.3	0.0	25.0	25.0	8.3	25.0	16.7	0.0	25.0	25.0		
	男性 私立	227	18.1	7.0	4.0	5.3	0.0	19.4	20.7	15.0	14.5	25.6	1.3	31.7	11.9		
	女性	644	23.0	12.1	6.2	7.3	3.3	28.4	30.7	20.0	26.2	30.4	2.6	23.6	9.5		
	女性 国立	93	24.7	16.1	9.7	9.7	3.2	26.9	25.8	17.2	26.9	22.6	1.1	31.2	6.5		
	女性 公立	61	18.0	11.5	4.9	4.9	4.9	23.0	26.2	13.1	27.9	36.1	1.6	24.6	9.8		
	女性 私立	490	23.3	11.4	5.7	7.1	3.1	29.4	32.2	21.4	25.9	31.2	3.1	22.0	10.0		



## 6-3 家族構成による世話の状況の違い

### (1) 家庭や家族のことについて

#### ① 家族構成×世話を必要としている家族

◇世話を必要としている家族については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

		(%)						
		調査数 (n)	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他
熊本県	全体	14	14.3	7.1	14.3	28.6	50.0	0.0
	二世代会世帯	4	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0
	三世代会世帯	0	-	-	-	-	-	-
	ひとり親世帯	5	20.0	20.0	0.0	40.0	40.0	0.0
	祖父母のみ世帯	0	-	-	-	-	-	-
	その他、一人暮らし等	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
全国	全体	987	35.4	20.5	32.8	17.2	26.5	4.7
	二世代会世帯	335	38.2	21.8	26.9	14.3	24.5	3.9
	三世代会世帯	149	20.8	12.8	58.4	32.2	18.1	6.0
	ひとり親世帯	121	43.8	14.0	22.3	9.1	27.3	3.3
	祖父母のみ世帯	19	10.5	15.8	63.2	31.6	21.1	10.5
	その他、一人暮らし等	363	37.2	24.8	29.8	15.7	32.0	5.0

※家族構成の軸に関しては、

母親、父親、祖母、祖父の有無で分類をしており、「祖父母のみ世帯」は、母親、父親ともに同居しておらず、祖母、祖父の両方またはいずれかと同居している人を指す(きょうだいはいる人を含む)。

「二世代会世帯」はふたり親家庭を指す。以降同様。

## ②家族構成×行っている（行っていた）世話の内容

### ■母親

◇母親に行っている（行っていた）世話の内容については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

		(%)												
		調査数 (n)	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいの世話を 保育所等への送迎など	身体的な介護（入浴やトイレ、食事のお世話など）	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	家計を助ける（働く）	その他
熊本県	全体	2	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	二世代世帯	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	三世代世帯	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ひとり親世帯	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	祖父母のみ世帯	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他、一人暮らし等	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	全体	349	69.9	13.5	7.2	24.6	13.2	42.7	23.5	3.4	10.0	7.7	17.2	5.2
	二世代世帯	128	75.0	12.5	7.0	27.3	18.8	43.8	27.3	3.9	7.0	7.8	13.3	4.7
	三世代世帯	31	77.4	16.1	6.5	45.2	12.9	32.3	16.1	0.0	9.7	16.1	12.9	6.5
	ひとり親世帯	53	84.9	13.2	7.5	32.1	17.0	54.7	28.3	1.9	13.2	11.3	26.4	1.9
	祖父母のみ世帯	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他、一人暮らし等	135	58.5	14.1	7.4	14.8	5.9	39.3	18.5	4.4	11.9	4.4	18.5	6.7

## ■父親

◇父親に行っている（行っていた）世話の内容については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

		(%)													
		調査数 (n)	家事（食 事の準備 や掃除、 洗濯）	保育所等 への送迎 など	きょうだ いの世話 や	身体的な 介護（入 浴やトイレ 、食事の お世話な ど）	外出の付 き添い	通院の付 き添い	感情面の サポート （愚痴を 聞く、話 し相手にな るなど）	見守り	通訳（日 本語や手 話など）	金銭管理	薬の管理	家計を助 ける（働 く）	その他
熊本県	全体	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	二世代世帯	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	三世代世帯	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ひとり親世帯	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	祖父母のみ世帯	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他、一人暮らし等	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	全体	202	56.9	8.4	9.9	15.8	13.9	19.3	20.3	2.5	9.9	8.9	18.3	8.4	
	二世代世帯	73	67.1	2.7	8.2	15.1	11.0	19.2	20.5	2.7	5.5	8.2	16.4	12.3	
	三世代世帯	19	42.1	21.1	15.8	21.1	21.1	15.8	31.6	0.0	5.3	5.3	31.6	0.0	
	ひとり親世帯	17	70.6	17.6	23.5	17.6	29.4	29.4	23.5	0.0	0.0	17.6	5.9	0.0	
	祖父母のみ世帯	3	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他、一人暮らし等	90	48.9	7.8	7.8	15.6	11.1	18.9	16.7	3.3	16.7	8.9	20.0	8.9	

## ■祖母

◇祖母に行っている（行っていた）世話の内容については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数（n）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	保育所等への送迎やきょうだいの世話など	身体的な介護（入浴やトイレ、食事のお世話など）	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	家計を助ける（働く）	その他
熊本県	全体	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	二世世代帯	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	三世世代帯	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ひとり親世帯	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	祖父母のみ世帯	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他、一人暮らし等	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	全体	324	51.5	3.1	26.5	33.6	25.9	36.7	57.4	0.3	5.2	15.4	2.5	3.1
	二世世代帯	90	40.0	1.1	26.7	32.2	28.9	27.8	56.7	0.0	4.4	16.7	2.2	4.4
	三世世代帯	87	60.9	3.4	24.1	32.2	24.1	35.6	56.3	0.0	6.9	20.7	1.1	2.3
	ひとり親世帯	27	55.6	0.0	44.4	25.9	37.0	37.0	63.0	0.0	11.1	29.6	3.7	3.7
	祖父母のみ世帯	12	66.7	8.3	0.0	41.7	33.3	50.0	50.0	0.0	8.3	8.3	8.3	0.0
	その他、一人暮らし等	108	50.9	4.6	26.9	37.0	21.3	43.5	58.3	0.9	2.8	7.4	2.8	2.8

## ■祖父

◇祖父に行っている（行っていた）世話の内容については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

		(%)													
		調査数 (n)	家事（食 事の準備 や掃除、 洗濯）	保育所等 への送迎 など	きょうだ いの世話 や	身体的な 介護（入 浴やトイレ 、食事の お世話な ど）	外出の付 き添い	通院の付 き添い	感情面の サポート （愚痴を 聞く、話 し相手にな るなど）	見守り	通訳（日 本語や手 話など）	金銭管理	薬の管理	家計を助 ける（働 く）	その他
熊本県	全体	4	25.0	0.0	75.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	二世代世帯	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	三世代世帯	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ひとり親世帯	2	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	祖父母のみ世帯	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他、一人暮らし等	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全国	全体	170	48.2	1.8	26.5	29.4	28.8	28.2	56.5	1.2	4.1	11.8	1.2	2.4	
	二世代世帯	48	37.5	2.1	31.3	41.7	37.5	33.3	66.7	2.1	6.3	16.7	0.0	2.1	
	三世代世帯	48	60.4	0.0	22.9	20.8	22.9	31.3	50.0	0.0	4.2	8.3	0.0	2.1	
	ひとり親世帯	11	54.5	0.0	45.5	54.5	72.7	45.5	63.6	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0	
	祖父母のみ世帯	6	83.3	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	
	その他、一人暮らし等	57	42.1	3.5	22.8	24.6	19.3	19.3	56.1	0.0	1.8	12.3	0.0	3.5	

## ■きょうだい

◇きょうだいに行っている（行っていた）世話の内容については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数（n）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	身体的な介護（入浴やトイレ、食事のお世話など）	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	（働く）家計を助ける	その他
熊本県	全体	7	57.1	57.1	28.6	28.6	0.0	0.0	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	二世世代帯	3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	三世世代帯	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ひとり親世帯	2	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	祖父母のみ世帯	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他、一人暮らし等	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	全体	262	59.9	35.1	11.5	22.1	6.1	30.5	45.4	1.1	3.8	2.7	6.9	4.6
	二世世代帯	82	62.2	40.2	11.0	22.0	4.9	31.7	48.8	0.0	1.2	1.2	7.3	6.1
	三世世代帯	27	44.4	29.6	14.8	25.9	3.7	37.0	51.9	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7
	ひとり親世帯	33	63.6	42.4	15.2	33.3	12.1	27.3	42.4	6.1	9.1	3.0	12.1	3.0
	祖父母のみ世帯	4	75.0	50.0	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	その他、一人暮らし等	116	60.3	30.2	10.3	19.0	5.2	29.3	42.2	0.9	4.3	3.4	6.9	4.3

### ③家族構成×一緒に世話をしている人

◇一緒に世話をしている人については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

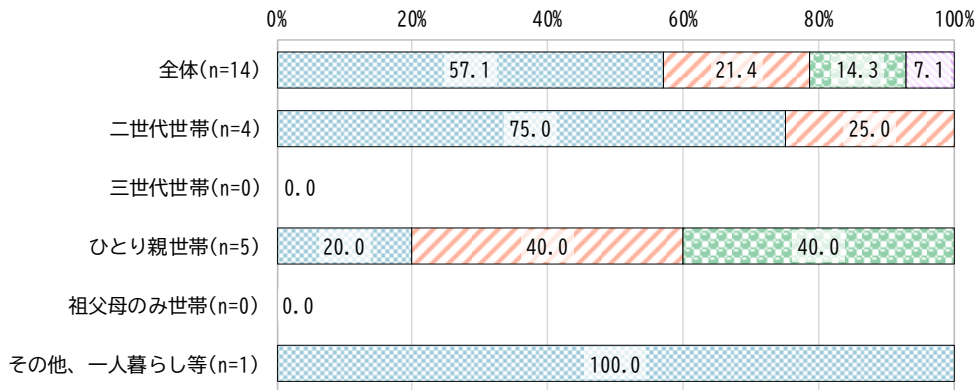
			母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	親戚の人	自分のみ	福祉サービス（ヘルパーなど）を利用	その他
		調査数（n）									
熊本県	全体	14	64.3	35.7	14.3	14.3	21.4	7.1	21.4	21.4	0.0
	二世帯世帯	4	100.0	75.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	三世帯世帯	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ひとり親世帯	5	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0
	祖父母のみ世帯	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他、一人暮らし等	1	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0
全国	全体	987	52.9	36.2	11.8	5.6	27.3	7.4	20.2	14.1	1.3
	二世帯世帯	335	50.4	43.9	8.4	3.0	25.4	6.9	21.2	9.9	1.2
	三世帯世帯	149	70.5	37.6	22.1	8.1	28.9	4.0	6.7	26.2	0.7
	ひとり親世帯	121	36.4	14.0	5.0	1.7	27.3	8.3	30.6	14.9	1.7
	祖父母のみ世帯	19	26.3	15.8	21.1	0.0	15.8	5.3	26.3	10.5	5.3
	その他、一人暮らし等	363	54.8	36.9	12.4	8.5	28.9	9.1	20.4	12.9	1.4

#### ④家族構成×世話をしている（していた）頻度

◇世話をしている（していた）頻度については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

##### 今回調査

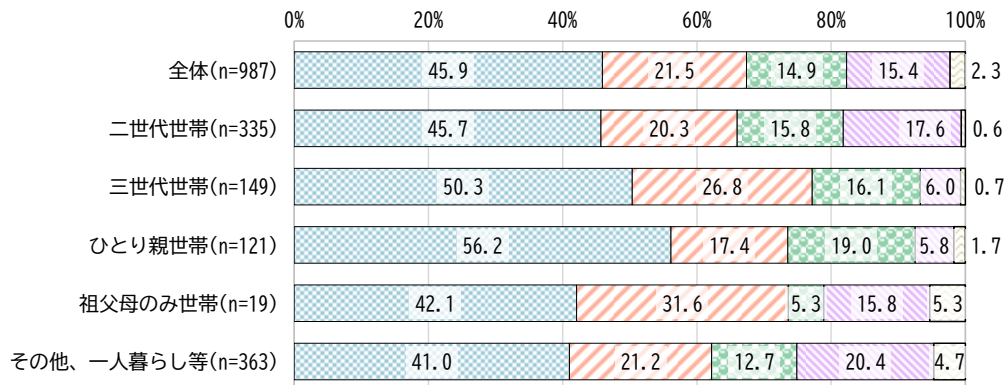
〈単数回答〉



ほぼ毎日  
  週に3~5日  
  週に1~2日  
  1ヶ月に数日  
  その他  
  無回答

##### 全国調査

〈単数回答〉



ほぼ毎日  
  週に3~5日  
  週に1~2日  
  1ヶ月に数日  
  その他

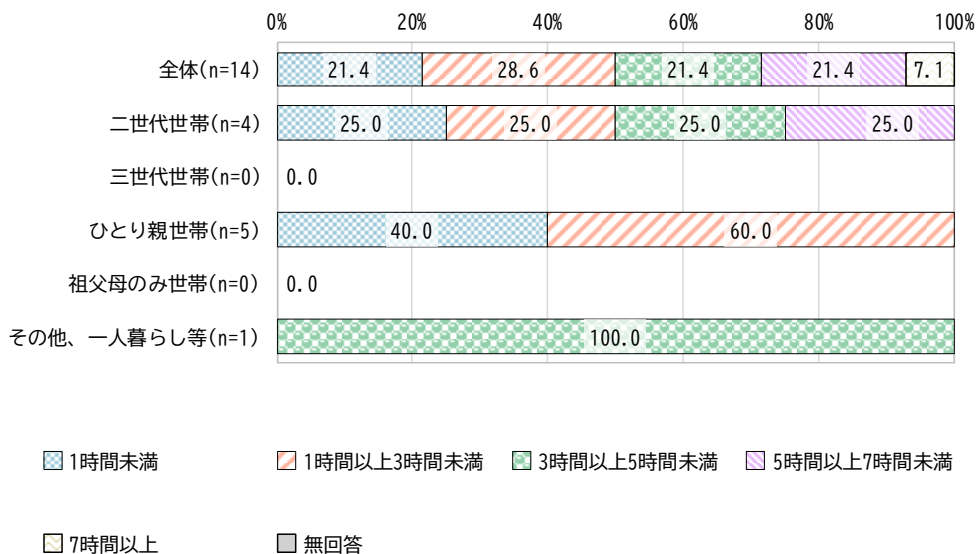


## ⑤ 家族構成 × 平日 1 日あたりに世話に費やす時間

◇ 平日 1 日あたりに世話に費やす時間については、n 数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

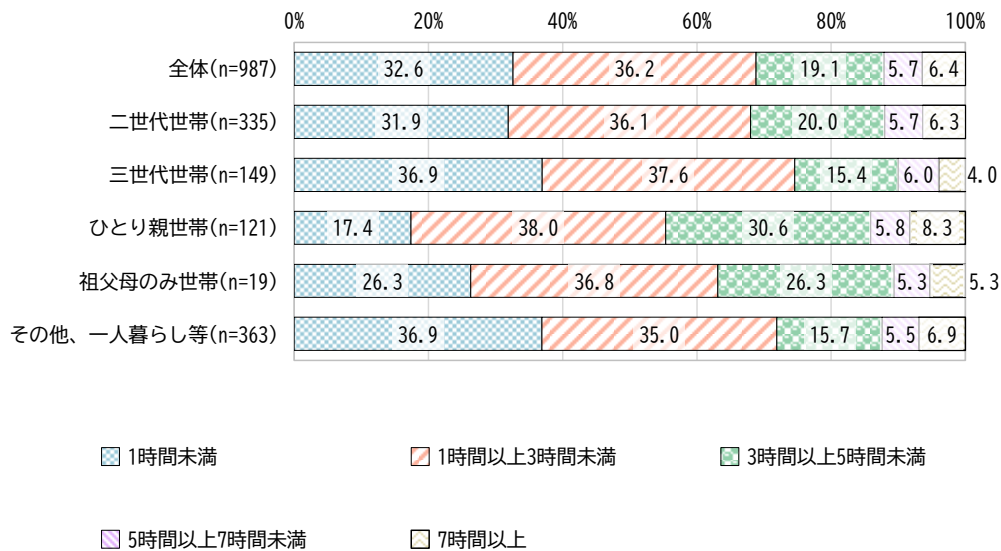
### 今回調査

〈単数回答〉



### 全国調査

〈単数回答〉



## ⑥家族構成×世話をしていることで、大学進学の際に苦勞したこと・影響

◇世話を始めた時期が大学入学以前と答えた人に対し、世話をしていることで、大学進学の際に苦勞したこと・影響については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n)	が受 取 れ な か つ た	験 勉 強 を す る 時 間	的 学 費 不 安 が 制 約 つ た	学 制 約 が 困	あ つ た	等 の 通 学 の 制 約 が	実 家 か ら 通 え る 範 囲	た 先 す る よ う 求 め ら れ	家 族 等 か ら 世 話 を れ	迷 つ た	進 学 す る か 働 く か	迷 つ た	大 学 以 外 の 進 学 先 と	そ の 他	特 に な い
熊本県	全体	11	27.3	36.4	18.2	0.0	9.1	18.2	9.1	54.5							
	二世代世帯	4	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0							
	三世代世帯	0	-	-	-	-	-	-	-	-							
	ひとり親世帯	4	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0							
	祖父母のみ世帯	0	-	-	-	-	-	-	-	-							
	その他、一人暮らし等	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0							
全国	全体	633	21.6	26.7	13.1	10.7	12.2	7.1	6.3	48.0							
	二世代世帯	199	17.6	23.6	16.1	8.5	8.0	6.0	4.0	54.3							
	三世代世帯	77	18.2	13.0	20.8	15.6	6.5	2.6	3.9	54.5							
	ひとり親世帯	75	33.3	42.7	17.3	16.0	17.3	8.0	8.0	28.0							
	祖父母のみ世帯	9	22.2	11.1	0.0	0.0	22.2	11.1	0.0	55.6							
	その他、一人暮らし等	273	22.3	28.9	8.1	9.9	15.0	8.8	8.4	46.9							

## ⑦家族構成×世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたこと

◇世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたことについては、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n=)	大学の授業に行けなかった	単位をとれなかった、留年・休学した	課題・予習復習をする時間が取れなかった	留学をあきらめた	睡眠が十分に取れなかった	友人と遊ぶことができなかった	部活動・サークル活動ができなかった、もしくは辞めざるを得なかった	課外活動・習い事ができなかった、もしくは辞めざるを得なかった	アルバイトができなかった	就職先・進路の変更を考えた	一人暮らしをしたくてできなかった	恋愛をしたくてできなかった	自分の時間が取れなかった	その他	特になかった	
熊本県	全体	14	7.1	0.0	21.4	7.1	42.9	42.9	7.1	14.3	28.6	0.0	0.0	7.1	42.9	0.0	21.4	
	二世代世帯	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	
	三世代世帯	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ひとり親世帯	5	0.0	0.0	40.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	20.0	
	祖父母のみ世帯	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他、一人暮らし等	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
全国	全体	987	4.5	3.6	17.9	5.3	24.4	24.3	9.8	4.8	11.8	7.5	13.2	7.9	32.2	2.1	41.9	
	二世代世帯	335	4.5	3.3	18.8	3.0	23.3	25.4	8.7	3.6	13.4	8.4	14.9	6.9	32.8	2.4	43.0	
	三世代世帯	149	5.4	3.4	20.8	4.7	24.8	24.2	10.7	4.0	11.4	6.0	18.1	8.1	36.9	0.7	38.9	
	ひとり親世帯	121	5.8	5.0	25.6	5.8	35.5	28.9	12.4	9.1	16.5	3.3	22.3	13.2	42.1	3.3	24.0	
	祖父母のみ世帯	19	5.3	0.0	0.0	0.0	21.1	15.8	10.5	0.0	21.1	10.5	10.5	5.3	31.6	5.3	36.8	
	その他、一人暮らし等	363	3.6	3.9	14.3	7.7	21.8	22.3	9.6	5.0	8.3	8.5	6.6	7.2	26.4	1.9	48.5	

## ⑧家族構成×世話をしている（していた）ことで今後不安なこと、やりたいけどできなさそうなこと

◇世話をしている（していた）ことで今後不安なこと、やりたいけどできなさそうなことについては、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n)	大学の授業に行きたくても行けない	単位取得、進学・卒業できるか不安がある	課題・予習復習をする時間が取れない	留学にいけない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活や習い事ができない	部活動・サークル活動ができない	課外活動・習い事ができない	アルバイトができない	就職活動の時間が取れない	希望する就職先・進路の変更を考えざるを得ない	一人暮らしができるか不安がある	恋愛・結婚に対する不安がある	自分の時間が取れない	その他	特になし	
熊本県	全体	14	7.1	14.3	14.3	0.0	7.1	7.1	7.1	-	-	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3	21.4	7.1	50.0	
	二世代世帯	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	75.0	
	三世代世帯	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ひとり親世帯	5	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	-	-	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0
	祖父母のみ世帯	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他、一人暮らし等	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
全国	全体	987	2.8	8.0	8.5	4.4	12.9	9.9	-	2.9	3.1	7.4	11.4	13.6	15.9	14.4	20.1	3.5	51.9	
	二世代世帯	335	3.0	9.6	9.9	4.5	12.2	10.1	-	2.4	2.4	9.3	12.8	11.9	19.4	13.4	20.3	3.0	54.6	
	三世代世帯	149	2.0	5.4	10.1	4.7	12.1	13.4	-	4.0	3.4	8.7	12.1	13.4	25.5	13.4	26.2	2.7	48.3	
	ひとり親世帯	121	3.3	10.7	8.3	3.3	19.0	13.2	-	3.3	5.0	10.7	14.0	9.9	23.1	16.5	28.9	3.3	38.0	
	祖父母のみ世帯	19	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-	5.3	5.3	5.3	5.3	26.3	31.6	15.8	26.3	5.3	42.1	
	その他、一人暮らし等	363	3.0	7.2	7.2	4.7	12.1	7.4	-	2.8	3.0	4.1	9.4	15.7	5.5	14.9	14.0	4.4	55.9	

### ⑨家族構成×世話をしていることで生ずる就職に関する不安

◇世話をしていることで生ずる就職に関する不安については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n)	正社員として就職できず不安がある	休まず働けるか不安がある	通勤できる地域に限られる	働ける時間帯が限られる	就職先について考える時間がない	その他	わからない	特にない
熊本県	全体	14	28.6	21.4	14.3	7.1	14.3	7.1	21.4	42.9
	二世帯世帯	4	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0
	三世帯世帯	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	ひとり親世帯	5	40.0	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	60.0
	祖父母のみ世帯	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他、一人暮らし等	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
全国	全体	987	13.9	11.4	13.4	7.0	7.8	2.0	12.9	54.9
	二世帯世帯	335	13.7	11.0	11.9	6.9	7.5	2.1	12.8	56.4
	三世帯世帯	149	13.4	14.1	17.4	8.1	7.4	1.3	16.8	51.7
	ひとり親世帯	121	16.5	11.6	15.7	5.0	12.4	0.0	17.4	43.8
	祖父母のみ世帯	19	15.8	15.8	15.8	10.5	0.0	0.0	15.8	42.1
	その他、一人暮らし等	363	13.2	10.5	12.1	7.2	7.2	3.0	9.6	59.2

## ⑩家族構成×世話をすることで感じるきつさ

◇世話をすることで感じるきつさについては、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n)	身体的 にきつい	精神的 にきつい	時間的 余裕がない	特 に き つ さ を 感 じ て い な い
熊本県	全体	14	21.4	71.4	28.6	21.4
	二世代世帯	4	0.0	25.0	25.0	75.0
	三世代世帯	0	-	-	-	-
	ひとり親世帯	5	0.0	100.0	20.0	0.0
	祖父母のみ世帯	0	-	-	-	-
	その他、一人暮らし等	1	100.0	100.0	0.0	0.0
全国	全体	987	16.3	42.4	31.8	41.8
	二世代世帯	335	15.5	44.5	33.7	40.9
	三世代世帯	149	12.8	45.0	34.2	37.6
	ひとり親世帯	121	18.2	53.7	38.8	29.8
	祖父母のみ世帯	19	15.8	31.6	21.1	57.9
	その他、一人暮らし等	363	17.9	36.1	27.3	47.7

## ⑪家族構成×大学や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援

◇大学や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

		(%)													
		調査数 (n=)	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、ケアのこなどについてわかりやすく説明してほしい	自分が行っているお世話のすべを代わってくれる人やサービがほしい	自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービがほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	大学の勉強や学習のサポート	家庭への経済的な支援	学費への支援・奨学金等	その他	特にな	わからない
熊本県	全体	14	28.6	14.3	14.3	7.1	0.0	35.7	35.7	7.1	14.3	35.7	0.0	35.7	14.3
	二世代世帯	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0
	三世代世帯	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ひとり親世帯	5	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0	0.0	20.0	60.0	0.0	40.0	0.0
	祖父母のみ世帯	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他、一人暮らし等	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
全国	全体	987	21.7	10.6	5.9	7.4	2.5	26.2	28.3	18.5	23.4	28.3	2.5	26.2	10.2
	二世代世帯	335	20.0	9.9	6.6	8.7	3.3	29.3	26.0	19.1	24.2	26.0	2.1	27.2	10.4
	三世代世帯	149	21.5	13.4	6.7	7.4	6.0	28.9	36.2	19.5	18.8	24.2	2.0	28.2	7.4
	ひとり親世帯	121	24.8	9.1	4.1	6.6	0.8	26.4	28.9	19.8	28.9	34.7	3.3	17.4	10.7
	祖父母のみ世帯	19	10.5	5.3	0.0	15.8	5.3	21.1	10.5	0.0	5.3	10.5	5.3	42.1	15.8
	その他、一人暮らし等	363	22.9	11.0	5.8	6.1	0.8	22.6	27.8	18.2	23.7	30.9	2.8	26.7	10.7

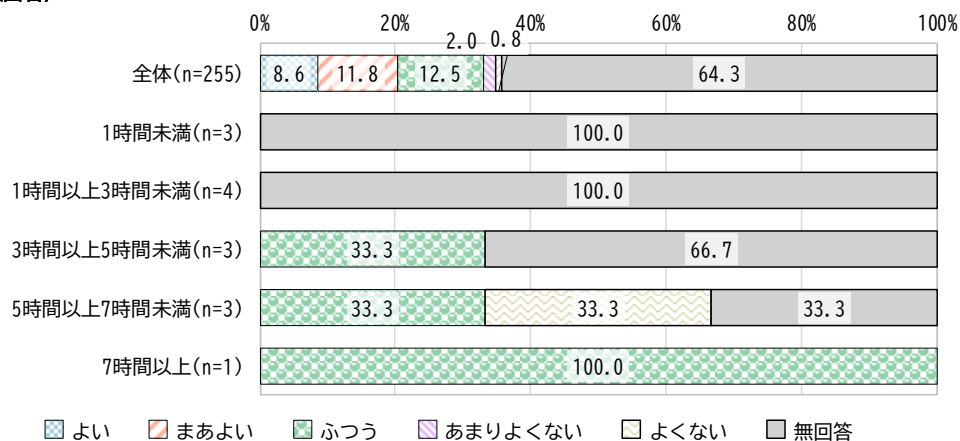
## 6-4 平日1日あたりの世事に費やす時間による生活状況等

### ①平日1日あたりの世事に費やす時間×身体面の健康状態

◇身体面の健康状態については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

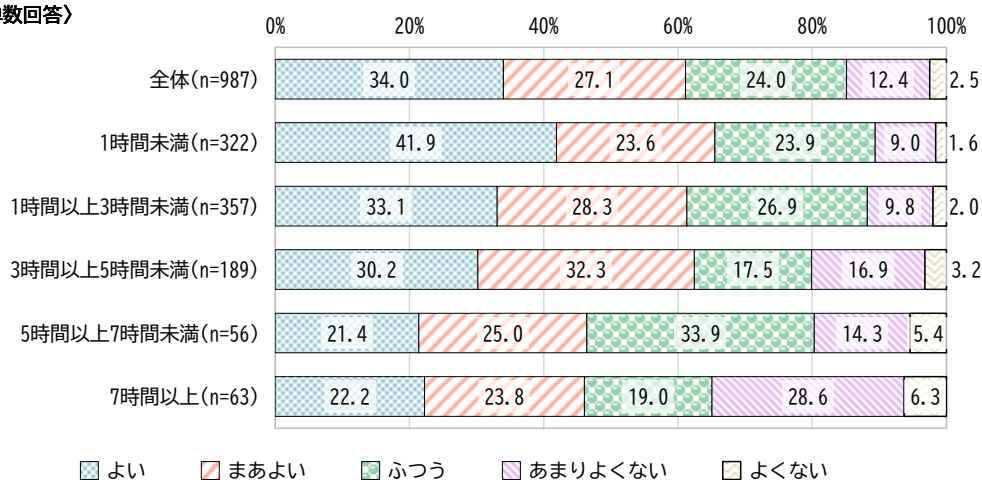
#### 今回調査

〈単数回答〉



#### 全国調査

〈単数回答〉



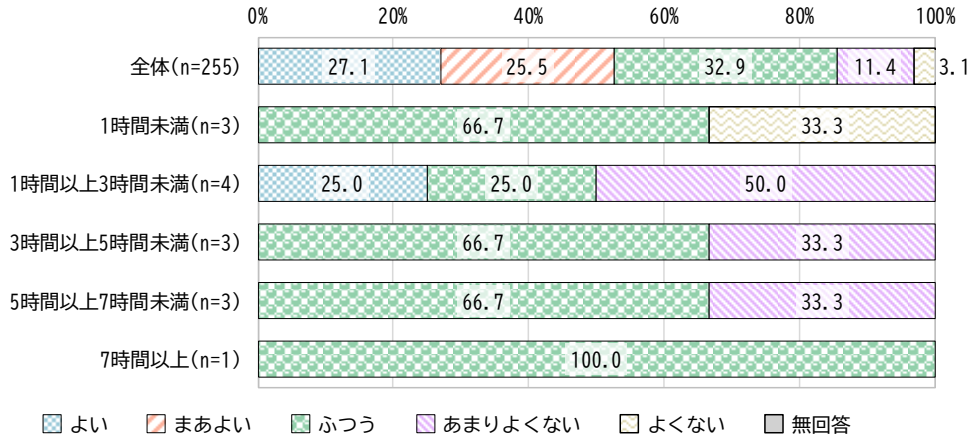


## ②平日 1日あたりの世事に費やす時間×精神面の健康状態

◇精神面の健康状態については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

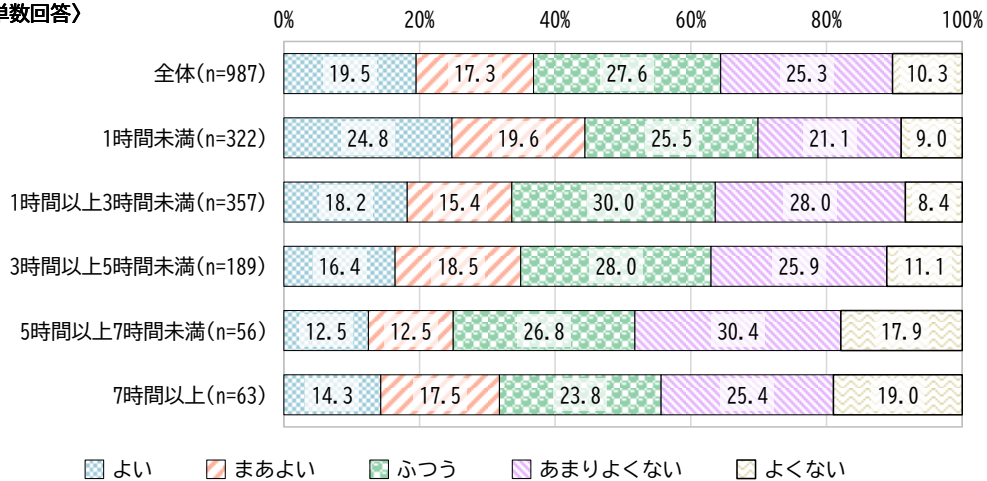
### 今回調査

〈単数回答〉



### 全国調査

〈単数回答〉

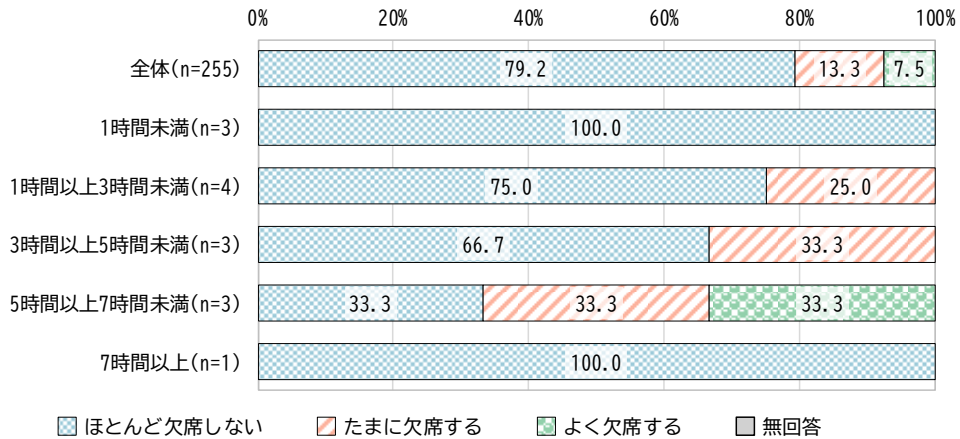


### ③平日1日あたりの世話に費やす時間×大学の授業（履修している講義）への出席状況

◇大学の授業（履修している講義）への出席状況については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

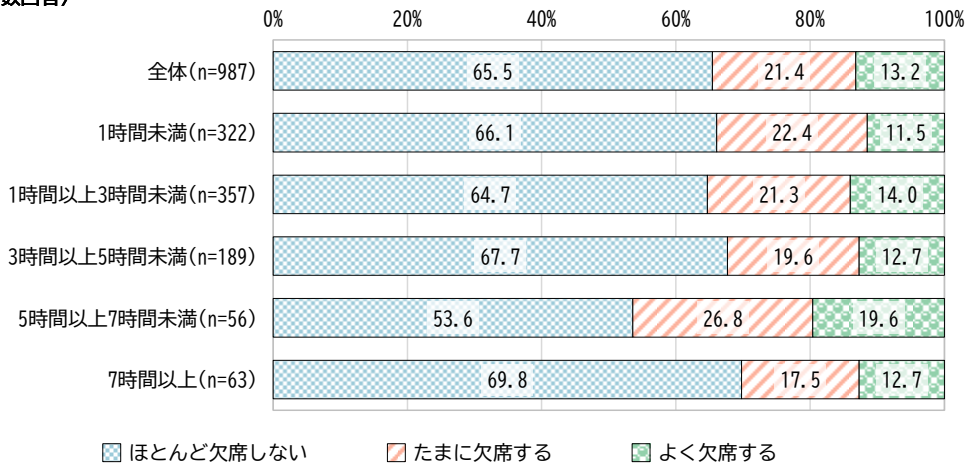
#### 今回調査

〈単数回答〉



#### 全国調査

〈単数回答〉

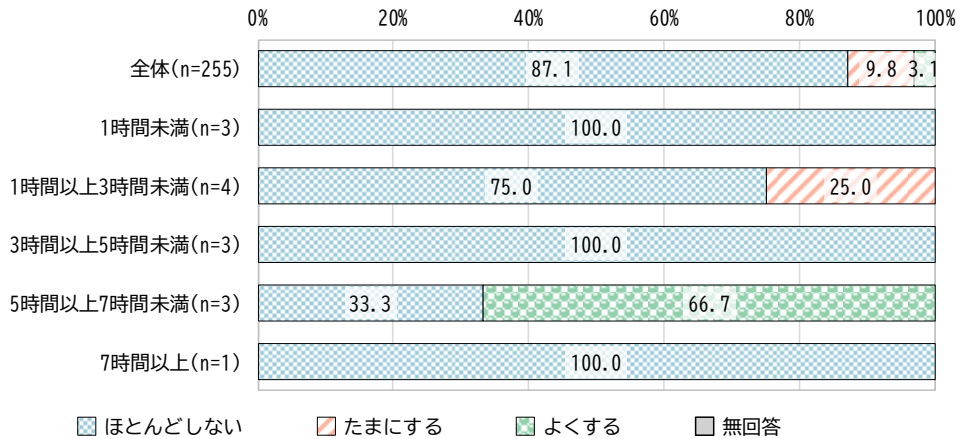


#### ④平日1日あたりの世화에費やす時間×大学の授業（履修している講義）への遅刻や早退の状況

◇大学の授業（履修している講義）への遅刻や早退の状況については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

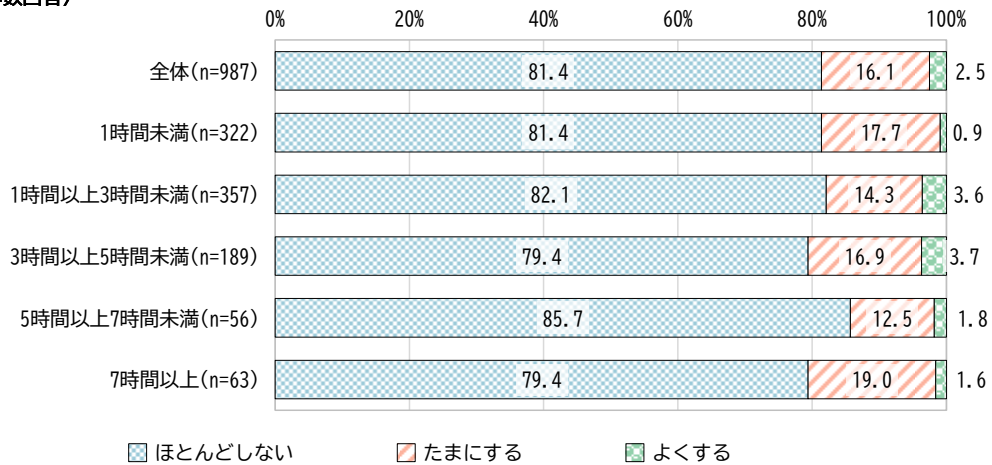
##### 今回調査

〈単数回答〉



##### 全国調査

〈単数回答〉



⑤平日1日あたりの世話を費やす時間×普段の大学生活等においてあてはまるもの

◇普段の大学生活等においてあてはまるものについては、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n)	授業を欠席しがちである	課題や予習復習が多い	持ち物の忘れ物が多い	部活・サークル等を休むことが多い	提出しなげればいけない書類などの提出が遅れることが多い	提出しなげればいけない書類などの提出が遅れることが多い	合宿等の行事を欠席する	大学では1人で過ごすことが多い	友人と遊んだり、話したりする時間が少ない	特にな
熊本県	全体	255	3.9	14.9	6.3	4.3	11.0	1.6	22.0	22.4	52.9	
	1時間未満	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	66.7	
	1時間以上3時間未満	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	50.0	
	3時間以上5時間未満	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	
	5時間以上7時間未満	3	33.3	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	
	7時間以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	
	全国	全体	987	9.7	24.7	9.8	6.9	15.0	4.0	30.1	32.6	33.5
1時間未満	322	6.2	24.2	6.8	6.8	14.0	2.5	30.1	30.4	34.5		
1時間以上3時間未満	357	11.8	23.2	9.8	5.6	12.9	3.1	27.2	28.6	37.5		
3時間以上5時間未満	189	11.6	28.0	11.6	5.8	19.0	5.8	33.3	37.6	28.0		
5時間以上7時間未満	56	8.9	25.0	14.3	17.9	25.0	8.9	37.5	41.1	25.0		
7時間以上	63	11.1	25.4	15.9	7.9	11.1	6.3	30.2	44.4	30.2		

## ⑥平日 1日あたりの世話に費やす時間×現在の悩みや困りごと

◇現在の悩みや困りごとについては、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n)	友人との関係のこと	学業成績のこと	就職・進路のこと	部活動・サークル活動のこと	金のこと	学校生活に必要なお金のこと	学費(授業料)など	課題活動や習い事ができないこと	アルバイト・仕事のこと	家庭の経済状況のこと	自分と家族との関係	こと(両親の仲が良くないなど)	家族内の人間関係のこと	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	その他	特になし
熊本県	全体	255	16.1	23.9	68.2	2.7	19.2	2.7	18.8	13.3	8.2	6.7	3.9	10.6	2.0	15.7			
	1時間未満	3	0.0	33.3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3			
	1時間以上3時間未満	4	25.0	50.0	75.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	25.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0			
	3時間以上5時間未満	3	0.0	33.3	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	33.3	66.7	66.7	33.3	0.0	0.0			
	5時間以上7時間未満	3	0.0	66.7	100.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0			
	7時間以上	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0			
	全国	全体	987	19.1	31.3	77.8	9.0	35.5	8.3	32.4	31.6	23.9	20.2	17.5	24.3	5.1	4.9		
1時間未満	322	16.8	28.6	74.8	9.9	28.9	5.9	24.2	25.8	16.8	14.3	10.2	21.7	4.0	6.2				
1時間以上3時間未満	357	17.4	29.1	78.4	8.1	36.4	6.2	30.5	33.3	22.7	20.4	16.8	20.4	4.5	5.0				
3時間以上5時間未満	189	23.8	33.9	78.3	10.1	38.1	12.7	42.3	31.2	30.2	23.8	22.2	33.9	4.2	2.6				
5時間以上7時間未満	56	26.8	46.4	82.1	10.7	50.0	17.9	41.1	39.3	32.1	23.2	25.0	25.0	7.1	3.6				
7時間以上	63	20.6	36.5	84.1	4.8	42.9	11.1	47.6	46.0	41.3	34.9	38.1	30.2	14.3	4.8				

⑦平日1日あたりの世話に費やす時間×世話をしていることで、大学進学の際に苦勞したこと・影響

◇世話を始めた時期が大学入学以前と答えた人に対し、世話をしていることで、大学進学の際に苦勞したこと・影響については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (nⅡ)	が受 取れ 勉強 なかつ た時間	的学 な費 不安 の制 約あ つた 経済	あ等 つの た通 学 面 の 制 約 が 困	実家 から 通 え る 範 囲	た先 す る よ う 求 め ら れ 優	迷進 つ学 たす るか 働 く か	迷大 つ学 た以 外の 進 学 先 と	そ の 他	特 に な い
熊本県	全体	11	27.3	36.4	18.2	0.0	9.1	18.2	9.1	54.5	
	1時間未満	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	
	1時間以上3時間未満	4	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	
	3時間以上5時間未満	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
	5時間以上7時間未満	3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	
	7時間以上	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	全体	633	21.6	26.7	13.1	10.7	12.2	7.1	6.3	48.0	
	1時間未満	192	10.4	13.5	5.7	4.7	9.4	5.7	4.2	64.1	
	1時間以上3時間未満	220	20.5	30.0	14.1	10.5	12.3	5.5	4.5	45.9	
	3時間以上5時間未満	144	31.3	29.9	20.1	15.3	11.1	9.0	6.9	37.5	
	5時間以上7時間未満	36	44.4	55.6	16.7	8.3	19.4	13.9	11.1	30.6	
	7時間以上	41	26.8	34.1	14.6	26.8	22.0	9.8	19.5	36.6	

## ⑧平日1日あたりの世話に費やす時間×世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたこと

◇世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたことについては、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

		(%)																
		調査数 (n=)	大学の授業に行きたくても 行けなかった	単位をとれなかった、留 年・休学した	課題・予習復習をする時間 が取れなかった	留学をあきらめた	睡眠が十分に取れなかった	友人と遊ぶことができな かった	ざるを得なかった、もしくは 辞めざるを得なかった	部活動・サークル活動がで きなかった、もしくは辞めざる を得なかった	課外活動・習い事ができな かった、もしくは辞めざる を得なかった	アルバイトができなかった	就職先・進路の変更を考え ざるを得なかった・変更し た	一人暮らしをしたくてもで きなかった	恋愛をしたくてもできな かった	自分の時間が取れなかった	その他	特になかった
熊本県	全体	14	7.1	0.0	21.4	7.1	42.9	42.9	7.1	14.3	28.6	0.0	0.0	7.1	42.9	0.0	21.4	
	1時間未満	3	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	
	1時間以上3時間 未満	4	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	
	3時間以上5時間 未満	3	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	33.3		
	5時間以上7時間 未満	3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0		
	7時間以上	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
全国	全体	987	4.5	3.6	17.9	5.3	24.4	24.3	9.8	4.8	11.8	7.5	13.2	7.9	32.2	2.1	41.9	
	1時間未満	322	2.8	1.2	6.2	3.4	7.5	8.7	2.8	1.9	5.3	4.0	6.8	4.7	13.4	0.9	64.6	
	1時間以上3時間 未満	357	3.4	2.8	18.2	3.6	23.0	24.4	9.8	2.8	10.6	6.7	15.4	7.8	35.0	2.2	35.0	
	3時間以上5時間 未満	189	4.2	5.8	27.5	6.9	36.5	38.6	14.3	6.3	17.5	10.1	18.0	8.5	47.6	3.2	27.5	
	5時間以上7時間 未満	56	10.7	12.5	37.5	10.7	51.8	44.6	16.1	19.6	23.2	8.9	14.3	16.1	50.0	3.6	25.0	
	7時間以上	63	14.3	6.3	30.2	14.3	58.7	42.9	27.0	12.7	23.8	20.6	17.5	15.9	50.8	3.2	23.8	

### ⑨平日1日あたりの世話に費やす時間×世話をしていることで生ずる就職に関する不安

◇世話をしていることで生ずる就職に関する不安については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n)	正社員として就職できず不安がある	休まず働けるか不安	通勤できる地域に限られる	働ける時間帯に限られる	就職先について考える	その他	わからない	特になし
熊本県	全体	14	28.6	21.4	14.3	7.1	14.3	7.1	21.4	42.9
	1時間未満	3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
	1時間以上3時間未満	4	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	75.0
	3時間以上5時間未満	3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
	5時間以上7時間未満	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3
	7時間以上	1	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全国	全体	987	13.9	11.4	13.4	7.0	7.8	2.0	12.9	54.9
	1時間未満	322	7.1	5.0	7.8	5.0	3.1	1.2	10.9	68.0
	1時間以上3時間未満	357	14.3	9.5	12.9	6.4	7.0	2.5	13.4	53.8
	3時間以上5時間未満	189	18.5	17.5	18.5	9.0	11.6	1.1	13.8	47.6
	5時間以上7時間未満	56	21.4	23.2	19.6	7.1	14.3	1.8	8.9	42.9
	7時間以上	63	25.4	27.0	23.8	14.3	19.0	6.3	20.6	27.0



### ⑩平日 1日あたりの世話に費やす時間×世話をすることを感じるきつさ

◇世話をすることを感じるきつさについては、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

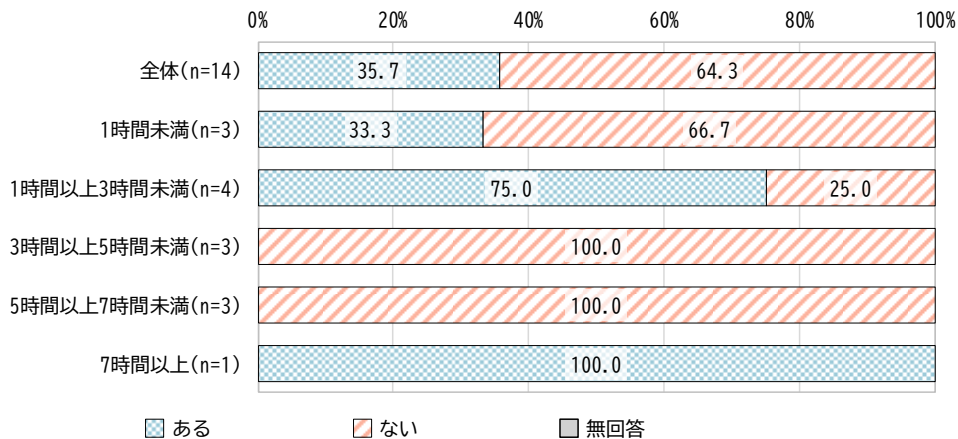
		調査数 (n)	身体的 にきつい	精神的 にきつい	時間的 余裕がない	特 に き つ さ を 感 じ て い な い
熊本県	全体	14	21.4	71.4	28.6	21.4
	1時間未満	3	0.0	66.7	33.3	33.3
	1時間以上3時間未満	4	0.0	75.0	0.0	25.0
	3時間以上5時間未満	3	33.3	100.0	33.3	0.0
	5時間以上7時間未満	3	66.7	33.3	66.7	33.3
	7時間以上	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	全国	全体	987	16.3	42.4	31.8
1時間未満		322	8.4	25.2	14.6	63.0
1時間以上3時間未満		357	14.3	45.1	36.1	37.8
3時間以上5時間未満		189	22.2	56.6	41.8	25.4
5時間以上7時間未満		56	35.7	58.9	50.0	25.0
7時間以上		63	33.3	57.1	49.2	20.6

## ⑪ 平日 1 日あたりの世화에費やす時間×世話について相談した経験の有無

◇世話について相談した経験の有無については、n 数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

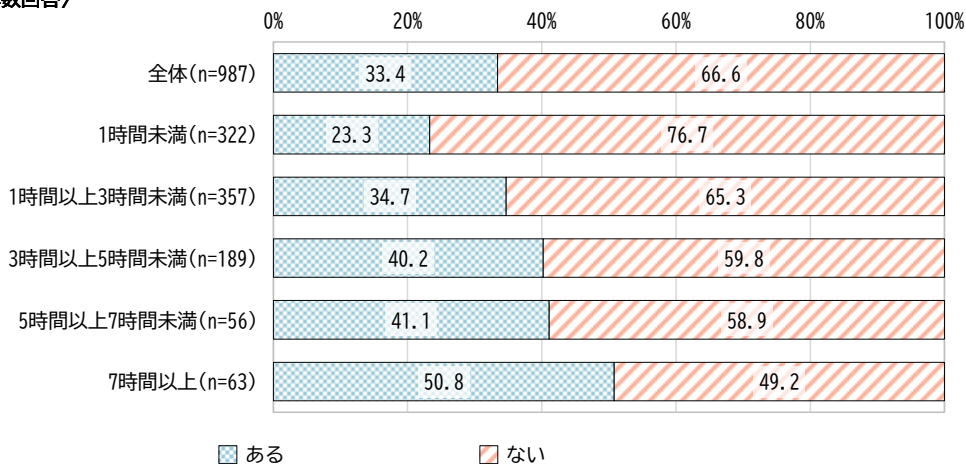
### 今回調査

〈単数回答〉



### 全国調査

〈単数回答〉



## ⑫平日 1日あたりの世話に費やす時間×世話に関する相談相手

◇世話に関する相談相手については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

		(%)													
		調査数 (n=)	家族(父、母、祖父、祖母、きょうだい)	親戚(おじ、おばなど)	友人	交際相手、配偶者	大学の指導教員	大学の学生相談室やキャリア支援室・保健センター	その他の大学の職員・機関	医師や看護師、その他病院の人	ホームヘルパーやケアマネージャー、福祉サービスの人	役所の人(自治体の保健センター等含む)	近所の人	SNS上での知り合い	その他
熊本県	全体	5	80.0	0.0	80.0	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	1時間未満	1	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	1時間以上3時間未満	3	66.7	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3時間以上5時間未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5時間以上7時間未満	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7時間以上	1	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全国	全体	330	52.4	14.8	49.7	16.7	11.5	12.7	1.8	4.5	4.5	3.6	2.4	4.5	7.3
	1時間未満	75	60.0	9.3	44.0	13.3	10.7	12.0	4.0	2.7	0.0	0.0	4.0	1.3	2.7
	1時間以上3時間未満	124	46.8	16.9	54.0	16.9	13.7	14.5	0.8	2.4	2.4	2.4	0.8	7.3	8.1
	3時間以上5時間未満	76	56.6	18.4	47.4	18.4	7.9	11.8	2.6	6.6	7.9	6.6	2.6	2.6	5.3
	5時間以上7時間未満	23	56.5	8.7	47.8	17.4	0.0	4.3	0.0	4.3	8.7	0.0	4.3	8.7	8.7
	7時間以上	32	43.8	15.6	53.1	18.8	21.9	15.6	0.0	12.5	12.5	12.5	3.1	3.1	18.8

⑬平日 1日あたりの世話に費やす時間×悩みを相談していない理由

◇世話について相談した経験が「ない」と答えた人の悩みを相談していない理由については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n)	誰かに相談するほど の悩みではない	家族以外の人の相談 に悩まされず	誰かに相談する人が いない	相談できる人が身近 にいない	家族のこのため話 しにくい	家族のこのため話 しにくい	家族のこのため話 しにくい	家族のこのため話 しにくい	相談しても状況が 変わらない	その他
熊本県	全体	9	33.3	11.1	33.3	22.2	44.4	44.4	22.2	44.4	11.1	
	1時間未満	2	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
	1時間以上3時間未満	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	3時間以上5時間未満	3	33.3	0.0	33.3	33.3	66.7	66.7	0.0	66.7	0.0	
	5時間以上7時間未満	3	33.3	33.3	0.0	0.0	66.7	33.3	33.3	66.7	33.3	
	7時間以上	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
全国	全体	657	52.5	20.2	12.5	11.6	19.3	12.5	10.7	33.0	3.8	
	1時間未満	247	61.1	13.4	8.9	7.3	10.5	7.7	6.1	23.9	4.0	
	1時間以上3時間未満	233	49.4	20.6	12.9	10.7	19.3	12.0	10.7	36.1	2.6	
	3時間以上5時間未満	113	46.0	29.2	16.8	18.6	31.9	17.7	17.7	42.5	2.7	
	5時間以上7時間未満	33	42.4	30.3	18.2	24.2	45.5	21.2	12.1	42.4	9.1	
	7時間以上	31	41.9	29.0	16.1	12.9	16.1	25.8	19.4	38.7	9.7	

## 6-5 世話を必要としている家族による世話の状況等

### ①世話を必要としている家族×一緒に世話をを行っている（行っていた）人

◇一緒に世話をを行っている（行っていた）人については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n=)	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	親戚の人	自分のみ	福祉サービス（ヘルパーなど）を利用	その他
熊本県	全体	14	64.3	35.7	14.3	14.3	21.4	7.1	21.4	21.4	0.0
	父母	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
	祖父母	6	50.0	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	50.0	33.3	0.0
	きょうだい	7	71.4	42.9	14.3	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0
	その他	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	全体	987	52.9	36.2	11.8	5.6	27.3	7.4	20.0	14.1	1.3
	父母	425	29.6	28.7	7.3	4.5	26.4	4.2	32.2	7.1	1.4
	祖父母	357	74.2	43.7	13.4	5.9	25.8	12.3	6.4	25.2	1.1
	きょうだい	169	65.7	40.2	13.0	5.3	32.5	4.1	17.2	7.1	0.6
	その他	36	55.6	30.6	41.7	16.7	27.8	11.1	22.2	19.4	5.6

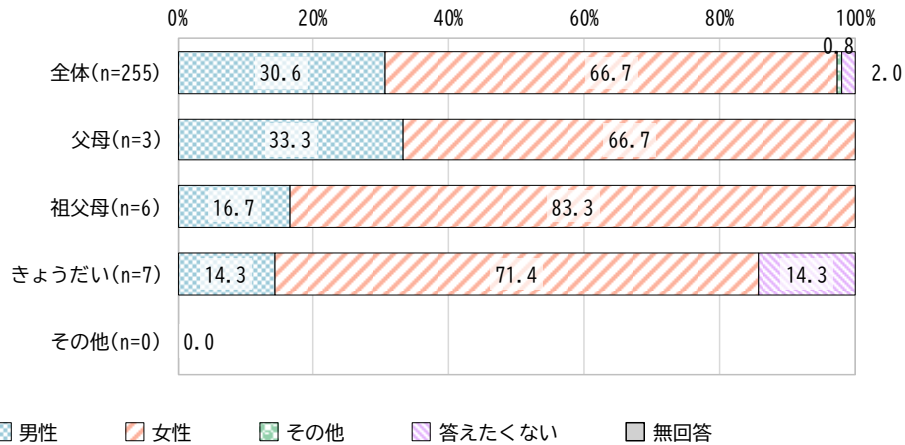
※世話を必要としている家族は複数回答のため、「父親」と「祖母」が世話を必要としている場合、その回答者は「父母」、「祖父母」いずれのn数にも含まれる。以降同様。

## ②世話を必要としている家族と一緒に世話をしている人

◇一緒に世話をしている人については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

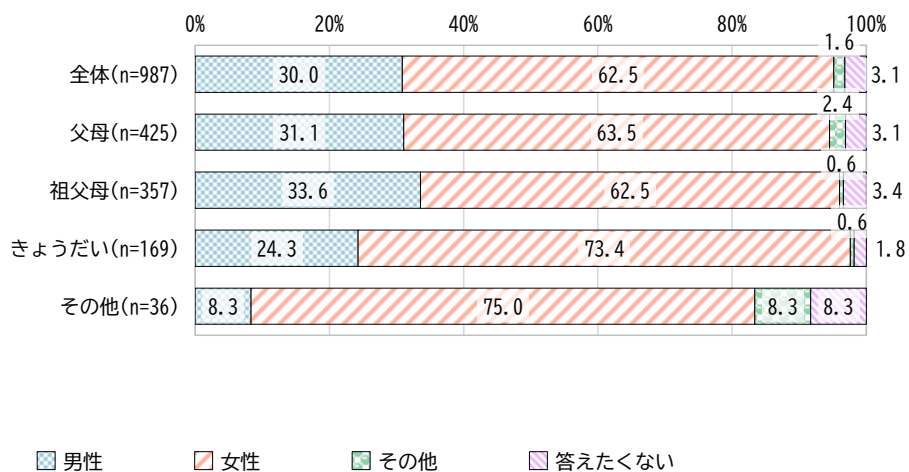
### 今回調査

〈単数回答〉



### 全国調査

〈単数回答〉

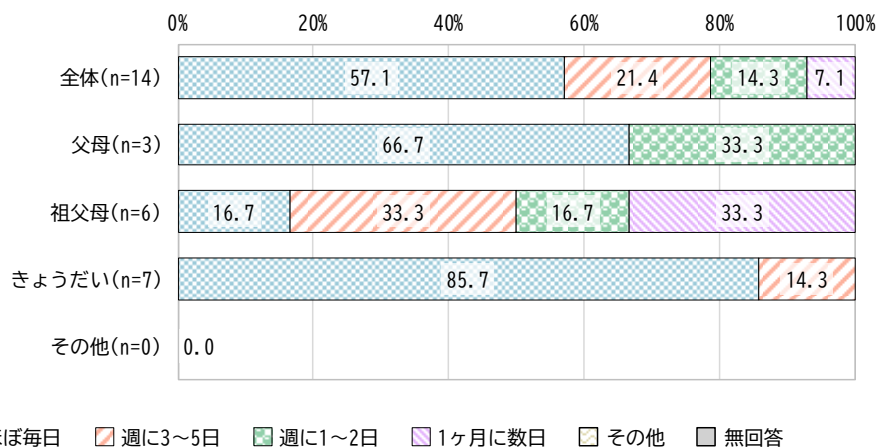


### ③世話を必要としている家族×世話をしている（していた）頻度

◇世話をしている（していた）頻度については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

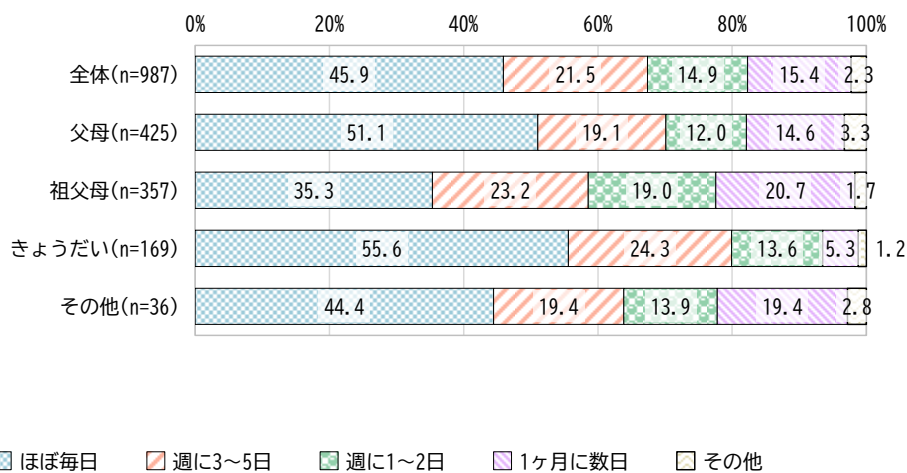
#### 今回調査

〈単数回答〉



#### 全国調査

〈単数回答〉

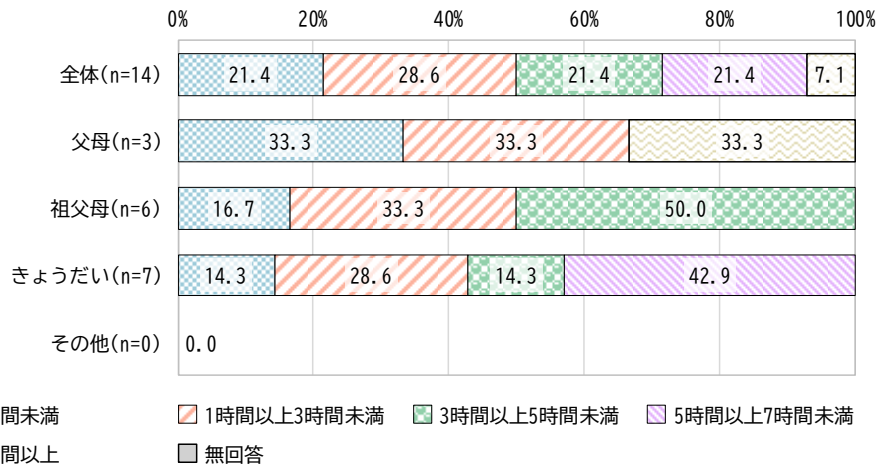


#### ④世話を必要としている家族×平日1日あたりに世話に費やす時間

◇平日1日あたりに世話に費やす時間については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

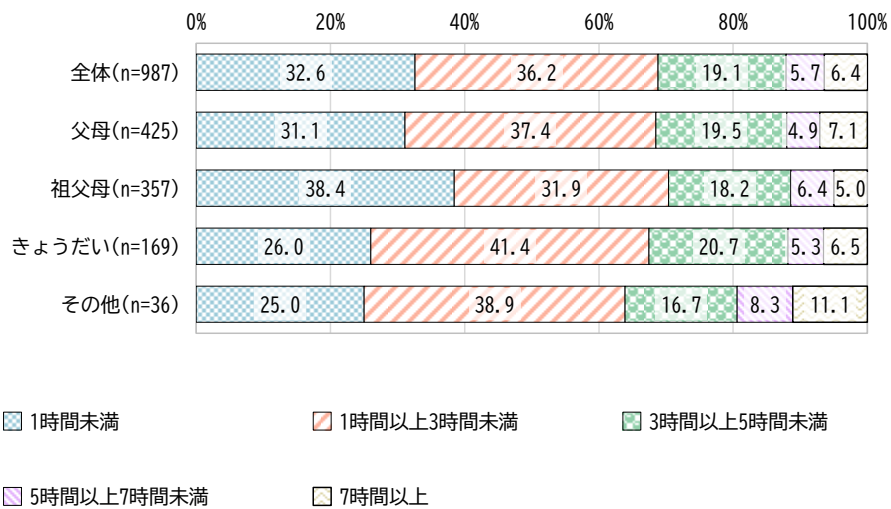
#### 今回調査

〈単数回答〉



#### 全国調査

〈単数回答〉



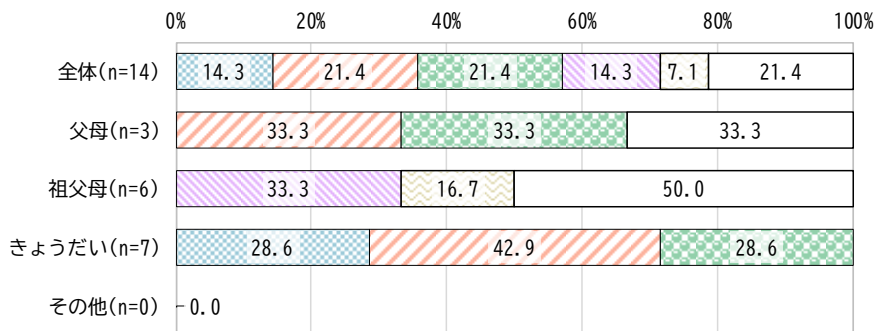


## ⑤世話を必要としている家族×世話を始めた時期

◇世話を始めた時期については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

### 今回調査

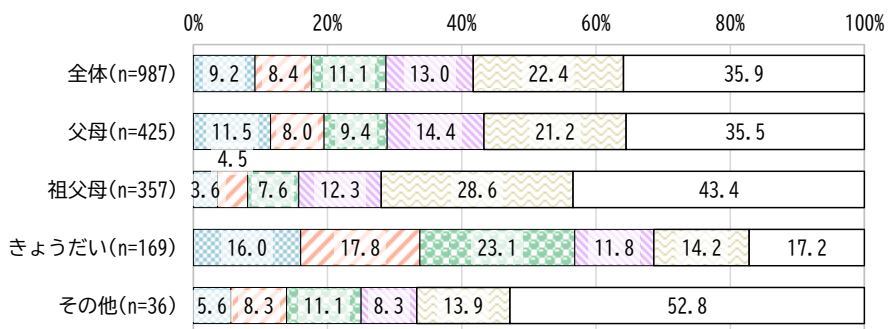
〈単数回答〉



- 小学校就学以前から
- 小学校低学年(1~3年生)から
- 小学校高学年(4~6年生)から
- 中学生から
- 高校生から
- 大学入学以降
- 無回答

### 全国調査

〈単数回答〉



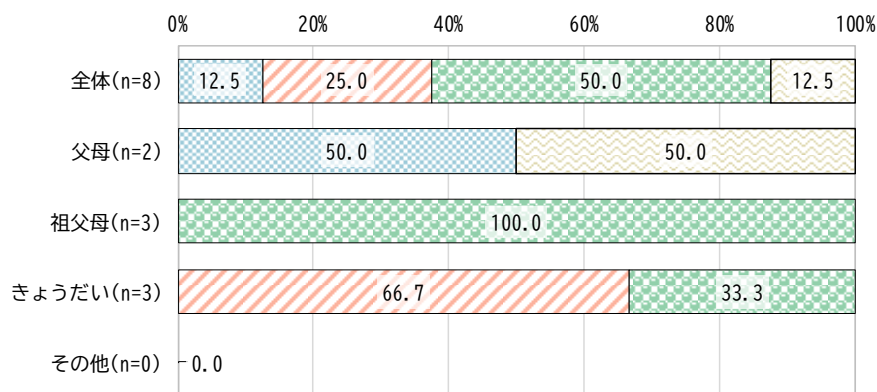
- 小学校就学以前から
- 小学校低学年(1~3年生)から
- 小学校高学年(4~6年生)から
- 中学生から
- 高校生から
- 大学入学以降

## (参考) 世話を必要としている家族×世話をしていた時期

◇世話をしていた時期については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

### 今回調査

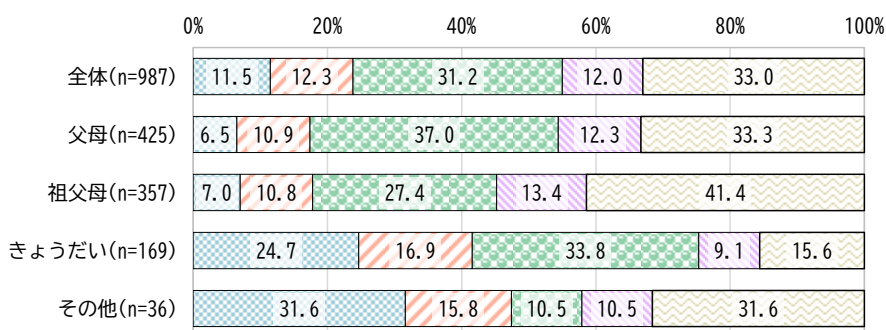
〈単数回答〉



中学入学以前まで     高校入学以前まで     大学入学以前まで     大学1年生まで  
 直近まで     無回答

### 全国調査

〈単数回答〉



中学入学以前まで     高校入学以前まで     大学入学以前まで     大学1年生まで     直近まで

## ⑥世話を必要としている家族×世話をしていることで、大学進学の際に苦労したこと・影響

◇世話をしていることで、大学進学の際に苦労したこと・影響については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (nⅡ)	が受験勉強をした時間	学的費の制約が経済	あつた	実家の通学の範囲	たから通える範囲	先ずから求められ	家族等から世話を優	迷った	進学するか働くか	迷った	大学以外の進学先と	その他	特にな
熊本県	全体	11	27.3	36.4	18.2	0.0	9.1	18.2	9.1	54.5					
	父母	2	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0					
	祖父母	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0					
	きょうだい	7	28.6	28.6	28.6	0.0	14.3	28.6	0.0	42.9					
	その他	0	-	-	-	-	-	-	-	-					
全国	全体	633	21.6	26.7	13.1	10.7	12.2	7.1	6.3	48.0					
	父母	274	30.3	37.6	17.5	12.4	19.0	10.6	8.0	33.2					
	祖父母	202	14.9	12.9	10.4	10.4	4.5	2.5	3.5	64.4					
	きょうだい	140	15.7	27.1	9.3	7.9	9.3	6.4	6.4	51.4					
	その他	17	11.8	11.8	5.9	11.8	17.6	11.8	11.8	64.7					

## ⑦世話を必要としている家族×世話をしていることで、やりたかったがで きなかったこと、あきらめたこと

◇世話をしていることで、やりたかったがでできなかったこと、あきらめたことについては、n  
数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n)	大学の授業に行きたくても 行けなかった	単位をとれなかった、留 年・休学した	課題・予習復習をする時間 が取れなかった	留学をあきらめた	睡眠が十分に取れなかった	友人と遊ぶことができな かった	ざるを得なかった、もしくは 辞めざるを得なかった	部活動・サークル活動がで きなかった、もしくは辞め ざるを得なかった	課外活動・習い事ができな かった、もしくは辞めざる を得なかった	アルバイトができなかった	就職先・進路の変更を考 えざるを得なかった・変 更した	一人暮らしをしたくても できなかった	恋愛をしたくてもでき なかった	自分の時間が取れな かった	その他	特になかった
熊本県	全体	14	7.1	0.0	21.4	7.1	42.9	42.9	7.1	14.3	28.6	0.0	0.0	7.1	42.9	0.0	21.4	
	父母	3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	66.7	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	
	祖父母	6	0.0	0.0	50.0	33.3	50.0	33.3	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	
	きょうだい	7	0.0	0.0	14.3	0.0	57.1	42.9	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3	42.9	0.0	14.3	
	その他	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	全体	987	4.5	3.6	17.9	5.3	24.4	24.3	9.8	4.8	11.8	7.5	13.2	7.9	32.2	2.1	41.9	
	父母	425	6.1	4.7	22.4	8.0	32.5	28.7	12.5	6.4	13.4	12.2	17.9	12.5	40.5	2.8	28.9	
	祖父母	357	2.5	2.5	11.2	1.4	17.1	18.5	6.2	2.5	11.5	3.9	9.0	4.2	23.5	0.8	56.6	
	きょうだい	169	4.1	2.4	19.5	5.9	18.9	24.9	10.1	5.3	8.9	4.1	12.4	4.1	32.0	3.6	43.2	
	その他	36	5.6	8.3	25.0	8.3	27.8	27.8	13.9	5.6	8.3	2.8	2.8	8.3	22.2	0.0	44.4	

## ⑧世話を必要としている家族×世話をしていることで生ずる就職に関する不安

◇世話をしていることで生ずる就職に関する不安については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n II)	正社員として就職でき る不安がある	休まず働けるか不安 がある	通勤できる地域が限 られる	働ける時間帯が限ら れている	就職先について考 える時間がない	その他	わからない	特 に ない
熊本県	全体	14	28.6	21.4	14.3	7.1	14.3	7.1	21.4	42.9
	現在いる	6	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7
	祖父母	6	50.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	50.0	33.3
	きょうだい	7	28.6	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	42.9
	その他	0	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	全体	987	13.9	11.4	13.4	7.0	7.8	2.0	12.9	54.9
	父母	425	20.0	17.6	18.6	11.3	11.1	2.6	13.4	40.7
	祖父母	357	9.0	7.0	11.2	4.5	5.0	2.0	12.3	64.4
	きょうだい	169	8.9	5.9	6.5	1.8	5.3	1.2	13.0	69.2
	その他	36	13.9	8.3	5.6	5.6	8.3	0.0	11.1	61.1

### ⑨世話を必要としている家族×世話をすることで感じるきつさ

◇世話をすることで感じるきつさについては、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

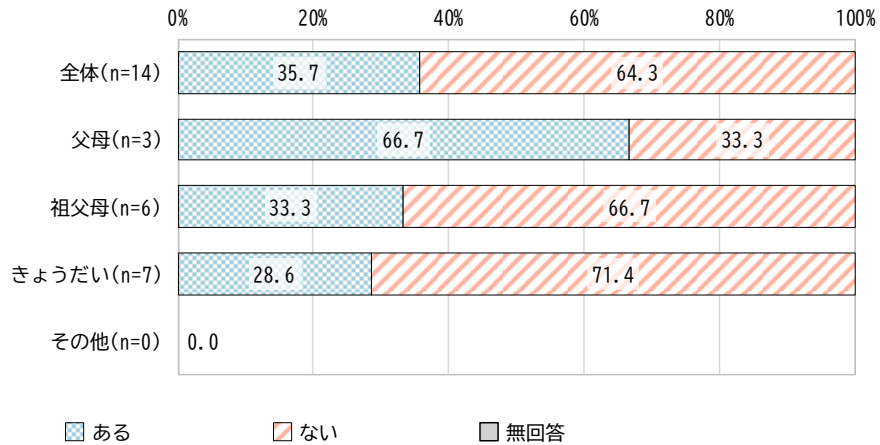
		調査数 (n)	身体的 にきつい	精神的 にきつい	時間的 余裕がない	特 に き つ さ を 感 じ て い ない
熊本県	全体	14	21.4	71.4	28.6	21.4
	父母	3	0.0	100.0	0.0	0.0
	祖父母	6	16.7	83.3	16.7	16.7
	きょうだい	7	28.6	57.1	42.9	28.6
	その他	0	-	-	-	-
全国	全体	987	16.3	42.4	31.8	41.8
	父母	425	21.6	51.5	39.3	32.0
	祖父母	357	14.8	38.7	24.1	48.2
	きょうだい	169	8.9	30.2	27.8	52.7
	その他	36	2.8	27.8	38.9	44.4

## ⑩世話を必要としている家族×世話について相談した経験の有無

◇世話について相談した経験の有無については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

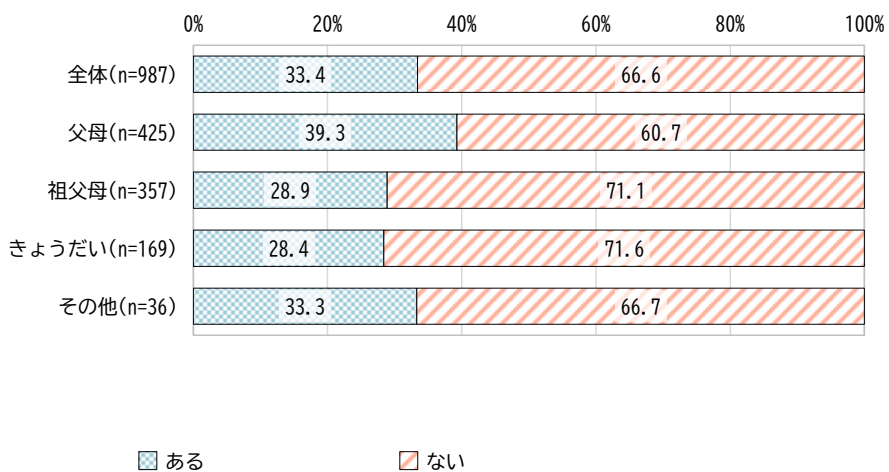
### 今回調査

〈単数回答〉



### 全国調査

〈単数回答〉



### ⑪世話を必要としている家族×悩みを相談していない理由

◇世話について相談した経験が「ない」と答えた人に悩みを相談していない理由を尋ねたところ、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

		(%)									
		調査数 (n)	誰かに相談するほどの悩みではない	家族外の人に相談するほどの悩みはない	誰かわからないのがよい	相談できる人が身近にいない	家族のこのため話しかけにくい	家族のこのことを知られていない	家族に対して偏見を持たれたくない	相談しても状況がかわらないと思わない	その他
熊本県	全体	9	33.3	11.1	33.3	22.2	44.4	44.4	22.2	44.4	11.1
	父母	1	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	祖父母	4	25.0	0.0	75.0	50.0	50.0	50.0	0.0	25.0	0.0
	きょうだい	5	40.0	20.0	0.0	0.0	60.0	40.0	20.0	60.0	20.0
	その他	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	全体	657	52.5	20.2	12.5	11.6	19.3	12.5	10.7	33.0	3.8
	父母	258	40.3	22.5	16.7	17.4	26.4	17.4	12.4	41.1	3.9
	祖父母	254	60.6	18.5	8.7	9.4	16.9	9.1	7.1	25.6	2.8
	きょうだい	121	60.3	18.2	11.6	4.1	13.2	9.9	14.0	30.6	5.8
	その他	24	58.3	25.0	12.5	8.3	0.0	8.3	12.5	37.5	4.2

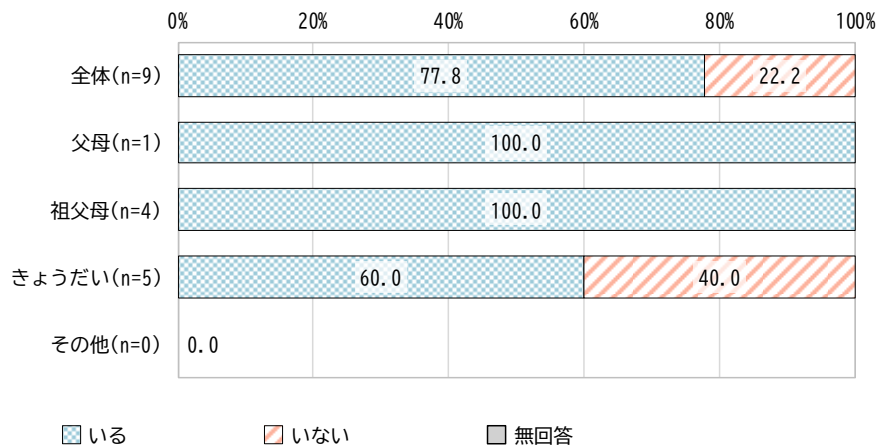


## ⑫世話を必要としている家族×世話について話を聞いてくれる人の有無

◇世話について話を聞いてくれる人の有無については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

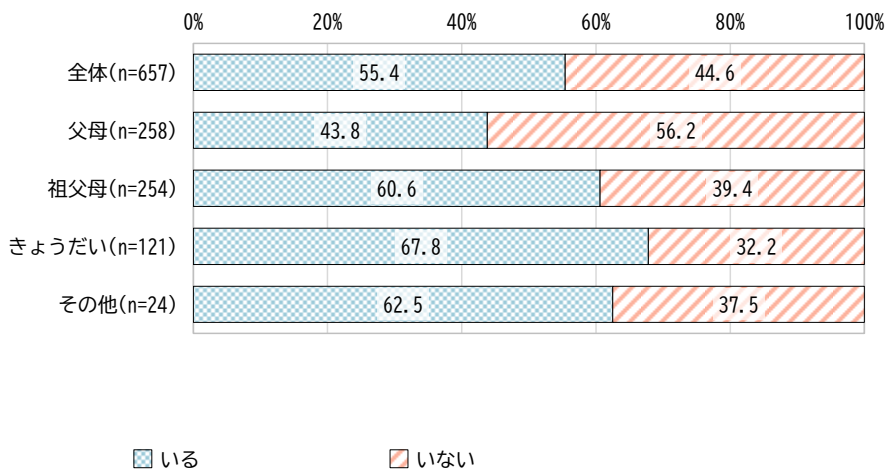
### 今回調査

〈単数回答〉



### 全国調査

〈単数回答〉



### ⑬世話を必要としている家族×大学や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援

◇大学や周りの大人に助けてほしいことや必要としている支援については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n=)	話を聞いてほしい	自分のいまの状況について	家族のお世話について相談	家族の病気や障がい、ケア	家族の病気がほしい	すべてを代わってくれる人	自分が行っているお世話の	サービスがほしい	一部を代わってくれるお世話の	自分が行っているお世話の	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談	にのってほしい	大学の勉強や学習のサポート	家庭への経済的な支援	学費への支援・奨学金等	その他	特にな	わから
熊本県	全体	14	28.6	14.3	14.3	7.1	0.0	35.7	35.7	7.1	14.3	35.7	0.0	35.7	14.3	0.0	35.7	0.0	35.7	14.3	
	父母	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	66.7	66.7	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
	祖父母	6	66.7	16.7	0.0	33.3	0.0	66.7	50.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	28.6	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7
	きょうだい	7	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	28.6	28.6	14.3	14.3	14.3	28.6	0.0	42.9	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3
	その他	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	全体	987	21.7	10.6	5.9	7.4	2.5	26.2	28.3	18.5	23.4	28.3	2.5	26.2	10.2	2.5	26.2	10.2	26.2	10.2	
	父母	425	27.1	13.9	8.0	11.1	2.1	26.4	28.7	18.8	27.8	30.6	3.1	22.4	8.7	3.1	22.4	8.7	22.4	8.7	
	祖父母	357	17.6	9.8	4.8	5.6	3.9	23.5	27.2	16.8	17.9	22.1	1.7	32.2	11.5	1.7	32.2	11.5	32.2	11.5	
	きょうだい	169	17.8	4.7	4.1	3.0	0.6	30.8	27.8	21.3	26.0	36.1	2.4	24.3	10.7	2.4	24.3	10.7	24.3	10.7	
	その他	36	16.7	8.3	0.0	2.8	2.8	30.6	36.1	19.4	13.9	25.0	5.6	22.2	13.9	5.6	22.2	13.9	22.2	13.9	

## 6-6 世話をすることに感じているきつさによる世話の状況の違い

### ①世話をすることに感じているきつさ×世話を必要としている（していた）方の状況

#### ■母親

◇世話を必要としている（していた）人が母親の場合、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n)	高齢 (65歳以上)	幼 い	要 介 護 (介 護 が 必 要 な 状 況)	認 知 症	身 体 障 が い	知 的 障 が い	精 神 疾 患	依 存 症 (ア ル コ ー ル 依 存 症 な ど)	こ こ ろ の 病 気 、 依 存 症 以 外 の 病 気	そ の 他
熊本県	全体	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	身体的にきつい	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	精神的にきつい	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	時間的余裕がない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	特にきつさを感じていない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	全体	349	7.7	0.0	8.3	2.0	11.5	2.0	28.7	5.7	14.9	23.5
	身体的にきつい	69	7.2	0.0	11.6	5.8	11.6	4.3	29.0	8.7	17.4	18.8
	精神的にきつい	176	3.4	0.0	10.2	1.7	14.2	3.4	43.2	9.7	18.2	18.2
	時間的余裕がない	128	5.5	0.0	7.0	0.8	14.1	3.1	31.3	9.4	19.5	21.1
	特にきつさを感じていない	117	12.0	0.0	3.4	0.9	6.0	0.0	14.5	1.7	12.8	35.0

## ■父親

◇世話を必要としている（していた）人が父親の場合、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n=)	高齢 (65歳以上)	幼 い	要 介 護 (介 護 が 必 要 な 状 況)	認 知 症	身 体 障 が い	知 的 障 が い	精 神 疾 患	症、 依 存 症 (ア ル コ ー ル 依 存 症 な ど)	こ こ ろ の 病 気、 依 存 症 以 外 の 病 気	そ の 他
熊本県	全体	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	身体的にきつい	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	精神的にきつい	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	時間的余裕がない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	特にきつさを感じていない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	全体	202	16.3	0.0	11.4	2.5	10.9	1.5	11.4	8.4	13.9	22.8
	身体的にきつい	52	15.4	0.0	17.3	5.8	7.7	0.0	13.5	7.7	15.4	25.0
	精神的にきつい	92	16.3	0.0	13.0	3.3	13.0	1.1	19.6	10.9	20.7	21.7
	時間的余裕がない	80	10.0	0.0	13.8	6.3	8.8	1.3	16.3	10.0	12.5	25.0
	特にきつさを感じていない	72	20.8	0.0	6.9	0.0	9.7	1.4	4.2	8.3	11.1	27.8

## ■祖母

◇世話を必要としている（していた）人が祖母の場合、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n=)	高齢 (65歳以上)	幼 い	要 介 護 (介 護 が 必 要 な 状 況)	認 知 症	身 体 障 が い	知 的 障 が い	精 神 疾 患	症、 依 存 症 (ア ル コ ー ル 依 存 症 な ど)	こ こ ろ の 病 気、 依 存 症 以 外 の 病 気	そ の 他
熊本県	全体	2	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	身体的にきつい	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	精神的にきつい	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	時間的余裕がない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	特にきつさを感じていない	1	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全国	全体	324	84.0	0.0	39.5	32.1	14.2	0.6	4.3	0.6	3.4	4.3
	身体的にきつい	57	84.2	0.0	52.6	42.1	22.8	0.0	5.3	1.8	5.3	8.8
	精神的にきつい	141	81.6	0.0	53.2	46.8	18.4	1.4	6.4	1.4	3.5	5.0
	時間的余裕がない	92	87.0	0.0	48.9	30.4	18.5	0.0	2.2	1.1	6.5	6.5
	特にきつさを感じていない	142	86.6	0.0	25.4	21.8	11.3	0.0	3.5	0.0	2.1	4.2

## ■祖父

◇世話を必要としている（していた）人が祖父の場合、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n=)	高齢 (65歳以上)	幼 い	要 介 護 (介 護 が 必 要 な 状 況)	認 知 症	身 体 障 が い	知 的 障 が い	精 神 疾 患	症、 依 存 症 (ア ル コ ー ル 依 存 症 な ど)	こ こ ろ の 病 気 、 依 存 症 以 外 の 病 気	そ の 他
熊本県	全体	4	100.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	身体的にきつい	1	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	精神的にきつい	4	100.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	時間的余裕がない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	特にきつさを感じていない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	全体	170	84.1	0.0	40.0	22.9	10.6	1.2	2.4	1.8	5.3	4.1
	身体的にきつい	28	89.3	0.0	50.0	42.9	10.7	3.6	14.3	10.7	10.7	3.6
	精神的にきつい	71	87.3	0.0	47.9	39.4	9.9	1.4	5.6	4.2	7.0	4.2
	時間的余裕がない	48	85.4	0.0	47.9	25.0	14.6	4.2	6.3	4.2	2.1	4.2
	特にきつさを感じていない	76	81.6	0.0	30.3	10.5	10.5	0.0	0.0	0.0	5.3	3.9

## ■きょうだい

◇世話を必要としている（していた）人がきょうだいの場合、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

		(%)										
		調査数 (n=)	高齢 (65歳以上)	若い	要介護 (介護が必要な状況)	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患	依存症 (アルコール依存症など)	その他の病気、 依存症以外	その他
熊本県	全体	7	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	57.1	0.0	0.0	0.0	14.3
	身体的にきつい	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	精神的にきつい	4	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	時間的余裕がない	3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	特にきつさを感じていない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全国	全体	262	0.0	51.9	2.3	0.8	6.1	15.6	10.3	1.1	5.3	20.6
	身体的にきつい	49	0.0	38.8	2.0	2.0	8.2	10.2	8.2	2.0	8.2	34.7
	精神的にきつい	106	0.0	37.7	1.9	0.9	2.8	19.8	19.8	0.9	7.5	23.6
	時間的余裕がない	92	0.0	45.7	2.2	0.0	1.1	12.0	10.9	2.2	5.4	29.3
	特にきつさを感じていない	112	0.0	63.4	1.8	0.9	9.8	14.3	2.7	0.0	2.7	18.8

## ②世話をすることを感じているきつき×行っている（行っていた）世話の内容

### ■母親

◇母親への世話の内容については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n)	家事（食 事の準備 や掃除、 洗濯）	きょうだ いへの送 迎や保育 所等への 世話など	身体的な 介護（入 浴やトイレ 、食事の お世話な ど）	外出の付 き添い	通院の付 き添い	感情面の サポート （愚痴を 聞く、話 し相手にな るなど）	見守り	通訳（日 本語や手 話など）	金銭管理	薬の管理	（働） 家計を助 ける	その他
熊本県	全体	2	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	身体的にきつい	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	精神的にきつい	2	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	時間的余裕がない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	特にきつきを感じていない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	全体	349	69.7	13.4	7.1	24.6	13.1	42.6	23.4	3.4	10.0	7.7	17.1	5.1
	身体的にきつい	69	71.0	20.3	11.6	17.4	17.4	40.6	20.3	2.9	21.7	11.6	23.2	2.9
	精神的にきつい	176	72.7	13.6	9.1	30.1	18.8	61.9	33.5	2.3	13.1	10.2	19.3	4.5
	時間的余裕がない	128	75.8	19.5	7.8	29.7	19.5	52.3	25.8	3.1	14.8	13.3	21.9	3.1
	特にきつきを感じていない	117	64.4	11.0	3.4	16.1	5.1	22.9	11.9	5.1	4.2	3.4	14.4	8.5



## ■父親

◇父親への世話の内容については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

		調査数 (n)	家事(食事の準備や掃除、洗濯)	保育所等への送迎など	世話(きょうだいの世話やトイレ、食事のお世話など)	身体的な介護(入浴やトイレ、食事のお世話)	外出の付き添い	通院の付き添い	相手になるなど(感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど))	見守り	通訳(日本語や手話など)	金銭管理	薬の管理	家計を助ける(働く)	その他
熊本県	全体	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	身体的にきつい	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	精神的にきつい	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	時間的余裕がない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	特にきつさを感じていない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	全体	202	56.7	8.4	9.9	15.8	13.8	19.2	20.2	2.5	9.9	8.9	18.2	8.4	
	身体的にきつい	52	63.5	9.6	11.5	19.2	15.4	25.0	23.1	1.9	9.6	13.5	17.3	1.9	
	精神的にきつい	92	66.7	9.7	11.8	21.5	19.4	31.2	28.0	2.2	10.8	12.9	22.6	5.4	
	時間的余裕がない	80	58.8	12.5	10.0	23.8	18.8	27.5	27.5	2.5	16.3	16.3	22.5	3.8	
	特にきつさを感じていない	72	48.6	2.8	6.9	5.6	4.2	11.1	13.9	2.8	8.3	2.8	11.1	15.3	

## ■祖母

◇祖母への世話の内容については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

		調査数 (n)	家事(食事の準備や掃除、洗濯)	保育所等への送迎など	世話(きょうだいの世話やトイレ、食事のお世話)	身体的な介護(入浴やトイレ、食事のお世話)	外出の付き添い	通院の付き添い	相手になるなど(感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど))	見守り	通訳(日本語や手話など)	金銭管理	薬の管理	家計を助ける(働く)	その他
熊本県	全体	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	身体的にきつい	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	精神的にきつい	1	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	時間的余裕がない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	特にきつさを感じていない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
全国	全体	324	82.7	5.0	42.6	54.0	41.6	58.9	92.1	0.5	8.4	24.8	4.0	5.0	
	身体的にきつい	57	73.1	1.9	51.9	42.3	32.7	40.4	73.1	0.0	9.6	26.9	11.5	1.9	
	精神的にきつい	141	92.4	2.2	56.5	52.2	40.2	68.5	96.7	1.1	15.2	35.9	5.4	4.3	
	時間的余裕がない	92	75.0	5.0	46.3	47.5	33.8	45.0	70.0	0.0	7.5	26.3	5.0	2.5	
	特にきつさを感じていない	142	83.3	8.3	29.2	65.3	51.4	62.5	101.4	0.0	4.2	11.1	2.8	8.3	

## ■祖父

◇祖父への世話の内容については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n)	家事(食事の準備や掃除、洗濯)	きょうだいの世話を保育所等への送迎など	身体的な介護(入浴やトイレ、食事のお世話など)	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)	見守り	通訳(日本語や手話など)	金銭管理	薬の管理	家計を助ける(働く)	その他
熊本県	全体	4	25.0	0.0	75.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	身体的にきつい	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	精神的にきつい	4	25.0	0.0	75.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	時間的余裕がない	1	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	特にきつさを感じていない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	全体	170	48.2	1.8	26.5	29.4	28.8	28.2	56.5	1.2	4.1	11.8	1.2	2.4
	身体的にきつい	28	67.9	3.6	46.4	39.3	53.6	46.4	64.3	3.6	10.7	25.0	3.6	0.0
	精神的にきつい	71	57.7	1.4	35.2	36.6	38.0	39.4	63.4	1.4	7.0	14.1	1.4	2.8
	時間的余裕がない	48	62.5	2.1	41.7	37.5	39.6	47.9	50.0	2.1	6.3	20.8	2.1	2.1
	特にきつさを感じていない	76	34.2	2.6	14.5	21.1	22.4	15.8	53.9	0.0	2.6	6.6	1.3	2.6

## ■きょうだい

◇きょうだいへの世話の内容については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n)	家事(食事の準備や掃除、洗濯)	きょうだいの世話を保育所等への送迎など	身体的な介護(入浴やトイレ、食事のお世話など)	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)	見守り	通訳(日本語や手話など)	金銭管理	薬の管理	家計を助ける(働く)	その他
熊本県	全体	7	57.1	57.1	28.6	28.6	0.0	0.0	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	身体的にきつい	2	100.0	100.0	100.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	精神的にきつい	4	75.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	時間的余裕がない	3	66.7	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	特にきつさを感じていない	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全国	全体	262	59.9	35.1	11.5	22.1	6.1	30.5	45.4	1.1	3.8	2.7	6.9	4.6
	身体的にきつい	49	75.5	40.8	14.3	34.7	12.2	38.8	32.7	2.0	14.3	12.2	18.4	0.0
	精神的にきつい	106	59.4	36.8	7.5	22.6	6.6	43.4	48.1	0.9	6.6	4.7	10.4	3.8
	時間的余裕がない	92	76.1	37.0	9.8	25.0	7.6	43.5	41.3	0.0	6.5	2.2	8.7	1.1
	特にきつさを感じていない	112	50.9	35.7	14.3	23.2	5.4	20.5	45.5	0.9	0.9	0.9	3.6	7.1

### ③世話をすることに感じているきつさ×世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたこと

#### ■世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたこと

◇世話をしている（していた）ことでやりたかったができなかったこと、あきらめたことについては、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

		調査数（n＝）																(%)
		大学 の授業 に行き たくも 行け なかつ た	単位を とれな かつた 、留年 ・休 学した	課題・ 予習復 習をす る時間 が取れ なかつ た	留学を あきら めた	睡眠が 十分に 取れな かつた	友人と 遊ぶこ とがで きなかつ た	部活動 ・サー クル活 動がで きなかつ た、も しくは 辞めざ るを得 なかつ た	課外活 動・習 い事が できな かつた 、もし くは辞 めざる を得な かつた	アルバイト ができ なかつ た	就職先 ・進路 の変更 を考え ざる を得な かつた ・変更 した	一人暮 らしを したく てもで きなかつ た	恋愛を したく てもで きなかつ た	自分の 時間が 取れな かつた	その他	特にな かつた		
熊本県	全体	14	7.1	0.0	21.4	7.1	42.9	42.9	7.1	14.3	28.6	0.0	0.0	7.1	42.9	0.0	21.4	
	身体的にきつい	3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3		
	精神的にきつい	10	10.0	0.0	30.0	10.0	40.0	50.0	10.0	20.0	30.0	0.0	0.0	10.0	60.0	0.0	20.0	
	時間的余裕がない	4	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	
	特にきつさを感じていない	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	
全国	全体	987	4.5	3.6	17.9	5.3	24.4	24.3	9.8	4.8	11.8	7.5	13.2	7.9	32.2	2.1	41.9	
	身体的にきつい	161	12.4	14.3	39.1	10.6	53.4	49.7	23.0	14.3	27.3	18.0	24.2	14.9	62.1	3.7	13.0	
	精神的にきつい	418	6.7	6.0	29.2	7.9	39.2	40.0	16.0	8.6	17.7	12.4	21.8	13.2	56.9	4.1	15.6	
	時間的余裕がない	314	8.3	7.6	38.2	10.5	47.1	43.0	19.4	11.5	19.7	11.8	22.3	15.0	64.0	1.9	11.1	
	特にきつさを感じていない	413	1.5	0.7	3.6	1.7	6.3	7.3	1.7	0.5	3.4	2.4	4.1	1.2	5.8	1.0	75.5	

#### ■世話をしていることで今後不安なこと、やりたいけどできなさそうなこと

◇世話をしている（していた）ことで今後不安なこと、やりたいけどできなさそうなことについては、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

		調査数（n＝）																(%)	
		大学 の授業 に行き たくも 行け なかつ た	単位を 取得、 進学・ 卒業で きるか 不安が ある	課 間 が 取 れ な い 予 習 復 習 を す る 時 間	留学に いけな い	睡眠が 十分に 取れな い	友人と 遊ぶこ とがで きな い	部活や 習い事 がで きな い	部活動 ・サー クル活 動が でき ない	課外活 動・習 い事 が でき ない	アル バ イ ト が で き な い	就職活 動の時 間が取 れない	希望す る就職 先・進 路の 変更を 考えざ るを得 ない	一人暮 らしが できる か不 安	恋愛・ 結婚に 対する 不安	自分の 時間が 取れな い	その他	特にな い	
熊本県	全体	14	7.1	14.3	14.3	0.0	7.1	7.1	7.1	-	-	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3	21.4	7.1	50.0
	身体的にきつい	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
	精神的にきつい	10	10.0	20.0	20.0	0.0	10.0	10.0	10.0	-	-	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	30.0	10.0	30.0
	時間的余裕がない	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	-	-	25.0	0.0	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0
	特にきつさを感じていない	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
全国	全体	987	2.8	8.0	8.5	4.4	12.9	9.9	-	2.9	3.1	7.4	11.4	13.6	15.9	14.4	20.1	3.5	51.9
	身体的にきつい	161	11.8	23.0	24.8	8.1	37.3	25.5	-	8.1	9.9	16.1	28.6	28.6	24.8	26.1	43.5	6.2	22.4
	精神的にきつい	418	4.5	13.2	14.1	6.9	23.2	16.5	-	5.0	5.5	10.8	19.1	21.5	26.1	24.6	37.3	7.2	28.7
	時間的余裕がない	314	4.8	16.2	20.1	9.2	28.7	20.1	-	7.3	7.3	13.1	22.9	23.6	24.2	23.9	40.8	5.4	25.2
	特にきつさを感じていない	413	0.5	1.7	0.7	1.0	2.7	1.9	-	0.0	0.0	2.4	1.9	4.6	5.8	3.9	3.4	1.0	80.4

#### ④世話をすることを感じているきつさ×世話をしていることで生ずる就職に関する不安

◇世話をしている（していた）ことで生ずる就職に関する不安については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

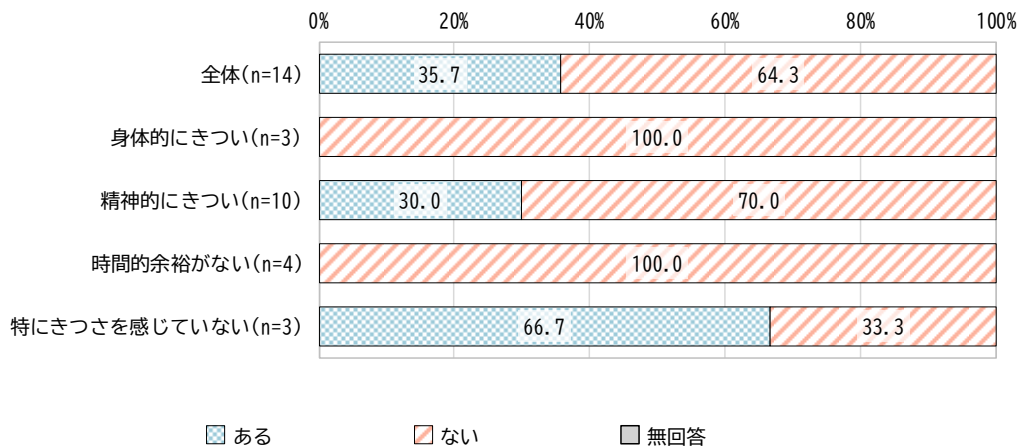
		調査数 (n=)	正社員として就職できるか不安がある	休まず働けるか不安がある	通勤できる地域が限られる	働ける時間帯が限られている	就職先について考える時間がない	その他	わからない	特にない
熊本県	全体	14	28.6	21.4	14.3	7.1	14.3	7.1	21.4	42.9
	身体的にきつい	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3
	精神的にきつい	10	40.0	30.0	20.0	10.0	20.0	10.0	20.0	30.0
	時間的余裕がない	4	50.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0
	特にきつさを感じていない	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7
全国	全体	987	13.9	11.4	13.4	7.0	7.8	2.0	12.9	54.9
	身体的にきつい	161	33.5	32.9	28.0	15.5	19.9	5.0	11.2	24.8
	精神的にきつい	418	19.4	21.5	20.3	10.5	12.9	4.1	17.5	36.6
	時間的余裕がない	314	24.8	20.4	22.9	12.1	18.2	3.2	14.6	30.9
	特にきつさを感じていない	413	4.1	1.9	5.3	2.4	1.2	0.7	9.0	78.9

## ⑤世話をすることを感じているきつさ×世話について相談した経験の有無

◇世話について相談した経験の有無については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

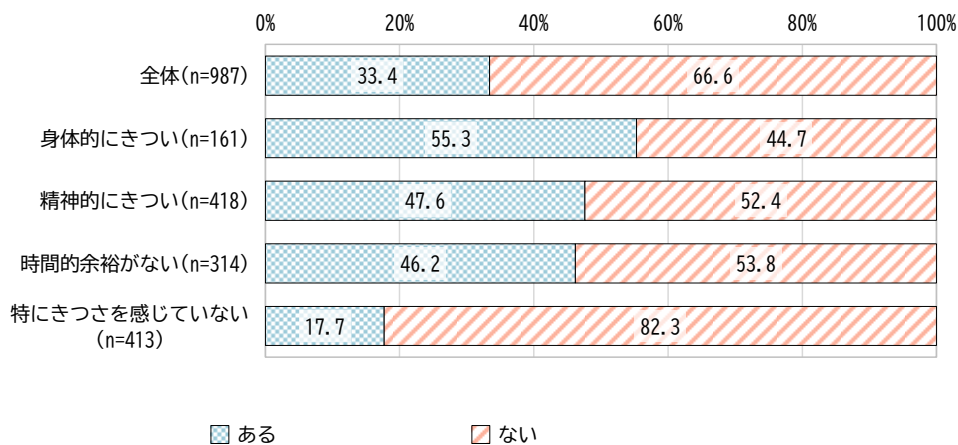
### 今回調査

〈単数回答〉



### 全国調査

〈単数回答〉



## ⑥世話をすることに感じているきつさ×悩みを相談していない理由

◇世話について相談した経験が「ない」と答えた人に悩みを相談していない理由を尋ねたところ、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

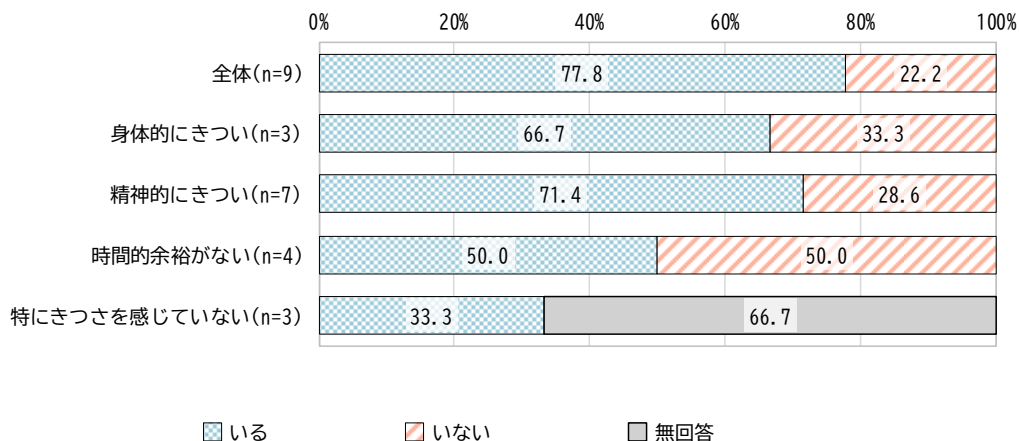
		調査数 (n)	誰かに相談するほど の悩みではない	家族外の人に相談する ような悩みではない	誰か相談する人がよ いかわからない	相談できない人が身 近にいない	家族のこのため話 しにくい	家族のこのため話 たかない	家族のこのため話 持たれたい偏見を 家族にたいして	相談しても状況が 変わると思わない	その他
熊本県	全体	9	33.3	11.1	33.3	22.2	44.4	44.4	22.2	44.4	11.1
	身体的にきつい	3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	33.3
	精神的にきつい	7	28.6	0.0	42.9	28.6	28.6	42.9	14.3	28.6	14.3
	時間的余裕がない	4	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	50.0	25.0
	特にきつさを感じていない	3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0
全国	全体	657	52.5	20.2	12.5	11.6	19.3	12.5	10.7	33.0	3.8
	身体的にきつい	72	31.9	37.5	31.9	34.7	48.6	23.6	27.8	55.6	8.3
	精神的にきつい	219	32.9	33.3	26.9	23.7	42.0	25.1	23.7	53.0	5.5
	時間的余裕がない	169	34.9	30.8	24.3	25.4	35.5	19.5	17.2	43.8	4.1
	特にきつさを感じていない	340	67.6	9.1	3.8	3.5	4.7	2.9	2.9	22.1	3.8

## ⑦世話をすることを感じているきつき×世話について話を聞いてくれる人の有無

◇世話について相談した経験が「ない」と答えた人に、世話を必要としている家族のことや、世話の悩みを聞いてくれる人はいるかについて聞いたところ、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

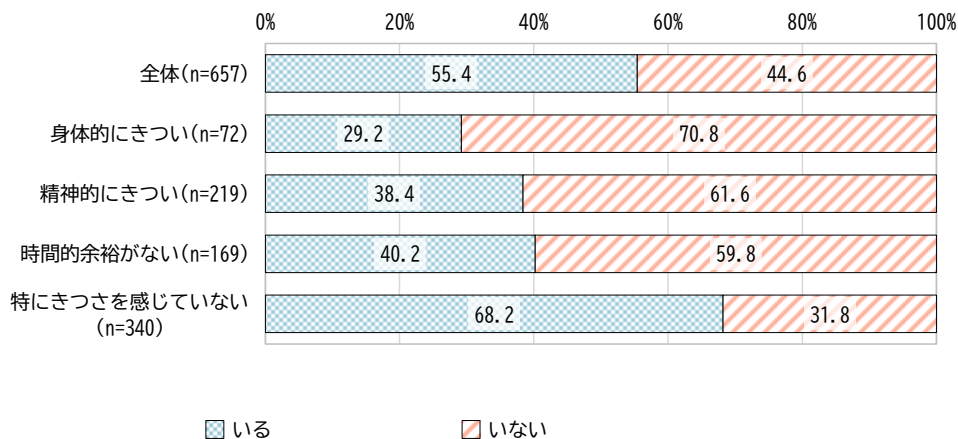
### 今回調査

〈単数回答〉



### 全国調査

〈単数回答〉



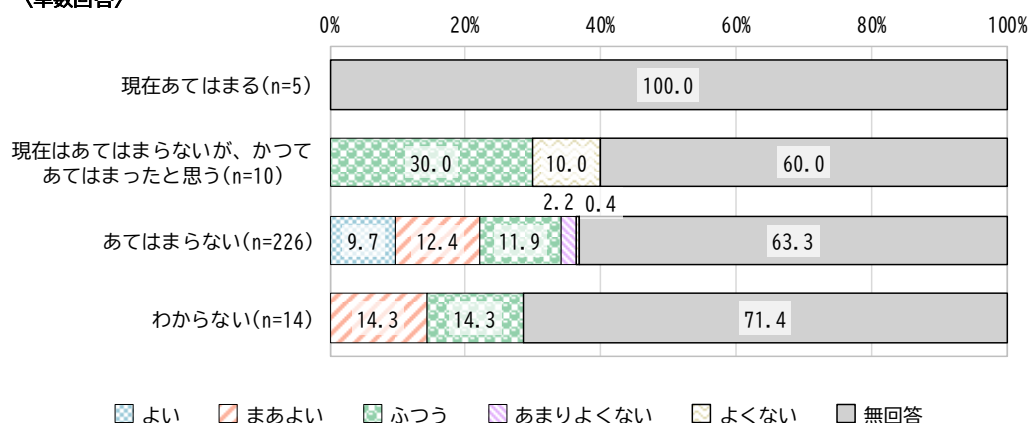
## 6-7 ヤングケアラーの自己認識による生活状況、世話の状況の違い

### ①ヤングケアラーの自己認識×身体面の健康状態

◇身体面の健康状況については、ヤングケアラーに「現在あてはまる（かつてあてはまったと思う）」の n 数が少ないことに留意が必要だが、ヤングケアラーに「あてはまらない」、「わからない」場合、「現在あてはまる」、「在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う」の場合に比べて「よい」、「まあよい」の割合が高くなっている

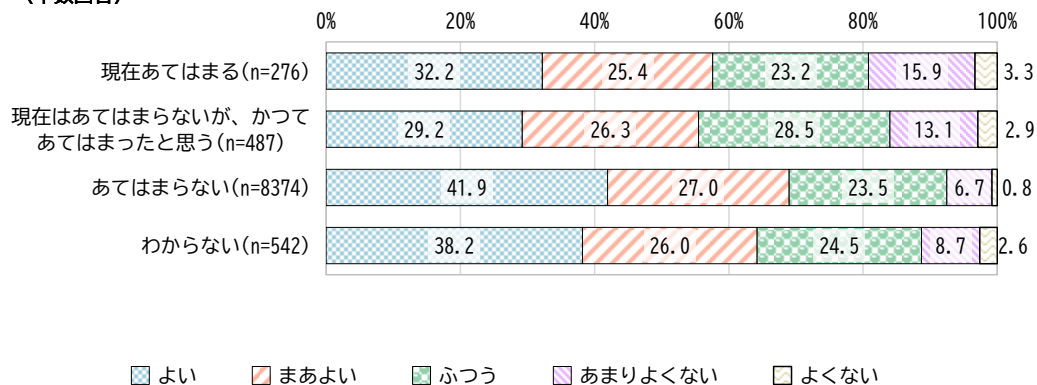
#### 今回調査

〈単数回答〉



#### 全国調査

〈単数回答〉



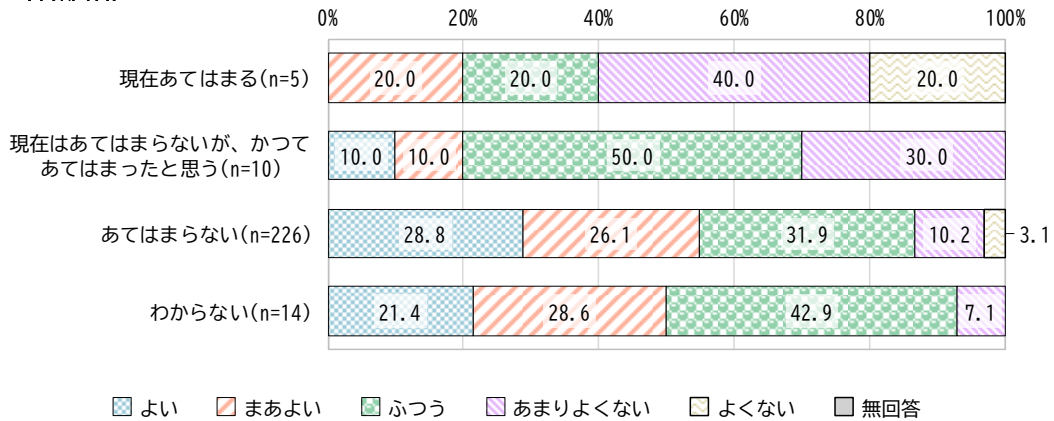


## ②ヤングケアラーの自己認識×精神面の健康状態

◇精神面の健康状況については、ヤングケアラーに「現在あてはまる（かつてあてはまったと思う）」の n 数が少ないことに留意が必要だが、ヤングケアラーに「現在あてはまる」、「現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う」の場合、「あてはまらない」、「わからない」の場合に比べて「あまりよくない」の割合が高くなっている。全国調査と比べると n 数の多い「あてはまらない」では、全国調査と同様の傾向となっている。

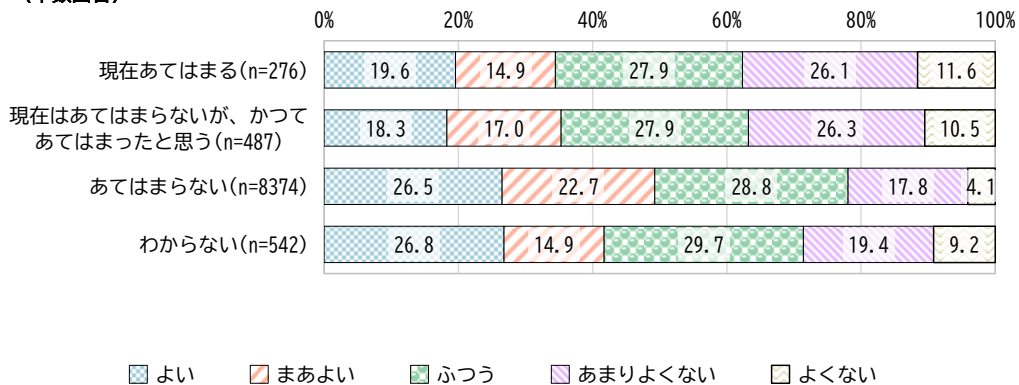
### 今回調査

〈単数回答〉



### 全国調査

〈単数回答〉

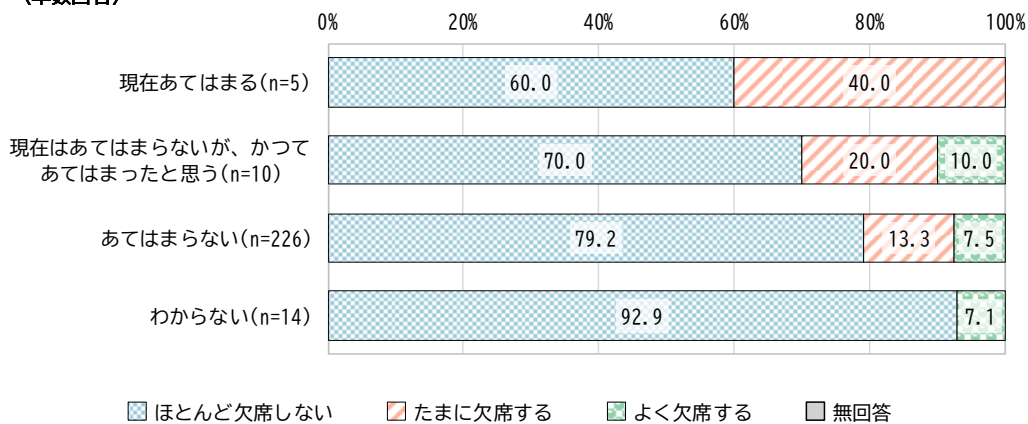


### ③ヤングケアラーの自己認識×大学の授業（履修している講義）への出席状況

◇大学の授業（履修している講義）への出席状況については、ヤングケアラーに「現在あてはまる（かつてあてはまったと思う）」の n 数が少ないことに留意が必要だが、ヤングケアラーに「現在あてはまる」、「現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う」の場合、「あてはまらない」、「わからない」の場合に比べて「たまに欠席する」の割合が高くなっている。全国調査と比べると n 数の多い「あてはまらない」では、全国調査と同様の傾向となっている。

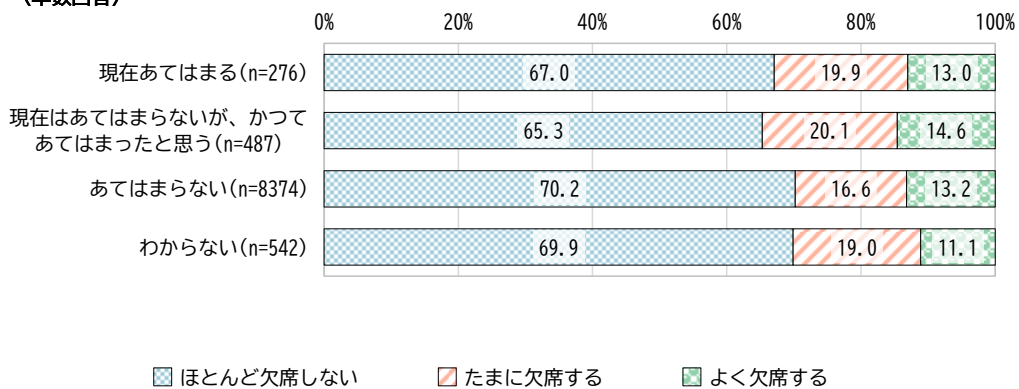
#### 今回調査

〈単数回答〉



#### 全国調査

〈単数回答〉

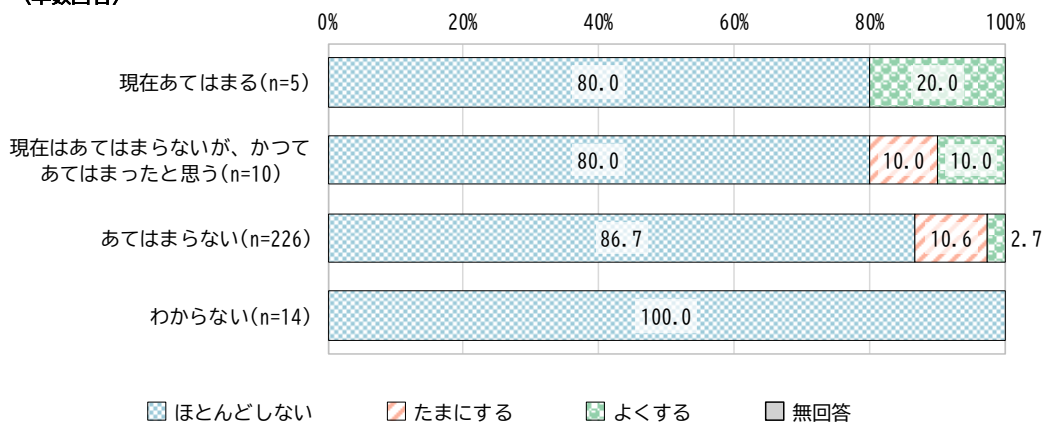


#### ④ヤングケアラーの自己認識×大学の授業（履修している講義）への遅刻や早退の状況

◇大学の授業（履修している講義）への遅刻や早退の状況については、ヤングケアラーに「現在あてはまる（かつてあてはまったと思う）」の n 数が少ないことに留意が必要だが、ヤングケアラーに「現在あてはまる」、「現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う」の場合、「あてはまらない」、「わからない」の場合に比べて「よくする」の割合が高くなっている。全国調査と比べると n 数の多い「あてはまらない」では、全国調査と同様の傾向となっている。

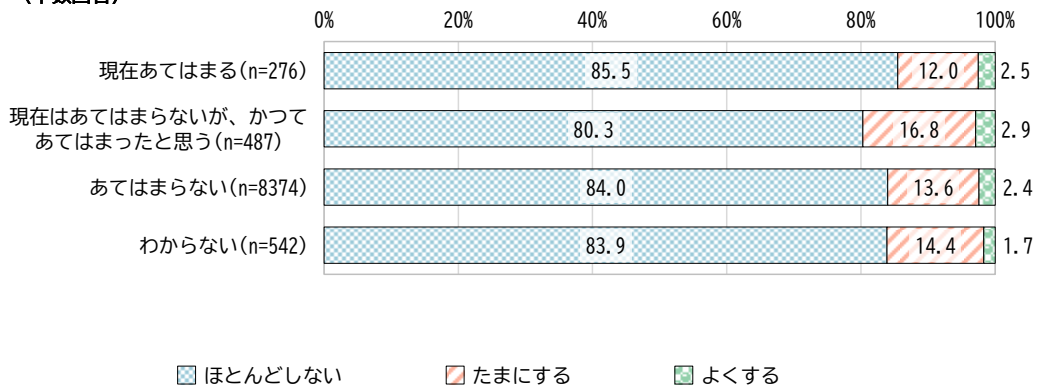
#### 今回調査

〈単数回答〉



#### 全国調査

〈単数回答〉



## ⑤ヤングケアラーの自己認識×普段の大学生活等においてあてはまるもの

◇普段の大学生活等においてあてはまるものについては、n数が少ないことに留意が必要だが、ヤングケアラーに「現在あてはまる」人では、「あてはまらない」、「わからない」人に比べて「課題や予習復習ができていないことが多い」、「部活・サークル等を休むことが多い」、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」、「合宿等の行事を欠席する」の割合が高くなっている。全国調査と比べるとn数の多い「あてはまらない」では、全国調査と同様の傾向となっている。

(%)

		調査数 (n=)	授業を欠席しがちである	課題や予習復習ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活・サークル等を休むことが多い	書類などの提出が遅れない	提出しなければいけない書類などの提出が遅れない	合宿等の行事を欠席する	大学では1人で過ごすことが多い	友人と遊んだり、話したりする時間がない	特にな
熊本県	現在あてはまる	5	0.0	40.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	10	20.0	20.0	10.0	0.0	10.0	10.0	20.0	20.0	50.0	
	あてはまらない	226	3.5	13.7	6.6	4.0	10.6	0.9	22.1	21.7	54.9	
	わからない	14	0.0	21.4	0.0	7.1	14.3	0.0	28.6	35.7	35.7	
全国	現在あてはまる	276	8.3	23.2	10.9	8.3	14.9	2.9	29.3	33.7	36.6	
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	487	10.1	26.7	9.9	7.4	14.6	4.5	27.9	35.3	31.8	
	あてはまらない	8,374	7.1	20.5	6.1	5.0	9.9	2.3	24.9	27.4	45.4	
	わからない	542	7.4	19.2	7.4	5.9	11.3	4.1	26.9	28.4	41.3	

## ⑥ヤングケアラーの自己認識×現在の悩みや困りごと

◇現在の悩みや困りごとについては、n数が少ないことに留意が必要だが、ヤングケアラーに「現在あてはまる」、「現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う」人では、「あてはまらない」、「わからない」人に比べて「課題活動や習い事ができないこと」、「アルバイト・仕事のこと」、「家庭の経済的状況のこと」、「自分と家族との関係のこと」、「家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）」、「自分のために使える時間が少ないこと」の割合が高くなっている。全国調査と比べるとn数の多い「あてはまらない」では、全国調査と同様の傾向となっている。

		調査数 (n=)	友人との関係のこと	学業成績のこと	就職・進路のこと	部活動・サークル活動のこと	学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと	課題活動や習い事ができないこと	アルバイト・仕事のこと	家庭の経済的状況のこと	自分と家族との関係のこと	（両親の仲が良くないなど） 家族内の人間関係のこと	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	その他	特になし
熊本県	現在あてはまる	5	0.0	20.0	60.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	60.0	40.0	0.0	20.0	20.0	20.0
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	10	20.0	40.0	100.0	10.0	30.0	10.0	30.0	50.0	10.0	40.0	30.0	40.0	0.0	0.0
	あてはまらない	226	16.8	22.1	68.1	2.7	18.6	2.2	18.6	11.9	7.5	4.9	3.1	8.8	1.8	15.5
	わからない	14	7.1	42.9	50.0	0.0	28.6	0.0	14.3	7.1	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	28.6
全国	現在あてはまる	276	20.7	31.5	79.0	8.3	38.8	11.2	34.1	42.4	31.9	28.3	32.6	27.5	5.1	5.4
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	487	18.5	30.0	79.5	8.8	34.5	10.1	31.8	33.7	23.6	20.3	12.7	22.8	6.0	6.0
	あてはまらない	8,374	14.5	23.8	77.3	8.3	20.0	4.4	23.4	14.7	8.6	6.9	2.4	15.9	4.1	11.2
	わからない	542	17.3	27.9	71.6	7.9	28.4	7.4	26.2	24.2	16.6	14.6	11.8	15.7	3.7	15.5

## ⑦ヤングケアラーの自己認識×一緒に世話をしている人

◇一緒に世話をしている人については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

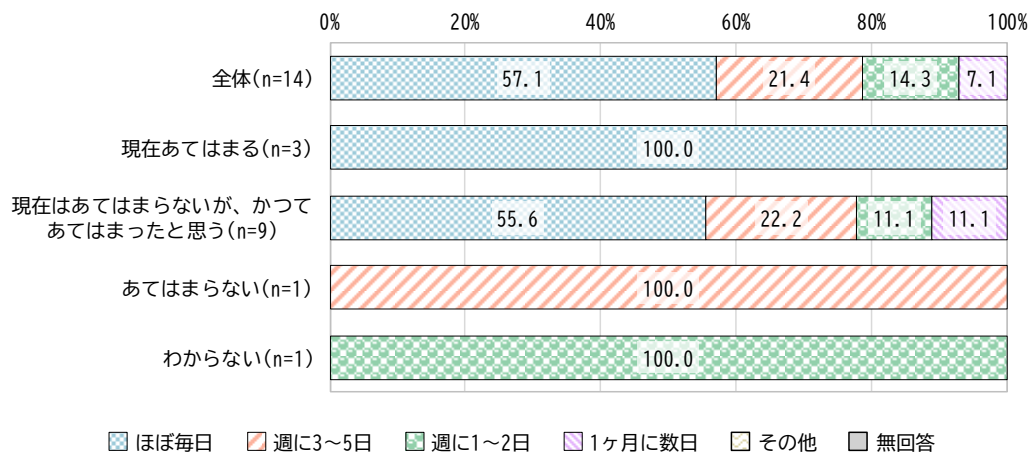
		調査数 (n)	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	親戚の人	自分のみ	福祉サービス (ヘルパー など)を利用	その他
熊本県	全体	14	64.3	35.7	14.3	14.3	21.4	7.1	21.4	21.4	0.0
	現在あてはまる	3	66.7	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
	現在はあてはまらないが、 かつてあてはまったと思う	9	66.7	33.3	22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	22.2	0.0
	あてはまらない	1	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	わからない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
全国	全体	987	52.9	36.2	11.8	5.6	27.3	7.4	20.0	14.1	1.3
	現在あてはまる	174	50.6	29.3	10.3	3.4	27.6	5.7	20.7	21.8	2.3
	現在はあてはまらないが、 かつてあてはまったと思う	289	53.6	40.1	12.8	8.0	31.8	13.1	15.6	20.8	0.3
	あてはまらない	361	55.1	38.5	11.6	4.7	25.8	4.2	21.9	6.9	1.7
	わからない	163	49.1	31.3	11.7	5.5	22.1	6.1	22.7	9.8	1.2

## ⑧ヤングケアラーの自己認識×世話をしている（していた）頻度

◇世話をしている（していた）頻度については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

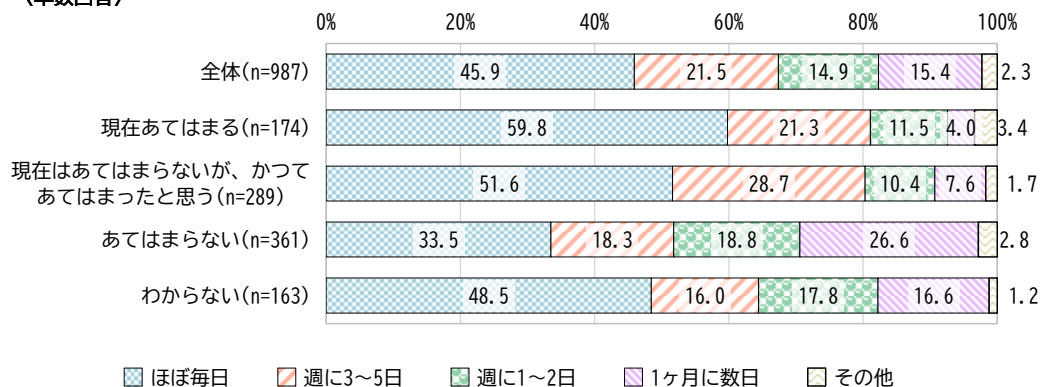
### 今回調査

〈単数回答〉



### 全国調査

〈単数回答〉

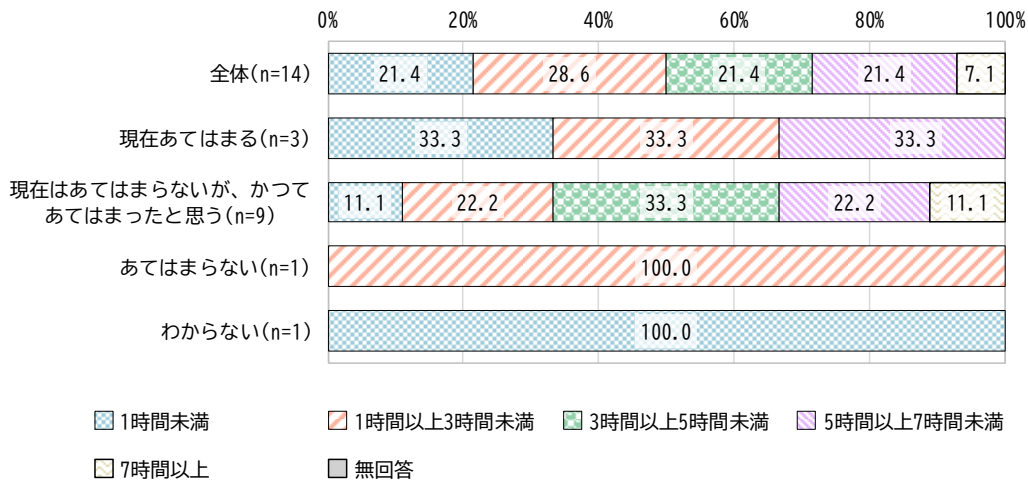


## ⑨ヤングケアラーの自己認識×平日1日あたりに世事に費やす時間

◇平日1日あたりに世事に費やす時間については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

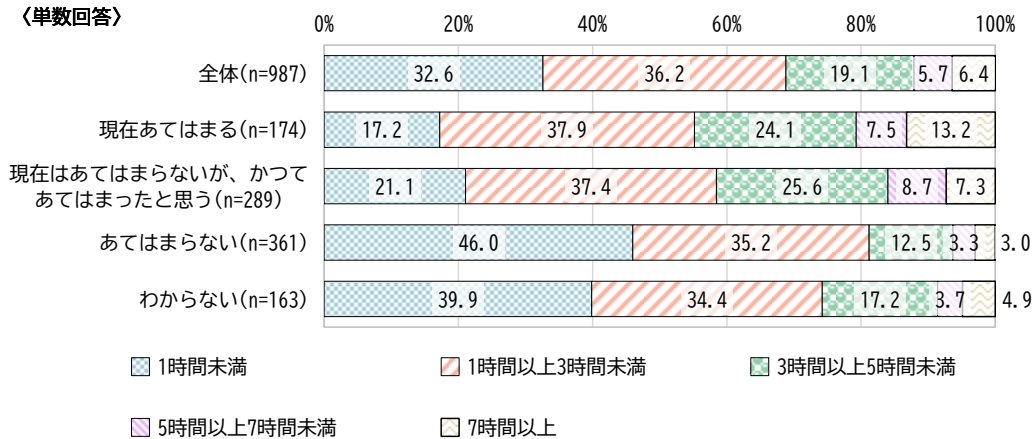
### 今回調査

〈単数回答〉



### 全国調査

〈単数回答〉





### ⑩ヤングケアラーの自己認識×世話をしていることで、大学進学の際に苦 労したこと・影響

◇世話を始めた時期が大学入学以前と答えた人に対し世話をしていることで、大学進学の際に苦労したこと・影響を聞いたところ、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n=)	受験勉強をする時間 が取れなかった	学費等の制約や経済的な 不安があつた	実家から通える範囲等の 通学面の制約があつた	家族等から世話を優先す るよう求められた	進学するか働くか迷つた	大学以外の進学先と迷つた	その他	特 に な い
熊本県	全体	11	27.3	36.4	18.2	0.0	9.1	18.2	9.1	54.5
	現在あてはまる	3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7
	現在はあてはまらないが、 かつてあてはまったと思う	7	28.6	57.1	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3	42.9
	あてはまらない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	全体	633	21.6	26.7	13.1	10.7	12.2	7.1	6.3	48.0
	現在あてはまる	112	35.7	40.2	33.9	19.6	26.8	15.2	8.0	22.3
	現在はあてはまらないが、 かつてあてはまったと思う	211	29.9	35.1	10.9	13.3	9.5	9.0	9.5	40.3
	あてはまらない	216	8.3	12.5	5.1	5.1	6.0	2.3	4.6	70.4
	わからない	94	17.0	24.5	11.7	7.4	14.9	4.3	1.1	44.7

# ⑪ヤングケアラーの自己認識×世話をしていることで、やりたかったがで きなかったこと、あきらめたこと

## ■世話をしていることで、やりたかったがで きなかったこと、あきらめたこと

◇世話をしている（していた）ことでやりたかったがで  
きなかったこと、あきらめたことにつ  
いては、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

		調査数（n＝）	大学の授業に行きたくても行け なかつた	単位をとれなかつた、留年・休 学した	課題・予習復習をする時間が取 れなかつた	留学をあきらめた	睡眠が十分に取れなかつた	友人と遊ぶことができなかった	部活動・サークル活動がで きなかつた、もしくは辞めざるを得 なかつた	課外活動・習い事ができなかつ た、もしくは辞めざるを得なかつ た	アルバイトができなかつた	就職先・進路の変更を考えざる を得なかつた・変更した	一人暮らしをしたくてもできな かつた	恋愛をしたくてもできなかつた	自分の時間が取れなかつた	その他	特になかつた
熊本県	全体	14	7.1	0.0	21.4	7.1	42.9	42.9	7.1	14.3	28.6	0.0	0.0	7.1	42.9	0.0	21.4
	現在あてはまる	3	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	現在はあてはまらないが、 かつてあてはまったと思う	9	11.1	0.0	11.1	11.1	33.3	66.7	11.1	22.2	11.1	0.0	0.0	11.1	44.4	0.0	22.2
	あてはまらない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	わからない	1	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
全国	全体	987	4.5	3.6	17.9	5.3	24.4	24.3	9.8	4.8	11.8	7.5	13.2	7.9	32.2	2.1	41.9
	現在あてはまる	174	10.3	6.9	35.1	9.8	42.5	43.7	23.0	10.9	25.3	13.2	27.0	14.9	57.5	1.1	14.4
	現在はあてはまらないが、 かつてあてはまったと思う	289	4.8	4.8	20.4	5.9	30.4	30.4	11.1	5.9	10.7	8.3	12.1	7.6	38.8	3.8	33.2
	あてはまらない	361	0.8	1.4	8.6	1.4	11.1	11.9	4.2	1.7	5.5	3.0	6.1	4.2	15.2	1.4	64.8
	わからない	163	5.5	3.1	16.0	8.0	23.9	20.2	6.1	3.1	12.9	9.8	16.0	9.2	31.3	1.8	36.2

## ■世話をしていることで今後不安なこと、やりたいけどできなさそうなこと

◇世話をしている（していた）ことで今後不安なこと、やりたいけどできなさ  
そうなことにつ  
いては、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

		調査数（n＝）	大学の授業に行きたくても行け なかつた	単位取得、進学・卒業で きるか不安がある	課題・予習復習をする時 間が取れない	留学にいけない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができな い	部活や習い事ができな い	部活動・サークル活動が できない	課外活動・習い事ができ ない	アルバイトができな い	就職活動の時間が取れな い	希望する就職先・進路の 変更を考えざるを得ない	一人暮らしができるか不 安がある	恋愛・結婚に対する不安 がある	自分の時間が取れない	その他	特にな い
熊本県	全体	14	7.1	14.3	14.3	0.0	7.1	7.1	7.1	-	-	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3	21.4	7.1	50.0
	現在あてはまる	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	66.7
	現在はあてはまらないが、 かつてあてはまったと思う	9	11.1	22.2	22.2	0.0	0.0	11.1	11.1	-	-	11.1	0.0	22.2	11.1	22.2	22.2	11.1	44.4
	あてはまらない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	わからない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	-	-	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全国	全体	987	2.8	8.0	8.5	4.4	12.9	9.9	-	2.9	3.1	7.4	11.4	13.6	15.9	14.4	20.1	3.5	51.9
	現在あてはまる	174	6.3	19.0	19.0	7.5	25.3	23.6	-	5.7	6.9	18.4	22.4	27.6	35.1	25.9	43.7	4.6	19.0
	現在はあてはまらないが、 かつてあてはまったと思う	289	3.1	8.0	9.0	4.2	12.8	10.7	-	2.8	2.8	6.6	12.1	12.8	12.5	18.7	20.4	5.2	48.4
	あてはまらない	361	0.8	3.0	3.3	2.5	6.1	3.0	-	0.8	0.8	2.2	5.0	6.4	6.9	6.9	9.1	1.7	72.6
	わからない	163	3.1	7.4	8.0	5.5	14.7	9.2	-	4.9	4.9	8.6	12.9	16.0	21.5	11.0	18.4	3.7	47.2

## ⑫ヤングケアラーの自己認識×世話をしていることで生ずる就職に関する不安

◇世話をしていることで生ずる就職に関する不安については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n=)	か 正 社 員 と し て 就 職 で き る 不 安 が あ る	休 ま ず 働 け る か 不 安 が あ る	通 勤 で き る 地 域 が 限 ら れ る	働 け る 時 間 帯 が 限 ら れ て い る	就 職 先 に つ い て 考 え る 時 間 が な い	そ の 他	わ か ら な い	特 に な い
熊本県	全体	14	28.6	21.4	14.3	7.1	14.3	7.1	21.4	42.9
	現在あてはまる	3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3
	現在はあてはまらないが、 かつてあてはまったと思う	9	22.2	22.2	22.2	0.0	0.0	11.1	22.2	44.4
	あてはまらない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	わからない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
全国	全体	987	13.9	11.4	13.4	7.0	7.8	2.0	12.9	54.9
	現在あてはまる	174	27.6	21.8	35.6	14.4	14.9	3.4	17.8	22.4
	現在はあてはまらないが、 かつてあてはまったと思う	289	14.2	13.8	11.4	6.9	10.0	2.4	12.5	52.2
	あてはまらない	361	5.8	3.6	5.0	2.8	2.2	0.6	9.1	75.6
	わからない	163	16.6	13.5	11.7	8.6	8.6	3.1	16.6	48.5

### ⑬ ヤングケアラーの自己認識×世話をすることで感じるきつさ

◇世話をすることで感じるきつさについては、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

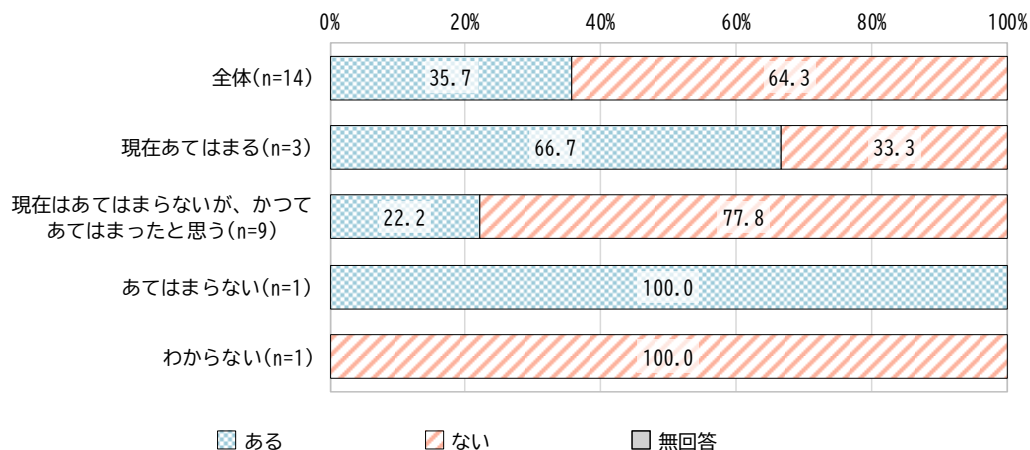
		調査数 (n)	身体的 にきつい	精神的 にきつい	時間的 余裕がない	い特 にきつ さを感 じてい ない
熊本県	全体	14	21.4	71.4	28.6	21.4
	現在あてはまる	3	0.0	33.3	0.0	66.7
	現在はあてはまらないが、 かつてあてはまったと思う	9	33.3	88.9	33.3	0.0
	あてはまらない	1	0.0	0.0	0.0	100.0
	わからない	1	0.0	100.0	100.0	0.0
全国	全体	987	16.3	42.4	31.8	41.8
	現在あてはまる	174	29.3	58.6	47.1	19.0
	現在はあてはまらないが、 かつてあてはまったと思う	289	22.8	62.6	36.0	26.6
	あてはまらない	361	5.3	21.1	20.5	63.7
	わからない	163	15.3	36.2	33.1	44.8

## ⑭ ヤングケアラーの自己認識×世話について相談した経験の有無

◇世話について相談した経験の有無については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

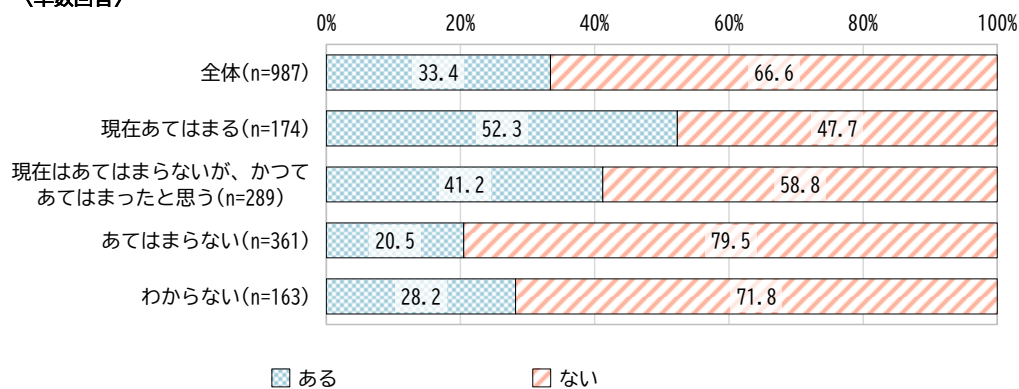
### 今回調査

〈単数回答〉



### 全国調査

〈単数回答〉



## ⑮ ヤングケアラーの自己認識×世話についての相談相手

◇世話についての相談相手については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n)	家族(父、母、祖母、きょうだい)	親戚(おじ、おばなど)	友人	交際相手、配偶者	大学の指導教員	大学の学生相談室やキャリア支援室・保健センター	その他の大学の職員・機関	医師や看護師、その他病院の人	ホームヘルパーやケアマネージャー、福祉サービスの人	役所の人(自治体の保健センター等含む)	近所の人	SNS上での知り合い	その他
熊本県	全体	5	80.0	0.0	80.0	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	現在あてはまる	2	50.0	0.0	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	2	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	全体	330	52.4	14.8	49.7	16.7	11.5	12.7	1.8	4.5	4.5	3.6	2.4	4.5	7.3
	現在あてはまる	91	53.8	16.5	53.8	14.3	14.3	12.1	1.1	8.8	8.8	5.5	2.2	8.8	5.5
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	119	45.4	16.8	47.1	22.7	12.6	16.8	2.5	4.2	4.2	4.2	2.5	5.0	9.2
	あてはまらない	74	60.8	8.1	43.2	14.9	8.1	8.1	0.0	2.7	0.0	1.4	1.4	1.4	4.1
	わからない	46	54.3	17.4	58.7	8.7	8.7	10.9	4.3	0.0	4.3	2.2	4.3	0.0	10.9

## ⑯ ヤングケアラーの自己認識×悩みを相談していない理由

◇世話について相談した経験が「ない」と答えた人に悩みを相談していない理由を尋ねたところ、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

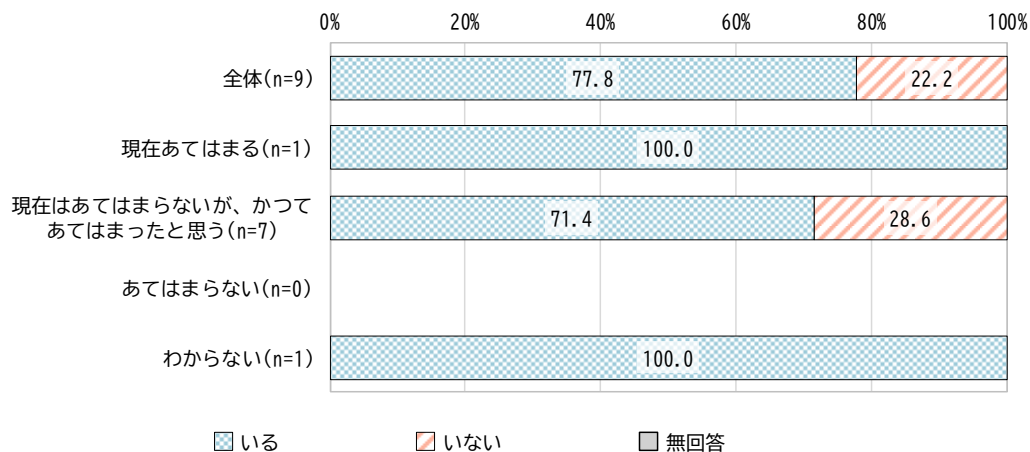
		調査数 (n=)	み誰 かには 相談す るほど の悩	う家 族外の 人に相 談する よ	わ誰 から相 談する のがよ いか	な相 談でき る人が 身近に い	く家 族のこ とのため 話しに	な家 族のこ とを知ら れたく	れ家 族に対 して偏 見を持 た	と相 談して も状況 が変わ る	そ 他
熊本県	全体	9	33.3	11.1	33.3	22.2	44.4	44.4	22.2	44.4	11.1
	現在あてはまる	1	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0
	現在はあてはまらないが、 かつてあてはまったと思う	7	28.6	0.0	28.6	28.6	42.9	42.9	14.3	42.9	14.3
	あてはまらない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	わからない	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全国	全体	657	52.5	20.2	12.5	11.6	19.3	12.5	10.7	33.0	3.8
	現在あてはまる	83	30.1	37.3	21.7	21.7	37.3	26.5	20.5	49.4	2.4
	現在はあてはまらないが、 かつてあてはまったと思う	170	45.9	26.5	17.6	18.8	26.5	16.5	15.3	34.7	5.3
	あてはまらない	287	67.9	13.6	6.3	5.6	9.4	5.6	4.9	24.4	3.5
	わからない	117	40.2	15.4	13.7	8.5	20.5	13.7	11.1	40.2	3.4

## ⑰ヤングケアラーの自己認識×世話について話を聞いてくれる人の有無

◇世話について相談した経験が「ない」と答えた人に世話について話を聞いてくれる人がいるか聞いたところ、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

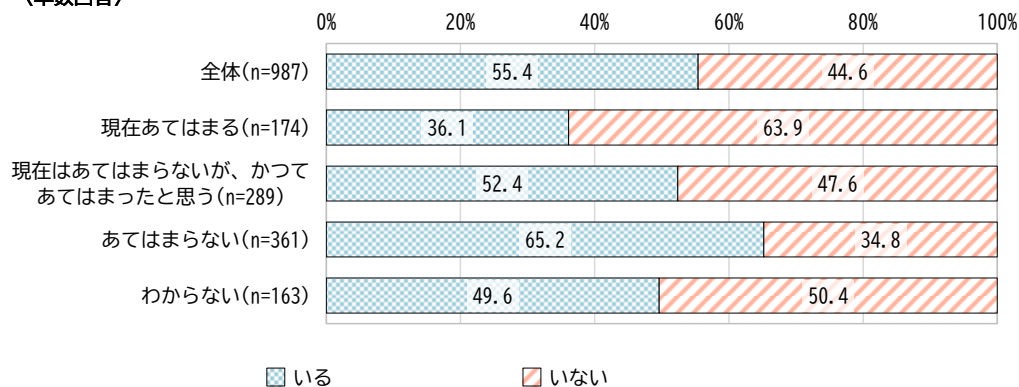
### 今回調査

〈単数回答〉



### 全国調査

〈単数回答〉





## ⑱ ヤングケアラーの自己認識×大学や大人に助けて欲しいことや、必要な支援

◇大学や大人に助けて欲しいことや、必要な支援については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n=)	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、ケアのこつなどについてわかりやすく説明してほしい	自分が行っているお世話のすべてがほしい	自分が行っているお世話の一部がほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	大学の勉強や学習のサポート	家庭への経済的な支援	学費への支援・奨学金等	その他	特にな	わからない
熊本県	全体	14	28.6	14.3	14.3	7.1	0.0	35.7	35.7	7.1	14.3	35.7	0.0	35.7	14.3
	現在あてはまる	3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	9	33.3	11.1	11.1	11.1	0.0	33.3	44.4	11.1	11.1	33.3	0.0	33.3	22.2
	あてはまらない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	わからない	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
全国	全体	987	21.7	10.6	5.9	7.4	2.5	26.2	28.3	18.5	23.4	28.3	2.5	26.2	10.2
	現在あてはまる	174	31.6	23.0	12.6	14.4	7.5	43.1	37.9	27.0	39.1	40.8	4.6	13.8	4.6
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	289	26.3	10.4	8.0	8.0	2.4	25.3	31.1	20.1	29.4	33.2	4.2	21.1	8.3
	あてはまらない	361	13.0	5.3	2.2	4.4	0.8	18.8	21.3	15.5	13.9	20.8	1.4	39.9	10.2
	わからない	163	22.1	9.8	3.1	5.5	1.2	26.4	28.2	13.5	17.2	22.7	0.0	18.4	19.6

## 6-8 世話に関する相談の状況

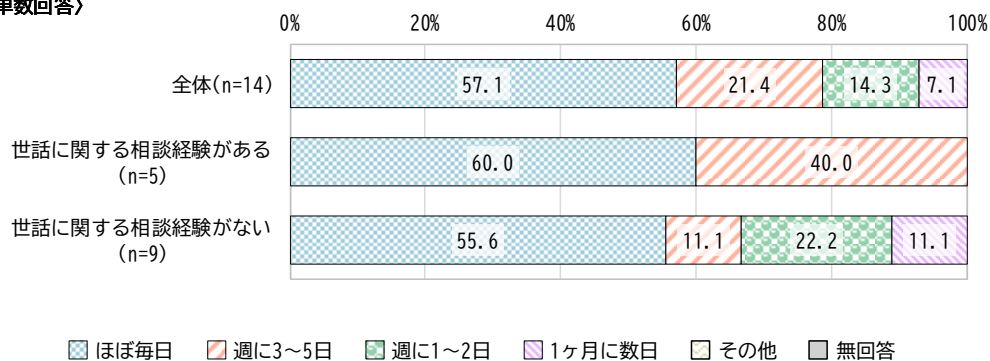
世話に関する相談経験の有無別の世話の状況の違いを記載する。

### ①世話に関する相談の経験×世話をしている（していた）頻度

◇世話をしている（していた）頻度については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

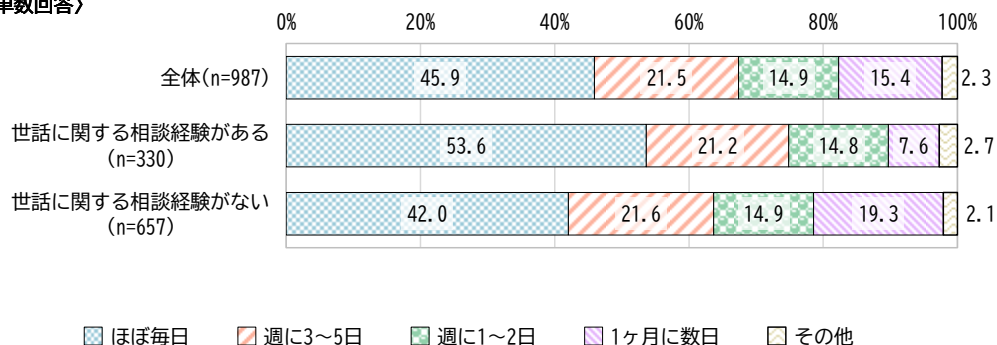
#### 今回調査

〈単数回答〉



#### 全国調査

〈単数回答〉



## ②世話に関する相談の経験×世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたこと

◇世話をしていることでやりたかったができなかったこと、あきらめたことについては、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n II)	大学の授業に行きたくても行けなかった	単位をとれなかった、留年・休学した	課題・予習復習をする時間が取れなかった	留学をあきらめた	睡眠が十分に取れなかった	友人と遊ぶことができなかった	部活動・サークル活動が得られなかった	課外活動・習い事ができなかった、もしくは辞めざるを得なかった	アルバイトができなかった	就職先・進路の変更を考えた	一人暮らしをしたくてもできなかった	恋愛をしたくてもできなかった	自分の時間が取れなかった	その他	特になかった
熊本県	全体	14	7.1	0.0	21.4	7.1	42.9	42.9	7.1	14.3	28.6	0.0	0.0	7.1	42.9	0.0	21.4
	ある	5	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0
	ない	9	0.0	0.0	22.2	11.1	44.4	55.6	0.0	11.1	22.2	0.0	0.0	11.1	44.4	0.0	22.2
全国	全体	987	4.5	3.6	17.9	5.3	24.4	24.3	9.8	4.8	11.8	7.5	13.2	7.9	32.2	2.1	41.9
	ある	330	7.6	4.8	23.9	7.0	35.5	32.1	12.1	5.5	14.5	10.9	19.7	10.3	43.9	4.2	22.7
	ない	657	2.9	3.0	14.9	4.4	18.9	20.4	8.7	4.4	10.4	5.8	9.9	6.7	26.3	1.1	51.6

## ③世話に関する相談の経験×世話に関する相談の経験×世話をしている(していた)ことで今後不安なこと、やりたいけどできなさそうなこと

◇世話をしている(していた)ことで今後不安なこと、やりたいけどできなさそうなことについては、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n II)	大学の授業に行きたくても行けない	単位取得、進学・卒業できず不安がある	課題・予習復習をする時間が取れない	留学にいけない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活や習い事ができない	部活動・サークル活動ができない	課外活動・習い事ができない	アルバイトができない	就職活動の時間が取れない	希望する就職先・進路の変更を考えざるを得ない	一人暮らしができるか不安がある	恋愛・結婚に対する不安がある	自分の時間が取れない	その他	特にない
熊本県	全体	14	7.1	14.3	14.3	0.0	7.1	7.1	7.1	-	-	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3	21.4	7.1	50.0
	ある	5	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	-	-	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0
	ない	9	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	-	-	11.1	0.0	22.2	11.1	22.2	22.2	11.1	55.6
全国	全体	987	2.8	8.0	8.5	4.4	12.9	9.9	-	2.9	3.1	7.4	11.4	13.6	15.9	14.4	20.1	3.5	51.9
	ある	330	4.2	10.9	11.5	6.4	19.7	12.7	-	2.7	4.2	9.1	14.2	17.6	24.2	22.7	29.1	5.5	29.7
	ない	657	2.1	6.5	7.0	3.3	9.4	8.5	-	3.0	2.6	6.5	10.0	11.6	11.7	10.2	15.5	2.6	63.0

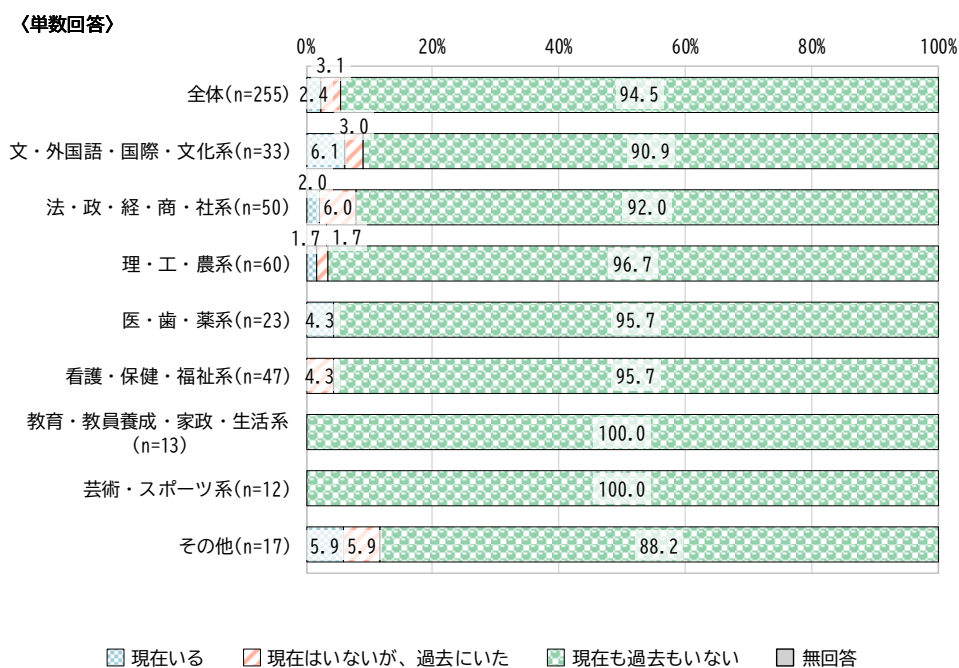
## 6-9 大学の学科による状況の違い

大学の学科（専攻）別の世話の状況の違いを記載する。

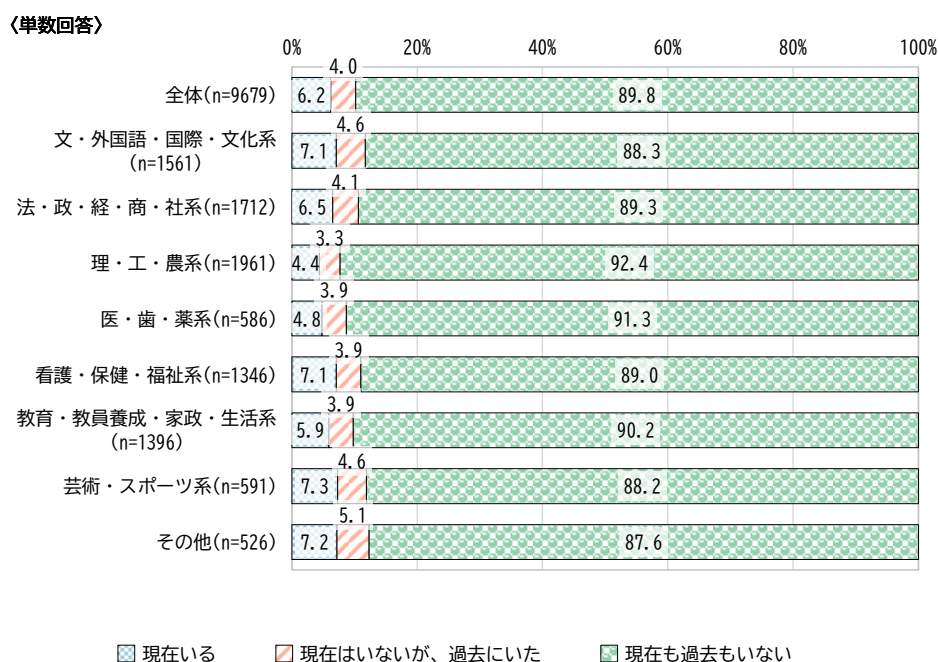
### ①大学の学科（専攻）別×世話をしている家族の有無（母数：全員）

◇世話をしている家族の有無については、あまり大きな差はみられなかった。全国調査と比べると概ね全国調査と同様の傾向となっている。

#### 今回調査



#### 全国調査



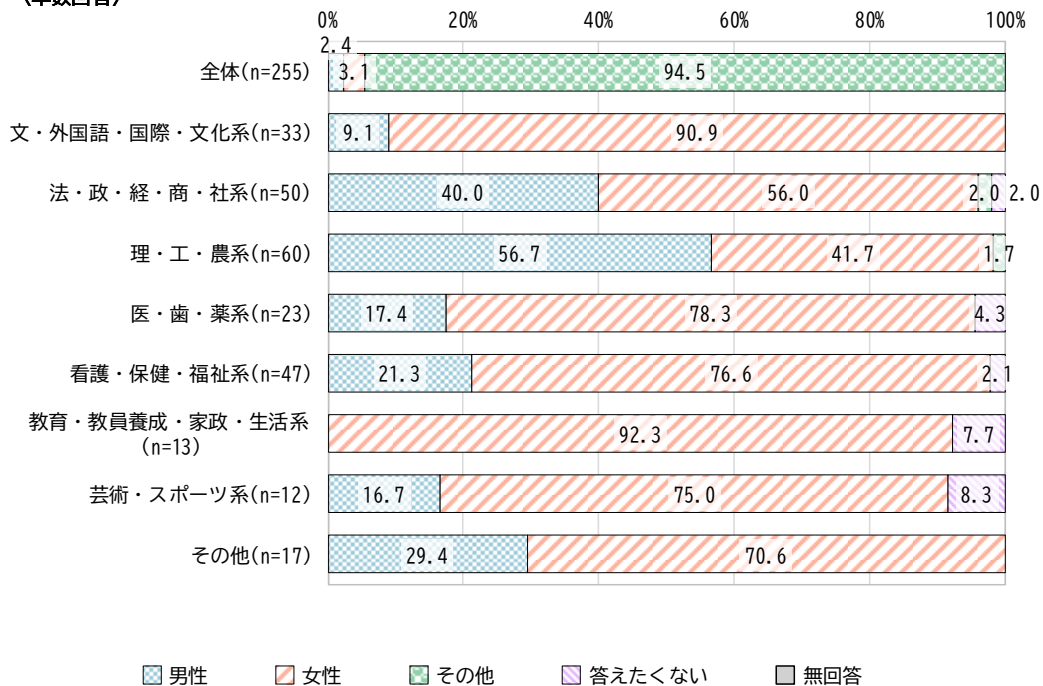
以下は、世話をしている家族が「現在いる」、「過去にいた」人の属性や大学生活の状況、世話の状況を記載する。

## ②大学の学科（専攻）別×性別

◇性別では、「理・工・農系」では「男性」の割合が、それ以外ではいずれも「女性」の割合が高く、「文・外国語・国際・文化系」、「教育・教員養成・家政・生活系」では「女性」の割合が9割を占めている。全国調査と比べると、「男性」の割合が低くとなっている。

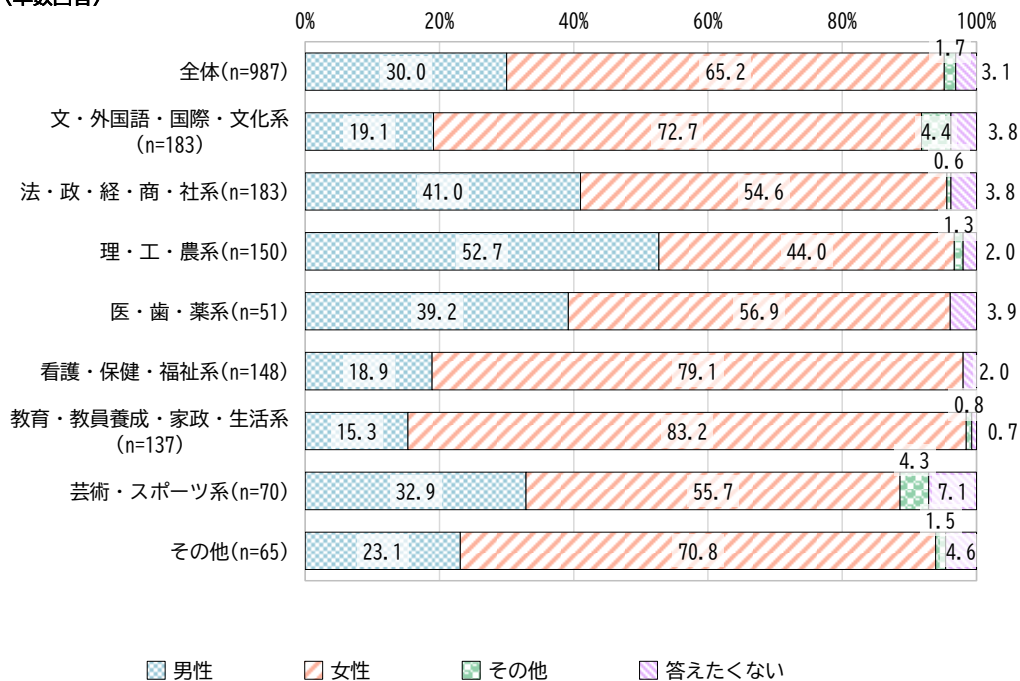
### 今回調査

〈単数回答〉



### 全国調査

〈単数回答〉

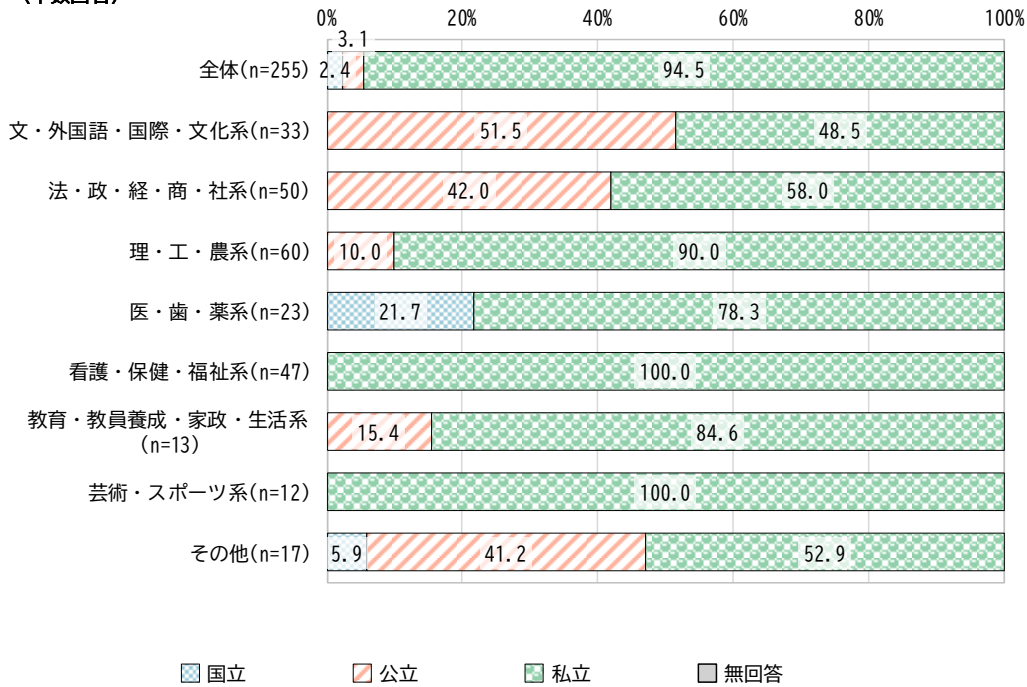


### ③大学の学科（専攻）別×大学種別

◇大学種別では、「文・外国語・国際・文化系」では「公立」の割合が高く、それ以外ではいずれも「私立」の割合が高いが、「医・歯・薬系」では「国立」の割合も高くなっている。全国調査と比べると、「文・外国語・国際・文化系」、「法・政・経・商・社系」、「その他」で「公立」の割合が高くなっている。

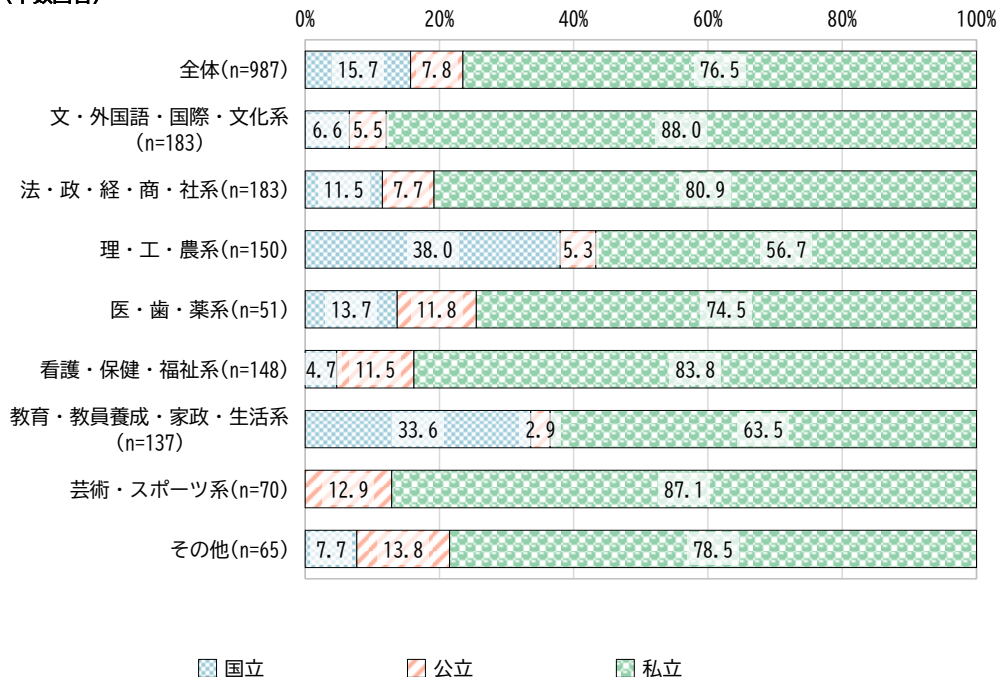
#### 今回調査

〈単数回答〉



#### 全国調査

〈単数回答〉

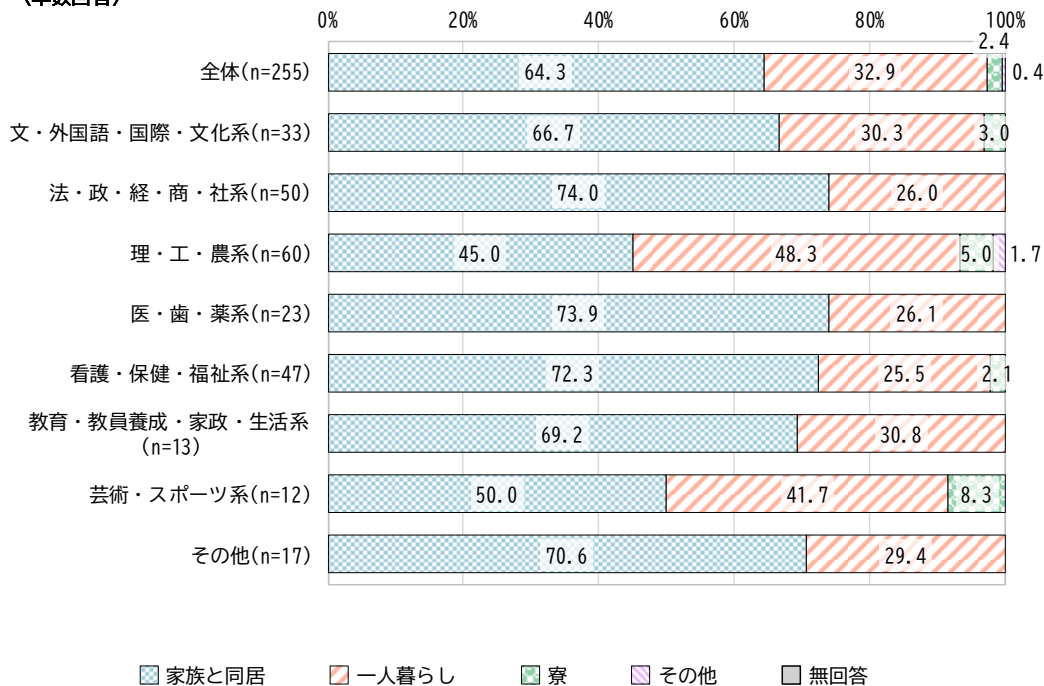


## ④大学の学科（専攻）別×居住形態

◇居住形態については、「理・工・農系」では「一人暮らし」の割合が高く、それ以外ではいずれも「家族と同居」の割合が高くなっている。全国調査と比べると、「芸術・スポーツ系」で「一人暮らし」の割合が高くなっている。

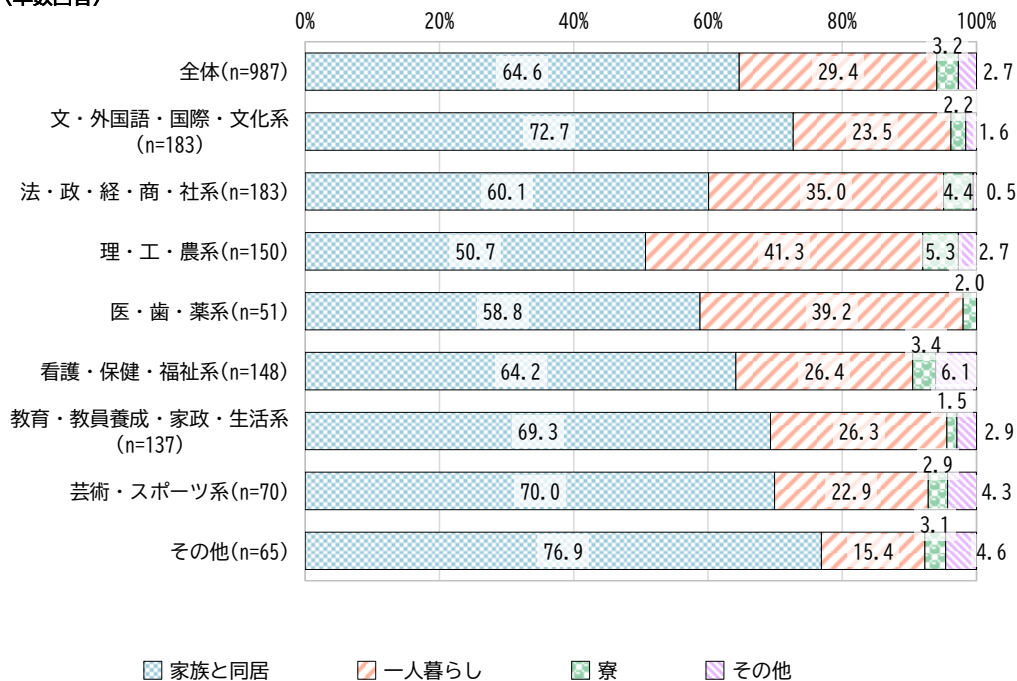
### 今回調査

〈単数回答〉



### 全国調査

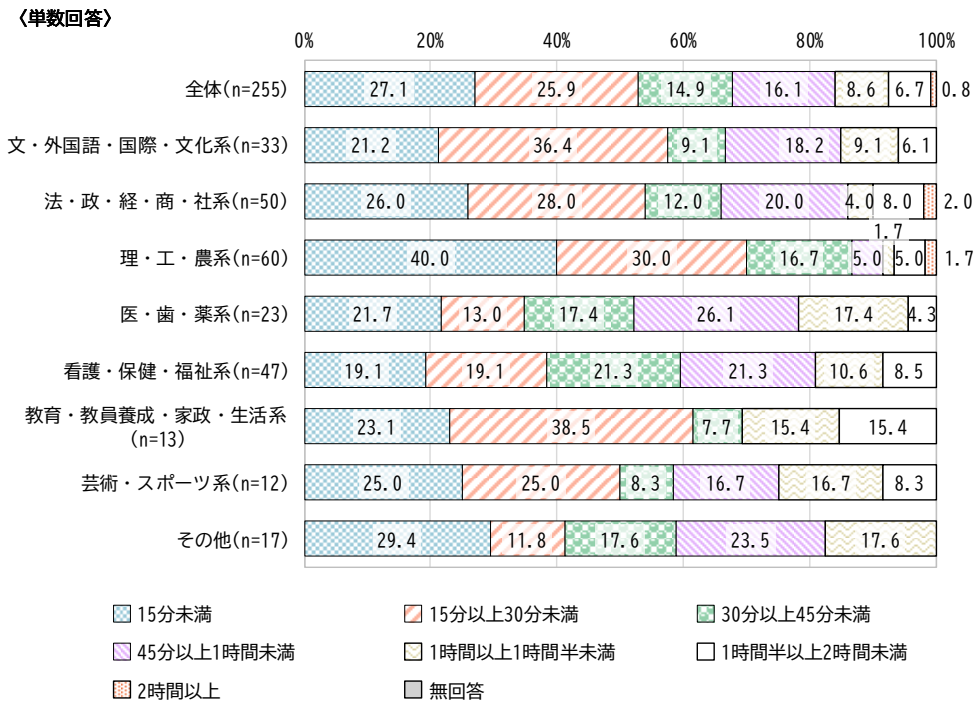
〈単数回答〉



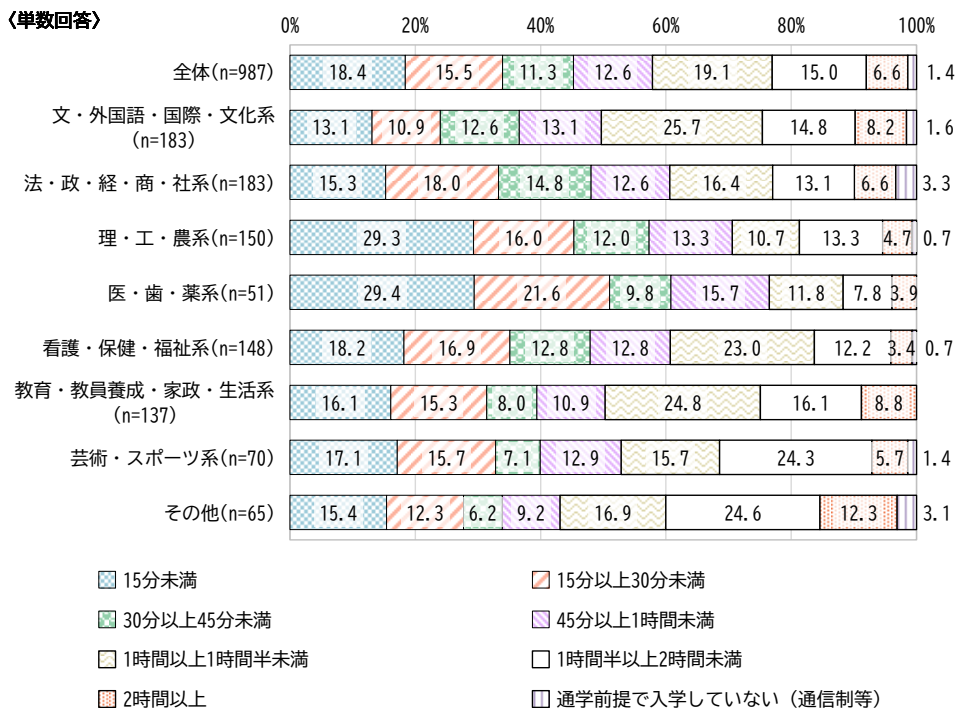
## ⑤大学の学科（専攻）別×大学までの通学時間

◇大学までの通学時間については、「教育・教員養成・家政・生活系」、「芸術・スポーツ系」、「その他」では通学時間が長い傾向にある。全国調査と比べると、全体的に「15分以上30分未満」の割合が高くなっている。

### 今回調査



### 全国調査





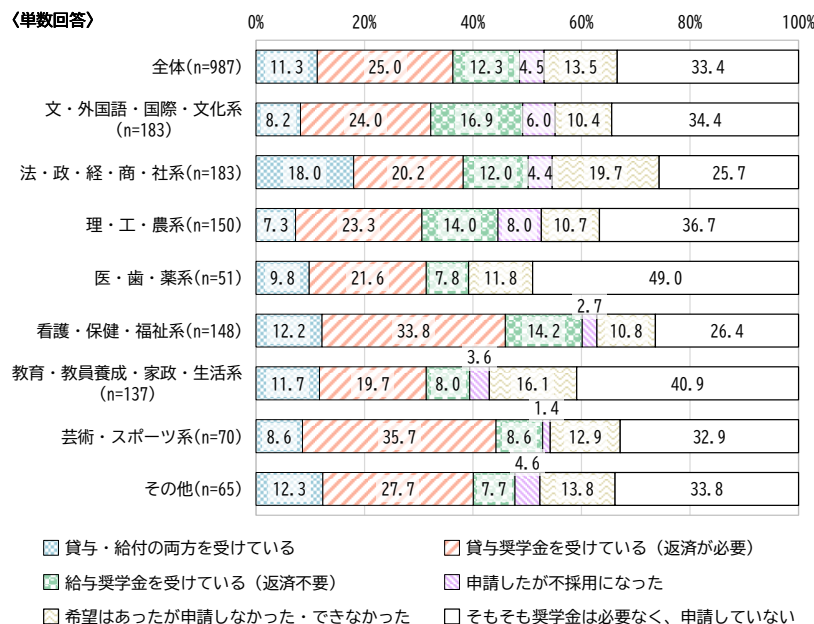
## ⑥大学の学科（専攻）別×奨学金の受給状況

◇奨学金の受給状況については、「医・歯・薬系」、「教育・教員養成・家政・生活系」では「そもそも奨学金は必要なく、申請していない」の割合が高いが、「看護・保健・福祉系」、「芸術・スポーツ系」、「その他」では「奨学金を受けている」割合が高い傾向にある。全国調査と比較すると、「教育・教員養成・家政・生活系」で「そもそも奨学金は必要なく、申請していない」の割合が高くとなっている。

### 今回調査



### 全国調査



## ⑦大学の学科（専攻）別×入学理由

◇入学理由については、ほとんどの項目で「自分のやりたいことができる・学べる」が最も高くなっているが、「法・政・経・商・社系」では、30.0%と他の項目と比べ低くなっている。全国調査と比べても、「法・政・経・商・社系」で「自分のやりたいことができる・学べる」が低くなっている。

(%)

		調査数 (n)	自分の やりたい こと できる ・ 学べる	社会 で 役 立 つ こ と が 学 べ る	実 家 か ら 近 い ・ 通 え る 範 囲 内 に あ る	学 費 が 安 い	時 間 的 に 講 義 等 に 出 席 し や す い	そ の 他
熊本県	全体	255	72.2	27.8	32.5	24.3	2.4	9.0
	文・外国語・国際・文化系	33	81.8	21.2	39.4	45.5	3.0	6.1
	法・政・経・商・社系	50	30.0	36.0	46.0	38.0	4.0	12.0
	理・工・農系	60	81.7	25.0	35.0	16.7	1.7	8.3
	医・歯・薬系	23	87.0	39.1	26.1	8.7	4.3	4.3
	看護・保健・福祉系	47	85.1	31.9	25.5	17.0	0.0	0.0
	教育・教員養成・家政・生活系	13	100.0	23.1	30.8	15.4	7.7	0.0
	芸術・スポーツ系	12	83.3	16.7	16.7	8.3	0.0	41.7
	その他	17	58.8	11.8	11.8	29.4	0.0	23.5
全国	全体	987	72.2	28.6	25.4	13.6	2.1	12.9
	文・外国語・国際・文化系	183	77.0	24.0	24.6	13.1	2.2	14.2
	法・政・経・商・社系	183	54.1	41.0	27.3	17.5	3.3	15.3
	理・工・農系	150	69.3	35.3	29.3	15.3	2.0	8.7
	医・歯・薬系	51	86.3	31.4	23.5	13.7	0.0	5.9
	看護・保健・福祉系	148	69.6	27.0	25.0	13.5	1.4	14.2
	教育・教員養成・家政・生活系	137	80.3	18.2	29.9	13.9	0.7	12.4
	芸術・スポーツ系	70	90.0	8.6	11.4	5.7	4.3	8.6
	その他	65	75.4	35.4	21.5	7.7	3.1	20.0

## ⑧大学の学科（専攻）別×家族の中で世話をしている人

◇家族の中に世話をしている人については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

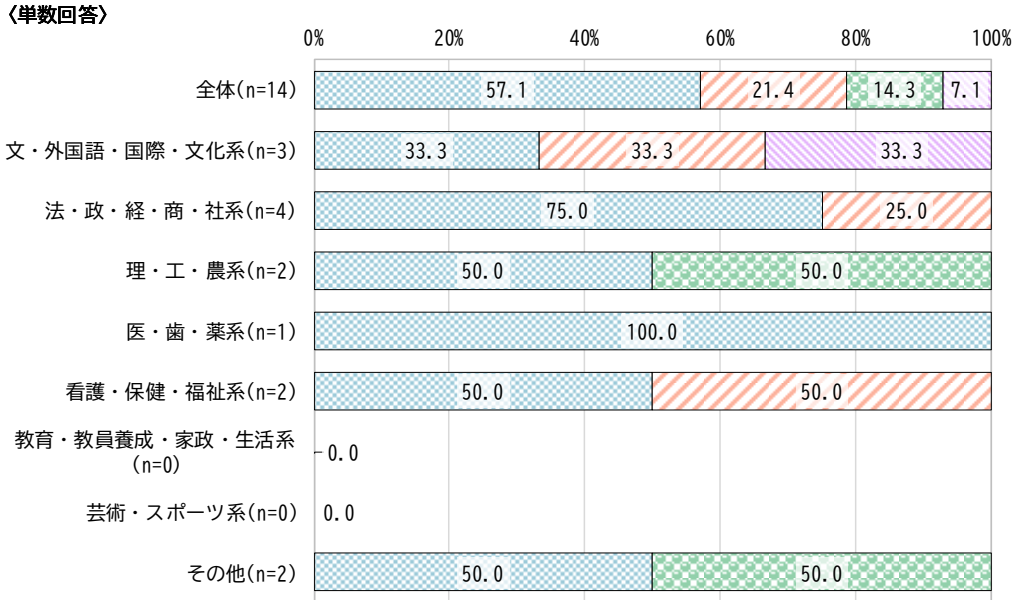
(%)

		調査数 (n)	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他
熊本県	全体	14	14.3	7.1	14.3	28.6	50.0	0.0
	文・外国語・国際・文化系	3	33.3	0.0	33.3	33.3	66.7	0.0
	法・政・経・商・社会系	4	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0
	理・工・農系	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	医・歯・薬系	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	看護・保健・福祉系	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	教育・教員養成・家政・生活系	0	-	-	-	-	-	-
	芸術・スポーツ系	0	-	-	-	-	-	-
	その他	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
全国	全体	987	35.4	20.5	32.8	17.2	26.5	4.7
	文・外国語・国際・文化系	183	42.6	18.0	33.9	14.8	24.0	6.0
	法・政・経・商・社会系	183	43.2	28.4	33.9	16.9	21.9	2.7
	理・工・農系	150	32.0	25.3	28.7	19.3	31.3	2.0
	医・歯・薬系	51	33.3	27.5	31.4	17.6	21.6	5.9
	看護・保健・福祉系	148	28.4	12.8	39.9	16.9	28.4	6.1
	教育・教員養成・家政・生活系	137	30.7	16.1	31.4	16.1	33.6	4.4
	芸術・スポーツ系	70	31.4	20.0	31.4	22.9	18.6	8.6
	その他	65	32.3	15.4	26.2	16.9	29.2	4.6

## ⑨大学の学科（専攻）別×世話をしている（していた）頻度

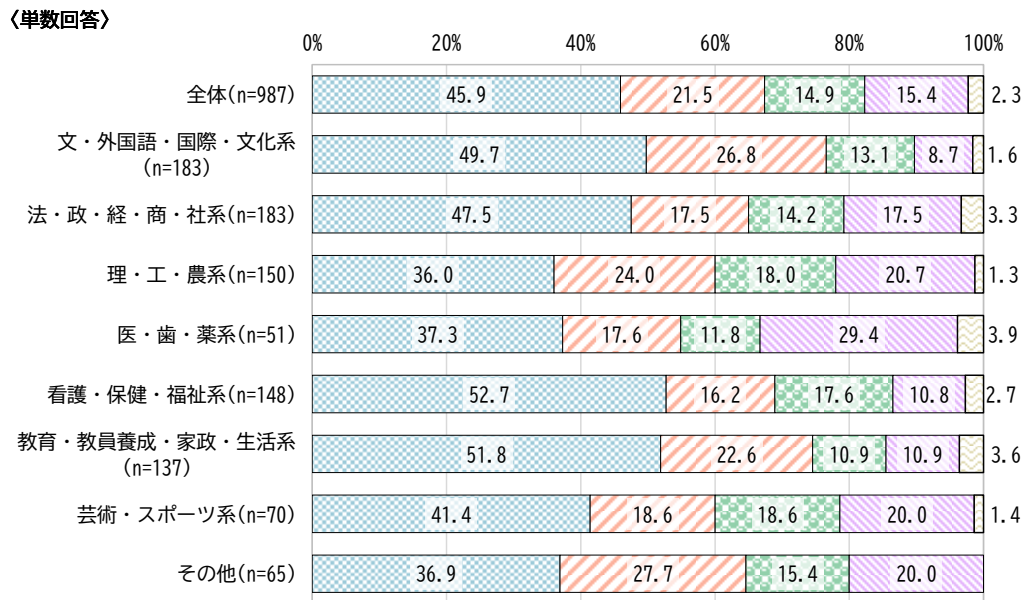
◇世話をしている（していた）頻度については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

### 今回調査



ほぼ毎日
  週に3~5日
  週に1~2日
  1ヶ月に数日
  その他
  無回答

### 全国調査



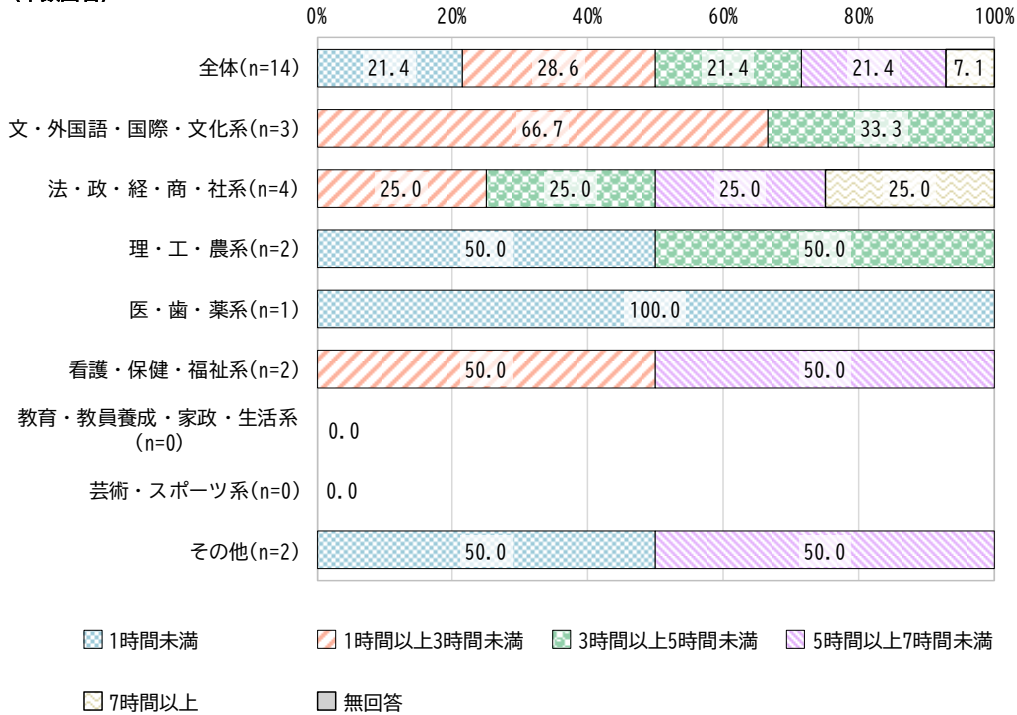
ほぼ毎日
  週に3~5日
  週に1~2日
  1ヶ月に数日
  その他

## ⑩大学の学科（専攻）別×平日1日あたりに世話を費やす時間

◇平日1日あたりに世事に費やす時間については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

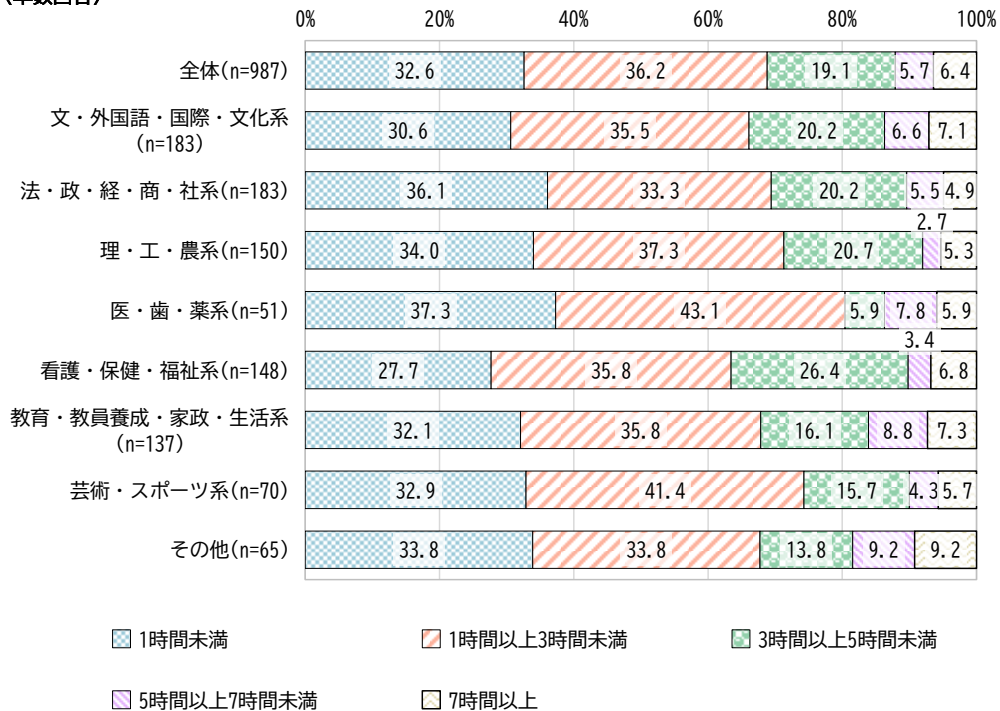
### 今回調査

〈単数回答〉



### 全国調査

〈単数回答〉

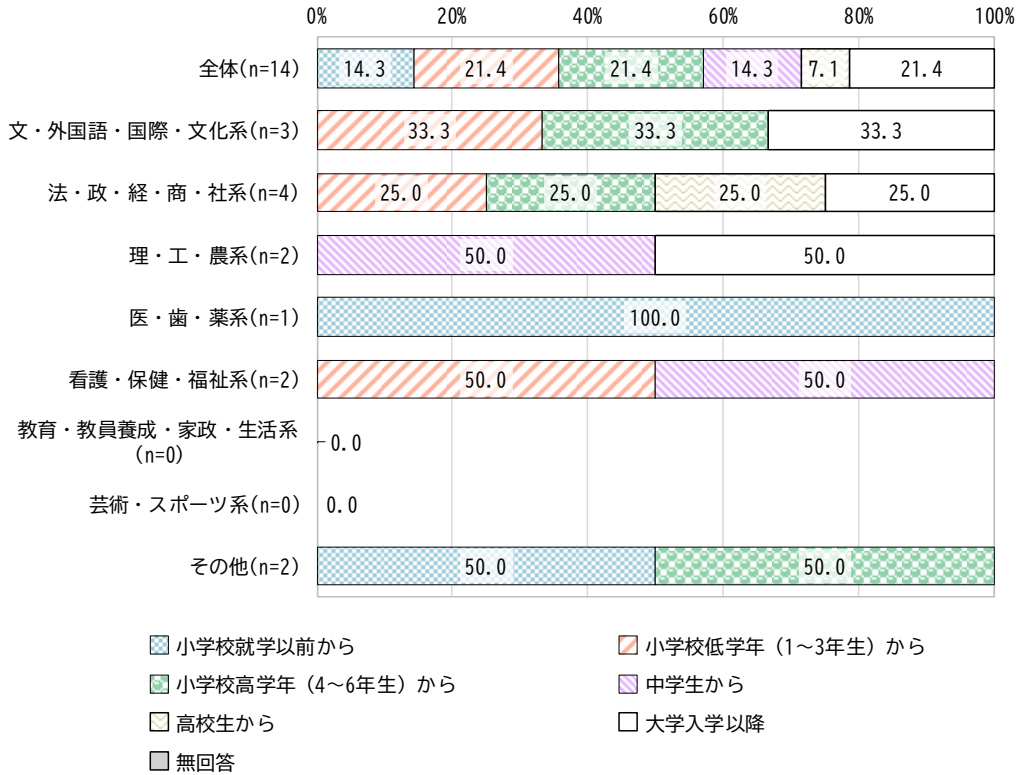


## ⑪大学の学科（専攻）別×世話を始めた時期

◇世話を始めた時期については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

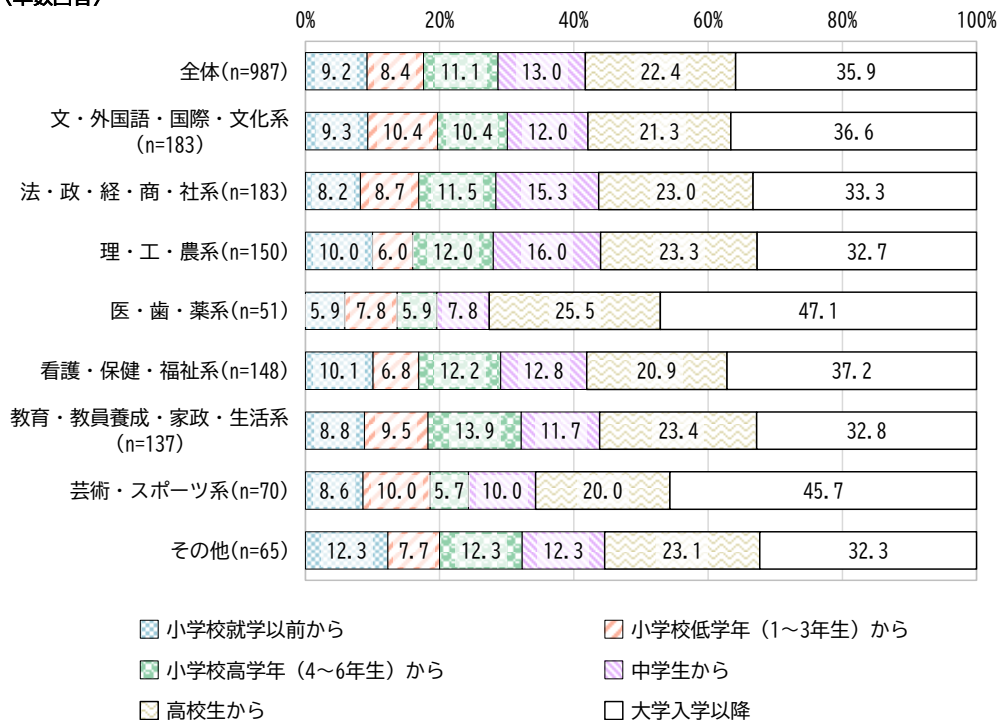
### 今回調査

〈単数回答〉



### 全国調査

〈単数回答〉



## ⑫大学の学科（専攻）別×世話をしていることで、大学進学の際に苦労したこと・影響

◇世話を始めた時期が大学入学以前の方に、大学進学の際に苦労したこと・影響について聞いたところ、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

		調査数 (n=)	受験勉強をする時間が取れなかった	学費等の制約や経済的な不安があつた	実家からの通学範囲が狭い等の制約があつた	家族等から世話を優先するよう求められた	進学するか働くか迷つた	大学以外の進学先と迷つた	その他	特にない
熊本県	全体	11	27.3	36.4	18.2	0.0	9.1	18.2	9.1	54.5
	文・外国語・国際・文化系	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	法・政・経・商・社会系	3	66.7	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	理・工・農系	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	医・歯・薬系	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	看護・保健・福祉系	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0
	教育・教員養成・家政・生活系	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	芸術・スポーツ系	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
全国	全体	633	21.6	26.7	13.1	10.7	12.2	7.1	6.3	48.0
	文・外国語・国際・文化系	116	23.3	35.3	9.5	10.3	14.7	5.2	6.0	39.7
	法・政・経・商・社会系	122	22.1	30.3	7.4	9.8	10.7	9.0	4.9	49.2
	理・工・農系	101	19.8	23.8	14.9	6.9	12.9	6.9	5.9	50.5
	医・歯・薬系	27	18.5	14.8	3.7	7.4	7.4	7.4	7.4	59.3
	看護・保健・福祉系	93	28.0	21.5	20.4	12.9	14.0	10.8	6.5	50.5
	教育・教員養成・家政・生活系	92	20.7	30.4	25.0	12.0	12.0	6.5	7.6	43.5
	芸術・スポーツ系	38	5.3	21.1	5.3	15.8	13.2	0.0	5.3	52.6
	その他	44	25.0	15.9	6.8	13.6	6.8	6.8	9.1	54.5

### ⑬大学の学科（専攻）別×世話をしていることで生ずる就職に関する不安

◇世話をしていることで生ずる就職に関する不安については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数（n）	正社員として就職できる不安がある	休まず働けるか不安がある	通勤できる地域が限られる	働ける時間帯が限られている	就職先について考える時間がない	その他	わからない	特にない
熊本県	全体	14	28.6	21.4	14.3	7.1	14.3	7.1	21.4	42.9
	文・外国語・国際・文化系	3	66.7	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3
	法・政・経・商・社会系	4	25.0	50.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0
	理・工・農系	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	医・歯・薬系	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	看護・保健・福祉系	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	教育・教員養成・家政・生活系	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	芸術・スポーツ系	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
全国	全体	987	13.9	11.4	13.4	7.0	7.8	2.0	12.9	54.9
	文・外国語・国際・文化系	183	19.1	14.2	15.8	7.1	14.2	2.7	9.3	48.6
	法・政・経・商・社会系	183	16.9	16.4	13.1	5.5	6.0	2.2	10.9	54.1
	理・工・農系	150	12.7	7.3	11.3	8.0	6.0	0.7	14.0	60.0
	医・歯・薬系	51	2.0	7.8	5.9	2.0	3.9	0.0	7.8	80.4
	看護・保健・福祉系	148	13.5	10.8	17.6	10.1	8.8	2.7	8.8	56.8
	教育・教員養成・家政・生活系	137	12.4	13.1	18.2	9.5	6.6	2.2	12.4	51.1
	芸術・スポーツ系	70	10.0	5.7	7.1	2.9	10.0	2.9	24.3	51.4
	その他	65	10.8	6.2	4.6	4.6	0.0	1.5	27.7	50.8



### ⑭大学の学科（専攻）別×世話をすることで感じるきつさ

◇世話をすることで感じるきつさについては、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

		(%)				
		調査数 (n)	身体的 にきつい	精神的 にきつい	時間的 余裕がない	特 に き つ さ を 感 じ て
熊本県	全体	14	21.4	71.4	28.6	21.4
	文・外国語・国際・文化系	3	0.0	100.0	0.0	0.0
	法・政・経・商・社系	4	25.0	100.0	50.0	0.0
	理・工・農系	2	50.0	100.0	50.0	0.0
	医・歯・薬系	1	0.0	0.0	0.0	100.0
	看護・保健・福祉系	2	50.0	0.0	50.0	50.0
	教育・教員養成・家政・生活系	0	-	-	-	-
	芸術・スポーツ系	0	-	-	-	-
	その他	2	0.0	50.0	0.0	50.0
全国	全体	987	16.3	42.4	31.8	41.8
	文・外国語・国際・文化系	183	18.6	47.0	39.9	32.2
	法・政・経・商・社系	183	21.3	44.3	27.3	43.2
	理・工・農系	150	11.3	36.7	27.3	48.0
	医・歯・薬系	51	11.8	29.4	27.5	56.9
	看護・保健・福祉系	148	18.9	39.9	35.8	41.9
	教育・教員養成・家政・生活系	137	17.5	45.3	32.1	39.4
	芸術・スポーツ系	70	10.0	41.4	27.1	45.7
	その他	65	9.2	47.7	30.8	40.0

## ⑮大学の学科（専攻）別×大学や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援

◇大学や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

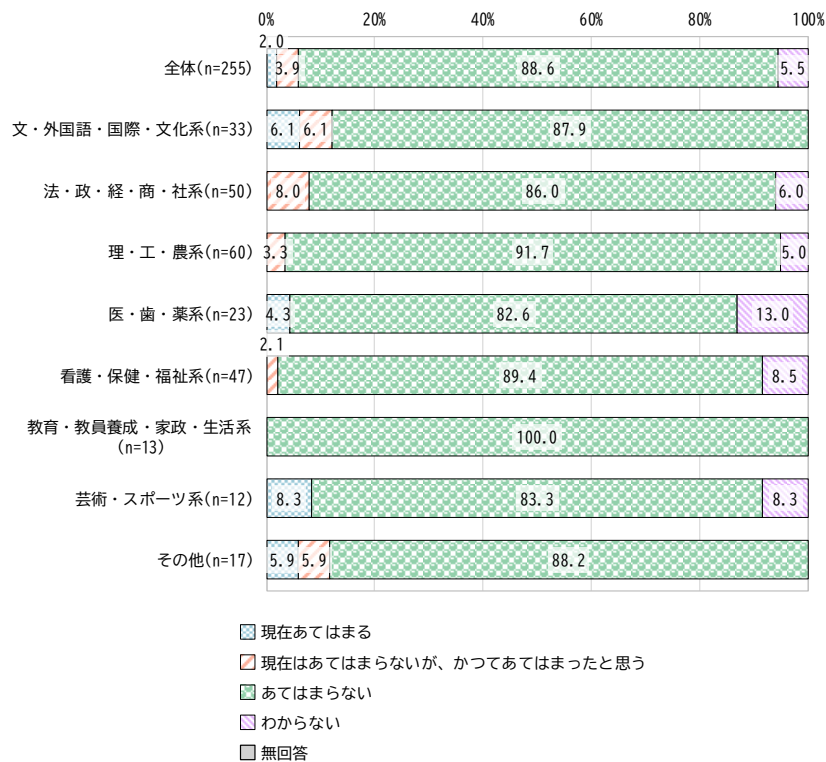
		調査数 (n)	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	自分が行っているお世話のすべを代わってくれる人やサービスがほしい	自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	大学の勉強や学習のサポート	家庭への経済的な支援	学費への支援・奨学金等	その他	特にな	わからない
熊本県	全体	14	28.6	14.3	14.3	7.1	0.0	35.7	35.7	7.1	14.3	35.7	0.0	35.7	14.3
	文・外国語・国際・文化系	3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
	法・政・経・商・社系	4	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0	50.0	25.0	25.0	75.0	0.0	0.0	25.0
	理・工・農系	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	医・歯・薬系	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	看護・保健・福祉系	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	教育・教員養成・家政・生活系	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	芸術・スポーツ系	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
全国	全体	987	21.7	10.6	5.9	7.4	2.5	26.2	28.3	18.5	23.4	28.3	2.5	26.2	10.2
	文・外国語・国際・文化系	183	25.7	14.2	7.1	9.3	3.3	30.6	30.1	20.2	26.2	32.8	2.2	20.2	8.2
	法・政・経・商・社系	183	22.4	8.7	6.6	10.4	1.6	18.0	30.1	19.1	25.1	32.2	2.7	26.2	8.7
	理・工・農系	150	18.0	6.7	6.0	8.0	0.7	24.7	25.3	13.3	23.3	22.7	1.3	36.0	10.0
	医・歯・薬系	51	11.8	7.8	3.9	3.9	2.0	11.8	11.8	15.7	13.7	19.6	2.0	37.3	13.7
	看護・保健・福祉系	148	21.6	14.2	5.4	2.0	4.7	29.7	31.8	24.3	20.9	31.8	2.7	25.0	6.8
	教育・教員養成・家政・生活系	137	23.4	8.8	5.8	9.5	4.4	34.3	30.7	22.6	24.1	26.3	1.5	22.6	14.6
	芸術・スポーツ系	70	24.3	14.3	2.9	4.3	1.4	24.3	28.6	7.1	24.3	25.7	2.9	25.7	12.9
	その他	65	18.5	9.2	6.2	6.2	0.0	29.2	24.6	16.9	21.5	23.1	7.7	23.1	13.8

## ⑯大学の学科（専攻）別×「ヤングケアラー（または若者ケアラー）」の自覚

◇ご自身が「ヤングケアラー（または若者ケアラー）」にあてはまると思うか聞いたところ、「文・外国語・国際・文化系」、「法・政・経・商・社系」、「芸術・スポーツ系」、「その他」では「現在あてはまる」、「現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う」の割合他と比べて高くなっている。全国調査と同様の傾向となっている。

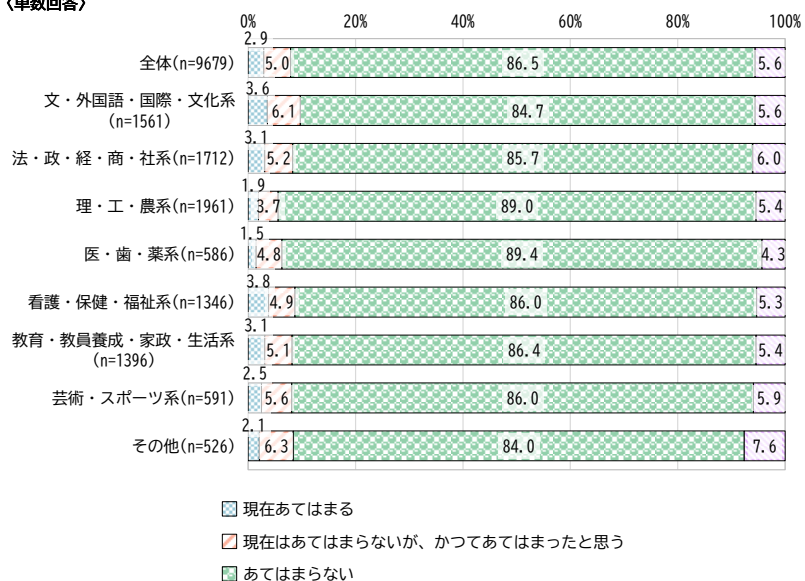
### 今回調査

〈単数回答〉



### 全国調査

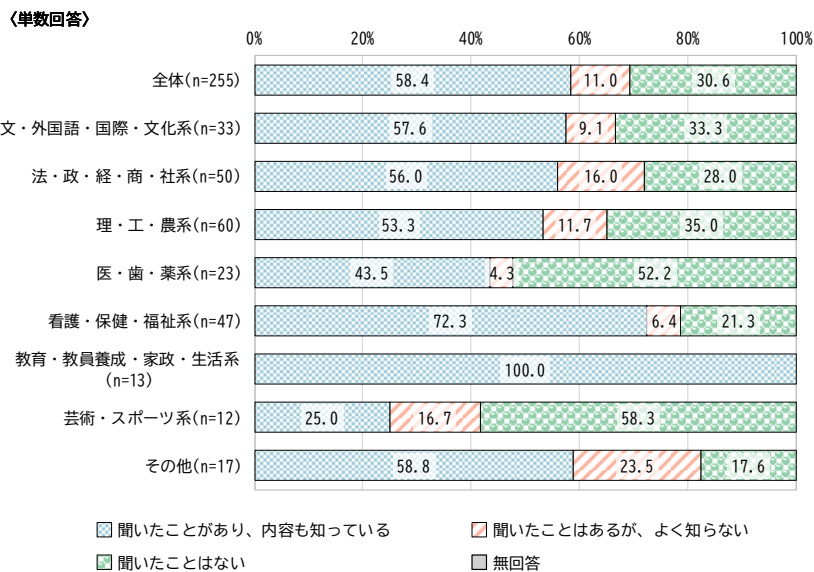
〈単数回答〉



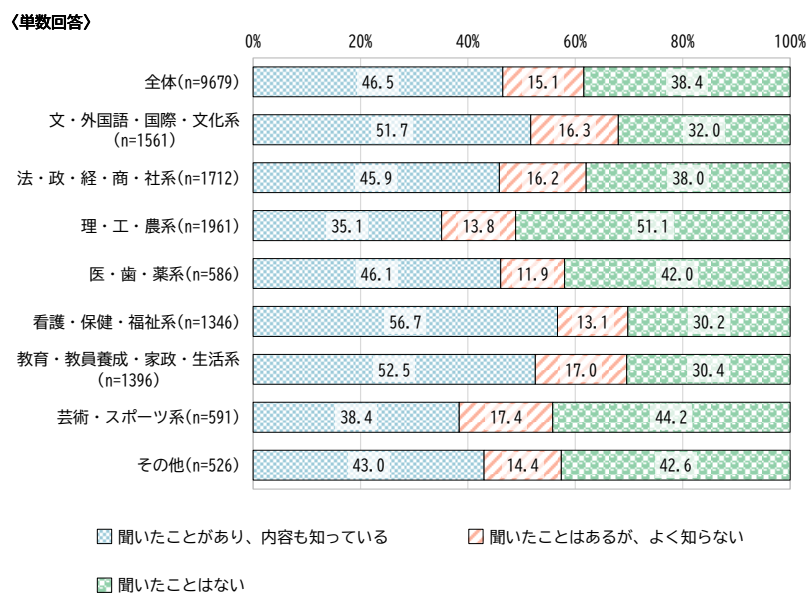
## ⑰大学の学科（専攻）別×「ヤングケアラー（または若者ケアラー）」という言葉の認知度

◇「ヤングケアラー（または若者ケアラー）」という言葉をおよそこれまで聞いたことがあるか聞いたところ、「医・歯・薬系」、「芸術・スポーツ系」では「聞いたことはない」の割合が5割を超えて高くなっているが、それ以外ではいずれも「聞いたことがあり、内容も知っている」の割合が5割を超えている。全国調査と比べ、「理・工・農系」、「看護・保健・福祉系」、「教育・教員養成・家政・生活系」の割合が高くなっている。

### 今回調査



### 全国調査



## ⑱大学の学科（専攻）別×「ヤングケアラー」という言葉を知ったきっかけ

◇「ヤングケアラー」という言葉をどこで知ったか聞いたところ、「テレビや新聞、ラジオ」の割合が最も高い学科が多い一方で、「教育・教員養成・家政・生活系」では「大学」の割合が最も高くなっている。全国調査と比べ、ほとんどの項目で「SNSやインターネット」の割合が低くなっている。

(%)

		調査数 (n)	テレビや新聞、 ラジオ	雑誌や本	SNSや インターネット	広報やチラシ、 掲示物	イベントや交流会など	大学	友人・知人から聞いた	その他
熊本県	全体	177	59.9	0.0	13.6	0.0	0.6	23.2	1.7	1.1
	文・外国語・国際・ 文化系	22	77.3	0.0	13.6	0.0	0.0	4.5	4.5	0.0
	法・政・経・商・社 系	36	61.1	0.0	11.1	0.0	0.0	22.2	2.8	2.8
	理・工・農系	39	66.7	0.0	23.1	0.0	2.6	7.7	0.0	0.0
	医・歯・薬系	11	63.6	0.0	27.3	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0
	看護・保健・福祉系	37	51.4	0.0	5.4	0.0	0.0	43.2	0.0	0.0
	教育・教員養成・家 政・生活系	13	38.5	0.0	0.0	0.0	0.0	53.8	0.0	7.7
	芸術・スポーツ系	5	60.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	14	50.0	0.0	7.1	0.0	0.0	35.7	7.1	0.0
全国	全体	5,965	66.6	8.4	38.7	3.6	1.1	31.4	3.8	1.9
	文・外国語・国際・ 文化系	1,062	71.1	10.7	42.8	3.7	1.3	26.0	5.0	1.5
	法・政・経・商・社 系	1,062	70.2	8.9	40.0	3.7	0.5	24.4	4.4	1.4
	理・工・農系	959	73.3	8.0	50.3	4.4	0.8	6.4	2.6	1.6
	医・歯・薬系	340	75.0	8.2	37.9	2.9	1.2	11.8	3.8	2.6
	看護・保健・福祉系	939	56.0	5.9	27.5	3.5	1.0	61.0	2.8	1.8
	教育・教員養成・家 政・生活系	971	61.0	8.2	31.1	2.9	2.1	49.3	3.9	2.5
	芸術・スポーツ系	330	60.3	6.4	43.9	3.3	0.9	22.4	3.0	2.1
	その他	302	64.9	10.9	37.4	4.6	1.3	37.1	4.0	4.0

## 6-10 「世話をしている／していた」人のうちヤングケアラーの自己認識別

### 世話の状況

◇本節では、世話をしている家族が「現在いる」、「現在はいないが、過去にいた」人を、ヤングケアラーの自己認識（4種別）別に、どのような世話をしているかを分析した。

#### ①「世話有×ヤングケアラーの自己認識」×世話を必要としている家族

◇世話を必要としている家族については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

		(%)						
		調査数 (n)	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他
熊本県	全体	14	14.3	7.1	14.3	28.6	50.0	0.0
	現在あてはまる	3	33.3	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	9	11.1	11.1	11.1	33.3	44.4	0.0
	あてはまらない	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
全国	全体	987	35.4	20.5	32.8	17.2	26.5	4.7
	現在あてはまる	174	38.5	23.0	35.1	16.1	24.7	5.7
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	289	34.6	16.3	31.1	13.1	26.6	4.5
	あてはまらない	361	32.4	19.9	34.9	19.7	26.6	4.4
	わからない	163	39.9	26.4	28.8	20.2	28.2	4.3

## ② 「世話有×ヤングケアラーの自己認識」×世話を必要としている（していた）方の状況（母親）

◇世話を必要としている（していた）方の状況（母親）については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n)	高齢 (65歳以上)	若い	要介護 (介護が必要な状況)	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患	依存症 (アルコール依存症、ギャンブル依存症など)	その他の病気、 依存症以外	その他
熊本県	全体	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	現在あてはまる	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	あてはまらない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	全体	349	7.7	0.0	8.3	2.0	11.5	2.0	28.7	5.7	14.9	23.5
	現在あてはまる	67	3.0	0.0	19.4	4.5	17.9	3.0	37.3	6.0	23.9	13.4
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	100	3.0	0.0	9.0	2.0	20.0	4.0	35.0	6.0	22.0	13.0
	あてはまらない	117	12.0	0.0	4.3	0.0	4.3	0.0	19.7	5.1	7.7	39.3
	わからない	65	12.3	0.0	3.1	3.1	4.6	1.5	26.2	6.2	7.7	21.5

### ③ 「世話有×ヤングケアラーの自己認識」×世話を必要としている（していた）方の状況（父親）

◇世話を必要としている（していた）方の状況（父親）については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n)	高齢 (65歳以上)	若い	要介護 (介護が必要な状況)	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患	依存症 (アルコール依存症、ギャンブル依存症など)	その他の病気、 依存症以外	その他
熊本県	全体	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	現在あてはまる	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	全体	202	16.3	0.0	11.4	2.5	10.9	1.5	11.4	8.4	13.9	22.8
	現在あてはまる	40	15.0	0.0	27.5	5.0	20.0	0.0	20.0	5.0	15.0	15.0
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	47	6.4	0.0	14.9	2.1	6.4	4.3	17.0	14.9	21.3	21.3
	あてはまらない	72	22.2	0.0	2.8	1.4	6.9	1.4	6.9	5.6	8.3	29.2
	わからない	43	18.6	0.0	7.0	2.3	14.0	0.0	4.7	9.3	14.0	20.9



#### ④ 「世話有×ヤングケアラーの自己認識」×世話を必要としている（していた）方の状況（祖母）

◇世話を必要としている（していた）方の状況（祖母）については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n)	高齢 (65歳以上)	若い	要介護 (介護が必要な状況)	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患	依存症 (アルコール依存症、ギャンブル依存症など)	その他の病気、 依存症以外	その他
熊本県	全体	2	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	現在あてはまる	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	1	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	全体	324	84.0	0.0	39.5	32.1	14.2	0.6	4.3	0.6	3.4	4.3
	現在あてはまる	61	88.5	0.0	50.8	39.3	21.3	0.0	11.5	0.0	3.3	6.6
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	90	81.1	0.0	61.1	47.8	17.8	1.1	3.3	0.0	5.6	3.3
	あてはまらない	126	84.1	0.0	24.6	23.8	10.3	0.0	3.2	1.6	2.4	3.2
	わからない	47	83.0	0.0	23.4	14.9	8.5	2.1	0.0	0.0	2.1	6.4

⑤ 「世話有×ヤングケアラーの自己認識」×世話を必要としている（していた）方の状況（祖父）

◇世話を必要としている（していた）方の状況（祖父）については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n <sup>II</sup> )	高齢 (65歳以上)	若い	要介護 (介護が必要な状況)	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患	依存症 (アルコール依存症、ギャンブル依存症など)	その他の病気、 依存症以外	その他
熊本県	全体	4	100.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	現在あてはまる	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	3	100.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	わからない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全国	全体	170	84.1	0.0	40.0	22.9	10.6	1.2	2.4	1.8	5.3	4.1
	現在あてはまる	28	92.9	0.0	53.6	35.7	14.3	3.6	7.1	7.1	10.7	7.1
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	38	86.8	0.0	60.5	26.3	10.5	0.0	2.6	2.6	7.9	0.0
	あてはまらない	71	77.5	0.0	31.0	21.1	12.7	1.4	1.4	0.0	4.2	4.2
	わからない	33	87.9	0.0	24.2	12.1	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1

⑥ 「世話有×ヤングケアラーの自己認識」 ×世話を必要としている（していた）方の状況（きょうだい）

◇世話を必要としている（していた）方の状況（きょうだい）については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数 (n)	高齢 (65歳以上)	若い	要介護 (介護が必要な状況)	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患	依存症 (アルコール依存症、ギャンブル依存症など)	その他の病気、 依存症以外	その他
熊本県	全体	7	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	57.1	0.0	0.0	0.0	14.3
	現在あてはまる	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	4	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	全体	262	0.0	51.9	2.3	0.8	6.1	15.6	10.3	1.1	5.3	20.6
	現在あてはまる	43	0.0	34.9	4.7	2.3	9.3	20.9	20.9	0.0	9.3	23.3
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	77	0.0	59.7	1.3	1.3	7.8	18.2	9.1	0.0	6.5	11.7
	あてはまらない	96	0.0	61.5	1.0	0.0	2.1	5.2	4.2	0.0	4.2	26.0
	わからない	46	0.0	34.8	4.3	0.0	8.7	28.3	15.2	6.5	2.2	21.7

## ⑦「世話有×ヤングケアラーの自己認識」×行っている（行っていた）世話の内容（母親）

◇行っている（行っていた）世話の内容（母親）については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数（n）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	身体的な介護（入浴やトイレ、食事のお世話など）	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	家計を助ける（働く）	その他
熊本県	全体	2	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	現在あてはまる	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	1	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	全体	349	69.9	13.5	7.2	24.6	13.2	42.7	23.5	3.4	10.0	7.7	17.2	5.4
	現在あてはまる	67	74.6	16.4	14.9	31.3	25.4	47.8	26.9	7.5	13.4	22.4	26.9	1.5
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	100	72.0	17.0	11.0	30.0	17.0	58.0	34.0	3.0	10.0	6.0	12.0	3.0
	あてはまらない	117	69.2	11.1	3.4	18.8	6.8	32.5	16.2	0.9	7.7	5.1	17.9	6.8
	わからない	65	63.1	9.2	0.0	20.0	6.2	32.3	16.9	4.6	10.8	0.0	13.8	10.8

### ⑧ 「世話有×ヤングケアラーの自己認識」×行っている（行っていた）世話の内容（父親）

◇行っている（行っていた）世話の内容（父親）については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

		調査数（n）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	世話など（世話など）	身体的な介護（入浴やトイレ、食事のお世話など）	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	家計を助ける（働く）	その他
熊本県	全体	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	現在あてはまる	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	全体	202	56.9	8.4	9.9	15.8	13.9	19.3	20.3	2.5	9.9	8.9	18.3	5.4	
	現在あてはまる	40	72.5	15.0	17.5	27.5	25.0	35.0	27.5	0.0	12.5	15.0	22.5	1.5	
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	47	61.7	8.5	19.1	17.0	21.3	25.5	27.7	2.1	6.4	10.6	14.9	3.0	
	あてはまらない	72	51.4	5.6	4.2	12.5	8.3	15.3	12.5	1.4	8.3	5.6	20.8	6.8	
	わからない	43	46.5	7.0	2.3	9.3	4.7	4.7	18.6	7.0	14.0	7.0	14.0	10.8	

⑨ 「世話有×ヤングケアラーの自己認識」 × 行っている（行っていた）世話の内容（祖母）

◇行っている（行っていた）世話の内容（祖母）については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

		(%)													
		調査数 (n II)	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	世話など	身体的な介護（入浴やトイレ、食事のお世話など）	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	（） 家計を助ける（働く）	その他
熊本県	全体	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	
	現在あてはまる	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	1	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	あてはまらない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
	わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
全国	全体	324	51.5	3.1	26.5	33.6	25.9	36.7	57.4	0.3	5.2	15.4	2.5	5.4	
	現在あてはまる	61	68.9	3.3	29.5	49.2	36.1	60.7	65.6	0.0	9.8	29.5	4.9	1.5	
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	90	55.6	2.2	50.0	37.8	28.9	40.0	68.9	1.1	3.3	18.9	1.1	3.0	
	あてはまらない	126	38.9	4.8	11.9	27.8	21.4	29.4	50.0	0.0	4.0	7.9	2.4	6.8	
	わからない	47	55.3	0.0	17.0	21.3	19.1	19.1	44.7	0.0	6.4	10.6	2.1	10.8	

⑩「世話有×ヤングケアラーの自己認識」×行っている（行っていた）世話の内容（祖父）

◇行っている（行っていた）世話の内容（祖父）については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数（n）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	身体的な介護（入浴やトイレ、食事のお世話など）	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	家計を助ける（働く）	その他
熊本県	全体	4	25.0	0.0	75.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	現在あてはまる	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	3	33.3	0.0	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	わからない	1	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全国	全体	170	48.2	1.8	26.5	29.4	28.8	28.2	56.5	1.2	4.1	11.8	1.2	5.4
	現在あてはまる	28	64.3	3.6	35.7	42.9	46.4	46.4	67.9	0.0	10.7	21.4	7.1	1.5
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	38	52.6	0.0	52.6	39.5	42.1	28.9	52.6	5.3	2.6	15.8	0.0	3.0
	あてはまらない	71	38.0	1.4	15.5	16.9	18.3	16.9	59.2	0.0	4.2	4.2	0.0	6.8
	わからない	33	51.5	3.0	12.1	33.3	21.2	36.4	45.5	0.0	0.0	15.2	0.0	10.8

### ⑪ 「世話有×ヤングケアラーの自己認識」×行っている（行っていた）世話の内容（きょうだい）

◇行っている（行っていた）世話の内容（きょうだい）については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

(%)

		調査数（nⅡ）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	世話など	身体的な介護（入浴やトイレ、食事のお世話など）	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	（） 家計を助ける（働く）	その他
熊本県	全体	7	57.1	57.1	28.6	28.6	0.0	0.0	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	現在あてはまる	3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	4	75.0	100.0	50.0	25.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あてはまらない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	わからない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	全体	262	59.9	35.1	11.5	22.1	6.1	30.5	45.4	1.1	3.8	2.7	6.9	5.4	
	現在あてはまる	43	60.5	46.5	9.3	37.2	11.6	41.9	48.8	0.0	9.3	4.7	11.6	1.5	
	現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う	77	63.6	48.1	14.3	22.1	6.5	37.7	54.5	0.0	1.3	1.3	5.2	3.0	
	あてはまらない	96	55.2	21.9	8.3	17.7	2.1	21.9	34.4	0.0	3.1	1.0	4.2	6.8	
	わからない	46	63.0	30.4	15.2	17.4	8.7	26.1	50.0	6.5	4.3	6.5	10.9	10.8	

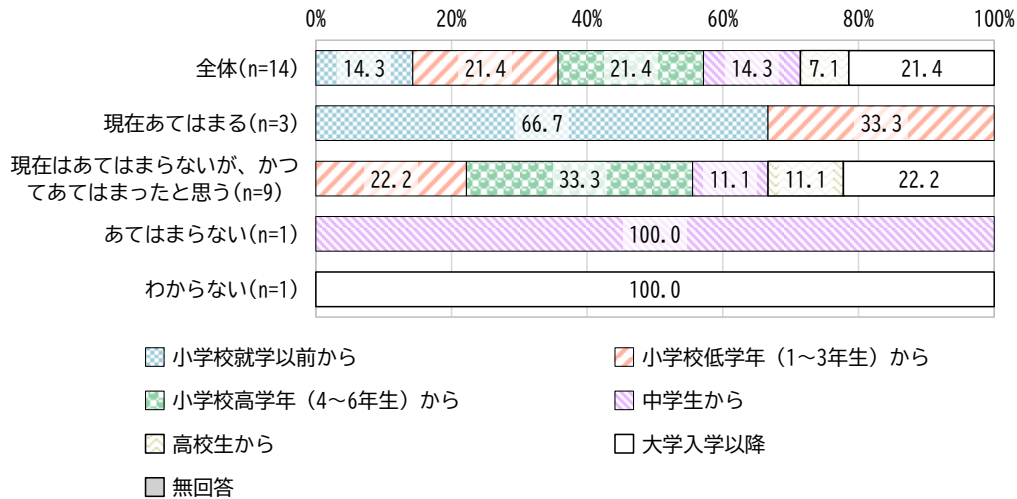


## ⑫ 「世話有×ヤングケアラーの自己認識」×世話を始めた時期

◇世話を始めた時期については、n数が少ないため参考程度となるが、結果は以下のとおりである。

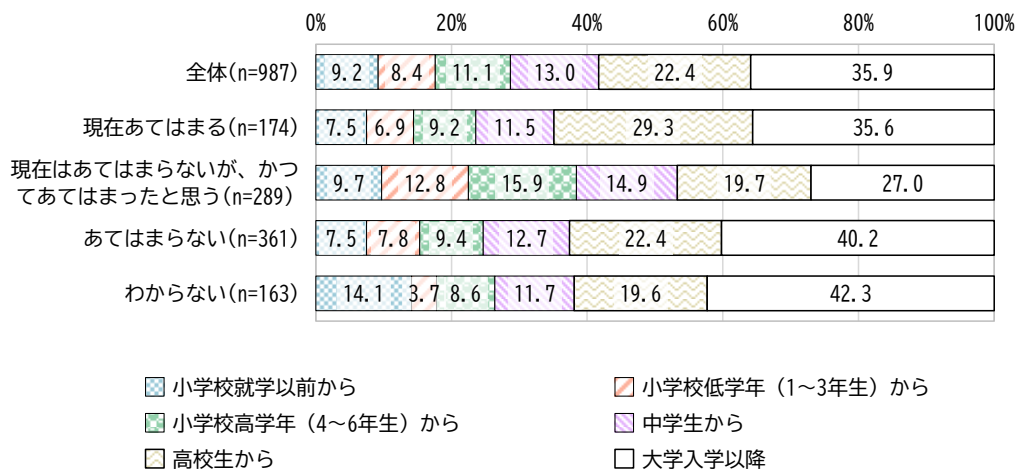
### 今回調査

〈単数回答〉



### 全国調査

〈単数回答〉





## 第7章 調査結果総括

# 1 小学校調査

## (1) 調査結果のまとめ

- 「ヤングケアラー」の概念を知っている学校は 98.9%。
- ヤングケアラーと思われる子どもがいる学校は 18.6%。
- SSW（スクールソーシャルワーカー）は要請に応じて派遣されている学校が 7 割以上、SC（スクールカウンセラー）は月に数回以下で配置・派遣されている学校が 5 割以上。
- ヤングケアラーの把握や支援にあたっての工夫としては、「子どもの様子をよく観察すること」、「関係機関との密接な連携」等が挙げられている。
- ヤングケアラーの把握や支援にあたって難しいことは「家庭内の様子が分かりにくい/家庭内に介入しづらい」「児童本人や保護者が話したがらない」といった点が挙げられている。
- ヤングケアラー支援に必要なと思うこととして、「教職員がヤングケアラーについて知ること」「子どもが教員に相談しやすい関係をつくること」「子ども自身がヤングケアラーについて知ること」という回答が多くみられた。

## (2) 考察・今後の課題

ヤングケアラーの認知度が高いことや、学校によっては、教職員間での情報共有や他機関と連携し、ヤングケアラーと思われる子どもへの対応を行っていることが確認された。一方で、学校現場においては、ヤングケアラーが抱える家庭内の問題に介入する難しさがあることが浮き彫りとなった。子どもと日々接している教員が気づくことが支援につながる第一歩となる可能性がある中で、家庭の事情を把握しきれず、適切な外部機関との連携ができていない場合があると推測される。そのため、家庭内の状況を把握するためにも、SSW や行政の福祉/子育て部門の職員といった家庭にアプローチすることのできる専門職との協力が重要となる。また、学校現場における SSW や SC といった専門職の十分な配置についても今後の課題である。

## 2 小学生調査

### (1) 調査結果のまとめ

- 家族の世話をしていると回答した小学生は 6.3%。世話を必要としている家族はきょうだい最も高く 79.3%、次いで母親が 9.6%。
- 世話を必要としている人が父母と回答した人のうち父母の状態像については、「わからない」との回答が 68.4%と最も高い。父母が病気や障がいを抱えていても、そうした状態について子どもに話していなければ、子ども自身は状況がよく分からないまま家族の世話をしている可能性がある。
- 家族の世話をしている人のうち、就学前から世話をしている人が 20.4%、低学年のうちから世話をしている人が 35.0%いる。
- 世話をしている家族がいると回答した人は、世話をしている家族がいないと回答した人に比べ、健康状態が「よくない・あまりよくない」と回答した割合が 3.5%、遅刻や早退を「たまにする・よくする」と回答した割合が 8.7%高くなっており、健康状態や学校生活にも影響を与えていると考えられる。さらに、家族の世話をしている人は、学校生活において「授業中に寝てしまうことが多い」、「宿題ができていないことが多い」、「持ち物の忘れ物が多い」、「提出物を出すのが遅れることが多い」といった項目に該当する割合が、いずれも世話をしていない人と比べ高くなっており、日々の生活に影響が出ていることがうかがわれる。
- 世話に費やす時間が長時間になるほど、学校生活等への影響が大きく、本人の負担感も重くなることが確認された。
- 世話に関する相談状況としては、世話による制約が多い、あるいは世話にきつさを感じている人ほど相談経験のある人が増える傾向にある。ただ、子どもからの相談相手については「家族（父母、祖父母、きょうだい）」が 77.4%と最も高く、家族以外の大人については「学校の先生」（8.1%）、「SSW や SC」（4.8%）とその割合が大きく下がる。
- 学校や大人にしてもらいたいこととして、世話をしている家族がいる人全体としては、「特にない」（64.4%）が最も高かったものの、「自由に使える時間がほしい」（16.0%）、「自分のことについて話を聞いてほしい」（8.5%）、「勉強を教えてほしい」（7.9%）等の回答が目立つ。

## (2) 考察・今後の課題

父母の世話をしながらも父母が世話を必要とする理由について「わからない」との回答が6割以上あること、平日1日あたり7時間以上世話を行っているにもかかわらず、その6割（休日の場合：5割以上）が「特に大変さは感じていない」と回答していること等から、小学生の年齢だと、家族の置かれた状況を十分に理解できていなかったり、家族の世話をすることが当たり前になり、その大変さを十分に自覚できていなかったりする可能性があることを示唆している。今回は小学6年生を対象とした調査であるが、低学年、中学年の児童であれば、自らの置かれた状況を把握し、大変な状況にある場合には本人が自ら周囲に相談をすることは難しいことが想像に難くない。従って、特に小学生のヤングケアラーについては、周囲の大人が本人の様子の変化やつらさに気づき、声をかけていくことの重要性が大きいと言える。周囲の大人がヤングケアラーに対する意識を高め、必要な支援につながるきっかけを作れるような体制を整えていくことが今後の課題である。

### 3 大学生調査

#### (1) 調査結果のまとめ

- 家族の世話をしている大学3年生は、「現在いる」が2.4%、「現在はいないが、過去にいた」が3.1%。ヤングケアラーに「現在あてはまる」と回答した人は、2.0%。
- 家族の世話をしている場合、健康（精神）状態が「あまりよくない」、「よくない」、欠席・遅刻・早退が「たまにある」、「ある」の割合が高くなっている。「大学の授業の受講（ゼミ含む）」、「部活・サークル」、「アルバイト・仕事」、「就職活動」、「趣味・娯楽・交友」について「確保できている」の割合が低くなっている。「就職・進路」「学業成績のこと」、「家庭の経済的状況のこと」、「家庭内の人間関係のこと」などが悩みとして挙げられている。
- 現在または過去に世話をしている家族がいる・いた人に世話をしていることでやりたかったけどできなかったことを聞いたところ、現在いる人は全員、過去にいた人は約6割がなにかしらのできなかったことがあったと回答している。
- 世話を始めた時期が大学入学以前の方のうち約5割が、世話をしていることで大学進学の際に何かしらの苦労したこと・影響があったと回答しており、特に「実家から通える範囲等の通学面の制約があった」が多かった。
- 家族の世話をしている人のうち8割以上が就職に関し何かしらの不安があると回答している。
- 家族の世話をしている人のうち、精神的なきつさを感じている割合が71.4%。
- 家族の世話をしている人が求める支援は「自由に使える時間がほしい」、「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」「進路や就職など将来の相談にのってほしい」、「学費への支援・奨学金等」が高い。
- 世話をしている家族は、「きょうだい」の割合が50%と最も高くなっている。

#### (2) 考察・今後の課題

今回の大学生調査は、「大学3年生まで大学に通えている人」が対象である。大学進学をあきらめた人、大学入学したものの通い続けられなかった人の実態は把握できていない。大学進学の際の困りごとが非常に大きく、大学進学に至らなかったと考えられる。また、アンケートに答えられる状況にない、より深刻な状態にあるケアラーがいることも想像される。本結果は、あくまでも一部の実態であり、より詳細な実態把握や支援・対応の検討が求められる。





## 第8章 調査票

# 1 小学校調査 調査票

2022/09/30 21:37

【熊本県 電子申請サービス】手続き申込：申込



ログイン

利用者登録

申請団体選択

＞ 手続き申込

＞ 申込内容照会

＞ 職責署名検証

## 手続き申込

手続き選択をする	メールアドレスの確認	内容を入力する	申し込みをする
----------	------------	---------	---------

## 申込

選択中の手続き名：【小学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査】

問合せ先 [+開く](#)

説明

受付時期 2022年9月27日0時00分～2022年11月1日0時00分

## 基本情報

問1 ご回答された方の役職をお教えてください。あてはまる番号1つを選択してください。

必須

- 1. 校長
- 2. 副校長・教頭
- 3. 主幹・主任教諭（下の欄に具体的に記入してください）

- 4. 養護教諭
- 5. スクールソーシャルワーカー（SSW）
- 6. スクールカウンセラー（SC）
- 7. その他（下の欄に具体的に記入してください）

選択解除

問2 貴校の所在地をお教えてください。 **必須**

選択してください

**問3 貴校の6年生の在籍者数を教えてください。(令和4年5月1日時点) 必須**人**支援が必要だと思われる子どもへの対応についてお伺いします。****問4 SSWの派遣・配置状況をお伺いします。あてはまる番号1つを選択してください。****必須**

1. 週に2～3回以上派遣・配置されている
2. 週に1回程度派遣・配置されている
3. 月に数回以下で派遣・配置されている
4. 要請に応じて派遣される
5. その他(下の欄に具体的に記入してください)

6. 派遣・配置されていない

選択解除

**問5 SCの派遣・配置状況をお伺いします。あてはまる番号1つを選択してください。****必須**

1. 週に2～3回以上派遣・配置されている
2. 週に1回程度派遣・配置されている
3. 月に数回以下で派遣・配置されている
4. 要請に応じて派遣される
5. その他(下の欄に具体的に記入してください)

6. 派遣・配置されていない

選択解除

**問6 下記の子どものうち、校内で共有しているケースはありますか。あてはまる番号すべてを選択してください。 必須**

1. 学校を休みがちである
2. 遅刻や早退が多い
3. 保健室で過ごしていることが多い
4. 精神的な不安定さがある

5. 身だしなみが整っていない
6. 学力が低下している
7. 宿題や持ち物の忘れ物が多い
8. 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い
9. 学校に必要なものを用意してもらえない
10. 修学旅行や宿泊行事等を欠席する
11. 校納金が遅れる、未払い
12. その他（下の欄に具体的に記入してください）

### 問7 問6のケースについて、どのような体制で情報共有・対応の検討を行っていますか。

**必須**

最も多いケースでご回答ください。あてはまる番号1つを選択してください。

1. 不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している →問8へ
2. 不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している →問8へ
3. 個別に対応している（決まった検討体制はない） →問17へ

選択解除

### 問8 問7で「1」「2」を回答した方にお伺いします。

**必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

校内ではどのような体制で情報共有・対応の検討を行っていますか。あてはまる番号すべてを選択してください。

1. スクリーニング会議（すべての子どもを対象として、問題の未然防止のために、データに基づいて、潜在的に支援の必要な子どもや家庭を適切な支援につなぐための迅速な識別を行う会議） →問9、問10へ
2. ケース会議 →問11、問12へ
3. 生徒指導部・委員会など →問13、問14へ
4. 児童生徒理解・支援シートなど共通様式による情報共有 →問18へ
5. 教育相談コーディネーターなど学校内・関係機関との連絡調整・会議開催の調整など児童生徒の抱える課題の解決に向けて調整役として活動する教職員の配置・指名 →問18へ
6. その他（下の欄に具体的に記入してください） →問15、問16へ

### 問9 問8で「1. スクリーニング会議」と回答した方にお伺いします。どの教職員が参加していますか。

**必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号すべてを選択してください。

1. 校長

2. 副校長・教頭
3. 学年主任
4. 担任教諭
5. 生徒指導教諭
6. 養護教諭
7. SSW
8. SC
9. 外部の関係機関（下の欄に具体的に記入してください）

10. その他（下の欄に具体的に記入してください）

**問10** 問8で「1. スクリーニング会議」と回答した方にお伺いします。会議の頻度はどれくらいですか。 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号1つを選択してください。

1. 2週間に1回以上
2. 月に1回程度
3. 半年に1回程度
4. 年に1回程度

選択解除

**問11** 問8で「2. ケース会議」と回答した方にお伺いします。どの教職員が参加していますか。 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号すべてを選択してください。

1. 校長
2. 副校長・教頭
3. 学年主任
4. 担任教諭
5. 生徒指導教諭
6. 養護教諭
7. SSW
8. SC
9. 外部の関係機関（下の欄に具体的に記入してください）

10. その他（下の欄に具体的に記入してください）

**問12 問8で「2. ケース会議」と回答した方にお伺いします。会議の頻度はどれくらいですか。** **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号1つを選択してください。

1. 2週間に1回以上
2. 月に1回程度
3. 半年に1回程度
4. 年に1回程度

選択解除

**問13 問8で「3. 生徒指導部・委員会など」と回答した方にお伺いします。** **必須**  
選択肢の結果によって入力条件が変わります

どの教職員が参加していますか。あてはまる番号すべてを選択してください。

1. 校長
2. 副校長・教頭
3. 学年主任
4. 担任教諭
5. 生徒指導教諭
6. 養護教諭
7. SSW
8. SC
9. 外部の関係機関（下の欄に具体的に記入してください）

10. その他（下の欄に具体的に記入してください）

**問14 問8で「3. 生徒指導部・委員会など」と回答した方にお伺いします。** **必須**  
選択肢の結果によって入力条件が変わります

会議の頻度はどれくらいですか。あてはまる番号1つを選択してください。

1. 2週間に1回以上

2. 月に1回程度
3. 半年に1回程度
4. 年に1回程度

選択解除

**問15 問8で「6. その他」と回答した方にお伺いします。どの教職員が参加していますか。** **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号すべてを選択してください。

1. 校長
2. 副校長・教頭
3. 学年主任
4. 担任教諭
5. 生徒指導教諭
6. 養護教諭
7. SSW
8. SC
9. 外部の関係機関（下の欄に具体的に記入してください）

10. その他（下の欄に具体的に記入してください）

**問16 問8で「6. その他」と回答した方にお伺いします。会議の頻度はどれくらいですか。** **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号1つを選択してください。

1. 2週間に1回以上
2. 月に1回程度
3. 半年に1回程度
4. 年に1回程度

選択解除

**問17 問7で「3. 個別に対応している（決まった検討体制はない）」と回答した方にお伺いします。** **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

問6のケースについて、貴校ではどのような体制・方法で情報共有・対応の検討を行っていますか。関わる教職員、情報共有や検討の方法、頻度等について、具体的にお教えください。

入力文字数： 0 / 150

## 問 1 8 問 6 のケースについてお尋ねします。

学校以外の関係機関と連携して、必要に応じて情報共有や対応の検討を行うための体制がありますか。それぞれのケースについて、お答えください。また、連携体制がある場合は、連携する関係機関を選択肢からお選びください。

### 1 要保護児童対策地域協議会の登録ケース 必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 1. 体制は特にない
- 2. 体制はある →以下の関係機関であてはまる番号すべてを選択してください。
  - (1) 市区町村教育委員会
  - (2) 市区町村の福祉部門（4）を除く
  - (3) 市区町村の保健部門
  - (4) 市区町村の要保護児童対策地域協議会の調整機関／虐待対応部門
  - (5) 教育支援センター（適応指導教室）
  - (6) フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設
  - (7) 児童相談所
  - (8) 地域包括支援センター・居宅介護支援事業所
  - (9) 障がい者相談支援事業所
  - (10) 民生委員
  - (11) 病院
  - (12) 警察や刑事司法関係機関
  - (13) その他（下の欄に具体的に記入してください）

### 2 不登校のケース 必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 1. 体制は特にない
- 2. 体制はある →以下の関係機関であてはまる番号すべてを選択してください。
  - (1) 市区町村教育委員会
  - (2) 市区町村の福祉部門（4）を除く



- (3) 市区町村の保健部門
- (4) 市区町村の要保護児童対策地域協議会の調整機関／虐待対応部門
- (5) 教育支援センター（適応指導教室）
- (6) フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設
- (7) 児童相談所
- (8) 地域包括支援センター・居宅介護支援事業所
- (9) 障がい者相談支援事業所
- (10) 民生委員
- (11) 病院
- (12) 警察や刑事司法関係機関
- (13) その他（下の欄に具体的に記入してください）

### 3 「1」、「2」以外 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 1. 体制は特でない
- 2. 体制はある →以下の関係機関であてはまる番号すべてを選択してください。
  - (1) 市区町村教育委員会
  - (2) 市区町村の福祉部門（4）を除く
  - (3) 市区町村の保健部門
  - (4) 市区町村の要保護児童対策地域協議会の調整機関／虐待対応部門
  - (5) 教育支援センター（適応指導教室）
  - (6) フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設
  - (7) 児童相談所
  - (8) 地域包括支援センター・居宅介護支援事業所
  - (9) 障がい者相談支援事業所
  - (10) 民生委員
  - (11) 病院
  - (12) 警察や刑事司法関係機関
  - (13) その他（下の欄に具体的に記入してください）

### ヤングケアラーについてお伺いします。

**問 19** 貴校では「ヤングケアラー」という概念を認識していますか。あてはまる番号1つを選択してください。 **必須**

1. 言葉を知らない →問 2 2へ
2. 言葉は聞いたことがあるが、具体的には知らない →問 2 2へ
3. 言葉は知っているが、学校としては特別な対応をしていない →問 2 2へ
4. 言葉を知っており、学校として意識して対応している →問 2 0へ

選択解除

**問 20** 問 19で「4」と回答した方にお伺いします。 **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

「ヤングケアラー」と思われる子どもの実態を把握していますか。あてはまる番号1つを選択してください。

1. 把握している →問 2 1へ
2. 「ヤングケアラー」と思われる子どもはいるが、その実態は把握していない →問 2 2へ
3. 該当する子どもはいない（これまでもいなかった） →問 2 2へ

選択解除

**問 21** 問 20で「1. 把握している」と回答した方にお伺いします。 **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

「ヤングケアラー」と思われる子どもをどのように把握していますか。あてはまる番号すべてを選択してください。

1. アセスメントシートやチェックリストなどのツールを用いている
2. 特定のツールはないが、できるだけ「ヤングケアラー」の視点を持って検討・対応している
3. その他（下の欄に具体的に記入してください）

ヤングケアラーを把握していない方も含め、全員にお伺いします。

ヤングケアラーとは、家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。ヤングケアラーの定義や状態像を踏まえて、以下の設問にお答えください。

※ヤングケアラーたちは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、学べない、やりたいことができないなど、「子どもの権利」が守られない可能性があり、適切な支援が必要です。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

© 一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration : Izumi Suga

## 問22 ヤングケアラーの定義を見てご回答ください。 **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

現在、貴族にヤングケアラーと思われる（可能性も含めて）子どもはいますか。あてはまる番号1つを選択してください。

1. いる →問23へ
2. いない →問33へ
3. わからない →問32へ

選択解除

## 問23 問22で「1. いる」と回答した方にお伺いします。 **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

ヤングケアラーと思われる子どもの状況は下記のうちどれですか。あてはまる番号すべてを選択してください。

1. 障がいや病気のある家族に代わり、家事（買い物、料理、洗濯、掃除など）をしている
2. 家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている
3. 家族の代わりに、障がいや病気のあるきょうだいの世話をしている
4. 目を離せない家族の見守りや声かけをしている
5. 家族の通訳をしている（日本語や手話など）
6. アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している
7. 病気の家族の看病をしている
8. 障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている

9. 障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている
10. その他（下の欄に具体的に記入してください）

#### 問24 ヤングケアラーと思われる子どもについてご回答ください。 **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

具体的に学校以外の外部（教育委員会、役所、要保護児童対策地域協議会など）の支援につないだケースはありますか。あてはまる番号すべてを選択してください。（3の場合は、3のみ選択してください。）

1. 要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある →問25へ
2. 要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある →問26へ
3. 外部の支援にはつないでいない（学校内で対応している） →問27へ

#### 問25 問24で「1」と回答した方にお伺いします。 **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

それぞれの該当する直近のケースについて、1件のみお教えください。

問24（1）要保護児童対策地域協議会に通告したケース

性別（あてはまる番号1つを選択してください。）

1. 女性
2. 男性
3. その他（下の欄に具体的に記入してください）

選択解除

#### 学年（あてはまる番号1つを選択してください。） **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

1. 小学1年生
2. 小学2年生
3. 小学3年生
4. 小学4年生
5. 小学5年生
6. 小学6年生

選択解除

#### 学校生活の状況（あてはまる番号すべてを選択してください） **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 1. 学校を休みがちである
- 2. 遅刻や早退が多い
- 3. 保健室で過ごしていることが多い
- 4. 精神的な不安定さがある
- 5. 身だしなみが整っていない
- 6. 学力が低下している
- 7. 宿題や持ち物の忘れ物が多い
- 8. 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い
- 9. 学校に必要なものを用意してもらえない
- 10. 修学旅行や宿泊行事等を欠席する
- 11. 校納金が遅れる、未払い
- 12. その他（下の欄に具体的に記入してください）

### 家族構成（あてはまる番号すべてを選択してください）

必須
選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 1. 母親
- 2. 父親
- 3. 祖母
- 4. 祖父
- 5. きょうだい
- 6. その他（下の欄に具体的に記入してください）

### 家庭でのケアの状況を把握していますか（あてはまる番号1つを選択してください）

必須
選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 1. はい →a) ～c) へ
- 2. いいえ →ヤングケアラーと気づいた理由・きっかけへ

### a) ケアを必要としている人（あてはまる番号すべてを選択してください）

必須
選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 1. 母親

- 2. 父親
- 3. 祖母
- 4. 祖父
- 5. きょうだい
- 6. その他（下の欄に具体的に記入してください）

**b) ケアを必要としている人の状況（あてはまる番号すべてを選択してください）****必須****選択肢の結果によって入力条件が変わります**

- 1. 高齢（65歳以上）
- 2. 幼い
- 3. 要介護（介護が必要な状態）
- 4. 認知症
- 5. 身体障がい
- 6. 知的障がい
- 7. 精神疾患（疑い含む）
- 8. 依存症（疑い含む）
- 9. 7, 8以外の病気
- 10. 日本語を第一言語としない

- 11. その他（下の欄に具体的に記入してください）

- 12. わからない

**c) ケアの内容（あてはまる番号すべてを選択してください）****必須****選択肢の結果によって入力条件が変わります**

- 1. 家事（食事の準備や掃除、洗濯）
- 2. きょうだいの世話や保育所等への送迎など
- 3. 身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）
- 4. 外出の付き添い（買い物、散歩など）
- 5. 通院の付き添い
- 6. 感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）
- 7. 見守り

8. 通訳（日本語や手話など）
9. 金銭管理
10. 薬の管理
11. その他（下の欄に具体的に記入してください）

12. わからない

**ヤングケアラーと気づいた理由・きっかけ** **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

**要保護児童対策地域協議会への通告ルート** **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

1. 市区町村教育委員会経由
2. 学校から直接連絡
3. その他（下の欄に具体的に記入してください）

選択解除

**学校で行った支援（要対協との連携も含めて）** **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

**支援した結果、子どもへの変化** **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

**問26 問24で「2」と回答した方にお伺いします。** **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

それぞれの該当する直近のケースについて、1件のみお教えてください。

問24（2）要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケース  
性別（あてはまる番号1つを選択してください。）

1. 女性
2. 男性
3. その他（下の欄に具体的に記入してください）

選択解除

**学年（あてはまる番号1つを選択してください。）****必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 1. 小学1年生
- 2. 小学2年生
- 3. 小学3年生
- 4. 小学4年生
- 5. 小学5年生
- 6. 小学6年生

選択解除

**学校生活の状況（あてはまる番号すべてを選択してください）****必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 1. 学校を休みがちである
- 2. 遅刻や早退が多い
- 3. 保健室で過ごしていることが多い
- 4. 精神的な不安定さがある
- 5. 身だしなみが整っていない
- 6. 学力が低下している
- 7. 宿題や持ち物の忘れ物が多い
- 8. 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い
- 9. 学校に必要なものを用意してもらえない
- 10. 修学旅行や宿泊行事等を欠席する
- 11. 校納金が遅れる、未払い
- 12. その他（下の欄に具体的に記入してください）

**家族構成（あてはまる番号すべてを選択してください）****必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 1. 母親
- 2. 父親
- 3. 祖母
- 4. 祖父
- 5. きょうだい



6. その他（下の欄に具体的に記入してください）

**家庭でのケアの状況を把握していますか（あてはまる番号1つを選択してください）** **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

1. はい →a) ~c) へ
2. いいえ →ヤングケアラーと気づいた理由・きっかけへ

選択解除

**a) ケアを必要としている人（あてはまる番号すべてを選択してください）** **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

1. 母親
2. 父親
3. 祖母
4. 祖父
5. きょうだい
6. その他（下の欄に具体的に記入してください）

**b) ケアを必要としている人の状況（あてはまる番号すべてを選択してください）** **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

1. 高齢（65歳以上）
2. 若い
3. 要介護（介護が必要な状態）
4. 認知症
5. 身体障がい
6. 知的障がい
7. 精神疾患（疑い含む）
8. 依存症（疑い含む）
9. 7, 8以外の病気
10. 日本語を第一言語としない
11. その他（下の欄に具体的に記入してください）

12. わからない

**c) ケアの内容（あてはまる番号すべてを選択してください） 必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

1. 家事（食事の準備や掃除、洗濯）
2. きょうだいの世話や保育所等への送迎など
3. 身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）
4. 外出の付き添い（買い物、散歩など）
5. 通院の付き添い
6. 感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）
7. 見守り
8. 通訳（日本語や手話など）
9. 金銭管理
10. 薬の管理
11. その他（下の欄に具体的に記入してください）

12. わからない

**ヤングケアラーと気づいた理由・きっかけ 必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

**つないだ機関 必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

入力文字数：0/50

**外部機関へのつながり方 必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

1. 市区町村教育委員会経由
2. 学校から直接連絡
3. その他（下の欄に具体的に記入してください）

選択解除

**学校で行った支援（つなぎ先との連携も含めて）** **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

**支援した結果、子どもへの変化** **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります
**問 2 7** 問 2 4 で「3. 外部の支援にはつないでいない（学校内で対応）」と回答した方にお伺いします。 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

外部の支援につながなかった理由を教えてください。

**問 2 8** 問 2 4 で「3. 外部の支援にはつないでいない（学校内で対応）」と回答した方にお伺いします。 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

どのように対応しているのかお教えてください。

**問 2 9** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

ヤングケアラーの把握や支援にあたって工夫していること、気を付けていることはどのようなことですか。具体的にお答えください。

**問 3 0** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

ヤングケアラーの把握や支援にあたって難しいと感じることはどのようなことですか。具体的にお答えください。

**問 3 1** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

問 6 の選択肢は、「ヤングケアラー」と思われる子どもを把握するためのチェック項目として作成したものです。追加すべき項目や分かりにくい点や案があればお書きください。

**<参考：問 6 の選択肢>**

- 学校を休みがちである
- 遅刻や早退が多い
- 保健室で過ごしていることが多い

- 精神的な不安定さがある
- 身だしなみが整っていない
- 学力が低下している
- 宿題や持ち物の忘れ物が多い
- 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い
- 学校に必要なものを用意してもらえない
- 修学旅行や宿泊行事等を欠席する
- 校納金が遅れる、未払い

**問3 2 問2 2で「3」と回答した方にお伺いします。その理由を教えてください。あてはまる番号すべてを選択してください。** **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

**問2 2：現在、貴校にヤングケアラーと思われる（可能性も含めて）子どもはいますか。「3. 分からない」と回答した方。**

- 1. 学校において、「ヤングケアラー」の概念や支援対象としての認識が不足している
- 2. 不登校やいじめなどに比べ緊急度が高くないため、「ヤングケアラー」に関する実態の把握が後回しになる
- 3. 家族内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい
- 4. ヤングケアラーである子ども自身やその家族が「ヤングケアラー」という問題を認識していない
- 5. その他（下の欄に具体的に記入してください）

**問3 3 ヤングケアラーを支援するために、必要だと思うことはどのようなことですか。**

**必須**

**あてはまる番号すべてを選択してください。**

- 1. 子ども自身がヤングケアラーについて知ること
- 2. 教職員がヤングケアラーについて知ること
- 3. 学校にヤングケアラーが何人いるか把握すること
- 4. SSWやSCなどの専門職の配置が充実すること
- 5. 子どもが教員に相談しやすい関係をつくること
- 6. ヤングケアラーについて検討する組織を校内につくること
- 7. 学校にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口があること
- 8. 学校がヤングケアラーの支援について相談できる機関があること
- 9. ヤングケアラーを支援するNPOなどの団体が増えること
- 10. 福祉と教育の連携を進めること（下の欄に具体的に記入してください）

- 11. その他（下の欄に具体的に記入してください）

12. 特になし（下の欄に具体的に記入してください）

### 問34 ヤングケアラーに関してご自由に意見をお書きください。

入力文字数：0/200

確認へ進む >

#### 入力中のデータを一時保存・読み込み

##### 【申込データ一時保存、再読み込み時の注意事項】

- ・添付ファイルは一時保存されません。再読み込み後は、必要に応じて、ファイルを添付し直してください。
- ・パソコンに一時保存した申込データはパソコンで閲覧・加筆・修正することはできません。
- ・システムに読み込む場合は一時保存した手続きの画面でしか読み込めませんので、ご注意ください
- ・**入力中の申込データをパソコンに一時保存しますので、保存した申込データの取扱いは、申請者の責任において管理をお願いします。**

**「入力中のデータを保存する」では申込みの手続きが完了していませんのでご注意ください。**

※入力中の申込データをパソコンに一時保存します。

※一時保存した申込データを再度読み込みます。

↓ 入力中のデータを保存する

↑ 保存データの読み込み

【各手続きの内容に関するお問い合わせ先】  
直接各手続きの担当課にお問い合わせください。

【操作に関するお問合せ先（コールセンター）】  
何かご不明点等ございましたら、事前にFAQをご確認ください。  
手続き内容に関するお問い合わせには対応いたしかねますので、あらかじめ御了承ください。

○固定電話コールセンター  
TEL：0120-464-119（フリーダイヤル）  
（平日9：00～17：00 年末年始除く）  
○携帯電話コールセンター  
TEL：0570-041-001（有料）  
（平日9：00～17：00 年末年始除く）  
FAX：06-6455-3268  
e-mail：help-shinsei-kumamoto@s-kantan.com

## 2 小学6年生調査 調査票

2022/09/30 21:36

【熊本県 電子申請サービス】手続き申込：申込



ログイン

利用者登録

申請団体選択

> 手続き申込

> 申込内容照会

> 職責署名検証

### 手続き申込



### 申込

選択中の手続き名：【小学生の生活についてのアンケート調査】

問合せ先 [+開く](#)

説明

受付時期 2022年9月30日0時00分～2022年11月1日0時00分

### 答え方

1. 答えは、あてはまる番号をえらんでください。
2. 「その他」にしたときは、自分で考えた答えを入力してください。
3. 「あてはまる番号すべてを選択（せんたく）してください。」と書いている間は、思ったところすべてをえらんでください。
4. このアンケートに回答することで、あなた個人が特定されたり、あなたの家族に連絡（れんらく）が入ったりすることはありませんので、安心してお答えください。

### 基本情報

問1 あなたの性別を教えてください。 **必須**

あてはまる番号1つを選択（せんたく）してください。

1. 男
2. 女
3. その他
4. 答えたくない

[選択解除](#)

問2 現在住んでいる市町村を教えてください。 **必須**

<https://s-kantan.jp/pref-kumamoto-u/offer/userLoginDispNon.action?tempSeq=8869&accessFrom=>

1/12

あてはまる番号1つを選択（せんたく）してください。

選択してください ▼

### 問3 あなたと一緒に（いっしょ）に住んでいるのは誰ですか。 必須

あてはまる番号すべてを選択（せんたく）してください。

1. お母さん
2. お父さん
3. おばあさん
4. おじいさん
5. 兄・姉 → ( ) 人（下に人数を記入してください）

6. 弟・妹 → ( ) 人（下に人数を記入してください）

7. その他（下に1～6以外の人と一緒に（いっしょ）に住んでいる人を記入してください）

### 問4 あなたの健康状態について教えてください。 必須

あてはまる番号1つを選択（せんたく）してください。

1. よい
2. まあよい
3. ふつう
4. あまりよくない
5. よくない

選択解除

## ふだんの生活について

### 問5 あなたは学校を欠席することがありますか。 必須

あてはまる番号1つを選択（せんたく）してください。

1. ほとんど欠席しない
2. たまに欠席する
3. よく欠席する

選択解除

**問6 あなたは学校を遅刻（ちこく）や早退（そうたい）することがありますか。** **必須**

あてはまる番号1つを選択（せんたく）してください。

1. ほとんどしない
2. たまにする
3. よくする

選択解除

**問7 放課後、習い事などをしていますか。** **必須**

あてはまる番号1つを選択（せんたく）してください。

1. はい
2. いいえ

選択解除

**問8 ふだんの学校生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。** **必須**

あてはまる番号すべてを選択（せんたく）してください。

1. 授業中にねてしまうことが多い
2. 宿題ができていないことが多い
3. 持ち物の忘れ物が多い
4. 習い事を休むことが多い
5. 提出物を出すのが遅れることが多い
6. 修学旅行などの宿泊（しゅくはく）行事を欠席する
7. 保健室で過ごすことが多い
8. 学校では一人で過ごすことが多い
9. 友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない
10. 特にない

**問9 あなたがなやんでいることはありますか。** **必須**

あてはまる番号すべてを選択（せんたく）してください。

1. 友達のこと
2. 学校の成績のこと
3. 習い事のこと
4. 家族のこと
5. 生活や勉強に必要なお金のこと



6. 自分のために使える時間が少ないこと
7. その他（下に具体的に記入してください）

8. 特にない

**問10 問9で1～7のどれかを選んだ人にお聞きます。 必須****選択肢の結果によって入力条件が変わります**

選んだなやみについて、話を聞いてくれる人はいますか。あてはまる番号1つを選択（せんたく）してください。

1. いる
2. いない
3. 話はしたくない

選択解除

**家庭や家族のことについて****問11 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。 必須**

あてはまる番号1つを選択（せんたく）してください。

ここで「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話を指します。

1. いる
2. いない →ここで回答は終わりです。青色の「確認（かくにん）へ進む」ボタンを押してください。

選択解除

**問12 問11で「1. いる」と答えた人にお聞きます。 必須****選択肢の結果によって入力条件が変わります**

(1) あなたがお世話をしている人は誰ですか。あてはまる番号すべてを選択（せんたく）してください。

1. お母さん
2. お父さん
3. おばあさん
4. おじいさん
5. きょうだい
6. その他（下に具体的に記入してください）

※お世話をしている人が何人かいる場合には、それぞれについて教えてください。

- 「1. お母さん」「2. お父さん」を選んだ人は (2) - a へ
- 「3. おばあさん」「4. おじいさん」を選んだ人は (2) - b へ
- 「5. きょうだい」を選んだ人は (2) - c へ
- 「6. その他」を選んだ人は (2) - d へ

(2) - a お母さん、あるいはお父さんをお世話している人にお聞きします。それはどのような理由ですか。 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号すべてを選択してください。

- 1. 高齢（こうれい）（65才以上）
- 2. 介護（かいご）（食事や身の回りのお世話）が必要
- 3. 認知症（にんちしょう）
- 4. 身体しょうがい
- 5. 知的しょうがい
- 6. こころの病気（うつ病など）※うたがいを含む
- 7. 依存症（いぞんしょう）（お酒やギャンブルなどをやめられず、生活に問題をかかえている）※うたがいを含む
- 8. 6、7以外の病気
- 9. 日本語が苦手
- 10. その他（下に具体的に記入してください）

- 11. わからない

(2) - b おばあさん、あるいはおじいさんをお世話している人にお聞きします。 **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

それはどのような理由ですか。あてはまる番号すべてを選択（せんたく）してください。

- 1. 高齢（こうれい）（65才以上）
- 2. 介護（かいご）（食事や身の回りのお世話）が必要
- 3. 認知症（にんちしょう）
- 4. 身体しょうがい
- 5. 知的しょうがい
- 6. こころの病気（うつ病など）※うたがいを含む
- 7. 依存症（いぞんしょう）（お酒やギャンブルなどをやめられず、生活に問題をかかえている）※うたがいを含む
- 8. 6、7以外の病気

9. 日本語が苦手
10. その他（下に具体的に入力してください）
- 
11. わからない

**(2) - c きょうだいをお世話している人にお聞きます。それはどのような理由ですか。****必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号すべてを選択（せんたく）してください。

1. 幼い
2. 介護（かいご）（食事や身の回りのお世話）が必要
3. 身体しょうがい
4. 知的しょうがい
5. 病気
6. 日本語が苦手
7. その他（下に具体的に入力してください）
- 
8. わからない

**(2) - d 「その他」の人をお世話している人にお聞きます。それはどのような理由ですか。****必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号すべてを選択（せんたく）してください。

1. 高齢（こうれい）（65歳以上）
2. 幼い
3. 介護（かいご）（食事や身の回りのお世話）が必要
4. 認知症（にんちしょう）
5. 身体しょうがい
6. 知的しょうがい
7. こころの病気（うつ病など）※うたがいを含む
8. 依存症（いぞんしょう）（お酒やギャンブルなどをやめられず、生活に問題をかかえている）※うたがいを含む
9. 7、8以外の病気
10. 日本語が苦手
11. その他（下に具体的に記入してください）
-

12. わからない

**問13 あなたはどのようなお世話をしていますか。** 必須選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号すべてを選択（せんたく）してください。

- 1. 家事（食事の準備やそうじ、せんたく）
- 2. きょうだいのお世話や送りむかえ
- 3. 入浴やトイレのお世話
- 4. 買い物や散歩と一緒にいく
- 5. 病院へ一緒にいく
- 6. 話を聞く
- 7. 見守り
- 8. 通訳（つうやく）（日本語や手話など）
- 9. お金の管理
- 10. 薬の管理
- 11. その他（下に具体的に記入してください）

**問14 あなたはお世話を誰と一緒にしていますか。** 必須選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号すべてを選択（せんたく）してください。

- 1. お母さん
- 2. お父さん
- 3. おばあさん
- 4. おじいさん
- 5. きょうだい
- 6. しんせきの人
- 7. 自分のみ
- 8. 福祉（ふくし）サービス（ヘルパーなど）を利用
- 9. その他（下に具体的に記入してください）

**問15 あなたは何才からお世話をしていますか。** 必須選択肢の結果によって入力条件が変わります

はっきりとわからない場合は、だいたいの年でかまいません。

才から

**問 1 6 あなたはどのくらいお世話をしていますか。** 必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号1つを選択（せんたく）してください。

- 1. ほぼ毎日
- 2. 週に3～5日
- 3. 週に1～2日
- 4. 1ヶ月に数日
- 5. その他（下に具体的に記入してください）

選択解除

**問 1 7 あなたは平日何時間くらいお世話をしていますか。** 必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

日によって違う場合は、この1ヶ月でいちばん長かった日の時間を教えてください。

1日 時間くらい

**問 1 8 あなたは休日何時間くらいお世話をしていますか。** 必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

日によって違う場合は、この1ヶ月でいちばん長かった日の時間を教えてください。

1日 時間くらい

**問 1 9 お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。** 必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号すべてを選択（せんたく）してください。

- 1. 学校を休んでしまう
- 2. 遅刻（ちこく）や早退（そうたい）をしてしまう
- 3. 宿題など勉強する時間がない
- 4. 眠る時間がたりない
- 5. 友だちと遊ぶことができない
- 6. 習い事ができない
- 7. 自分の時間が取れない

8. その他（下に具体的に記入してください）

9. 特になし

## 問20 お世話をすること大変さを感じていますか。 **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号すべてを選択（せんたく）してください。

1. 体力の面で大変
2. 気持ちの面で大変
3. 時間の余裕（よゆう）がない
4. 特に大変さを感じていない

## 問21 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話のなやみについて誰かに相談したことはありますか。 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号1つを選択（せんたく）してください。

1. ある →問22へ
2. ない →問23へ

選択解除

## 問22 問21で「1. ある」と回答した人にお聞きします。それは誰ですか。 **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号すべてを選択（せんたく）してください。

1. 家族（お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさん、きょうだい）
2. しんせき（おじ、おば）
3. 友だち
4. 学校の先生（保健室の先生以外）
5. 保健室の先生
6. スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー
7. 病院・医療（いりょう）・福祉（ふくし）サービスの人
8. 近所の人
9. SNS上での知り合い
10. その他（下に具体的に記入してください）

**問23 問21で「2. ない」と回答した人にお聞きします。相談していない理由を教えてください。** **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号すべてを選択（せんたく）してください。

- 1. 相談するほどのなやみではないから
- 2. 誰に相談するのがよいかわからないから
- 3. 相談できる人がいないから
- 4. 家族のことを話したくないから
- 5. 相談しても何も変わらないから
- 6. その他（下に具体的に記入してください）

**問24 問21で「2. ない」と回答した人にお聞きします。** **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

あなたがお世話をしている家族のことや、お世話のなやみを聞いてくれる人はいますか。あてはまる番号1つを選択（せんたく）してください。

- 1. いる
- 2. いない

選択解除

**問25 学校や周りの大人にしてもらいたいことはありますか。** **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号すべてを選択（せんたく）してください。

- 1. 自分のことについて話を聞いてほしい
- 2. 家族のお世話について相談にのってほしい
- 3. 家族の病気や障がい、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい
- 4. 自分が行っているお世話のすべてを誰かに代わってほしい
- 5. 自分が行っているお世話の一部を誰かに代わってほしい→具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか（下に具体的に記入してください）

- 6. 自由に使える時間がほしい
- 7. 勉強を教えてほしい
- 8. お金の面で支援（しえん）してほしい
- 9. その他（下に具体的に記入してください）

10. 特にない
11. わからない

**問26 問25で「1」「2」と回答した人にお聞きます。** 必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

どのような方法で話を聞いたり相談にのったりしてほしいですか。あてはまる番号すべてを選択（せんたく）してください。

1. 直接会って
2. 電話
3. SNS
4. 電子メール
5. その他（下に具体的に記入してください）

**問27 どのようなサービスがあったらいいと思いますか。** 必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号すべてを選択（せんたく）してください。

1. 専用（せんよう）の相談窓口（まどぐち）
2. 同じようなきょうぐう、状況（じょうきょう）のひと話せる機会
3. 話を聞いてくれるカウンセラー
4. 勉強のサポート
5. 気軽に立ち寄れる居場所
6. その他（下に具体的に記入してください）

**問28 自由記入** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

家族のお世話をしている子どものために、必要だと思うことや、学校や周りの大人にしてもらいたいこと（問25で書ききれなかったことなど）を自由に書いてください。

**最後に**

家族のお世話をすることは、とても価値（かち）のある大切なことです。ただお世話の負担が大きいと気持ちや体力の面で大変な思いをすることがあるかもしれません。

あなた自身、あるいは友だちなどで、家族のお世話をすることでなやみや心配なことがある場合には、学校の先生や、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーへ相談してください。また、調査についての説明ページに記した相談先にいつでも連絡してください。



アンケートにご協力いただき、どうもありがとうございました。

確認へ進む >

### 入力中のデータを一時保存・読み込み

#### 【申込データ一時保存、再読み込み時の注意事項】

- ・添付ファイルは一時保存されません。再読み込み後は、必要に応じて、ファイルを添付し直してください。
- ・パソコンに一時保存した申込データはパソコンで閲覧・加筆・修正することはできません。
- ・システムに読み込む場合は一時保存した手続きの画面でしか読み込めませんので、ご注意ください
- ・**入力中の申込データをパソコンに一時保存しますので、保存した申込データの取扱いは、申請者の責任において管理をお願いします。**

「入力中のデータを保存する」では申込みの手続きが完了していませんのでご注意ください。

※入力中の申込データをパソコンに一時保存します。

※一時保存した申込データを再度読み込みます。

↓ 入力中のデータを保存する

↑ 保存データの読み込み

【各手続きの内容に関するお問い合わせ先】  
直接各手続きの担当課にお問い合わせください。

【操作に関するお問合せ先（コールセンター）】  
何かご不明点等ございましたら、事前にFAQをご確認ください。  
手続き内容に関するお問い合わせには対応いたしかねますので、あらかじめ御了承ください。

○固定電話コールセンター  
TEL：0120-464-119（フリーダイヤル）  
（平日9：00～17：00 年末年始除く）  
○携帯電話コールセンター  
TEL：0570-041-001（有料）  
（平日9：00～17：00 年末年始除く）  
FAX：06-6455-3268  
e-mail：help-shinsei-kumamoto@s-kantan.com

### 3 大学3年生調査 調査票

2022/09/30 21:35

【熊本県 電子申請サービス】手続き申込：申込



ログイン

利用者登録

申請団体選択

> 手続き申込

> 申込内容照会

> 職責署名検証

#### 手続き申込



#### 申込

選択中の手続き名：【大学生の生活実態に関するアンケート調査】

問合せ先 [+開く](#)

##### 説明

このアンケート調査は、熊本県が「ヤングケアラー」の実態をより正確に把握するとともに、「ヤングケアラー」を早期発見し、対応できる仕組みづくりの検討を行うための資料とすることを目的として、大学3年生の皆様を対象に行うものです。

この調査は無記名で行い、回答内容は全て統計的に処理し、報告書としてとりまとめる予定です。そのため、回答が特定されたり、外部に知られることはなく、報告書作成以外の目的には使用しません。

より良い支援を検討していくためにも、できるだけ多くの皆さんの意見をお聞きしたいと考えています。お忙しいとは思いますが、ぜひ調査へのご協力をお願いします。

○回答の締切：令和4年10月31日（月）

◆◆ご回答にあたってのお願い◆◆

●この調査に同意し、協力してくださる場合のみ、アンケートにご回答ください。アンケートへの回答をもって、この調査に同意していただいたものと判断させていただきます。

●ご回答は、選択肢を選ぶ場合と、数字や具体的な内容を入力いただく場合があります。設問文の注意書きに従ってご回答ください。

●複数回答ができる設問については、チェックを2回押すとその選択肢が外れます。

●回答は1人1回限りです。

●所要時間は10分程度です。

●集計結果を含めた報告書は、県のホームページなどで公表します。

受付時期

2022年9月30日0時00分～2022年11月1日0時00分

#### 基本情報

問1 あなたの性別を教えてください。あてはまる番号1つを選択してください。 **必須**

- 1. 男性
- 2. 女性
- 3. その他
- 4. 答えたくない

選択解除

**問2 あなたの年齢を教えてください。** 必須 歳**問3 現在住んでいる市町村を教えてください。あてはまる番号1つを選択してください。**

必須

 ▼**問4 大学種別を教えてください。あてはまる番号1つを選択してください。** 必須

1. 国立
2. 公立
3. 私立

選択解除

**問5 大学の学科（専攻）を教えてください。あてはまる番号1つを選択してください。**

必須

1. 文・外国語・国際・文化系
2. 法・政・経・商・社系
3. 理・工・農系
4. 医・歯・薬系
5. 看護・保健・福祉系
6. 教育・教員養成・家政・生活系
7. 芸術・スポーツ系
8. その他（記入してください）

選択解除

**問6 現在の住まい方を教えてください。あてはまる番号1つを選択してください。** 必須

1. 家族と同居 →問7へ
2. 一人暮らし →問8へ
3. 寮 →問8へ
4. その他（記入してください） →問8へ

**問7** 問6で1と回答した方にお聞きします。現在一緒に住んでいる家族についてあてはまる番号すべてを選択してください。 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

1. 母親
2. 父親
3. 祖母
4. 祖父
5. 兄・姉（ ）人（下の欄に具体的に記入してください）

6. 弟・妹（ ）人（下の欄に具体的に記入してください）

7. その他（下の欄に具体的に記入してください）

**問8** あなたの身体面の健康状態についてあてはまる番号1つを選択してください。 **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

1. よい
2. まあよい
3. ふつう
4. あまりよくない
5. よくない

**問9** あなたの精神面の健康状態についてあてはまる番号1つを選択してください。 **必須**

1. よい
2. まあよい
3. ふつう
4. あまりよくない
5. よくない

**問10** 大学までの片道の通学時間を教えてください。あてはまる番号1つを選択してください。 **必須**

- 1. 15分未満
- 2. 15分以上30分未満
- 3. 30分以上45分未満
- 4. 45分以上1時間未満
- 5. 1時間以上1時間半未満
- 6. 1時間半以上2時間未満
- 7. 2時間以上

選択解除

**問11 奨学金の受給状況を教えてください。あてはまる番号1つを選択してください。**

**必須**

- 1. 貸与・給付の両方を受けている →問12へ
- 2. 貸与奨学金を受けている（返済が必要） →問12へ
- 3. 給付奨学金を受けている（返済不要） →問13へ
- 4. 申請したが不採用になった →問13へ
- 5. 希望はあったが申請しなかった・できなかった →問13へ
- 6. そもそも奨学金は必要なく、申請していない →問13へ

選択解除

**問12 問11で1または2と回答した方にお聞きします。大学卒業時の予定貸与総額を教えてください。** **選択肢の結果によって入力条件が変わります**

※任意回答

貸与総額  円

**ふだんの生活についてお伺いします。**

**問13 現在通う大学を選択した理由を教えてください。あてはまる番号すべてを選択してください。** **必須**

- 1. 自分のやりたいことができる・学べる
- 2. 社会で役立つことが学べる
- 3. 実家から近い・通える範囲内にある
- 4. 学費が安い
- 5. 時間的に講義等に出席しやすい
- 6. その他（下の欄に具体的に記入してください）

**問 1 4 大学の授業（履修している講義）への出席状況についてあてはまる番号1つを選択してください。** **必須**

1. ほとんど欠席しない
2. たまに欠席する
3. よく欠席する

選択解除

**問 1 5 大学の授業（履修している講義）への遅刻や早退の状況についてあてはまる番号1つを選択してください。** **必須**

1. ほとんどしない
2. たまにする
3. よくする

選択解除

**日々の生活において次問 1 6（1）～（6）に取り組む時間を希望通りに確保できていますか。**

**各項目について、希望がある場合は1－5の中から1つ選択してください。実施・参加の希望がなく実施・参加していない場合は、6を選択してください。**

**問 1 6（1）大学の授業の受講（ゼミ含む）** **必須**

1. 確保できている
2. 概ね確保できている
3. どちらともいえない
4. あまり確保できていない
5. 確保できていない
6. 希望しておらず実施・参加していない

選択解除

**問 1 6（2）大学の授業の予習復習、課題に取り組む時間** **必須**

1. 確保できている
2. 概ね確保できている
3. どちらともいえない

- 4. あまり確保できていない
- 5. 確保できていない
- 6. 希望しておらず実施・参加していない

選択解除

#### 問16 (3) 部活・サークル **必須**

- 1. 確保できている
- 2. 概ね確保できている
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり確保できていない
- 5. 確保できていない
- 6. 希望しておらず実施・参加していない

選択解除

#### 問16 (4) アルバイト・仕事 **必須**

- 1. 確保できている
- 2. 概ね確保できている
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり確保できていない
- 5. 確保できていない
- 6. 希望しておらず実施・参加していない

選択解除

#### 問16 (5) 就職活動（説明会、インターンへの応募・参加も含む） **必須**

- 1. 確保できている
- 2. 概ね確保できている
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり確保できていない
- 5. 確保できていない
- 6. 希望しておらず実施・参加していない

選択解除

#### 問16 (6) 趣味・娯楽・交友 **必須**

- 1. 確保できている
- 2. 概ね確保できている
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり確保できていない
- 5. 確保できていない
- 6. 希望しておらず実施・参加していない

選択解除

**問17 ふだんの大学生活等において、以下の中であてはまるものはありますか。あてはまる番号すべてを選択してください。** **必須**

- 1. 授業を欠席しがちである
- 2. 課題や予習復習ができていないことが多い
- 3. 持ち物の忘れ物が多い
- 4. 部活・サークル等を休むことが多い
- 5. 提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い
- 6. 合宿等の行事を欠席する
- 7. 大学では1人で過ごすことが多い
- 8. 友人と遊んだり、話したりする時間が少ない
- 9. 特にない

**問18 現在、悩んだり困っていることはありますか。あてはまる番号すべてを選択してください。** **必須**

- 1. 友人との関係のこと
- 2. 学業成績のこと
- 3. 就職・進路のこと
- 4. 部活動・サークル活動のこと
- 5. 学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと
- 6. 課外活動や習い事ができないこと
- 7. アルバイト・仕事のこと
- 8. 家庭の経済的状況のこと
- 9. 自分と家族との関係のこと
- 10. 家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）
- 11. 病気や障がいのある家族のこと
- 12. 自分のために使える時間が少ないこと



13. その他（下の欄に具体的に記入してください）

14. 特にない

**問19 問18で1～13のいずれかを回答した方にお聞きします。** **必須**

**選択肢の結果によって入力条件が変わります**

問18で回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれる人がいますか。あてはまる番号1つを選択してください。

1. 相談相手や話を聞いてくれる人がいる
2. 相談相手や話を聞いてくれる人がいない
3. 相談や話はしたくない

選択解除

**家庭や家族のことについてお伺いします。**

**問20 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。あてはまる番号1つを選択してください。** **必須**

ここで「お世話」とは本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などをする事です。

1. 現在いる →問21へ
2. 現在はいないが、過去にいた →問21へ
3. 現在も過去もない →問34へ

選択解除

**問21 (1) お世話を必要としている方について、あてはまる番号すべてを選択してください。** **必須** **選択肢の結果によって入力条件が変わります**

お世話の状況について教えてください。

※問20で「1. 現在いる」と回答した方のうち、現在お世話をしている人と、過去にお世話をしていた人が異なる場合は、現在お世話をしている人についてお答えください。

※問20で「2. 現在はいないが、過去にいた」方は、当時お世話した人についてお答えください。

1. 母親
2. 父親
3. 祖母
4. 祖父
5. きょうだい
6. その他（下の欄に具体的に記入してください）

**問 2 1 ( 2 ) a) お世話を必要としている方の状況を教えてください。あてはまる番号すべてを選択してください。** **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 1. 高齢（65歳以上）
- 2. 若い
- 3. 要介護（介護が必要な状況）
- 4. 認知症
- 5. 身体障がい
- 6. 知的障がい
- 7. 精神疾患（疑い含む）
- 8. 依存症（アルコール依存症、ギャンブル依存症など）（疑い含む）
- 9. 7、8以外の病気

- 10. その他（下の欄に具体的に記入してください）

**問 2 1 ( 2 ) b) あなたが行っているお世話の内容を教えてください。あてはまる番号すべてを選択してください。** **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 1. 家事（食事の準備や掃除、洗濯）
- 2. きょうだいの世話や保育所等への送迎など
- 3. 身体的な介護（入浴やトイレ、食事のお世話など）
- 4. 外出の付き添い（買い物、散歩など）
- 5. 通院の付き添い
- 6. 感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）
- 7. 見守り
- 8. 通訳（日本語や手話など）
- 9. 金銭管理
- 10. 薬の管理
- 11. 家計を助ける（働く）
- 12. その他（下の欄に具体的に記入してください）

**問 2 1 (3) お世話は誰と行っていますか。あてはまる番号すべてを選択してください。****必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 1. 母親
- 2. 父親
- 3. 祖母
- 4. 祖父
- 5. きょうだい
- 6. 親戚の人
- 7. 自分のみ
- 8. 福祉サービス（ヘルパーなど）を利用
- 9. その他（下の欄に具体的に記入してください）

**問 2 1 (4) お世話をしている頻度を教えてください。あてはまる番号1つを選択してください。****必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 1. ほぼ毎日
- 2. 週に3～5日
- 3. 週に1～2日
- 4. 1か月に数日
- 5. その他（御記入ください）

選択解除

**問 2 1 (5) 平日にお世話は何時間程度行っていますか。** **必須****選択肢の結果によって入力条件が変わります**

日によって異なる場合は、この1か月の中で最も長かった日の時間をお答えください。

- 1. 1時間未満
- 2. 1時間以上3時間未満
- 3. 3時間以上5時間未満
- 4. 5時間以上7時間未満
- 5. 7時間以上

選択解除

**問 2 1 (6) 休日にお世話は何時間程度行っていますか。 必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

日によって異なる場合は、この1か月の中で最も長かった日の時間をお答えください。

1. 1時間未満
2. 1時間以上3時間未満
3. 3時間以上5時間未満
4. 5時間以上7時間未満
5. 7時間以上

選択解除

**問 2 1 (7) お世話はいつから行っていますか。あてはまる番号1つを選択してください。**

必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

はっきりとわからない場合は、だいたいでかまいません。

1. 小学校就学以前から
2. 小学校低学年（1～3年生）から
3. 小学校高学年（4～6年生）から
4. 中学生から
5. 高校生から
6. 大学入学以降

選択解除

**問 2 1 (8) 問 2 0 で「2. 現在はいないが、過去にいた」と回答した方にお伺いします。**

必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

いつまでお世話をしていましたか。はっきりとわからない場合は、だいたいでかまいません。あてはまる番号1つを選択してください。

1. 中学入学以前まで
2. 高校入学以前まで
3. 大学入学以前まで
4. 大学1年生まで
5. 直近まで

選択解除

**問 2 2 問 2 1 (7) でお世話を始めた時期が「6. 大学入学以降」と回答した方以外にお伺いします。 必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります**

お世話をしていることで、大学進学の際に苦勞したこと・影響を教えてください。あてはまる番号すべてを選択してください。

- 1. 受験勉強をする時間が取れなかった
- 2. 学費等の制約や経済的な不安があった
- 3. 実家から通える範囲等の通学面の制約があった
- 4. 家族等から世話を優先するよう求められた
- 5. 進学するか働くか迷った
- 6. 大学以外の進学先と迷った
- 7. その他（下の欄に具体的に記入してください）

- 8. 特にない

**問23 お世話をしていることで、やりたかったができなかったこと、あきらめたことはありますか。** 必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号すべてに○を記入してください。

- 1. 大学の授業に行きたくても行けなかった
- 2. 単位をとれなかった、留年・休学した
- 3. 課題・予習復習をする時間が取れなかった
- 4. 留学をあきらめた
- 5. 睡眠が十分に取れなかった
- 6. 友人と遊ぶことができなかった
- 7. 部活動・サークル活動ができなかった、もしくは辞めざるを得なかった
- 8. 課外活動・習い事ができなかった、もしくは辞めざるを得なかった
- 9. アルバイトができなかった
- 10. 就職先・進路の変更を考えざるを得なかった・変更した
- 11. 一人暮らしをしたくてもできなかった
- 12. 恋愛をしたくてもできなかった
- 13. 自分の時間が取れなかった
- 14. その他（下の欄に具体的に記入してください）

- 15. 特になかった

**問24 お世話をしていることで、今後不安なこと、やりたいけどできなさそうなことはありますか。** 必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号すべてを選択してください。

- 1. 大学の授業に行きたくても行けない

- 2. 単位取得、進学・卒業できるか不安がある
- 3. 課題・予習復習をする時間が取れない
- 4. 留学にいけない
- 5. 睡眠が十分に取れない
- 6. 友人と遊ぶことができない
- 7. 部活や習い事ができない
- 8. アルバイトができない
- 9. 就職活動の時間が取れない
- 10. 希望する就職先・進路の変更を考えざるを得ない
- 11. 一人暮らしができるか不安がある
- 12. 恋愛・結婚に対する不安がある
- 13. 自分の時間が取れない
- 14. その他（下の欄に具体的に記入してください）
- 15. 特にない

**問25 お世話をしていることで、就職に関し不安はありますか。あてはまる番号すべてを選択してください。** **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 1. 正社員として就職できるか不安がある
- 2. 休まず働けるか不安がある
- 3. 通勤できる地域が限られる
- 4. 働ける時間帯が限られている
- 5. 就職先について考える時間がない
- 6. その他（下の欄に具体的に記入してください）
- 7. わからない
- 8. 特にない

**問26 お世話をすることによってきつさを感じていますか。あてはまる番号すべてを選択してください。** **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 1. 身体的にきつい
- 2. 精神的にきつい
- 3. 時間的余裕がない

4. 特にきつさを感じていない

**問27 ご自身がお世話をする理由をどのようにとらえていますか。あてはまる番号すべてを選択してください。** **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

1. 自分がお世話をしたいと思うため
2. 自分がお世話をしないと家族が困るため
3. ほかにお世話をできる人がいないため
4. ほかの家族や親せき等から世話をするように言われているため
5. その他（下の欄に具体的に記入してください）

6. わからない・考えたことがない

**問28 お世話を必要としている家族のことや、お世達の悩みを誰かに相談したことはありますか。** **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号1つを選択してください。

1. ある →問29へ
2. ない →問30へ

選択解除

**問29 問28で「1. ある」と回答した方にお聞きします。それは誰ですか。あてはまる番号すべてを選択してください。** **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

1. 家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい）
2. 親戚（おじ、おばなど）
3. 友人
4. 交際相手、配偶者
5. 大学の指導教員
6. 大学の学生相談室やキャリア支援室・保健センター
7. その他大学の職員・機関
8. 医師や看護師、その他病院の人
9. ホームヘルパーやケアマネージャー、福祉サービスの人
10. 役所の人（自治体の保健センター等含む）
11. 近所の人
12. SNS上での知り合い
13. その他（下の欄に具体的に記入してください）

**問30 問28で「2. ない」と回答した方にお聞きします。相談できない理由を教えてください。** **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号すべてを選択してください。

- 1. 誰かに相談するほどの悩みではない
- 2. 家族外の人に相談するような悩みではない
- 3. 誰に相談するのがよいかわからない
- 4. 相談できる人が身近にいない
- 5. 家族のこのため話にくい
- 6. 家族のことを知られたくない
- 7. 家族に対して偏見を持たれたくない
- 8. 相談しても状況が変わるとは思わない
- 9. その他（下の欄に具体的に記入してください）

**問31 問28で「2. ない」と回答した方にお聞きします。お世話の悩みを聞いてくれる人はいますか。** **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 1. いる
- 2. いない

選択解除

**問32 大学や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。**

**必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号すべてを選択してください。

- 1. 自分のいまの状況について話を聞いてほしい
- 2. 家族のお世話について相談にのってほしい
- 3. 家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい
- 4. 自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい
- 5. 自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい→具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか。下の欄に具体的に記入してください

- 6. 自由に使える時間がほしい
- 7. 進路や就職など将来の相談にのってほしい



8. 大学の勉強や学習のサポート
9. 家庭への経済的な支援
10. 学費への支援・奨学金等
11. その他（下の欄に具体的に記入してください）

12. 特にない
13. わからない

**問33 問32で「1」、「2」と回答した方にお聞きします。** 必須

**選択肢の結果によって入力条件が変わります**

どのような方法で話を聞いてほしい、相談にのってほしいですか。あてはまる番号すべてを選択してください。

1. 直接会って
2. 電話
3. SNS
4. 電子メール
5. その他（下の欄に具体的に記入してください）

**ヤングケアラーについてお伺いします。**

「ヤングケアラー」とは、家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。なお、同様のケアをする18歳から30歳くらいまでの方についても、「若者ケアラー」と呼ばれています。

下記の状態像を踏まえて、ヤングケアラーまたは若者ケアラーについて設問にお答えください。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

© 一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration : Izumi Shiga

### 問34 あなた自身は「ヤングケアラー（または若者ケアラー）」にあてはまると思いますか。 **必須**

あてはまる番号1つを選択してください。

1. 現在あてはまる
2. 現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う
3. あてはまらない
4. わからない

選択解除

### 問35 問34で「1」または「2」と回答した方にお聞きます。 **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

ヤングケアラーについて、どのようなサービスがあったらいいと思いますか。あてはまる番号すべてを選択してください。

1. 専門の相談窓口
2. 同じような境遇、状況の人と話せる機会
3. 話を聞いてくれるカウンセラー
4. 勉強、就職のサポート
5. 気軽に立ち寄れる居場所
6. その他（下の欄に具体的に記入してください）

**問36 「ヤングケアラー（または若者ケアラー）」という言葉をご存知でしたか。** **必須**

あてはまる番号1つを選択してください。

1. 聞いたことがあり、内容も知っている
2. 聞いたことはあるが、よく知らない
3. 聞いたことはない

選択解除

**問37 問36で「1」または「2」と回答した方にお聞きします。** **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。あてはまる番号すべてを選択してください。

1. テレビや新聞、ラジオ
2. 雑誌や本
3. SNSやインターネット
4. 広報やチラシ、掲示物
5. イベントや交流会など
6. 大学
7. 友人・知人から聞いた
8. その他（下の欄に具体的に記入してください）

**自由記述欄（ヤングケアラーへの支援を広げていくために必要だと思うことや、要望等なんでも）**

下の欄に具体的に記入してください。

入力文字数：0/50

**アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。**

確認へ進む



入力中のデータを一時保存・読み込み

【申込データ一時保存、再読み込み時の注意事項】

- ・添付ファイルは一時保存されません。再読み込み後は、必要に応じて、ファイルを添付し直してください。
- ・パソコンに一時保存した申込データはパソコンで閲覧・加筆・修正することはできません。

- ・システムに読み込む場合は一時保存した手続きの画面でしか読み込めませんので、ご注意ください
- ・入力中の申込データをパソコンに一時保存しますので、保存した申込データの取扱いは、申請者の責任において管理をお願いします。

**「入力中のデータを保存する」では申込みの手続きが完了しておりませんのでご注意ください。**

※入力中の申込データをパソコンに一時保存します。

↓ 入力中のデータを保存する

※一時保存した申込データを再度読み込みます。

↑ 保存データの読み込み

【各手続きの内容に関するお問い合わせ先】  
直接各手続きの担当課にお問い合わせください。

【操作に関するお問合せ先（コールセンター）】  
何かご不明点等ございましたら、事前にFAQをご確認ください。  
手続き内容に関するお問い合わせには対応いたしかねますので、あらかじめ御承ください。

○固定電話コールセンター  
TEL：0120-464-119（フリーダイヤル）  
（平日9：00～17：00 年末年始除く）  
○携帯電話コールセンター  
TEL：0570-041-001（有料）  
（平日9：00～17：00 年末年始除く）  
FAX：06-6455-3268  
e-mail：help-shinsei-kumamoto@s-kantan.com

---

---

熊本県

ヤングケアラーの実態に関する調査結果

【調査結果報告書】

---

発行 熊本県健康福祉部子ども・障がい福祉局子ども家庭福祉課

〒862-8570 熊本県熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

TEL: 096-333-2228

---

---